EPSON

LM-C400
ユーザーズガイド

印刷

コピー

スキャン

ファクス（ファクス対応機のみ）

プリンターのお手入れ

困ったときは

最新の情報はこちら

LM-C400

NPD7236-04 JA

目次

マニュアルのご案内 9

マニュアルの種類と内容 10
- 製品使用上のご注意（紙マニュアル） 10
- 使い方ガイド（紙マニュアル） 10
- 掲示用マニュアル（電子マニュアル） 10
- ユーザーズガイド（電子マニュアル） 10
- 最新マニュアルのご案内 10

情報の探し方 10

ページを指定して印刷する方法 11

マニュアルの見方 11
- 記号の意味 11
- 画面とイラストの前提 12
- OS表記の仕方 12

商標 13

マニュアルのご注意 14

製品のご注意 15

本製品の不具合に起因する付随的損害 16

インターネットへの接続に関するご注意 16

無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意 16

セキュリティーに関するご注意 16

管理者パスワードに関するご注意 17
- 管理者パスワードの初期値 17
- 管理者パスワードの変更 17
- 管理者パスワードの入力が必要な操作 18
- 管理者パスワードの初期化 18

外部記憶装置に関するご注意 18

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意 19

本製品の使用限定 19

本製品の保存情報の消去 19

各部の名称と働き 20

前面 21

背面 23

オプション 24

操作パネルの見方と使い方 25

操作パネル 26
- タッチパネル使用上のご注意 27

ホーム画面の見方 27
- ネットワークアイコンの見方 30

メニュー画面の見方 31

ジョブ/状態画面の見方 32
- ジョブ予約 33

文字入力の仕方 34

印刷中に表示される画面 35

プリンターの準備と初期設定 36

プリンターの準備と初期設定の全体の流れ 37
- プリンターの準備 37
- 一般ユーザーがプリンターの設定を変更できないようにする 37
- ネットワークの接続 37
- 各機能の利用に必要な準備の概要 38
- プリンターの設定手段 38

オプションの取り付け 39
- オプションの無線LANユニット･P1を取り付ける 39
- オプションのカセットロック・P1を取り付ける 41

ネットワークの接続と設定 43
- 管理者パスワードの変更 44
- パネルロックで設定を保護する 45
- プリンターをネットワークに接続する 46
- ネットワーク接続時のトラブル対処 53
- ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法 58

用途に合わせた設定 63
- オプションの給紙装置を使えるようにする 63
- メール送信を利用するための準備 65
- 共有フォルダーの準備 69
- アドレス帳の登録 90
- ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定 103
- LDAPサーバーのユーザー情報を宛先に使用するための設定 105
- ファクスサーバーを利用したファクス送信 109

印刷、スキャン、コピー、ファクスの設定 110
- 印刷の初期設定 110
- スキャン/コピーの初期設定 120

ファクスを使えるようにする（ファクス対応機のみ） 123
NGNを利用したIPファクスを使えるようにする 156
設定時のトラブルを解決する 163
トラブルを解決するための糸口 163
Web Configにアクセスできない 164

拡張機能の紹介 166

拡張機能の概要 167
拡張機能一覧 167
ライセンスキーの登録 167
赤色消去 174
赤色消去機能の概要 174
赤色消去機能を有効にする（ライセンスキーの登録） 175
赤色消去機能を使用する 175
グループ印刷 176
グループ印刷の概要 176
グループ印刷機能を有効にする（ライセンスキーの登録） 177
グループ印刷機能を使用する 177
OCR オプション 178
OCR オプションの概要 178
OCR オプションを有効にする（ライセンスキーの登録） 178
OCR オプションを使用する 178
OCR オプション使用時の推奨解像度 179
IPファクス 180
IPファクス機能の概要 180
IPファクスを使えるようにする 182
IPファクスを使用する 198
Epson Print Admin Serverless 199
Epson Print Admin Serverlessの概要 199
Epson Print Admin Serverlessの導入・管理 .200
Epson Print Admin Serverlessの使い方 200

用紙のセット 202

用紙取り扱い上のご注意 203
用紙サイズと種類の登録 204
用紙種類の設定値 205
検知できる用紙サイズの一覧 206
用紙をセットする 207
いろいろな用紙のセット方法 207
封筒のセット方法 207
ハガキのセット方法 208
穴あき用紙のセット方法 209
プレプリントのセット方法（片面に印刷する） ..211
プレプリントのセット方法（両面に印刷する） ..212
長い用紙のセット方法 213

原稿のセット 214

原稿のセット 215
自動検知できる原稿サイズ 216
ADFにセットできない原稿 217

外部メモリーのセットと取り外し 218

USB接続機器をセットする 219
USB接続機器を取り外す 219

印刷 221

文書を印刷する 222
コンピューターから文書を印刷する（Windows） 222
PostScriptプリンタードライバーを使って文書を印刷する（Windows） 249
コンピューターから文書を印刷する（Mac OS） 255
Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する 267
外部メモリー内のPDFデータを印刷する 274
スマートデバイスから文書を印刷する 276
ハガキ、年賀状、封筒に印刷する 277
コンピューターからハガキや封筒に印刷する 278
スマートデバイスからハガキに印刷する 279
プレプリント紙に印刷する 279
コンピューターからプレプリント紙に印刷する（Windows） 279
コンピューターからプレプリント紙に印刷する（Mac OS） 280
写真を印刷する 281
外部メモリー内のJPEGデータを印刷する 281
外部メモリー内のTIFFデータを印刷する 283
ウェブページを印刷する 285
スマートデバイスからウェブページを印刷する ..285
クラウドサービスで印刷する 285
割り込み印刷をする 286
印刷して製本、仕分けする 287
製本できるように割り付けて印刷する 287
合紙を部数間に挿入して印刷する 288
合紙や章紙でページを仕切って印刷する 289

コピー 303

このプリンターでできるコピー 304

コピーする 304
両面にコピーする 305
拡大または縮小してコピーする 305
割り付けてコピーする 306
ページ順でコピーする 307
きれいにコピーする 307
カードをコピーする 308
冊子をコピーする 308
バーコードのにじみを抑えてコピーする 309
ページ番号を付けてコピーする 309
製本できるように割り付けてコピーする 310
コピーした用紙に合紙（仕切り）を挿入する 311
赤色を消去してコピーする 312
封筒やハガキをコピーする 313
登録したグループでコピーする 313
試しコピーをする 314
割り込みコピーをする 314

コピー時の基本設定メニュー 315

カラーモード： 315
濃度： 315
用紙設定： 315
倍率： 315
原稿種類： 316
両面設定： 316
ページ集約： 316
仕上げ： 316

コピー時の応用設定メニュー 317

製本： 317
表紙・合紙： 317
原稿サイズ： 318
原稿サイズ混載： 318
原稿セット方向 318
見開き→2ページ： 318
連続読込： 318
詳細画質調整： 318
とじしろ： 319
小さめフィット： 320
影消し： 320
パンチ穴消し： 320
IDカードコピー： 320
試しコピー： 320
スタンプ： 320
日付印字： 320
ページ印字： 321
ボックス保存： 321
グループ印刷： 321
赤色消去： 321

スキャン 322

このプリンターでできるスキャン 323

原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する 323
原稿をスキャンしてメールに添付する 325
原稿をスキャンしてコンピューターに保存する ..327
原稿をスキャンして外部メモリーに保存する 328
原稿をスキャンしてクラウドに転送する 329
原稿をスキャンしてボックスに保存する 330
Mopria Scanを使ってスキャンする 331
原稿をスキャンしてスマートデバイスに保存する 331

スキャンの設定メニューの説明 332

カラーモード： 332
ファイル形式： 332
解像度： 332
両面設定： 332
原稿読み取り： 333
原稿種類 333
原稿セット方向： 333
原稿サイズ混載： 333
濃度： 333
背景除去： 333
影消し： 333
パンチ穴消し： 334
白紙ページスキップ： 334
ADF連続読込： 334
ボックス保存： 334
赤色消去： 334
件名： 334
添付最大ファイルサイズ： 334
ファイル名： 335
メールの暗号化： 335
デジタル署名： 335
文書名： 335
文書パスワード： 335
ユーザー名： 335

e-文書法および電子帳簿保存法に適合したスキャン 335

ファクス（ファクス対応機のみ） 337

ファクスを使う前に 338

ファクス機能の紹介 338

機能：ファクス送信 338
機能：ファクス受信 339
機能：コンピューターからの送受信（Windows/Mac OS） 342
機能：いろいろなファクスレポート 343
機能：ファクスのジョブやログの確認 343
機能：ファクスボックス 344
機能：安全なファクス送受信（セキュリティー） 344

機能：その他の役に立つファクス機能 345
プリンターからファクスを送信する 346
宛先を選択する 347
便利な送信方法 348
プリンターでファクスを受信する 355
相手先から送られてきたファクスを受信する 355
相手先にダイヤルしてファクスを受信する 358
受信ファクスの保存と転送 360
受信したファクスをプリンターの画面で確認する 362
ファクスメニューの説明 363
直接入力 363
常用 363
宛先 364
ファクス設定 364
応用 367
ファクスボックスメニューの説明 369
受信/親展 369
待機文書送信： 372
ポーリング送信/掲示板 375
ファクスのジョブ状態や履歴を確認する 381
受信ファクスが未処理（未読／未印刷／未保存／未転送）の表示 381
実行中のファクスジョブを確認する 382
ファクス送受信履歴を確認する 383
印刷した受信文書を再印刷する 383
コンピューターからファクスを送信する 383
アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows） 384
アプリケーションで作成した文書を送信する（Mac OS） 386
コンピューターでファクスを受信する 388
新着ファクスを確認する（Windows） 388
新着ファクスを確認する（Mac OS） 389
コンピューターでのファクス受信をやめる 390
IPファクス 390
IPファクス機能 390
プリンターからIPファクスを送信する 391
ファクス送信した回線の確認 391

ボックスを利用する 392
ボックスの概要 393
ボックスとは 393
ボックスの種類 394
画面の見方 394
ボックスを作成する 395
ボックスにデータを保存する 396
コピーする原稿をボックスに保存する 396
外部メモリーのデータをボックスに保存する 396
コンピューターから文書をボックスに保存する（Windows） 397
コンピューターから文書をボックスに保存する（Mac OS） 398
ボックスに保存したデータを利用する 398
ボックス内のデータを印刷する 398
ボックスに保存したデータを外部メモリーに保存する 399
ボックスに保存した文書をメールに添付する 399
ボックスに保存した文書をネットワークフォルダーやクラウドに（バックアップ）保存する 400
印刷または保存時の設定メニュー 401
Web Configでボックスに保存したデータを利用する 406
ボックスや文書を管理する 406
ボックスや文書を検索する 406
ボックスに保存した文書を削除する 406
保存期間を変更するまたは無期限に設定する 407
ボックスを削除する 407
共有ボックスへの操作を制限する 407

登録した設定で印刷する（グループ印刷） 409
登録したグループでコピーする 410
コピーで使うグループを登録する 410
登録したグループでコピーする 412
プリンターに登録したコピーのグループを編集する 412
プリンターに登録したコピーのグループを削除する 413
登録したグループで印刷する（ボックス） 413
ボックスで使うグループを登録する 413
登録したグループで印刷する（ボックス） 415
プリンターに登録したボックスのグループを編集する 416
プリンターに登録したボックスのグループを削除する 416
登録したグループで印刷する（コンピューター）（Windowsのみ） 417
コンピューターから印刷するときのグループを登録する 417
プリンタードライバーに登録したグループで印刷する（コンピューター） 420
プリンタードライバーに登録したグループを編集する 420
プリンタードライバーに登録したグループを削除する 421

プリンターのお手入れ 422

消耗品の状態を確認する 423
印刷やコピー、スキャン、ファクスの品質を改善する 423
- おまかせクリーニングをする 423
- ノズルが目詰まりしていないか確認する 424
- ノズルの目詰まりを防ぐ 425
- 原稿台の汚れを拭き取る 425
- ADFをクリーニングする 427

こんなときは 431

コンピューターを買い替えたときは 432
ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする 432
- ソフトウェアを個別にインストールする 432
- PostScriptプリンタードライバーをインストールする 435
- エプソン純正プリンターを追加する（Mac OSのみ） 436
- ソフトウェアをアンインストール（削除）する 436

コンピューターとの接続設定をする 438
プリンターのネットワーク接続状態を調べたい（ネットワーク接続診断） 438
スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct） 439
- Wi-Fi Direct（シンプルAP）とは 439
- iPhone、iPad、iPod touchでWi-Fi Direct接続する 439
- AndroidデバイスでWi-Fi Direct接続する 441
- SSIDとパスワードを入力してWi-Fi Direct接続する 442
- コンピューターをWi-Fi Direct接続する 444

無線LAN（Wi-Fi）からUSBへ接続変更する 446
利用者制限されたプリンターの使い方 446
- 操作パネルからプリンターにログオンする 447
- コンピューターからプリンターにログオンする 448
- プリンタードライバーからユーザーアカウントを登録する（Windows） 448
- 利用者制限がかかったプリンターでEpson Scan 2を使用する 449

プリンターの移動と輸送 449

困ったときは 450

トラブルの自己診断 451
- プリンターのエラー状態を確認 451
- プリンターの接続を確認 451
- プリンターの設定を確認 452

印刷、コピー、スキャン、ファクスができない 453
- アプリやプリンタードライバーが正常に動作しない 453
- USB接続できない 457
- コピーできない 458
- ファクスの送信も受信もできない 458
- 給紙や排紙が正しくできない 465

きれいに印刷、コピー、スキャン、ファクスできない 469
- きれいに印刷できない 469
- きれいにコピーできない 476
- きれいにスキャンできない 482
- ファクスをきれいに送信できない 485
- ファクスをきれいに受信できない 488

プリンター画面にメッセージやエラーコードが表示された 488
- プリンター画面にメッセージが表示された 488
- ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された 490

用紙が詰まった 497
- 紙詰まりを防ぐには 497

消耗品や定期交換部品の交換が必要になった 498
- インクカートリッジの交換が必要になった 498
- メンテナンスボックスの交換が必要になった 500
- 前面カバーをロックする 502

思い通りに操作できない 503
- 電源が入らない、切れない 503
- 動作が遅い 503
- プリンターの画面が暗くなった 504
- 操作パネルから操作できない 505
- 画面に「×」が表示されて写真を選択できない 505
- 印刷が中断される 505
- 外部メモリーが認識されない 505
- 外部メモリーにデータを保存できない 505
- 動作音が大きい 506
- 日付や時刻がずれている 506
- ルート証明書の更新が必要になった 506
- 印刷設定メニューが表示されない（Mac OS） 507
- プリンターに触れたときに電気を感じる 507
- 発信者番号表示機能（ナンバー・ディスプレイ対応）が働かない 507
- 送信元のファクス番号が表示されない 507
- 受信ファクスに表示された送信元のファクス番号が間違っている 508
- 外付け電話機から電話ができない 508
- 留守番電話が応答しない 508
- 迷惑ファクスがよく届く 508

どうしても解決できないときは 508
- 印刷やコピーの問題が解決できない 509

製品情報 510

用紙情報 511
印刷できる用紙とセット枚数 511
消耗品情報 516
インクカートリッジ型番 516
メンテナンスボックスの型番 517
オプション品情報 517
オプションの型番 517
ソフトウェア情報 518
コンピューターから印刷するためのソフトウェア（Windowsプリンタードライバー） 518
コンピューターから印刷するためのソフトウェア（Mac OSプリンタードライバー） 519
PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア（Windows PostScriptプリンタードライバー） 520
PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア（Mac OS PostScriptプリンタードライバー） 521
書類をスキャンするソフトウェア（Document Capture Pro） 522
スキャナーを制御するソフトウェア（Epson Scan 2） 523
ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility） 523
ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー） 524
アドレス帳変換ツール（Windowsのみ） 525
ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config） 525
ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater） 528
ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin） 528
エプソン　認証印刷システム（Epson Print Admin） 529
設定メニュー一覧 529
本体設定 529
印刷ページ数の確認 568
消耗品情報 568
プリンターのお手入れ 568
言語選択/Language 569
情報確認/印刷 569
アドレス帳管理 570
ユーザー設定 571
認証システム 571
製品仕様 572
プリンター部の仕様 572
省資源機能 573
スキャナー部の仕様 573
ADFの仕様 574
ファクス部の仕様（ファクス対応機のみ） 574
プリンターが使用するポート 575
インターフェイスの仕様 577
ネットワークの仕様 577
PostScript Level 3との互換性 579
対応している他社サービス 579
対応外部メモリーの仕様 580
印刷できるファイルの仕様 580
外形寸法と質量の仕様 581
電気的仕様 581
動作時と保管時の環境仕様 582
設置場所と設置スペース 582
対応OS 584
フォントの仕様 584
ボックスの仕様 594
オプションの仕様 595
G3ファクスボードの仕様 595
増設カセットユニット(1段)-P1の仕様 595
増設カセットユニット(2段)-P2の仕様 595
専用プリンター台の仕様 596
無線LANユニットの仕様 596
規格と規制 596
電源高調波 596
瞬時電圧低下 597
電波障害自主規制 597
IPファクスの認可番号 597
著作権 597
複製が禁止されている印刷物 597
揮発性物質の放散 598

管理者向け情報 599

プリンターの管理 600
遠隔地にあるプリンターの情報を確認する 600
ネットワーク接続を管理する 600
イベント発生時にメール通知を受け取る 605
操作パネルの動作を設定する 607
パネル操作を制限する 608
ボックスの設定をする 610
無操作時の省電力設定をする 611
音の設定をする 612
内蔵ハードディスクのデータ消去方法を設定する 613
プリンター設定をバックアップやインポートする 614
ファームウェアをアップデートする 616
タイムサーバーと日付/時刻を同期する 618
内蔵メモリーのデータを消去する 619
アドレス帳を管理する 619
Web Configを使ってプリンターの電源を管理する 620
初期設定に戻す 620
ホーム画面のレイアウトを編集する 621
本体のセキュリティー設定 621
利用できる機能を制限する 621

USB接続や外部メモリーの接続を制限する 624
パスワード暗号化の設定 625
監査ログ機能を利用する 627
パスワードポリシーを設定する 627
アプリケーションのアクセスを制限する 628
PDLによるファイル操作を制限する 629
Web Configから管理者パスワードを変更する .. 629
起動時のプログラム検証 630
宛先ドメイン制限を設定する 630
ネットワークセキュリティー設定 631
利用するプロトコルを制御する 631
電子証明書を使う 636
プリンターとのSSL/TLS通信 644
IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する 645
IEEE802.1X環境にプリンターを接続する 657
S/MIMEの設定 661
ネットワークセキュリティーのトラブルを解決する 664
Epson Open Platformを利用する 670
Epson Open Platformの概要 670
Epson Open Platformを設定する 670
Epson Open Platformの有効確認 671
サービスとサポートのご案内 672
サービスとサポートのご案内 673
保守サービスのご案内 673
保守サービスの提供について 673
補修用性能部品および消耗品の保有期間 673
保守サービスの種類 673
お問い合わせ先 674

マニュアルのご案内

マニュアルの種類と内容 10

情報の探し方 10

ページを指定して印刷する方法 11

マニュアルの見方 11

商標 13

マニュアルのご注意 14

マニュアルの種類と内容

プリンターには以下のマニュアルが用意されています。マニュアル以外にも、いろいろなヘルプがプリンター本体やソフトウェアに組み込まれているのでご活用ください。

製品使用上のご注意（紙マニュアル）

製品を安全に使用するための注意事項を記載しています。

使い方ガイド（紙マニュアル）

プリンターを使えるようにするための準備、基本的な使い方や困ったときの解決方法などを説明しています。

掲示用マニュアル（電子マニュアル）

よく使われる機能の操作手順を1シートにまとめて説明しています。ポスターのように印刷できるので、プリンターの近くの壁などに貼って活用できます。

ユーザーズガイド（電子マニュアル）

このマニュアルです。PDFマニュアルとWebマニュアルがあります。プリンターの使い方全般やトラブルへの対処方法を説明しています。

最新マニュアルのご案内

最新のマニュアルを閲覧するには、以下のウェブサイトにアクセスし、製品名を入力して［サポート］をクリックしてください。

https://epson.sn

情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Acrobat Reader DCで開いた場合の使い方を説明します。

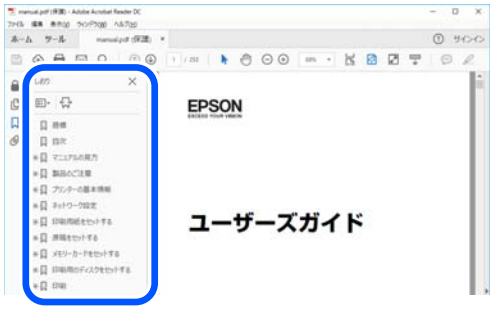
キーワードで検索する

［編集］メニューの［高度な検索］をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、［検索］をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。

しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。［+］または［>］をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

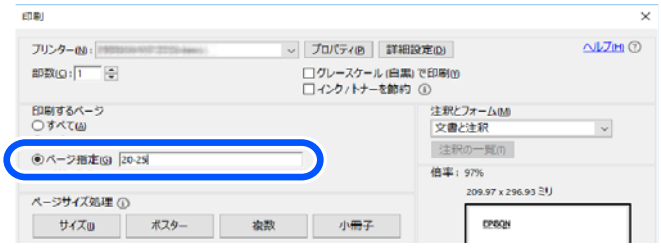
- Windows：［Alt］キーを押したまま←キーを押します。
- Mac OS：commandキーを押したまま←キーを押します。



ページを指定して印刷する方法

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。［ファイル］メニューの［印刷］または［プリント］をクリックし、［印刷するページ］の［ページ指定］で、印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
  例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
  例：5,10,15



マニュアルの見方

マニュアルに記載されている記号の意味やマニュアル記載の前提、OS表記について説明します。

記号の意味

⚠注意	この内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

操作手順をWeb動画マニュアルで確認できます。URLからご覧ください。
プリンターの操作パネルのメニューを説明するときに、以下のアイコンを使用しています。

管理者ロックによって操作を制限される項目です。

オプションが取り付けられているときに表示される項目です。

ライセンスキーを登録すると使用できるようになる項目です。

画面とイラストの前提

- プリンタードライバーの画面は、Windows 10またはmacOS High Sierra（10.13）での表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- イラストは一例です。機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。
- プリンター画面の設定項目は機種や設定状況によって異なります。
- QRコードは専用アプリで読み取れます。

OS表記の仕方

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Server 2022」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2022 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版

- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「Mac OS X 10.9.5」以降、「macOS 10.12」以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

商標

- マイクロソフトAzure、Excel、Internet Explorer、Microsoft 365、Microsoft Edge、PowerPoint、SharePoint、Windows、Windows Server、Windows Vista、Windows XPは、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、AirPrint、iPad、iPhone、iPod touch、TrueTypeは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。“iPhone”の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- The Mopria™ word mark and the Mopria™ Logo are registered and/or unregistered trademarks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.
- Chrome、Chrome OS、Android、Google Play はGoogle LLCの商標です。
- Albertus, Arial, Coronet, and Times New Roman are trademarks of Monotype Imaging Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- CG Omega, CG Times, Courier, Garamond Antiqua, Garamond Halbfett, Garamond Kursiv, and Garamond Kursiv Halbfett are trademarks of Monotype Imaging Inc. and may be registered in certain jurisdictions.
- Helvetica, Palatino, Times, and Univers are trademarks of Monotype Imaging Inc. registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- ITC Avant Garde, ITC Bookman, ITC Zapf-Chancery, and ITC Zapf Dingbats are trademarks of International Typeface Corporation registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- New Century Schoolbook is a trademark of Linotype AG and/or its subsidiaries.
- Wingdings is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- Antique Olive is a trademark of Madame Marcel Olive.
- Marigold is a trademark of Alpha Omega Typography.
- SAP and all SAP logos are trademarks or registered trademarks of SAP AG in Germany and in several other countries.
- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Reader、Acrobat Reader、Photoshop、PostScriptは、米国ならびに他の国におけるAdobeの登録商標または商標です。
  Copyright ©2024 Adobe Inc. All Rights Reserved.

- Wi-Fi®, Wi-Fi Direct®, and Wi-Fi Protected Access® are registered trademarks of Wi-Fi Alliance®. WPA™, WPA2™, WPA3™ are trademarks of Wi-Fi Alliance®.
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.
- Dropboxは、米国Dropbox Inc.の商標または登録商標です。
- Evernoteは、Evernote Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- HPは米国ヒューレットパッカード社の登録商標です。
- 「ナンバー・ディスプレイ」、「フレッツ光ネクスト」は東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Kofax© OCR 2024 Kofax Inc. All rights reserved.
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

©2024-2026 Seiko Epson Corporation

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害 16

インターネットへの接続に関するご注意 16

無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意 16

セキュリティーに関するご注意 16

管理者パスワードに関するご注意 17

外部記憶装置に関するご注意 18

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意 19

本製品の使用限定 19

本製品の保存情報の消去 19

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピューター、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

インターネットへの接続に関するご注意

本製品のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットへ接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。
セキュリティーの観点から、本製品はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティーに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。
本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

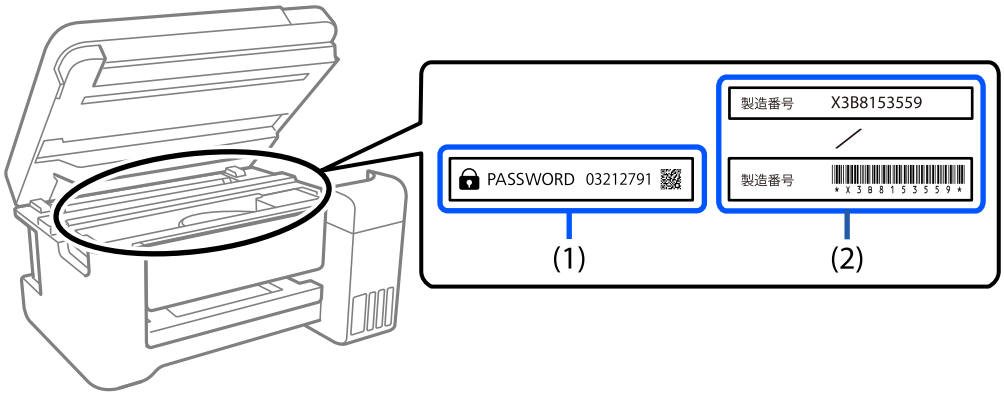
本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。
セキュリティー対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

管理者パスワードに関するご注意

本製品はネットワーク接続時に、製品本体に保持されている本体設定やネットワーク設定が第三者から不正に参照されたり、変更されたりすることを防ぐため、管理者パスワードの設定ができます。

管理者パスワードの初期値

管理者パスワードの初期値は、製品本体に貼られている以下のようなラベルに記載されています。ラベルの貼り付け位置は、カバーを開いた面、背面、底面など製品によって異なります。
下図はカバーを開いた面のラベル貼り付け位置の例です。



(1)、(2)のようなラベルが両方貼られている場合は、(1)のラベルに記載されているPASSWORDの値が初期値です。この例での初期値は03212791です。
(2)のラベルだけが貼られている場合は、(2)のラベルに記載されている製造番号（シリアルナンバー）が初期値です。この例での初期値はX3B8153559です。

管理者パスワードの変更

セキュリティー対策のため、管理者パスワードは初期値から変更することをお勧めします。
製品の操作パネル、Web ConfigおよびEpson Device Adminから変更できます。パスワードを変更する場合は、8文字以上の半角英数字および記号で設定してください。

関連情報

➡ 「操作パネルから管理者パスワードを変更する」44ページ
➡ 「コンピューターから管理者パスワードを変更する」44ページ

管理者パスワードの入力が必要な操作

以下の操作で管理者パスワードの入力を要求されたときは、管理者パスワードを入力してください。

- コンピューターやスマートデバイスから本体のファームウェアをアップデートするとき
- Web Configの詳細設定にログオンするとき
- 本体の設定変更ができるFAX Utilityなどのアプリケーションで設定するとき
- 管理者ロックがかかったメニューをプリンターの操作パネルで選択するとき

関連情報

➡ 「管理者ロックの対象項目」608ページ

管理者パスワードの初期化

管理者設定メニューから、管理者パスワードを初期設定に戻すことができます。パスワードを忘れて初期設定に戻せない場合は、修理が必要です。保守サービス実施店にご連絡ください。

関連情報

➡ 「操作パネルから管理者パスワードを変更する」44ページ
➡ 「コンピューターから管理者パスワードを変更する」44ページ
➡ 「お問い合わせ先」674ページ

外部記憶装置に関するご注意

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、外部記憶装置内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

譲渡と廃棄

外部記憶装置を譲渡、廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、外部記憶装置内のデータを完全に消去することをお勧めします。コンピューター上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、外部記憶装置を物理的に破壊することもお勧めします。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の保存情報の消去

本製品の利用環境を変更する際は、本製品のメモリーに保存されている、お客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（ネットワーク設定、ファクス搭載機の電話番号や宛先名称など）や自動的に保存されている情報（印刷やコピーデータ、フォントやマクロの作業領域など）を消去してください。
操作パネルで以下のメニューを選択して情報を消去します。

- ［設定］ - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［内部メモリーデータ削除］ - ［PDLのフォントとマクロと作業領域］
- ［設定］ - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［初期状態に戻す］ - ［全メモリー/設定の初期化］ - ［高速］、［上書き］、または ［3回上書き］

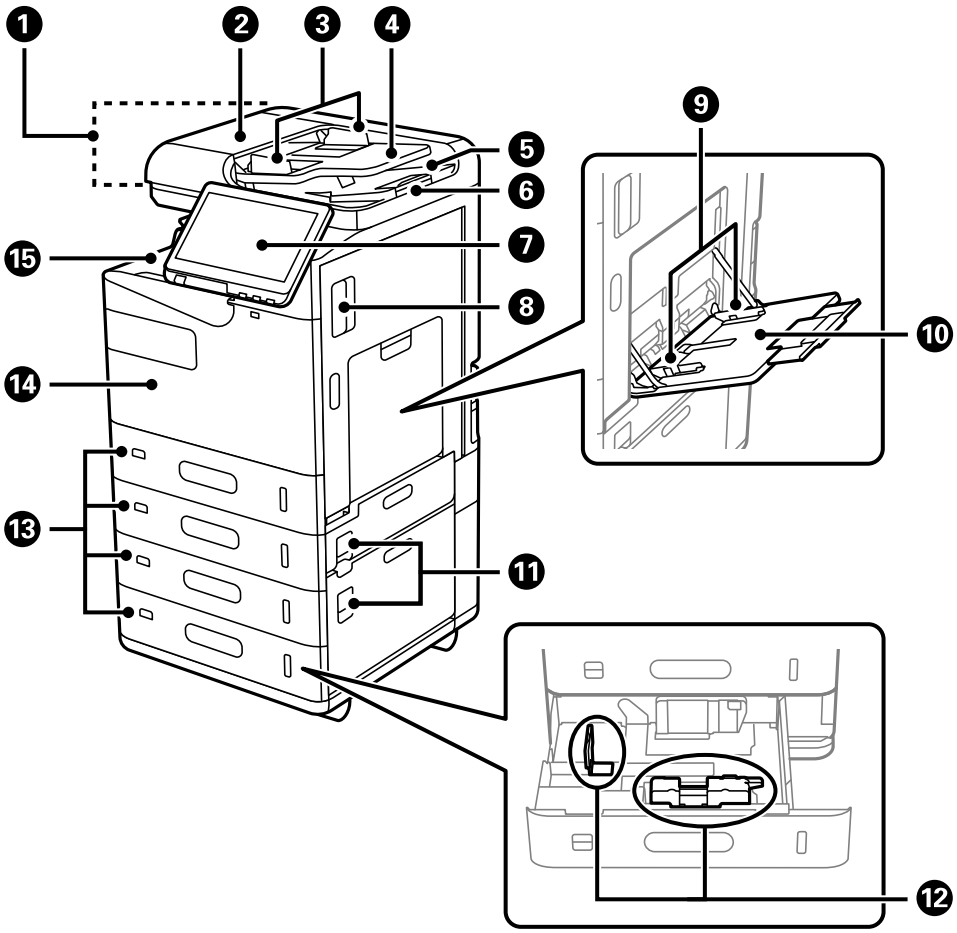
各部の名称と働き

前面 21

背面 23

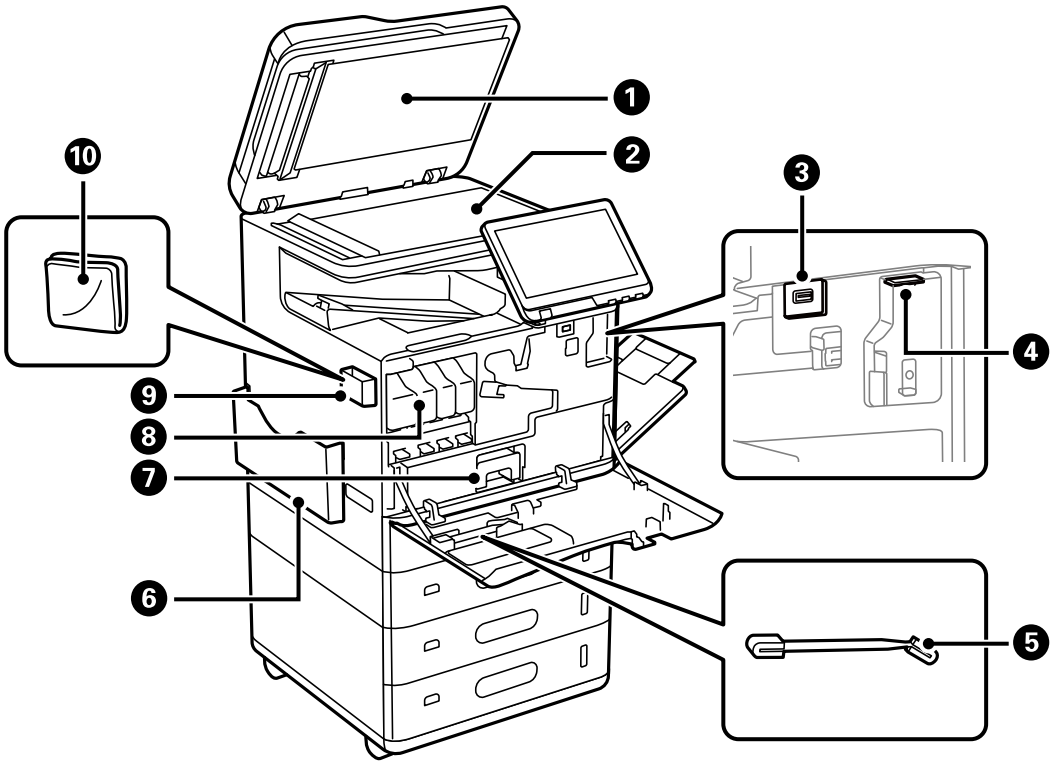
オプション 24

前面



❶	ADF（オートドキュメントフィーダー）	原稿を自動で送ります。
❷	ADFカバー（F）	ADFに詰まった原稿を取り除くときに開けます。
❸	ADF原稿ガイド	原稿をまっすぐ送るためのガイドです。原稿の側面に合わせてください。
❹	ADFトレイ	複数枚の原稿を一度にセットできます。
❺	ADF排紙トレイ	ADFから排出された原稿を保持します。
❻	ストッパー	排出された原稿がADF排紙トレイから落下するのを防ぎます。
❼	操作パネル	プリンターの操作や設定をします。また、プリンターの状態を表示します。
❽	カバー（D1）	詰まった用紙を取り除くときに開けます。
❾	用紙ガイド	用紙をまっすぐ送るためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。
❿	手差しトレイ（B）	用紙をセットします。本製品で使用できる全ての用紙（厚紙や封筒を含む）をセットできます。

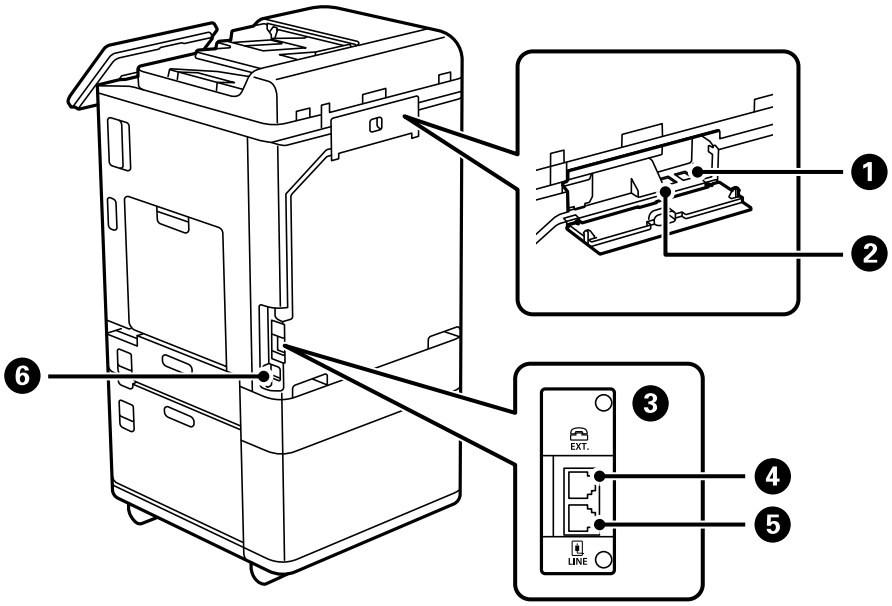
⓫	カバー（E、H）	詰まった用紙を取り除くときに開けます。
⓬	用紙ガイド	用紙をまっすぐ送るためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。
⓭	用紙カセット1、2、3、4（C1、C2、C3、C4）	用紙をセットします。C2とC3、C4はオプションです。
⓮	前面カバー（A）	インクカートリッジやメンテナンスボックスを交換するときに開けます。 盗難防止のために南京錠でカバーをロックすることもできます。
⓯	フェイスダウン排紙トレイ（G）	排紙された用紙を保持します。



❶	原稿カバー	原稿の読み取り時に外部の光を遮ります。
❷	原稿台	原稿をセットします。ADFで給紙できない封筒や本など、厚みのある原稿もセットできます。
❸	外部機器接続用USBポート	USBメモリーなどの外部メモリーを挿入します。
❹	Wi-Fiユニットポート	無線LAN接続するために、オプションの無線LANユニット・P1を装着します。
❺	クリーニング棒	プリンター内部を清掃する部品です。
❻	マニュアル入れ	マニュアルなどを収納します。
❼	メンテナンスボックス	クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。
❽	インクカートリッジ	4色全てのインクカートリッジをセットします。

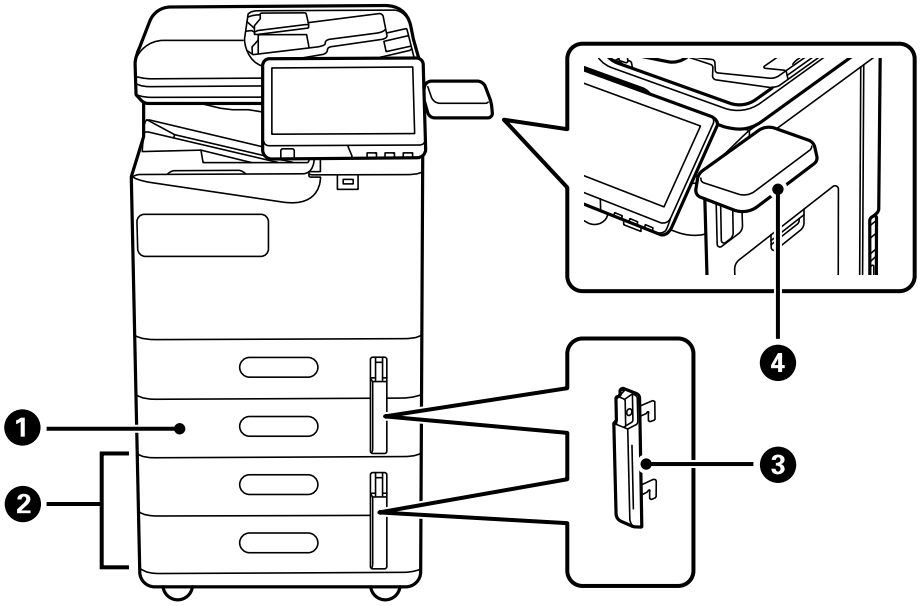
❾	クリーニングクロス入れ	クリーニングクロスを収納します。
❿	クリーニングクロス	読み取りガラスの表面をきれいにします。

背面

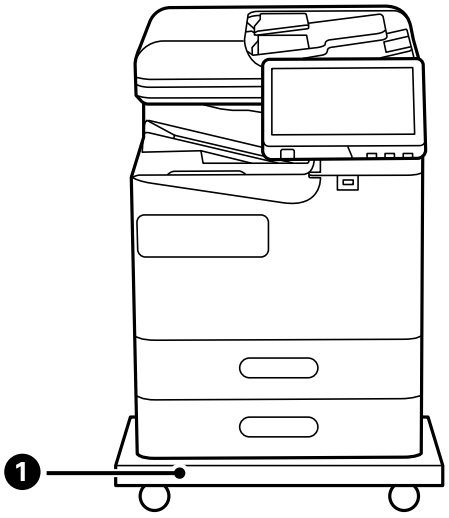


❶	USBポート	USBケーブルを接続します。
❷	LANポート	LANケーブルを接続します。
❸	増設用スロット	オプションのG3ファクスボードを装着します。
❹	EXT.ポート	外付け電話機を接続します。
❺	LINEポート	電話回線を接続します。
❻	電源コネクター	電源コードを接続します。

オプション



❶	増設カセットユニット（1段）-P1	用紙カセット（C2）を増設できます。
❷	増設カセットユニット（2段）-P2	用紙カセット（C3、C4）を増設できます。
❸	カセットロック・P1	用紙を管理したいときに、2段の用紙カセットに取り付けて南京錠でロックします。
❹	認証デバイス台・P1	認証装置をセットしておきます。使用するときは認証カードをかざすとログオンできます。



❶	プリンター台（専用プリンター台・P1）	専用プリンター台です（用紙カセット3と4は装着不可）。キャスター付きでプリンターの移動ができます。

操作パネルの見方と使い方

操作パネル 26

ホーム画面の見方 27

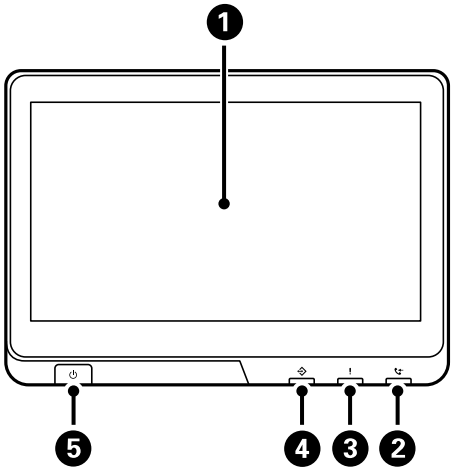
メニュー画面の見方 31

ジョブ/状態画面の見方 32

文字入力の仕方 34

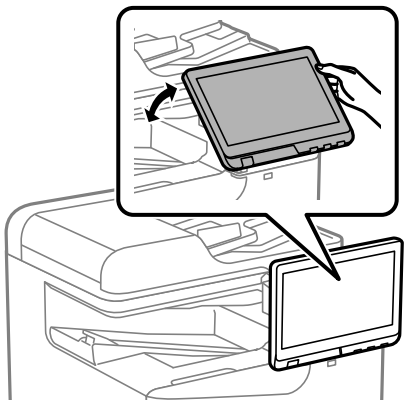
印刷中に表示される画面 35

操作パネル



1	タッチパネル 操作項目やメッセージを表示します。 一定の時間（初期値は1分）以上操作しないとスリープモードになり、表示が消えます。タッチパネルをタップすると復帰します。 設定によっては、操作パネルのボタンを押すことにより、スリープモードから元の明るさに復帰します。
2	ファクス受信ありランプ まだ処理していないファクスがある場合に点灯します。
3	エラーランプ エラー発生時に点滅または点灯します。 エラー内容は画面に表示されます。
4	データランプ データ処理中に点滅、待機中のジョブがあるときに点灯します。
5	電源ボタン、電源ランプ

操作パネルは角度を変えることができます。



タッチパネル使用上のご注意

- パネルは指でタッチしてください。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。
- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- 画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- パネルを強く押さえつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。パネルが割れるおそれがあります。割れてしまったときは、破片に触れたりパネルを取り外そうとしたりせず、保守サービス実施店に修理を依頼してください。

ホーム画面の見方

❶	**タイトル** 現在の画面を示します。

<table>
<tr><td>❷</td><td colspan="2">各項目の情報を表示します。グレー表示の項目は設定できません。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td>プリンター状態画面を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td>ネットワークの接続状態を表示します。詳しくは以下を参照してください。
「ネットワークアイコンの見方」30ページ</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td>［機器出力音設定］画面を表示します。
［ミュート］と［動作音低減モード］を設定できます。この画面から［音の設定］メニューを表示することができます。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td>［動作音低減モード］になっているかいないかを示しています。プリンターの動作音は抑えられますが、印刷速度は遅くなります。ただし、選択した用紙種類や印刷品質によっては、動作音が変わらないことがありま す。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td>［ミュート］になっていることを示しています。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td>タップするとプリンターはスリープ状態になります。アイコンがグレーアウトしているときは、スリープモードにできません。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td>［ヘルプ］画面を表示します。困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順が確認できます。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td>利用者が制限されていることを示します。アイコンを選択するとログオン画面が表示されます。ユーザー名を選択して、パスワードを入力してください。ログオン情報は、プリンターの管理者に確認してください。
 が表示されているときは、利用を許されているユーザーがログオン中です。アイコンを選択してログオフします。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td>新しいファームウェアがあると表示されます。
ファームウェアをアップデートして、プリンターの機能を向上させる場合にタップします。最新版にしてお使いください。</td></tr>
</table>

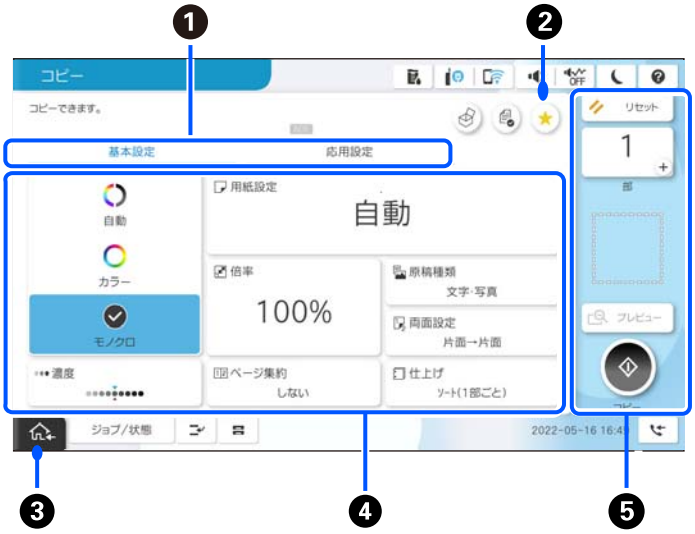
❸	各メニューが表示されます。 また、メニューアイコンは位置や順番を動かすことができます。 • コピー 文書をコピーできます。 • スキャン 文書をスキャンして外部メモリーやコンピューターに保存できます。 • ファクス ファクスを送信できます。 • お気に入り コピーやファクス、スキャンでよく使う設定値をお気に入りとして登録できます。 • 外部メモリーから印刷 プリンターにセットしたUSBメモリーなどの外部メモリー内のJPEGやTIFF、PDFデータを印刷します。 • ボックス プリンターに内蔵されたハードディスクに文章を保存して、必要なときに閲覧や印刷、ファイルとして出力などができます。 • ファクスボックス 受信した文書の保存や送信する文書の蓄積、受信側の操作で送信（ポーリング送信）する文書の蓄積ができます。 • 本体メモリーからの印刷 プリンタードライバーから送信したジョブを一旦プリンター本体に保存してから印刷します。パスワード印刷や複数部印刷するときの試し印刷ができます。 • クイックダイヤル アドレス帳に登録した宛先をクイックダイヤルに登録しておくと、素早くファクスを送信できます。 • 本体情報を送信 が表示されているときは、スマートチャージサーバーにプリンター情報（個人情報は除く）を送信できます。保守サービス実施店の指示に従って操作してください。 • 設定 プリンターのお手入れやいろいろな機能、動作に関する設定ができます。 • おまかせクリーニング きれいに印刷できないときに試していただきたいお手入れのメニューです。自動でノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返すことで印刷結果を改善します。 • 便利機能紹介 便利な機能を紹介します。

❹	ジョブの情報やプリンターの状態を表示します。プリンターの状態によって、表示内容は変わります。	
	ジョブ/状態	実行中や実行待ちのジョブ数を表示します。タップするとジョブの内容や受付時間、ユーザー名などの一覧が表示されます。表示される件数は、現在溜まっているジョブ件数です。
		実行中の印刷ジョブを中断して、プリンターが受信済みの印刷ジョブやコピーなどを割り込んで実行できます。ただし、コンピューターから新しい印刷データを割り込ませることはできません。 割り込み動作終了後にをタップすると、中断した動作を再開します。
		［用紙設定］画面を表示します。給紙装置ごとに用紙のサイズと用紙の種類が設定できます。
	割り込み情報/エラー情報/ジョブ名/未読ファクスあり	エラーや実行中のジョブ、割り込み中、未読ファクスなどの有無が表示されます。
	中止ボタン	実行中のジョブを一時停止、または中止します。
	時計	時計
		表示される件数は、受信してから未処理（未読や未出力）となっているファクスの件数です。
❺	ホーム画面に戻ります。	

ネットワークアイコンの見方

	有線LAN非接続または無線LAN非接続
	有線LAN接続中
	SSID検索中、IPアドレス未設定、電波強度が0または弱い
	無線LAN（Wi-Fi）接続中 線の数は電波の状態を示します。線の数が多いほど、電波の状態は良好です。
	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続無効
	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続有効

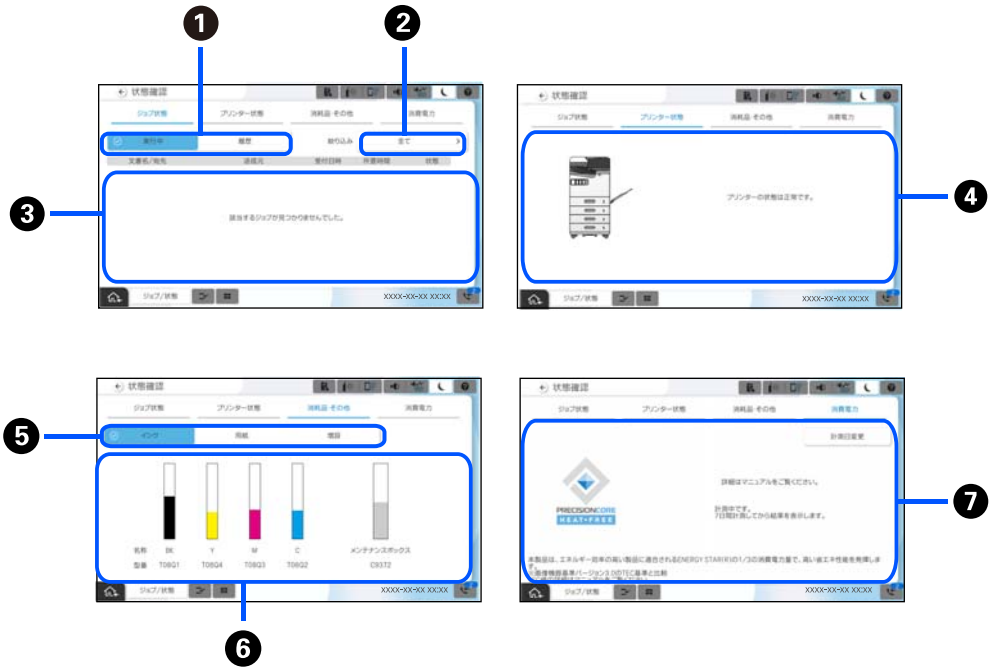
メニュー画面の見方



❶	設定項目の一覧をタブで切り替えます。［基本設定］タブでは、よく使われる設定項目が表示されます。［応用設定］タブには、必要に応じて設定する項目が表示されます。	
❷	お気に入りリストを表示します。現在の設定をお気に入りとして登録したり、登録したお気に入りを読み込んだりできます。	
❸	ホーム画面に戻ります。	
❹	設定項目の一覧が表示されます。 が表示されているときは、アイコンを選択すると補足情報を確認できます。設定値を選択する（チェックを付ける）か、設定項目をタップして表示される画面で設定します。ユーザーデフォルト設定や出荷時の設定から変更した項目には、●が表示されます。 は、環境に配慮した設定の場合に表示されます。 グレー表示の項目は設定できません。タップすると、設定できない理由が確認できます。 項目に問題がある場合は、 が表示されます。アイコンを選択すると、対処方法を確認できます。	
❺	現在の設定で操作を実行します。表示される項目はメニューによって異なります。	
	部	数字を選択するとキーパッド画面が表示されて、部数を入力できます。
	リセット	タップすると、ユーザー設定値に戻します。
	プレビュー	コピーやファクス送信の前にイメージを確認できます。
	◇	印刷やコピー、スキャン、ファクスを開始します。

ジョブ/状態画面の見方

操作パネル上でジョブ/状態を選択すると、ジョブ/状態メニューを表示します。プリンターの状態やジョブの確認ができます。



1	表示するリストを切り替えます。
2	機能別にジョブを絞ります。
3	［実行中］のリストでは、実行中または予約中のジョブを表示します。 ［履歴］のリストでは、ジョブ履歴を表示します。 ジョブのキャンセルや、失敗したジョブのエラーコードを履歴で確認できます。
4	プリンターに発生したエラーを表示します。エラーメッセージを確認するには、リストからエラーを選択してください。
5	表示するリストを切り替えます。 増設用スロットを使用しているときは、タブを切り替えるとオプションの状態が表示されます。詳しくは関連情報をご覧ください。
6	インク残量やメンテナンスボックス空き容量を表示します。

❼	推定消費電力量を表示します。 表示電力量は一般的な使用の目安値であり、本製品の使用方法によって異なる場合があります。 以下の計算式で計算されます。 <本製品で用紙1枚に印刷をするために必要となる電力量>×<過去7日間に印刷した枚数> 本製品の消費電力については、下の説明をご覧ください。 ※1枚の印刷に使用したデータは、TEC値測定データISO/IEC10561 1999テストパターンAです。 本製品の消費電力について 本製品のTEC値*1は国際エネルギースタープログラムに適合するための基準値*2の約1/3です。

*1： TEC（Typical Electricity Consumptionの略）は、標準的な1週間（稼働とスリープ/オフが繰り返される5日間＋スリープ/オフの2日間）の消費電力量（kWh）です。この値は、「国際エネルギースタープログラム」に適合するための基準値として使用されています。本製品のTEC値についてはエプソンのウェブサイトをご覧ください。

*2： 国際エネルギースタープログラムに適合するための基準値は、省エネ性能の優れた上位25%の製品が適合となるように設定されています。

関連情報

➡ 「ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された」490ページ
➡ 「オプション品情報」517ページ

ジョブ予約

コピーや印刷中でも、ADFや原稿台を使っていないときには、ジョブを予約できます。

予約には特別な操作は不要です。通常の操作で◈を選択すると、実行中のジョブが終わり次第印刷されます。

予約できるジョブの種類は以下の通りです。実行中のジョブを含めて150件まで予約できます。

- 印刷
- コピー
- ファクス送信

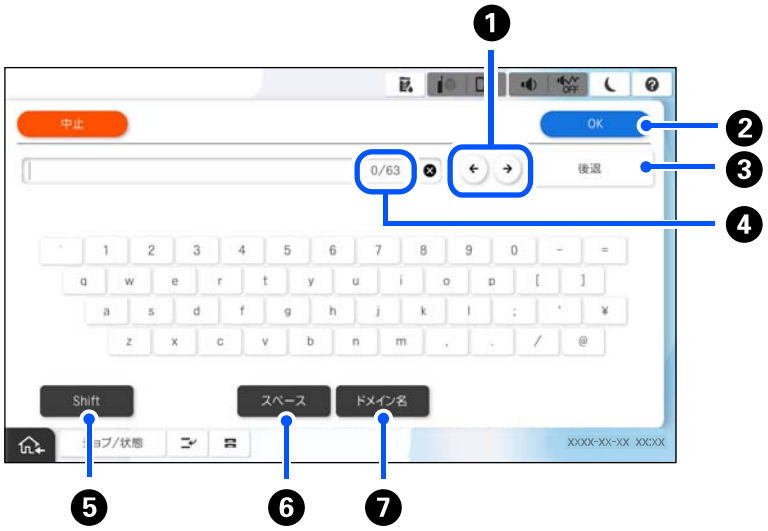
ジョブアイコンの見方

	一般的な印刷ジョブを表します。
	ファクスレポート印刷などレポートの印刷ジョブを表します。
	スキャンデータ送信などデータ送信ジョブを表します。
	ファクス受信ジョブを表します。
	ファクス送信ジョブを表します。

	ファクス受信印刷を表します。
	ファクス外部メモリー保存などデータの保存ジョブを表します。
	スキャンtoメール送信などメールの送信ジョブを表します。

文字入力の仕方

ネットワーク設定などでのパスワード入力などでは、キーボード画面で文字を入力します。



❶	カーソル（入力位置を示す縦棒）を移動します。
❷	入力した文字を確定します。
❸	カーソル（入力位置を示す縦棒）の左側の1文字を削除します。カーソルが先頭にある場合（左側に文字がない場合）は、右側の1文字を削除します。
❹	入力済みの文字数/入力可能な最大文字数
❺	アルファベットの大文字や小文字、数字や記号を切り替えます。
❻	スペースを入力します。
❼	メールアドレスやURLでよく使われるドメイン名（@やwww.の後）を表示します。ドメイン名を選択するだけで簡単に入力できます。

印刷中に表示される画面

印刷中などの待ち時間にヒントを表示できます。この機能はパスワード印刷やEpson Print Admin Serverlessを使った印刷で表示されます。

参考 待機中に表示される項目は、管理者が Web Config で設定できます。
以下の関連情報を参照してください。

関連情報

➡ 「操作パネルの動作を設定する」607ページ

プリンターの準備と初期設定

プリンターの準備と初期設定の全体の流れ 37

オプションの取り付け 39

ネットワークの接続と設定 43

用途に合わせた設定 63

印刷、スキャン、コピー、ファクスの設定 110

設定時のトラブルを解決する 163

プリンターの準備と初期設定の全体の流れ

ここでは、本製品をネットワークに接続して共有プリンターとして利用できるようにするために、必要な作業について説明します。
プリンターの管理者が作業してください。

関連情報

- 「プリンターの準備」37ページ
- 「パネルロックで設定を保護する」45ページ
- 「ネットワークの接続」37ページ
- 「各機能の利用に必要な準備の概要」38ページ
- 「プリンターの設定手段」38ページ

プリンターの準備

準備段階で必要に応じてプリンターにオプションあるいは認証装置を取り付けてください。

関連情報

- 「オプションの無線LANユニット・P1を取り付ける」39ページ
- 「オプションのカセットロック・P1を取り付ける」41ページ

一般ユーザーがプリンターの設定を変更できないようにする

一般ユーザーがプリンターの設定を変更できないように、本製品をご利用になる前に以下を行うことをお勧めします。

- 管理者パスワードの変更
- ［パネルロック］の設定（プリンター管理者が操作パネルのメニュー項目をロックできる機能）

関連情報

- 「管理者パスワードの変更」44ページ
- 「パネルロックで設定を保護する」45ページ

ネットワークの接続

本製品をネットワークに接続して共有プリンターとして利用できるようします。
必要に応じてTCP/IPやプロキシサーバーの設定などをします。

関連情報

- 「ネットワークの接続と設定」43ページ

各機能の利用に必要な準備の概要

プリンターの利用方法や使用環境に応じて以下の操作ができます。

項目	説明
メールサーバーを設定する	スキャンしたデータや受信したファクスデータをメールに転送したり、プリンターの状態を特定の人にメール通知したりする場合は、メールサーバーの設定をします。 「メールサーバーを設定する」65ページ
共有ネットワークフォルダーを設定する	スキャンしたデータや受信したファクスデータを共有フォルダーに転送する場合に設定します。
アドレス帳を使えるようにする	ファクスやメールやスキャンしたデータやファクス転送データの宛先をアドレス帳に登録する場合に設定します。 「アドレス帳の登録」90ページ
LDAPサーバーの登録ユーザーを宛先に利用できるようにする。	LDAPサーバーをご利用の場合は、本製品からLDAPサーバーのアドレス帳を利用できるように設定します。
印刷の初期設定	給紙装置の設定や印刷のデフォルト設定をご利用の環境に合わせてカスタマイズします。他社の印刷サービスを使うための設定などを行います。
スキャンの初期設定	コンピューターからのスキャン機能や、操作パネルからスキャン to XXX機能を使うための設定などを行います。 「スキャンの前に必要な準備」120ページ
ファクス機能を使えるようにする	電話回線への接続、ファクスの送受信設定を行います。

本製品へのセキュリティー設定、その他の管理設定は以下の関連情報をご覧ください。

関連情報

- 「用途に合わせた設定」63ページ
- 「印刷、スキャン、コピー、ファクスの設定」110ページ
- 「管理者向け情報」599ページ

プリンターの設定手段

プリンターを設定するにはいくつかの方法があります。

関連情報

- 「プリンターの操作パネルで設定する」39ページ
- 「コンピューターからWeb Configで設定する」39ページ
- 「コンピューターからEpson Device Adminで設定する（Windowsのみ）」39ページ

プリンターの操作パネルで設定する

パネルロックを有効にしている場合は、ロックされた機能を操作するには管理者パスワードが必要になります。
詳細は、以下の関連情報を参照してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

コンピューターからWeb Configで設定する

Web Configは、設定確認や変更がブラウザー上でできる、プリンター内蔵のウェブページです。ネットワークに接続されているプリンターを管理者のコンピューターから操作できます。
Web Configを使用するには、事前にプリンターにIPアドレスを設定しておく必要があります。

参考
- IPアドレスの設定前は、コンピューターとプリンターをLANケーブルで直接接続して初期値のIPアドレスを指定すると、Web Configを開くことができます。
- HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されますが、問題ありません。
- Web Config起動後に管理用ページを開くには、管理者パスワードでログオンが必要です。

詳細は、以下の関連情報を参照してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

コンピューターからEpson Device Adminで設定する（Windowsのみ）

複数のプリンターをまとめてセットアップする場合は、Epson Device Adminを使用してください。

関連情報

➡ 「エプソン　認証印刷システム（Epson Print Admin）」529ページ

オプションの取り付け

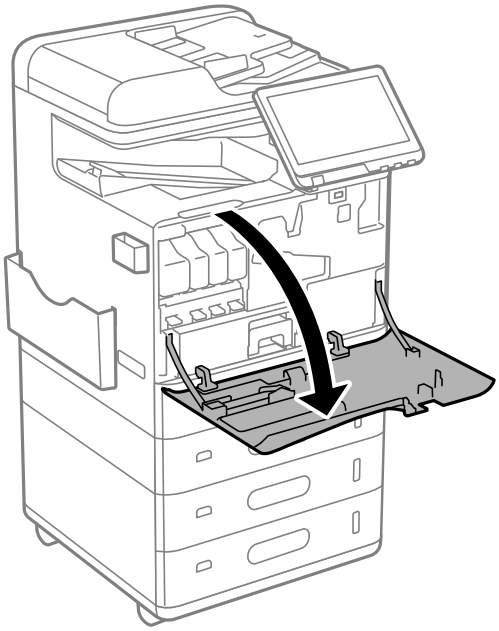
プリンターへのオプションの取り付け手順について説明します。

オプションの無線LANユニット・P1を取り付ける

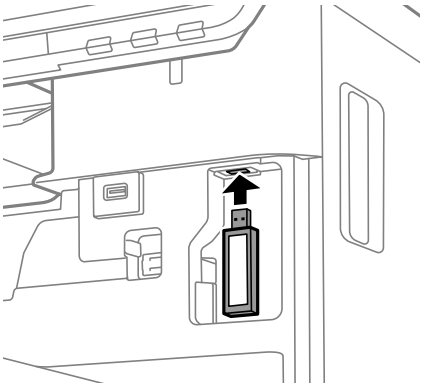
!重要 無線LANユニット・P1 に付いている折りたたみ式シートには、安全規格認証番号が記載されているため、取り外さないでください。

1. プリンターの電源を切ります。

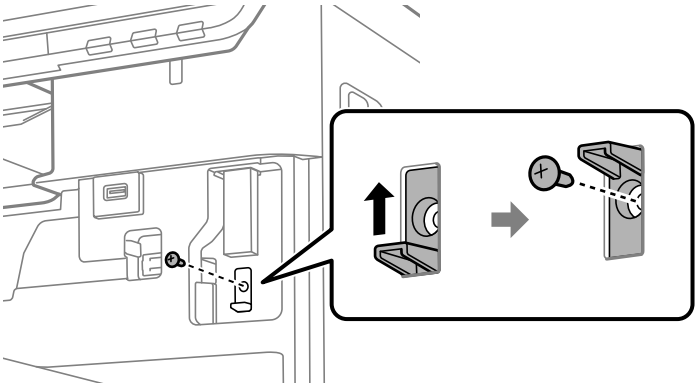
2. 前面カバーを開けます。



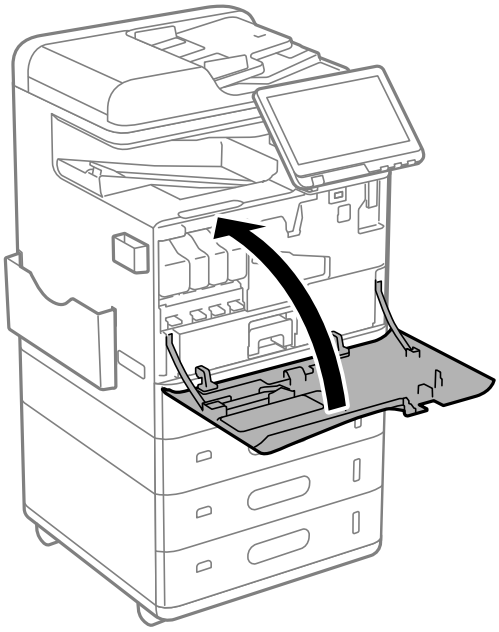
3. 無線LANユニット・P1の折りたたみ式シートを手前にして、上側のWi-Fiユニットポートにしっかりと差し込みます。



参考 無線LANユニット・P1をロックするときは、プラスドライバーを使ってネジを外してロックレバーを上側にスライドした状態でネジを固定してください。



4. 前面カバーを閉めます。



5. プリンターの電源を入れて、操作パネルに が表示されることを確認します。

が表示されない場合は、プリンターの電源を入れ直してください。

関連情報

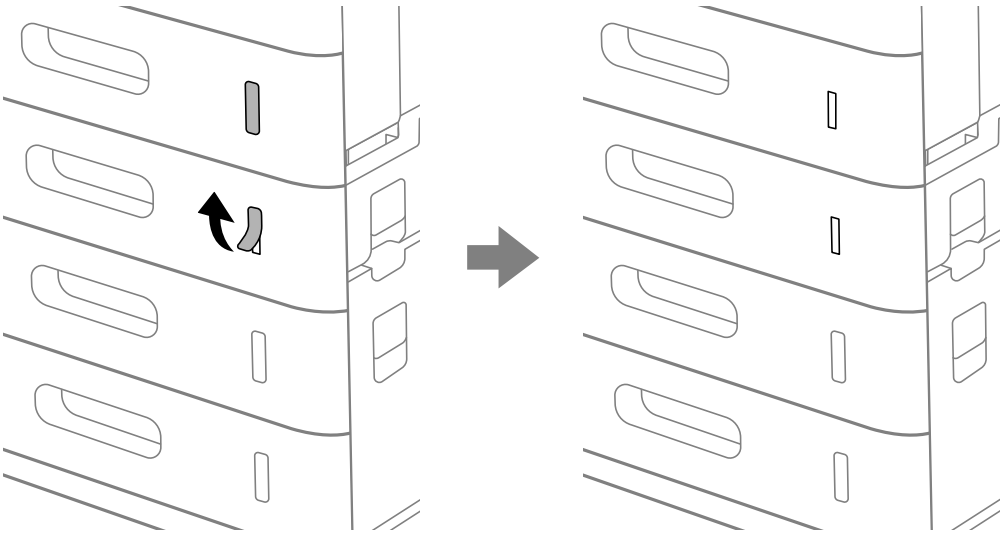
➡ 「プリンターをネットワークに接続する」46ページ

オプションのカセットロック・P1を取り付ける

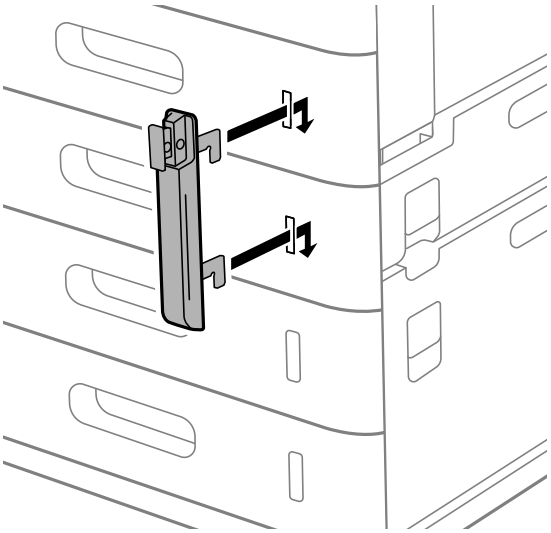
用紙カセットには、オプションのカセットロック・P1を取り付けられます。管理者が用紙を管理したい場合に便利です。

参考 カセットロック・P1の取り付け、およびロックには、南京錠を準備してください。

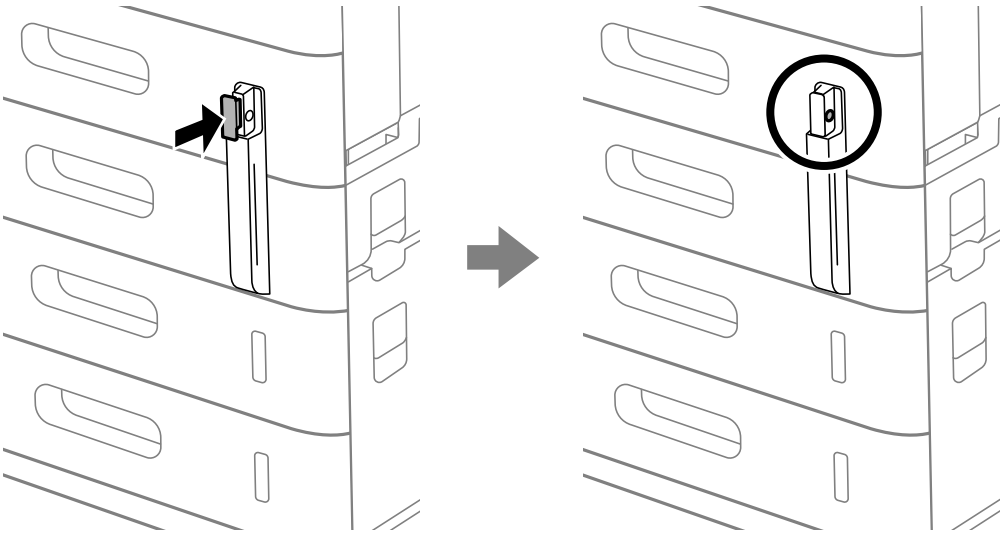
1. 用紙カセットからシールをはがします。



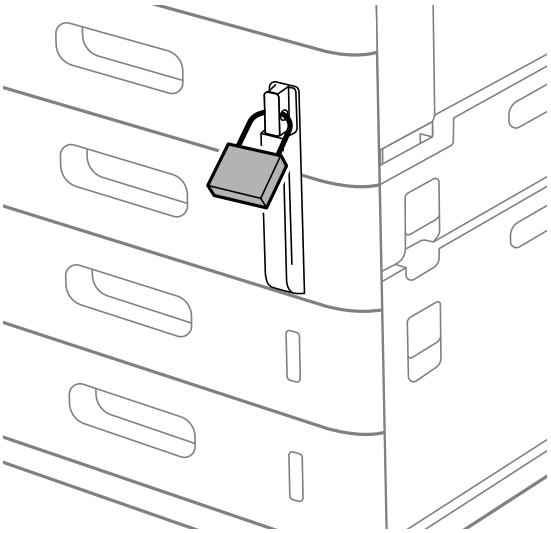
2. カセットロック・P1を取り付けます。



3. イラストで示す箇所を押して、穴の位置を合わせます。



4. 南京錠を穴に通します。



鍵はなくさないように保管してください。

参考 用紙の補給などでカセットロック・P1を取り外すときは、取り付け方法の逆の手順で作業してください。

関連情報

➡ 「オプションの型番」517ページ

ネットワークの接続と設定

ここでは、同じネットワーク内のユーザーがプリンターを利用できるように、必要な設定について説明します。

管理者パスワードの変更

本製品には管理者パスワードが設定されています。本製品をご利用になる前に初期パスワードの変更をお勧めします。管理者パスワードを忘れてしまうと、管理者ロック項目の設定変更ができなくなり、サービスマンによる解除が必要になりますのでご注意ください。

関連情報

- 「管理者パスワードに関するご注意」17ページ
- 「操作パネルから管理者パスワードを変更する」44ページ
- 「コンピューターから管理者パスワードを変更する」44ページ

操作パネルから管理者パスワードを変更する

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［セキュリティー設定］ - ［管理者設定］ - ［管理者パスワード］ - ［変更］の順に選択します。
3. 現在のパスワードを入力します。

   参考 管理者パスワードの初期値は、関連情報をご覧ください。

4. 画面の指示に従い、新しいパスワードを設定します。

   参考 パスワードを初期設定に戻す場合は、操作パネルで以下のメニューを選択します。
   ［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］-［管理者設定］-［管理者パスワード］-［初期設定に戻す］

関連情報

- 「管理者パスワードの変更」17ページ

コンピューターから管理者パスワードを変更する

Web Configを使って管理者パスワードを設定します。Web Config使用時は、プリンターをネットワークに接続する必要があります。プリンターがネットワークに接続していない場合は、LANポートとコンピューターをLANケーブルで直接接続してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

   参考 ユーザー名の初期値は空白です。
   管理者パスワードの初期値は、下の関連情報をご覧ください。

   ［ログオン］を選択し、管理者パスワードを入力して［設定］をクリックします。

3. ［本体セキュリティー］タブ-［管理者パスワード変更］を選択します。

4. ［現在のパスワード］に現在のパスワードを入力して、［新しいパスワード］と［新しいパスワードの確認］に新しいパスワードを入力します。必要ならユーザー名を入力します。

5. ［設定］を選択します。

参考 管理者パスワードを初期パスワードに戻すには、［管理者パスワード変更］画面で［購入時の設定に戻す］を選択します。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの変更」17ページ

パネルロックで設定を保護する

ネットワークに接続されているときに、権限のないユーザーによるプリンター設定やネットワーク設定の閲覧や変更ができないように、管理者がパネルロックの機能で操作パネルのメニュー項目をロックすることができます。ロックされたメニュー項目を操作するには管理者でログオンする必要があります。

参考 パスワードは後で変更できます。

関連情報

➡ 「操作パネルの動作を設定する」607ページ

操作パネルから管理者ロックを有効にする

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［セキュリティー設定］ - ［管理者設定］の順に選択します。

3. ［管理者ロック］から［オン］を選択します。

ホーム画面に が表示されていることを確認してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

コンピューターから管理者ロックを有効にする

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. パスワードを入力して［確認］をクリックします。

3. 以下の順に選択します。
   ［デバイス管理］タブ - ［パネル］

4. ［パネルロック］から［オン］を選択します。

5. ［設定］をクリックします。

6. プリンターの操作パネルのホーム画面で が表示されていることを確認してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

操作パネルからプリンターにログオンする

1. をタップします。

2. 管理者パスワードを入力して、［OK］をタップします。

   認証されると画面に が表示され、ロックされているメニュー項目が操作できるようになります。

   ログオフするには をタップします。

参考 ［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［無操作タイマー設定］を［オン］にすると、一定時間操作パネルを操作しない場合に自動でログオフします。

プリンターをネットワークに接続する

プリンターをネットワークに接続するには、以下の方法があります。

- 操作パネルで詳細設定して接続する
- インストーラーを起動して接続する
  インストーラーはウェブサイトやソフトウェアディスク（プリンターにソフトウェアディスクが同梱されていて、ソフトウェアディスクを使用できる場合）から起動できます。

ここでは、プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続する手順を説明します。

ネットワーク接続の前に

ネットワーク接続するには、接続方法と接続のための設定情報を事前に確認してください。

接続設定情報の収集

接続に必要な設定情報を用意します。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	備考
デバイス接続方法	• 有線LAN • 無線LAN	プリンターをネットワークに接続する方法を決定します。 有線LANは、LANスイッチ（ハブ）に接続します。 無線LANはアクセスポイントのSSIDに接続します。
LAN接続情報	• IPアドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ	プリンターに割り当てるIPアドレスを決定します。 静的にIPアドレスを割り当てる場合は、全ての項目の値が必要です。 DHCP機能で動的にIPアドレスを割り当てる場合は、自動設定されるのでLAN接続の情報は不要です。
無線LAN接続情報	• SSID • パスワード	プリンターを接続するアクセスポイントのSSID（ネットワークの名称）、パスワードです。 MACアドレスフィルタリング設定がされている場合は、プリンターを登録できるように事前にMACアドレスの登録をしておいてください。 対応している規格は以下をご覧ください。 「無線LANユニットの仕様」596ページ
DNSサーバー情報	• プライマリーDNSのIPアドレス • セカンダリーDNSのIPアドレス	DNSサーバーを指定する場合に必要です。セカンダリーDNSはシステムを冗長構成にしてセカンダリーDNSサーバーがある場合に設定します。 小規模なネットワークでDNSサーバーを構築していない場合は、ルーターのIPアドレスを設定します。
プロキシサーバー情報	• プロキシサーバー名	イントラネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用しているネットワーク環境において、プリンターが直接インターネットにアクセスする機能を使用する場合は設定してください。 以下の機能はプリンターが直接インターネットにアクセスします。 • Epson Connectサービス • 他社のクラウドサービス • ファームウェア更新
ポート番号情報	• 開放するポート番号	プリンターやコンピューターが各機能で使用するポート番号を確認して、ファイアウォールでブロックされているポートを、必要に応じて開放してください。 プリンターが使用するポート番号の情報は以下をご覧ください。 「プリンターが使用するポート」575ページ

IPアドレスの割り当て

IPアドレス（IPv4）の割り当てには、以下のタイプがあります。

固定IPアドレス：

あらかじめ決めたIPアドレスを手動でプリンター（ホスト）に割り当てます。
ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）を手動で設定する必要があります。

デバイスの電源を切ってもIPアドレスは変更されないので、IPアドレスの変更を追従できない環境やIPアドレスでデバイスを管理したい場合に利用できます。多数のコンピューターがアクセスする、プリンターやサーバーなどへの設定をお勧めします。また、IPsec／IPフィルタリングなどのセキュリティー機能を利用する場合は、IPアドレスが変更されないよう固定IPアドレスを割り当ててください。

DHCP機能による自動割り当て（動的IPアドレス）：

DHCPサーバーやルーターのDHCP機能を使って自動でIPアドレスをプリンター（ホスト）に割り当てます。
ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）も自動で設定されるので、デバイスのネットワークへの接続が容易にできます。
デバイスやルーターの電源を切る、または、DHCPサーバーの設定により、再接続の際にIPアドレスが変更になる場合があります。
IPアドレス以外でのデバイス管理やIPアドレスを追従できるプロトコルでの通信をお勧めします。

参考 DHCPのIPアドレス予約機能を使用すると、常にデバイスに同じIPアドレスを割り当てることができます。

DNSサーバー、プロキシサーバーについて

DNSサーバーは、ホスト名やメールアドレスのドメイン名などとIPアドレスの情報を関連付けて持っています。
コンピューターやプリンターがIP通信をするときに、ホスト名やドメイン名などで相手先を記述すると通信ができません。
その情報をDNSサーバーに問い合わせ、相手先のIPアドレスを取得します。この処理を名前解決と言います。
これによりコンピューターやプリンターなどのデバイスは、IPアドレスを使って通信ができるようになります。
プリンターがメールを使ったり、インターネット接続をして通信したりするには、名前解決が必要です。
これらの機能を使用するには、DNSサーバーの設定をしてください。
プリンターのIPアドレスをDHCPサーバーやルーターのDHCP機能で割り当てる場合は自動設定されます。
プロキシサーバーはネットワークとインターネットとの出入り口に配置され、コンピューターやプリンターとインターネット（相手サーバー）の代理でそれぞれのデバイスと通信します。相手サーバーはプロキシサーバーとだけ通信しているように見えます。よって、プリンターに設定されているIPアドレスやポート番号などの情報を読み取れなくなり、セキュリティーの向上が期待できます。
プロキシサーバーを介してインターネット接続をしている場合は、プリンターにプロキシサーバーの設定をしてください。

操作パネルでネットワークに接続する

プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。

IPアドレスを設定する

［IPアドレス］や［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］など、基本的なIPアドレス設定をします。
ここでは固定IPアドレスを設定する手順を説明します。

1. プリンターの電源を入れます。

参考 プリンターの画面に が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

2. 操作パネルのホーム画面で［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］を選択します。

3. ［詳細設定］-［TCP/IP］の順に選択します。

4. ［TCP/IP設定方法］を［手動設定］にします。

   IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は［自動設定］を選択してください。この場合は、手順5、6の［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］も自動設定になるので入力できません。手順7へ進んでください。

5. IPアドレスを入力します。

   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。

6. 同様に［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］を設定します。

   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。

   !重要 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合、［設定を開始する］が有効にならず、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

7. プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。
   IPアドレスを［自動設定］にすると、DNSサーバー設定は［手動設定］、［自動設定］を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に［手動設定］を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。引き続き、セカンダリーDNSサーバーのアドレスを直接入力します。［自動設定］を選択した場合は、手順9へ進んでください。

8. セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。

9. ［設定を開始する］をタップします。

プロキシサーバーを設定する

以下の両方に当てはまる場合は、プロキシサーバーを設定してください。

- インターネット接続用にプロキシサーバーを構築している
- Epson Connect サービスや他社クラウドサービスなど、プリンターが直接インターネットに接続する機能を使用する

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

   IPアドレスの設定に続いて設定するときは、［詳細設定］画面が表示されています。手順3に進んでください。

   参考 プリンターの画面に が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

2. ［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］の順に選択します。

3. ［プロキシサーバー］を選択します。

4. ［プロキシサーバー使用設定］を［使用する］にします。

5. プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。
   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。

6. プロキシサーバーのポート番号を入力します。
   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。

7. ［設定を開始する］をタップします。

有線LANに接続する

LANケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ（LANスイッチ）をLANケーブルで接続します。

2. ホーム画面で［設定］を選択します。

   参考 プリンターの画面に が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

3. ［本体設定］-［ネットワーク設定］-［接続診断］の順に選択します。
   有線LANの接続状態が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

無線LAN（Wi-Fi）に接続する

この機能を使用するには、オプションの Wireless LAN Interface-P1を装着する必要があります。
プリンターを無線LAN（Wi-Fi）に接続する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。
無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。
WPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。
プリンターがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をプリンターに接続してください。

関連情報

- 「Wi-Fi 5GHz使用時の注意事項」50ページ
- 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」51ページ
- 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」52ページ
- 「PINコードで設定する（WPS）」52ページ

Wi-Fi 5GHz使用時の注意事項

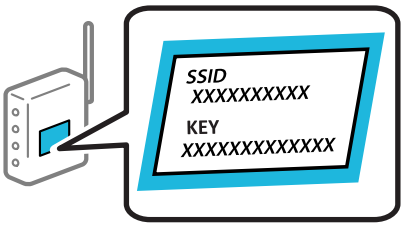
本製品はWi-Fi Direct（シンプルAP）接続時に基本的にW52(36ch)を使用します。無線LAN（Wi-Fi）接続時のチャネルは自動選択のため、Wi-Fi Direct接続との同時利用の場合、使用チャネルが異なることがあります。チャネルが異なるとプリンターへのデータ送信が遅くなることがあります。使用に差し支えなければ2.4GHz帯のSSIDに接続してご利用ください。2.4GHzの周波数帯では、使用チャネルは一致します。

5GHzで無線LAN設定する場合は、Wi-Fi Directを無効にして設定することをお勧めします。

プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する

無線LANルーター（アクセスポイント）に接続するための情報をプリンターの操作パネルから入力して設定する方法です。手動で設定するには、無線LANルーター（アクセスポイント）のSSIDとパスワードの情報が必要です。

参考 無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。



1. プリンターのホーム画面で をタップします。

   参考 プリンターの画面に が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

2. ［ルーター］をタップします。

   既に有線LAN接続されている場合は、メッセージを確認して［無線LAN接続に変更する］をタップします。手順4に進んでください。

3. ［設定に進む］をタップします。

4. ［無線LAN接続設定］をタップします。

   既に有線LAN接続されている場合は、メッセージを確認して［はい］をタップします。

5. ［アクセスポイントを検索］をタップします。

6. この後は、画面の指示に従って、SSIDを選択し、パスワードを入力して、設定を開始します。

   設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。

   参考
   - SSIDがわからない場合は無線LANルーターのラベルに書かれていないかを確認してください。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。情報が見つからない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。
   - パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
   - SSIDがわからない場合は無線LANルーター（アクセスポイント）本体のラベルに書かれていないかを確認してください。ラベルには、「暗号化キー」「XXXX Key」などと書かれています。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。

関連情報

➡ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」53ページ

プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）

無線LANルーター（アクセスポイント）のプッシュボタンで無線LAN（Wi-Fi）を自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

- 無線LANルーター（アクセスポイント）がAOSSやWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している
- 既存の無線LAN（Wi-Fi）をプッシュボタンで設定している

参考 プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

1. プリンターのホーム画面で をタップします。

   参考 プリンターの画面に が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

2. ［ルーター］をタップします。

   既に有線LAN接続されている場合は、メッセージを確認して［無線LAN接続に変更する］をタップします。手順4に進んでください。

3. ［設定に進む］をタップします。

4. ［無線LAN接続設定］をタップします。

   既に有線LAN接続されている場合は、メッセージを確認して［はい］をタップします。

5. ［プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)］をタップします。

6. この後は、画面の指示に従って操作してください。

   設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。

   参考 接続に失敗した場合は無線LANルーター（アクセスポイント）を再起動し、無線LANルーター（アクセスポイント）とプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

関連情報

➡ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」53ページ

PINコードで設定する（WPS）

PINコードを使って無線LANルーター（アクセスポイント）に接続する方法です。無線LANルーター（アクセスポイント）がWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードを無線LANルーター（アクセスポイント）に入力するときに、コンピューターを使います。

1. プリンターのホーム画面で をタップします。

   参考 プリンターの画面に が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

2. ［ルーター］をタップします。

   既に有線LAN接続されている場合は、メッセージを確認して［無線LAN接続に変更する］をタップします。手順4に進んでください。

3. ［設定に進む］をタップします。

4. ［無線LAN接続設定］をタップします。

   既に有線LAN接続されている場合は、メッセージを確認して［はい］をタップします。

5. ［その他］ - ［PINコード自動設定(WPS)］の順にタップします。

6. この後は、画面の指示に従って操作してください。

   設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。

   参考 PINコードの入力方法は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」53ページ

ネットワーク接続時のトラブル対処

ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターと無線LANルーター（アクセスポイント）の接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
管理者ロックが有効になっているプリンターの設定を変更する場合は、管理者としてログオンする必要があります。
プリンターの画面に が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ネットワーク設定］-［接続診断］の順に選択します。

   診断が始まります。

3. 診断結果が画面に表示されるので、指示に従ってください。

   エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を印刷して対処してください。

関連情報

➡ 「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」58ページ

ネットワークに接続できない

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。
プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。
無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。
プリンターのネットワーク設定が間違っている場合は、ネットワーク環境に合わせてプリンターのネットワークを再設定してください。

➡ 「操作パネルでネットワークに接続する」48ページ

IEEE802.3az（省電力イーサーネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

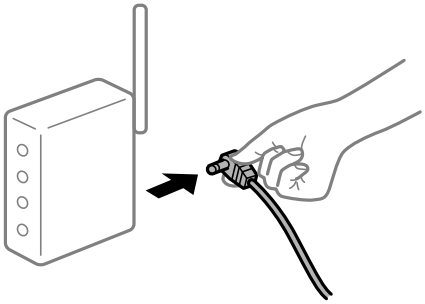
1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
   詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
   「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」53ページ
5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。
6. コンピューターで、Web Configを起動します。
7. ［ログオン］を選択して、管理者パスワードを入力します。
   Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ
8. ［ネットワーク］ - ［有線LAN］の順に選択します。
9. ［IEEE 802.3az］を［オフ］にします。
10. ［次へ］をクリックします。
11. ［設定］をクリックします。
12. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
13. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。
14. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

お使いの環境で無線LANルーター（アクセスポイント）のリセットが可能な場合は、以下をお試しください。
ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

お使いの環境で機器の移動が可能な場合は、以下をお試しください。
コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

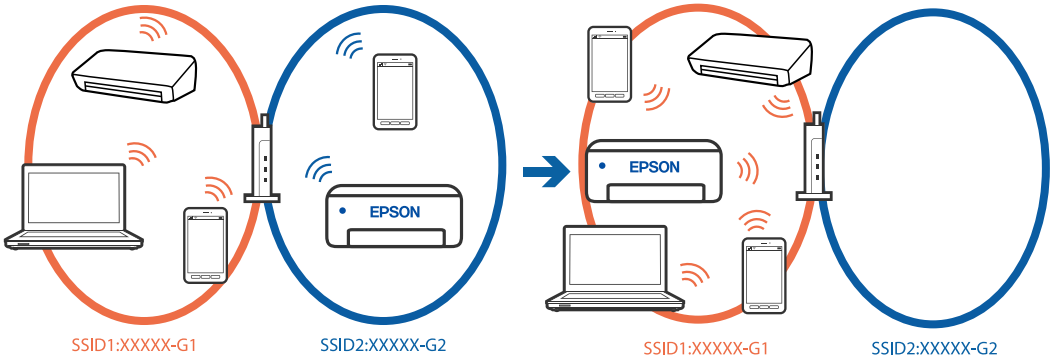
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➡ 「操作パネルでネットワークに接続する」48ページ

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。



コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。

- プリンターが接続しているSSIDを、ネットワーク接続診断レポートを印刷して確認してください。
- プリンターと接続したい全てのコンピューターやスマートデバイスで、接続しているWi-Fiまたはネットワークの名前を確認してください。
- プリンターとコンピューターやスマートデバイスでネットワークの接続先が異なる場合は、プリンターが接続している接続先（SSID）に機器を接続し直してください。

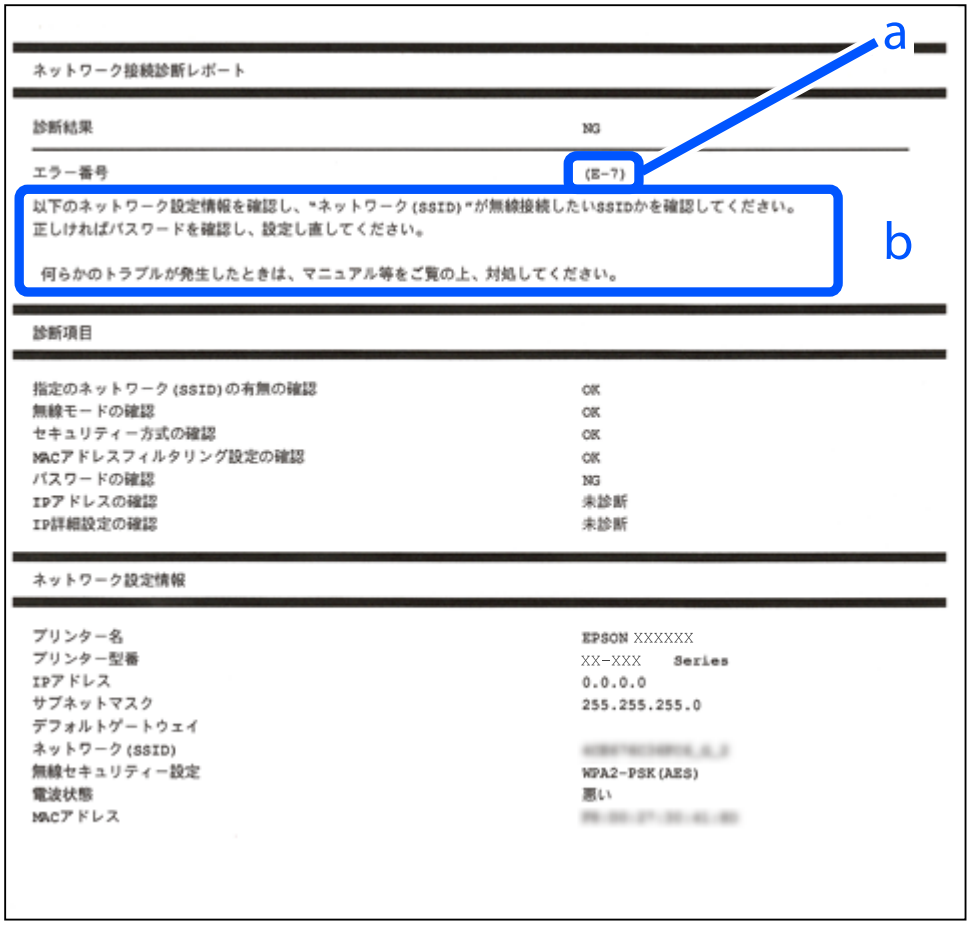
無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラー番号を確認して対処してください。



a. エラー番号
b. ネットワーク環境に関するメッセージ

関連情報

- 「E-1」59ページ
- 「E-2, E-3, E-7」59ページ
- 「E-5」60ページ
- 「E-6」60ページ
- 「E-8」60ページ
- 「E-9」61ページ
- 「E-10」61ページ
- 「E-11」61ページ
- 「E-12」62ページ
- 「E-13」62ページ
- 「ネットワーク環境に関するメッセージ」63ページ
- 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」53ページ

E-1

対処方法：

- LAN ケーブルがプリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
- プリンターを無線LAN（Wi-Fi）で使用したい場合は、プリンターの無線LANが有効になっていないため、無線LAN接続設定をやり直してください。

E-2, E-3, E-7

対処方法：

- 無線LANルーターの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器が無線LANルーターと正常に通信できているか確認してください。
- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターと無線LANルーターは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください。
- SSIDを直接入力したときは、入力したSSIDが正しいかを確認してください。SSIDはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。
- 1つの無線LANルーターに複数のSSIDが存在する場合、表示されたSSIDから選択してください。SSIDが非対応の周波数を使用していると、SSIDは表示されません。
- プッシュボタンを使った自動設定をする場合は、お使いの無線LANルーターがWPSに対応しているか確認してください。WPSに対応していないときは、プッシュボタンを使った自動設定はできません。
- SSIDにASCII文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII文字以外の文字列が含まれたSSIDは表示できません。
- 無線LANルーターに接続する場合は、SSIDとパスワードを事前に確認してください。無線LANルーターをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスなどのテザリング機能で生成したSSIDに接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどでSSIDとパスワードを確認してください。
- 無線LAN（Wi-Fi）で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。

  https://epson.sn > ［セットアップ］

  - お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定（AOSS／WPS）で設定したか
  - この無線LAN（Wi-Fi）ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか
  - 株式会社バッファロー製の無線LANルーターで、プッシュボタンで設定（AOSS）できるタイプを使っているか

関連情報

➡ 「無線LAN（Wi-Fi）に接続する」50ページ
➡ 「コンピューターとの接続設定をする」438ページ

E-5

対処方法：

無線LANルーターが以下のいずれかのセキュリティー方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティー方式を使用するよう無線LANルーターの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

- WEP-64 bit (40 bit)
- WEP-128 bit (104 bit)
- WPA PSK (TKIP/AES)*
- WPA2 PSK (TKIP/AES)*
- WPA3-SAE (AES)
- WPA2-Enterprise
- WPA3-Enterprise

* WPA PSKはWPA Personal、WPA2 PSKはWPA2 Personalとも呼ばれます。

E-6

対処方法：

- MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターのMACアドレスを登録して、フィルタリングされないようにしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。プリンターのMACアドレスはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。
- 無線LANルーターのWEPセキュリティー方式でShared認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
- 無線LANルーターに設定されている同時接続可能な機器数が、接続するネットワーク機器の台数より少ない場合は、接続できる数を増やしてください。設定方法は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡ 「コンピューターとの接続設定をする」438ページ

E-8

対処方法：

- プリンターの TCP/IP 設定を自動にしているときは、無線LANルーターのDHCPを有効にしてください。
- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、手動で設定したIPアドレスが有効範囲外 (0.0.0.0 など) のため、無効になっています。有効なIPアドレスをプリンターの操作パネルから設定してください。

関連情報

➡ 「IPアドレスを設定する」48ページ

E-9

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線ルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。続いて、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。

https://epson.sn > ［セットアップ］

関連情報

➡ 「コンピューターとの接続設定をする」438ページ

E-10

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターのTCP/IP設定を手動にしているときは、ネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。

関連情報

➡ 「IPアドレスを設定する」48ページ

E-11

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターのTCP/IP設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか
- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。

関連情報

➡ 「IPアドレスを設定する」48ページ

E-12

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか
- 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか
- 他の機器のIPアドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下をお試しください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。

  https://epson.sn > ［セットアップ］
- セキュリティータイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティーキー登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

➡ 「IPアドレスを設定する」48ページ
➡ 「コンピューターとの接続設定をする」438ページ

E-13

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク機器（無線LANルーター、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- プリンター以外のネットワーク機器が手動でTCP/IP設定されていないか（他のネットワーク機器のTCP/IP設定が固定で、プリンターのTCP/IP設定のみが自動になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試しください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。

  https://epson.sn > ［セットアップ］
- セキュリティータイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティーキー登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

➡ 「IPアドレスを設定する」48ページ

➡ 「コンピューターとの接続設定をする」438ページ

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
*無線環境の改善が必要です。 無線LANルーターの電源を入れ直してください。 それでも解消しないときは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。	プリンターを無線LANルーターの近くに移動し、機器間にある障害物を取り除いてから無線LANルーターの電源を入れ直します。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。それでも接続できない場合は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。 機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で同時接続できる無線機器が最大限接続されています。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除するか他のネットワークに接続させてから追加してください。 同時接続できる無線機器の台数と接続されている台数は、プリンターの操作パネルまたはネットワークステータスシートで確認できます。
周囲にWi-Fi Directと重複するSSIDが存在します。 スマートデバイス(無線機器)をプリンターに接続できないときは、 Wi-Fi DirectのSSIDを変更してください。	プリンターの操作パネルからWi-Fi Direct設定の画面を表示し、設定を変更するメニューから接続名を変更してください。接続名はDIRECT-XX-の後に続く文字列を変更できます。半角22文字以内で入力します。

関連情報

➡ 「ステータスシート印刷：」540ページ

用途に合わせた設定

オプションの給紙装置を使えるようにする

コンピューターから印刷するときにオプションの給紙装置などを使用するにはプリンタードライバーの設定が必要です。

オプションの装置を使えるようにする - Windows

参考 管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。

1. プリンターのプロパティの［環境設定］タブを表示します。
   - Windows 11
     スタートボタンをクリックし、［設定］-［Bluetoothとデバイス］-［プリンターとスキャナー］の順に選択します。お使いのプリンターをクリックし、［プリンターのプロパティ］を選択して、［環境設定］タブをクリックします。

- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、［プリンターのプロパティ］を選択して、［環境設定］タブをクリックします。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、［プリンターのプロパティ］を選択して、［環境設定］タブをクリックします。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］ の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選択して、［環境設定］タブをクリックします。
- Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、［プロパティ］を選択して、［環境設定］タブをクリックします。

2. ［プリンターから取得］を選択して、［取得］をクリックします。

3. ［OK］をクリックします。

オプションの装置を使えるようにする - Windows PostScript

参考 管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。

1. プリンターのプロパティの［デバイスの設定］タブを表示します。
   - Windows 11
     スタートボタンをクリックし、［設定］-［Bluetoothとデバイス］-［プリンターとスキャナー］の順に選択します。お使いのプリンターを選択し、［プリンターのプロパティ］を選択して、［デバイスの設定］タブをクリックします。
   - Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、［プリンターのプロパティ］を選択して、［デバイスの設定］タブをクリックします。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、［プリンターのプロパティ］を選択して、［デバイスの設定］タブをクリックします。
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2
     スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選択して、［デバイスの設定］タブをクリックします。
   - Windows Server 2008
     スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、［プロパティ］を選択して、［デバイスの設定］タブをクリックします。

2. ［インストール可能なオプション］から使用するオプションを選択します。

3. ［OK］をクリックします。

オプションの装置を使えるようにする - Mac OS

1. アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。

2. オプションユニットの種類に合わせて設定します。

3. ［OK］をクリックします。

オプションの装置を使えるようにする - Mac OS PostScript

1. アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。

2. オプションユニットの種類に合わせて設定します。

3. ［OK］をクリックします。

メール送信を利用するための準備

メールサーバーを設定する

Web Configを使ってメールサーバーを設定します。
設定の前に以下を確認してください。

- プリンターがメールサーバーにアクセスできるネットワークに接続されているか
- プリンターと同じメールサーバーを使用するコンピューターのメール設定情報

参考
- インターネット上のメールサーバーを利用する場合は、サービスを提供しているプロバイダーやウェブサイトから設定情報を確認してください。
- 操作パネルを使っても設定できます。メニューは以下の通りです。
  ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［ネットワーク］タブ-［メールサーバー］-［基本］

4. 各項目を設定します。

5. ［設定］を選択します。
設定結果が表示されます。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

メールサーバー設定項目

項目	設定値と説明	
認証方式	プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。	
	認証しない	メールサーバーが認証を必要としない場合に設定します。
	SMTP認証	メール送信時にSMTPサーバー（メール送信サーバー）で認証をします。メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。
	POP before SMTP	メール送信する前にPOP3サーバー（メール受信サーバー）で認証をします。選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。
認証用アカウント	［認証方式］に［SMTP認証］または［POP before SMTP］を選択した場合、認証用のアカウント名を入力します。入力できる文字は、ASCII（0x20-0x7E）の255文字以内です。［SMTP認証］を選択した場合、SMTPサーバーの認証用アカウントを入力してください。［POP before SMTP］を選択した場合、POP3サーバーの認証用アカウントを入力してください。	
認証用パスワード	［認証方式］に［SMTP認証］または［POP before SMTP］を選択した場合、認証用のパスワードを入力します。入力できる文字はASCII（0x20-0x7E）の20文字以内です。［SMTP認証］を選択した場合、SMTPサーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。［POP before SMTP］を選択した場合、POP3サーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。	
送信元アドレス	システム管理者のアドレスなど送信元のメールアドレスを入力します。認証にも使用されるため、お使いのメールサーバーに登録されていて実際に送信できるアドレスを入力してください。入力できる文字は、: ( ) < > [ ] ; ¥ を除くASCII (0x20-0x7E)で表せる255文字以内です。ただし、ピリオド（.）は先頭文字にできません。	
SMTPサーバーアドレス	A～Z a～z 0～9 . - を使用し、255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
SMTPサーバー ポート番号	1～65535までの範囲で、半角数字で入力します。	

項目	設定値と説明	
セキュア接続	メールサーバーとの通信の暗号化方式を選択します。	
	なし	［認証方式］で［POP before SMTP］を選択した場合は暗号化しません。
	SSL/TLS	［認証方式］で［認証しない］または［SMTP認証］を選択したときに選択できます。通信の開始から暗号化します。
	STARTTLS	［認証方式］で［認証しない］または［SMTP認証］を選択したときに選択できます。通信の開始は暗号化せず、受信環境によってその後の通信を暗号化するかが変わります。
証明書の検証	有効にするとメールサーバーの証明書の正当性をチェックします。［有効］にすることをお勧めします。設定するには、相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートする必要があります。 サーバーの安全性が確認できないというエラーメッセージが表示されたときは、以下を参照してください。 「日付や時刻がずれている」506ページ 「ルート証明書の更新が必要になった」506ページ	
POP3サーバーアドレス	［認証方式］に［POP before SMTP］を選択した場合、POP3サーバーアドレスを入力します。入力できる文字は、A～Z a～z 0～9 . - で、255文字以内です。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
POP3サーバー ポート番号	［認証方式］で［POP before SMTP］を選択した場合にポート番号を指定します。入力できる文字は、1～65535の範囲で、半角数字で入力します。	

メールサーバーとの接続を確認する

メールサーバーとの接続確認ができます。

1. **プリンターのIPアドレスをブラウザーに入力して、Web Configを起動します。**
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。

2. **管理者パスワードを入力して、管理者としてログオンします。**

3. **以下の順に選択します。**
   ［ネットワーク］タブ-［メールサーバー］-［接続確認］

4. **［確認開始］を選択します。**
   メールサーバーとの接続診断が開始されます。テストが終了すると結果が表示されます。

   参考 操作パネルを使ってもメールサーバーとの接続を確認できます。メニューは以下の通りです。
   ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［コネクションテスト］

関連情報

- 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
- 「管理者パスワードの初期値」17ページ

メールサーバー接続確認結果

メッセージ	原因
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • SMTPサーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
POP3サーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • POP3サーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
SMTPサーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。 ・SMTPサーバーアドレス ・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した
POP3サーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。 ・POP3サーバーアドレス ・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • POP3サーバーアドレスの名前解決に失敗した
SMTPサーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。 ・認証方式 ・認証用アカウント ・認証用パスワード	SMTPサーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
POP3サーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。 ・認証方式 ・認証用アカウント ・認証用パスワード	POP3サーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
サポートしていない通信方式です。以下を確認してください。 ・SMTPサーバーアドレス ・SMTPサーバーポート番号	サポートしていないプロトコルで通信しようとした場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をなしに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続（SSL接続）をサポートしていない場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSSL/TLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSSL/TLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSTARTTLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSTARTTLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。 ・日付/時刻	プリンターの日時設定が正しくない、またはサーバーに対応するルート証明書は保有しているが、期限切れの場合に表示されます。 「日付や時刻がずれている」506ページ

メッセージ	原因
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。 ・相手サーバー検証用CA証明書	サーバーに対応するルート証明書をプリンターが保有していない、または相手サーバー検証用CA証明書がインポートされていない場合に表示されます。 「ルート証明書の更新が必要になった」506ページ
サーバーの安全性が確認できませんでした。	サーバーから取得した証明書が壊れている場合などに表示されます。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をSMTP認証に変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をサポートしているのに、製品はSMTP認証を実行していません。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をPOP before SMTPに変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をしていないのに、製品はSMTP認証を実行しようとしています。
送信元アドレスが正しくありません。お使いのメールサービスで取得したアドレスに変更してください。	送信元アドレスの指定が間違っていた場合に表示されます。
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

共有フォルダーの準備

共有フォルダーを設定する

プリンターから送信されるデータを保存するための共有フォルダーを設定します。
ファイルを保存するとき、プリンターは共有フォルダーのあるコンピューターに、コンピューターのユーザーとしてログオンします。
また、共有フォルダーと一緒にMS Networkを設定してください。

共有フォルダーの作成

共有フォルダーを作成する前に

共有フォルダーの作成前に以下を確認してください。

- プリンターが共有フォルダーを作成するコンピューターにアクセスできるネットワークに接続されているか
- 共有フォルダーを作成するコンピューターの名前にマルチバイト文字が使用されていないか

!重要 コンピューター名にマルチバイト文字が含まれていると、共有フォルダーへのファイル保存が失敗する可能性があります。
その場合、コンピューター名にマルチバイト文字が含まれていないコンピューターに変更するか、コンピューター名を変更してください。
コンピューター名を変更する場合、コンピューターの管理やリソースへのアクセスに影響が出る可能性がありますので、必ずシステムの管理者に確認してから行ってください。

ネットワークプロファイルの確認

共有フォルダーを作成するコンピューターで、フォルダーの共有が可能かどうか確認します。

1. 共有フォルダーを作成するコンピューターへ管理者権限のユーザーアカウントでログオンします。
2. ［コントロール パネル］ - ［ネットワークとインターネット］ - ［ネットワークと共有センター］を選択します。
3. ［共有の詳細設定の変更］をクリックし、表示されたネットワークプロファイルから［（現在のプロファイル）］とあるプロファイルの をクリックします。
4. ［ファイルとプリンターの共有］で［ファイルとプリンターの共有を有効にする］が選択されているか確認します。
   選択されている場合は、［キャンセル］をクリックして画面を閉じます。
   変更した場合は、［変更の保存］をクリックして画面を閉じます。

関連情報

➡ 「共有フォルダーの作成場所とセキュリティーの例」70ページ

共有フォルダーの作成場所とセキュリティーの例

共有フォルダーを作成する場所によって、セキュリティーや利便性が変わります。
プリンターや他のコンピューターから共有フォルダーを扱うには、以下の両方でフォルダーの読み取りや変更の権限が必要です。

- ［共有］タブ - ［詳細な共有］ - ［アクセス許可］の共有アクセス許可
  ネットワーク経由のアクセスを制御します。
- ［セキュリティ］タブのアクセス許可
  ネットワークとローカルからのアクセスを制御します。

以下のデスクトップに共有フォルダーを作成した例で、共有フォルダーの［共有アクセス許可］に［Everyone］を設定すると、ネットワーク経由で共有フォルダーにアクセスできる全てのユーザーにアクセス許可を与えることになります。しかし、デスクトップはユーザーフォルダーの配下にあるフォルダーのため、ユーザーフォルダーのローカルアクセスのセキュリティー設定が継承されて、ユーザーフォルダーにアクセス許可のないユーザーはアクセスできません。［セキュリティ］でアクセス許可が設定されているユーザーやグループ（この場合はコンピューターのログオンユーザーとAdministrator）がフォルダーにアクセスできます。
以下の例を参考に適切な場所に共有フォルダーを作成してください。
ここでは「scan_folder」というフォルダーの作成を例に説明します。

関連情報

➡ 「ファイルサーバー向けの設定例」71ページ
➡ 「個人のコンピューター向けの設定例」77ページ

ファイルサーバー向けの設定例

ここでは、以下の環境条件でファイルサーバーなど共有コンピューターのドライブのルートに共有フォルダーを作成することを例に説明します。
共有フォルダーを作成するコンピューターと同じドメインなどアクセス制御できるユーザーがアクセスできます。
ファイルサーバーや共有のコンピューターなどを設置していて、組織内の誰にでも自由な読み書きを許可する場合に設定してください。

- フォルダー作成場所：ドライブ直下
- フォルダーパス：C:￥scan_folder
- ネットワーク経由のアクセス設定（共有アクセス許可）：Everyone
- ファイルシステムのアクセス設定（セキュリティ）：Authenticated Users

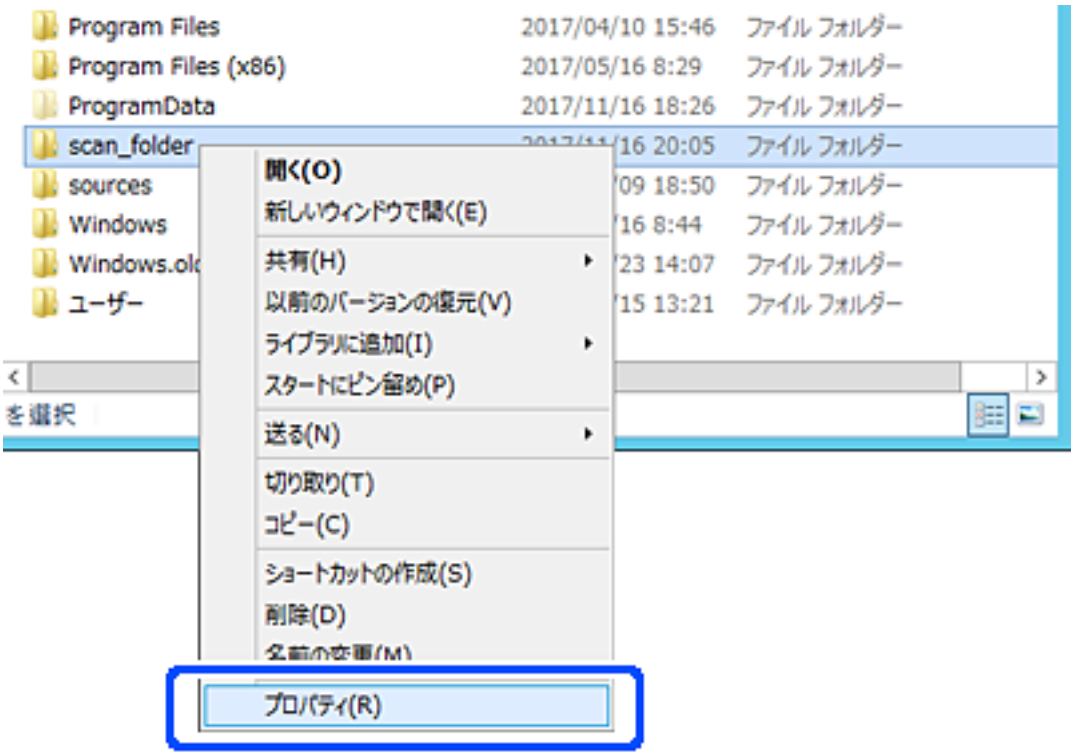
1. 共有フォルダーを作成するコンピューターへ管理者権限のユーザーアカウントでログオンします。

2. エクスプローラーを起動します。

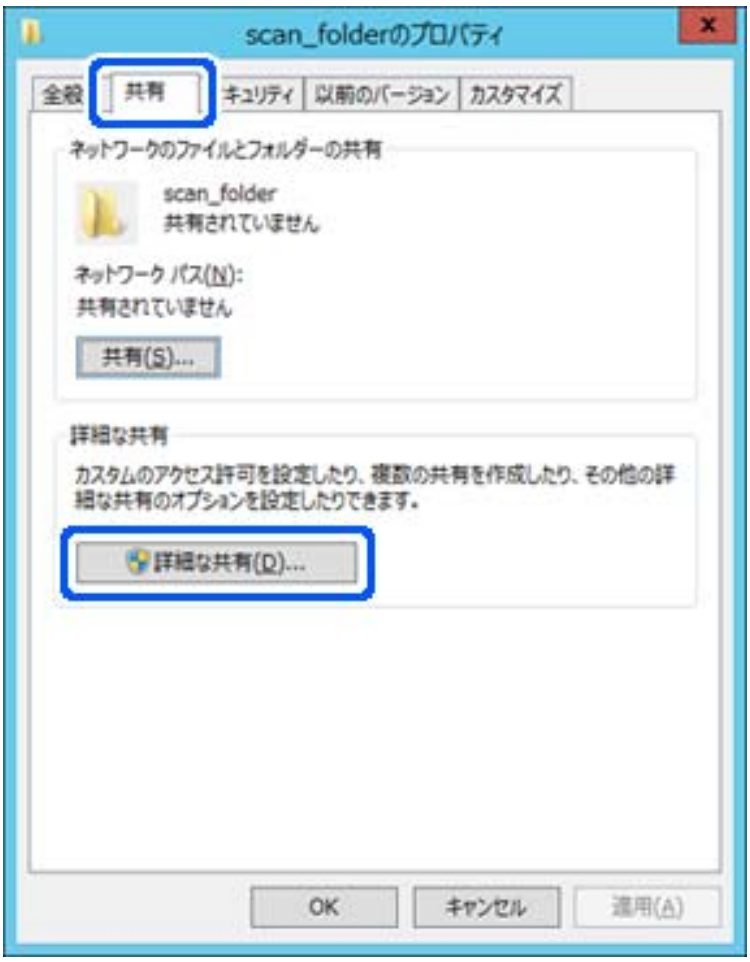
3. Cドライブのルートにフォルダーを作成し「scan_folder」と名前を付けます。

   フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

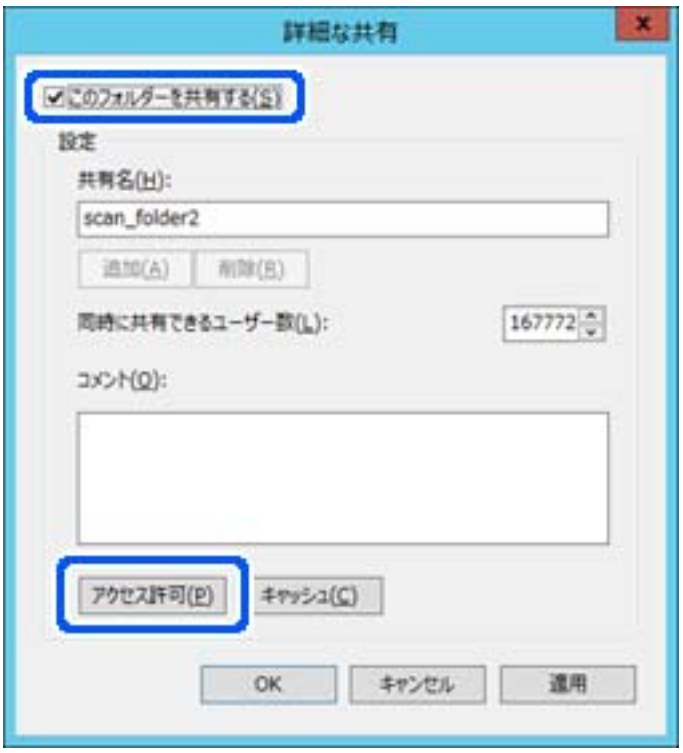
4. フォルダーを右クリックして［プロパティ］を選択します。



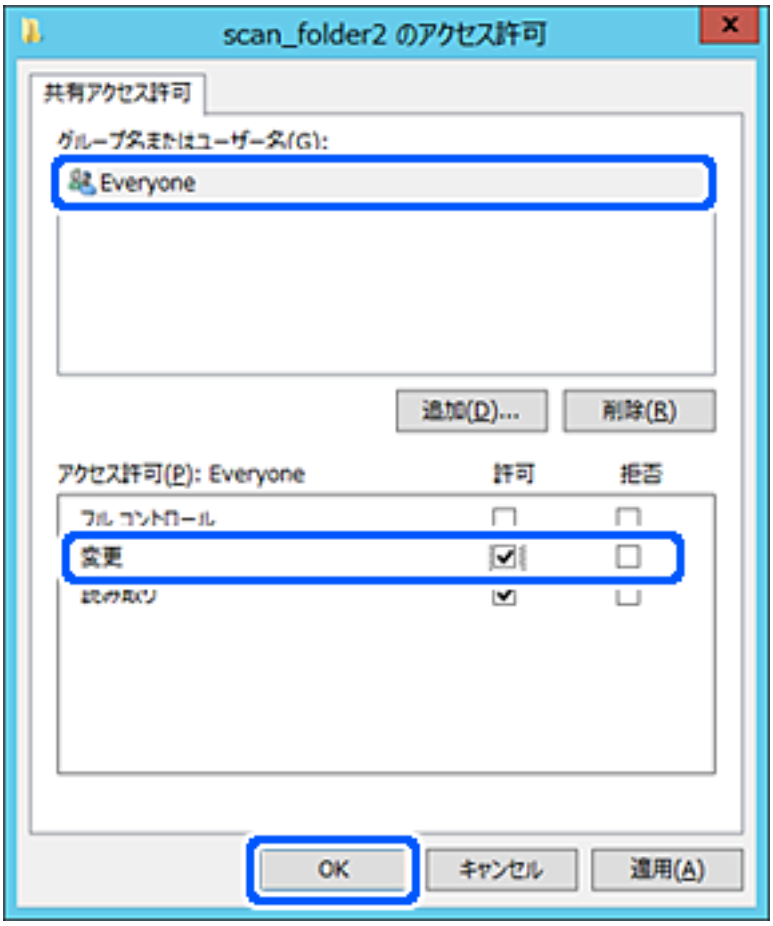
5. ［共有］タブで［詳細な共有］をクリックします。



6. ［このフォルダーを共有する］にチェックを入れ、［アクセス許可］をクリックします。

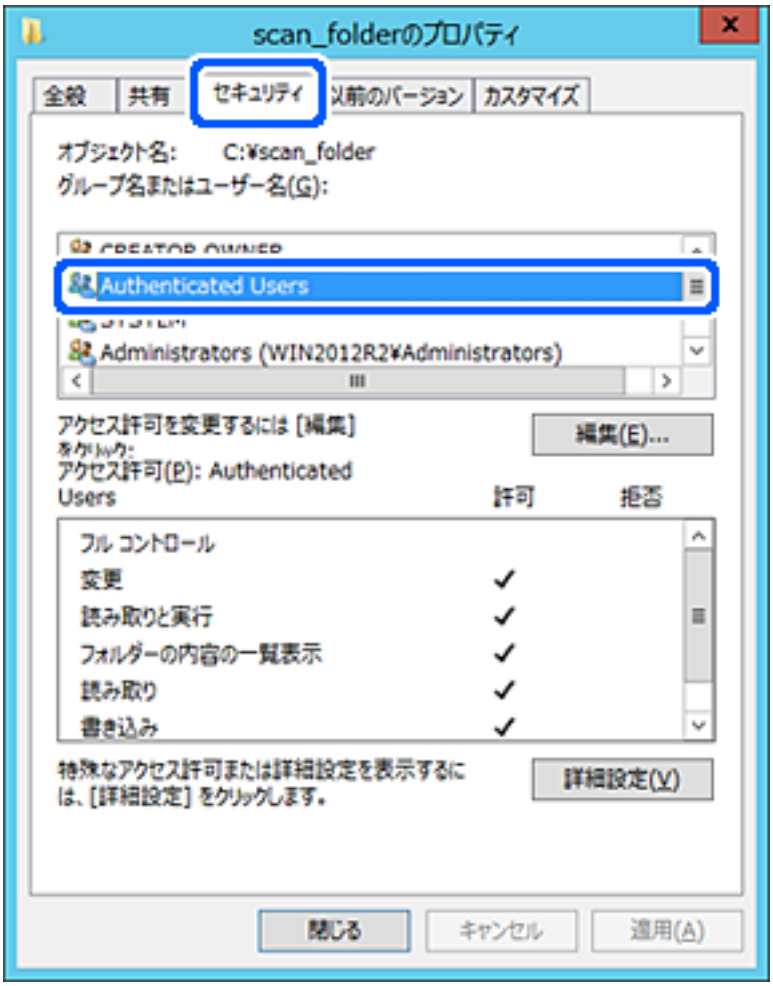


7. ［グループ名またはユーザー名］の［Everyone］グループを選択し、［変更］ の［許可］にチェックを入れて［OK］をクリックします。



8. ［OK］をクリックします。

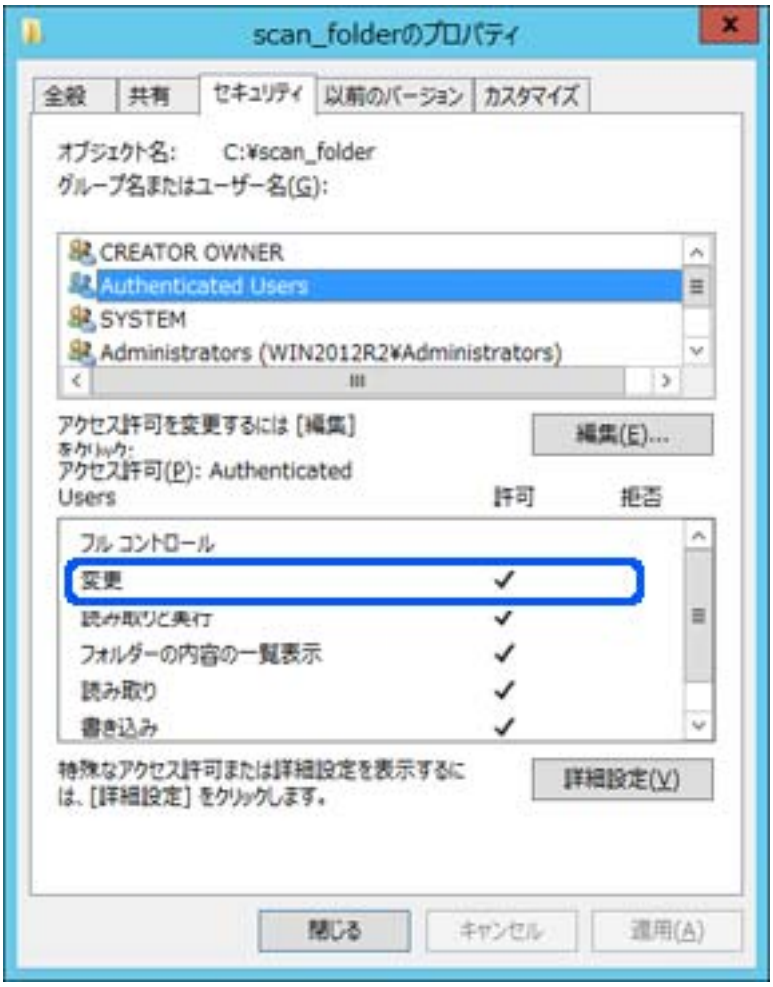
9. ［セキュリティ］タブを選択し、［グループ名またはユーザー名］にある［Authenticated Users］を選択します。



「Authenticated Users」はドメインやコンピューターにログオンできる全てのユーザーが含まれるグループです。ドライブ直下にフォルダーを作成した場合に表示される特殊グループです。
表示されていない場合は［編集］から追加できます。詳しくは「関連情報」にあるトピックをご覧ください。

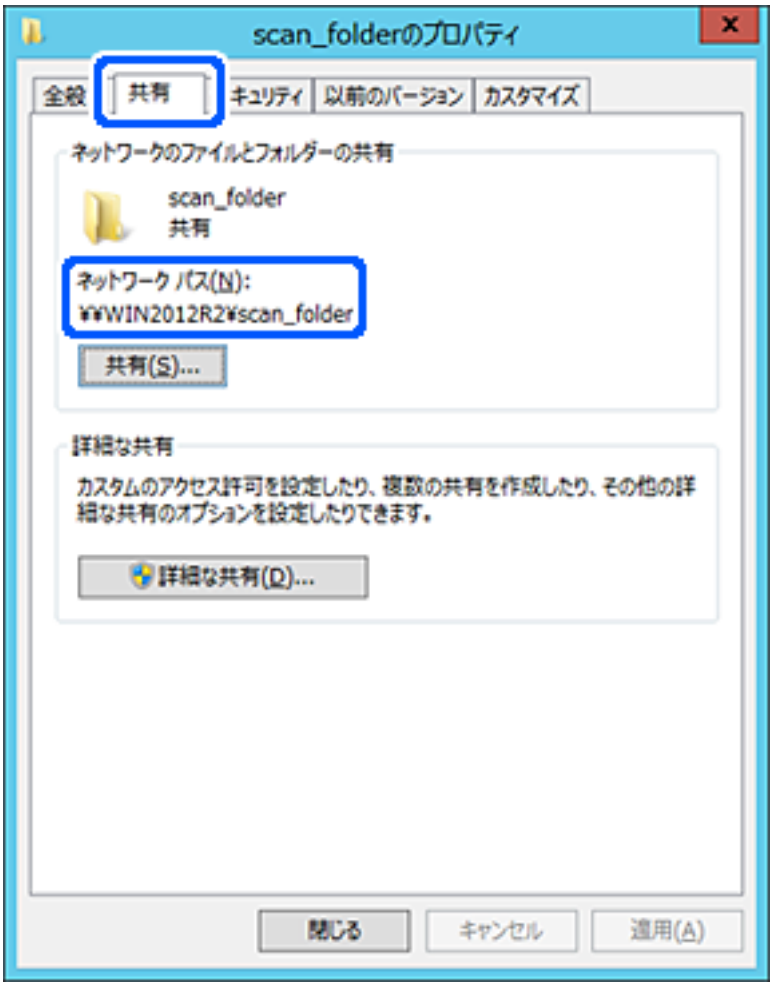
10. ［Authenticated Usersのアクセス許可］にある［変更］の［許可］にチェックがあることを確認します。

    チェックがない場合は［Authenticated Users］を選択して［編集］をクリックし、［アクセス許可］で［変更］の［許可］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。



11. ［共有］タブを選択します。

共有フォルダーのネットワークパスが表示されます。このパスをプリンターのアドレス帳の登録で使用します。メモやコピーをしておいてください。



12. ［OK］または［閉じる］をクリックして、画面を閉じます。

同じドメインネットワークのコンピューターから、共有フォルダーにファイルが読み書きできるか確認してください。

関連情報

➡ 「アクセス許可をするグループやユーザーを追加する」83ページ

個人のコンピューター向けの設定例

ここでは、ログオンしているユーザーのデスクトップに共有フォルダーを作成することを例に説明します。
デスクトップやドキュメントフォルダーなどユーザーフォルダー配下のフォルダーは、ログオンしたユーザーとコンピューターの管理者権限を持つユーザーがアクセスできます。
個人のコンピューターにスキャン結果を保存し、ネットワーク経由で他のユーザーに閲覧やコピー、削除などを許可しない場合に設定してください。

- フォルダー作成場所：デスクトップ
- フォルダーパス：C:￥Users￥xxxx￥Desktop￥scan_folder

- ネットワーク経由のアクセス設定（共有アクセス許可）：Everyone
- ファイルシステムのアクセス設定（セキュリティ）：追加しない、または個別にアクセスを許可するユーザーまたはグループ

1. 共有フォルダーを作成するコンピューターへ管理者権限のユーザーアカウントでログオンします。

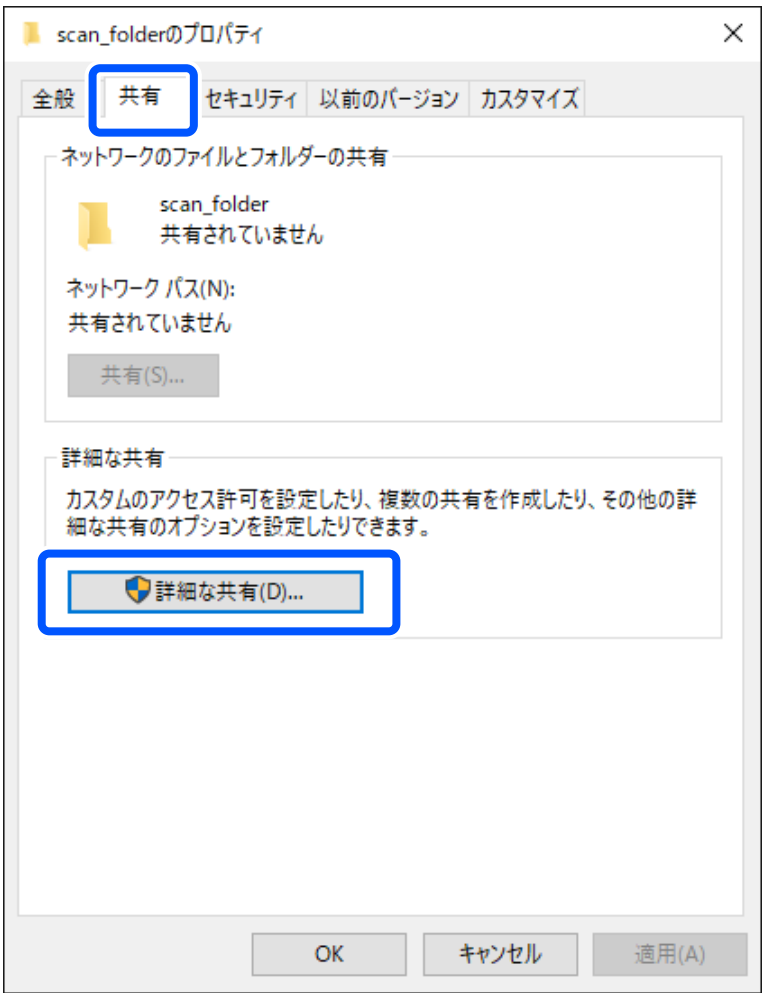
2. エクスプローラーを起動します。

3. デスクトップにフォルダーを作成し「scan_folder」と名前を付けます。

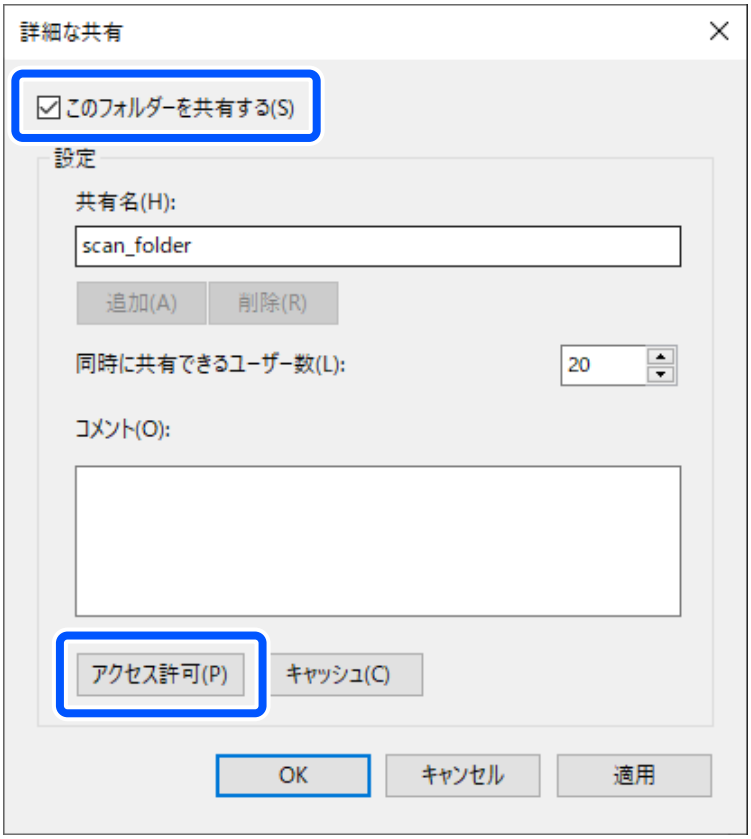
   フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

4. フォルダーを右クリックして［プロパティ］を選択します。

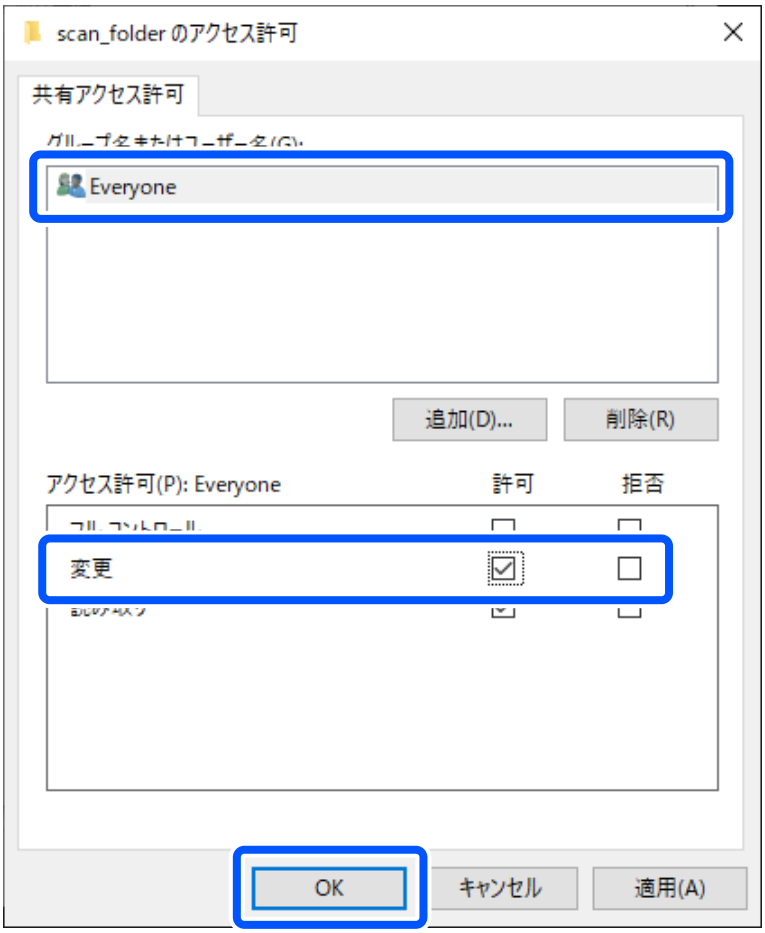
5. ［共有］タブの画面で［詳細な共有］をクリックします。



6. ［このフォルダーを共有する］にチェックを入れ、［アクセス許可］をクリックします。



7. ［グループ名またはユーザー名］の［Everyone］グループを選択し、［変更］ の［許可］にチェックを入れて［OK］をクリックします。



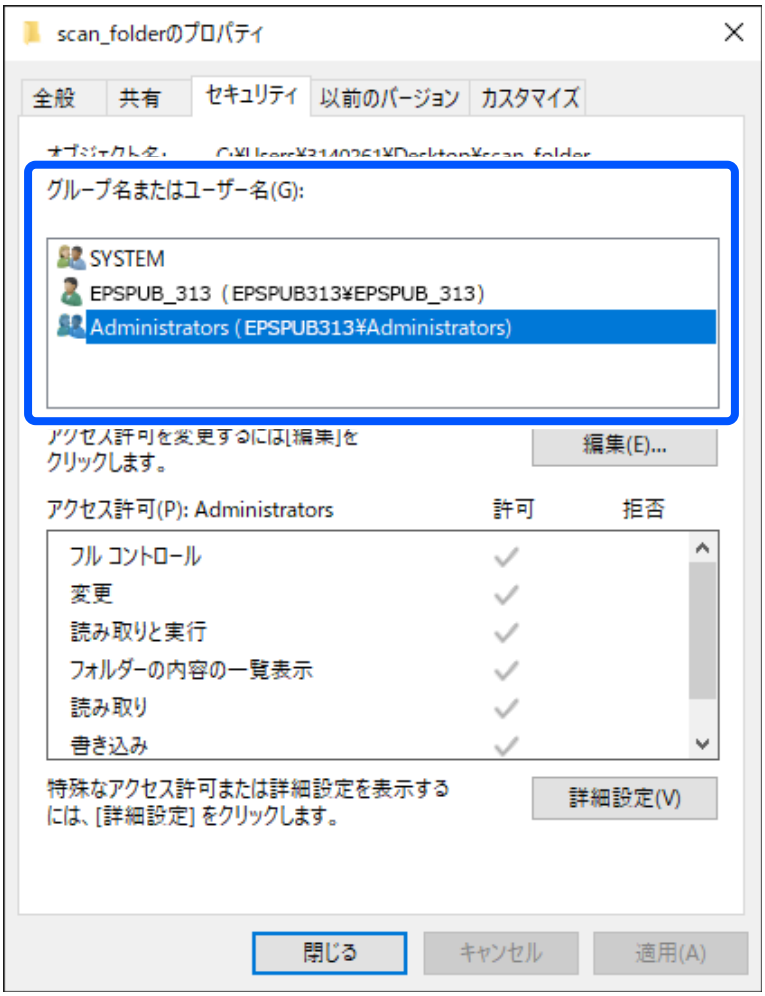
8. ［OK］をクリックします。

9. ［セキュリティ］タブを選択します。

10. ［グループ名またはユーザー名］にあるグループまたはユーザーを確認します。

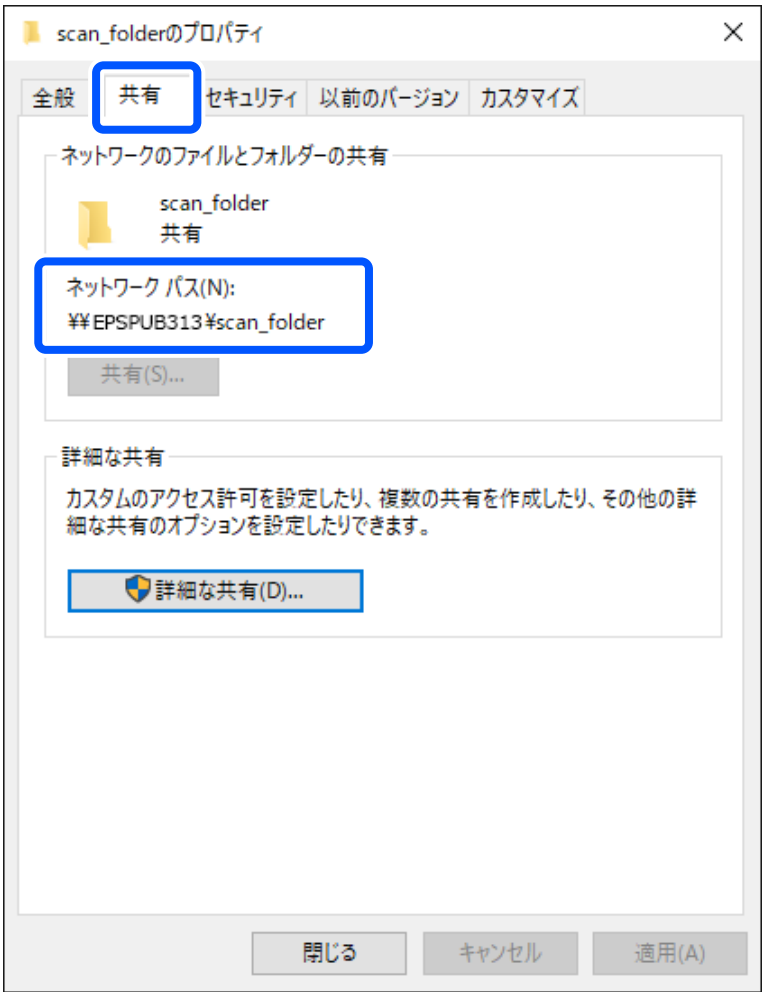
ここに表示されているグループまたはユーザーが共有フォルダーにアクセスできます。
この場合はこのコンピューターにログオンしているユーザーとAdministratorが共有フォルダーにアクセスできます。

必要に応じてアクセス許可を追加してください。アクセス許可は [編集] から追加できます。詳しくは「関連情報」にあるトピックをご覧ください。



11. ［共有］タブを選択します。

共有フォルダーのネットワークパスが表示されます。このパスをプリンターのアドレス帳の登録で使用します。メモやコピーをしておいてください。



12. ［OK］または［閉じる］をクリックして、画面を閉じます。

アクセスを許可したユーザーまたはグループのコンピューターから、共有フォルダーにファイルが読み書きできるか確認してください。

関連情報

➡ 「アクセス許可をするグループやユーザーを追加する」83ページ

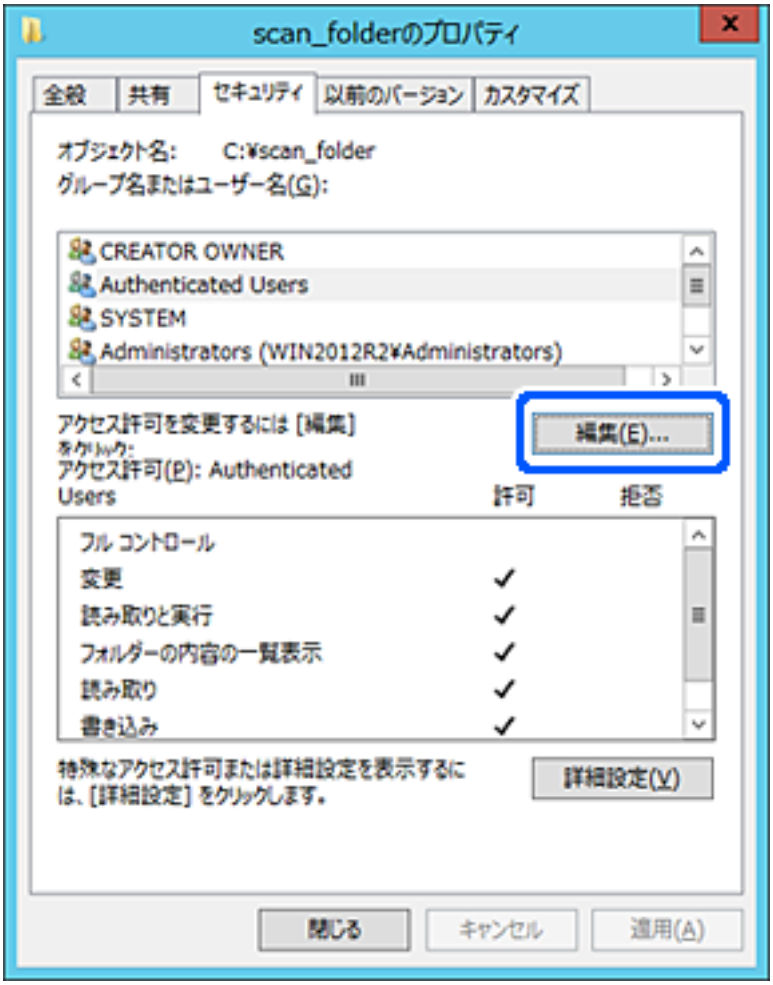
アクセス許可をするグループやユーザーを追加する

以下の手順で共有フォルダーにアクセスを許可するグループやユーザーを追加できます。

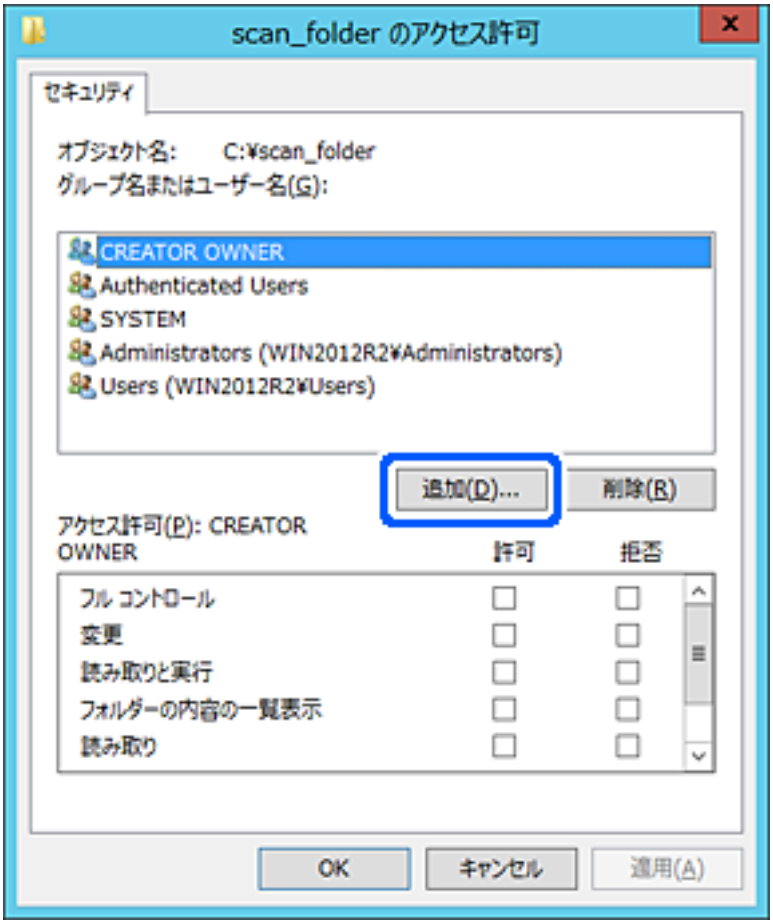
1. フォルダーを右クリックして［プロパティ］を選択します。

2. ［セキュリティ］タブを選択します。

3. ［編集］をクリックします。



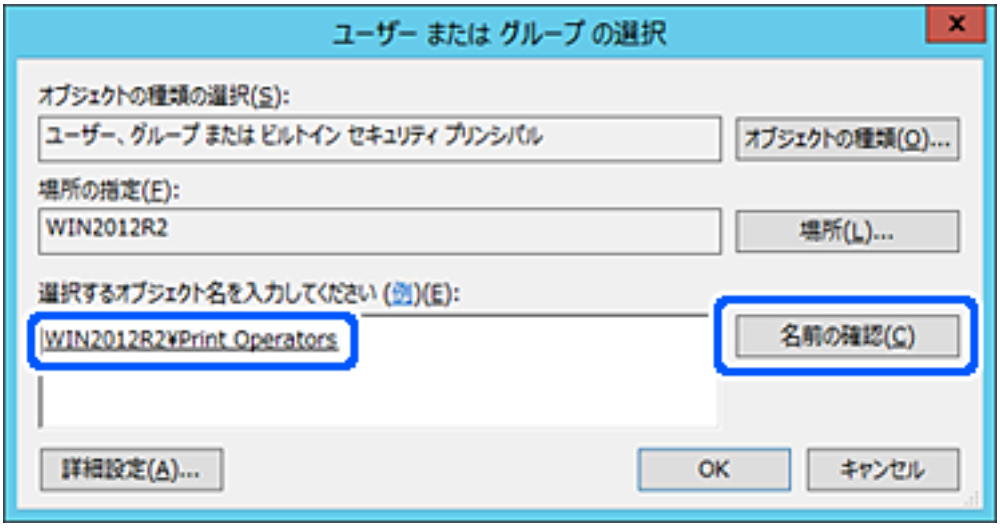
4. ［グループ名またはユーザー名］の下の［追加］をクリックします。



5. アクセスを許可したいグループやユーザー名を入力し、［名前の確認］をクリックします。

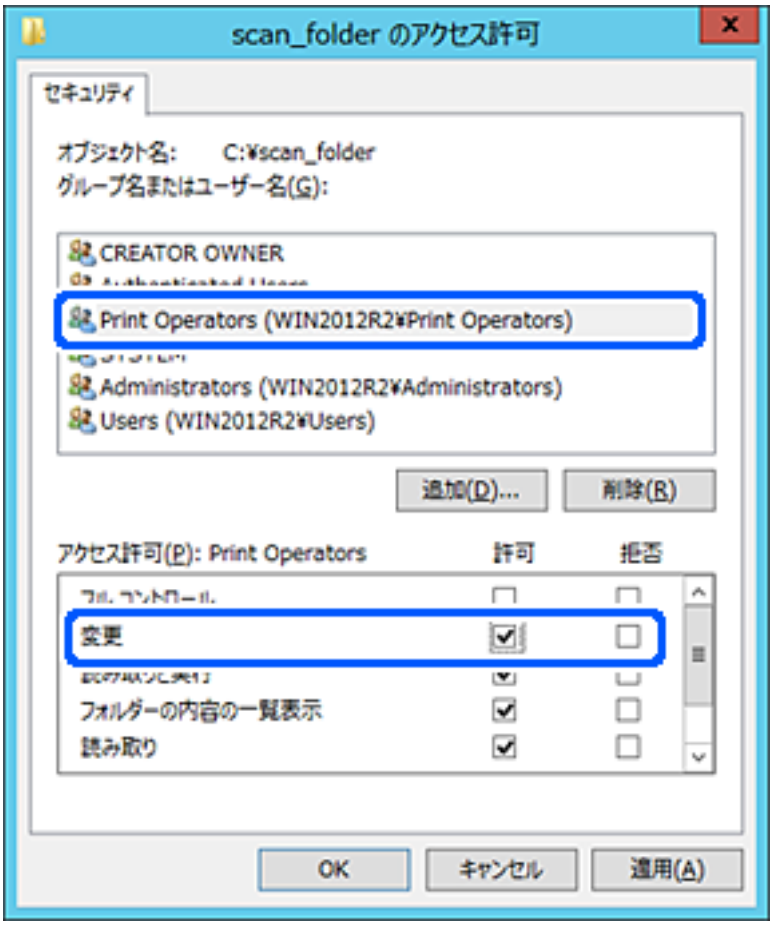
名前に下線が入ります。

参考 グループやユーザーの完全な名前がわからない場合は、名前の一部を入力して［名前の確認］をクリックしてください。名前の一部が合致するグループやユーザー名が一覧表示され、そこから選択することができます。
一つだけ合致した場合は、［選択するオブジェクト名を入力してください］に下線が入った完全な名前が表示されます。



6. ［OK］をクリックします。

7. アクセス許可の画面で、［グループ名またはユーザー名］に入力したユーザー名を選択して［変更］のアクセス許可にチェックを入れ、［OK］をクリックします。



8. ［OK］または［閉じる］をクリックして、画面を閉じます。

アクセスを許可したユーザーまたはグループのコンピューターから、共有フォルダーにファイルが読み書きできるか確認してください。

Microsoftネットワーク共有を使用する

有効にすると、プリンターから共有フォルダーにファイルを保存できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

［ネットワーク］タブ-［MS Network］

4. ［Microsoftネットワーク共有を使用する］を有効にします。

5. 必要に応じて各項目を設定します。

6. ［次へ］をクリックします。

7. 設定内容を確認して［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

共有フォルダーのトラブル対処

操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない

ネットワークフォルダーへのスキャン時に操作パネルにメッセージが表示される

操作パネルにメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってエラーを解決してください。

メッセージ	対処方法
DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。	コンピューターに接続できません。以下を確認してください。 • プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 • コンピューター名にひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字の2バイト文字が使用されているときは、半角英数字に直して設定し、アドレス帳を登録し直してください。 • コンピューターのIPアドレスが手動で固定設定されているときは、ネットワークパスのコンピューター名をコンピューターのIPアドレスに置き換えてみてください。 記入例：\\EPSON02\SCAN → \\192.168.xxx.xxx\SCAN • 保存先コンピューターの電源が入っているか、またはスリープ状態になっていないか確認をしてください。スリープ状態のときは、共有フォルダーに保存できません。 • 保存先のコンピューターのファイアウォール、セキュリティーソフトを一時的に停止して確認してください。エラーが解決したら、セキュリティーソフトの設定を確認してください。 • ネットワークの場所が［パブリックネットワーク］になっているときは、共有フォルダーに保存できません。ポートの解放設定などを個別に設定してください。 • IPアドレスがDHCPのとき、一度LANを切断すると、次にLANに接続したときにIPアドレスが変わることがあります。IPアドレスの取得をやり直してください。 • DNSの設定に問題がないか確認してください。DNSの設定値は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 • DNSサーバーの管理テーブルが更新されていないときは、コンピューター名とIPアドレスが一致していないことがあります。DNSサーバーの管理者に問い合わせてください。

メッセージ	対処方法
認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。	フォルダーの共有アクセスを許可しているユーザーのログオン名/パスワードと、アドレス帳に登録しているユーザー名/パスワードが一致しているか確認してください。また、パスワードの有効期限が切れていないか確認してください。
通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。	アドレス帳に登録されたネットワークフォルダーと通信できません。以下を確認してください。 • Web Configなどで、［Microsoftネットワーク共有を使用する］が無効になっていないかを確認してください。 Web Configでは、［ネットワーク］-［MS Network］で確認できます。 • プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 • アドレス帳に登録しているユーザーのアクセス許可が、共有フォルダーのプロパティの［共有］タブと［セキュリティ］タブの両方に追加されている必要があります。また、変更の「許可」にチェックが入っている必要があります。
同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。	ファイル名の設定を変更してください。または、共有フォルダーのファイルを移動したり、名前を変更したり、削除したりしてください。
スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。	コンピューターにファイルを保存できる容量がありません。コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。

エラーの発生箇所を確認する

対処方法

共有フォルダーに保存するとき、以下の項目を上から順に行います。エラーが発生したとき、エラーの発生箇所を判断できます。

項目	動作内容	エラーメッセージ
接続	プリンターから保存先コンピューターに接続する。	DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。
コンピューターへのログオン	ユーザー名とパスワードを入れてログオンする。	認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。
保存場所の確認	共有フォルダーのネットワークパスを確認する。	通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。
ファイル名の確認	フォルダー内に同じ名前のファイルがないかを確認する。	同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。
ファイルの書き込み	フォルダーにファイルを書き込む。	スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。

保存に時間がかかる

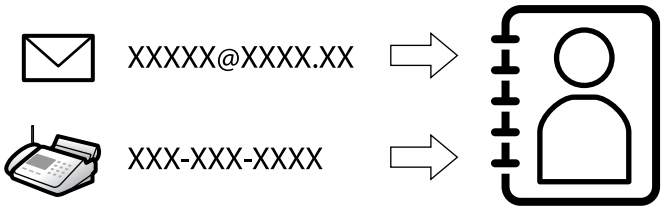
「ドメインネーム」と「IPアドレス」を対応させる名前解決に時間がかかっています。

対処方法

以下の設定を確認してください。

- DNSの設定に問題がないか確認してください。
- Web Configで確認するとき、各DNSの設定が正しくされているか確認してください。
- DNSドメイン名が正しく設定されているか確認してください。

アドレス帳の登録



スキャンやファクスの宛先をプリンターのアドレス帳に登録しておくと、簡単に宛先を入力できます。

参考 アドレス帳には、以下の種類の宛先を、合計で2,000件まで登録できます。

ファクス	ファクスの宛先
メール	メールの宛先 メールサーバーの設定が必要です。
ネットワーク フォルダー(SMB)	スキャンデータやファクス転送データの保存先
ネットワークフォルダー	

設定ツールによる宛先設定機能差

アドレス帳の宛先は、Web ConfigやEpson Device Admin、プリンターの操作パネルから設定できます。ただし、設定できる項目が異なります。

機能	Web Config	Epson Device Admin	操作パネル
宛先登録	○	○	○
宛先編集	○	○	○
グループ登録	○	○	○
グループ編集	○	○	○
宛先やグループの削除	○	○	○

機能	Web Config	Epson Device Admin	操作パネル
宛先の一括削除	○	○	-
ファイルのインポート	○	○	-
ファイルへエクスポート	○	○	-
常用の指定	○	○	○
常用の並べ替え	-	-	○

参考 ファクスの宛先はFAX Utilityからも設定できます。

アドレス帳への宛先登録

アドレス帳には宛先を2,000 件まで登録できます。

Web Configからアドレス帳に宛先を登録する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［スキャン/コピー］タブまたは［ファクス］タブ -［アドレス帳］
4. 登録したい番号を選択して［編集］をクリックします。
5. ［登録名］と［検索名］を入力します。
6. 設定したい宛先の ［種別］ を選択します。

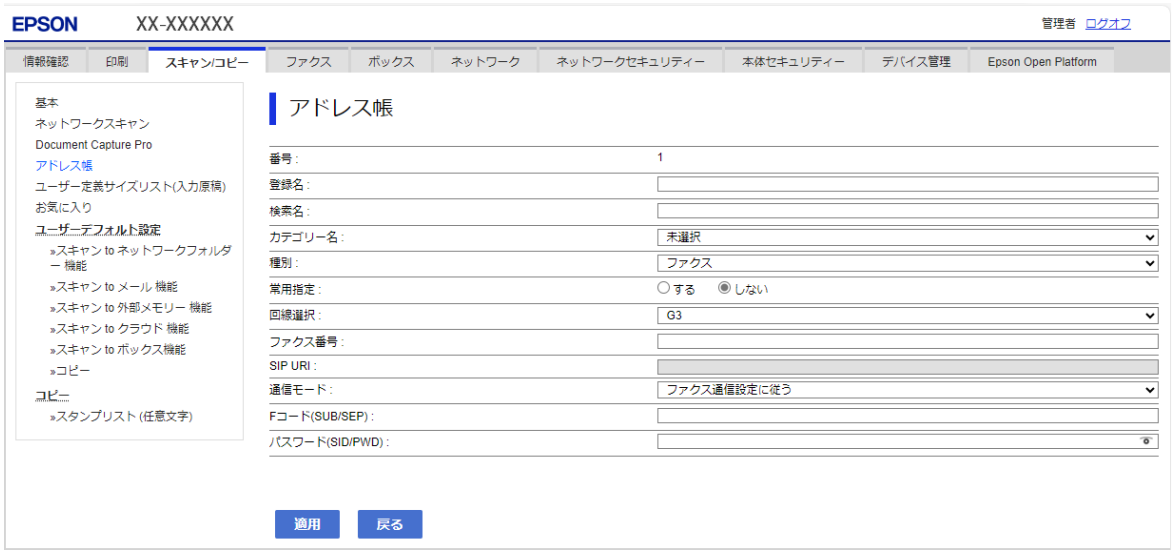
   参考 登録後は［種別］を変更できません。登録後に種類を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。
7. ［種別］に応じて必要な項目を入力します。
   「アドレスの設定項目（Web Config）」92ページ
   例えば、［種別］に［ファクス］を選択した場合は［ファクス番号］にファクス番号を入力します。
8. ［適用］をクリックして、登録を完了します。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

➡ 「Web Configからアドレス帳に宛先を登録する（IPファクス利用時）」97ページ
➡ 「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」323ページ
➡ 「原稿をスキャンしてメールに添付する」325ページ

アドレスの設定項目（Web Config）



項目	設定値と説明
共通設定	
登録名	アドレス帳に表示する名称を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
検索名	検索に使われる名称を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
カテゴリー名	カテゴリー名を選択します。
種別	登録するアドレスの種類を選択します。
常用指定	チェックを付けると登録したアドレスを常用にします。 常用に設定すると、ファクスやスキャンのトップ画面に表示され、アドレス帳を開かなくても宛先を指定できるようになります。
ファクス	
回線選択	ファクス送信するときに使用する回線を選択します。
ファクス番号	［回線選択］で［G3］を選択したときに、0～9の数字、 - * # または半角スペースを使用し、1から64文字以内で入力します。
SIP URI	［回線選択］で［IP-LAN］（ライセンスキーの登録が必要）か［IP-NGN］を選択したときに、ASCII（0x20～0x7E）で表せる1～ 127文字以内で入力できます。ただし、空白文字および "<>\^`{|} は除きます。
通信モード	宛先に応じたファクス通信速度を選択します。

項目	設定値と説明
Fコード(SUB/SEP)	ファクス送信時に付加されるFコードを設定します。0～9の数字、* # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
パスワード(SID/PWD)	Fコードのパスワードを設定します。0～9の数字、* # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
メール	
メールアドレス	A～Z a～z 0～9 ! # $ % & ' * + - . / = ? ^ _ { | } ~ @を使用し、1～255文字以内で入力します。
ネットワークフォルダー (SMB)	
保存先	\\“フォルダーパス” 保存フォルダーのパスを、Unicode（UTF-8）で表せる1～253文字以内（"\\"を除く）で入力します。 ブラウザーによっては、円マークがバックスラッシュで表示されることがあります。
ユーザー名	ネットワークフォルダーのユーザー名を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。
パスワード	ネットワークフォルダーのパスワードを、Unicode（UTF-8）で表せる20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。
FTP	
セキュア接続	FTPサーバーがサポートしているファイル転送プロトコルによって、FTPまたはFTPSを選択します。セキュアな通信をするには［FTPS］を選択します。
保存先	FTPサーバーのアドレスを、Unicode（UTF-16）で表せる1～253文字以内（"//"を除く）で入力します。ただし、制御文字（0x0000～0x001f、0x007F）は除きます。
ユーザー名	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。匿名による接続を認めているサーバーでは、AnonymousやFTPなどを入力します。指定しないときは空白にします。
パスワード	FTPサーバーにアクセスするパスワードを、Unicode（UTF-8）で表せる20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。指定しないときは空白にします。
接続モード	メニューから接続モードを選択します。プリンターとFTPサーバーの間にファイアウォールがある場合は、［パッシブモード］を選択します。
ポート番号	FTPサーバーのポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
証明書の検証	有効にするとFTPサーバーの証明書の正当性をチェックします。［セキュア接続］が［FTPS］のときに選択できます。 設定の前に相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートしておいてください。
SharePoint(WebDAV)	

項目	設定値と説明
セキュア接続	HTTPサーバーがサポートしているプロトコルに従って、HTTPまたはHTTPSを選択します。セキュアな通信をするには［HTTPS］を選択します。
保存先	HTTPサーバーのアドレスを、Unicode（UTF-16）で表せる1～253文字以内（"//"を除く）で入力します。ただし、制御文字（0x0000～0x001f、0x007F）は除きます。
ユーザー名	HTTPサーバーにアクセスするためのユーザー名を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。匿名による接続を認めているサーバーでは、Anonymousなどを入力します。指定しないときは空白にします。
パスワード	HTTPサーバーにアクセスするパスワードを、Unicode（UTF-8）で表せる20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。指定しないときは空白にします。
証明書の検証	有効にするとHTTPサーバーの証明書の正当性をチェックします。［セキュア接続］が［HTTPS］のときに選択できます。 設定の前に相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートしておいてください。
プロキシサーバー	HTTPサーバーにアクセスする際にプロキシサーバーを使用するかどうかを選択します。

操作パネルからアドレス帳に登録する

1. 以下の順に選択します。
   ［設定］-［アドレス帳管理］

2. ［アドレス帳登録・変更］を選択します。

3. 以下のいずれかを行ってください。
   - 新しいアドレスを登録するとき：［新規登録］タブを選択して、［宛先を作成］を選択します。
   - アドレスを編集するとき：対象のアドレスを選択して、［編集］を選択します。
   - アドレスを削除するとき：対象のアドレスを選択し、［削除］を選択して、［OK］を選択します。これで削除は完了です。以降の手順は不要です。

4. 表示された選択肢のなかから宛先の種別を選択します。

   参考 登録後は種別を変更できません。登録後に種別を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。

5. ［登録番号］で登録したい番号を選択します。

6. ［登録名］と［よみがな(検索名)］を入力します。

7. 各項目を設定します。
   以下のリンクから、Web Configでの設定項目を確認いただけます。
   プリンターの操作パネルに表示される名称とは異なることがあります。ご注意ください。

「アドレスの設定項目（Web Config）」92ページ

8. ［OK］を選択して設定を保存します。

関連情報

➡ 「操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する（IPファクス利用時）」98ページ
➡ 「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」323ページ
➡ 「原稿をスキャンしてメールに添付する」325ページ

宛先をグループとして登録

種別が［ファクス］や［メール］の宛先の場合、種別ごとに、複数の宛先をまとめて1つのグループとしてアドレス帳に登録できます。
アドレス帳には、宛先とグループの合計で2,000 件まで登録できます。

Web Configから宛先をグループに登録する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［スキャン/コピー］タブ または ［ファクス］ タブ -［アドレス帳］

4. 登録したい番号を選択して［編集］をクリックします。

5. ［種別］で登録したいグループを選択します。

6. ［グループに入れる宛先］の［選択］をクリックします。
   登録できるアドレスが一覧で表示されます。

7. グループに登録するアドレスを選択して、［選択］をクリックします。

8. ［登録名］と［検索名］を入力します。

9. グループを常用登録するかを選択します。

参考 アドレスは複数のグループに登録できます。

10. ［適用］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

操作パネルから宛先をグループに登録する

1. 操作パネルで以下の順に選択します。
   ［設定］-［アドレス帳管理］

2. ［アドレス帳登録・変更］を選択します。

3. ［新規登録］タブを選択し、［グループを作成］を選択します。

4. 表示された選択肢のなかから宛先の種別を選択します。

参考 登録後は種別を変更できません。登録後に種別を変更したいときは、そのグループを削除して再登録してください。

5. ［登録番号］で登録したい番号を選択します。

6. ［グループ登録名（必須項目）］と［よみがな(検索名)］を入力します。

7. ［グループに入れる宛先（必須項目）］を選択し、追加したい宛先を選択して、［閉じる］を選択します。

8. ［OK］を選択して設定を保存します。

アドレス帳への宛先登録（IPファクス利用時）

アドレス帳に宛先を登録するときに、回線の設定でIPファクスを選択できます。

Web Configからアドレス帳に宛先を登録する（IPファクス利用時）

アドレス帳に宛先を登録するときに、回線の設定でIPファクス（［IP-LAN］または［IP-NGN］）を選択できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［スキャン/コピー］タブまたは［ファクス］タブ -［アドレス帳］

4. 登録したい番号を選択して［編集］を選択します。

5. ［登録名］と［検索名］を入力します。

6. ［種別］で［ファクス］を選択します。

参考 登録後は［種別］を変更できません。登録後に種別を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。

7. ［回線選択］で［IP-LAN］（ライセンスキーの登録が必要）または［IP-NGN］を選択します。

   参考 VoIPゲートウェイ経由で送信するときは、［IP-LAN］を選択してください。

8. ［SIP URI］に宛先を入力します。
   「IPファクスの宛先」98ページ

9. 必要に応じその他各項目を設定して、［適用］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する（IPファクス利用時）

アドレス帳に宛先を登録するときに、回線の設定で［IPファクス］を選択できます。

1. 操作パネルで以下の順に選択します。
   ［設定］-［アドレス帳管理］

2. ［アドレス帳登録・変更］を選択します。

3. 以下のいずれかを行ってください。
   - 新しいアドレスを登録するとき：［新規登録］タブを選択して、［宛先を作成］を選択します。
   - アドレスを編集するとき：対象のアドレスを選択して、［編集］を選択します。
   - アドレスを削除するとき：対象のアドレスを選択し、［削除］を選択して、［はい］を選択します。これで削除は完了です。以降の手順は不要です。

4. 種別を選択する画面で［ファクス］を選択します。

   参考 登録後は種別を変更できません。登録後に種別を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。

5. ［ファクス番号(必須項目)］を選択します。

6. ［回線選択］で［IPﾌｧｸｽ(LAN)］または［IPﾌｧｸｽ(NGN)］を選択します。

7. 宛先を入力します。

8. ［OK］を選択して設定を保存します。

IPファクスの宛先

IPファクス送信の仕方に応じた書式で宛先を入力してください。

送受信の仕方		宛先入力
イントラネット（LAN）内	SIPサーバーを使用しない場合	送信先のファクス機に設定された［本体URI］（SIP URI形式）を入力してください。 例1：1111@host.local 例2：User1@192.168.1.1 例3：User1@[2001:0db8::1234:5678:90ab:cdef]
	SIPサーバーを使用する場合	送信先のファクス機に設定された［本体URI］（SIP URI形式）のSIPユーザー名を入力してください。 例1：1111 例2：User1
NGN		ファクス番号 例：0312345678
G3ファクス機（VoIPゲートウェイ経由）		ファクス番号 例：0312345678

よく使うアドレスの登録（常用指定）

よく使うアドレスをWeb Configから登録する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［スキャン/コピー］ タブ または ［ファクス］ タブ -［アドレス帳］

4. 登録したい番号を選択して［編集］を選択します。

5. ［常用指定］で［する］を選択してください。
   Web Configの画面からは、常用登録したアドレスの表示順を変更できません。

6. ［適用］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

よく使うアドレスをプリンターの操作パネルから登録する

1. ホーム画面で［設定］をタップします。
2. ［アドレス帳管理］-［常用管理］の順にタップします。
3. 登録するアドレスの種類を選択します。
4. ［常用編集］をタップします。
5. 頻繁に使う宛先を指定して［OK］をタップします。選択を解除するには、もう一度アドレスをタップします。
6. ［閉じる］をタップします。

アドレス帳のエクスポートとインポート

アドレス帳は、Web Configや他のツールを使用してバックアップやインポートができます。

Web Configの場合

- アドレス帳を含めてプリンター設定をエクスポートするとバックアップできます。エクスポートされたファイルはバイナリーファイルのため編集できません。
- アドレス帳を含むプリンター設定をインポートすると、アドレス帳は上書きされます。

Epson Device Adminの場合

- デバイスのプロパティ画面からアドレス帳だけをエクスポートできます。
- パスワードなどセキュリティー項目を含めずにエクスポートするとSYLK形式やcsv形式に保存できるので、編集してからインポートできます。
- 複数台のプリンターに一括で登録できます。アドレス帳だけをバックアップする場合や、プリンターの置き替え時に置き替え前のプリンターからアドレス帳を引き継ぐような場合に役立ちます。
  詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

Web Configを使ってアドレス帳をエクスポートまたはインポートする

Web Configからアドレス帳をインポートする

本プリンターにインポートできるアドレス帳を持った別のプリンターをお持ちの場合、そのプリンターのバックアップデータをインポートすることで、アドレス帳に登録できます。

参考 本プリンターにインポートできる、別のプリンターのアドレス帳をバックアップする方法については、その別のプリンターのマニュアルをご覧ください。

バックアップデータからインポートする手順は以下です。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［デバイス管理］タブ -［設定のエクスポート/インポート］-［インポート］

4. ［ファイル］で、バックアップデータファイルを選択し、暗号化パスワードを入力して、［次へ］をクリックします。

5. ［アドレス帳］を選択し、［次へ］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

Web Configを使ってアドレス帳をエクスポートする

プリンターの故障などでアドレス帳のデータが消失する可能性があります。アドレス帳の更新時にバックアップすることをお勧めします。本製品の保証期間内であっても、データの消失または破損について弊社はいかなる責も負いません。プリンターに登録されているアドレス帳は、Web Configでコンピューターにエクスポートしてバックアップができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［デバイス管理］タブ -［設定のエクスポート/インポート］-［エクスポート］

4. ［アドレス帳］のどれか1つにチェックを付けます。
例えば、［スキャン/コピー］カテゴリーの［アドレス帳］を選択すると、［ファクス］カテゴリーの［アドレス帳］も選択されます。

5. エクスポートするファイルを暗号化するための、任意のパスワードを入力します。
ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。

6. ［エクスポート］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

Epson Device Adminを使ってアドレス帳をエクスポートまたはインポートする

Epson Device Adminを使ってアドレス帳をエクスポートする

アドレス帳の情報をファイルに保存します。
SYLK形式やcsv形式で保存したファイルは表計算ソフトやテキストエディターなどで編集できます。情報の削除や追加などをしてから一括で登録できます。
パスワードや個人情報などセキュリティー項目を含む情報は、パスワードを設定したバイナリー形式で保存できます。このファイルは編集できません。セキュリティー項目を含む情報のバックアップとして活用できます。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで［デバイス］を選択します。
3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。
4. リボンメニューの［ホーム］タブから［デバイスの設定］をクリックします。
   管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。
5. ［共通］ - ［アドレス帳］の順にクリックします。
6. ［エクスポート］-［エクスポートする項目］からエクスポート形式を選択します。
   - 全ての項目
     暗号化したバイナリーファイルをエクスポートします。パスワードや個人情報などセキュリティー項目を含めたい場合に選択します。このファイルは編集できません。こちらを選択した場合はパスワードの設定が必要です。［設定］をクリックして、パスワードをASCII文字（8～63文字）で設定します。このパスワードはバイナリーファイルのインポート時に入力が求められます。
   - セキュリティー情報を除く項目
     SYLK形式またはcsv形式のファイルをエクスポートします。エクスポートした情報を編集したい場合に選択します。
7. ［エクスポート］をクリックします。
8. ファイルを保存する場所を指定し、ファイルの種類を選択して［保存］をクリックします。
   エクスポート完了メッセージが表示されます。
9. ［OK］をクリックします。
   指定した場所にファイルが保存されていることを確認してください。

関連情報

➡ 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」528ページ

Epson Device Adminを使ってアドレス帳をインポートする

アドレス帳の情報をファイルからインポートします。
SYLK形式やcsv形式で保存したファイルや、セキュリティー項目を含む情報をバックアップしたバイナリーファイルをインポートできます。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで［デバイス］を選択します。
3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。
4. リボンメニューの［ホーム］タブから［デバイスの設定］をクリックします。
   管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。
5. ［共通］-［アドレス帳］をクリックします。
6. ［インポート］の［参照］をクリックします。
7. インポートしたい番号を選択して［開く］をクリックします。
   バイナリーファイルを選択した場合、［パスワード］にファイルをエクスポートしたときに設定したパスワードを入力します。
8. ［インポート］をクリックします。
   確認画面が表示されます。
9. ［OK］をクリックします。
   読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。
   - 読み込んだ情報を編集する
     読み込んだ情報を個別に編集したい場合にクリックします。
   - 更にファイルを読み込む
     複数のファイルをインポートしたい場合にクリックします。
10. ［インポート］をクリックし、インポート完了画面で［OK］をクリックします。
    デバイスのプロパティ画面に戻ります。
11. ［送信］をクリックします。
12. 確認メッセージで［OK］をクリックします。
    設定がプリンターに反映されます。
13. 送信完了画面で［OK］をクリックします。
    プリンターの情報が更新されます。
    Web Configや操作パネルからアドレス帳を開き、更新されていることを確認してください。

関連情報

➡ 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」528ページ

ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定

インターネットを利用したEpson Connect（エプソンコネクト）サービスを使うと、受信ファクスをクラウドアカウントへ転送できます。

このサービスの利用には、Epson Connectのセットアップ（ユーザー登録、プリンター登録、クラウド転送先の登録）が必要です。
Epson Connectのセットアップ方法やクラウドアカウントの登録など、詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

Web Configからクラウド宛先を登録する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［ファクス］タブ -［クラウド宛先リスト］

4. 登録したい番号を選択して［編集］をクリックします。

5. クラウド転送リストに登録したい宛先を選択します。

6. ［選択］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

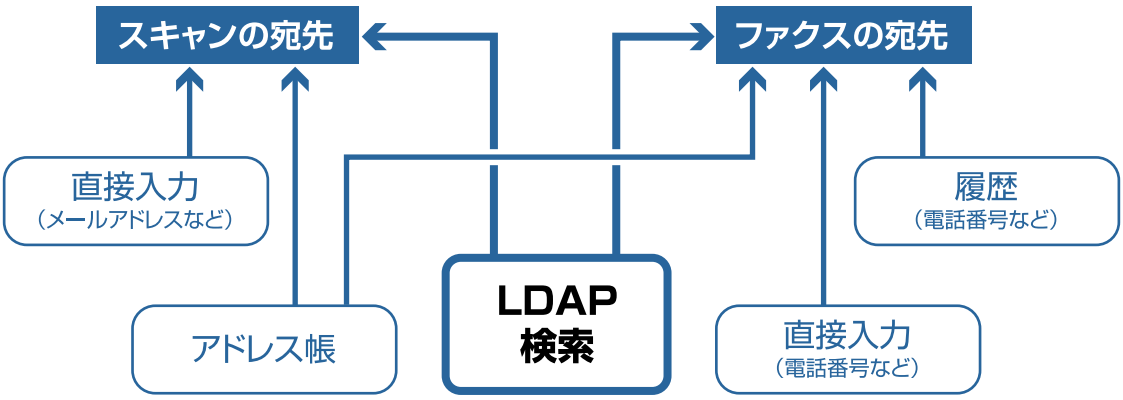
関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

LDAPサーバーのユーザー情報を宛先に使用するための設定

LDAPサーバーと連携しておくと、LDAPサーバーに登録されているアドレス情報をメールやファクスの宛先に直接利用できます。

スキャンの場合　　ファクスの場合



LDAPサーバーを設定する

LDAPサーバーの情報を使用するには、LDAPサーバーをプリンターに登録します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［基本］
4. 各項目を設定します。
5. ［設定］を選択します。
   設定結果が表示されます。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

LDAPサーバー設定項目

項目	設定値と説明
LDAPサーバーを使用する	［使用する］または［使用しない］を選択します。
LDAPサーバーアドレス	LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～255文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
LDAPサーバーポート番号	LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
セキュア接続	プリンターがLDAPサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。
証明書の検証	有効にするとLDAPサーバーの証明書の正当性をチェックします。［有効］にすることをお勧めします。 設定するには、プリンターに［相手サーバー検証用CA証明書］のインポートが必要です。
検索タイムアウト（秒）	検索を開始してからタイムアウトするまでの時間（秒）を5～300までの半角数字で入力します。
認証方式	認証方式を選択します。 ［Kerberos認証］を選択する場合は、［Kerberos設定］を選択し、Kerberos設定をしてください。 Kerberos認証を行うには以下の環境が必要です。 • プリンターとDNSサーバーが通信できること • プリンターとKDCサーバー、認証が必要なサービスを提供するサーバー（LDAPサーバー、SMTPサーバー、ファイルサーバー）の時刻の同期が取れていること • サービスサーバーをIPアドレスで指定している場合、DNSサーバーの逆引き参照ゾーンにサービスサーバーのFQDNが登録されていること
使用するKerberosレルム	［認証方式］で［Kerberos認証］を選択した場合に、使用するKerberosレルムを選択します。
管理者DN / ユーザー名	Unicode（UTF-8）で表せる128文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字（0x00～0x1F、0X7F）は使用できません。この項目は［認証方式］を［Anonymous認証］にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。
パスワード	Unicode（UTF-8）で表せる128文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字（0x00～0x1F、0X7F）は使用できません。この項目は［認証方式］を［Anonymous認証］にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。

Kerberos設定

［ネットワーク］タブ -［LDAPサーバー］-［基本］-［認証方式］で［Kerberos認証］を選択したときは、［ネットワーク］タブ -［Kerberos設定］から以下のKerberos設定をしてください。Kerberos設定は10個まで登録できます。

項目	設定値と説明
レルム(ドメイン)	Kerberos認証のレルムをASCII (0x20～0x7E)で表せる255文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。

項目	設定値と説明
KDCアドレス	Kerberos認証サーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式（255文字以内）で指定します。登録しない場合は空白にします。
ポート番号(Kerberos)	Kerberosサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。

LDAPサーバーの検索属性を設定する

検索属性を設定すると、LDAPサーバーに登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを利用できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［検索設定］
4. 各項目を設定します。
5. ［設定］をクリックして、設定結果を表示します。
   設定結果が表示されます。

関連情報

- 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
- 「管理者パスワードの初期値」17ページ

LDAPサーバー検索設定項目

項目	設定値と説明
検索開始位置(DN)	データベースの任意の領域など、特定の場所から検索するときに指定します。 Unicode（UTF-8）で表せる0～128文字以内で入力します。検索位置を指定しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local
検索件数上限数（5-500）	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	登録名として検索するLDAPサーバーの属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、uid

項目	設定値と説明
ユーザー表示名属性	表示名として表示する属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、sn
ファクス番号属性	ファクス番号の検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：facsimileTelephoneNumber
メールアドレス属性	メールアドレスを検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail
任意情報属性1～任意情報属性4	LDAPサーバーにエントリーしている他の任意属性を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。任意属性でのデータ取得を行わない場合は空白にします。 設定例：o、ou

LDAPサーバーとの接続を確認する

［LDAPサーバー］-［検索設定］で設定した値でLDAPサーバーとの接続テストを行います。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

   ［ネットワーク］タブ -［LDAPサーバー］-［接続確認］

4. ［確認開始］を選択します。

   LDAPサーバーとの接続テストが開始されます。テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

- 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
- 「管理者パスワードの初期値」17ページ

LDAPサーバー接続確認結果

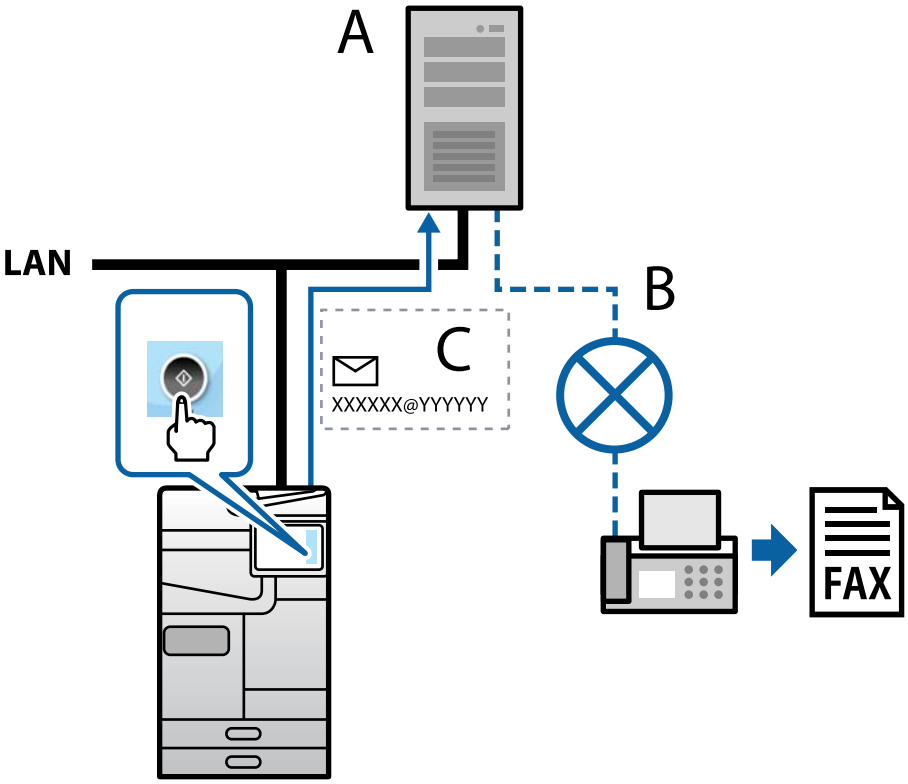
メッセージ	説明
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。

メッセージ	説明
接続に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 • LDAPサーバーアドレス、ポート番号などが間違っている • 通信タイムアウトが発生した • ［LDAPサーバーを使用する］が［使用しない］設定になっている • ［認証方式］に［Kerberos認証］を選択した場合に、Kerberos設定の［レルム(ドメイン)］、［KDCアドレス］、［ポート番号(Kerberos)］の設定が間違っている
接続に失敗しました。 製品、またはサーバーの日付/時刻設定を確認してください。	プリンターとLDAPサーバーの時刻設定の不一致によって接続に失敗した場合に表示されます。
サーバーの認証に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 • ［ユーザー名］または［パスワード］が間違っている • ［認証方式］に［Kerberos認証］が選択されているとき、時刻設定されていない
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

ファクスサーバーを利用したファクス送信

ネットワーク内のファクスサーバーを経由してファクス送信する機能です。ファクスサーバー経由で送信する設定をしておくと、通常のファクス送信操作によって、データがメールに添付されファクスサーバーに送信されます。ファクスサーバーは、メールに含まれるファクス番号の情報を使用して相手のファクス機にデータを送信します。ファクスサーバーを利用して送信する機能が有効なときは、プリンターのLINEポートからのファクス送信はできません。

参考 本機能を使用したい場合、導入前に保守サービス実施店までご相談ください。また、ファクスサーバーの詳細は、ファクスサーバーを提供している、インターネットファクスなどの事業者にお問い合わせください。



A：ファクスサーバー
B：公衆電話網
C：ファクスデータが添付されたメール

以下が可能なファクスサーバーを利用すると、本機能を使用できます。

- 「XXXXXX@YYYYYY」形式のメールでファクスデータを受け取り、ファクス番号XXXXXX宛てにファクス送信できる
  XXXXXX：035555XXXXなどのファクス番号
  YYYYYY：ファクスサーバーのドメイン名。プリンターによって付加されます。
- メールに添付されたファイル形式（マルチページ TIFF ）のファクスデータを使用できる

印刷、スキャン、コピー、ファクスの設定

印刷の初期設定

用紙サイズや印刷エラーの表示など、プリンターの印刷に関する設定をします。

印刷できるようにする

ネットワーク接続でプリンターから印刷できるようにします。
ネットワークでプリンターを使用するには、プリンターのネットワーク接続以外に、コンピューターにネットワーク用のポート設定が必要です。

プリンター接続のタイプ

プリンターのネットワーク接続は主に以下の2つのタイプがあります。

- ピアツーピア型接続（直接印刷）
- サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）

ピアツーピア型接続設定

プリンターとネットワーク上のコンピューターが直接通信する接続です。ネットワーク対応プリンターのみ接続できます。

接続方法：

プリンターをハブやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンタードライバー：

プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。
EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンター設定を含んだドライバーのパッケージを配布できます。

特徴：

- プリンターに直接印刷データを送るので、印刷開始までに時間がかかりません。
- プリンターが稼働していれば印刷できます。

サーバークライアント型接続設定

サーバーになるコンピューターがプリンターを共有する接続です。プリンターにサーバー経由以外の通信を遮断すると、セキュリティーを強化できます。
USBで接続するとネットワーク機能がないプリンターも共有できます。

接続方法：

プリンターをLANスイッチやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。
プリンターとサーバーをUSBケーブルで直接接続することもできます。

プリンタードライバー：

Windowsサーバー上に、クライアントコンピューターのOSにおけるシステムの種類に対応したドライバーをインストールします。
Windowsサーバーにアクセスしてプリンターをリンクすると、クライアントコンピューターにインストールされて使用できるようになります。

特徴：

- プリンターやプリンタードライバーを一括管理できます。
- 全ての印刷データはサーバーを経由するため、サーバーの能力によっては印刷開始までに時間がかかることがあります。
- Windowsサーバーが停止していると印刷できません。

ピアツーピア型接続での印刷設定

ピアツーピア型接続（直接印刷）の場合、プリンターとクライアントコンピューターは一対一の関係になります。
プリンターを使用するそれぞれのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

サーバークライアント型接続での印刷設定

サーバークライアント型で接続したプリンターから印刷できるようにします。
サーバークライアント型の接続では、先にプリントサーバーのコンピューターから印刷できるように設定してから、プリンターをネットワークで共有してプリントサーバー経由で印刷できるようにします。
USBケーブルでサーバーに接続した場合も同様に、コンピューターからプリンターに印刷できるように設定してからプリンターをネットワークで共有します。

ネットワークポートを設定する

一般的なStandard TCP/IPを使用してプリントサーバーのコンピューターにネットワーク印刷用のプリントキューを作成し、ネットワークポートを設定します。
ここではWindows Server 2012 R2を代表例として説明します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

   ［デスクトップ］ - ［設定］ - ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］） - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

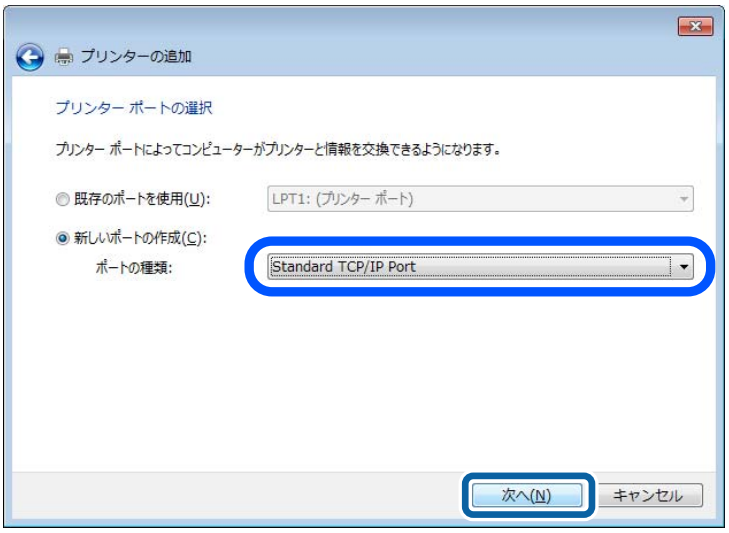
2. プリンターを追加します。

   ［プリンターの追加］をクリックして、表示される画面で［探しているプリンターはこの一覧にはありません］を選択します。

3. ローカルプリンターを追加します。

   ［ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する］を選択して、［次へ］をクリックします。

4. ［新しいポートの作成］を選択し、ポートの種類から［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

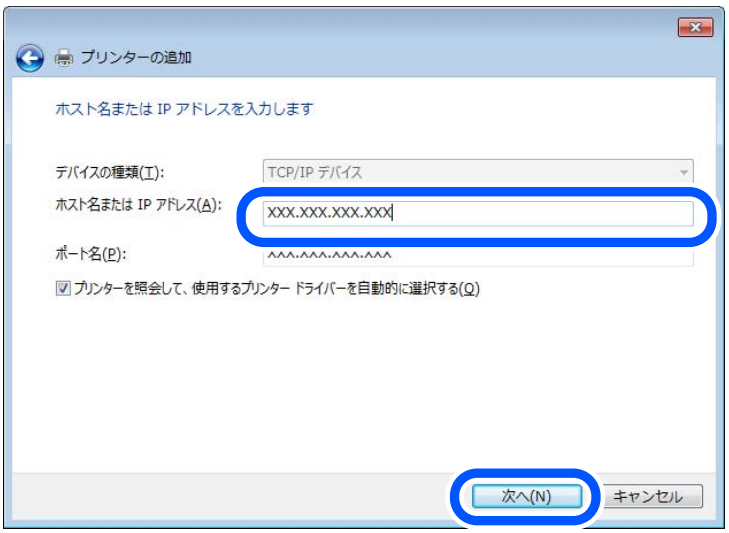


5. ［ホスト名またはIP アドレス］（または［プリンター名またはIP アドレス］）にプリンター名、またはプリンターのIP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

記入例：

- プリンター名：EPSONA1A2B3C
- IPアドレス：192.0.2.111

［ポート名］は変更しないでください。
［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは［続行］をクリックします。



参考 名前で検索が可能なネットワークでプリンター名を指定した場合は、DHCPによってプリンターのIPアドレスが変更になっても追従ができます。プリンター名は、操作パネルのネットワーク情報表示またはネットワークステータスシートで確認できます。

6. プリンタードライバーを設定します。
   - プリンタードライバーがインストールされている場合
     ［製造元］ - ［プリンター］を選択します。［次へ］をクリックします。

7. この後は、画面の指示に従って操作します。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、続いてプリンターを共有設定します。

ポート構成を確認する - Windows

プリントキューに適切なポートが設定されているか確認します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。
   ［デスクトップ］ - ［設定］ - ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］） - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

2. プリンターのプロパティ画面を開きます。
   対象プリンターのアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］をクリックします。

3. ［ポート］タブをクリックし、［標準のTCP/IPポート］を選択して、［ポートの構成］をクリックします。

4. ポートの構成を確認します。
   - RAWの場合
     ［プロトコル］で［Raw］が選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。
   - LPRの場合
     ［プロトコル］で［LPR］が選択されていることを確認します。［LPR 設定］の［キュー名］に「PASSTHRU」と入力します。［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックします。

プリンターを共有する（Windowsのみ）

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、プリントサーバーからプリンターを共有設定します。

1. プリントサーバーのコンピューターで［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、［プリンターのプロパティ］ − ［共有］タブを選択します。

3. ［このプリンターを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。
   Windows Server 2012をお使いの場合は、［共有オプションの変更］をクリックしてから設定してください。

追加ドライバーをインストールする（Windowsのみ）

プリントサーバーのコンピューターとクライアントコンピューターが異なるバージョンのWindowsで動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーにインストールしておくことをお勧めします。

1. プリントサーバーのコンピューターで［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、［プリンターのプロパティ］ − ［共有］タブを選択します。

3. ［追加ドライバー］をクリックします。
   Windows Server 2012をお使いの場合は、共有オプションの変更をクリックしてから設定してください。

4. クライアントコンピューターのWindowsバージョン（プロセッサータイプ）を選択して、OKをクリックします。

5. プリンタードライバーの情報ファイル（*.inf）を指定してドライバーをインストールします。

共有プリンターを使う - Windows

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順としてプリントサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。追加ドライバーが設定されていない環境では、［デバイスとプリンター］からプリンターを追加する手順を案内してください。
以下は、プリントサーバーに追加ドライバーが設定されている場合の手順です。

1. プリントサーバーのコンピューター名を［エクスプローラー］で開きます。

2. 利用したいプリンターをダブルクリックします。

給紙装置の設定をする

各給紙装置にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［印刷］タブ-［給紙装置設定］

4. 各項目を設定します。
   ご使用の環境によっては表示項目が異なります。
   - 給紙装置名称
     ［手差しトレイ］、［用紙カセット1］など、設定対象の給紙装置名が表示されます。
   - ［用紙サイズ］
     プルダウンメニューから設定する用紙のサイズを選択します。

- ［単位］
  ユーザー定義サイズの単位を選択します。［用紙サイズ］が［ユーザー定義サイズ］の場合に選択できます。
- ［横の長さ］
  ユーザー定義サイズの横の長さを設定します。
  入力できる範囲は給紙装置に依存し、［横の長さ］の横に示されています。
  ［単位］で［mm］を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。
  ［単位］で［inch］を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。
- ［縦の長さ］
  ユーザー定義サイズの縦の長さを設定します。
  入力できる範囲は給紙装置に依存し、［縦の長さ］の横に示されています。
  ［単位］で［mm］を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。
  ［単位］で［inch］を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。
- ［用紙種類］
  プルダウンメニューから設定する用紙の種類を選択します。

5. 設定内容を確認して、［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

インターフェイスの設定をする

印刷ジョブのタイムアウト時間や各インターフェイスに割り当てる印刷言語を設定します。
この項目はPostScript対応のプリンターのみ表示されます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順番で操作してください。
   ［印刷］タブ - ［インターフェイス設定］

4. 各項目を設定します。
   - ［タイムアウト設定］
     USB経由の印刷ジョブのタイムアウト時間を設定します。
     1秒単位で5秒～300秒で設定できます。
     タイムアウトしたくない場合は0を入力します。
   - ［印刷言語］
     USBインターフェイス、ネットワークインターフェイスそれぞれの印刷言語を選択します。
     ［自動］を選択すると送られた印刷ジョブから判断されます。

5. 設定内容を確認して、［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

エラーの設定をする

デバイス本体のエラー表示に関する設定をします。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［印刷］タブ-［エラー設定］

4. 各項目を設定します。
   - 用紙サイズエラー
     指定された給紙装置の用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
   - 用紙種類エラー
     指定された給紙装置の用紙タイプと、印刷データの用紙タイプが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
   - 自動エラー解除
     エラーを表示してから5秒間操作パネルの操作がなかった場合に、自動でエラーを解除するかどうか設定します。

5. 設定内容を確認して、［設定］をクリックします。

外部機器（PC）の設定をする

外部機器からプリンタードライバーを経由しない印刷をするときの設定をします。
お使いのプリンターの対応印刷言語によって表示されない項目があります。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［印刷］タブ-［外部機器(PC)印刷設定］

4. 各項目を設定します。

5. 設定内容を確認して、［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

基本設定

項目	説明
上印刷位置調整（-30.0-30.0mm）	印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
左印刷位置調整（-30.0-30.0mm）	印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
裏面上印刷位置調整（-30.0-30.0mm）	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
裏面左印刷位置調整（-30.0-30.0mm）	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
紙幅チェック印刷	印刷時に紙幅のチェックをするか設定します。
白紙節約モード	印刷データに白紙ページがあった場合、白紙を出さないように設定します。

PDL印刷設定

PostScript印刷時の設定ができます。
この項目はPostScript対応のプリンターのみ表示されます。

共通設定

項目	説明
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを選択します。
用紙種類	用紙の種類を選択します。
用紙方向	印刷する用紙の方向を選択します。
印刷品質	印刷品質を選択します。
インクセーブモード	インクの消費量を抑えた印刷をするか設定します。
印刷順序	印刷する順序を選択します。
コピー枚数設定(1-999)	印刷部数を設定します。
とじ位置	両面印刷時のとじ位置を選択します。
自動排紙設定	データ受信のタイムアウトが発生した場合、自動で排紙するか設定します。
両面印刷	両面で印刷するか設定します。

PS設定

項目	説明
PSエラーシート	PS3印刷のエラー時にエラーシートを印刷するか設定します。
Coloration	カラー印刷かモノクロ印刷かを設定します。
Binary	バイナリーデータを受け付けるかどうか設定します。
PDF印刷 用紙サイズ	PDF印刷時の用紙サイズを設定します。

ユニバーサル プリントを使えるようにする

ユニバーサル プリントを使うための設定をします。この機能を使用するためには、Microsoft 365サービスとAzure Active Directoryサービスの利用が必要です。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワーク］タブ-［ユニバーサル プリント］
4. ［登録］をクリックします。
5. 表示されたメッセージを読んで、リンクをクリックします。
6. 画面の指示に従って、プリンターを登録します。
   登録後、Web Config画面の登録状態が［登録済］になっていれば設定完了です。

   参考 ユニバーサル プリントの使用方法などAzure Active Directoryの操作については、Microsoftのウェブサイトを参照してください。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

AirPrintを使えるようにする

印刷やスキャンをAirPrintで行うための設定をします。
Web Configで［ネットワーク］タブ-［AirPrint設定］を選択します。

項目	説明
Bonjourサービス名	BonjourのサービスをASCII (0x20-0x7E)で表せる41文字以内で入力します。
ロケーション	プリンターの設定場所など任意のロケーション情報を、UTF-8で表せる127バイト以内の文字列で入力します。
位置情報 緯度、経度 (WGS84)	プリンターの位置情報を入力します。入力は任意です。 WGS-84測地系の値を使用し、緯度と経度を「,」で区切ります。 緯度は-90～+90、経度は-180～+180の範囲で入力できます。また、小数点以下は6位まで入力でき、+は省略できます。
最優先プロトコル	優先するプロトコルを、IPPとPort9100から選択します。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。使用する場合、セグメントを越えた検索ができるように、プリンターがDNSサーバーに登録されている必要があります。
IPP印刷時にPINコードを必須とする	IPP印刷時にPINコードの設定を必須にするかどうか設定します。［はい］を選択すると、PINコードが設定されていないIPP印刷ジョブはプリンターに保存されません。
AirPrintを有効にする	IPP、Bonjour、AirPrint (Scan Service)が有効になり、IPPはセキュア通信のみになります。

スキャン/コピーの初期設定

スキャンの前に必要な準備

操作パネルを使ってスキャンするには

事前にサーバーまたはフォルダーを設定します。

サーバーやフォルダーの設定

機能名	設定	設定場所	必要なもの
スキャン to フォルダー機能（SMB）	保存フォルダーの作成と共有設定	保存先フォルダーのあるコンピューター	保存フォルダーを作成するコンピューターへの管理者権限ユーザーアカウント
	スキャン to フォルダー（SMB）の宛先	デバイス本体のアドレス帳	保存フォルダーがあるコンピューターへログオンするためのユーザー名、パスワード、保存フォルダーへの書き込みの権利

機能名	設定	設定場所	必要なもの
スキャン to フォルダー機能（FTP）	FTPサーバーログオン設定	デバイス本体のアドレス帳	保存先FTPサーバーへのログオン情報、保存フォルダーへの書き込みの権利
スキャン to メール機能	メールサーバーの設定	デバイス本体	メールサーバーの設定情報
スキャン to クラウド機能	デバイス本体のEpson Connectへのプリンター登録	デバイス本体	インターネット接続環境
	Epson Connectのアドレス帳登録	Epson Connectサービス	Epson Connectサービスへのプリンター、ユーザー登録
スキャン to コンピューター機能（Document Capture Pro Serverを使用する場合）	Document Capture Proのサーバーモード設定	デバイス本体	Document Capture Pro Serverがインストールされているコンピューターのアドレスまたはホスト名、FQDN

関連情報

- 「共有フォルダーを設定する」69ページ
- 「メールサーバーを設定する」65ページ

Document Capture Pro Serverを使う

Document Capture Pro Serverを使うと、プリンターの操作パネルからスキャンした結果の仕分けや保存形式、転送先などの処理を登録、管理できます。プリンターの操作パネルからサーバーに登録されているジョブを呼び出して実行します。
サーバーにするコンピューターにインストールします。
Document Capture Pro Serverの詳細はエプソンの問い合わせ窓口にお問い合わせください。

サーバーモードを設定する

Document Capture Pro Serverを使用するには、Web Configで［サーバーモード］を設定します。

参考 操作パネルで以下の順に選択しても［サーバーモード］を設定できます。
［設定］-［本体設定］-［スキャン設定］-［Document Capture Pro設定］-［動作モード］

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［スキャン/コピー］タブ-［Document Capture Pro］

4. ［動作モード］で［サーバーモード］を選択します。

5. Document Capture Pro Serverがインストールされているサーバーのアドレスを、［サーバーアドレス］に入力します。
   IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式で2～255文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。

6. ［設定］をクリックします。
   ネットワークが再起動し、設定が有効になります。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

コンピューターからスキャンするには

コンピューターからネットワークを経由したスキャンをするには、ソフトウェアをインストールして、ネットワークスキャンサービスの有効を確認してください。

インストールするソフトウェア

- EPSON Scan 2
  スキャナードライバーです。コンピューターからスキャンする場合、クライアントコンピューターそれぞれにインストールします。Document Capture Pro/Document Captureがコンピューターにインストールされている場合、本体のボタンに割り当てられたジョブを実行できます。
  EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンタードライバーも一緒にパッケージして配布できます。
- Document Capture Pro （Windows）/Document Capture （Mac OS）
  クライアントコンピューターへインストールします。ネットワーク上のDocument Capture Pro/Document Captureがインストールしてあるコンピューターに登録されたジョブを操作パネルから呼び出して実行できます。
  コンピューターからネットワークでスキャンもできます。スキャンするにはEpson Scan 2が必要です。

ネットワークスキャンサービスの有効を確認する

クライアントコンピューターからネットワークでスキャンをするにはネットワークスキャンサービスを設定します。工場出荷時には有効に設定されています。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［スキャン/コピー］タブ-［ネットワークスキャン］

4. ［Epson Scan 2］の［スキャン機能を有効にする］にチェックが入っていることを確認します。

   入っている場合はここで終了です。Web Configを閉じます。
   入っていない場合はチェックを入れ、次の手順に進みます。

5. ［次へ］をクリックします。

6. ［設定］をクリックします。

   ネットワークが再起動し、設定が有効になります。

関連情報

- 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
- 「管理者パスワードの初期値」17ページ

ファクスを使えるようにする（ファクス対応機のみ）

ファクスを使う前に

ファクスを使うには以下の作業をします。

- プリンターと電話回線、外付け電話機（使用する場合）の接続
  「プリンターを電話回線に接続する」124ページ
- ［ファクス設定ウィザード］で、必須の基本設定
  「プリンターでファクス送受信できるようにする」128ページ

必要に応じて以下の設定をしてください。

- アドレス帳の登録
  「アドレス帳の登録」90ページ
- ファクスの保存先や転送先、その設定で必要なネットワークやメールサーバーの設定
  「メールサーバーを設定する」65ページ
  「共有フォルダーを設定する」69ページ
  「ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定」103ページ
  「用途に応じてファクス機能の設定をする」131ページ
  「ファクス設定（ファクス対応機のみ）」541ページ
- ［ユーザー設定］メニューの初期設定（［ファクス］）
  「ユーザー設定」571ページ
- レポートを印刷する設定（［レポート設定］）
  「レポート設定」542ページ
- ファクス設定時のトラブル解決
  「ファクスのトラブル対処」149ページ

プリンターを電話回線に接続する

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）や構内交換機（PBX）で使用できます。
以下の電話回線やシステムでは使用できないことがあります。

- 光ファイバーなどのIP電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- 通話中着信サービス「キャッチホン」など各種サービスの提供を受けている電話回線
- 電話回線とプリンターとの間にターミナルアダプター、VoIPアダプターなどの各種アダプターを接続しているとき
- ドアホンやビジネスホン

プリンターを電話回線に接続する

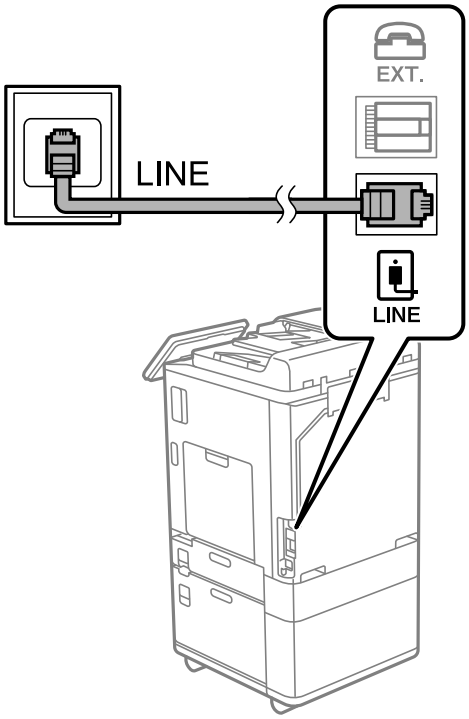
RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。プリンターにお手持ちの電話機を接続するときも、RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルを使います。

参考 プリンターのEXT. ポートのキャップは、お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときに外します。電話機を接続しないときはキャップを外さないでください。

落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

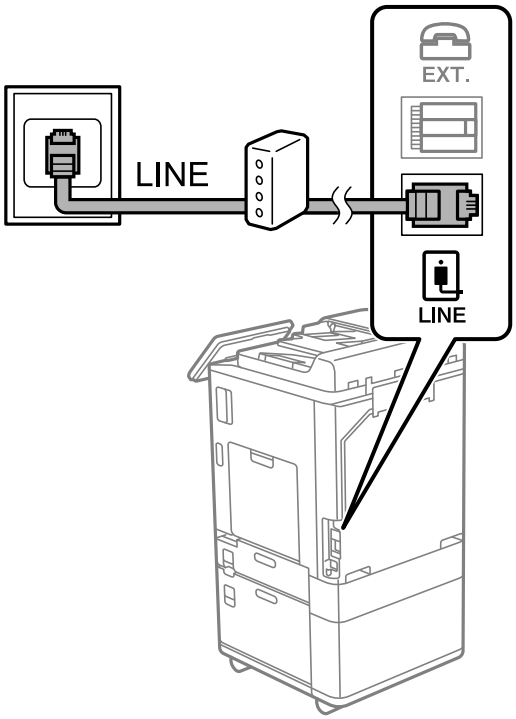
一般回線または構内交換機（PBX）に接続する

電話回線やPBXポートと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。



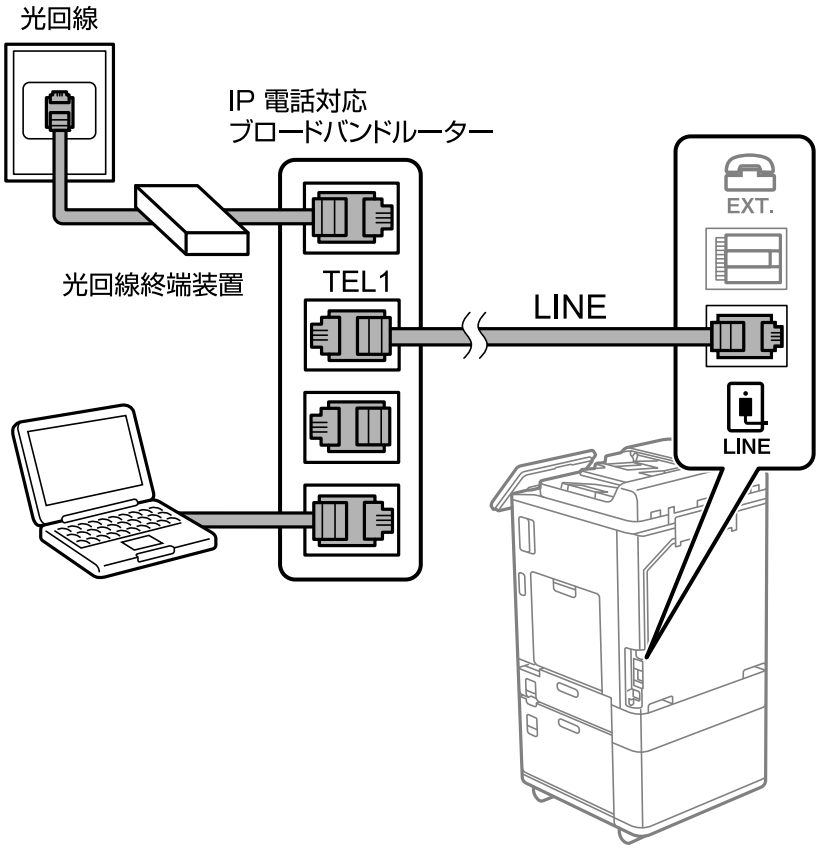
ISDNに接続する

ISDNターミナルアダプターと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはモデムやターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。



光回線に接続する

IP電話対応のブロードバンドルーターとプリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはご契約の回線事業者に問い合わせてください 。



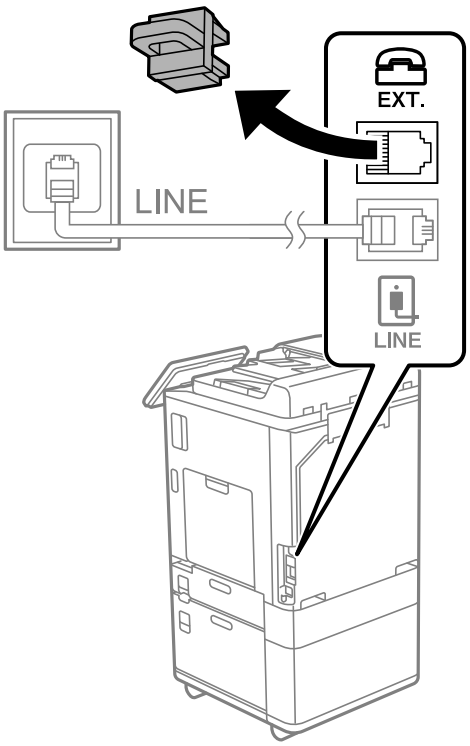
参考 2回線契約していないときは必ずルーターのTEL1（ポート名はルーターによって異なります。Aや1などの先頭の番号）に接続してください。

電話機とプリンターを接続する

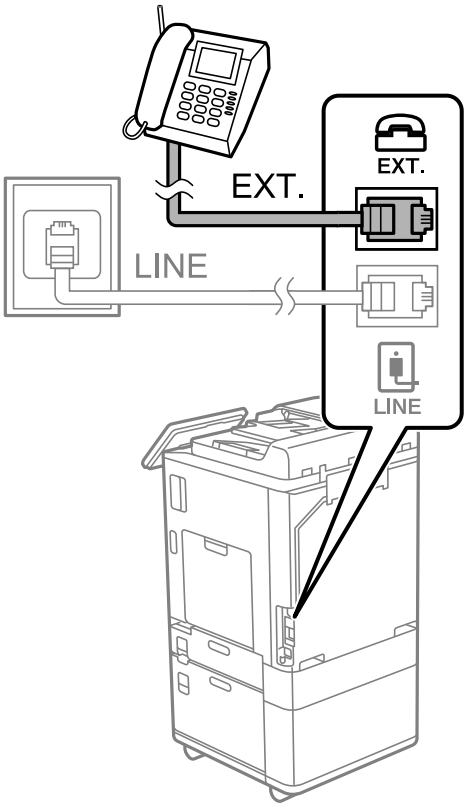
1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

参考
- ファクス機能付き電話は、ファクス機能を無効にしてから接続してください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。電話機の機種によってはファクス機能を完全に無効にできないため、外付け電話機として使用できない場合があります。
- 留守番電話機能を使うときは、ファクスを受信するまでの［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、プリンターの［ナンバー・ディスプレイ対応］設定を変更してください。

1. プリンター背面部のEXT.ポートからキャップを取り外します。



2. 電話機とEXT.ポートをモジュラーケーブルで接続します。



参考 1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、必ず外付け電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。同回線にプリンターと並列で接続すると（ブランチ接続）、プリンターも電話機も正常な動作ができなくなります。

3. プリンターの操作パネルで［ファクス］を選択します。

4. 受話器を上げます。

以下のように送信開始（または受信開始）を促すメッセージが表示されれば、接続が成功しています。

関連情報

- 「プリンターでファクス送受信できるようにする」128ページ
- 「留守番機能付き電話機を使えるようにする」138ページ
- 「電話機の操作だけで受信できるようにする」138ページ
- 「受信モード：」545ページ

プリンターでファクス送受信できるようにする

［ファクス設定ウィザード］で基本設定が完了し、ファクス送受信が可能になります。
ウィザードは、初回電源投入時に自動で表示されます。手動でプリンターの操作パネルからも表示できます。初回電源投入時にスキップした場合や設置場所を変更した場合は、手動で設定してください。

- ウィザードに従って設定する項目は以下です。
  - ［発信元設定］（［発信元番号］と［発信元名］）
  - ［受信モード］（［自動］、［ファクス/電話自動切替］または［手動］）
- 接続環境に応じて自動的に設定される項目は以下です。
  - ［ダイヤル種別］（［プッシュ］、［ダイヤル(10PPS)］など）
    ［接続回線］が［構内交換機(PBX)］のとき、［ダイヤル種別］はファクス設定ウィザードで自動的には設定できないことがあります。［ダイヤル種別］が自動で設定されなかったときは、手動で設定してください。
- その他の基本設定はウィザードでは変更されません。

関連情報

- 「基本設定」543ページ

ファクス設定ウィザードを使ってファクス送受信できるようにする

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス設定ウィザード］の順に選択します。
3. 画面の指示に従って、発信元の名前（自局の名前や会社名など）や番号を入力します。

   参考 発信元の名前と番号は、送信文書のヘッダー情報になります。

4. 受信モードを設定します。
   - プリンターに電話機を接続しない場合
     ［いいえ］を選択します。
     ［受信モード］は［自動］に設定されます。
   - プリンターに電話機を接続する場合
     ［はい］を選択して、ファクスを自動受信するかしないか選択します。

   参考 ［ファクスを自動受信する］で［はい］を選択すると、［受信モード］は［ファクス/電話自動切替］に設定されます。

5. 画面表示された設定結果を確認します。確認したら次の画面に進みます。

   修正するときは←を選択してください。

6. ［診断開始］を選択してファクスの接続チェックをします。チェックが完了したら［印刷開始］を選択して結果レポートを印刷します。

   参考
   - レポートにエラーが表示されていたら、レポートの指示に従って対処してください。
     「ファクス機能診断レポートの見方」130ページ
   - ［接続回線選択］画面が表示されたら接続回線のタイプを選択してください。
     ・構内交換機（PBX）やターミナルアダプターに接続しているときは、［構内交換機(PBX)］を選択します。
     ・一般加入電話回線（PSTN）に接続しているときは［一般回線(PSTN)］を選択し、［確認］画面で［検出しない］を選択します。ただし、［検出しない］にするとファクス番号の先頭の番号がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

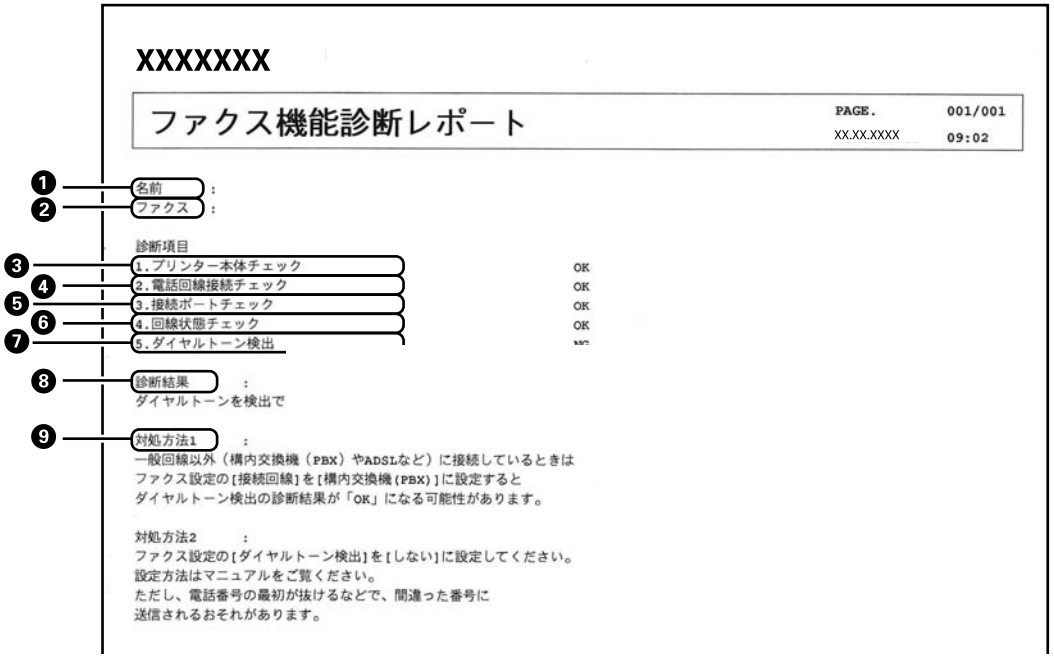
留守番機能付き電話機や、ナンバー・ディスプレイサービスに対応した電話機を接続したときは、他にも設定が必要です。外付け電話機接続時の設定を確認してください。以下の関連情報を参照してください。

関連情報

- 「プリンターを電話回線に接続する」124ページ
- 「留守番機能付き電話機を使えるようにする」138ページ
- 「受信モード：」545ページ
- 「発信元の電話番号を表示する設定にする」137ページ
- 「電話機の操作だけで受信できるようにする」138ページ
- 「基本設定」543ページ

ファクス機能診断レポートの見方

［ファクス設定ウィザード］の接続チェックで印刷したレポートの見方を説明します。このレポートは以下のメニューでファクス診断を実行した後でも印刷できます。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス診断］



項目	説明	
❶	［ファクス設定ウィザード］で入力した発信元の名前（自局の名前や会社名など）を表示します。［発信元名］で変更できます。 「発信元名：」545ページ	
❷	［ファクス設定ウィザード］で入力した自局のファクス番号を表示します。［発信元番号］で変更できます。 「発信元番号：」545ページ	
診断項目	各診断項目の結果を表示します。「NG」の場合は以下の説明にある対処方法をお試しください。	
❸	プリンター本体チェック	プリンター本体が故障している可能性があります。保守サービス実施店にご相談ください。
❹	電話回線接続チェック	• プリンターのLINEポートに電話回線が接続されていません。 プリンターのLINEポートに電話回線を接続してください。間違ってLANポートに接続していないか確認してください。 • 1つの電話回線を分岐または延長しているか、特殊機器が接続されています。 プリンターと電話回線を直接接続してください。
❺	接続ポートチェック	プリンターのEXT.ポートに電話回線が接続されています。 プリンターのLINEポートに電話回線を接続してください。
❻	回線状態チェック	1つの電話回線を分岐または延長しているか、特殊機器が接続されています。 プリンターと電話回線を直接接続してください。

項目	説明	
❼	ダイヤルトーン検出	• 構内交換機（PBX）環境でご利用の場合、［接続回線］を［構内交換機(PBX)］に設定してください。 この設定により、ダイヤルトーン/呼び出し信号の検出範囲が広がります。この設定は構内交換機（PBX）環境以外でご利用のお客様にも有効です。 「構内交換機（PBX）の設定」131ページ • プリンターの［ダイヤルトーン検出］を［オフ］にしてファクスを送受信できるかご確認ください。 なお、ダイヤルトーンを検出しない設定で行ったファクス機能診断の結果は「---」になります。
❽	問題点を表示します。問題点に応じ、上の診断項目に記載の対処方法をお試しください。 問題ないときは「正常です」と表示されます。	
❾	診断結果に基づき、代表的な対処方法を表示します。	

以上の 対処を実施したら再度ファクス機能診断をして、問題が解決したか確認してください。
以上の対処をしても問題が解決しないときは、ご契約の回線事業者にご相談ください。

用途に応じてファクス機能の設定をする

プリンターの操作パネルを使って、プリンターのファクス機能を個別に設定できます。［ファクス設定ウィザード］を使って設定した項目も変更できます。詳しくは、ファクス設定メニューの説明ページをご覧ください。
「ファクス設定（ファクス対応機のみ）」541ページ

参考
- Web Configからもプリンターのファクス機能を設定できます。
- Web Configでのメニュー名や表示場所は、プリンターの操作パネルのファクス設定と異なることがあります。

関連情報

- 「構内交換機（PBX）の設定」131ページ
- 「使い方から受信方法を設定する」133ページ
- 「外付け電話機接続時の設定をする」137ページ
- 「受信ファクスの保存設定と転送設定」139ページ
- 「特定の条件で受信ファクスを保存・転送する設定」142ページ
- 「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」147ページ
- 「コンピューターからのファクス送受信を設定する」148ページ

構内交換機（PBX）の設定

お使いの回線が構内交換機（PBX）に接続されているなどして、外線発信するときに外線発信番号（0や9などの番号）が必要な場合の設定には、以下の2通りがあります。

- 外線へのファクス送信時に外線発信番号をそのまま使う設定
  発信前のダイヤルトーン検出は、「構内交換機（PBX）のダイヤルトーン」だけです。
  「外線のダイヤルトーン」の検出は行わず、ポーズ時間を置いて発信が開始されます。
  「外線へのファクス送信時に外線発信番号をそのまま使う設定にする」132ページ
- 外線へのファクス送信時に外線発信番号として#を使う設定
  発信前のダイヤルトーン検出は、「構内交換機（PBX）のダイヤルトーン」の他に「外線のダイヤルトーン」も検出しますので、誤接続のトラブルのリスクを低減できます。
  「外線へのファクス送信時に外線発信番号として#を使う設定にする」132ページ

外線へのファクス送信時に外線発信番号をそのまま使う設定にする

「0」や「9」などの外線発信番号をそのまま登録、発信する場合は以下のように設定します。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択します。
3. ［接続回線］を選択して［構内交換機(PBX)］を選択します。
4. 実際の外線発信番号を使ってファクス送信したいときは、［外線発信番号］をタップして［使用しない］を選択します。
5. ［OK］を選択して設定を保存します。

外線発信番号をそのまま使用してファクス送信したりアドレス帳登録したりするときの入力方法

（例）外線発信番号が0、ファクス番号が035555XXXXの場合

先頭に外線発信番号「0」とポーズ「-」を入力してからファクス番号を入力します。
0-035555XXXX

電話発信時のプリンターの動作

❶ 構内交換機（PBX）からのダイヤルトーンを検出する
❷ 0（外線発信番号）をダイヤルする
❸ ポーズ（3秒）
❹ ファクス番号をダイヤルする

外線へのファクス送信時に外線発信番号として#を使う設定にする

実際の外線発信番号（0や9などの番号）の代わりに#を使って、外線のファクス番号にファクスを送信できます。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択します。
3. ［接続回線］を選択して［構内交換機(PBX)］を選択します。
4. ［外線発信番号］ボックスを選択して、［使用する］を選択します。
5. ［外線発信番号］ボックスをタップし、外線発信番号を入力して、OKをタップします。
6. ［OK］を選択して設定を保存します。

ダイヤルするときに外線発信番号の代わりに#を入力すると、0や9などの外線発信番号に置き換えます。#を使用すると、外線からのダイヤルトーンを検出してから外線発信するため、外線に接続するときのトラブル回避に役立ちます。

参考 「0」や「9」などの外線発信番号付きでアドレス帳に宛先を登録した場合は、［外線発信番号］を［使用しない］に設定してください。設定しない場合はアドレス帳に外線番号を＃で登録し直してください。

外線発信番号の代わりに#を使用してファクス送信したりアドレス帳登録したりするときの入力方法

（例）外線発信番号が0、ファクス番号が035555XXXXの場合

先頭に、外線発信番号「0」の代わりに「#」を入力してから、ファクス番号を入力します。
#035555XXXX

電話発信時のプリンターの動作

❶ 構内交換機（PBX）からのダイヤルトーンを検出する
❷ 0（「#」に割り当てた外線発信番号）をダイヤルする
❸ 外線からのダイヤルトーンを検出する
❹ ファクス番号をダイヤルする

参考 「#」は、❷ と外線からのダイヤルトーン検出（❸）に置き換わります。

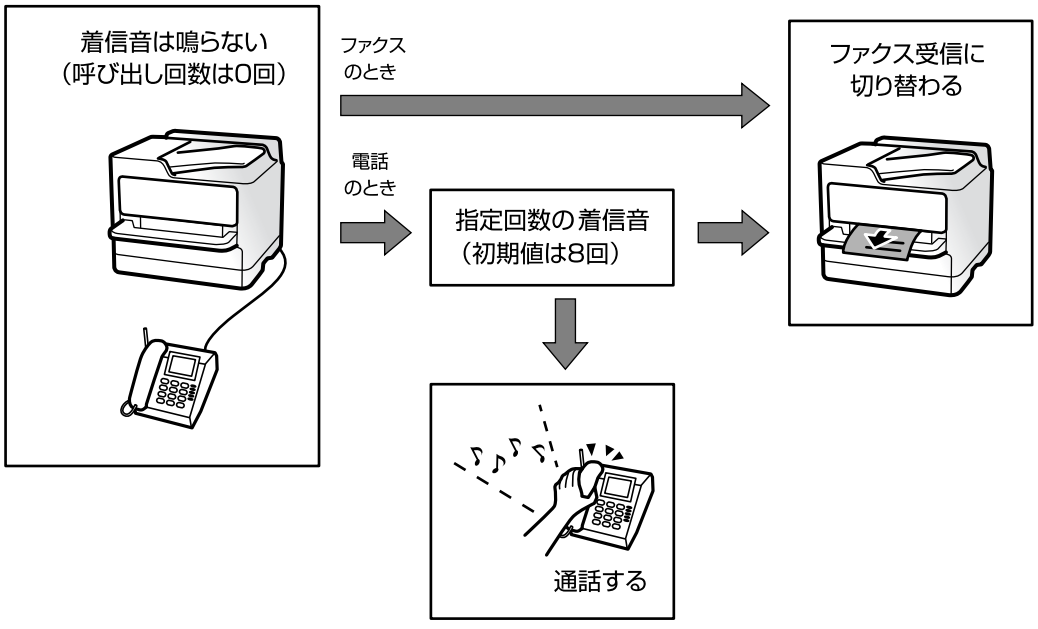
使い方から受信方法を設定する

ご使用の環境に合わせて受信方法を設定します。

関連情報

- 「ファクスと音声通話を自動で切り替える（ファクス優先の自動切り替え）」133ページ
- 「ファクスと音声通話を自動で切り替える（電話優先の自動切り替え）」134ページ
- 「ファクス専用で使用する（自動受信）」135ページ
- 「外付け電話機で受けてから受信する（手動受信）」136ページ
- 「電話着信時に留守番電話で応答する（留守番電話接続）」137ページ

ファクスと音声通話を自動で切り替える（ファクス優先の自動切り替え）

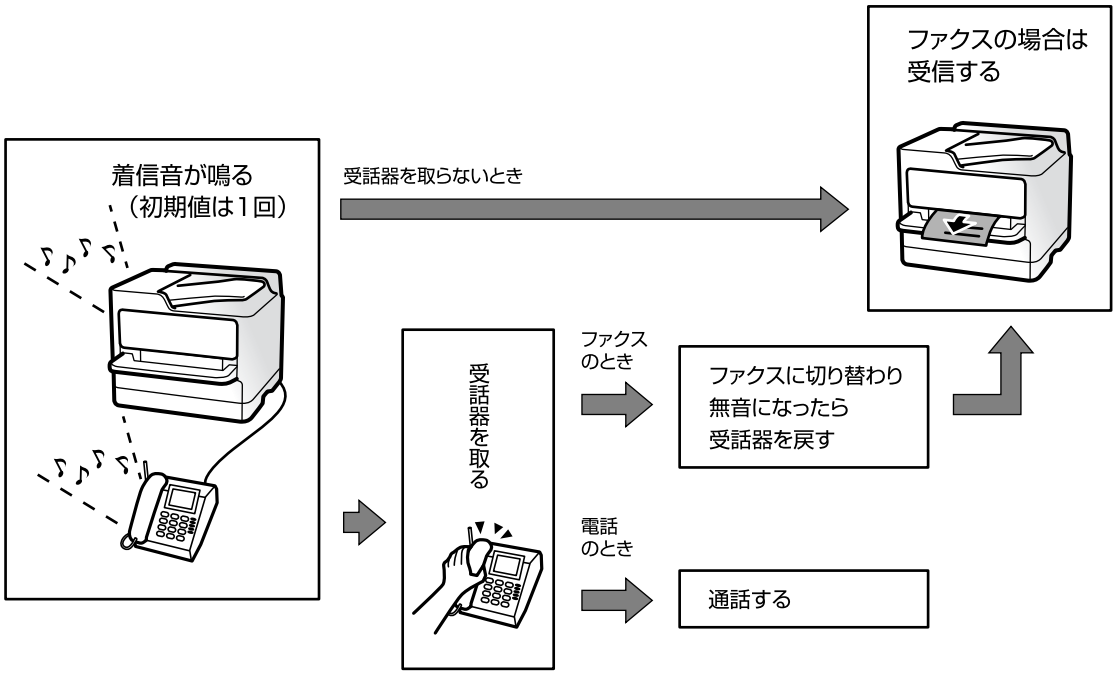


着信時にファクス受信または音声通話なのかをプリンターが自動で判断します。ファクスの場合は電話機を鳴らさずに自動で受信を開始して、音声通話の場合は外付け電話機を鳴らします（初期値は8回）。
1つの電話回線をファクスと電話の両方に使用していて、ファクス受信が多い場合にお勧めです。

設定項目	設定値	初期値
受信モード	ファクス/電話自動切替	自動
呼び出し回数	［0］回	［1］回
電話呼び出し回数	［8］回	［8］回
ナンバー・ディスプレイ対応*	オン	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。 発信元（相手先）の番号はプリンターの操作パネルに表示されます。外付け電話機には表示されません。

ファクスと音声通話を自動で切り替える（電話優先の自動切り替え）



着信時には電話機が鳴ります。
電話に出て音声通話の場合は、そのまま通話します。ファクスの場合はファクス信号(ポー音)が聞こえ、しばらく待つとファクス受信が始まり無音になるので受話器を戻します。
着信音が鳴り終わるまでに電話に出ないとファクスが自動応答し、ファクスの場合は受信します。
1つの電話回線をファクスと電話の両方に使用していて、電話が多い場合にお勧めです。

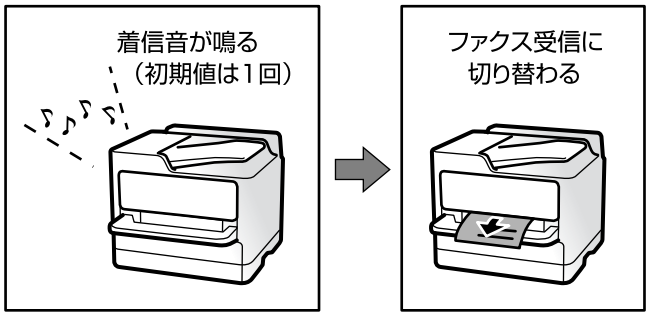
参考 ファクス受信が始まらない場合は、リモート受信を有効にして電話機の操作で受信してください。
「電話機の操作だけで受信できるようにする」138ページ

設定項目	設定値	初期値
受信モード	自動	自動

設定項目	設定値	初期値
呼び出し回数	［8］回	［1］回
電話呼び出し回数	（無効）	［8］回
ナンバー・ディスプレイ対応*	外付け電話機優先	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。 発信元（相手先）の番号はプリンターの操作パネルと外付け電話機の両方に表示されます。

ファクス専用で使用する（自動受信）

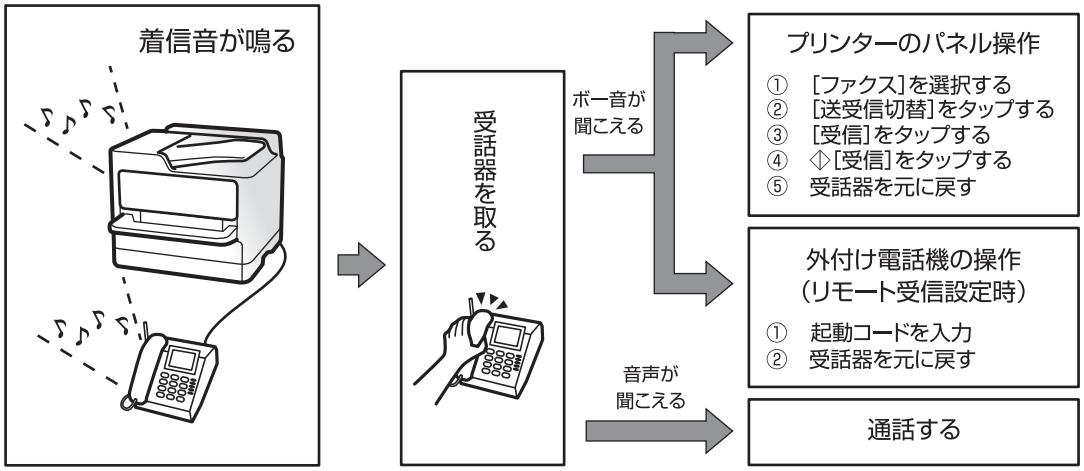


設定した回数（初期値は1回）の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信を開始します。呼び出し回数を0回に設定すると、着信音を鳴らさずにファクス受信できます（無鳴動受信）。

設定項目	設定値	初期値
受信モード	自動	自動
呼び出し回数	［1］回	［1］回
電話呼び出し回数	（無効）	［8］回
ナンバー・ディスプレイ対応*	オン	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。 発信元（相手先）の番号はプリンターの操作パネルに表示されます。外付け電話機には表示されません。

外付け電話機で受けてから受信する（手動受信）

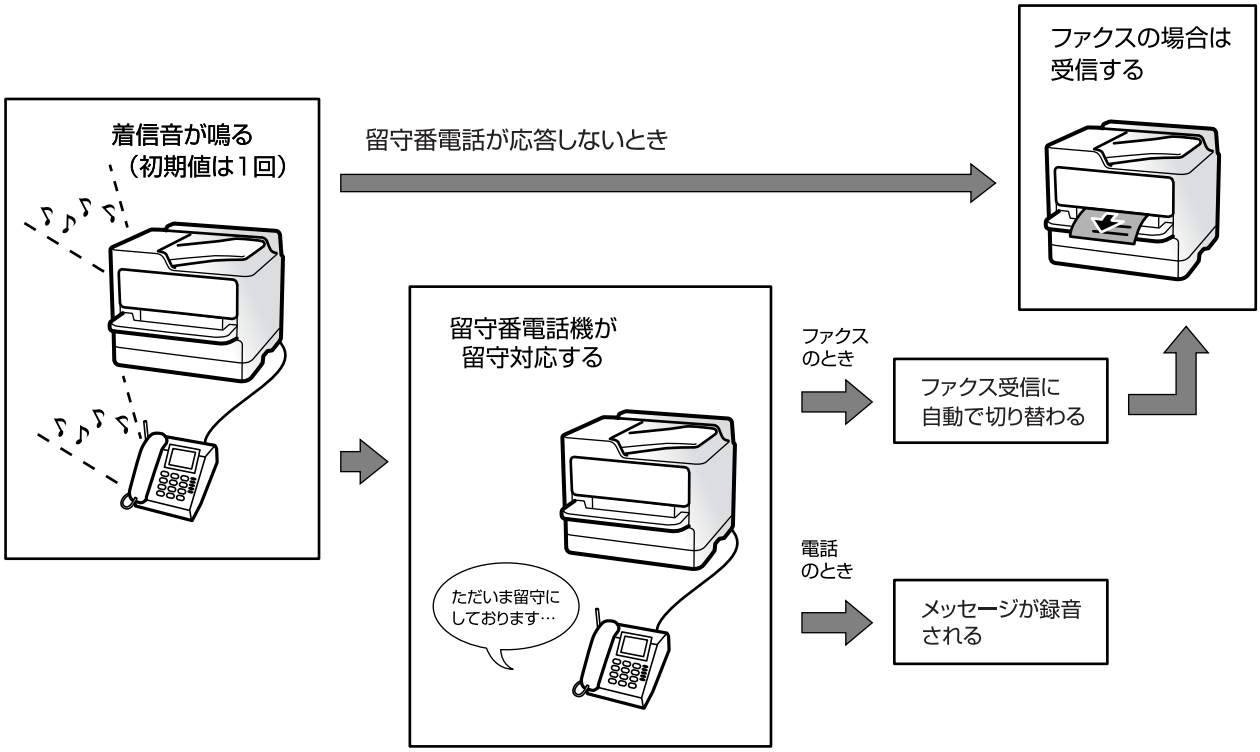


外付け電話機で電話を受けてからプリンターを操作して受信を開始します。ファクスの利用が少ない場合や、一度電話に出てから受信したい場合にお勧めです。［リモート受信］を有効にすると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。

設定項目	設定値	初期値
受信モード	手動	自動
呼び出し回数	（無効）	［1］回
電話呼び出し回数	（無効）	［8］回
ナンバー・ディスプレイ対応*	外付け電話機優先	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。発信元（相手先）の番号は、プリンターの操作パネルと外付け電話機の両方に表示されます。

電話着信時に留守番電話で応答する（留守番電話接続）



着信すると電話機が鳴り、留守番電話が応答します。
音声通話のときは、メッセージが録音されます。
ファクスのときは、ファクス信号を自動検出します。ファクス受信が始まると、留守番電話は遮断されます。

設定項目	設定値	初期値
受信モード	自動	自動
呼び出し回数	［8］回（留守番電話の呼び出し回数より多く設定する）	［1］回
電話呼び出し回数	（無効）	［8］回
ナンバー・ディスプレイ対応*	外付け電話機優先	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。発信元（相手先）の番号は、プリンターの操作パネルと外付け電話機の両方に表示されます。

外付け電話機接続時の設定をする

発信元の電話番号を表示する設定にする

電話番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイ回線の契約が必要です。
プリンターで以下を設定します。

1. プリンターの操作パネルで ［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ナンバー・ディスプレイ対応］の順に選択します。

3. 設定を選択します。
   - オン：プリンターだけに電話番号を表示します。プリンターのアドレス帳に登録されている相手先は登録名称で表示されます。
   - 外付け電話機優先：外付け電話とプリンターの両方に電話番号を表示します。

関連情報

➡ 「使い方から受信方法を設定する」133ページ
➡ 「基本設定」543ページ

留守番機能付き電話機を使えるようにする

留守番機能を使用するときの設定をします。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択します。

3. ［受信モード］を［自動］に設定します。

4. プリンターの［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定します。
   少ないと留守番電話への録音や通話ができません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。

外付け電話機の留守番電話機能を使用しないときは、プリンターの［受信モード］を［ファクス/電話自動切替］に設定することをお勧めします。

関連情報

➡ 「使い方から受信方法を設定する」133ページ
➡ 「基本設定」543ページ

電話機の操作だけで受信できるようにする

受話器を上げて外付け電話機を操作するだけ（プリンターでの操作なし）でファクスを受信できます。
［リモート受信］はトーン信号（ピッポッパッ）に対応した電話機で使用できます。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［リモート受信］の順に選択します。

3. ［リモート受信］をタップして［オン］にする

4. ［起動コード］を選択し、2桁のコード（0-9、*、#の組み合わせ）を入力して［OK］をタップします。

5. ［OK］を選択して設定を保存します。

関連情報

➡ 「基本設定」543ページ

受信ファクスの保存設定と転送設定

受信ファクスは印刷するように初期設定されています。この他に、受信文書の保存や転送をする設定ができます。

参考
- Web Configからも、受信ファクスを保存したり転送したりする設定ができます。
- 特定の条件で受信ファクスを保存・転送することもできます。
  「特定の条件で受信ファクスを保存・転送する設定」142ページ

関連情報

➡ 「受信ファクスを保存する設定」139ページ
➡ 「受信ファクスを転送する設定」140ページ

受信ファクスを保存する設定

送信元や時間帯によらず、ファクスを受信したら受信ボックスや外部メモリーに保存するように設定できます。受信ファクスは、プリンターの画面で内容を見てから印刷できます。
受信ファクスをコンピューターに保存（PC-FAX受信）するには、次の関連情報を参照してください：「機能：コンピューターからの送受信（Windows/Mac OS）」342ページ

参考
- Web Configからも、受信ファクスを保存する設定ができます。［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択し、［処理方法］で保存先の設定をします。
- 保存と同時に印刷や転送も処理もできます。上と同じ［処理方法］画面から設定できます。

受信ファクスを保存する設定をする

1. プリンターの操作パネルで、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択します。
2. ［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択します。
   メッセージが表示されたら確認して［OK］をタップします。
3. 受信ファクスの保存先（受信ボックスや外部メモリー）を設定します。

- 受信ファクスの保存先に、受信ボックスを指定する場合
  1. ［受信ボックスに保存］をタップして［オン］にする
  2. メッセージが表示されたら確認して［OK］を選択する
- 受信ファクスの保存先に、外部メモリーを指定する場合
  1. 外部メモリーをプリンターにセットする
  2. ［外部メモリーに保存］を選択する
  3. ［オン］を選択する保存と同時に自動で印刷したいときは、［オン(印刷もする)］を選択する
  4. メッセージを確認して［作成開始］をタップする

  セットした外部メモリーに、受信ファクス保存用のフォルダーが作成されます。
  5. メッセージを確認して［閉じる］をタップ（またはメッセージが消えたら）、［閉じる］をタップする
  6. 続いてメッセージが表示された場合は、確認して［OK］をタップする

重要 受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

参考 受信ファクスの保存結果を電子メールで送信（1件だけ）する設定をします。必要に応じて［メール通知設定］を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

4. ［閉じる］を選択して［条件なし保存・転送］の設定を完了します。

設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。

参考 受信したファクスを条件付きで保存する場合は、以下の関連情報を参照してください。

関連情報

- 「特定の条件で受信ファクスを保存する設定」142ページ
- 「共通設定：」557ページ
- 「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」362ページ

受信ファクスを転送する設定

転送先（メール、共有フォルダー、クラウドアカウント、他のファクス機）は、5件まで選択できます。

参考
- 転送先とする宛先は、あらかじめアドレス帳かクラウド転送リストに登録しておく必要があります。どちらに登録するかは下表をご覧ください。

転送先の種別	アドレス帳	クラウド宛先リスト
メールアドレス	○	–
共有フォルダー	○	–
クラウドアカウント	–	○
他のファクス機	○	–

- 転送先の種別に従って以下の設定をしてください。
  「アドレス帳の登録」90ページ
  「メールサーバーを設定する」65ページ
  「共有フォルダーを設定する」69ページ
  「ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定」103ページ
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。

受信ファクスを転送するように設定する

参考
- Web Configからも、受信ファクスを転送するする設定ができます。［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択し、［処理方法］で転送先の設定をします。
- 保存と同時に印刷や保存も処理もできます。上と同じ［処理方法］画面から設定できます。

1. プリンターの操作パネルで、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択します。

2. ［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択します。
   メッセージが表示されたら確認して［OK］をタップします。

3. 転送先を5件まで設定します。

❶［転送］を選択する
❷［オン］を選択する転送と同時に自動で印刷をしたいときは、［オン(印刷もする)］を選択します。
❸［宛先］-［宛先を追加］の順に選択し、アドレス帳またはクラウドから転送先（最大5件）を選択する転送先は5箇所まで指定できます。
転送先のリストを切り替えるには、［クラウド宛先リスト］または［アドレス帳］をタップします。

❹ ［閉じる］をタップして転送先の指定を終えてから、［閉じる］をタップする
❺ ［転送失敗時の動作］で、転送失敗文書を印刷するか受信ボックスに保存か選択する
❻ ［OK］をタップする

> **重要** 受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。文書は速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の に表示されます。

参考 受信ファクスの転送結果を電子メールで送信（1件だけ）する設定ができます。必要に応じて［メール通知設定］を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

4. ［閉じる］を選択して［条件なし保存・転送］の設定を完了します。

参考
- 設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。
- ネットワーク上のフォルダーやメールアドレス、クラウドのアカウントを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかテストすることをお勧めします。
  プリンターの操作パネルから［スキャン］-［メール］、［スキャン］-［ネットワークフォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。
  クラウドのアカウントを選択した場合は、ボックスに保存した文書を宛先に転送することで宛先のテストができます。
  プリンターの操作パネルで［ファクスボックス］を選択します。☰ (プレビューメニュー)を選択して、文書が保存されているボックスの［転送(クラウド)］を選択し、宛先を選択して転送を開始します。

関連情報

➡ 「共通設定：」557ページ

特定の条件で受信ファクスを保存・転送する設定

特定設定条件で受信ファクスを保存・転送できます。

参考
- 受信ファクスは印刷するように初期設定されています。
- 無条件で受信ファクスを保存することもできます。
  「受信ファクスの保存設定と転送設定」139ページ

関連情報

➡ 「特定の条件で受信ファクスを保存する設定」142ページ
➡ 「特定の条件で受信ファクスを転送する設定」144ページ

特定の条件で受信ファクスを保存する設定

受信ファクスを特定の時間に保存したり、特定の相手から受信したファクスを保存したりすることができます。受信ボックスや外部メモリーに保存できます。
複数の条件（条件保存・転送）を設定した場合、項目（1～100）順に参照され、最初に一致した［条件保存・転送］が実行されます。
親展ボックスや受信ボックスに保存した受信ファクスは、プリンターの画面で内容を見てから印刷できます。
特定の時間にファクス受信するには、［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることをプリンターの操作パネルで事前に確認してください。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。

参考
- Web Configからも、受信ファクスを保存する設定ができます。［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択し、登録番号を選択して［編集］をクリックしたら宛先を設定します。
- 保存と同時に印刷や転送も処理もできます。上と同じ［編集］画面から設定できます。

特定の条件で受信ファクスを保存するように設定する

1. プリンターの操作パネルで、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択します。

2. ［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択し、［条件保存・転送］の下にある未登録の条件設定をタップします。

   参考 登録済みボックスの設定を変更したい場合は、 › をタップして変更してください。

3. ［名称(必須項目)］を選択して、登録する名称を入力します。

4. ［条件］を選択して条件を設定します。設定後［閉じる］を選択します。
   - 相手先ID一致：相手先のIDが一致した場合に受信ファクスを保存します。
     ［ID］を選択して、ファクス番号などの相手先のIDを入力します。
     IPファクスのライセンスキーを登録しているときは、アドレス帳からSIP URIやファクス番号を選択することもできます。
   - Fコード(SUB)完全一致：Fコード（SUB）が完全一致した場合に受信ファクスを保存します。
     ［Fコード(SUB)］を選択して、Fコードを入力します。
   - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合に受信ファクスを保存します。
     ［パスワード(SID)］を選択して、パスワードを入力します。
   - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信ファクスを保存します。
     ［受信時間の設定］を有効にしてから［適用開始時刻］と［適用終了時刻］に時刻を設定します。

5. ［保存・転送先（必須項目）］を選択し、受信ファクスの保存先（ボックス、外部メモリー）を設定します。

   - 受信ファクスの保存先に、受信ボックスまたは親展ボックスを指定する場合：
     ❶ ［ボックスに保存］を選択する
     ❷ ［ボックスに保存］をタップして［オン］にする
     ❸ 文書を保存するボックスを選択する
     ❹ ［OK］を選択する

- 受信ファクスの保存先に、外部メモリーを指定する場合
  1. 外部メモリーをプリンターにセットする
  2. ［外部メモリーに保存］を選択する
  3. ［外部メモリーに保存］をタップして［オン］にする
  4. メッセージを確認して［作成開始］をタップする
  5. ［OK］を選択する

  セットした外部メモリーに、受信ファクス保存用のフォルダーが作成されます。

> **重要** 受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

参考 ［印刷］を［オン］にしておくと、同時に印刷もできます。

6. ［OK］を選択して［保存・転送先］の設定を完了します。

参考 受信ファクスの保存結果を電子メールで送信（1件のみ）する設定をします。必要に応じて［メール通知設定］を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

7. ［条件保存・転送］を完了する（［保存・転送設定］画面に戻る）まで、［OK］を選択します。

8. 条件を登録したボックスを選択して、［有効］を選択します。

設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。

関連情報

- 「共通設定：」557ページ
- 「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」362ページ

特定の条件で受信ファクスを転送する設定

受信ファクスを特定の時間に転送したり、特定の相手から受信したファクスを転送したりすることができます。
複数の条件（条件保存・転送）を設定した場合、項目（1～100）順に参照され、最初に一致した［条件保存・転送］が実行されます。
メール、共有フォルダー、クラウドアカウント、他のファクス機に転送できます。

参考
- 転送先とする宛先は、あらかじめアドレス帳かクラウド転送リストに登録しておく必要があります。どちらに登録するかは下表をご覧ください。

転送先の種別	アドレス帳	クラウド宛先リスト
メールアドレス	○	−
共有フォルダー	○	−
クラウドアカウント	−	○
他のファクス機	○	−

- 転送先の種別に従って以下の設定をしてください。
「アドレス帳の登録」90ページ
「メールサーバーを設定する」65ページ
「共有フォルダーを設定する」69ページ
「ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定」103ページ
- 特定の時間にファクス受信するには、［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることをプリンターの操作パネルで事前に確認してください。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。

特定の条件で受信ファクスを転送するように設定する

参考
- Web Configからも、受信ファクスを転送するする設定ができます。［ファクス］タブ-［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択し、登録番号を選択して［編集］をクリックしたら、宛先を設定します。
- 保存と同時に印刷や保存も処理もできます。上と同じ［編集］画面から設定できます。

1. プリンターの操作パネルで、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択します。

2. ［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件保存・転送］の順に選択し、［条件保存・転送］の下にある未登録の条件設定をタップします。

   参考 登録済みボックスの設定を変更したい場合は、 をタップして変更してください。

3. ［名称(必須項目)］を選択して、登録する名称を入力します。

4. ［条件］を選択して条件を設定します。設定後［閉じる］を選択します。
   - 相手先ID一致：相手先のIDが一致した場合に受信ファクスを転送します。
     ［ID］を選択して、ファクス番号などの相手先のIDを入力します。
     IPファクスのライセンスキーを登録しているときは、アドレス帳からSIP URIやファクス番号を選択することもできます。
   - Fコード(SUB)完全一致：Fコード（SUB）が完全一致した場合に受信ファクスを転送します。
     ［Fコード(SUB)］を選択して、Fコードを入力します。
   - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合に受信ファクスを転送します。
     ［パスワード(SID)］を選択して、パスワードを入力します。
   - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信ファクスを転送します。
     ［受信時間の設定］を有効にしてから［適用開始時刻］と［適用終了時刻］に時刻を設定します。

5. ［保存・転送先（必須項目）］を選択して、転送先の設定をします。

❶ ［転送］を選択する
❷ ［転送］をタップして［オン］にする
❸ ［宛先を追加］を選択し、アドレス帳またはクラウド転送先から転送先（1件のみ）を選択する
転送先のリストを切り替えるには、［クラウド宛先リスト］または［アドレス帳］をタップします。
❹ 転送先を指定したら［閉じる］をタップする
❺ 転送先が正しいことを確認して［閉じる］を選択する
❻ ［転送失敗時の動作］で、転送失敗文書を印刷するか受信ボックスに保存か選択する
❼ ［OK］を選択する

> **重要** 受信ボックスまたは親展ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。文書は速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の に表示されます。

参考 ［印刷］を［オン］にしておくと、同時に印刷もできます。

6. ［OK］を選択して［保存・転送先］の設定を完了します。

参考 受信ファクスの転送結果を電子メールで送信（1件のみ）する設定ができます。必要に応じて［メール通知設定］を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

7. ［条件保存・転送］を完了する（［保存・転送設定］画面に戻る）まで、［OK］を選択します。

8. 条件を登録したボックスを選択して、［有効］を選択します。

設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。

参考
- 設定はここまでです。必要に応じて［共通設定］を設定してください。詳細は、［保存・転送設定］メニューの［共通設定］の説明をご覧ください。
- ネットワーク上のフォルダーやメールアドレス、クラウドのアカウントを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかテストすることをお勧めします。
  プリンターの操作パネルから［スキャン］-［メール］、［スキャン］-［ネットワークフォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。
  クラウドのアカウントを選択した場合は、ボックスに保存した文書を宛先に転送することで宛先のテストができます。
  プリンターの操作パネルで［ファクスボックス］を選択します。☰(プレビューメニュー)を選択して、文書が保存されているボックスの［転送(クラウド)］を選択し、宛先を選択して転送を開始します。

関連情報

➡ 「共通設定：」557ページ

迷惑ファクスの受信拒否を設定する

プリンターで、迷惑ファクスを拒否する設定ができます。

- 着信拒否
  ナンバー・ディスプレイサービスを利用して、着信自体を拒否する設定ができます。
  ［着信拒否］を利用するには、ナンバー・ディスプレイ回線の契約が必要です。また、［ナンバー・ディスプレイ対応］設定を有効にしておく必要があります。
- ファクス受信拒否
  着信後に発信元ファクス番号を確認して受信拒否します。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］の順に選択します。
3. 拒否条件を設定します。
   - ナンバー・ディスプレイサービスを使って着信拒否する場合
     ［着信拒否］を選択し、以下を設定します。
     ・ ［拒否番号リスト］：拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。
     ・ ［非通知］：非通知番号の着信を拒否します。

     参考 着信拒否の対象ファクスは呼び出しをせず、発信元に話し中を返します。
   - 着信後に発信元ファクス番号をチェックして受信拒否する場合
     ［ファクス受信拒否］ を選択し、以下の項目を1つ以上有効にします。
     ・拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。
     ・非通知：送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。
     ・アドレス帳未登録：宛先帳に登録されていない番号の受信を拒否します。
4. をタップして［着信・ファクス受信拒否］画面に戻ります。
5. ［拒否番号リスト］を使う場合は、［拒否番号リスト編集］を選択して拒否番号リストを編集します。

着信拒否とファクス受信拒否の動作

動作に以下の違いがあります。

プリンターの動作	着信拒否	ファクス受信拒否
呼び出し音	鳴らない（呼び出さない）	鳴る（呼び出す） ただし、受信モードを［自動］か［ファクス/電話自動切替］に設定して［呼び出し回数］を0回に設定したときは鳴らない（呼び出さない）
発信元（相手先）への通知	話し中を返す（電話がつながらない）	通信エラー を返す

プリンターの動作	着信拒否	ファクス受信拒否
着信履歴 *1	残る（着信拒否）	残る（着信あり）
ジョブ履歴*2	残らない	残る（受信拒否エラー）
通信管理レポート*3		

*1：［ファクス］-［宛先］-［宛先履歴］から確認できます。
*2：［ジョブ/状態］-［ジョブ状態］-［履歴］から確認できます。
*3：［ファクス］-☰（［メニュー］）-［ファクスレポート印刷］-［通信管理レポート］ から印刷できます。

コンピューターからのファクス送受信を設定する

コンピューターでファクス送受信するには、ネットワークかUSBでプリンターに接続したクライアントのコンピューターにFAX Utilityをインストールしておく必要があります。

コンピューターからファクス送信する設定

Web Configで設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［ファクス］ タブ - ［送信設定］
4. ［使用する］で［PC-FAX送信機能］を選択します。
   ［PC-FAX送信機能］の初期値は［使用する］です。コンピューターから送信できないようにする場合は、［使用しない］を選択してください。
5. ［設定］ボタンをクリックします。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

受信ファクスをコンピューターに保存する設定

FAX Utilityを使うと、受信ファクスをコンピューターに保存できます。クライアントのコンピューターにFAX Utilityをインストールして設定してください。設定方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。
設定すると、プリンターの操作パネルにある以下の項目が［オン］になります。

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］-［PC-FAXで受信］

受信ファクスをコンピューターに保存してプリンターで印刷する設定

プリンターで以下を設定します。事前に、受信ファクスをコンピューターに保存する設定をしておいてください。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順に選択します。
3. ［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］-［PC-FAXで受信］-［オン(印刷もする)］の順に選択します。

コンピューターへの受信ファクスの保存をやめる設定

プリンターから設定変更します。

参考 FAX Utilityからも変更できますが、プリンターに、コンピューターに未保存の受信ファクスが残っているときは変更できません。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順に選択します。
3. ［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］-［PC-FAXで受信］-［オフ］の順に選択します。

ファクスのトラブル対処

ファクスの送信も受信もできない

以下の原因が考えられます。

▌電話回線に問題があります。

対処方法

電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してみてください。正常に動作しないときはご契約の回線事業者へ問い合わせてください。

▌電話回線との接続に問題があります。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス診断］を選択してファクス診断を実行してください。印刷された診断結果レポートに従って対処してください。

通信エラーが発生しています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択して、［通信モード］を［9.6kbps(G3)］に設定してください。

ISDN接続時に構内交換機（PBX）タイプの装置をご使用の場合、使用環境に何らかの問題があります。

対処方法

ご契約の回線事業者へ問い合わせてください。

ブロードバンドルーターやターミナルアダプターの状態に問題があります。

対処方法

電話回線の接続で、ブロードバンドルーターやターミナルアダプター使用時は、ルーターやアダプターの電源を入れ直してください。

エラー訂正（ECM）設定が無効の状態で、カラーファクスを送受信しようとしています。

対処方法

操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択して、［エラー訂正(ECM)］を有効にしてください。無効にするとカラーファクスの送受信ができません。

ファクスを送信できない

以下の原因が考えられます。

構内交換機（PBX）が設置された環境で、接続回線がPSTNに設定されています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択して、［接続回線］を［構内交換機(PBX)］に設定してください。

お使いの電話番号が非通知に設定されています。

対処方法

ご契約の回線事業者に問い合わせて、非通知設定を解除してください。送信先によっては非通知で送られたファクスを受け付けないことがあります。送信先によっては電話番号を通知することで受信できる ことがあります。

回線が非通知設定か確認するには、携帯電話などの、発信者番号表示できる別回線の電話機に、 （オンフック）を使ってダイヤルします。電話機での着信か履歴に番号表示がなければ非通知設定です。通知設定にすればファクス送信できるかは、ファクス番号の先頭に186を付けてダイヤルすると番号通知されるので確認できます。

ダイヤル回線を契約しているのにプッシュ回線の設定になっています。または、プッシュ回線を契約しているのにダイヤル回線の設定になっています。

対処方法

ダイヤル回線を使用している場合にプッシュ回線の設定を選択していると、またはプッシュ回線を使用している場合にダイヤル回線の設定を選択していると、話し中となりつながりません。ご契約の電話回線を確認して、回線に合った［ダイヤル種別］（［プッシュ］、［ダイヤル(20PPS)］、［ダイヤル(10PPS)］）を選択してください。

回線の種類がわからないときは、［ファクス］画面の （オンフック）をタップしてダイヤルトーンが聞こえたら117（時報）や自分の携帯電話などにダイヤルし、［プッシュ］→［ダイヤル(20PPS)］→［ダイヤル(10PPS)］の順に設定を変えて、つながるかどうか試してください。

［ダイヤル種別］は操作パネルで以下の順に選択すると表示されます。

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］ -［基本設定］-［ダイヤル種別］

プリンターで受信専用に設定した回線ポートからファクス送信しようとしています。

対処方法

ファクス送信に使用したい回線の［回線別通信設定］を、［送受信兼用］か［送信専用］に設定してください。

［回線別通信設定］は、プリンターの操作パネルから以下の順に操作すると表示できます。

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］- ［基本設定］-［回線別通信設定］

発信元番号が登録されていません。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［発信元設定］の順に選択して、発信元番号を登録してください。送信先によっては発信元番号情報がないファクスを受け付けないことがあります。

ファクスを受信できない

以下の原因が考えられます。
また、プリンターが現在ファクス受信中かなどのプリンターの状態を［ジョブ/状態］から確認することをお勧めします。

外付け電話機使用時に、［受信モード］が［手動］に設定されています。

対処方法

外付け電話機を接続してプリンターと電話回線を共有しているときは、プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］を選択して、［受信モード］を［ファクス/電話自動切替］に設定してください。

外付け電話機を不使用時に、受信モードが［ファクス/電話自動切替］に設定されています。

対処方法

外付け電話機を接続していないときは、操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［受信モード］を選択して、［自動］に設定してください。

呼び出し回数が多く設定されています。

対処方法

操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［呼び出し回数］を選択して、呼び出し回数を少なく設定してみてください。呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。

プリンターで送信専用に設定した回線の番号に、送信元からファクス送信しようとしています。

対処方法

ファクス受信に使用したい回線の［回線別通信設定］を、［送受信兼用］か［受信専用］に設定してください。［回線別通信設定］は、プリンターの操作パネルから以下の順に操作すると表示できます。

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［回線別通信設定］

Fコードおよびパスワードが間違っています。

対処方法

Fコードを使った受信の場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。
また、Fコードおよびパスワードが送信先のファクス機に登録されたものと一致しているか、送信元に確認してください。
Fコードまたはパスワードを変更するには、操作パネルからメニューを以下の順に選択し、該当の親展ボックスを選択して、［条件］で修正してください。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件保存・転送］

送信元のファクス番号が拒否番号リストに登録されています。

対処方法

送信元のファクス番号は、［拒否番号リスト］から削除してもよい番号か確認してから削除してください。プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］を選択し、［拒否番号リスト編集］から削除できます。または、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］を選択し、［ファクス受信拒否］で［拒否番号リスト］を無効に設定してください。設定を有効にしているときは、拒否番号リストに載っている番号からのファクスは受信拒否されます。

送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されていません。

対処方法

送信元のファクス番号をアドレス帳に登録してください。または、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］-［ファクス受信拒否］で、［アドレス帳未登録］を無効に設定してください。設定を有効にしていると、アドレス帳に載っていない番号からのファクスは受信拒否されます。

発信元情報のないファクスが送信されてきています。

対処方法

送信元に、発信元情報を付けてファクスを送信してもらってください。または、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］-［ファクス受信拒否］で、［非通知］を無効に設定してください。［非通知］を有効に設定しているとき、発信元情報の付いていないファクスは受信拒否されます。

構内交換機（PBX）が設置された環境で、接続回線がPSTNに設定されています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択して、［接続回線］を［構内交換機(PBX)］に設定してください。

構内交換機（PBX）接続で、標準と異なる呼び出し信号が設定されています。

対処方法

- プリンターが呼び出し信号に応答しないときは、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［接続回線］を［構内交換機(PBX)］に設定してみてください。呼び出し信号の検出範囲が広がるためトラブルが解決することがあります。 この設定は、ターミナルアダプターなどの、構内交換機（PBX）環境以外でご利用のお客様にも有効です。
- 呼び出し信号に内線呼び出し信号（SIR）が設定されているときは、外線呼び出し信号（IR）を設定すると解決することがあります。この設定は、ターミナルアダプターなどの、構内交換機（PBX）環境以外でご利用のお客様にも有効です。ご契約の回線業者に問い合わせてください。

ボイスワープなどの電話転送サービスを利用しています。

対処方法

ボイスワープなどの電話転送サービス利用時に受信できないことがあります。サービスを提供している業者に問い合わせてください。

ダイヤルインやモデムダイヤルインには対応していません。

対処方法

該当する場合は、ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

Fネット（1300Hz呼び出し）には対応していません。

対処方法

該当する場合は、ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

接続されている電話回線が不安定です。

対処方法

接続されている電話回線が不安定な場合は、受信ファクスがないにもかかわらず着信中の表示が続くことがあります。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

指定の時間にファクスを送信できない

日付と時刻が正しく設定されていません。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択して、日付と時刻を正しく設定してください。

外部メモリーに受信文書を保存できない

▌受信ファクスを外部メモリーに保存する設定が無効になっています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］ -［ファクス設定］-［受信設定］の順に選択して、［外部メモリーに保存］を有効にしてください。

受信ファクスが印刷されない

▌受信ファクスを印刷する設定になっていません。

対処方法

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］から、受信ファクスを印刷できるように設定変更してください。

ファクスをきれいに送受信できない

▌エラー訂正機能が無効になっています。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］を選択して［エラー訂正(ECM)］を有効にしてください。回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復できることがあります。ただし、［エラー訂正(ECM)］を有効にすると、データの送受信に通常より時間がかかることがあります。

発信者番号表示機能（ナンバー・ディスプレイ対応）が働かない

以下の原因が考えられます。

▌ナンバー・ディスプレイサービスが契約されていません。

対処方法

発信元のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示するには、ナンバー・ディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

▌ナンバー・ディスプレイ対応が無効に設定されています。

対処方法

操作パネルで［設定］-［本体設定 >］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ナンバー・ディスプレイ対応］の順に選択して、設定を有効にしてください。

▌1回線を、電話機とプリンターで並列に接続して共有しています。

対処方法

1回線を電話機とプリンターで共有するときは、電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。

呼び出し回数が0回に設定されています。

対処方法

［受信モード］が［自動］で［ナンバー・ディスプレイ対応］が［外付け電話機優先］に設定されていても、［呼び出し回数］が0の場合は、外付け電話機に発信者番号が表示されません。［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］から、［呼び出し回数］を1以上の回数に設定してみてください。
以下の各設定モードの動作を参照ください。
「使い方から受信方法を設定する」133ページ

電話呼び出し回数の呼び出し中です

対処方法

発信元の電話番号が外付け電話機に表示されるのは、ナンバー・ディスプレイ回線からの呼び出し中だけです。プリンターの［ファクス/電話自動切替］の動作で電話と判定した後に外付け電話機を呼び出す［電話呼び出し回数］の呼び出し中は、外付け電話機に発信者番号が表示されません。［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］から、［受信モード］を［自動］に設定してください。
以下の各設定モードの動作を参照ください。
「使い方から受信方法を設定する」133ページ

外付け電話機から電話ができない

外付け電話機がプリンターに正しく接続されていません。

対処方法

プリンターのEXTポートと電話機を電話線で接続し、受話器を上げてみてください。受話器を通してダイヤルトーンが聞こえない場合は、電話線を正しく接続してください。

留守番電話が応答しない

以下の原因が考えられます。

受信モードが、ファクス/電話自動切替に設定されています。

対処方法

留守番電話を接続している場合は、操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［受信モード］を選択して、［自動］に設定してください。

プリンターの［呼び出し回数］が、留守番電話の呼び出し回数より少なく設定されています。

対処方法

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択して、［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。

迷惑ファクスがよく届く

迷惑ファクスを防止する設定がされていません。

対処方法

プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択し、［着信・ファクス受信拒否］の設定をしてください。

「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」147ページ

NGNを利用したIPファクスを使えるようにする

NGNを利用したIPファクス送受信の概要

NGNを利用したファクスの送受信には以下のメリットがあります。

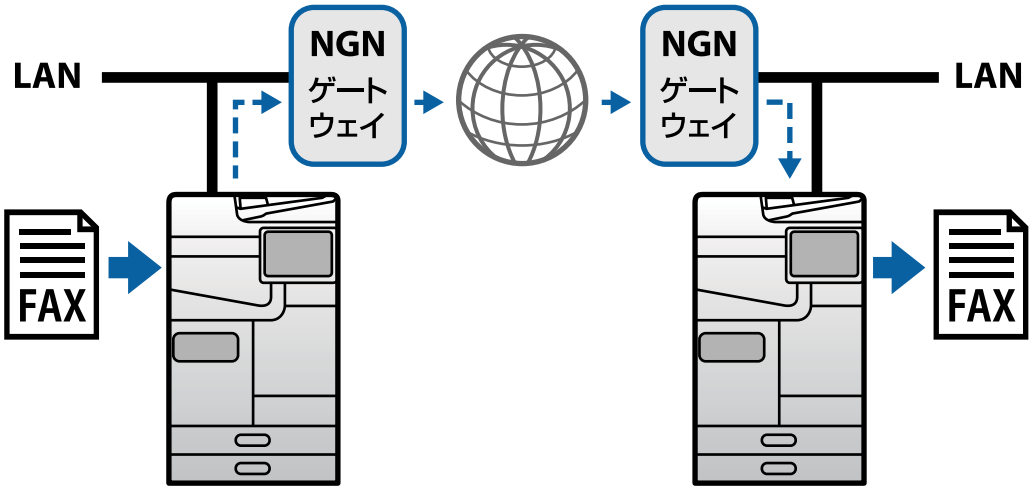
- 高速な通信ができる
- 電話回線網での通常のファクスと同様の、リアルタイムな通信ができる
  通信品質を確保できるので、IPパケットの遅延が抑えられた安定した通信ができます。
- 傍受やなりすましなどの不正アクセスに対するセキュリティーが向上する
- 通信費用を削減できる
  ただし、NGN使用区間に通信費用が発生します（距離や時間に応じた従量課金）。

NGNを利用するには、以下をご用意ください。

- NTTの「フレッツ光ネクスト」との回線契約
- NGNゲートウェイ
  ルーター機能や認証機能を備えた専用の機器です。「フレッツ光ネクスト」との回線契約時にNTTより提供されます。

宛先入力例

- ファクス番号：0312345678



設定の流れ

NGNを利用したIPファクスを使用するためには、以下の設定が必要です。設定はプリンターの管理者が行ってください。

1. 標準のファクスの設定をします（未設定の場合）。
   「ファクスを使えるようにする（ファクス対応機のみ）」123ページ
2. ネットワークにプリンターを接続します。
   「プリンターをネットワークに接続する」46ページ
3. NGNを利用して送受信する設定をします。
   「NGN利用時のIPファクス設定」157ページ
4. IPファクスで使う宛先をアドレス帳に登録します。
   「アドレス帳への宛先登録（IPファクス利用時）」97ページ

NGN利用時のIPファクス設定

Web Configを使った個別設定

個別のプリンターごとにIPファクスの設定をする方法について説明します。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

NGNを利用してIPファクスを送受信できるようにする（NGN設定）

NGNを利用してIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- NGNゲートウェイの設定
- 回線情報の設定

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 次の順番で選択します。
   ［ファクス］タブ - ［IPファクス設定］ - ［NGN設定］
4. 各項目を設定します。

5. ［設定］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- 「［IPファクス設定］-［NGN設定］の設定項目」158ページ
- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

［IPファクス設定］-［NGN設定］の設定項目

項目	設定値と説明
NGN使用	NGNを利用したIPファクス送受信を有効にするか無効にするかを選択します。
発信元番号	NGNを利用してIPファクスを送信するときの発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。0～9 +または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。
SIP受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。

NGNゲートウェイ設定

項目	設定値と説明
NGNゲートウェイアドレス取得方法	NGNゲートウェイのIPアドレスの取得方法を、［手動］、［DHCP］、［DHCPv6］から選択します。
ゲートウェイアドレス	NGN ゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII（0x20～0x7E）で表せる0～127文字以内で入力できます。ただし、空白文字および "<>\^`{|} は除きます。 ［NGNゲートウェイアドレス取得方法］で［DHCP］または［DHCPv6］を選択した場合、NGNゲートウェイのアドレスは自動的に取得されます。
最大使用帯域幅設定	NGNを利用したIPファクス通信に使用する最大帯域幅を、［64kbps］、［512kbps］、［1000kbps］から選択します。
発信者ID通知を使用	プリンター本体のファクス番号（発信者ID）を相手先に通知するかどうかを選択します。

回線情報設定

項目	設定値と説明
回線情報自動設定	回線情報の取得方法を［手動設定］または［自動設定］から選択します。
外線番号	プリンター本体の外線番号を、0～9 * # +または半角スペースを使用し、32文字以内で入力します。
内線番号	プリンター本体の内線番号を1～99以内の半角数字で入力します。内線ファクスを使用する場合に入力してください。

項目	設定値と説明
ドメイン名	NGNゲートウェイに接続するときに使用するSIPドメイン名を入力します。ASCII（0x20～0x7E）で表せる0～127文字以内で入力できます。ただし、空白文字および "<>\^`{|} は除きます。
ゲートウェイ接続ポート	NGNゲートウェイに接続するときに使用するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
ユーザー名	NGNゲートウェイに接続するためのユーザー名を入力します。ASCII（0x20～0x7E）で表せる0～32文字以内で入力できます。ただし、空白文字および "<>\^`{|} は除きます。
パスワード	NGNゲートウェイに接続するためのパスワードを入力します。ASCII（0x20～0x7E）で表せる0～32文字以内で入力できます。ただし、空白文字および "<>\^`{|} は除きます。

メディア(T.38)設定

項目	設定値と説明
T.38発信トランスポート*	SIPセッション確立後、データの送受信に使用するプロトコル［TCP］が表示されます。
T.38メディアタイプ	SIPセッション確立後、データの送受信に使用するメディアストリームの種類を［image］または［application］から選択します。
T.38受信ポート番号	T.38の受信ポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。

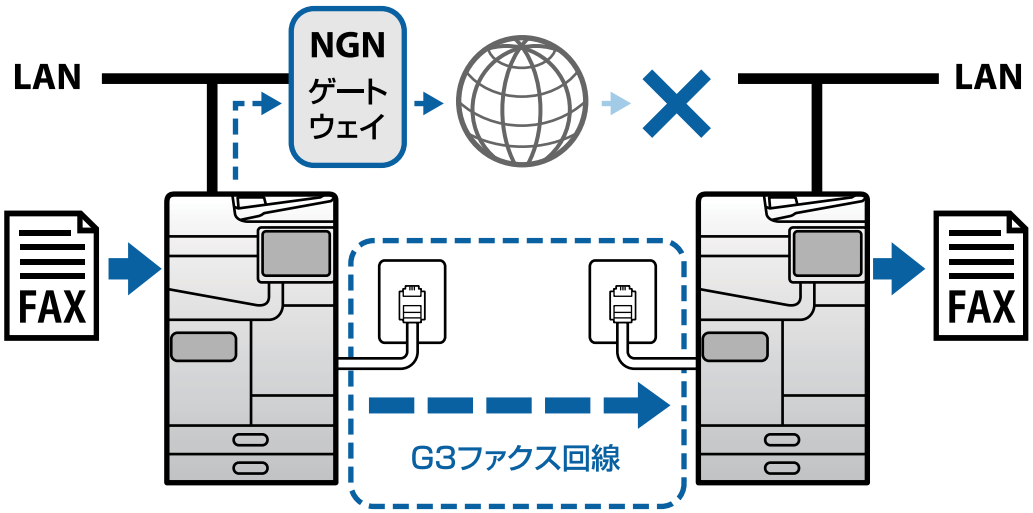
*: この項目はEpson Device Admin（設定テンプレート）の［ファクス］-［IPファクス設定］-［NGN設定］画面には表示されません。

関連情報

- 「NGNを利用してIPファクスを送受信できるようにする（NGN設定）」157ページ
- 「NGNを利用してIPファクスを送受信できるようにする（NGN設定） <Epson Device Admin>」162ページ

IPファクス（NGN）送信エラー時にG3ファクスで送信する

NGNを経由して送信したIPファクスがエラーになったとき、自動的にG3ファクスで再送信するように設定できます。



1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 次の順番で選択します。

   ［ファクス］タブ - ［送信設定］

4. ［IPファクス(NGN)送信エラー時にG3で送信］で［オン］を選択します。

   初期値は［オン］です。NGNを経由して送信したIPファクスがエラーになったとき自動的にG3ファクスで再送信しないようにするには、［オフ］を選択します。

5. ［設定］をクリックします。

   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定

Epson Device Adminを使用すると、複数のプリンターへ一度にIPファクスを設定できます。
詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」528ページ

Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要

Epson Device Adminの設定テンプレートを使用してIPファクスの設定をします。以下の流れで設定値をプリンターに適用してください。

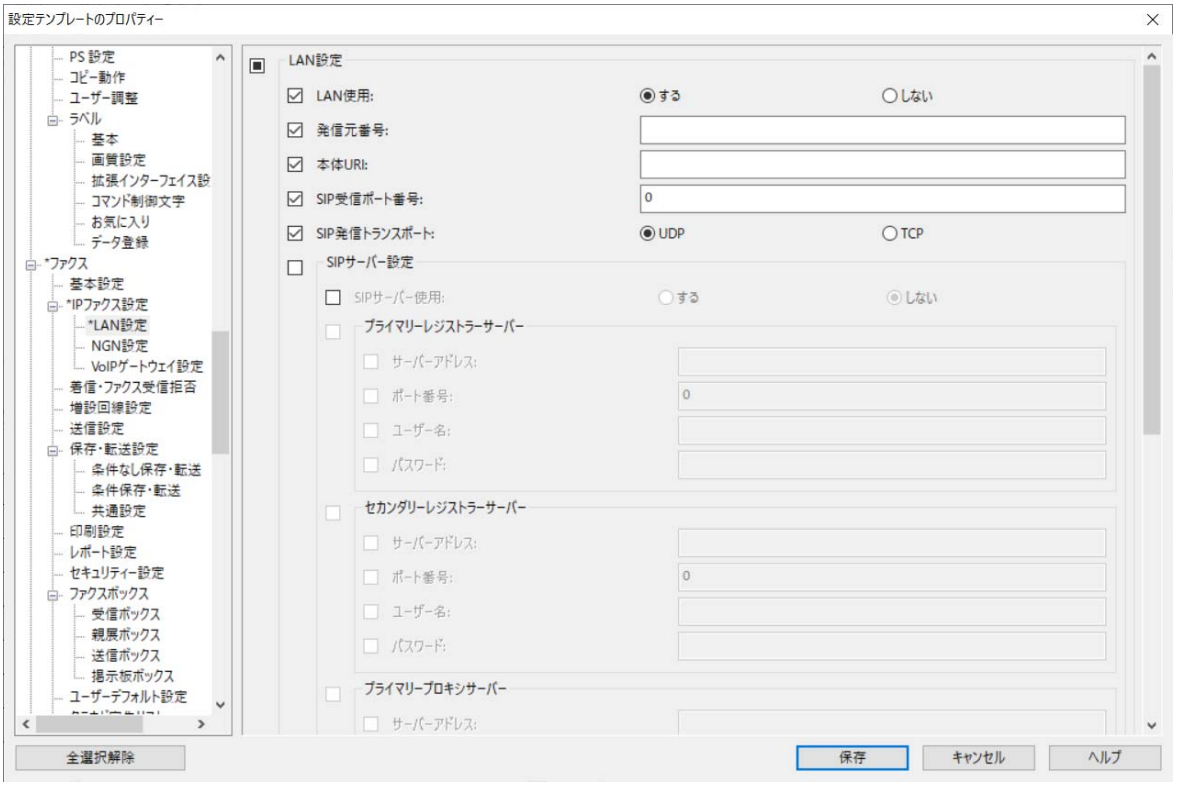
!重要 プリンターの管理者パスワードがEpson Device Adminに登録されていないときは、先にパスワードを登録してください。登録手順は以下を参照してください。

「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」169ページ

1. 設定テンプレートを新規作成します。

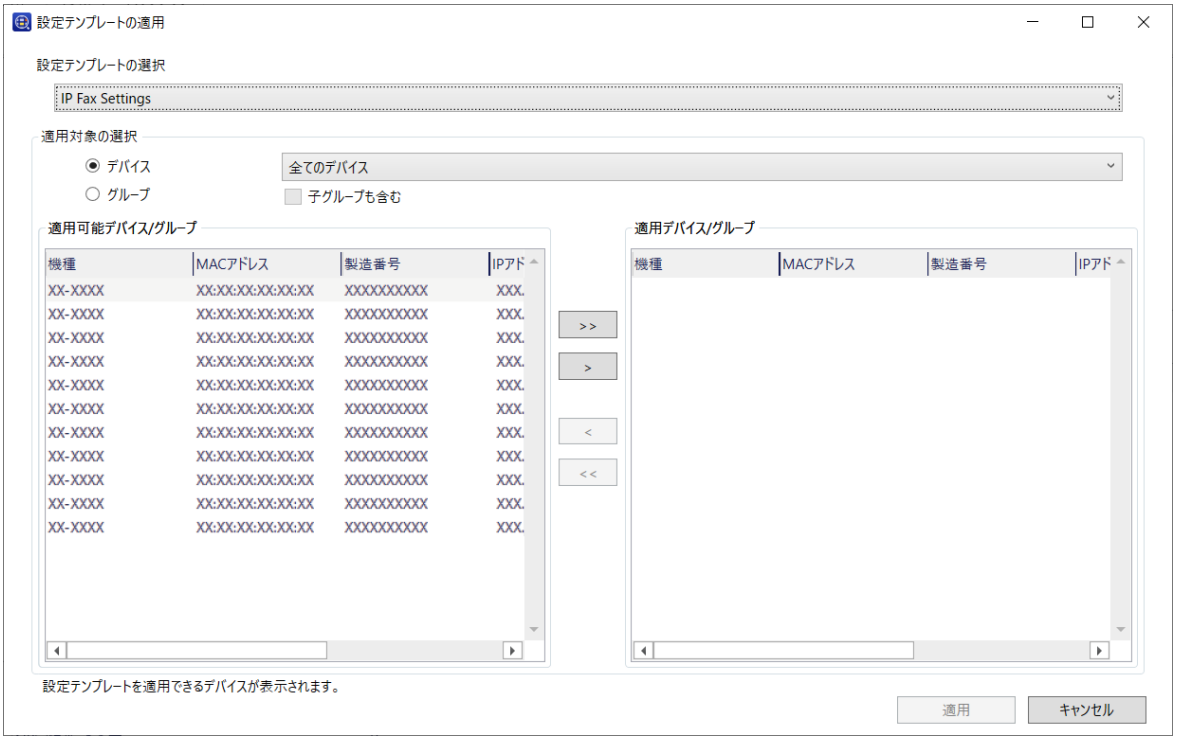
2. 設定する機能の画面で設定値を入力または選択して、適用する項目にチェックを付けます。

   以下は設定画面の例です。



3. 設定テンプレートを保存します。

4. 設定を適用するプリンターを選択して、設定テンプレートを適用します。



設定テンプレートの基本操作は関連情報を参照してください。

関連情報

- 「設定テンプレートを新規作成する」169ページ
- 「設定テンプレートを適用する」171ページ
- 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」528ページ

NGNを利用してIPファクスを送受信できるようにする（NGN設定） <Epson Device Admin>

NGNを利用してIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- NGNゲートウェイの設定
- 回線情報の設定

1. 設定テンプレートから、［ファクス］-［IPファクス設定］-［NGN設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。

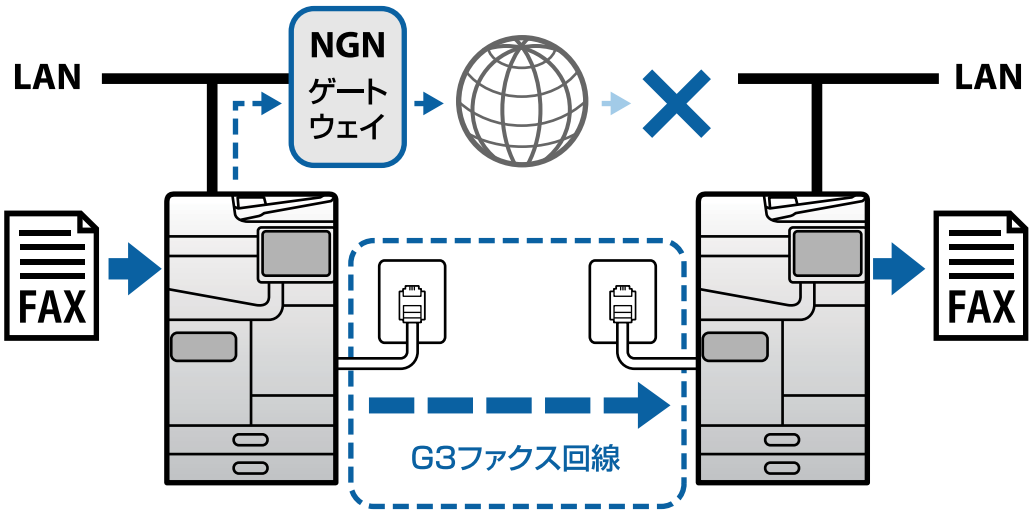
   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

- 「［IPファクス設定］-［NGN設定］の設定項目」158ページ
- 「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」161ページ

IPファクス（NGN）送信エラー時にG3ファクスで送信する <Epson Device Admin>

NGNを経由して送信したIPファクスがエラーになったとき、自動的にG3ファクスで再送信するように設定できます。



1. 設定テンプレートから、［ファクス］-［送信設定］を選択します。
2. ［送信設定］にチェックを付けて、ファクス送信設定の各項目を設定します。
   設定しない項目はチェックを外します。
3. ［IPファクス(NGN)送信エラー時にG3で送信］で［する］を選択します。
   NGNを経由して送信したIPファクスがエラーになったときに自動的にG3ファクスで再送信しないようにするには、［しない］を選択します。

関連情報

➡ 「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」161ページ

設定時のトラブルを解決する

トラブルを解決するための糸口

- エラーメッセージの確認
  何らかのトラブルが発生した場合、始めにプリンターの操作パネルやドライバーの画面などにメッセージが出ていないか確認してください。通知メールを送信するように設定してあると、イベントが発生した場合に素早く状態を把握できます。
- ネットワーク接続診断レポート
  ネットワークとプリンターの状況を診断して、結果がレポートされます。
  プリンター側から判別できるエラーを見つけることができます。
- 通信状態の確認
  サーバーやクライアントコンピューターの通信状態をpingやipconfigなどのコマンドを使って確認します。

- 接続テスト
  メールサーバーとの接続は、プリンターから接続テストをすることで確認できます。また、クライアントコンピューターからサーバーへの接続テストをして通信状態を確認します。
- 設定の初期化
  設定や通信状態に問題がない場合、プリンターのネットワーク設定を無効にしたり、初期状態に戻して設定をやり直したりすると、トラブルが解消する場合があります。

Web Configにアクセスできない

プリンターのIPアドレスが設定されていない

対処方法

プリンターに有効なIPアドレスが設定されていない可能性があります。プリンターの操作パネルでIPアドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートやプリンターの操作パネルで確認できます。

TLSのバージョンがサポートされていない

対処方法

TLSのバージョン1.2以上で通信する必要があります。
バージョン1.0、またはバージョン1.1は初期状態では無効になっています。
バージョン1.0、またはバージョン1.1で通信をする場合、最初にTLSのバージョン1.2以降で通信ができる機器からWeb Configにアクセスし、TLSのバージョン1.0、または1.1を有効にしてください。

➡ 「SSL/TLS通信の基本設定をする」644ページ

WebブラウザーがSSL/TLSの暗号強度に対応していない

対処方法

SSL/TLSには暗号強度があります。Web Configは以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザーで起動できます。使用しているブラウザーが対応しているか確認してください。

- 80bit：AES256/AES128/3DES
- 112bit：AES256/AES128/3DES
- 128bit：AES256/AES128
- 192bit：AES256
- 256bit：AES256

CA署名証明書の有効期限が切れた

対処方法

証明書の有効期限に問題がある場合、Web ConfigにSSL/TLS通信（https）で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されます。証明書の有効期限内に表示されるときは、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

証明書とプリンターのコモンネームが一致していない

対処方法

コモンネームの不一致が起こると、Web ConfigにSSL/TLS通信（https）で接続したときに「セキュリティー証明書の名前が一致しません...」と表示されます。これは以下のIPアドレスが一致していないために発生します。

- 自己署名証明書の作成や更新時、CSRの作成時にコモンネームで記述したIPアドレス
- Web Configの起動時にブラウザーに入力したIPアドレス

自己署名証明書の場合は証明書を更新してください。
CA署名証明書の場合は該当のプリンター用に証明書を取得し直してください。

ブラウザーにローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない

対処方法

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザーでローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを経由しないよう設定します。

- Windows：
  ［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［インターネットオプション］－［接続］－［LANの設定］の［プロキシ サーバー］で、LAN（ローカルアドレス）にプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS：
  ［システム環境設定］（または［システム設定］）－［ネットワーク］－［詳細］－［プロキシ］で［プロキシ設定を使用しないホストとドメイン］にローカルアドレスを登録します。
  記入例：
  192.168.1.*：ローカルアドレス　192.168.1.XXX、サブネットマスク　255.255.255.0の場合
  192.168.*.*：ローカルアドレス　192.168.XXX.XXX、サブネットマスク　255.255.0.0の場合

拡張機能の紹介

拡張機能の概要 167

赤色消去 174

グループ印刷 176

OCR オプション 178

IPファクス 180

Epson Print Admin Serverless 199

拡張機能の概要

このプリンターで使用できる拡張機能について説明します。拡張機能は、ライセンスキーを登録することで有効にできます。 ライセンスキーの入手方法については、保守サービス実施店にご確認ください。

拡張機能一覧

名称	説明
赤色消去	原稿の赤色の部分を消去したコピーやスキャンができます。赤文字の手書きメモを消して原稿を復元したい場合などに便利です。
グループ印刷	グループ（クラスや部署）ごとに異なる部数を配布したい場合に、毎回入力しなくても、素早く必要な部数の印刷やコピーができます。 コンピューターから印刷する場合は、ライセンスキーの登録をせずにグループ印刷を使えます。
OCR オプション	スキャンデータを文字に変換して文字のコピーや検索に活用できます。
IPファクス	IPネットワーク（イントラネット）上のIPファクス対応端末やゲートウェイ経由でG3ファクス機と通信する機能です。IPネットワーク上でデータを送受信するため、通常のファクス送信のような通信費はかかりません。 NGNを利用したファクス送受信はライセンスキーの登録をせずに使用できます。
Epson Print Admin Serverless	サーバー不要で認証印刷ができます。ログオンしてから印刷すれば、人の目に触れずに安心です。 ログオンしてからスキャンすれば、自分のメールアドレスにスキャンデータを送信したり、あらかじめ登録されている保存先フォルダーに保存したりできます。

関連情報

- 「赤色消去」174ページ
- 「グループ印刷」176ページ
- 「OCR オプション」178ページ
- 「IPファクス」180ページ
- 「Epson Print Admin Serverless」199ページ

ライセンスキーの登録

ライセンスキーをプリンターに登録して拡張機能を有効にします。
ライセンスキーをプリンターに登録するには、以下のいずれかの方法があります。プリンターをお使いの環境に応じて、適切な方法でライセンスキーを登録してください。

- Web Configでライセンスキーを登録する（個別登録）
- Epson Device Adminでライセンスキーを登録する（一括登録）

ここでは、以下の機能のライセンスキー登録方法を説明します。

- 赤色消去

- グループ印刷機能
- OCR オプション
- IPファクス機能（NGN利用を除く）

Epson Print Admin Serverlessのライセンスキー登録方法については、お使いの機種の『Epson Print Admin Serverless導入・管理ガイド』をご覧ください。

関連情報

- 「Web Configでライセンスキーを登録する（個別登録）」168ページ
- 「Epson Device Adminでライセンスキーを登録する（一括登録）」169ページ
- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ
- 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」528ページ

Web Configでライセンスキーを登録する（個別登録）

個別に設定する場合はWeb Configを使います。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［拡張機能］

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. ［ログオン］をクリックします。
3. ［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。
4. ［確認］をクリックします。
5. ［デバイス管理］タブ -［拡張機能］を選択します。
6. 使用する拡張機能の［ライセンスキー］にライセンスキーを入力します。
7. ［ライセンス認証］をクリックします。
   「再起動が必要です」と表示されます。
8. ［電源再起動］をクリックします。
9. 再起動確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
   プリンターが再起動します。
   再起動後、Web Configの表示を更新して、「ライセンス認証済み」と表示されていれば拡張機能は有効です。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

Epson Device Adminでライセンスキーを登録する（一括登録）

Epson Device Adminの設定テンプレートを使うと、CSVファイルに記載された複数のライセンスキーを複数のプリンターに一度に適用できます。

1. 設定テンプレートを新規作成します。
2. 設定テンプレートにライセンスキーをインポートします。
3. 設定テンプレートを目的のプリンターに適用します。

関連情報

- 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」528ページ
- 「設定テンプレートを新規作成する」169ページ
- 「ライセンスキーをインポートする」171ページ
- 「設定テンプレートを適用する」171ページ

Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する

Epson Device Adminを使ってプリンターを設定する前に、Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録します。

参考 プリンターの管理者パスワードを変更した場合は、Epson Device Adminに登録されているプリンターの管理者パスワードを更新してください。

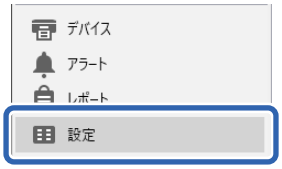
1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで［デバイス］を選択します。
3. ［オプション］-［パスワード管理］を選択します。
4. ［自動パスワード管理機能を有効にする］にチェックを付けて、［パスワード管理］をクリックします。
5. 該当するプリンターを選択して［編集］をクリックします。
6. パスワードを設定して、［登録/更新］をクリックします。

設定テンプレートを新規作成する

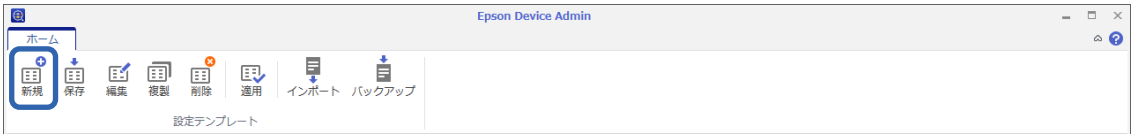
設定テンプレートを新規で作成します。

1. Epson Device Adminを起動します。

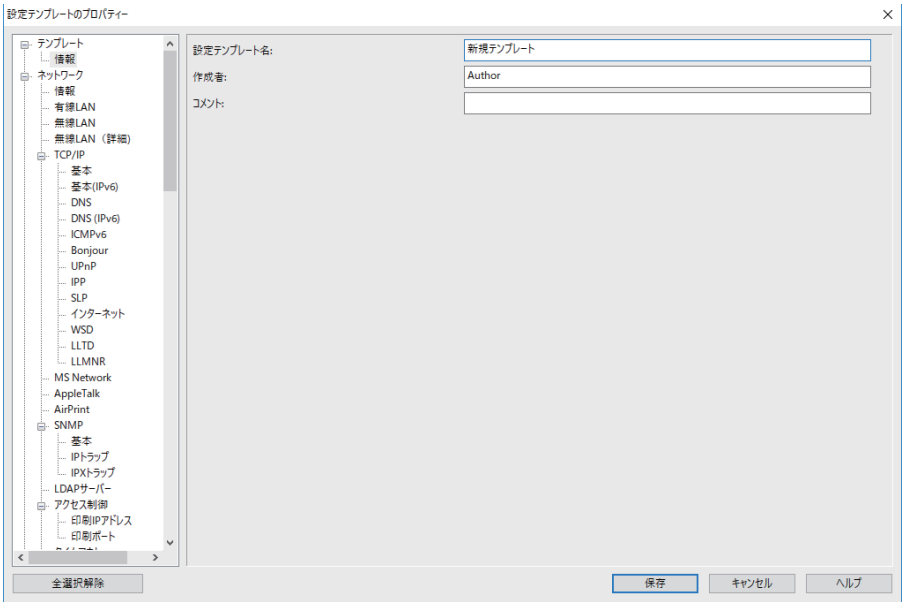
2. サイドバータスクメニューで［設定］を選択します。



3. リボンメニューで［新規］を選択します。



4. 各項目を設定します。



項目	説明
設定テンプレート名	設定テンプレートの名称です。 Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
作成者	テンプレートの作成者情報です。 Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
コメント	任意の情報を入力します。 Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。

5. 左のメニューから設定したい機能を選択します。

参考 左のメニュー項目をクリックするとそれぞれの画面に切り替わります。設定した値は、キャンセルしなければ画面を切り替えても保持されます。全ての項目の設定が終了してから［保存］をクリックしてください。

ライセンスキーをインポートする

1. 設定テンプレートのプロパティで、［管理者設定］-［ライセンス認証］を選択します。
2. ［ライセンスキーリスト］を選択します。
3. ［インポート］をクリックします。
4. ライセンスキーのCSVファイルを指定し、［開く］をクリックします。
   ファイルが読み込まれ、内容が表示されます。

   参考
   - リストからプリンターを選択して［削除］をクリックすると、リストからライセンスキーを削除できます。
   - ［インポート］を再度クリックして、別のCSVファイルを追加できます。

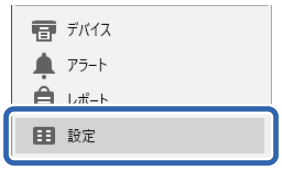
5. ［保存］をクリックします。
6. ［OK］をクリックします。
7. 保存完了メッセージ画面［OK］をクリックします。
   テンプレートが保存され、画面が閉じます。

   参考 設定テンプレートを再度開くには、［設定テンプレート名］から保存した設定テンプレートを選択し、リボンメニューから［編集］をクリックしてください。

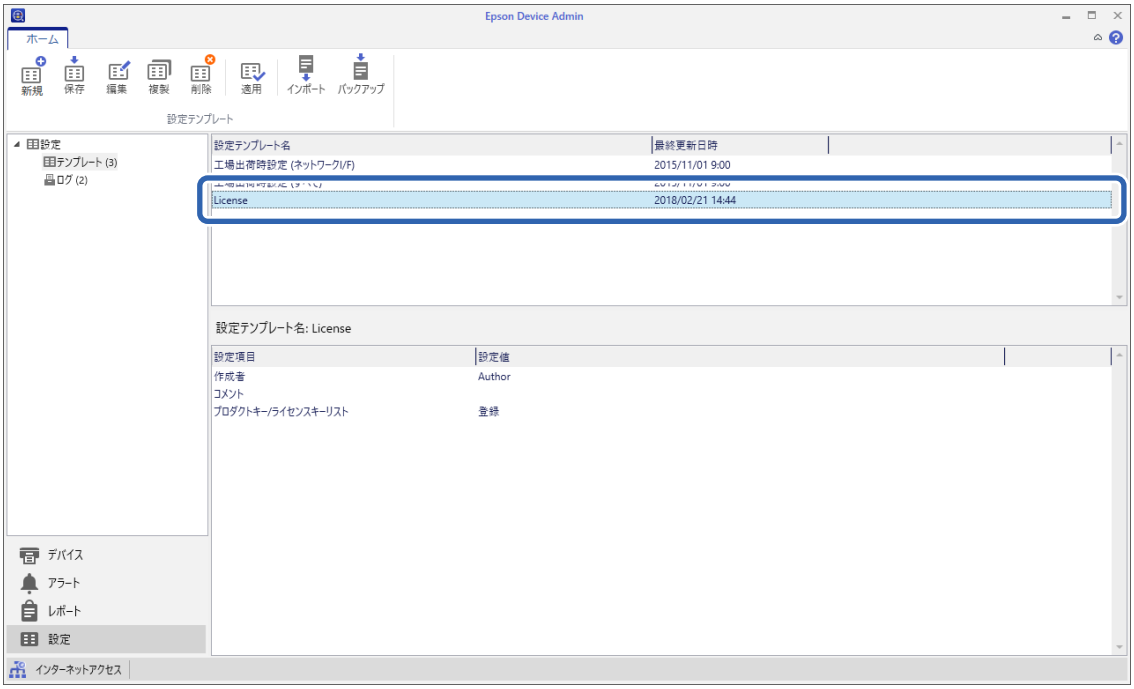
設定テンプレートを適用する

保存した設定テンプレートをプリンターに適用します。設定テンプレートのチェックのある項目が適用されます。対象プリンターに該当する機能がない場合は適用されません。
Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録していない場合は、この操作をする前にパスワードを登録してください。
「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」169ページ

1. サイドバータスクメニューで［設定］を選択します。



2. ［設定テンプレート名］から適用する設定テンプレートを選択します。



3. リボンメニューで［適用］をクリックします。

デバイス選択画面が表示されます。

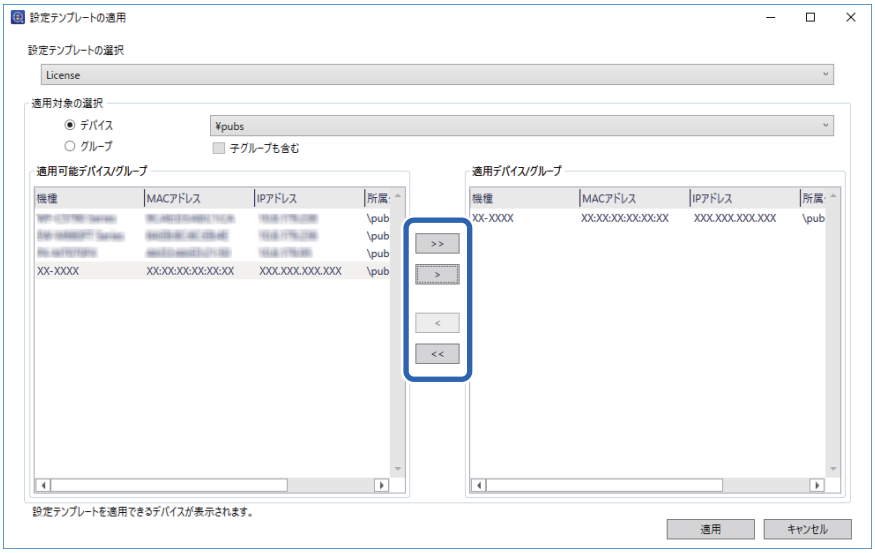
4. 設定テンプレートを適用する対象を選択します。

参考

- ［デバイス］を選択してプルダウンメニューからデバイスが登録されているグループを選択すると、個々のデバイスが表示されます。
- ［グループ］を選択すると、グループが表示されます。［子グループも含む］にチェックすると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。

5. 適用するプリンターまたはグループを［>］、［>>］、［<］、［<<］を使って［適用デバイス/グループ］へ移動します。

［>］は選択したプリンターまたはグループ、［>>］は全てのプリンターまたはグループを移動できます。複数のプリンターやグループを選択するときは、［Ctrl］または［Shift］を押したままクリックして選択してください。



6. ［適用］をクリックします。

設定テンプレート適用の実行確認画面が表示されます。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［結果の詳細］をクリックして、適用内容を確認します。

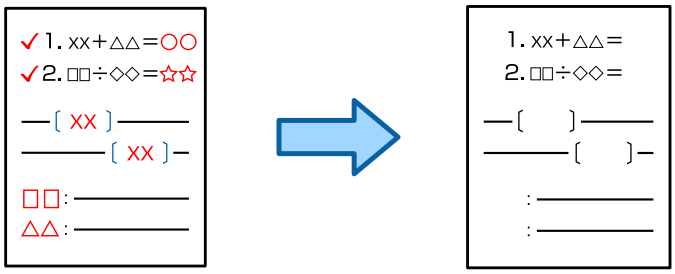
適用した項目で が表示されていれば、適用は成功です。

9. ［閉じる］をクリックします。

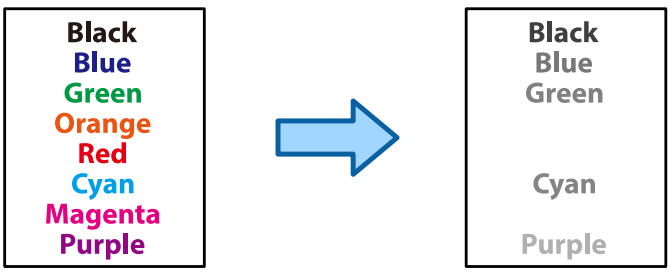
赤色消去

赤色消去機能の概要

赤色消去機能は、原稿の赤い部分を消してコピーやスキャンをする機能です。
例えば、回答を赤字で記入してあるテストの原稿を、赤色消去機能を使ってコピーすると、回答箇所だけを消した原稿を簡単に作成できます。



参考
- カラーモードでカラーを選択した場合、印刷結果はモノクロ調となります。
- 原稿によっては赤色消去できないことがあります。また、原稿によっては赤色に近い色（オレンジなど）が消去されたり、薄い黒色に置き換わったりすることがあります。



関連情報

➡ 「赤色消去機能を使用しても、赤色が完全に消えずにコピーされる」482ページ
➡ 「赤色消去機能を使用しても、赤色が完全に消えずにスキャンされる」484ページ

赤色消去機能を有効にする（ライセンスキーの登録）

ライセンスキーをプリンターに登録して、赤色消去機能を有効にします。
詳細は下の関連情報をご覧ください。

参考 ライセンスキーは、販売店などによってすでに登録されている場合があります。

関連情報

➡ 「ライセンスキーの登録」167ページ

赤色消去機能を使用する

コピー

赤色消去機能を使ってコピーする方法は以下をご覧ください。
「赤色を消去してコピーする」312ページ

スキャン

赤色消去機能を使ってスキャンするには、操作パネルのスキャン設定で［赤色消去］を［オン］にしてください。

機能名	赤色消去	関連情報
To ネットワークフォルダー	✓	「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」323ページ
To メール	✓	「原稿をスキャンしてメールに添付する」325ページ
To コンピューター	-	「原稿をスキャンしてコンピューターに保存する」327ページ
To 外部メモリー	✓	「原稿をスキャンして外部メモリーに保存する」328ページ
To クラウド	✓	「原稿をスキャンしてクラウドに転送する」329ページ
To ボックス	✓	「原稿をスキャンしてボックスに保存する」330ページ

機能名	赤色消去	関連情報
ボックス to ネットワークフォルダー 機能	-	「ボックスを利用する」392ページ
ボックス to メール 機能	-	
ボックス to 外部メモリー 機能	-	
ボックス to クラウド 機能	-	
スキャン to マイメール 機能(Epson Print Admin Serverless使用時)	✓	「スキャンについて」200ページ
スキャン to マイフォルダー機能（Epson Print Admin Serverless使用時)	✓	

✓ = 対応
- = 非対応

関連情報

➡ 「赤色消去：」334ページ

グループ印刷

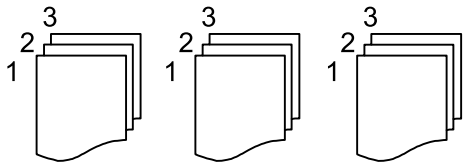
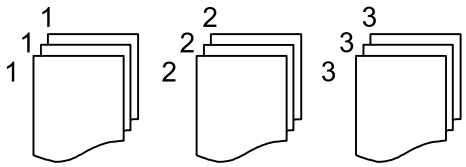
グループ印刷の概要

グループ印刷とは、必要な部数を毎回入力しなくても印刷やコピーができる機能です。
別々のグループ（クラスや部署など）ごとに印刷したい場合は、部数と組数（セット数）をプリンターに登録しておけば、素早く印刷やコピーができます。
学校で1学年4クラス（1クラス30人、3クラス各31人）のグループ印刷をする場合

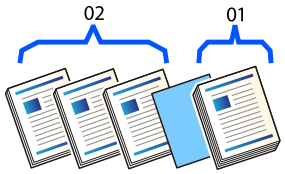
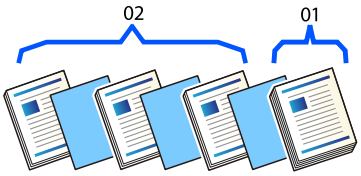
グループ	01	02
部数×組数	30×1	31×3
印刷結果	30	31 31 31

また、仕上げ設定をすることで印刷後の仕分けが簡単にできます。

- 並び順を選択する
  これは原稿が3ページある場合の図です。

1部ごとに印刷する(ページ順)	ページごとに印刷する
	

- 合紙（仕切り紙）を入れる

グループごとに合紙を入れる	組ごとに合紙を入れる
	

グループ印刷機能を有効にする（ライセンスキーの登録）

コピーやボックスからのグループ印刷をするには、ライセンスキーをプリンターに登録して、グループ印刷機能を有効にします。
詳細は下の関連情報をご覧ください。

参考　ライセンスキーは、販売店などによってすでに登録されている場合があります。

関連情報

➡ 「ライセンスキーの登録」167ページ

グループ印刷機能を使用する

グループ印刷機能を使うと、登録したグループで以下の操作ができます。

- コピー
- 印刷（ボックス）
- 印刷（コンピューター）

詳細は下の関連情報をご覧ください。

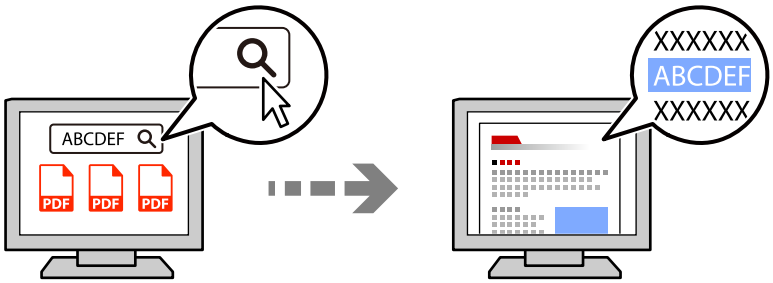
関連情報

➡ 「登録したグループでコピーする」410ページ
➡ 「登録したグループで印刷する（ボックス）」413ページ
➡ 「登録したグループで印刷する（コンピューター）（Windowsのみ）」417ページ

OCR オプション

OCR オプションの概要

通常、スキャンされた文章は画像として保存されます。OCR オプションを使うと、スキャンされた文書を文字情報として扱うことができ、コピーや検索ができます。



OCR オプションを有効にする（ライセンスキーの登録）

ライセンスキーをプリンターに登録して、OCR オプションを有効にします。ライセンスキーを登録するには、増設ボードの取り付けが必要です。
詳細は下の関連情報をご覧ください。

参考　ライセンスキーは、販売店などによって既に登録されている場合があります。

関連情報

➡ 「ライセンスキーの登録」167ページ

OCR オプションを使用する

OCR オプションを使ってスキャンするには、操作パネルのスキャン設定で［OCR］を［オン］にしてください。

機能名	OCR オプション	関連情報
To ネットワークフォルダー	○	「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」323ページ
To メール	○	「原稿をスキャンしてメールに添付する」325ページ
To コンピューター	×	「原稿をスキャンしてコンピューターに保存する」327ページ
To 外部メモリー	○	「原稿をスキャンして外部メモリーに保存する」328ページ

機能名	OCR オプション	関連情報
To クラウド	×	「原稿をスキャンしてクラウドに転送する」329ページ
To ボックス	×	「原稿をスキャンしてボックスに保存する」330ページ
ボックス to ネットワークフォルダー 機能	○	「ボックスを利用する」392ページ
ボックス to メール 機能	○	
ボックス to 外部メモリー 機能	○	
ボックス to クラウド 機能	×	
スキャン to マイメール 機能（Epson Print Admin Serverlessをご利用の場合）	○	「スキャンについて」200ページ
スキャン to マイフォルダー機能（Epson Print Admin Serverlessをご利用の場合）	○	

○＝利用できます。
×＝利用できません。

OCR オプション使用時の推奨解像度

OCR オプションを使用するときは、原稿の文字サイズに合わせて解像度を設定してください。文字サイズに合った解像度を設定することで、OCRの認識率が向上します。
解像度を高くしても、大きな文字のときは認識率がかえって低下することがあります。
解像度の設定は、［スキャン設定］-［解像度］で変更します。

文字サイズ	推奨解像度
20ポイント（約7 mm）	200dpi
10ポイント（約3.5 mm）	300dpi
5ポイント（約1.8 mm）	600dpi

参考 以下のような原稿や文字では、OCRの認識率が下がることがあります。

- 大きな文字と小さな文字が混在した原稿
- 4ポイント（約1.4 mm）以下の小さな文字

IPファクス

IPファクス機能の概要

IPファクスとはファクスの機能で、IPネットワークでデータの送受信をします。以下のメリットがあります。

- 通信費用を削減できる
- 高速な通信ができる
- 電話回線網での通常のファクスと同様、リアルタイムに通信できる

IPファクスを使用すると、以下のファクスの送受信ができます。

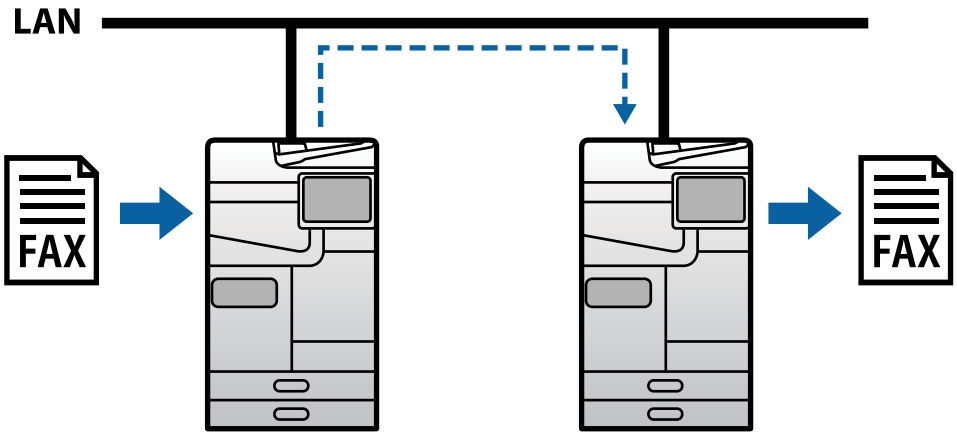
- イントラネット上のIPファクス対応機器間で送受信する
- IPネットワークと電話回線網を中継するVoIPゲートウェイという機器を使って、電話回線網に接続しているG3ファクス対応機と送受信する
  ただし、VoIPゲートウェイから通信相手までの通信で費用が発生します（距離や時間に応じた従量課金）。
- NGN通信網を利用して送受信する（この機能は、ライセンスキーを登録しなくても使用できます）
  「NGNを利用したIPファクスを使えるようにする」156ページ

イントラネット（企業内ネットワーク）内で送受信する

IPアドレスやホスト名を使用して送受信する

通信する機器がそれぞれIPファクスに対応していれば、イントラネットでIPファクスを送受信できます。
宛先入力例：

- 例1：1111@host.local
- 例2：User1@192.168.1.1
- 例3：User1@[2001:0db8::1234:5678:90ab:cdef]



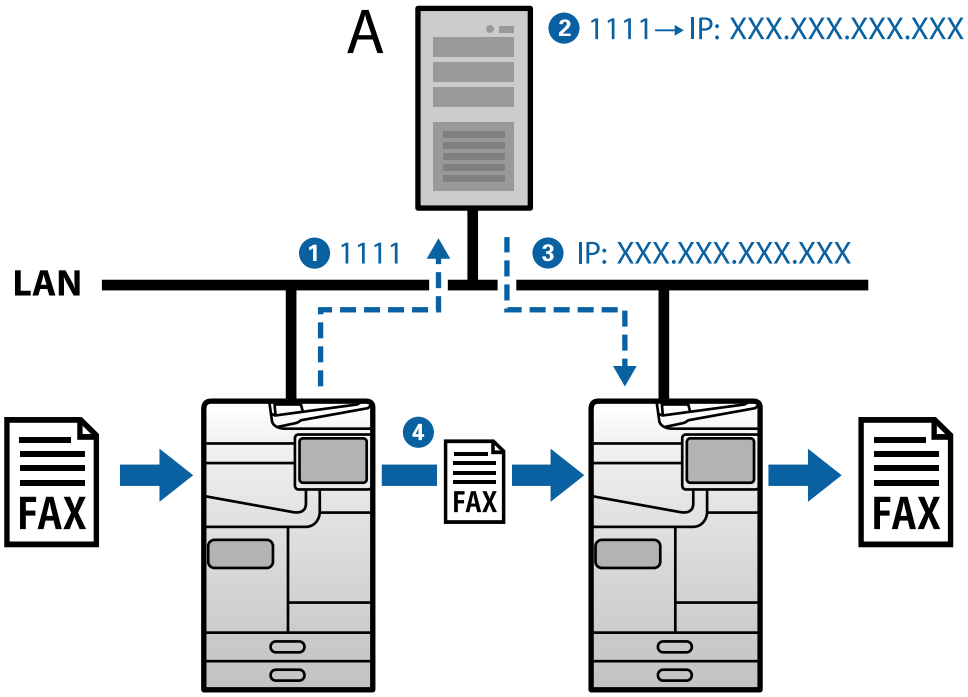
SIPサーバーを使用して送受信する

SIPサーバーとは、SIP（Session Initiation Protocol）を利用した電話サービスの管理や制御をするサーバーです。SIPサーバーの主な機能は以下の通りです。

- プロキシサーバー：SIPリクエストやSIPレスポンスを中継する
- レジストラーサーバー：IPネットワークの機器のアドレス情報を受け取り、データベースに登録する
- リダイレクトサーバー：SIPリクエストに対して、アドレス情報を返す

SIPサーバーを使用して、SIPユーザー名やファクス番号で宛先を指定できます。
宛先入力例：

- SIPユーザー名：1111

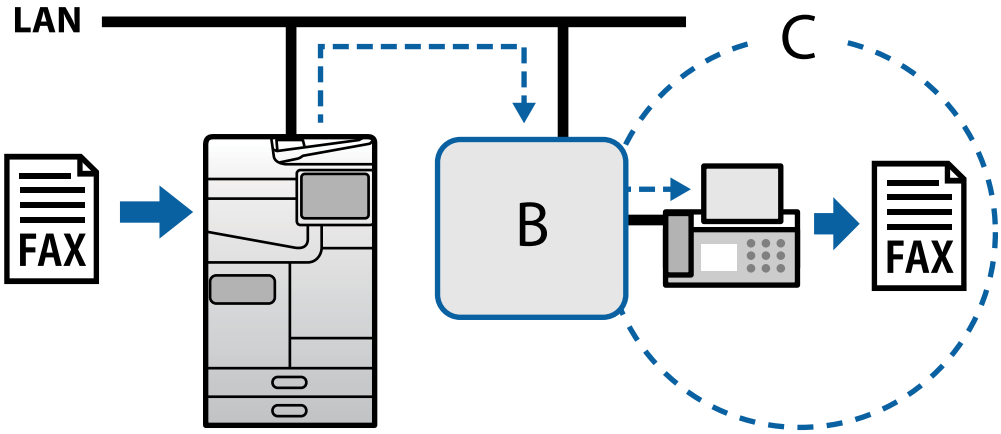


ASIPサーバー

G3ファクス対応機器を使用して送受信する（VoIPゲートウェイ経由）

VoIP（Voice over Internet Protocol）ゲートウェイは、IPネットワークと電話回線の中継を行う機器です。デジタルIPパケット（T.38）とアナログ音声データ（T.30）を相互変換することで通信します。VoIPゲートウェイを使用すれば、IPファクス対応機とG3ファクス対応機間で送受信できるようになります。
宛先入力例：

- ファクス番号：0312345678



B：VoIPゲートウェイ
C：公衆電話網

IPファクスを使えるようにする

設定の流れ

IPファクスを使用するためには、以下の設定が必要です。設定はプリンターの管理者が行ってください。

1. 標準のファクスの設定をします（未設定の場合）。
   「ファクスを使えるようにする（ファクス対応機のみ）」123ページ

2. プリンターをネットワークに接続します。
   「プリンターをネットワークに接続する」46ページ

3. ライセンスキーをプリンターに登録して、IPファクス機能を有効にします。
   - Web Configを使った個別設定
     「Web Configでライセンスキーを登録する（個別登録）」168ページ
   - Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定
     「Epson Device Adminでライセンスキーを登録する（一括登録）」169ページ

   参考 ライセンスキーは、販売店などによって既に登録されている場合があります。

4. 環境に応じた設定をします。
   - Web Configを使った個別設定
     - イントラネット内で送受信する設定
     「イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）」183ページ
     - VoIPゲートウェイ経由 でG3ファクス機と送受信する設定
     「VoIPゲートウェイ利用時のIPファクス設定」186ページ

- Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定
  - イントラネット内で送受信する設定
  「イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）<Epson Device Admin>」193ページ
  - VoIPゲートウェイ経由 でG3ファクス機と送受信する設定
  「G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする（VoIPゲートウェイ経由）<Epson Device Admin>」194ページ

5. IPファクスで使う宛先をアドレス帳に登録します。
   「アドレス帳への宛先登録（IPファクス利用時）」97ページ

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ
- 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」528ページ

IPファクスを使用するための設定

IPファクスを使用するために必要な設定を行います。

Web Configを使った個別設定

個別のプリンターごとにIPファクスの設定をする方法について説明します。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）

イントラネット内でIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- SIPサーバーの設定（SIPサーバーを使用する場合）

1. Web Configで［ファクス］タブ -［IPファクス設定］-［LAN設定］を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- 「［IPファクス設定］ -［LAN設定］の設定項目」184ページ
- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

[IPファクス設定] - [LAN設定]の設定項目

項目	設定と説明
LAN使用	イントラネット内でIPファクスの送受信を有効にするか無効にするかを選択します。
発信元番号	イントラネット（LAN）内でIPファクス対応機にIPファクス送信するときの発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。0～9 +または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。
本体URI	使用する接続環境に合わせて以下のように設定します。 • SIPサーバーを使用しない場合: sip：《ユーザー名》@《プリンター本体のホスト名またはIPアドレス》 • SIPサーバーを使用する場合: sip：《プリンター本体のSIPユーザー名》*@《SIPサーバーのホスト名またはIPアドレス》
SIP受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
SIP発信トランスポート	SIPリクエストを送信する際に使用するプロトコルを、[UDP]または[TCP]から選択します。

*: SIPユーザー名とは、SIPサーバーにIPアドレスと関連付けて登録する名称のことです。IPファクス受信時の宛先として使用されます。内線番号のように、他のファクス機と重ならない数字または名前を設定してください。

SIPサーバー設定

項目		設定と説明
SIPサーバー使用		SIPサーバーを使用するかどうかを選択します。
プライマリーレジストラーサーバー	サーバーアドレス	プライマリーレジストラーサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。 ASCII（0x20～0x7E）の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
	ポート番号	プライマリーレジストラーサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
	ユーザー名	プライマリーレジストラーサーバーにアクセスするためのユーザー名を入力します。 ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
	パスワード	プライマリーレジストラーサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。 ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}

項目		設定と説明
セカンダリーレジストラーサーバー	サーバーアドレス	セカンダリーレジストラーサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII（0x20～0x7E）の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
	ポート番号	セカンダリーレジストラーサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
	ユーザー名	セカンダリーレジストラーサーバーにアクセスするためのユーザー名を入力します。ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
	パスワード	セカンダリーレジストラーサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
プライマリープロキシサーバー	サーバーアドレス	プライマリープロキシサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII（0x20～0x7E）の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
	ポート番号	プライマリープロキシサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
	ユーザー名	プライマリープロキシサーバーにアクセスするためのユーザー名を入力します。ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
	パスワード	プライマリープロキシサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
セカンダリープロキシサーバー	サーバーアドレス	セカンダリープロキシサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII（0x20～0x7E）の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
	ポート番号	セカンダリープロキシサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
	ユーザー名	セカンダリープロキシサーバーにアクセスするためのユーザー名を入力します。ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}
	パスワード	セカンダリープロキシサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\^`{|}

参考 1台のSIPサーバーが、レジストラーサーバーとプロキシサーバーの両方の機能を備えている場合があります。その場合は、［サーバーアドレス］に同じ値を入力してください。

メディア(T.38)設定

項目	設定と説明
T.38発信トランスポート	SIPセッションの確立後、データの送受信に使用するプロトコルを［UDPTL］または［TCP］から選択します。

項目	設定と説明
T.38メディアタイプ	SIPセッションの確立後、データの送受信に使用するメディアストリームの種類を［image］ または［application］から選択します。
T.38受信ポート番号	T.38の受信ポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
RTP受信ポート番号	RTP（Real-time Transport Protocol）の受信ポート番号を1024～65534以内の半角数字で入力します。

関連情報

➡ 「イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）」183ページ
➡ 「イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）＜Epson Device Admin＞」193ページ

VoIPゲートウェイ利用時のIPファクス設定

G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする（VoIPゲートウェイ経由）

VoIPゲートウェイを経由し、G3ファクス対応機とIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- VoIPゲートウェイの登録

重要 VoIPゲートウェイを使用するためには、VoIPゲートウェイを登録した後に、接続したいVoIPゲートウェイの優先順位を設定する必要があります。詳しくは以下を参照してください。
「VoIPゲートウェイの優先設定」188ページ

1. Web Configで［ファクス］タブ -［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「［IPファクス設定］ -［VoIPゲートウェイ設定］の設定項目」186ページ
➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

［IPファクス設定］ -［VoIPゲートウェイ設定］の設定項目

項目	設定と説明
VoIPゲートウェイ使用	VoIPゲートウェイを経由したIPファクスの送受信を有効にするか無効にするかを選択します。

項目	設定と説明
発信元番号	VoIPゲートウェイ経由でG3ファクス対応機にIPファクス送信するときの発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。0～9 +または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。
本体URI	以下のように設定します。 sip：《IPファクスで使用するファクス番号》* @《プリンター本体のホスト名またはIPアドレス》
SIP受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
SIP発信トランスポート	発信SIP要求の送信に使用するプロトコルを［UDP］または［TCP］から選択します。
VoIPゲートウェイ登録	接続したいVoIPゲートウェイを登録します。詳細は以下を参照してください。 「VoIPゲートウェイを登録する」187ページ
VoIPゲートウェイ優先設定	接続したいVoIPゲートウェイの優先順位を設定します。詳細は以下を参照してください。 「VoIPゲートウェイの優先設定」188ページ

*: このファクス番号が、G3ファクスとの送受信に使用されるプリンター本体のファクス番号になります。事前にこのファクス番号をVoIPゲートウェイに登録しておいてください。

メディア(T.38)設定

項目	設定と説明
T.38発信トランスポート	SIPセッションの確立後、データの送受信に使用するプロトコルの［UDPTL］が表示されます。
T.38メディアタイプ	SIPセッションの確立後、データの送受信に使用するメディアストリームタイプの［image］が表示されます。
T.38受信ポート番号	T.38の受信ポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
RTP受信ポート番号	RTP（Real-time Transport Protocol）の受信ポート番号を1024～65534以内の半角数字で入力します。

関連情報

➡ 「G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする（VoIPゲートウェイ経由）」186ページ

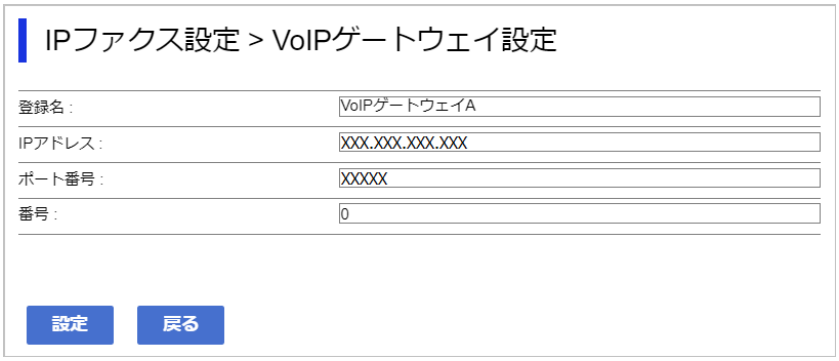
VoIPゲートウェイを登録する

IPファクスの送受信に使用するVoIPゲートウェイを登録します。

1. Web Configにアクセスして、［ファクス］タブ - ［IPファクス設定］ - ［VoIPゲートウェイ設定］の順にクリックします。
2. ［VoIPゲートウェイ登録］ - ［編集］の順にクリックします。

   登録済みVoIPゲートウェイの一覧が画面に表示されます。
3. 登録または編集したい番号を選択し、［編集］ボタンをクリックします。

4. 各項目を設定します。



- 登録名
  UTF-16の30文字以内でVoIPゲートウェイ名を入力します。ただし、制御文字(0x00～0x1Fおよび0x7F)は使用できません。
- IPアドレス
  VoIPゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。 "<>\^`{|}
- ポート番号
  VoIPゲートウェイのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。

5. [設定] ボタンをクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

VoIPゲートウェイの優先設定

IPファクスの送受信で使用するVoIPゲートウェイを登録した後、VoIPゲートウェイの送信条件と優先順位を設定する必要があります。

- 送信条件：
  送信先（G3ファクス対応機）のファクス番号の先頭数字を設定します。送信時に指定した送信先のファクス番号の先頭数字と送信条件が一致するVoIPゲートウェイがあると、そのVoIPゲートウェイを経由して送信されます。
- 優先度：
  優先順位が高い方から順に送信条件を判定して、経由するVoIPゲートウェイを決定します。

例えば、3つのVoIPゲートウェイに対して、以下のように設定したとします。

優先度	送信条件	接続先
1	011	VoIPゲートウェイ A
2	012	VoIPゲートウェイ B
3	013	VoIPゲートウェイ A
4	01	VoIPゲートウェイ C

この場合、「011」「013」で始まるファクス番号の宛先にはVoIPゲートウェイ A経由で送信され、「012」で始まるファクス番号の宛先にはVoIPゲートウェイ B経由で送信されます。また、「014」～「019」で始まるファクス番号であれば、優先順位4の送信条件「01」と一致するため、VoIPゲートウェイ C経由で送信されます。

重要

- VoIPゲートウェイを1つだけ登録した場合でも、［VoIPゲートウェイ優先設定］で送信条件と優先順位を設定してください。
- 送信先のファクス番号がVoIPゲートウェイ優先設定で設定された送信条件と1つも一致しない場合、ファクスは送信されません。

関連情報

- 「VoIPゲートウェイの送信条件を設定する」189ページ
- 「VoIPゲートウェイの優先度を設定する」190ページ

VoIPゲートウェイの送信条件を設定する

ここでは、登録したVoIPゲートウェイの送信条件の設定方法を説明します。

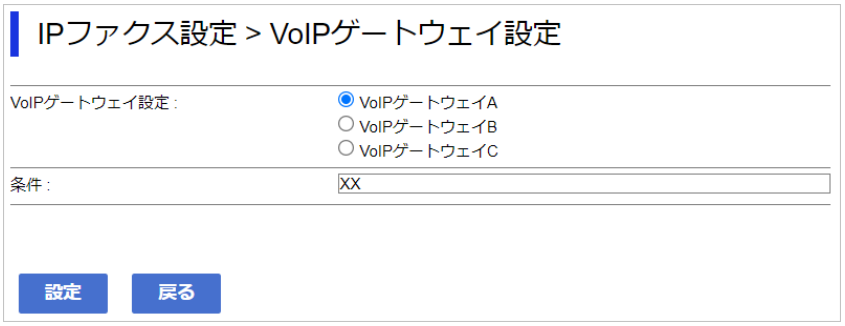
1. Web Configにアクセスして、［ファクス］タブ - ［IPファクス設定］ - ［VoIPゲートウェイ設定］の順にクリックします。
2. ［VoIPゲートウェイ優先設定］ - ［編集］の順にクリックします。

   登録済みVoIPゲートウェイの優先度の設定画面が表示されます。
3. ［設定］ボタンをクリックします。

4. 送信条件を編集する項目を選択し、［編集］ボタンをクリックします。

登録済みVoIPゲートウェイの送信条件の設定画面が表示されます。

5. 各項目を設定します。



- VoIPゲートウェイ設定
  送信条件が一致したときに接続するVoIPゲートウェイを選択します。
- 条件
  送信先のファクス番号の先頭数字を入力します。

6. ［設定］ボタンをクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

参考
- 送信条件を変更する場合は、［編集］ボタンをクリックします。
- 送信条件を削除する場合は、［削除］ボタンをクリックします。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

VoIPゲートウェイの優先度を設定する

ここでは、登録したVoIPゲートウェイの優先度を設定する方法について説明します。
VoIPゲートウェイの送信条件の設定後に本設定を行う場合は、VoIPゲートウェイの優先度を設定する画面が表示されています。手順3に進んでください。

1. Web Configにアクセスして、［ファクス］タブ - ［IPファクス設定］ - ［VoIPゲートウェイ設定］の順にクリックします。

2. ［VoIPゲートウェイ優先設定］ - ［編集］の順にクリックします。
   登録済みVoIPゲートウェイの優先度の設定画面が表示されます。

3. ［優先度］を選択します。

4. 優先度を変更するには、［Up］または［Down］をクリックします。

5. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定

Epson Device Adminを使用すると、複数のプリンターへ一度にIPファクスを設定できます。
詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」528ページ

Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要

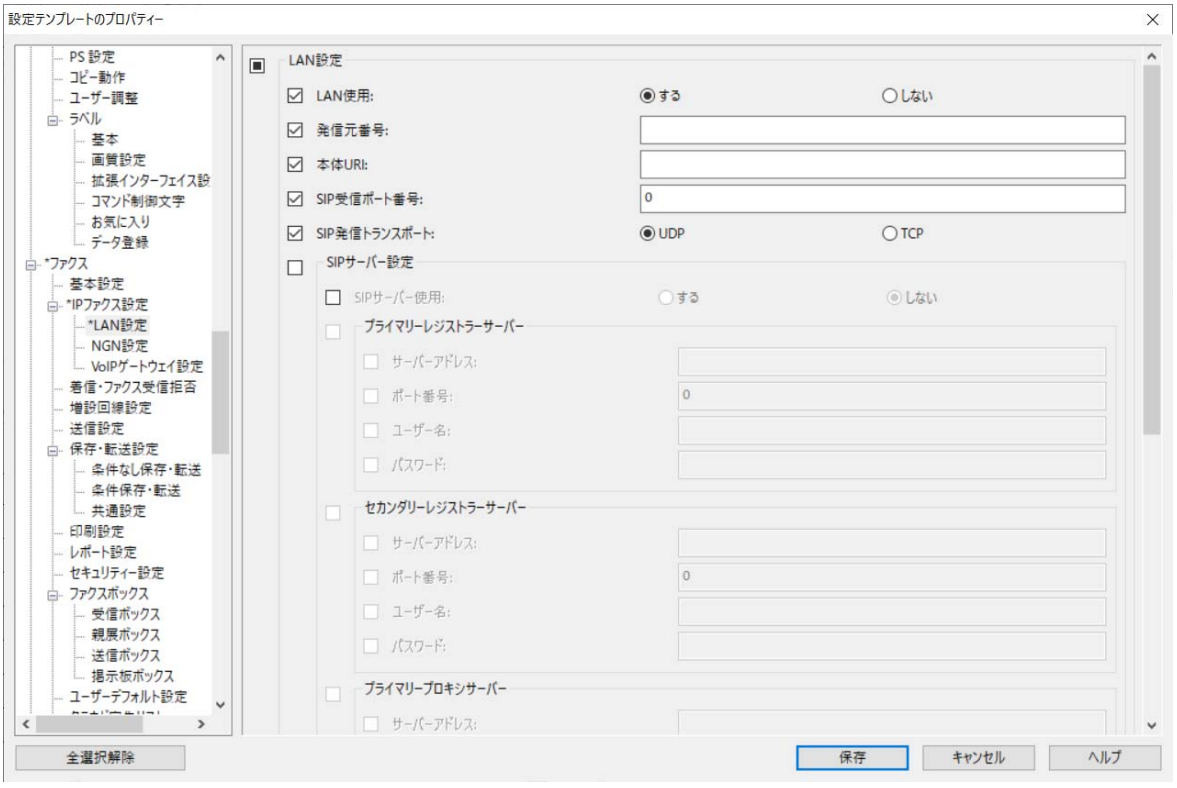
Epson Device Adminの設定テンプレートを使用してIPファクスの設定をします。以下の流れで設定値をプリンターに適用してください。

> **重要** プリンターの管理者パスワードがEpson Device Adminに登録されていないときは、先にパスワードを登録してください。登録手順は以下を参照してください。
> 「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」169ページ

1. 設定テンプレートを新規作成します。

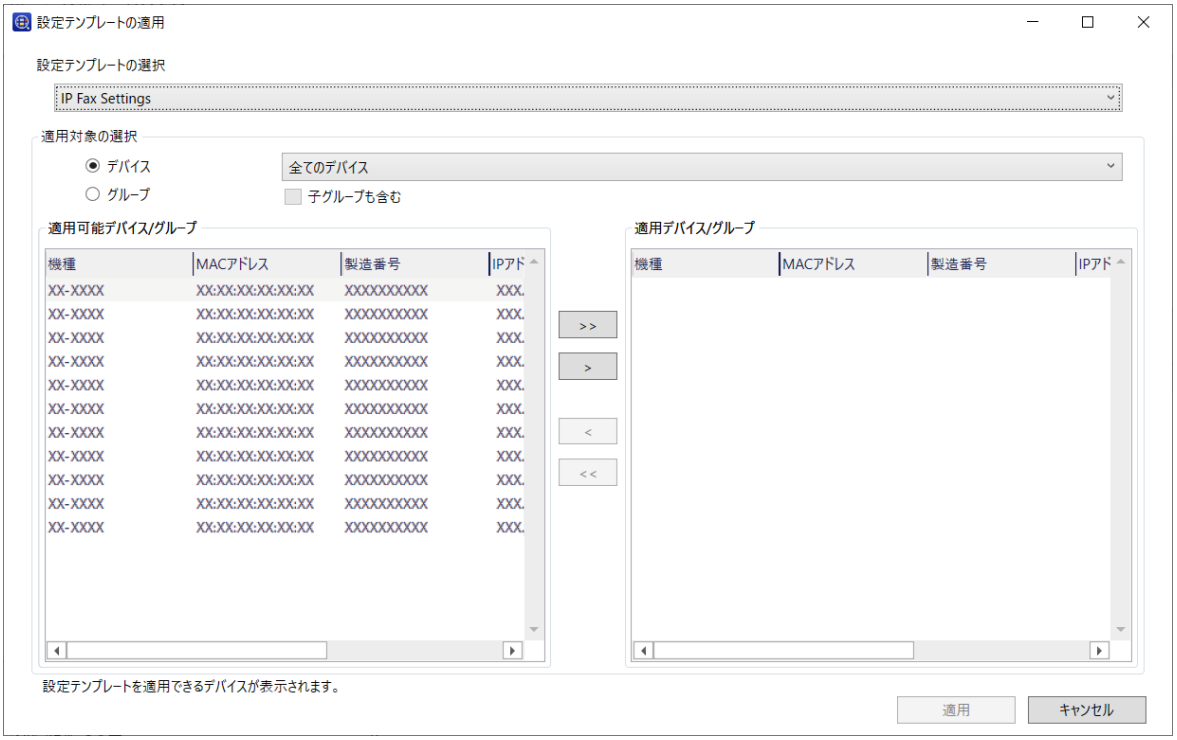
2. 設定する機能の画面で設定値を入力または選択して、適用する項目にチェックを付けます。

   以下は設定画面の例です。



3. 設定テンプレートを保存します。

4. 設定を適用するプリンターを選択して、設定テンプレートを適用します。



設定テンプレートの基本操作は関連情報を参照してください。

関連情報

- 「設定テンプレートを新規作成する」169ページ
- 「設定テンプレートを適用する」171ページ
- 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」528ページ

イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）<Epson Device Admin>

イントラネット内でIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- SIPサーバーの設定（SIPサーバーを使用する場合）

1. 設定テンプレートから、［ファクス］-［IPファクス設定］-［LAN設定］の順に選択します。

2. 各項目を設定します。

   各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

- 「［IPファクス設定］ - ［LAN設定］の設定項目」184ページ
- 「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」161ページ

G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする（VoIPゲートウェイ経由）<Epson Device Admin>

VoIPゲートウェイを経由し、G3ファクス対応機とIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- VoIPゲートウェイの登録

重要 VoIPゲートウェイを使用するためには、VoIPゲートウェイを登録した後に、接続するVoIPゲートウェイの優先順位の設定が必要です。詳細は以下を参照してください。
「VoIPゲートウェイの優先設定<Epson Device Admin>」196ページ

1. 設定テンプレートから、［ファクス］-［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の順に選択します。
2. 各項目を設定します。

関連情報

- 「［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の設定項目<Epson Device Admin>」194ページ
- 「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」161ページ

［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の設定項目<Epson Device Admin>

項目	設定値と説明
VoIPゲートウェイ使用	VoIPゲートウェイを経由したIPファクス送受信を有効にするか無効にするかを選択します。
発信元番号	VoIPゲートウェイを経由してIPファクスを送信するときの発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。0～9 +または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。
本体URI	以下のように設定します。 sip：《IPファクスで使用するファクス番号》* @《プリンター本体のホスト名またはIPアドレス》
SIP受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
SIP発信トランスポート	発信SIP要求の送信に使用するプロトコルを［UDP］または［TCP］から選択します。

*： このファクス番号が、G3ファクスとの送受信に使用されるプリンター本体のファクス番号になります。事前にこのファクス番号をVoIPゲートウェイに登録しておいてください。

VoIPゲートウェイ登録

登録または編集したいVoIPゲートウェイの項目を選択し、［編集］をクリックします。詳細は以下を参照してください。
「VoIPゲートウェイを登録する<Epson Device Admin>」195ページ

項目	設定値と説明
ID	VoIPゲートウェイの登録IDを表示します。
登録名	VoIPゲートウェイの名称を表示します。
IPアドレス	VoIPゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを表示します。

項目	設定値と説明
ポート番号	VoIPゲートウェイのポート番号を表示します。

VoIPゲートウェイ優先設定

IPファクスの送受信で使用するVoIPゲートウェイの送信条件と優先順位を設定します。詳細は以下を参照してください。

「VoIPゲートウェイの送信条件を設定する<Epson Device Admin>」197ページ
「VoIPゲートウェイの優先度を設定する<Epson Device Admin>」198ページ

項目	設定値と説明
優先度	VoIPゲートウェイの優先度を表示します。
VoIPゲートウェイ(ID)	［VoIPゲートウェイ登録］の一覧に登録されている登録IDを表示します。
条件	宛先のファクス番号の先頭数字（VoIPゲートウェイの送信条件）を表示します。

メディア(T.38)設定

項目	設定値と説明
T.38受信ポート番号	T.38の受信ポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
RTP受信ポート番号	RTP（Real-time Transport Protocol）の受信ポート番号を1024～65534以内の半角数字で入力します。

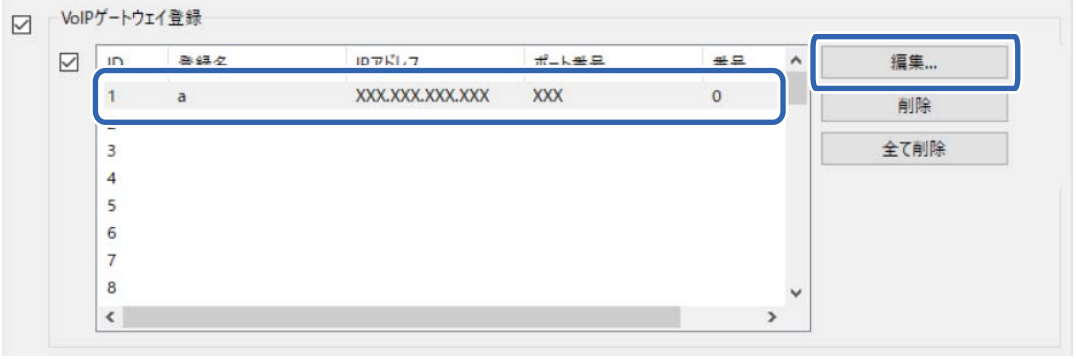
関連情報

➡ 「G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする（VoIPゲートウェイ経由）<Epson Device Admin>」194ページ

VoIPゲートウェイを登録する<Epson Device Admin>

IPファクスの送受信で使用するVoIPゲートウェイを登録します。
設定テンプレートから、［ファクス］-［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の順に選択して、VoIPゲートウェイの登録と設定を併せて行います。

1. ［VoIPゲートウェイ登録］の一覧から、登録する項目を選択して［編集］をクリックします。



［VoIPゲートウェイ登録］画面が表示されます。

2. 各項目を設定します。

- 登録名
  VoIPゲートウェイの名称を、UTF-16で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1F、0x7F）は除きます。
- IPアドレス
  VoIPゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII（0x20～0x7E）で表せる0～127文字以内で入力できます。ただし、空白文字および "<>\^`{|} は除きます。
- ポート番号
  VoIPゲートウェイのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。

3. ［OK］をクリックします。

参考
- VoIPゲートウェイの登録内容を変更するには、［VoIPゲートウェイ登録］の一覧から変更する項目を選択し、［編集］をクリックします。
- VoIPゲートウェイの登録を削除するには、［VoIPゲートウェイ登録］の一覧から削除する項目を選択し、［削除］をクリックします。
- VoIPゲートウェイの登録を全て削除するには、［VoIPゲートウェイ登録］の一覧から［全て削除］をクリックします。

関連情報

- 「［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の設定項目<Epson Device Admin>」194ページ
- 「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」161ページ

VoIPゲートウェイの優先設定<Epson Device Admin>

IPファクスの送受信で使用するVoIPゲートウェイを登録した後、VoIPゲートウェイの送信条件と優先順位を設定する必要があります。
VoIPゲートウェイの送信条件と優先順位の詳細については以下の関連情報を参照してください。

関連情報

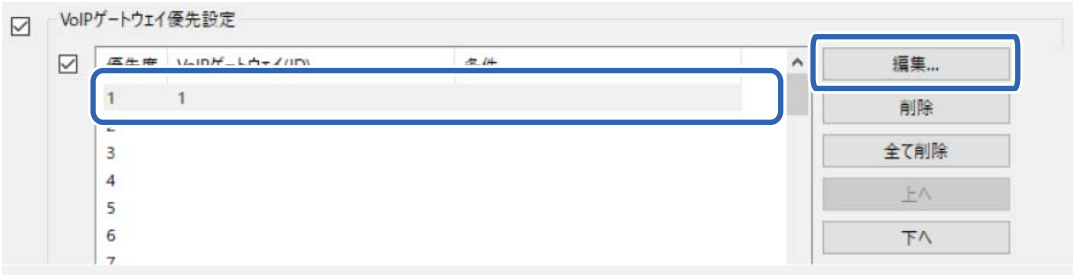
- 「VoIPゲートウェイの送信条件を設定する<Epson Device Admin>」197ページ
- 「VoIPゲートウェイの優先度を設定する<Epson Device Admin>」198ページ

➡ 「［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の設定項目<Epson Device Admin>」194ページ

VoIPゲートウェイの送信条件を設定する<Epson Device Admin>

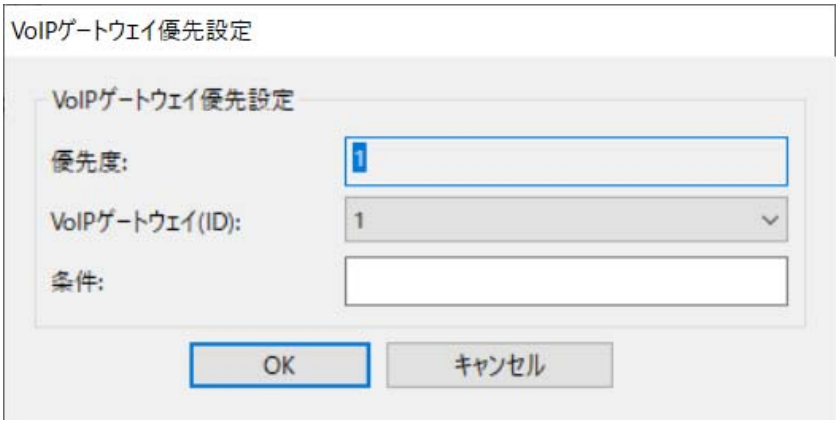
登録したVoIPゲートウェイ経由で送信する条件の設定手順を説明します。
設定テンプレートから、［ファクス］-［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の順に選択して、登録済みのVoIPゲートウェイ経由で送信する条件を、その他のVoIPゲートウェイの設定項目と併せて設定します。

1. ［VoIPゲートウェイ優先設定］の一覧から、送信条件を編集したい項目を選択して［編集］をクリックします。



［VoIPゲートウェイ優先設定］画面が表示されます。

2. 各項目を設定します。



- VoIPゲートウェイ(ID)
  送信条件が一致したときに接続するVoIPゲートウェイの登録IDを選択します。
- 条件
  宛先のファクス番号の先頭数値を入力します。

3. ［OK］をクリックします。

参考
- VoIPゲートウェイの送信条件を変更するには、［VoIPゲートウェイ優先設定］の一覧から変更する項目を選択し、［編集］をクリックします。
- VoIPゲートウェイの送信条件を削除するには、［VoIPゲートウェイ優先設定］の一覧から削除する項目を選択し、［削除］をクリックします。
- VoIPゲートウェイの送信条件を全て削除するには、［VoIPゲートウェイ優先設定］の一覧から［全て削除］をクリックします。

関連情報

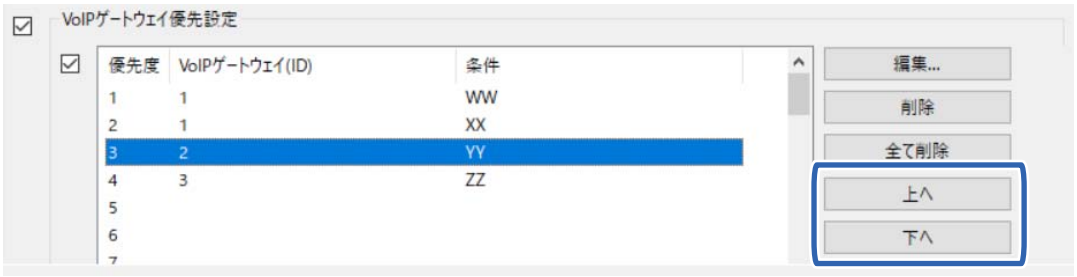
➡ 「［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の設定項目<Epson Device Admin>」194ページ
➡ 「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」161ページ

VoIPゲートウェイの優先度を設定する<Epson Device Admin>

登録したVoIPゲートウェイの優先度を設定する手順を説明します。
設定テンプレートから、［ファクス］-［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の順に選択して、登録済みのVoIPゲートウェイの優先度の設定を、その他のVoIPゲートウェイの設定と併せて行います。

1. ［VoIPゲートウェイ優先設定］の一覧から、優先度を変更したい項目を選択します。

2. ［上へ］または［下へ］をクリックして優先度を変更します。



関連情報

➡ 「［IPファクス設定］-［VoIPゲートウェイ設定］の設定項目<Epson Device Admin>」194ページ
➡ 「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」161ページ

IPファクスを使用する

IPファクスを使用する方法は以下をご覧ください。

「アドレス帳への宛先登録（IPファクス利用時）」97ページ
「プリンターからIPファクスを送信する」391ページ

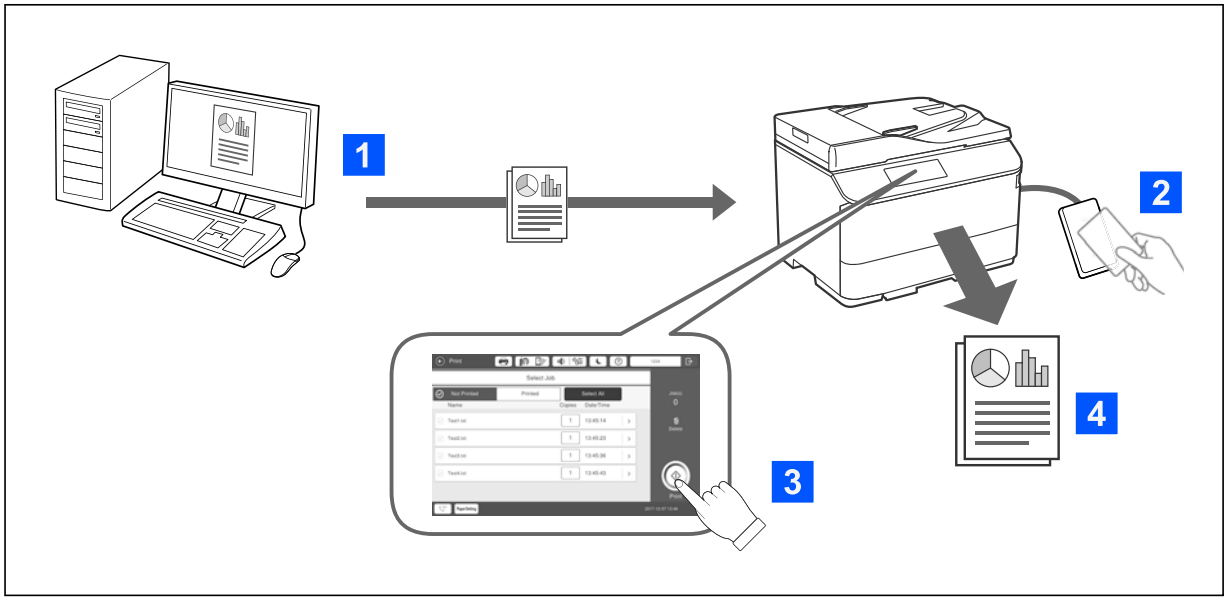
Epson Print Admin Serverless

Epson Print Admin Serverlessの概要

Epson Print Admin Serverlessは、オフィスや学校などのネットワークで、プリンターを安全で効率よく使う環境を提供します。
以下のソリューションを提供します。

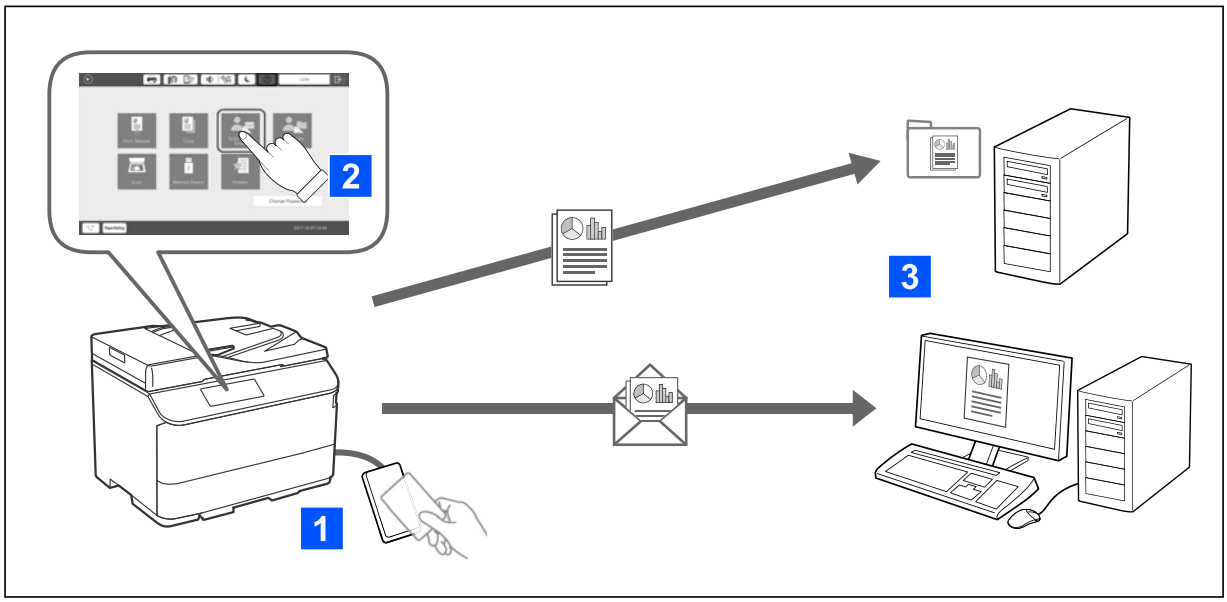
- セキュリティーの向上
  認証したユーザーだけがプリンターを使えます。
  認証したプリンターで印刷するため、機密文書の持ち去りや他人の印刷物との混在を防げます。
- 無駄な印刷を抑制
  ジョブ一覧から文書を選択して印刷するので、無駄な印刷を軽減できます。
- 業務効率化
  複雑な操作なしに、スキャンした文書を自分のメールアドレスに送信したり、あらかじめ登録されている保存先フォルダーに保存したりできます。
- 便利な管理機能
  複数ユーザーの情報を一括で設定することや、ユーザーごとに利用できる機能を設定することができます。Epson Device Adminを使うと、複数プリンターの一括管理、LDAPサーバーとの連携や、利用履歴レポートの自動作成ができます。

認証印刷について



コンピューターからの印刷ジョブはプリンターに蓄積されます。ユーザー認証をしてプリンターにログオンし、印刷ジョブを選択して印刷します。
システム管理者の設定によっては、ログオンすると全ての印刷ジョブが自動で印刷されます。
システム管理者が許可している場合は、蓄積しないで直接印刷することもできます。
どこでも印刷機能でプリンターが連携されていれば、どのプリンターからも印刷できます。

スキャンについて



ユーザー認証をしてプリンターにログオンすると、操作パネルを使った機能（スキャン、コピー、ファクスなど）を使用できます。

- スキャン to マイメール 機能
  スキャンした結果を自分のメールアドレスに送信できます。
- スキャン to マイフォルダー機能
  スキャンした結果をEpson Print Admin Serverlessに登録されている保存先フォルダー（ネットワークフォルダーやFTPサーバー）の下にあるユーザー ID 名の個人フォルダー、またはユーザーごとに設定したフォルダーに保存できます。

Epson Print Admin Serverlessの導入・管理

Epson Print Admin Serverlessシステムの導入・設定、日常の運用や管理は、お使いの機種の『Epson Print Admin Serverless 導入・管理ガイド』 をご覧ください。

- セットアップの概要
- 認証装置の接続
- 情報の登録とシステム設定（ライセンスキーの登録方法を含む）
- クライアントコンピューターの設定
- 日常の運用や管理

Epson Print Admin Serverlessの使い方

Epson Print Admin Serverlessの使い方は、お使いの機種の『Epson Print Admin Serverless 使い方ガイド』をご覧ください。

- 認証の方法

- 認証カードの登録
- 認証印刷
- スキャン

用紙のセット

用紙取り扱い上のご注意 203

用紙サイズと種類の登録 204

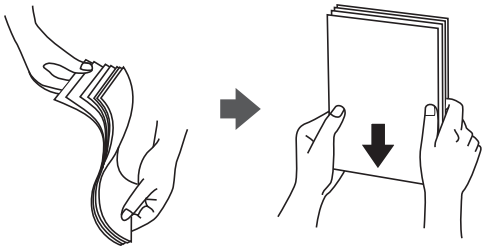
用紙をセットする 207

いろいろな用紙のセット方法 207

用紙取り扱い上のご注意

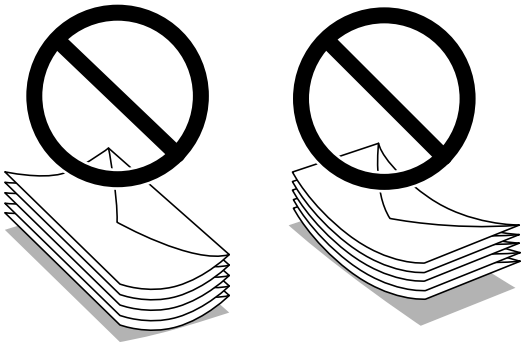
用紙の取り扱いについて

- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項を確認してください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、上下左右の端をそろえてください。

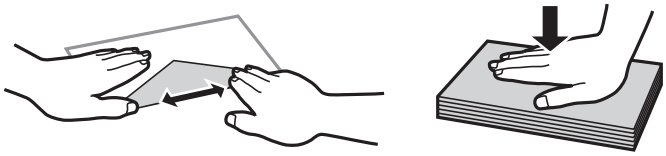


- 用紙が反っているときは、反りと反対に丸めるなどして平らにしてください。反った用紙は紙詰まりや印刷汚れの原因になる可能性があります。

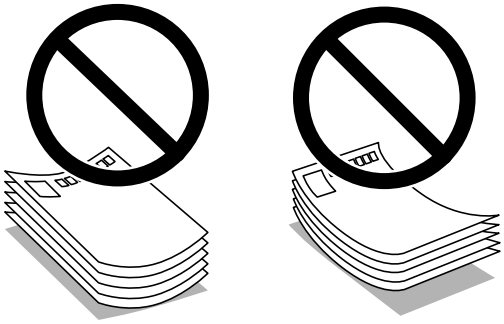
- 窓付き封筒を印刷すると、後から排紙された封筒が窓枠にひっかかり紙詰まりになることがあります。排紙された封筒は1枚ごと取り除くことをお勧めします。
- 封筒が反っているときは、反りと反対に丸めるなどして平らにしてください。反った封筒は紙詰まりや印刷汚れの原因になる可能性があります。



- 封筒は、よくさばいて端面を整えてください。封筒が膨らんでいるときは平らになるように手でならして、膨らみを取り除いてください。



- ハガキが反っているときは、反りと反対に丸めるなどして平らにしてください。反ったハガキは紙詰まりや印刷汚れの原因になる可能性があります。



- ハガキの両面に印刷するときは、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。印刷こすれや汚れを防ぐために、宛名面から先に印刷することをお勧めします。

用紙の保管

以下の点に注意して保管してください。

- 開封後に残った用紙は、湿気を吸わないようポリ袋などに入れて密封してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。また、用紙を濡らさないようにしてください。
- 直射日光を避けて保管してください。
- 用紙は立てかけないで、平らな場所に置いてください。

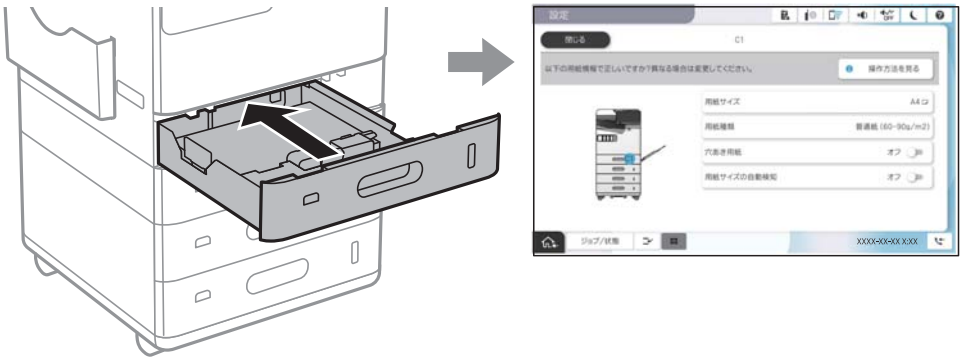
参考 上記通りに保管していても、環境によっては印刷品質の低下や紙詰まりが起こることがあります。保管後に使用するときは、一度少量の用紙をセットし、紙詰まりや印字汚れが起きないかお試しください。

関連情報

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
➡ 「使用できない用紙」516ページ

用紙サイズと種類の登録

用紙カセット挿入時にプリンターに表示される画面で、用紙サイズと種類を登録しておくと、登録情報と印刷設定が異なるときにプリンターがお知らせします。サイズを間違って印刷してしまったり、用紙種類に合った印刷ができず色味が変わってしまったりすることを防ぎ、用紙やインクを無駄にせずに済みます。



表示された用紙サイズや種類がセットした用紙と異なる場合は、項目を選択して変更してください。このままでいい場合は画面を閉じてください。

参考

- 用紙サイズと用紙種類の設定画面は、操作パネルの を選択しても表示できます。
- よく使うユーザー定義サイズは、［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］-［ユーザー定義サイズリスト］で登録できます。
- 用紙サイズでユーザー定義サイズを選択するには、［用紙サイズの自動検知］を［オフ］にしてください。

用紙種類の設定値

最適な印刷結果を得るために、印刷用紙に適した用紙種類を設定してください。
以下は2026年7月現在の情報です。

用紙名称	用紙種類		
	操作パネル	プリンタードライバー、スマートデバイス *	PostScriptプリンタードライバー
両面上質普通紙＜再生紙＞	普通紙 (60-90g/m2)	普通紙(60 - 90 g/m2)	普通紙(60-90g/m2)
ビジネス普通紙IJ インクジェット普通紙	ビジネス普通紙	ビジネス普通紙	ビジネス普通紙
フォトマット紙	フォトマット紙	EPSON フォトマット紙	EPSON フォトマット紙
スーパーファイン紙 スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙
両面スーパーファイン紙	両面スーパーファイン紙	EPSON 両面スーパーファイン紙	-
スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：スーパーファイン紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙
両面マット名刺用紙	両面マット名刺用紙	EPSON 両面マット名刺用紙	-
郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
郵便ハガキ 往復ハガキ 四面連刷ハガキ	郵便ハガキ	郵便ハガキ	郵便ハガキ
薄紙 （52～59 g/m^2）	薄紙 (52-59g/m2)	薄紙(52 - 59 g/m2)	薄紙(52-59g/m2)
厚紙 （91～105 g/m^2）	厚紙1 (91-105g/m2)	厚紙1(91 - 105 g/m2)	厚紙1(91-105g/m2)

用紙名称	用紙種類		
	操作パネル	プリンタードライバー、スマートデバイス *	PostScriptプリンタードライバー
厚紙（106～135 g/m^2）	厚紙2 (106-135g/m2)	厚紙2(106 - 135 g/m2)	厚紙2(106-135g/m2)
厚紙（136～160 g/m^2）	厚紙3 (136-160g/m2)	厚紙3(136 - 160 g/m2)	厚紙3(136-160g/m2)
厚紙（161～250 g/m^2）	厚紙4 (161-250g/m2)	厚紙4(161 - 250 g/m2)	厚紙4(161-250g/m2)

*： スマートデバイスからの印刷時は、Epson Smart Panelを使ったときのみこれらの用紙種類が選択可能

検知できる用紙サイズの一覧

［用紙サイズの自動検知］を有効にすると、用紙カセットや手差しトレイにセットした以下の用紙サイズを自動で検知します。

用紙カセット1～4に用紙をセットする場合

優先する設定*1	用紙サイズ
A/Bサイズ優先	ハガキ、洋形封筒1号、B6、A5、長形封筒4号、Envelope #10、B5、Letter、A4、Legal*2
インチサイズ優先	A6、洋形封筒1号、B6、Half Letter、Envelope #10、B5、Letter、A4、Legal*2

*1： 初期充填後の設定画面で選択した項目です。

*2： 用紙カセット2～4のみ対応。

手差しトレイに用紙をセットする場合

優先する設定 *	用紙サイズ
A/Bサイズ優先	長形封筒4号、ハガキ、長形封筒3号、B6、A5、B5、往復ハガキ、A4、角形封筒20号
インチサイズ優先	長形封筒4号、Envelope #10、Envelope DL、Half Letter、A5、Executive、往復ハガキ、Letter、角形封筒20号

*： 初期充填後の設定画面で選択した項目です。

A4とLetterのように、同じようなサイズは誤検知されることがあります。Letter、ExecutiveがA4、B5と検知されたときは、を選択して正しいサイズを指定してください。

自動検知できないサイズは、を選択して［用紙サイズの自動検知］機能を無効にし、セットした用紙のサイズを指定してください。

用紙をセットする

プリンターの画面に表示される動画を見ながら、用紙をセットできます。

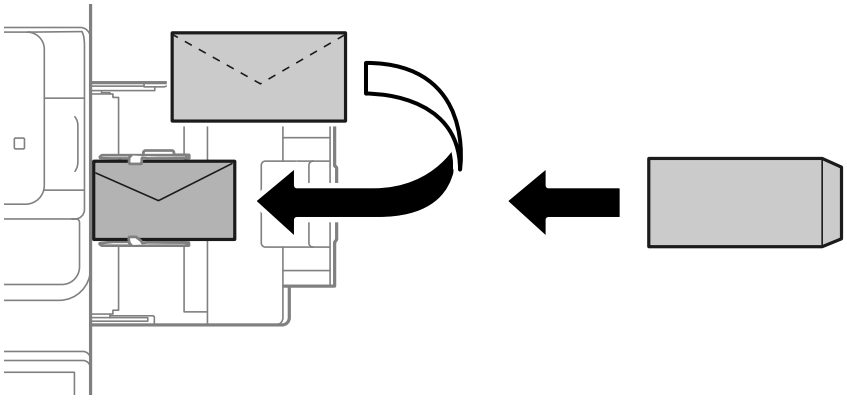
を選択して、［操作方法が知りたい］-［印刷用紙のセット］を選択します。使用したい給紙装置を選択して、動画を表示します。画面を閉じるときは、［閉じる］を選択します。

!重要 用紙カセットはゆっくり抜き挿ししてください。

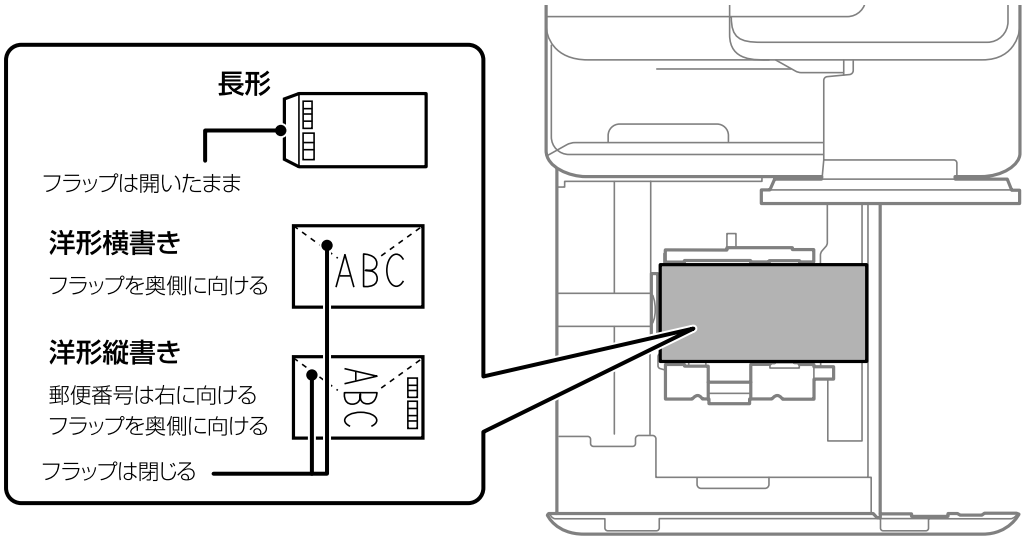
いろいろな用紙のセット方法

封筒のセット方法

- 手差しトレイ
  印刷する面を下にして手差しトレイの中央にセットし、用紙ガイドを封筒に合わせてください。



- 用紙カセット
  印刷する面を上にしてセットし、用紙ガイドを封筒に合わせてください。

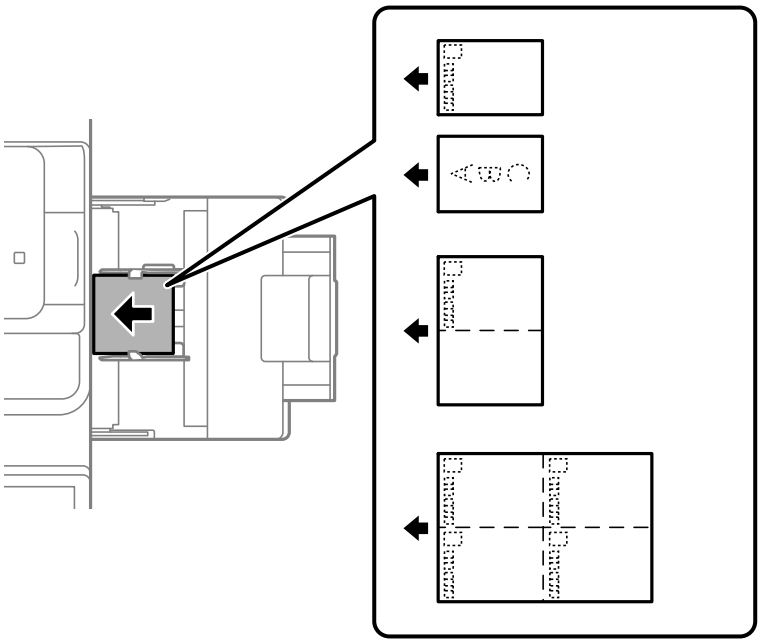


関連情報

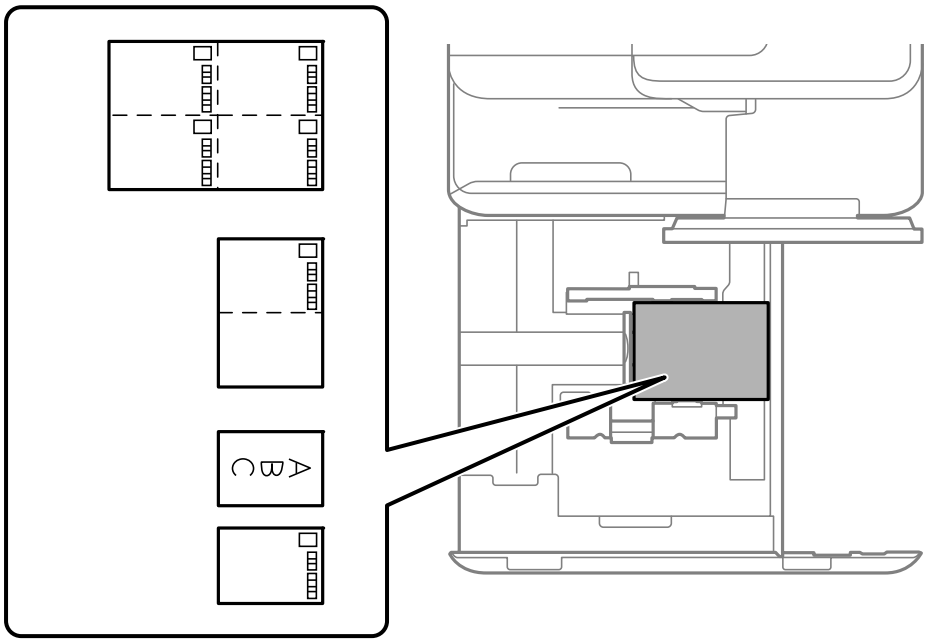
➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
➡ 「使用できない用紙」516ページ
➡ 「給紙や排紙が正しくできない」465ページ

ハガキのセット方法

- 手差しトレイ
  印刷する面を下にして手差しトレイの中央にセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。



- 用紙カセット
  印刷する面を上にしてセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。



関連情報

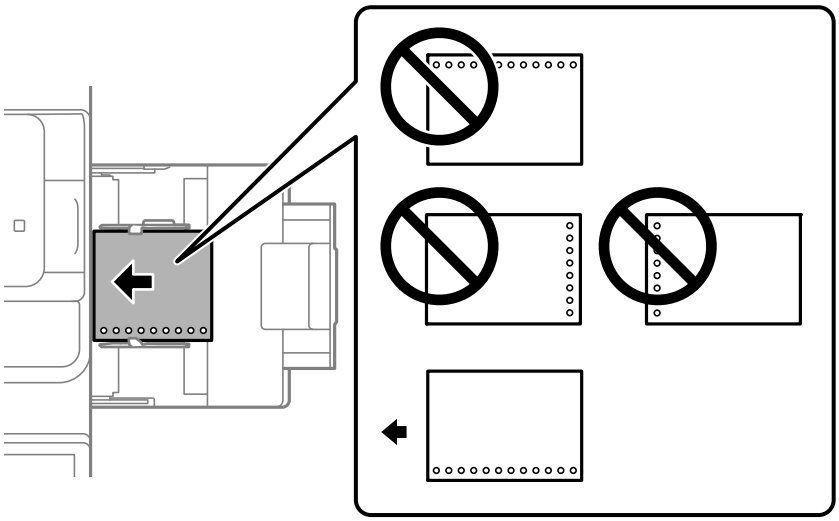
- 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
- 「使用できない用紙」516ページ
- 「給紙や排紙が正しくできない」465ページ

穴あき用紙のセット方法

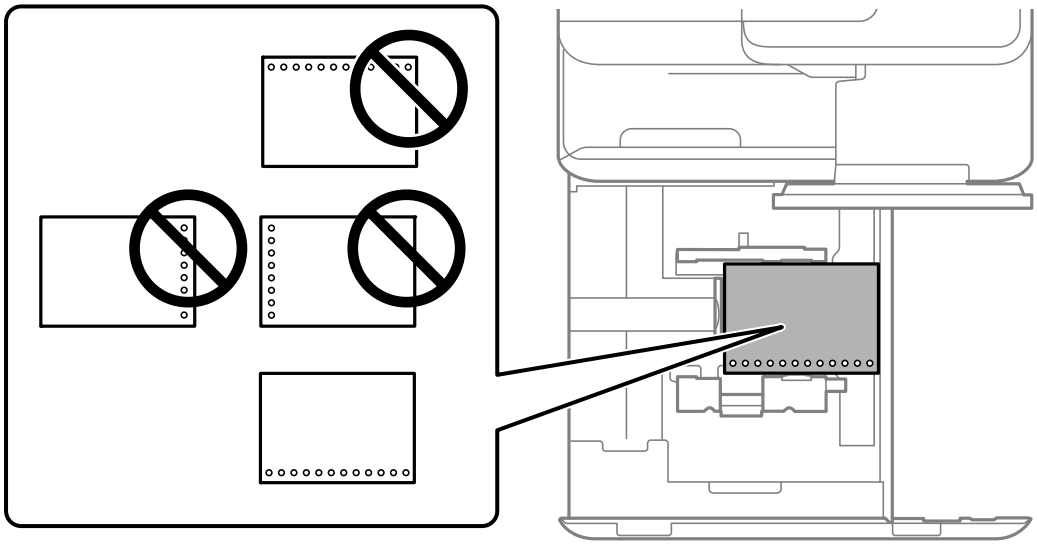
印刷データは穴の位置にかからないように余白設定して作成してください。
用紙の端（穴の開いている側）から、17mmの範囲は印刷されません。

重要 穴の位置が手前になるようにセットしてください。間違ったセット方法で印刷すると、内部のインク汚れや紙詰まりのおそれがあります。

- 手差しトレイ
  印刷する面を下にし、穴位置を手前にしてセットします。



- 用紙カセット
  印刷する面を上にし、穴位置を手前にしてセットします。



操作パネルに表示された用紙設定画面の［穴あき用紙］で［オン］を選択してください。

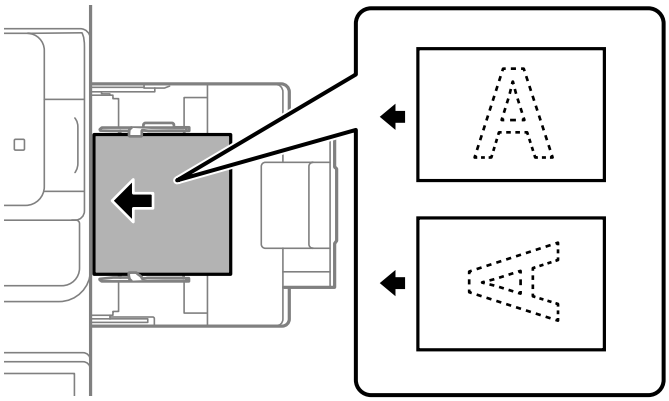
参考　用紙設定画面は、操作パネルで を選択しても表示できます。

関連情報

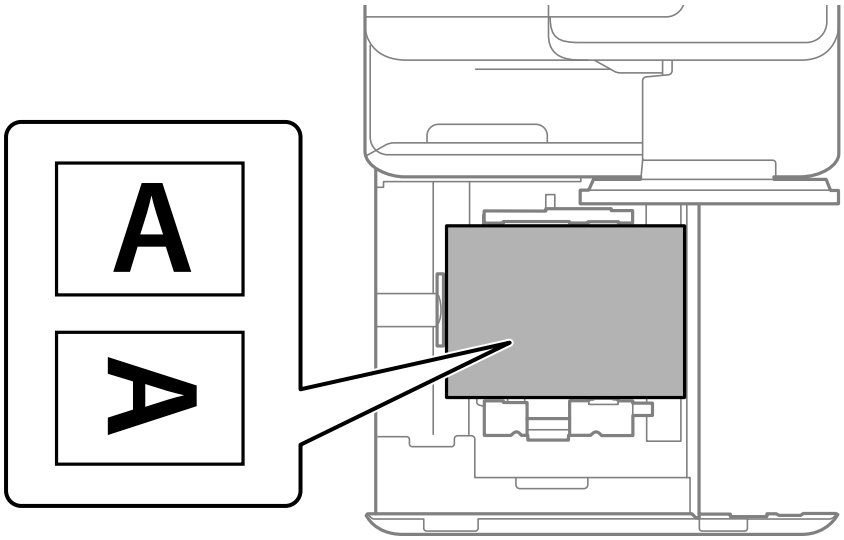
➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
➡ 「使用できない用紙」516ページ

プレプリントのセット方法（片面に印刷する）

- 手差しトレイ
  プレプリントに片面印刷するときは、印刷する面を下にしてセットします。



- 用紙カセット
  プレプリントに片面印刷するときは、印刷する面を上にしてセットします。



操作パネルに表示された用紙設定画面で［プレプリント］を選択してください。

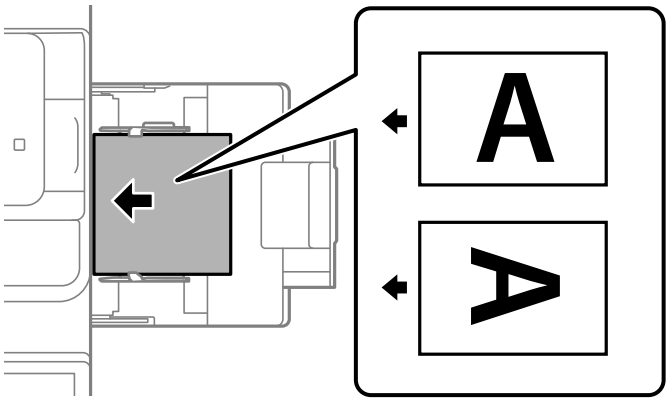
参考　用紙設定画面は、操作パネルで を選択しても表示できます。

関連情報

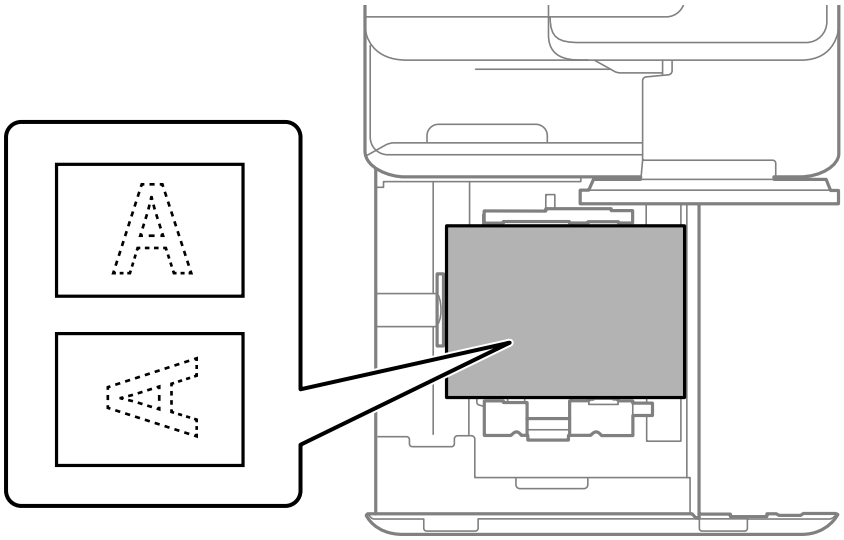
- 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
- 「使用できない用紙」516ページ
- 「プレプリントのセット方法（両面に印刷する）」212ページ

プレプリントのセット方法（両面に印刷する）

- 手差しトレイ
  プレプリントに両面印刷するときは、先に印刷する面を上にしてセットします。



- 用紙カセット
  プレプリントに両面印刷するときは、先に印刷する面を下にしてセットします。



操作パネルに表示された用紙設定画面で［プレプリント］を選択してください。

参考

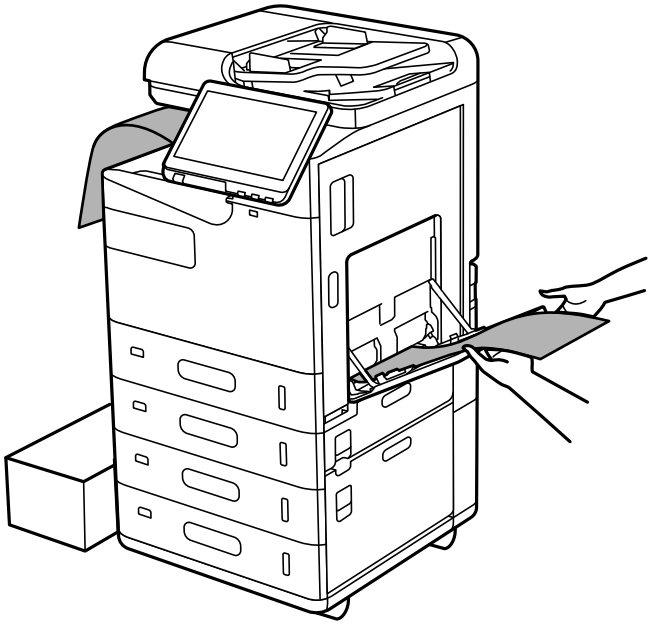
- 用紙設定画面は、操作パネルで を選択しても表示できます。
- プリンタードライバーの設定を確認してください。

関連情報

- 「コンピューターからプレプリント紙に印刷する（Windows）」279ページ
- 「コンピューターからプレプリント紙に印刷する（Mac OS）」280ページ
- 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
- 「使用できない用紙」516ページ
- 「プレプリントのセット方法（片面に印刷する）」211ページ

長い用紙のセット方法

印刷する面を下にして、手差しトレイに長尺紙を1枚セットします。［用紙サイズの自動検知］を［オフ］にして、用紙サイズの設定で［ユーザー定義サイズ］を選択してください。



- 用紙がフェイスダウン排紙トレイから落ちる場合は、箱などを準備して用紙が床面に付かないようにしてください。
- 排紙中の用紙に触らないでください。手を傷付けたり、印刷品質が悪くなったりすることがあります。
- 長い用紙を手で支えるときは、用紙の端で手を切らないよう注意してください。

関連情報

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
➡ 「使用できない用紙」516ページ

原稿のセット

原稿のセット 215

自動検知できる原稿サイズ 216

ADFにセットできない原稿 217

原稿のセット

原稿は原稿台またはADFにセットします。
複数の原稿はADFにセットできます。自動両面読取対応の場合、両面の原稿を一度の操作でスキャンできます。
自動両面読取が対応かどうかは、以下のADFの仕様を参照してください。
「ADFの仕様」574ページ
セット方法は、以下の手順で動画をご覧ください。

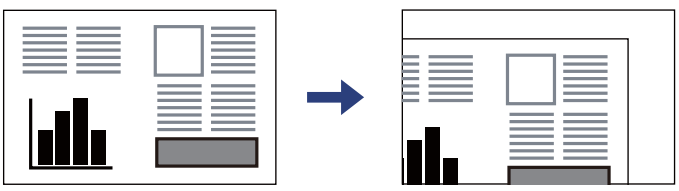
?を選択して、［操作方法が知りたい］ - ［原稿のセット］を選択します。知りたい原稿セット方法を選択します。動画を閉じるときは、［閉じる］を選択します。

原稿台を使用するとき

⚠注意　原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

!重要

- 厚みのある原稿（本など）を読み取るときは、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。
  原稿サイズが自動で検出できないことや、光が強いとコピーやスキャンした結果が白くなることがあります。
- 原稿台に強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、読み取った画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。
- 折り跡やしわがある原稿は、折り跡やしわを伸ばし、原稿台に密着するようにセットしてください。原稿台に原稿が密着していない部分の画質がぼやける場合があります。
- 原稿台にゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。読み取り前に、ゴミや汚れを取り除いてください。

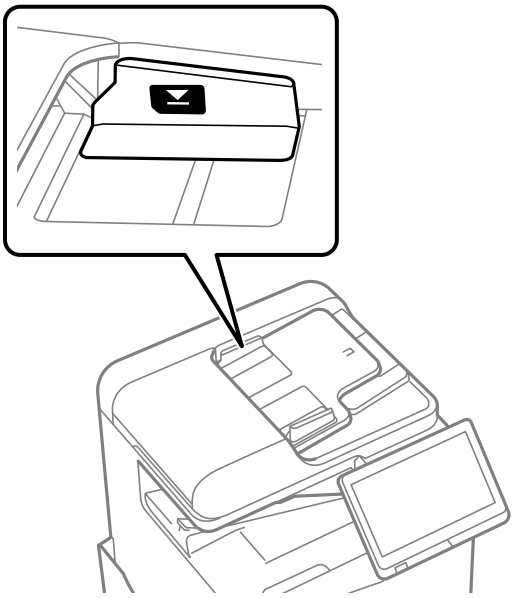


- スキャンが終了したら、原稿を取り除いてください。長時間セットしたままにすると、原稿台に貼り付くことがあります。

参考
- 原稿台の隅から約1.5mmの範囲はスキャンできません。
- ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。
- 自動検知されない原稿サイズがあります。その場合は手動で原稿サイズを選択してください。

ADFを使用するとき

重要
- ADF原稿ガイドの三角マーク下の線を越えてセットしないでください。



- スキャン中に原稿を追加しないでください。

参考
- 自動検知されない原稿サイズがあります。その場合は手動で原稿サイズを選択してください。

関連情報

- 「ADFにセットできない原稿」217ページ
- 「自動検知できる原稿サイズ」216ページ
- 「スキャナー部の仕様」573ページ

自動検知できる原稿サイズ

原稿サイズの設定を［自動検知］にすると、以下のサイズが自動で検知されます。

参考 以下の原稿サイズは正しく検知されないことがあります。原稿サイズが自動検知されないときは、操作パネルで原稿サイズを設定してください。
- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙

ADFに原稿をセットする場合

原稿の短辺を、原稿台の左側に合わせてセットします。

優先する設定*	原稿サイズ
A/Bサイズ優先	A5、B5、A4
インチサイズ優先	A5、Executive、Letter、Legal

*： 初期充填後の設定画面で選択した項目です。

原稿台に原稿をセットする場合

原稿の短辺を、原稿台の原点マークに合わせてセットします。

優先する設定*	原稿サイズ
A/Bサイズ優先	A5、B5、A4
インチサイズ優先	Half letter、Executive、Letter、Legal

*： 初期充填後の設定画面で選択した項目です。

ADFにセットできない原稿

!重要 写真や、貴重な原稿はADFにセットしないでください。給紙エラーによって、原稿にしわが入ったり損傷したりすることがあります。原稿台を使ってスキャンしてください。

以下のような原稿は原稿台にセットしてください。ADFにセットすると紙詰まりの原因になります。

- 折り跡やしわがある、破れている、劣化している、反っている原稿
- ルーズリーフや穴の開いた原稿
- のりやホチキスの針、クリップなどが付いている原稿
- シールやラベルなどが貼られている原稿
- 形が不規則、裁断角度が直角でない原稿
- とじられて（製本されて）いる原稿
- 透明や半透明な原稿（OHPシートなど）、感熱紙や裏カーボンのある原稿
- 印刷直後の原稿（乾燥していない、熱を持っている、など）

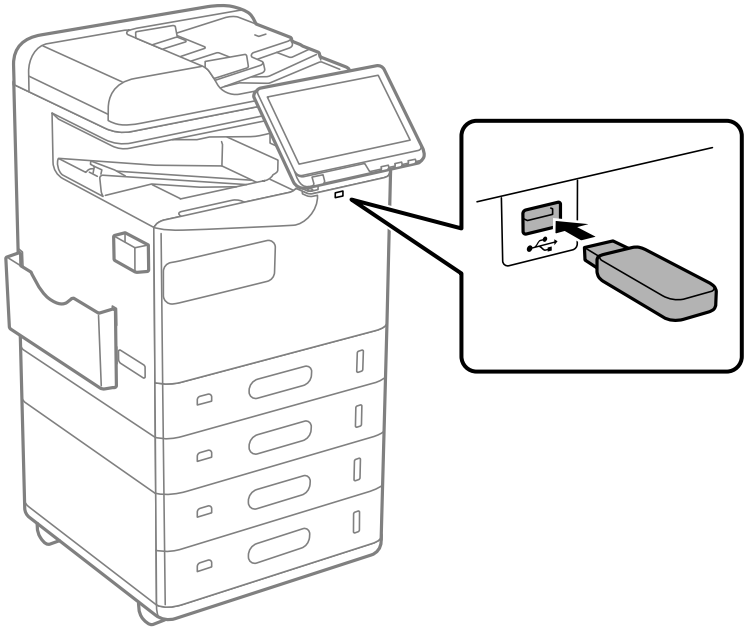
外部メモリーのセットと取り外し

USB接続機器をセットする 219

USB接続機器を取り外す 219

USB接続機器をセットする

外部機器接続用USBポートにUSB接続機器をセットします。

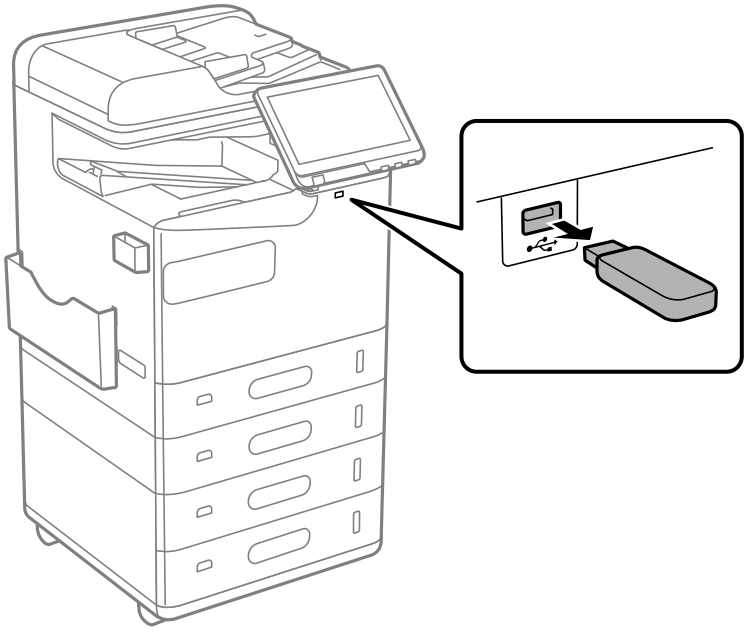


関連情報

➡ 「対応外部メモリーの仕様」580ページ

USB接続機器を取り外す

USB接続機器を取り外します。



!重要 動作中にUSB接続機器を取り外すと、保存されているデータが壊れることがあります。

印刷

文書を印刷する 222

ハガキ、年賀状、封筒に印刷する 277

プレプリント紙に印刷する 279

写真を印刷する 281

ウェブページを印刷する 285

クラウドサービスで印刷する 285

割り込み印刷をする 286

印刷して製本、仕分けする 287

文書を印刷する

コンピューターから文書を印刷する（Windows）

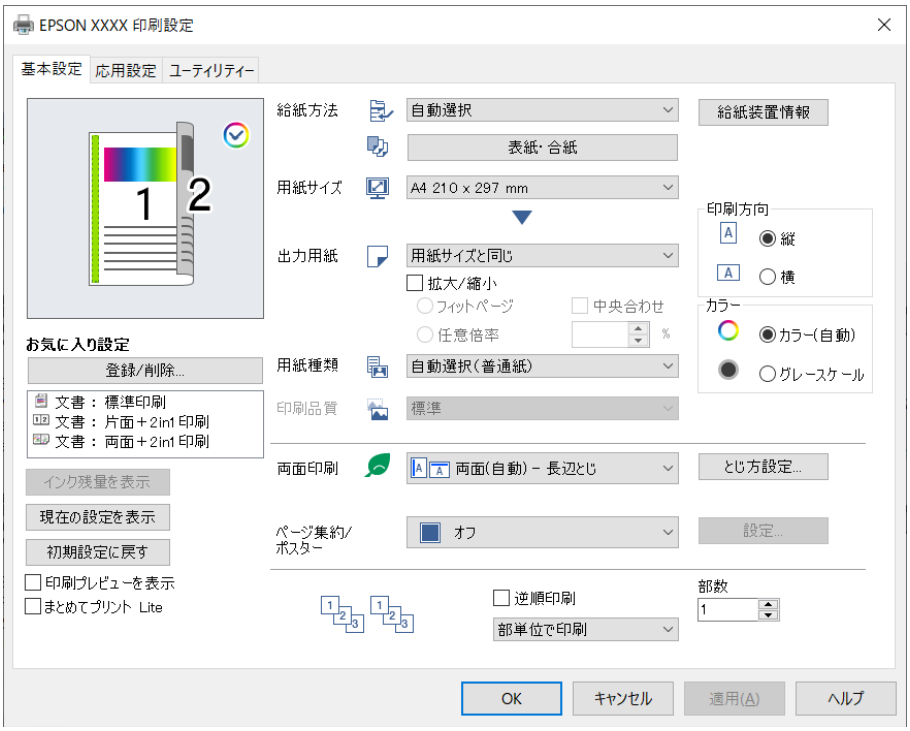
プリンタードライバーの設定が変更できないときは、管理者によって使用できる機能が制限されている可能性があります。管理者に問い合わせてください。

簡単な設定で印刷する

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. プリンターに用紙をセットします。
   「用紙をセットする」207ページ
2. 印刷するファイルを開きます。
3. ［ファイル］メニューの［印刷］（または［プリント］など）を選択します。
4. プリンターを選択します。

5. ［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックして、プリンタードライバー（詳細な印刷設定）の画面を表示させます。



6. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

参考
- 各項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプでも確認できます。項目上で右クリックすると［ヘルプ］が表示されます。
- ［印刷プレビューを表示］にチェックすると、印刷を開始する前に印刷イメージを確認できます。
- 片面印刷する場合は［両面印刷］の項目を［オフ］にします。
- 印刷する文書をボックスに保存したい場合は、［応用設定］タブを選択し、［印刷方法］で［ボックス保存と印刷］を選択して保存先などを設定します。

7. ［OK］をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じます。

8. ［印刷］をクリックします。

参考
- ［印刷プレビューを表示］にチェックしていると、プレビュー画面が表示されます。設定を変更する場合は、［キャンセル］をクリックして手順3からやり直してください。
- コンピューターから印刷を中止したい場合は、［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとファクス］で、お使いのプリンターを右クリックします。［印刷ジョブの表示］をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、［キャンセル］を選択します。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

関連情報

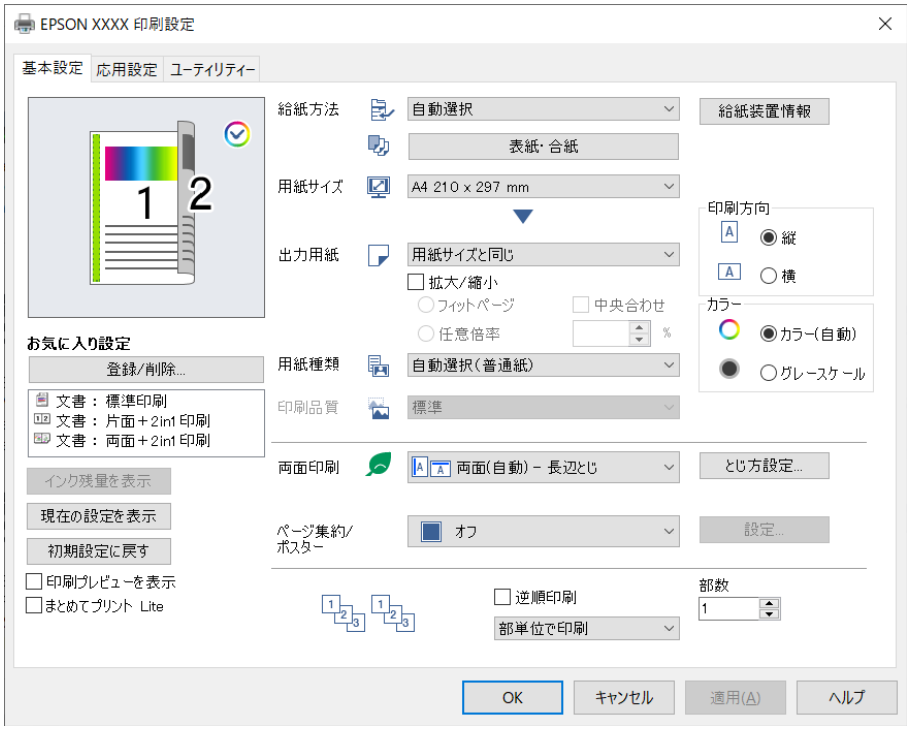
- 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
- 「用紙種類の設定値」205ページ
- 「プリンタードライバーのメニュー説明」224ページ

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考　項目は選択した内容によって異なります。

基本設定タブ



お気に入り設定：

登録/削除：
多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。

インク残量を表示：

プリンターのインク残量の目安を表示します。この機能を有効にするにはEPSON プリンターウィンドウ!3をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

現在の設定を表示/現在の設定を非表示：

［基本設定］タブや［応用設定］ タブで設定されている項目を一覧で表示します。現在の設定一覧画面を表示、または非表示にすることができます。

初期設定に戻す：

設定を初期状態に戻します。初期化は、 ［応用設定］タブにも適用されます。

印刷プレビューを表示：

印刷を開始する前に印刷イメージを表示します。

まとめてプリント Lite：

異なるアプリケーションソフトで作成した複数の文書を1つの印刷ジョブにまとめて印刷します。

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。［自動選択］にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。

表紙・合紙：

おもて表紙、うら表紙に印刷するかを選択できます。文書のページごとに給紙装置を選択することもできます。［ページ間合紙・章紙］にチェックを入れ、［詳細設定］をクリックすると詳細設定ができます。
部数間やジョブ間に合紙を入れる設定もできます。

用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。［ユーザー定義サイズ］は、用紙の幅と長さを入力し、任意のサイズを登録できます。

出力用紙：

出力する用紙サイズを選択します。［用紙サイズ］と［出力用紙］のサイズが異なるときは、［拡大/縮小］が自動で選択されます。拡大、縮小印刷をしないときは、選択する必要はありません。

拡大/縮小：

拡大、縮小印刷を有効にします。

フィットページ：

［出力用紙］のサイズに合わせて自動で拡大、縮小印刷します。

任意倍率：

任意の倍率で拡大、縮小印刷します。

中央合わせ：

用紙の中央にデータを印刷します。

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。［自動選択（普通紙）］を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。
普通紙、再生紙、ビジネス普通紙、封筒*

*用紙サイズを封筒サイズに設定した場合のみ

ただし、プリンターの［給紙口自動選択］で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。表紙を印刷するときは、用紙種類を上記以外に設定した給紙装置からも印刷されます。

印刷品質：

印刷品質は標準に固定されています。［印刷方法］でボックスに保存する項目を選択すると印刷品質を設定できます。

給紙装置情報：

プリンターの各給紙装置に設定された用紙情報を表示します。

印刷方向：

印刷の向きを選択します。

カラー：

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

両面印刷：

両面印刷を有効にします。

とじ方設定：

出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を裏面（片面）から印刷するかを選択できます。とじしろの画像処理でとじしろ幅の作り方を選択することもできます。

ページ集約/ポスター：

割り付け印刷やポスター印刷を有効にします。［設定］では、ページの配置順などが設定できます。

逆順印刷：

複数ページのデータを最後のページから印刷して、ページ順に仕上げます。

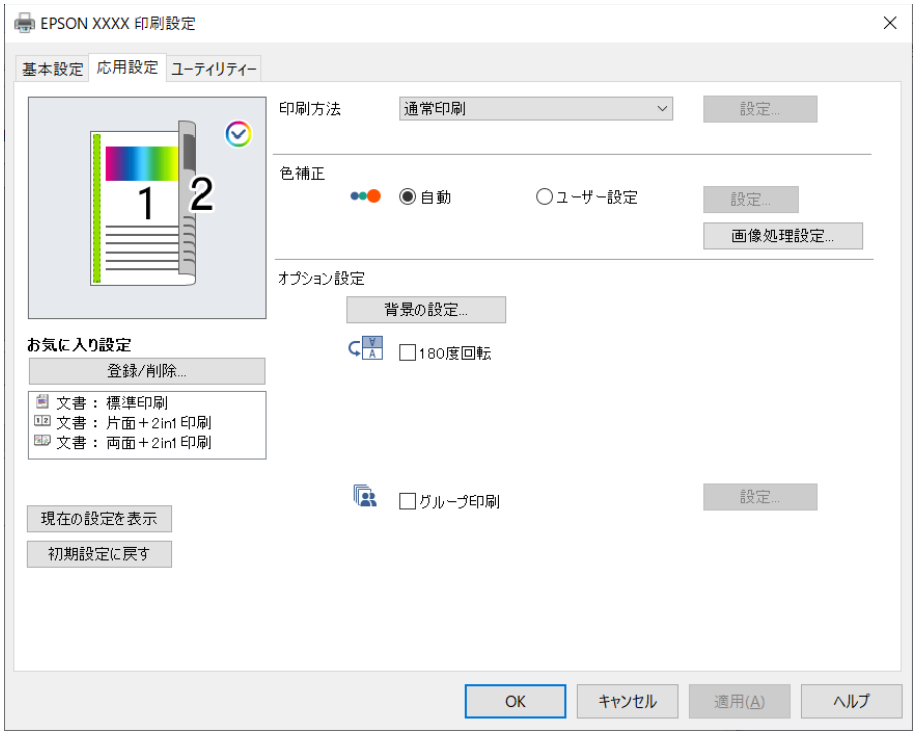
部単位で印刷/ページ単位で印刷：

複数ページの文書を部単位で印刷するには［部単位で印刷］を選択します。

部数：

印刷する部数を設定します。

応用設定タブ



お気に入り設定：

登録/削除：
多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。

現在の設定を表示/現在の設定を非表示：

［基本設定］タブや［応用設定］ タブで設定されている項目を一覧で表示します。現在の設定一覧画面を表示、または非表示にすることができます。

初期設定に戻す：

設定を初期状態に戻します。初期化は、［基本設定］タブにも適用されます。

印刷方法：

印刷データをプリンターのメモリーに保存して印刷するかどうかを選択します。

通常印刷：

印刷データは保存されません。

パスワード印刷：

印刷ジョブにパスワードを設定します。パスワードを設定すると、プリンターでパスワードを入力するまで印刷されません。［設定］で、入力した内容の変更ができます。

試し印刷：

複数部印刷するときに、最初の1部だけを印刷して内容を確認することができます。プリンターの操作パネルを操作することで、2部目以降を印刷します。
［設定］をクリックして、［ユーザー名］と［ジョブ名］を設定します。

プリンターに保存して印刷：

印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネルを操作して再印刷します。
［設定］をクリックして、［ユーザー名］と［ジョブ名］を設定します。

ボックス保存：

印刷するデータをボックスに保存して、後から印刷できます。

ボックス保存と印刷：

印刷するときにボックスに印刷データを保存できます。

色補正：

自動：

画像などの色を自動で補正して印刷します。

ユーザー設定：

画像などの色を手動で補正して印刷します。［設定］をクリックするとユーザー色補正画面が開き、色補正の詳細な方法が選択できます。［画像処理設定］をクリックするとカラーユニバーサルプリントの設定、文字や細線を鮮明にしたり、Webスムージングや赤目補正を有効にしたりできます。

オプション設定：

背景の設定：

透かし印刷やスタンプマーク、ヘッダー/フッターの設定をします。

追加/削除：

任意の透かし印刷やスタンプマークを追加または削除できます。

設定：

透かしやスタンプマークのサイズ、濃度、位置などを設定します。

ヘッダー/フッター：

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。

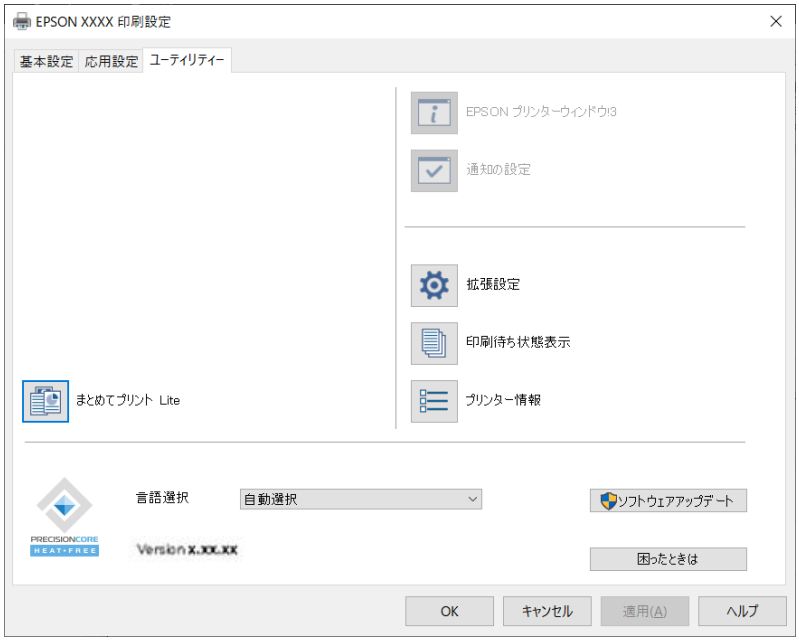
180度回転：

データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに有効です。

グループ印刷：

グループごとに印刷を仕分けする設定を有効にします。［設定］をクリックして部数と組数、仕分け方法を設定します。

ユーティリティータブ



まとめてプリント Lite：

まとめてプリント Liteの画面を表示します。作業中のデータの保存や編集ができます。

EPSON プリンターウィンドウ!3：

EPSON プリンターウィンドウ!3の画面を表示します。プリンターや消耗品の状態が確認できます。この機能を有効にするにはEPSON プリンターウィンドウ!3をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

通知の設定：

EPSON プリンターウィンドウ!3の画面に表示する項目などを設定します。この機能を有効にするにはEPSON プリンターウィンドウ!3をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

拡張設定：

より詳細な印刷設定ができます。設定項目の詳細は、項目上で右クリックしてヘルプをご覧ください。

印刷待ち状態表示：

印刷を待っているジョブを表示します。ジョブの状況の確認や一時停止、再開などが操作できます。

プリンター情報：

総通紙枚数の確認や、利用者情報の登録ができます。利用者制限が有効になっているプリンターは、利用者を登録すると印刷できます。

言語選択：

プリンタードライバーの言語を変更します。画面を開き直すと言語が変更されます。

ソフトウェアアップデート：

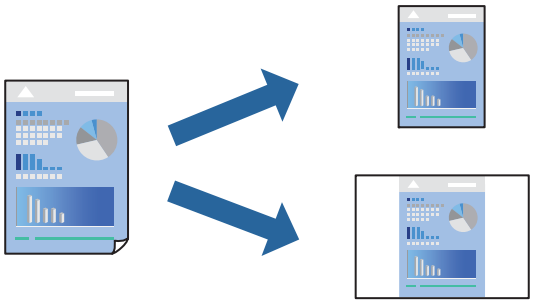
EPSON Software Updaterを起動して、インターネット上に更新できるソフトウェアがあるかを自動で確認します。

困ったときは：

お使いのコンピューターにマニュアルがインストールされている場合は、マニュアルを表示します。インストールされていない場合は、エプソンのウェブサイトに接続してマニュアルやサポート内容が確認できます。

よく使う設定を登録して簡単に印刷する

よく使う印刷設定をプリンタードライバーに登録しておくと、リストから選択するだけで印刷できます。



1. プリンタードライバーの［基本設定］または［応用設定］タブの各項目（［用紙サイズ］や［用紙種類］など）を設定します。
2. ［お気に入り設定］の［登録/削除］をクリックします。
3. ［設定名］を入力し、必要に応じてコメントを入力します。
4. ［登録］をクリックします。

参考 登録した印刷設定を削除するには、［登録/削除］をクリックし、リストから削除する設定名を選択して削除します。

「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

5. ［印刷］をクリックします。

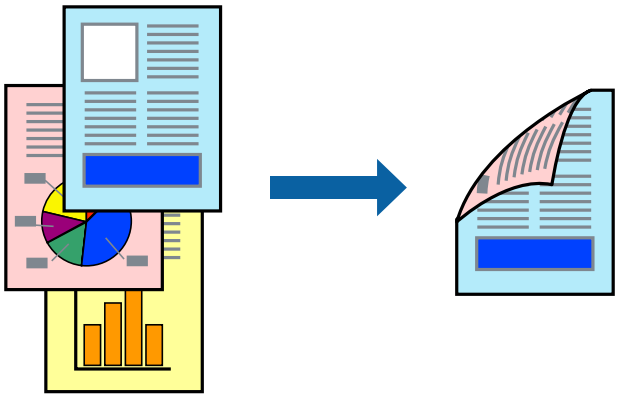
次回同じ設定で印刷するときは、［お気に入り設定］から登録した設定名を選択して、［OK］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。



参考
- 両面印刷に対応していない用紙を使用すると、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
「両面印刷できる用紙」516ページ
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

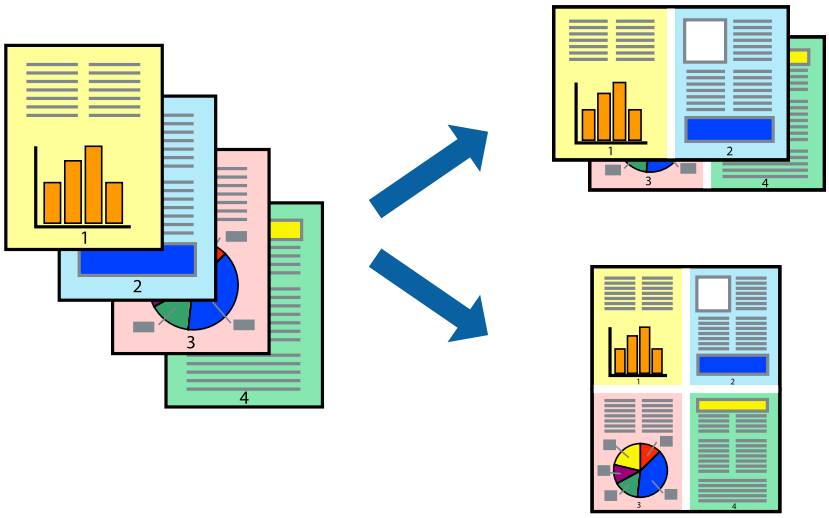
1. プリンタードライバーの［基本設定］タブの［両面印刷］でとじ方を選択します。
2. ［とじ方設定］をクリックし、各項目を設定して［OK］をクリックします。
3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



1. プリンタードライバーの［基本設定］タブの［ページ集約/ポスター］で［2in1］、［4in1］、［6in1］、［8in1］、［9in1］、［16in1］から割り付け方法を選択します。

2. ［設定］をクリックし、各項目を設定して［OK］をクリックします。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

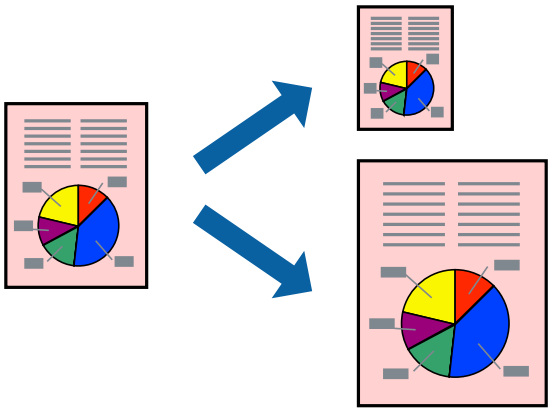
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

用紙サイズに合わせて印刷する

プリンターにセットした用紙のサイズに合わせて印刷できます。



1. プリンタードライバーの［基本設定］タブで以下の設定をします。
   - 用紙サイズ：アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択
   - 出力用紙：プリンターにセットした印刷用紙のサイズを選択
     ［フィットページ］が自動的に選択されます。

   参考 縮小した画像を用紙の真ん中に印刷するときは、［中央合わせ］をチェックします。

2. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」224ページ
   「応用設定タブ」227ページ

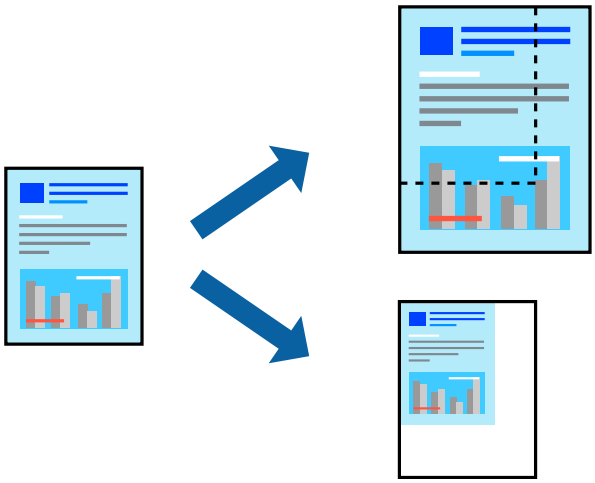
3. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

任意の倍率で拡大または縮小して印刷する

任意の倍率で、拡大または縮小して印刷できます。



1. ［基本設定］タブの［用紙サイズ］から、印刷データのサイズを選択します。
2. ［出力用紙］で印刷したい用紙サイズを選択します。
3. ［任意倍率］を選択して、倍率を入力します。［出力用紙］が［用紙サイズと同じ］の場合は、先に［拡大/縮小］をチェックします。
4. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

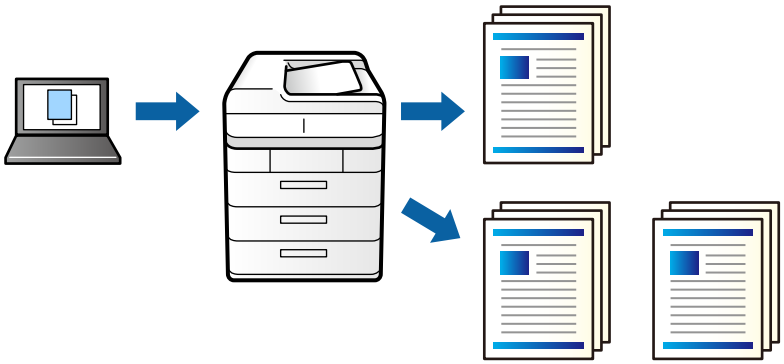
   「基本設定タブ」224ページ
   「応用設定タブ」227ページ
5. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

1部だけ印刷してから2部目以降を印刷する

大量の文書を印刷する前に、1部だけ印刷して内容を確認することができます。2部目以降はプリンターの操作パネルを操作して印刷します。



1. プリンタードライバーの［応用設定］タブの［印刷方法］設定で［試し印刷］を選択します。
2. ［設定］をクリックし、［ユーザー名］と［ジョブ名］を入力して、［OK］をクリックします。
   ジョブ名を設定することで、プリンターの操作パネル上でジョブが識別できます。
3. 必要に応じてその他の項目を設定して［OK］をクリックします。
4. ［印刷］をクリックします。
   1部だけ印刷され、2部目以降はプリンターのメモリーに保存されます。
   保存されたデータは、プリンターの電源を切ると削除されます。
5. 印刷するには、プリンターのホーム画面で［本体メモリーからの印刷］を選択します。
6. 印刷するジョブを選択します。
   一覧からユーザー名を選択して、印刷したいジョブを選びます。パスワードの入力を要求されたら、プリンタードライバーで設定したパスワードを入力します。
7. もしジョブ詳細情報が表示されたら、その画面を閉じて［印刷］を選択します。

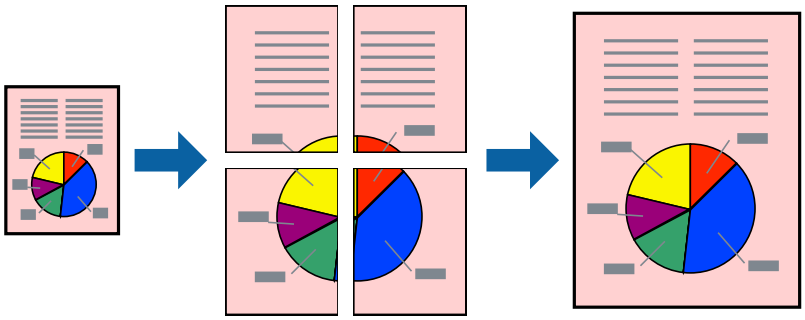
参考 メモリーから削除したい場合は、［削除］を選択します。

関連情報

- 「用紙をセットする」207ページ
- 「簡単な設定で印刷する」222ページ

1ページのデータを複数の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）

1ページのデータを複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせるとポスターのような大きな印刷物になります。



1. プリンタードライバーの［基本設定］タブの［両面印刷］から［オフ］を選択します。
2. ［ページ集約/ポスター］から［2×1 ポスター］、［2×2 ポスター］、［3×3 ポスター］、［4×4 ポスター］のいずれかを選択します。
3. ［設定］をクリックし、各項目を設定して［OK］をクリックします。

   参考　［ガイド印刷］をチェックすると、貼り合わせガイドが印刷できます。
4. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

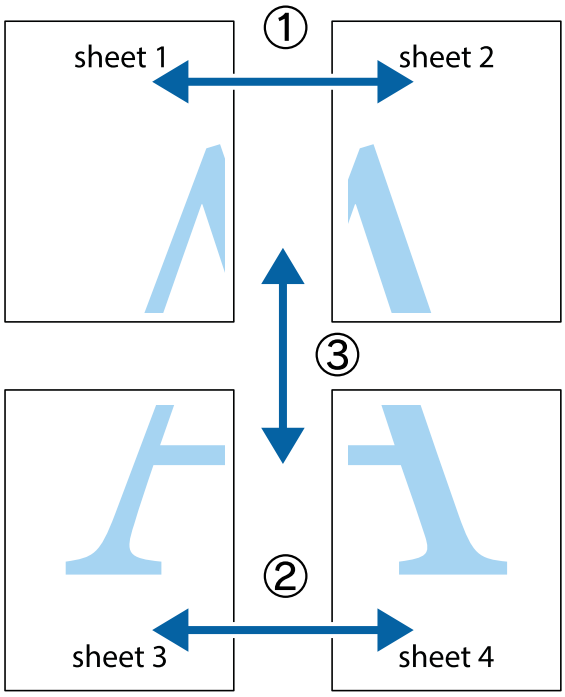
   「基本設定タブ」224ページ
   「応用設定タブ」227ページ
5. ［印刷］をクリックします。

関連情報

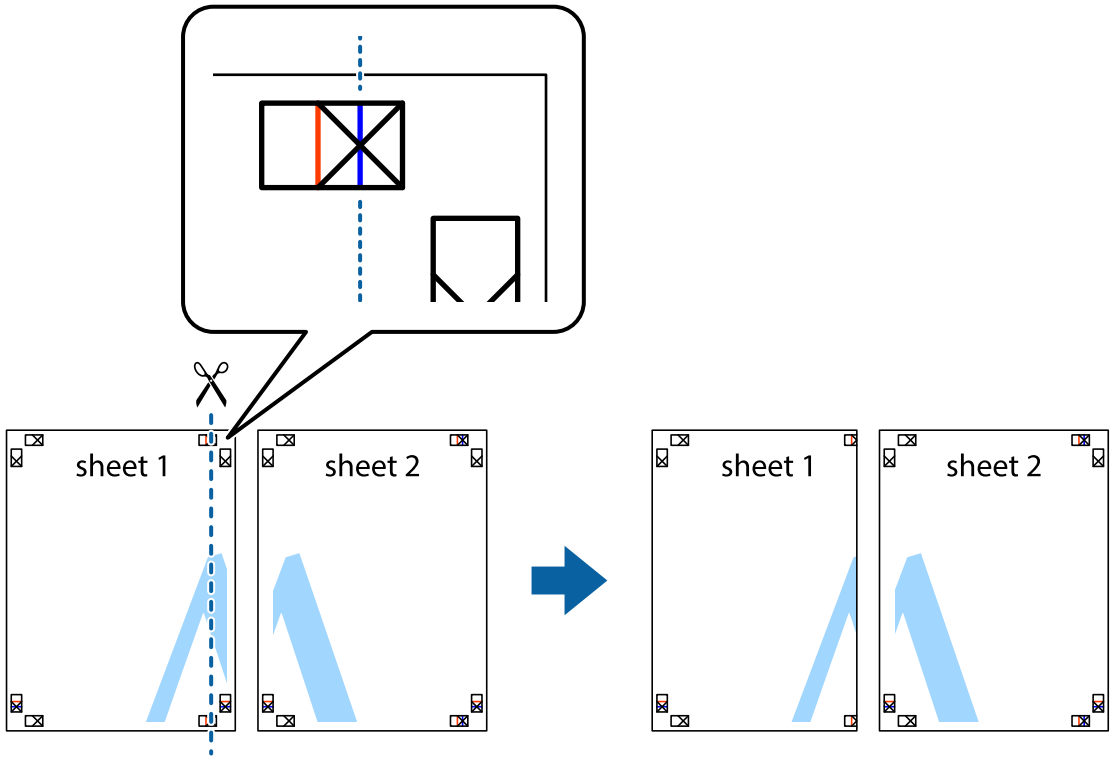
➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

用紙を貼り合わせてポスターを作る

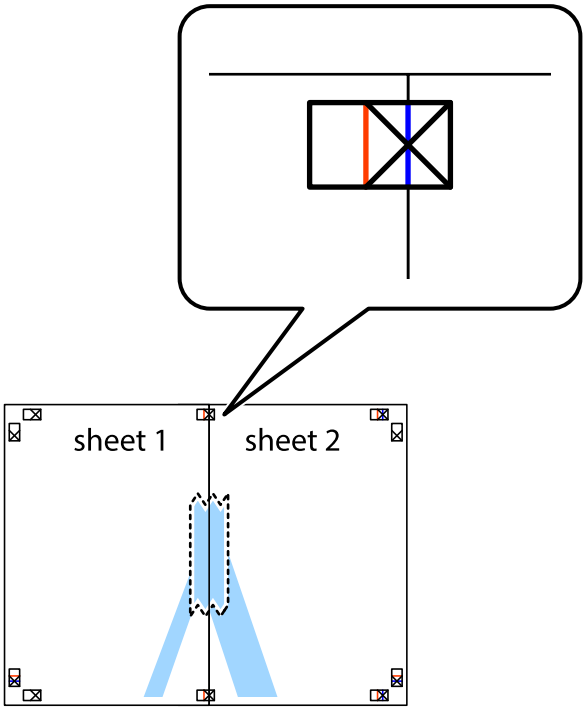
ここでは［2×2 ポスター］を選択して、［ガイド印刷］を［貼り合わせガイドを印刷］にしたときの用紙の貼り合わせ方を例に説明します。



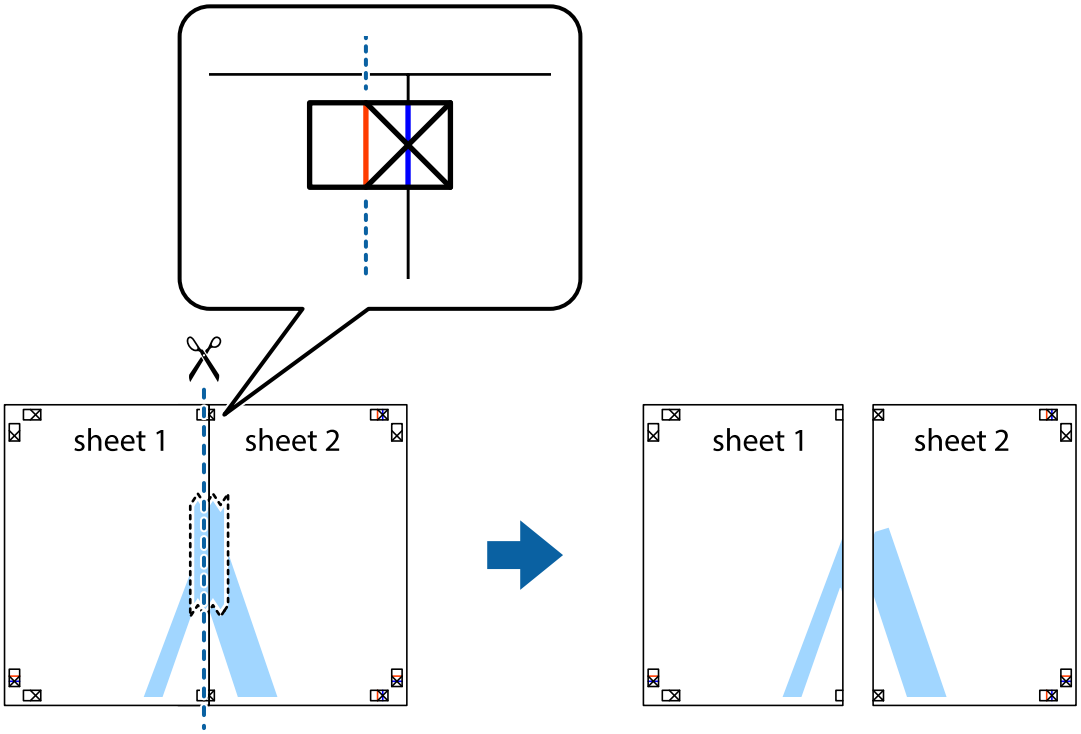
1. Sheet 1とSheet 2を用意します。Sheet 1を、×印と交わっている縦線（青色）を結ぶ線で切ります。



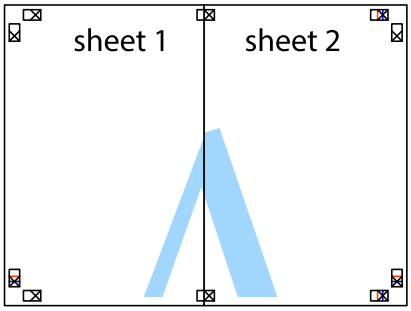
2. Sheet 1をSheet 2の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



3. ×印の左側の縦線（赤色）を結ぶ線で切ります。

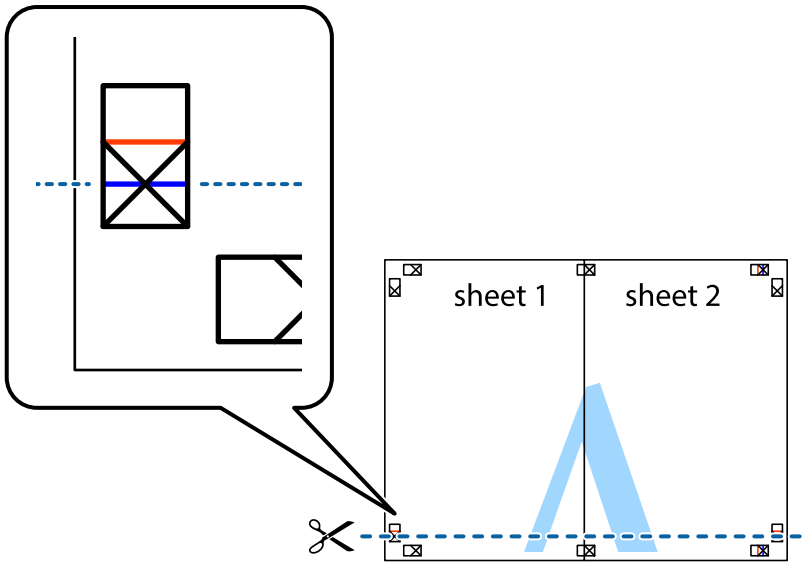


4. 裏面にテープを貼って合わせます。

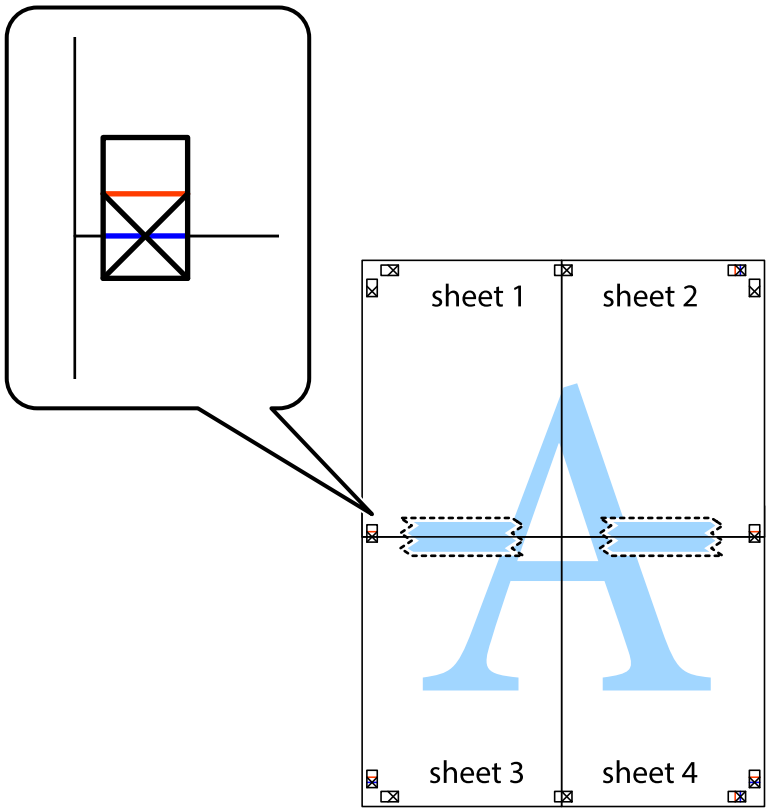


5. Sheet 3とSheet 4も手順1～4と同じように貼り合わせます。

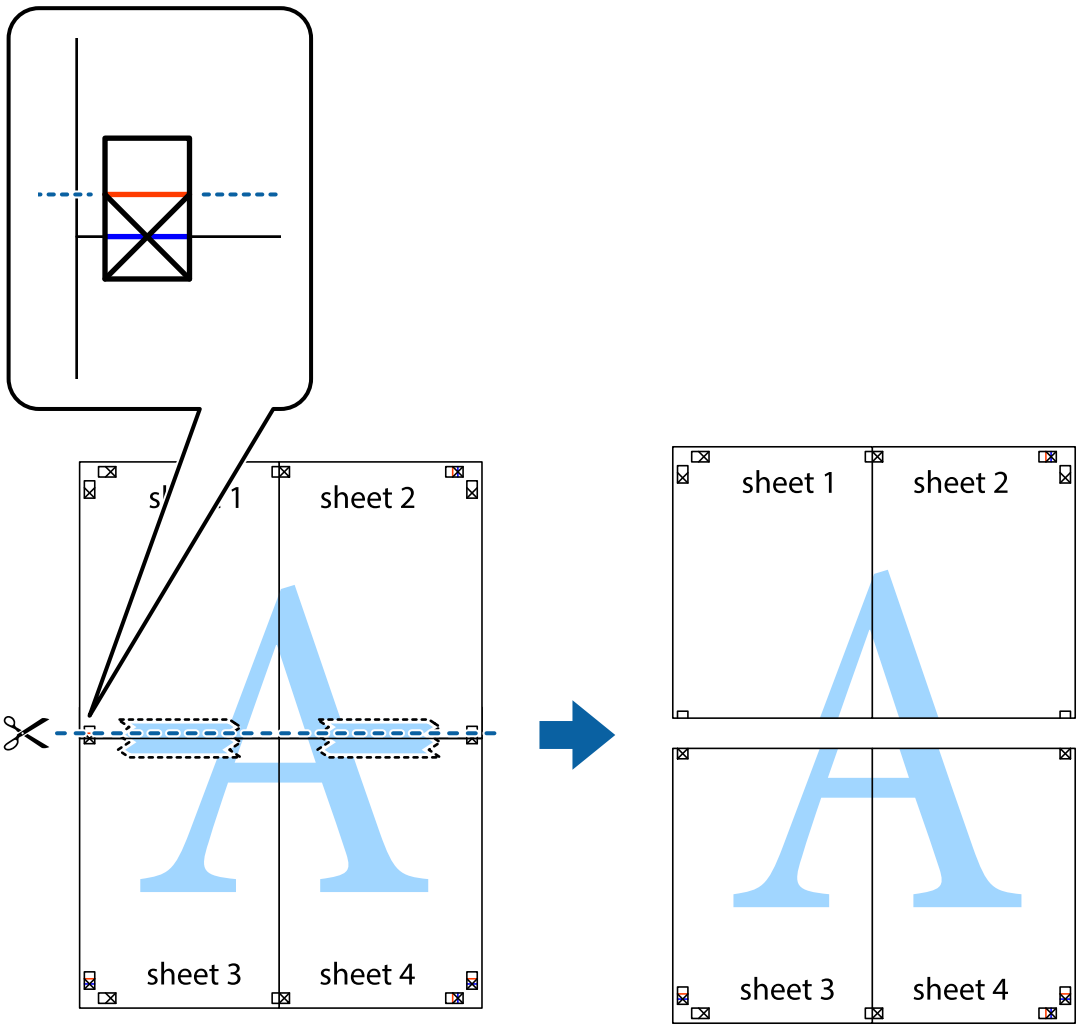
6. Sheet 1とSheet 2を、×印に交わった横線（青色）を結ぶ線で切ります。



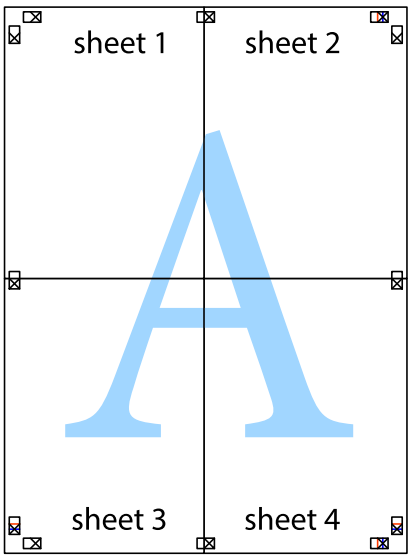
7. Sheet 1とSheet 2をSheet 3とSheet 4の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



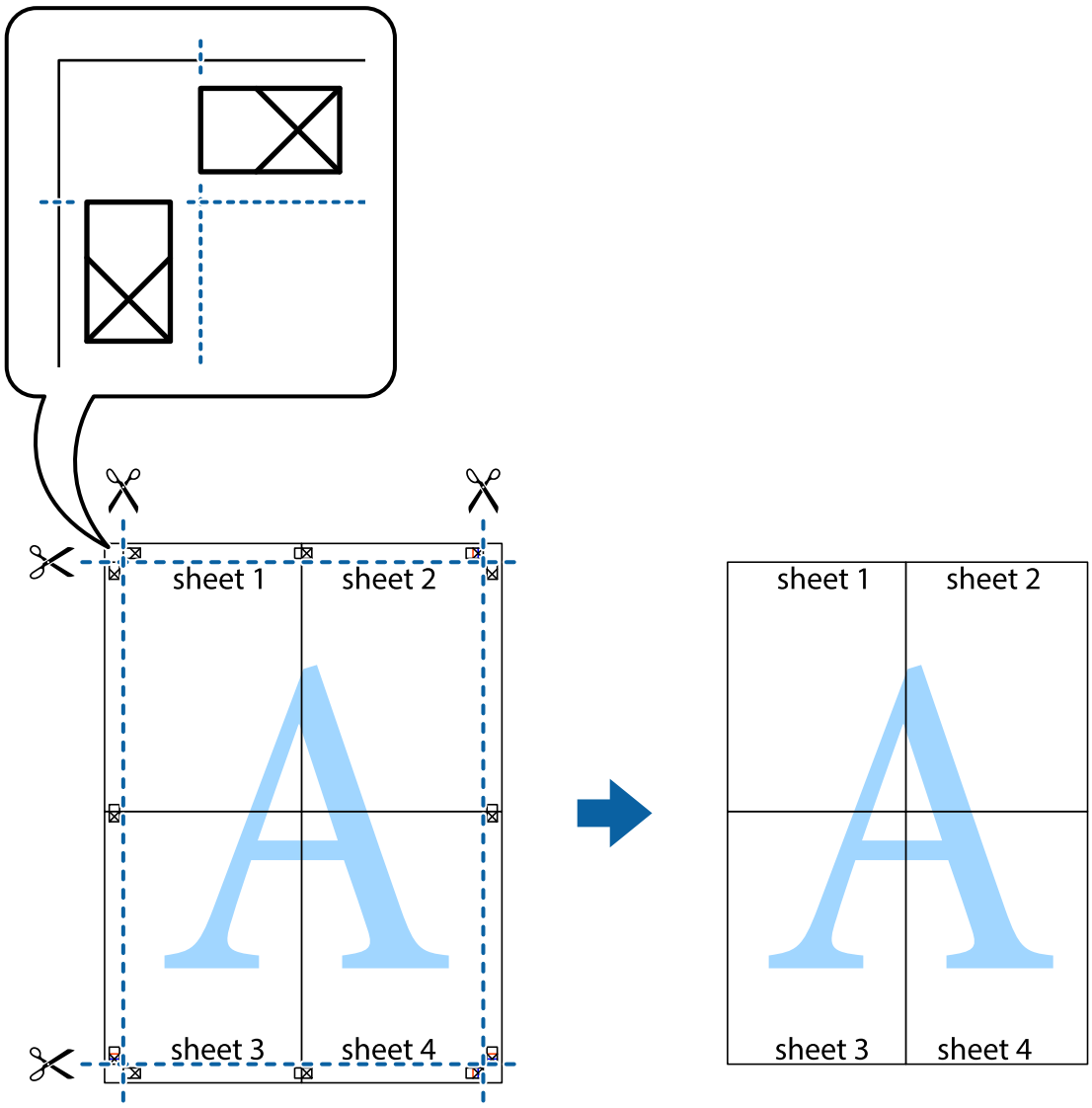
8. ×印上側の横線（赤色）を結ぶ線で切ります。



9. 裏面にテープを貼って合わせます。

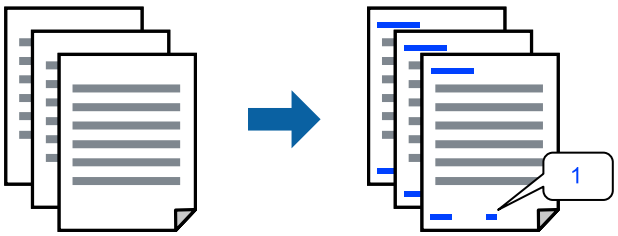


10. 外側のガイドに沿って余白を切り取ります。



ヘッダーやフッターを入れて印刷する

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



1. プリンタードライバーの［応用設定］タブで［背景の設定］をクリックして、［ヘッダー/フッター］にチェックします。

2. ［設定］をクリックして印刷したい項目を選択し、OKをクリックします。

参考
- ページ番号の最初の数字を指定する場合は、ヘッダーやフッターに印刷したい位置から［ページ番号］を選択し、その後［開始番号］で数字を選択します。
- ヘッダーまたはフッターに文字を印刷する場合は、印刷する位置を選択して［テキスト］を選択します。そしてテキスト欄に任意の文字を入力します。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

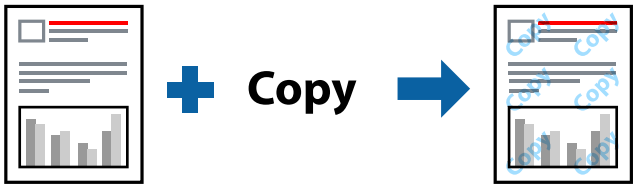
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

透かしを入れて印刷する（透かし印刷）

印刷データに「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。プリンターからの印刷時は、指定した文字は印刷されず全体に薄い網をかけた状態になります。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるように印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 両面印刷：オフ
- 用紙種類：普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、ビジネス普通紙、薄紙、厚紙1、厚紙2、厚紙3、厚紙4
- 印刷品質：標準
- 色補正：自動

参考 任意の透かし文字を登録することもできます。

1. プリンタードライバーの［応用設定］タブで［背景の設定］をクリックして、透かし印刷の種類を選択します。

2. ［設定］をクリックして、透かし文字のサイズや濃度などを設定します。

3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

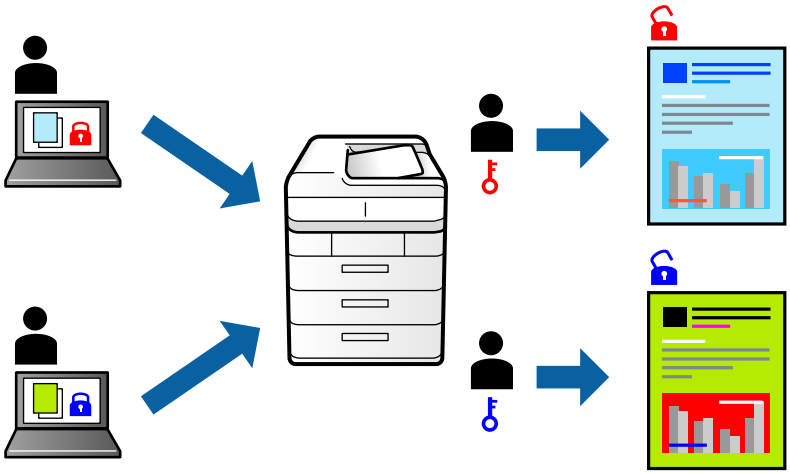
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

印刷ジョブにパスワードを設定して印刷する

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



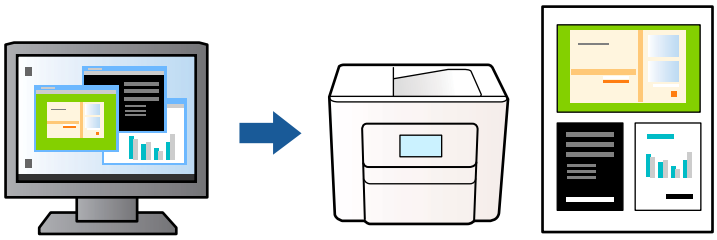
1. プリンタードライバーの［応用設定］タブの［印刷方法］から［パスワード印刷］を選択します。
2. パスワードを入力して［OK］をクリックします。
3. 必要に応じてその他の項目を設定して［OK］をクリックします。
4. ［印刷］をクリックします。
5. 印刷するには、プリンターのホーム画面で［本体メモリーからの印刷］を選択します。印刷するジョブを選択してパスワードを入力します。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

複数ファイルを1つにまとめて印刷する（まとめてプリント）

まとめてプリント Liteを使うと、異なるアプリケーションソフトで作成したファイルを1つにまとめて印刷できます。複数ページのレイアウトや両面印刷など、結合されたファイルの印刷設定を指定できます。



1. プリンタードライバーの［基本設定］タブをクリックし、［まとめてプリント Lite］を選択して、［OK］をクリックします。

2. ［印刷］をクリックします。

   印刷を開始するとまとめてプリント Lite画面が表示されます。

3. まとめてプリント Lite画面を表示したまま1つにまとめたい他のファイルを開き、作業を繰り返します。

4. まとめてプリント Lite画面の印刷プロジェクトに追加された印刷データを選択すると、割り付け順序などが編集できます。

   参考 製本する場合は［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックしてプリンタードライバーを開きます。［基本設定］タブの［初期設定に戻す］をクリックし、表示された画面で［OK］をクリックします。［両面印刷］を有効して、［とじ方設定］をクリックします。［製本］にチェックを入れ、［全ページ］または［分割する］を選択して［OK］をクリックします。もう一度［OK］をクリックしてプリンタードライバーを閉じます。

   - 全ページ：ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。
   - 分割する：1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめる方法です。

5. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックして印刷を開始します。

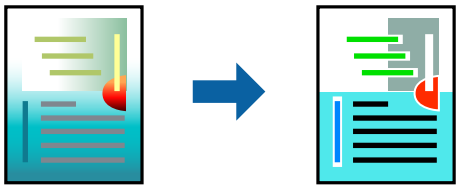
   参考 全ての印刷データを印刷プロジェクトに追加する前にまとめてプリント Lite画面を閉じると、それまでの作業が取り消されます。［ファイル］メニューの［保存］をクリックして現在の作業が保存できます。保存したファイルの拡張子は"ecl"です。
   保存したファイルを開くには、プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［まとめてプリント Lite］をクリックして、まとめてプリント Lite画面を開きます。その後［ファイル］メニューの［開く］から、対象のファイルを選択します。

関連情報

- 「用紙をセットする」207ページ
- 「簡単な設定で印刷する」222ページ

カラーユニバーサルプリントで印刷する

文字や画像の視認性を向上させて印刷できます。



カラーユニバーサルプリントは、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、ビジネス普通紙、厚紙1、厚紙2、厚紙3、厚紙4
- 印刷品質：［標準］以上の高品位
- 印刷の色：［カラー］
- アプリケーションソフト：Microsoft® Office 2007以降
- 文字サイズ：96ポイント以下

1. プリンタードライバーで［応用設定］タブの［色補正］から［画像処理設定］をクリックします。
2. ［カラーユニバーサルプリント］の種類を選択します。
3. ［装飾の設定］をクリックすると、詳細な装飾の方法を設定できます。
4. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

   「基本設定タブ」224ページ
   「応用設定タブ」227ページ
5. ［印刷］をクリックします。

参考

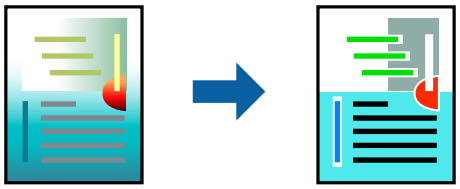
- 装飾すると文字の意味が変わってしまうことがあります（「+」が「±」に見えるなど）。
- アプリケーションソフトの機能で装飾した文字やグラフなどは、正常に印刷されないことがあります。
- 写真などの画像はカラーユニバーサルプリントで印刷すると、画質が低下することがあります。
- カラーユニバーサルプリントを有効にすると、印刷速度が遅くなります。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。元データは補正しません。



［オートフォトファイン!EX］はエプソン独自の画像解析、処理技術を用いて自動的に画像を高画質にして印刷します。

参考 ［オートフォトファイン!EX］は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、［オートフォトファイン!EX］以外のモードで印刷してください。

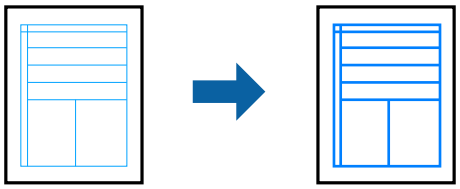
1. プリンタードライバーで、［応用設定］タブの［色補正］から、色補正の方法を選択します。
   - 自動：用紙種類と印刷品質の設定に合わせて、最適な色合いに自動補正されます。
   - ユーザー設定：［設定］をクリックすると、任意に設定できます。
2. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」224ページ
   「応用設定タブ」227ページ
3. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



1. プリンタードライバーで［応用設定］タブの［色補正］から［画像処理設定］をクリックします。
2. ［細線を鮮明にする］を選択します。
3. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

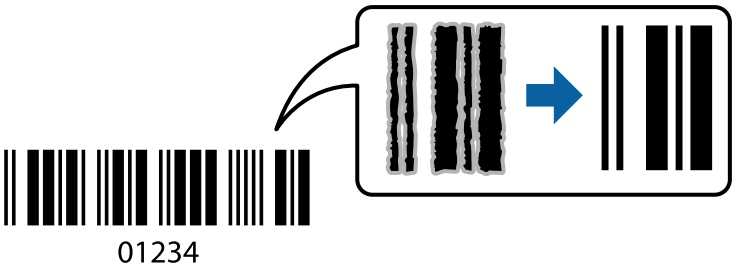
4. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

バーコードを鮮明に印刷する

印刷したバーコードがうまく読み取れないときに、インクのにじみを抑えて鮮明に印刷します。印刷したバーコードがうまく読み取れないときに設定してください。



参考 お使いのアプリケーションによっては、バーコードが読み取りやすくならないことがあります。

1. プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［拡張設定］をクリックして、［バーコードモード］にチェックを入れます。

2. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

3. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

登録したグループで印刷する

グループ印刷を設定してグループごとに印刷を仕分けできます。詳しくは以下を参照してください。

関連情報

➡ 「プリンタードライバーに登録したグループで印刷する（コンピューター）」420ページ

PostScriptプリンタードライバーを使って文書を印刷する（Windows）

PostScriptプリンタードライバーはPostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

1. 印刷するファイルを開きます。
   プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷設定］など）を選択してプリント画面を表示します。

3. プリンターを選択します。

4. ［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックして、プリンタードライバー（詳細な印刷設定）の画面を表示します。

5. 必要に応じて設定を変更します。
   各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. ［OK］をクリックしてプリンタードライバーの詳細画面を閉じます。

7. ［印刷］をクリックします。

関連情報

- 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
- 「用紙をセットする」207ページ
- 「用紙種類の設定値」205ページ
- 「用紙/品質タブ」250ページ
- 「レイアウトタブ」251ページ

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考　項目は選択した内容によって異なります。

用紙/品質タブ

トレイの選択：

給紙方法とメディアを選択します。

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。
［自動選択］にしておくと、プリンターの［用紙設定］と一致する給紙装置を自動で選択します。

メディア：

印刷する用紙の種類を選択します。［指定しない］を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。
普通紙、再生紙、ビジネス普通紙、封筒*

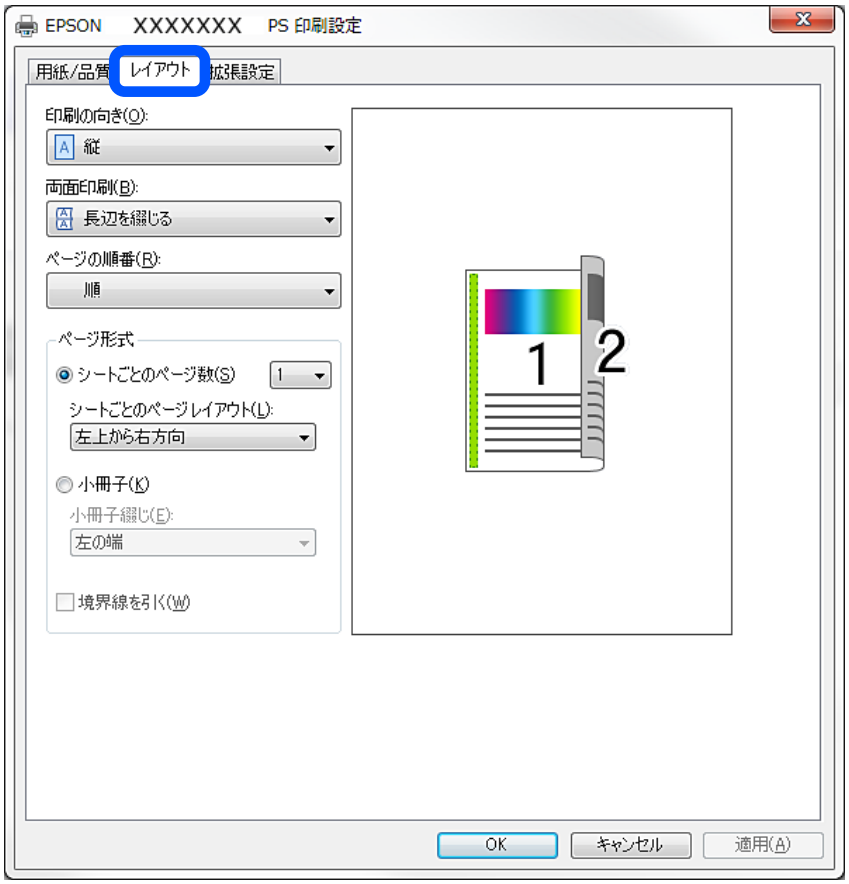
*用紙サイズを封筒サイズに設定した場合のみ

ただし、プリンターの［給紙口自動選択］で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

色：

印刷する色を選択します。

レイアウトタブ



印刷の向き：

データを印刷する向きを選択します。

両面印刷：

両面印刷を有効にします。

ページの順番：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。［逆］を選択するとページ順に仕上がります。

ページ形式：

シートごとのページ数：

シートごとのページレイアウト：
割り付け印刷時のページの配置順が設定できます。

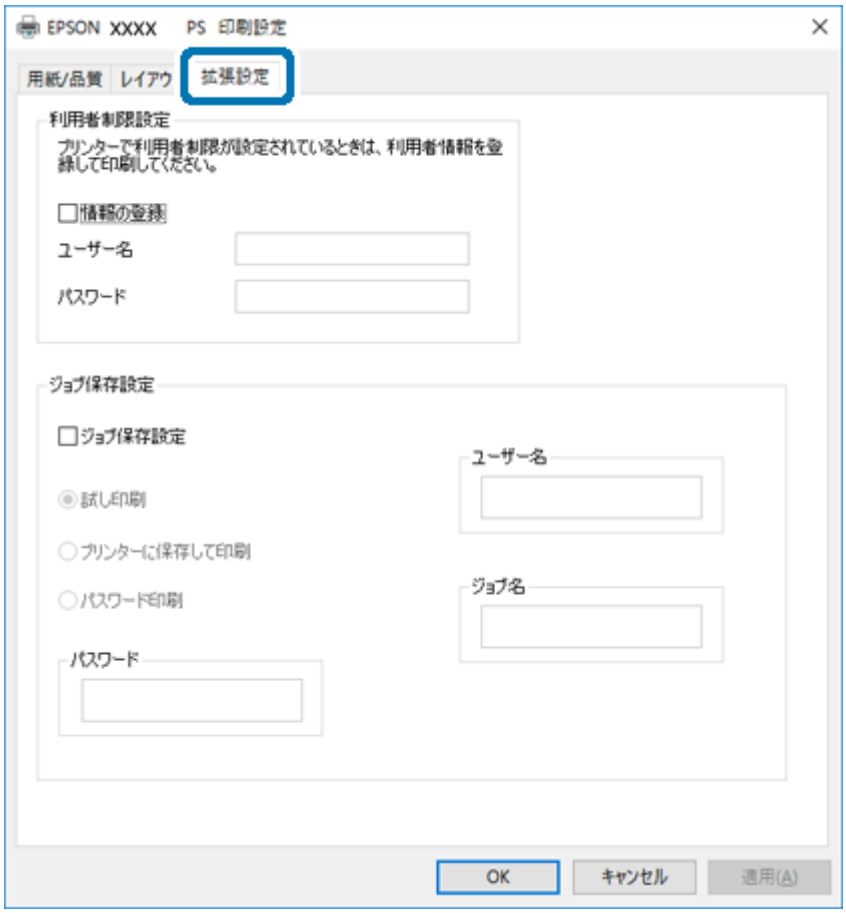
小冊子：

小冊子綴じ：
冊子を作成するときのとじる位置を選択します。

境界線を引く：

1枚の用紙に複数のページを印刷したり、冊子を作成したりする場合に、ページごとに枠線を入れたいときに選択します。

拡張設定タブ



利用者制限設定：

管理者によってプリンターの使用が制限されている場合は、プリンタードライバーに許可されているユーザー名とパスワードを登録すると印刷できます。ログオン情報はプリンターの管理者に確認してください。

情報の登録：

ユーザー名とパスワードの入力を有効にします。

ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

パスワード：

ファイルに設定されているパスワードを入力します。

ジョブ保存設定：

印刷データをプリンターのメモリーに保存して印刷するかどうかを選択します。

ジョブ保存設定：

［ジョブ保存設定］と、［試し印刷］、［プリンターに保存して印刷］、［パスワード印刷］の選択を有効にします。

試し印刷：

複数部印刷するときに、最初の1部だけを印刷して内容を確認することができます。プリンターの操作パネルを操作することで、2部目以降を印刷します。

プリンターに保存して印刷：

印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネルを操作して再印刷します。

パスワード印刷：

［パスワード印刷］を選択してパスワードを入力します。プリンターの操作パネルでパスワードを入力するまで印刷されません。

ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

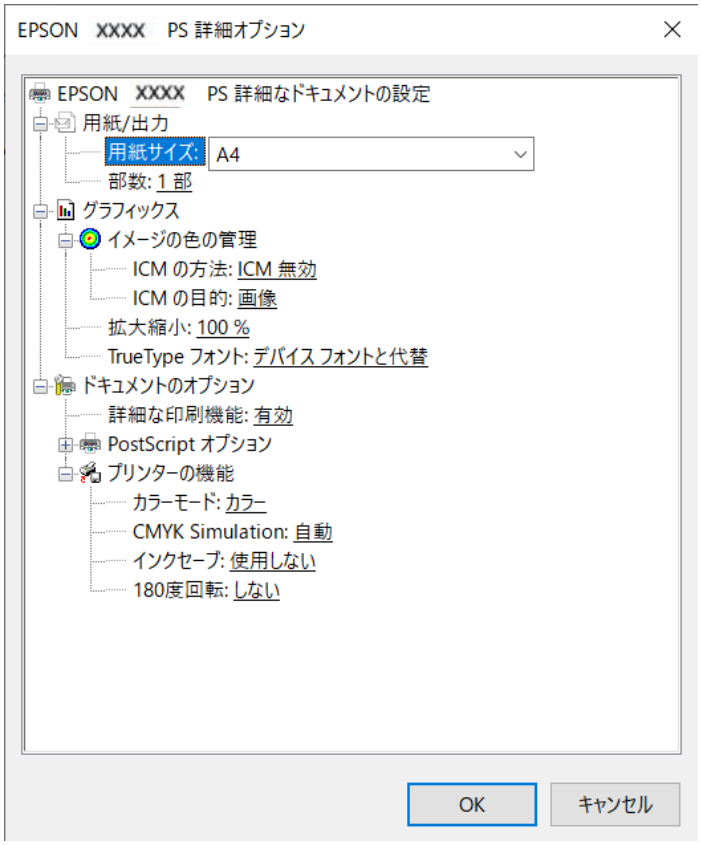
ジョブ名：

ジョブ名を入力します。

パスワード：

パスワード印刷のパスワードを入力します。

詳細設定メニュー



用紙/出力：

用紙サイズと部数を選択します。

用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。

部数：

印刷する部数を設定します。

グラフィックス：

次のメニューを設定します。

イメージの色の管理：

ICMの方法や目的を選択します。

拡大縮小：

拡大、縮小印刷を有効にします。

TrueType フォント：

フォント代替処理をTrueTypeフォントに設定します。

ドキュメントのオプション：

詳細な印刷機能：

有効にすると詳細な印刷機能が設定できます。

PostScriptオプション：

オプションの設定ができます。

プリンターの機能：

次のメニューを設定します。

カラーモード：

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

CMYK Simulation：

オフセット印刷機のCMYKインク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKインクの色を選択できます。

インクセーブ：

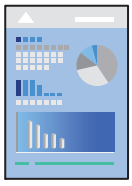
印刷濃度を薄くしてインクを節約します。

180度回転：

印刷データを180度回転して印刷します。

コンピューターから文書を印刷する（Mac OS）

簡単な設定で印刷する



参考 アプリケーションソフトによって操作や画面が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. プリンターに用紙をセットします。
「用紙をセットする」207ページ

2. 印刷するファイルを開きます。

3. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示します。

詳細設定が隠れているときは、［詳細を表示］（または▼）をクリックして詳細設定画面を開いてください。

4. プリンターを選択します。

5. ポップアップメニューの［印刷設定］を選択します。

参考 macOS Catalina (10.15)以降、macOS High Sierra (10.13)、macOS Sierra (10.12)、OS X El Capitan (10.11)、OS X Yosemite (10.10)、OS X Mavericks (10.9)で［印刷設定］メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。以下の方法で設定してください。
アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。追加方法は以下をご覧ください。
「エプソン純正プリンターを追加する（Mac OSのみ）」436ページ
macOS Mojave (10.14)はテキストエディットなどアップル社製アプリケーションソフトで［印刷設定］ができません。

6. 必要に応じて設定を変更します。
各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

参考 印刷する文書をボックスに保存したい場合は、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択し、［印刷方法］で［ボックス保存と印刷］を選択して保存先などを設定します。

7. ［プリント］をクリックします。

参考 コンピューターから印刷を中止したい場合は、［Dock］内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、プログレスメーター横の⊗をクリックします。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

関連情報

- 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
- 「用紙種類の設定値」205ページ
- 「プリンタードライバーのメニュー説明」257ページ

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考　項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

ページ数/枚：

1枚の用紙に複数のページを印刷するときのページ数を選択します。

レイアウト方向：

ページの並べ方を選択します。

境界線：

ページを区切る境界線の設定をします。

ページの方向を反転：

データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに設定してください。

左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

カラーマッチングメニュー

色補正の方法を選択します。

ColorSync/EPSON Color Controls：

色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。

用紙処理メニュー

丁合い：

複数ページのデータを部ごとに印刷します。ページごとに印刷する場合はチェックを外します。

プリントするページ：

印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

ページの順序：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

用紙サイズに合わせる：

出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。

- 出力用紙サイズ：
  出力する用紙サイズを選択します。
- 縮小のみ：
  プリンターの用紙サイズに対して印刷データが大きすぎる場合のみ縮小します。

表紙メニュー

OSのバージョンによっては、このメニューは表示されません。

表紙をプリント：

表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、［書類の後］を選択します。

表紙のタイプ：

表紙に印刷される内容を選択します。

印刷設定メニュー

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。［自動選択］にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。［自動選択（普通紙）］を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。
普通紙、再生紙、ビジネス普通紙、封筒*
*用紙サイズを封筒サイズに設定した場合のみ
ただし、プリンターの［給紙口自動選択］で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

印刷方法：

ユーティリティ画面の［ボックス保存設定］で設定したボックスに印刷ジョブを保存したり、保存して印刷したりします。

グレースケール：

白黒で印刷したいときに選択します。

カラーオプションメニュー

手動設定：

画像などの色を手動で補正して印刷します。［詳細設定］では、色補正の詳細な方法が選択できます。

オートフォトファイン！EX：

エプソン独自の画像解析、処理技術を使って自動で画像を高画質にして印刷します。

色補正なし：

色補正せずに印刷します。

用紙調整メニュー

印刷濃度：

写真などの濃度の濃いデータは、印刷濃度を薄くするときれいに印刷できることがあります。

自動両面印刷設定メニュー

自動両面印刷：

用紙の両面に印刷します。

ブックレット印刷：

- 全ページ：ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。

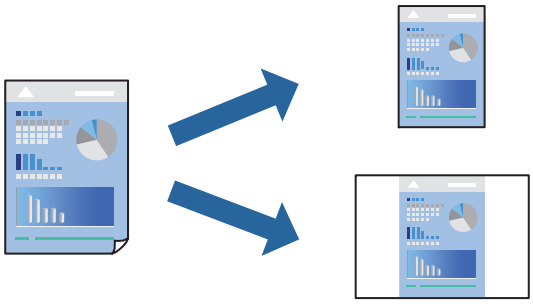
- 分割する：1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめる方法です。

ブックレットのとじ方：

出力紙をとじる位置を設定します。

よく使う設定を登録して簡単に印刷する

よく使う印刷設定をプリンタードライバーに登録しておくと、リストから選択するだけで印刷できます。



1. ［印刷設定］や［レイアウト］などの各項目（［用紙サイズ］や［用紙種類］など）を設定します。
2. ［プリセット］をクリックし、現在の設定をプリセットとして保存します。
3. ［OK］をクリックします。

参考 登録した印刷設定を削除するには、［プリセット］-［プリセットを表示］の順にクリックし、リストから削除するプリセット名を選択して削除します。

4. ［プリント］をクリックします。

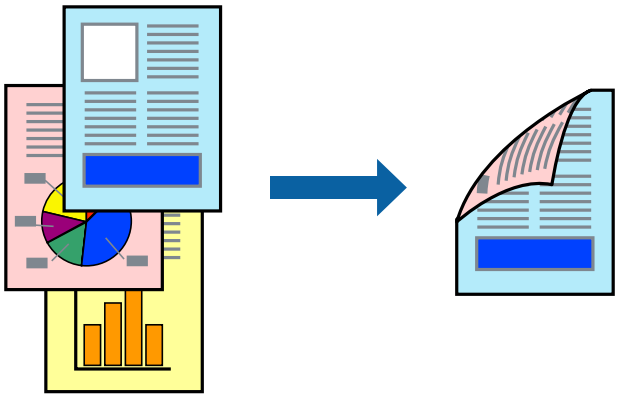
次回同じ設定で印刷するときは、［プリセット］から登録した登録名を選択して、OKをクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」255ページ

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。



参考
- 両面印刷に対応していない用紙を使用すると、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
「両面印刷できる用紙」516ページ
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

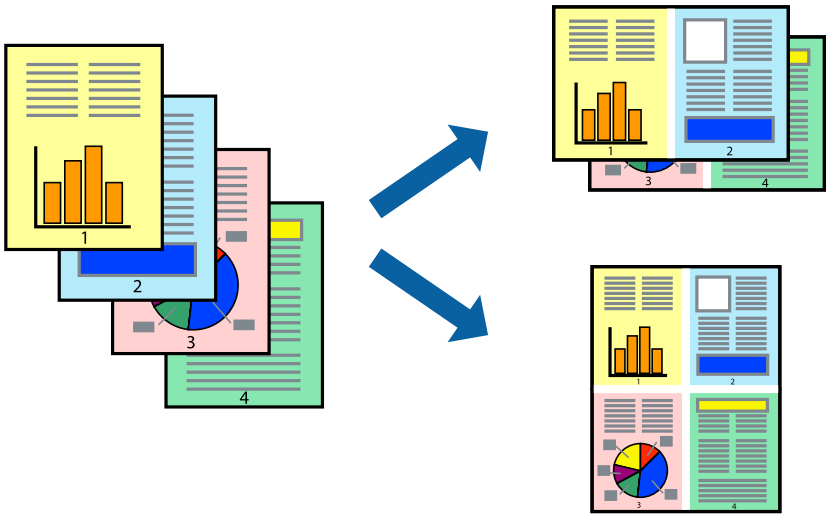
1. ポップアップメニューの［自動両面印刷設定］を選択します。
2. ［自動両面印刷］でとじ方を選択します。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
➡「用紙をセットする」207ページ
➡「簡単な設定で印刷する」255ページ

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



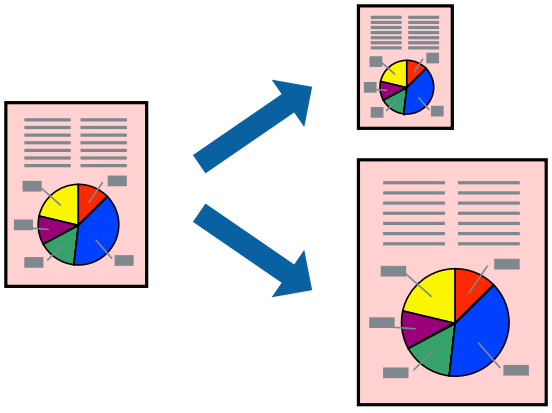
1. ポップアップメニューの［レイアウト］を選択します。
2. ［ページ数/枚］、［レイアウト方向］、［境界線］を設定します。
   「レイアウトメニュー」257ページ
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」255ページ

用紙サイズに合わせて印刷する

プリンターにセットした用紙のサイズに合わせて印刷できます。



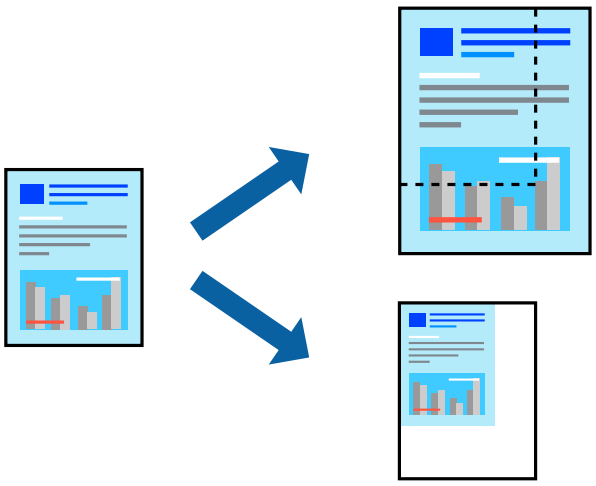
1. ［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択します。
2. ポップアップメニューの［用紙処理］を選択します。
3. ［用紙サイズに合わせる］をチェックします。
4. ［出力用紙サイズ］でプリンターにセットした印刷用紙のサイズを選択します。
5. 必要に応じてその他の項目を設定します。
6. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」255ページ

任意の倍率で拡大または縮小して印刷する

任意の倍率で、拡大または縮小して印刷できます。



参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. 以下のいずれかを実施します。
   - アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。［ページ設定］をクリックして、［対象プリンタ］でお使いのプリンターを選択します。［用紙サイズ］から印刷するデータのサイズを選択し、［拡大縮小］に倍率を入力して、［OK］をクリックします。
   - アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［ページ設定］を選択します。［対象プリンタ］でお使いのプリンターを選択します。［用紙サイズ］から印刷するデータのサイズを選択し、［拡大縮小］に倍率を入力して、［OK］をクリックします。［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。
2. ［プリンタ］でお使いのプリンターを選択します。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。

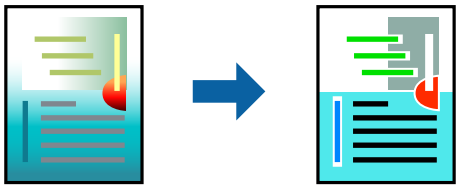
4. ［印刷］または［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」255ページ

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。元データは補正しません。



［オートフォトファイン!EX］はエプソン独自の画像解析、処理技術を用いて自動的に画像を高画質にして印刷します。

参考 ［オートフォトファイン!EX］は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、［オートフォトファイン!EX］以外のモードで印刷してください。

1. ポップアップメニューの［カラーマッチング］を選択し、［EPSON Color Controls］を選択します。
2. ポップアップメニューの［カラーオプション］を選択して、色補正の種類を選択します。
3. ［詳細設定］横の矢印をクリックして、各項目を設定します。
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
5. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」255ページ

Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する

PostScriptプリンタードライバーはPostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

1. 印刷するファイルを開きます。
   プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示します。
   必要であれば［詳細を表示］（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。

3. お使いのプリンターを選択します。

4. ポップアップメニューの［プリンタの機能］を選択します。

5. 必要に応じて設定を変更します。
   各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. ［プリント］をクリックします。

関連情報

- 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
- 「用紙をセットする」207ページ
- 「用紙種類の設定値」205ページ
- 「プリンタの機能メニュー」273ページ

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

ページ数/枚：

用紙1枚に対し、印刷したいページ数を選択します。

レイアウト方向：

ページの並べ方を選択します。

境界線：

ページを区切る境界線の設定をします。

両面：

両面印刷を有効にします。

ページの方向を反転：

データを180度回転して印刷します。

左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

カラーマッチングメニュー

色補正の方法を選択します。

ColorSync/プリンタのカラー：

色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。

用紙処理メニュー

丁合い：

部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。

プリントするページ：

印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

ページの順序：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

用紙サイズに合わせる：

出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。

出力用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。

縮小のみ：

縮小印刷時に選択します。

給紙メニュー

どの給紙装置から給紙するかを選択します。

すべてのページ：

［自動選択］にしておくと、プリンターの［用紙設定］と一致する給紙装置を自動で選択します。

先頭ページのみ/残りのページ：

ページの給紙方法が選択できます。

表紙メニュー

OSのバージョンによっては、このメニューは表示されません。

表紙をプリント：

表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、［書類の後］を選択します。

表紙のタイプ：

表紙に印刷される内容を選択します。

ジョブ設定メニュー

パスワード印刷：

印刷ジョブのパスワードを入力します。

ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

ジョブ名：

ジョブ名を入力します。

パスワード：

パスワードを入力します。

プリンタの機能メニュー

機能セット：

印刷品質：

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。［指定しない］を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。
普通紙、再生紙、ビジネス普通紙、封筒*

*用紙サイズを封筒サイズに設定した場合のみ

ただし、プリンターの［給紙口自動選択］で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

カラー設定：

カラーモード：

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

CMYK Simulation：

オフセット印刷機のCMYKインク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKインクの色を選択できます。

その他の設定：

インクセーブ：

印刷濃度を薄くしてインクを節約します。

外部メモリー内のPDFデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のPDFデータを印刷します。

参考 以下の用紙種類とサイズは、PDFデータの印刷には対応していません。

- 用紙種類: 両面スーパーファイン紙、両面マット名刺用紙
- 用紙サイズ: Half letter、往復ハガキ、四面連刷ハガキ、長形封筒（3号、4号）、洋形封筒（0号、1号、3号、4号、6号）、角形封筒（2号、20号）

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
「USB接続機器をセットする」219ページ

2. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］を選択します。

3. ［PDF印刷］を選択します。

4. ファイルを選択します。

5. ◇をタップします。

参考 印刷データをボックスに保存するには、［ボックス保存］を選択して保存設定をします。［動作設定］を選択して、同時に印刷もするかどうか選択します。

PDF印刷時の基本設定メニュー

昇順/降順：

ファイル名の昇順または降順にファイルを並べ替えます。（初期値は［昇順］）

用紙設定：

使用する給紙装置を指定します。（初期値は［自動］）

両面設定：

［オン］にすると両面印刷ができます。また、［開き方向(出力)］も指定できます。初期値は、両面印刷［オフ］とじ位置［左右開き］

印刷順序：

印刷するページの順番が指定できます。（初期値は［正順印刷］）

カラーモード：

通常印刷するときの色を設定します。

PDF印刷時の応用設定メニュー

仕上げ：

複数ページの文書を部単位で印刷するには［ソート(1部ごと)］を選択します。ページ単位でまとめて印刷するには［グループ(ページごと)］を選択します。（初期値は［ソート(1部ごと)］）

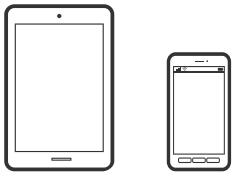
ボックス保存：

印刷データをボックスに保存できます。（初期値は［オフ］）

- 動作設定：
  ボックスに保存だけするかどうかを選択します。
- 保存先ボックス(必須項目)：
  印刷データを保存するボックスを選択します。
- 文書名：
  ファイル名を指定します。
- 文書パスワード：
  ファイル選択時のパスワードを指定します。
- ユーザー名：
  ユーザー名を指定します。

スマートデバイスから文書を印刷する

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから文書を印刷できます。



Epson Smart Panelで印刷する

Epson Smart Panel（エプソン スマートパネル）は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、印刷、コピー、スキャンなど、プリンターを簡単に操作できるアプリケーションです。プリンターとスマートデバイスの無線LAN 接続をしたり、インク残量やプリンターの状態を確認したり、エラー発生時に対処方法を確認したりできます。また、ホーム画面にコピーのお気に入りを登録して簡単にコピーできます。

以下のURLまたはQRコードから、Epson Smart Panelをインストールしてください。
https://support.epson.net/smpdl/

Epson Smart Panelを起動し、ホーム画面で印刷のメニューを選択します。

AirPrintで文書を印刷する

AirPrintを使うと、ドライバーのインストールやソフトウェアのダウンロードをしなくてもiPhone、iPad、iPod touchやMacから簡単に無線で印刷できます。

参考 操作パネルでプリンター設定メニューの給紙装置設定の情報表示を無効にしていると、AirPrintは使えません。給紙装置設定の情報表示を有効にするには以下の関連情報をご覧ください。

1. プリンターを無線LANに接続します。以下のリンクをご覧ください。

   https://epson.sn

2. お使いの機器をプリンターと同じ無線LANに接続します。

3. 機器からプリンターに印刷します。

   参考 詳しくはアップル社ウェブサイトのAirPrintのページをご覧ください。

関連情報

➡ 「接続できているのに印刷できない（iOS）」456ページ

Mopria Print Serviceで印刷する

Mopria Print Serviceを使うと、多くのMopria認定の複合機から無線で印刷できます。Androidスマートフォンやタブレットからの無線印刷は、Google PlayストアのMopria Print Serviceアプリを使用して実行できます。

詳しくはhttps://mopria.orgの使い方のページをご覧ください。

Epson印刷サービスプラグインで印刷する

Epson印刷サービスプラグインを使うと、文書やメール、写真、ウェブページなどを、Android 4.4以降のスマートデバイスからWi-Fiで印刷できます。プリンターとデバイスが同じネットワークにつながっている場合は、このプラグインをインストールしておくと便利です。
Google PlayからEpson印刷サービスプラグインを検索してインストールしてください。
お使いのスマートデバイスの［設定］から［印刷］を選択して、Epson印刷サービスプラグインを有効にします。ChromeなどのAndroidアプリケーションで、メニューアイコンをタップして印刷します。

参考 プリンターが見つからないときは、［すべてのプリンター］をタップして、お使いのプリンターを選択してください。

ハガキ、年賀状、封筒に印刷する

ハガキ印刷のポイントは以下の通りです。

- 宛名（住所録）を印刷するときは、市販のアプリケーションソフトなどをご利用ください。スマートデバイスからの印刷は「スマホでカラリオ年賀」を使えます。「スマホでカラリオ年賀」は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスで年賀状が作れるアプリです。Epson Smart Panelのホーム画面からインストールしてください。
- 用紙設定では、［用紙サイズ］を［ハガキ］、［用紙種類］を宛名面は［郵便ハガキ］、通信面はハガキの種類に合わせて設定してください。

- ハガキをセットするときは、宛名面と通信面、郵便番号枠の向きに注意してください。
  往復ハガキに印刷するときは、プリンタードライバーの［印刷方向］（または［方向］）を［縦］に設定してください。

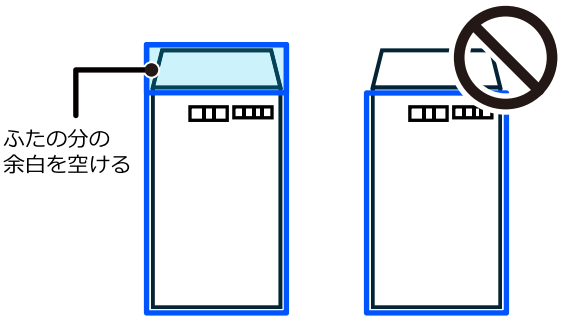
コンピューターからハガキや封筒に印刷する

ハガキや封筒に印刷する（Windows）

ここでは、エプソン純正プリンタードライバーを使用して印刷する手順を説明します。
プリンタードライバーをインストールしていない場合は、インストールします。
「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」433ページ

参考 ユーザー定義サイズ（用紙サイズの選択肢に表示されないサイズ）の封筒に印刷する場合は、以下の点に注意してください。

- 印刷データはフラップ（ふた）部分を含めた用紙サイズにし、ふたの長さ以上の余白を設定してください。



- プリンタードライバーとプリンターの操作パネルの用紙サイズも、［ユーザー定義サイズ］で印刷データと同じサイズ（ふたを含む）を入力してください。

1. **プリンターにハガキまたは封筒をセットします。**
   「封筒のセット方法」207ページ
   ［用紙設定］画面で、セットしたハガキまたは封筒のサイズと種類を設定します。

2. **印刷するファイルを開きます。**

3. **プリンタードライバーの画面を表示します。**

4. **［基本設定］タブの［用紙サイズ］で、印刷する［ハガキ］または［封筒］のサイズを選択します。続いて［用紙種類］で［郵便ハガキ］または［封筒］を選択します。**
   用紙サイズは印刷データと同じサイズに設定します。

5. **［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して、［OK］をクリックします。**
   ［ユーザー定義サイズ］で長形封筒や角形封筒を印刷する場合は、［応用設定］タブの［オプション設定］で［180度回転］を有効にします。

   参考 印刷前に、データの用紙サイズとプリンタードライバーの設定が一致していることを確認してください。

6. ［印刷］をクリックします。

ハガキや封筒に印刷する（Mac OS）

ここではプリンタードライバーを使って印刷する手順を説明します。

1. プリンターにハガキまたは封筒をセットします。
「ハガキのセット方法」208ページ
「封筒のセット方法」207ページ

2. エプソン純正プリンタードライバーをインストールしていない場合は、インストールします。
「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）」435ページ

3. 印刷するファイルを開きます。

4. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示します。

5. ［用紙サイズ］設定で［はがき］または［封筒］を選択します。

6. ポップアップメニューの［印刷設定］を選択します。

7. ［用紙種類］設定でハガキはたは封筒の種類を選択します。

8. 必要に応じてその他の項目を設定します。

9. ［プリント］をクリックします。

スマートデバイスからハガキに印刷する

「スマホでカラリオ年賀」は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスで年賀状が作成できるアプリです。豊富なテンプレートとスタンプで、オリジナルの年賀状を簡単に作成できます。Epson Smart Panelのホーム画面からインストールしてください。

プレプリント紙に印刷する

コンピューターからプレプリント紙に印刷する（Windows）

1. プリンターにプレプリント紙をセットします。
「プレプリントのセット方法（片面に印刷する）」211ページ
「プレプリントのセット方法（両面に印刷する）」212ページ

2. 印刷するファイルを開きます。

3. プリンタードライバーの画面を表示します。

4. ［基本設定］タブの［用紙サイズ］で用紙サイズを選択して、［用紙種類］で［プレプリント］を選択します。

5. ［両面印刷］設定が有効のときは、［ユーティリティー］タブの［拡張設定］をクリックして、［両面指定時に1ページデータを両面動作で印刷する］を選択します。

> **重要** 1ページ文書と複数ページ文書をプレプリント紙に印刷する場合、［両面印刷］設定が有効のときは、プリンタードライバーの設定が上の通り設定されていることを確認してください。設定されていないと、1ページ目が印刷される面が変わるため、1ページ文書と複数ページ文書とで印刷結果が変わります。

6. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

7. ［印刷］をクリックします。

コンピューターからプレプリント紙に印刷する（Mac OS）

1. プリンターにプレプリント紙をセットします。
「プレプリントのセット方法（片面に印刷する）」211ページ
「プレプリントのセット方法（両面に印刷する）」212ページ

2. 印刷するファイルを開きます。

3. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示します。

4. ［用紙サイズ］設定でサイズを選択します。

5. ポップアップメニューの［印刷設定］を選択します。

6. ［用紙種類］設定で［プレプリント］を選択します。

> **重要** 両面印刷時は、1ページ文書と複数ページ文書とで、1ページ目が印刷される面が変わります。用紙の正しい面をセットしたことを確認してください。

7. 必要に応じてその他の項目を設定します。

8. ［印刷］をクリックします。

写真を印刷する

外部メモリー内のJPEGデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のJPEGデータを印刷します。

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
   「USB接続機器をセットする」219ページ
2. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］を選択します。
3. ［JPEG印刷］を選択します。
4. ファイルを選択します。

5. ◇をタップします。

参考 印刷データをボックスに保存するには、［ボックス保存］を選択して保存設定をします。［動作設定］を選択して、同時に印刷もするかどうか選択します。

JPEG印刷時の基本設定メニュー

☰メニュー:

画像ファイルの表示順、選択や選択解除を設定します。（［画像の並び順］の初期値は［昇順］）

用紙設定：

使用する給紙装置を指定します。（初期値は［C1］）

レイアウト：

JPEGファイルの配置方法を選択します。［1面］は、1枚の用紙に1ファイルを印刷します。［20面］は、1枚の用紙に20ファイルを印刷します。［インデックス］は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。（初期値は［1面］）

トリミング：

［オン］にすると、選択画像の上下（または左右）を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱいに印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は［オフ］）

カラーモード：

［カラー(自動)］にしておくと、印刷データを自動で判別して印刷します。モノクロ（白黒）固定で印刷したい場合は、［モノクロ］を選択してください。（初期値は［カラー］）

JPEG印刷時の応用設定メニュー

仕上げ：

複数ページの文書を部単位で印刷するには［ソート(1部ごと)］を選択します。ページ単位でまとめて印刷するには［グループ(ページごと)］を選択します。（初期値は［ソート(1部ごと)］）

日付表示：

撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は［オフ］）

自動画質補正：

エプソン独自の画像解析・処理技術を使って自動的に高画質化します。自動補正をしたくないときは、［自動補正なし］を選択します。（初期値は［自動補正なし］）

赤目補正：

［オン］にすると、赤く撮影された目の色を補正することができます。元のファイルは補正しません。画像によっては赤目が補正されず、赤目以外の部分が補正されてしまうことがあります。（初期値は［オフ］）

ボックス保存：

印刷データをボックスに保存できます。（初期値は［オフ］）

- 動作設定：
  ボックスに保存だけするかどうかを選択します。

- 保存先ボックス(必須項目)：
  印刷データを保存するボックスを選択します。
- 文書名：
  ファイル名を指定します。
- 文書パスワード：
  ファイル選択時のパスワードを指定します。
- ユーザー名：
  ユーザー名を指定します。

外部メモリー内のTIFFデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のTIFFデータを印刷します。

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
   「USB接続機器をセットする」219ページ
2. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］を選択します。
3. ［TIFF印刷］を選択します。
4. ファイルを選択します。

5. ◇をタップします。

参考 印刷データをボックスに保存するには、［ボックス保存］を選択して保存設定をします。［動作設定］を選択して、同時に印刷もするかどうか選択します。

TIFF印刷時の基本設定メニュー

昇順/降順：

ファイル名の昇順または降順にファイルを並べ替えます。（初期値は［昇順］）

用紙設定：

使用する給紙装置を指定します。（初期値は［C1］）

レイアウト：

マルチTIFFファイルの配置方法を選択します。［1面］は、1枚の用紙に1ページ印刷します。［20面］は、1枚の用紙に20ページ印刷します。［インデックス］は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。（初期値は［1面］）

トリミング：

［オン］にすると、選択画像の上下（または左右）を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱいに印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は［オフ］）

カラーモード：

［カラー(自動)］にしておくと、印刷データを自動で判別して印刷します。モノクロ（白黒）固定で印刷したい場合は、［モノクロ］を選択してください。（初期値は［カラー］）

TIFF印刷時の応用設定メニュー

仕上げ：

複数ページの文書を部単位で印刷するには［ソート(1部ごと)］を選択します。ページ単位でまとめて印刷するには［グループ(ページごと)］を選択します。（初期値は［ソート(1部ごと)］）

印刷順序：

印刷するページの順番が指定できます。（初期値は［正順印刷］）

日付表示：

撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は［オフ］）

ボックス保存：

印刷データをボックスに保存できます。（初期値は［オフ］）

- 動作設定：
  ボックスに保存だけするかどうかを選択します。
- 保存先ボックス(必須項目)：
  印刷データを保存するボックスを選択します。
- 文書名：
  ファイル名を指定します。
- 文書パスワード：
  ファイル選択時のパスワードを指定します。
- ユーザー名：
  ユーザー名を指定します。

ウェブページを印刷する

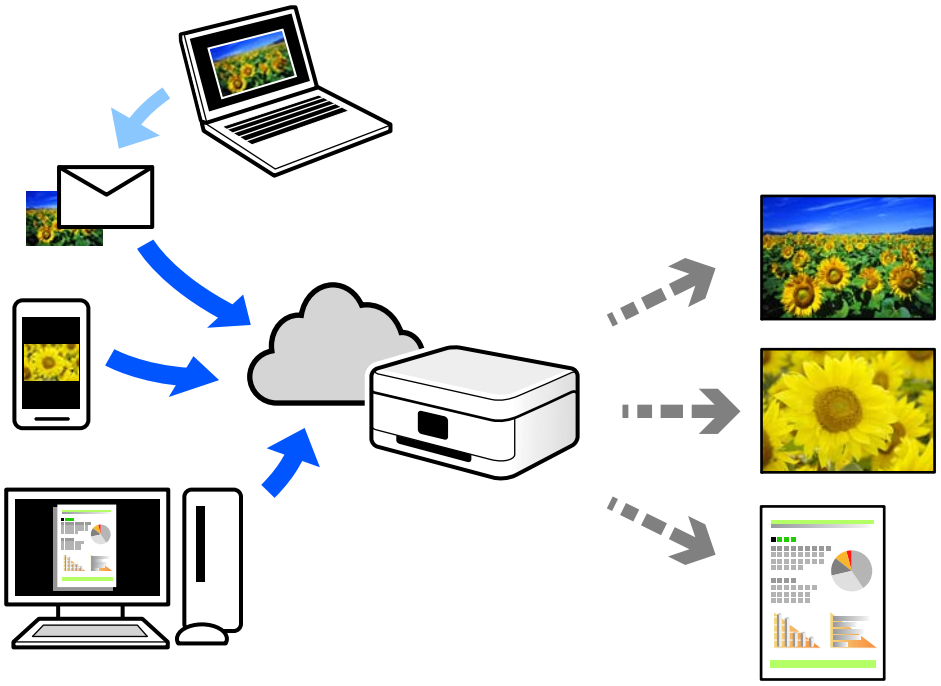
スマートデバイスからウェブページを印刷する

以下のURLまたはQRコードから、Epson Smart Panelをインストールしてください。
https://support.epson.net/smpdl/

ウェブブラウザーアプリで印刷したいウェブページを開きます。ウェブブラウザーアプリのメニューから［共有］をタップし、［Smart Panel］を選択して印刷します。

クラウドサービスで印刷する

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。このサービスの利用には、Epson Connectのセットアップ（ユーザー登録、プリンター登録）が必要です。



インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

- メールプリント
  プリンターに割り当てられたメールアドレスに、印刷したい写真や文書を添付してメールを送ると、メールの本文や添付ファイルの印刷ができます。離れた場所から、自宅やオフィスのプリンターに印刷できます。
- Epson Smart Panel
  スマートフォンやタブレット端末から印刷、またはスキャンするためのiOS、Android専用のアプリです。同じ無線LAN内にあるプリンターに写真や文書、ウェブサイトのコンテンツなどを直接印刷できます。
- リモートプリントドライバー
  リモートプリントドライバー対応の共有ドライバーです。いつものアプリケーションの印刷画面からプリンターを切り替えるだけで、離れたプリンターに印刷できます。

Epson Connectのセットアップ方法や印刷方法など、詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

割り込み印刷をする

実行中の印刷ジョブを中断して、プリンターが受信済みの印刷ジョブを優先して印刷できます。

参考 コンピューターから新しい印刷データを割り込ませることはできません。

1. 印刷ジョブの実行中に、操作パネルのをタップします。
   印刷が中断され、割り込みモードに移行します。

2. ホーム画面で［ジョブ/状態］を選択します。

3. ［ジョブ状態］タブを選択して、割り込ませたい印刷ジョブを［実行中］のリストから選択します。

4. ［詳細表示］を選択して、ジョブ詳細を表示します。

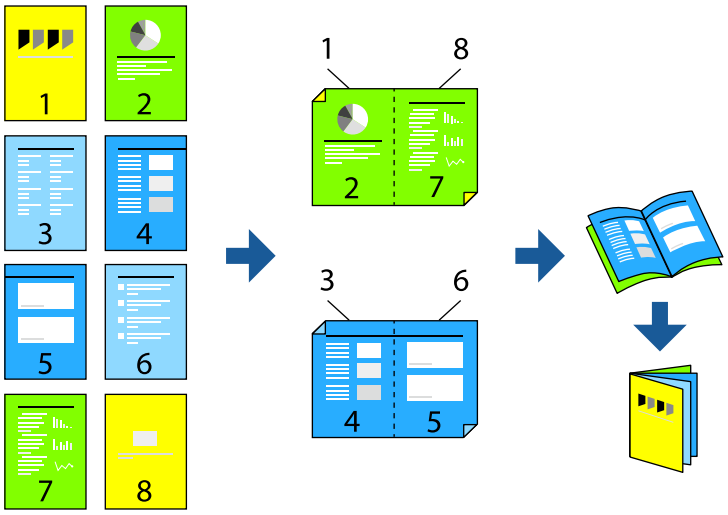
5. 表示された画面で［割り込み］を選択します。
   目的の印刷ジョブが実行されます。

中断した印刷ジョブを再開するには、もう一度をタップして割り込みモードを解除します。また、印刷ジョブを中断した後一定時間操作がされないと、割り込みモードは解除されます。

印刷して製本、仕分けする

製本できるように割り付けて印刷する

用紙を折ったときに冊子になるように、ページを並べ替えて両面印刷できます。



参考
- 両面印刷に対応していない用紙を使用すると、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
「両面印刷できる用紙」516ページ
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

関連情報

- 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
- 「用紙をセットする」207ページ
- 「簡単な設定で印刷する」222ページ

設定方法（Windows）

1. プリンタードライバーの［基本設定］タブで、［両面印刷］の長辺とじを選択します。
2. ［とじ方設定］をクリックし、［製本］にチェックを入れて［全ページ］ または［分割する］を選択します。
   - 全ページ：ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。
   - 分割する：1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめる方法です。
3. ［OK］をクリックします。
4. 他の項目を設定して、［OK］をクリックします。
5. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「コンピューターから文書を印刷する（Windows）」222ページ
➡ 「基本設定タブ」224ページ

設定方法（Mac OS）

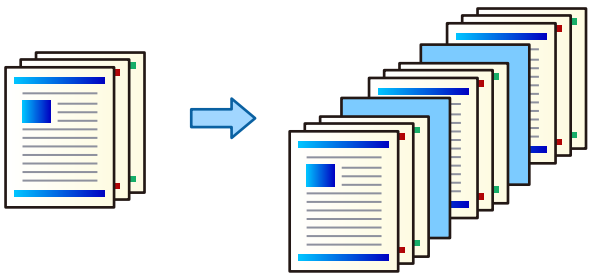
1. ポップアップメニューの［自動両面印刷設定］を選択します。
2. ［自動両面印刷］から［長辺とじ］を選択します。
3. ［ブックレット印刷］と［ブックレットのとじ方］の方法を選択します。
   - 全ページ：ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。
   - 分割する：1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめる方法です。
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
5. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「コンピューターから文書を印刷する（Mac OS）」255ページ
➡ 「自動両面印刷設定メニュー」262ページ

合紙を部数間に挿入して印刷する

部数間やジョブ間に合紙を入れられます。



参考 プリンターの操作パネルの［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［外部機器(PC)印刷設定］-［ユーザー間合紙設定］で、コンピューターからの印刷ジョブの送信者が異なるときも送信者ごとに合紙を入れて仕切ることができます。

1. プリンタードライバーで［基本設定］タブの［給紙方法］にある［表紙・合紙］をクリックします。
2. 印刷物に合紙を入れる方法を選択します。
   - ［部数間合紙］：部数間に合紙を入れます。
   - ［ジョブ間合紙］：ジョブの先頭に合紙を入れます。
3. 合紙に使用する給紙装置を選択します。

4. ［部数間合紙］の場合は、［合紙挿入の部数］で合紙をどの部数の終わりに入れるかを指定します。
   ［基本設定］タブの［部数］設定で、複数部数の指定が必要です。

5. ［OK］をクリックして画面を閉じます。

6. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
   「基本設定タブ」224ページ
   「応用設定タブ」227ページ

7. ［印刷］をクリックします。

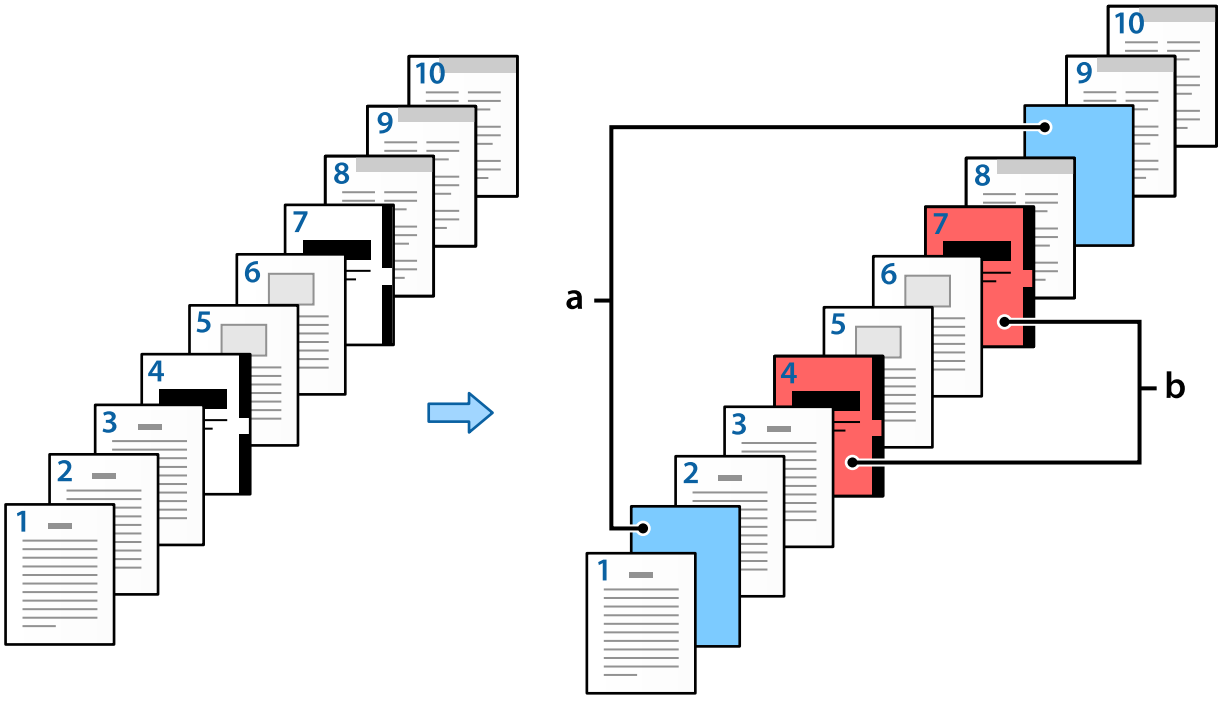
関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ

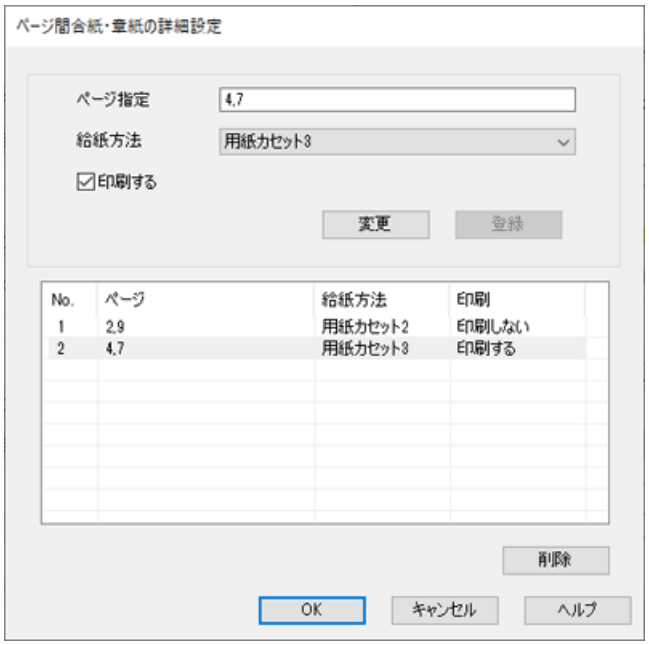
合紙や章紙でページを仕切って印刷する

ページ間合紙・章紙の概要

複数の章で構成された文書を印刷するときに、ページと給紙装置を指定して章と章の間に合紙を挿入したり、章の先頭ページを本文とは違う用紙に印刷したりすることができます。
章と章の間など、指定したページの前に挿入する用紙のことをページ間合紙と呼びます（下図a）。章の先頭ページなど、本文とは異なる用紙に印刷するよう指定したページを章紙と呼びます（下図b）。



ページ間合紙・章紙の詳細設定メニュー



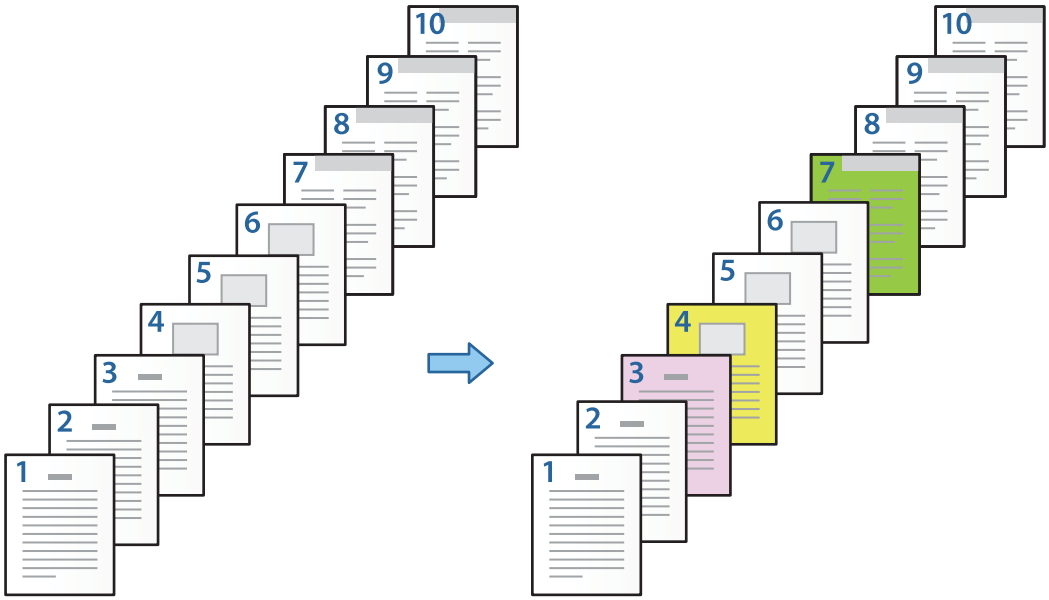
項目	説明
ページ指定	ページ間合紙を挿入または章紙を印刷するページを入力します。ページの指定はカンマで区切り、範囲指定はハイフンを使用します。 例：2ページと9ページの前にページ間合紙を挿入する場合は「2,9」と入力します。4ページと7ページを章紙に印刷する場合は「4,7」と入力します。4～7ページを指定した給紙装置の用紙に印刷する場合は「4-7」と入力します。
給紙方法	ページ間合紙や章紙に使用する給紙装置を選択します。
印刷する	チェックを入れると章紙を印刷します。チェックを外すとページ間合紙を挿入します。
変更	選択したページ間合紙や章紙設定を、現在の設定に変更します。
登録	現在のページ間合紙や章紙設定を登録します。
削除	選択したページ間合紙や章紙設定を削除します。

参考

- ページ間に合紙を挿入したり、指定したページを章紙に印刷したりする場合は以下の設定ができません。
  - ［ページ集約/ポスター］
  - ［逆順印刷］
  - 両面印刷時に1ページ目の用紙を表か裏のどちらに印刷するかの選択
  - 製本印刷
  - ［表紙を下にして印刷する］
  - ［拡張設定］-［片面と両面が混在した文書を印刷する］
- ［印刷方法］-［ボックス保存］または［ボックス保存と印刷］を選択した場合は、ページ間に合紙を挿入したり、指定したページを章紙に印刷したりできません。

片面印刷でページと給紙装置を指定して印刷する

ページと給紙装置を指定して印刷できます。ここでは例として、図のように異なる色の用紙に印刷する手順を説明します。

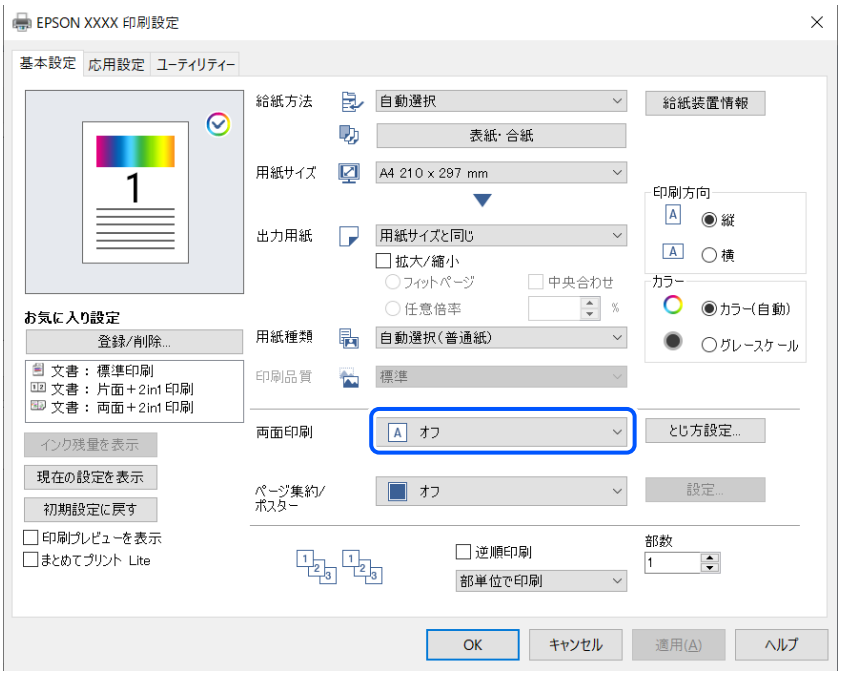


1. 印刷する用紙をプリンターに以下のようにセットします。

   用紙カセット1：白色の用紙（普通紙）、用紙カセット2：ピンク色の用紙、用紙カセット3：黄色の用紙、用紙カセット4：緑色の用紙

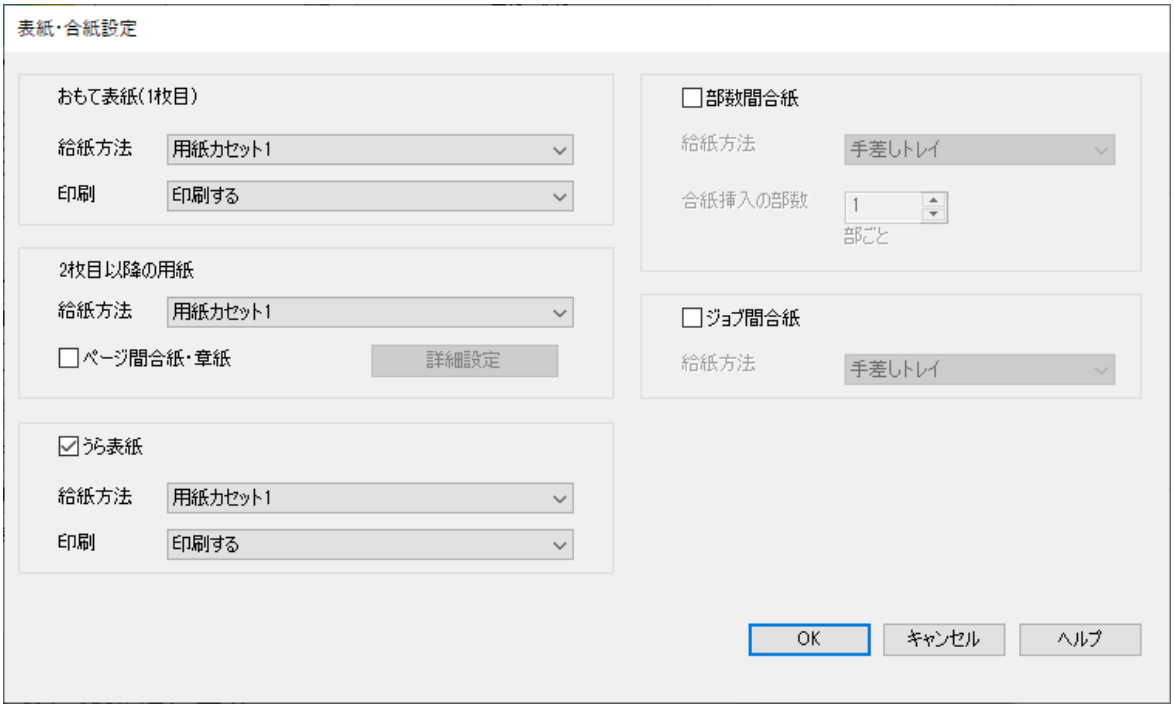
2. コンピューターで印刷するファイルを開きます。

3. プリンタードライバーの画面を表示して、［基本設定］タブの［両面印刷］から［オフ］を選択します。



4. ［給紙方法］から［表紙・合紙］を選択します。

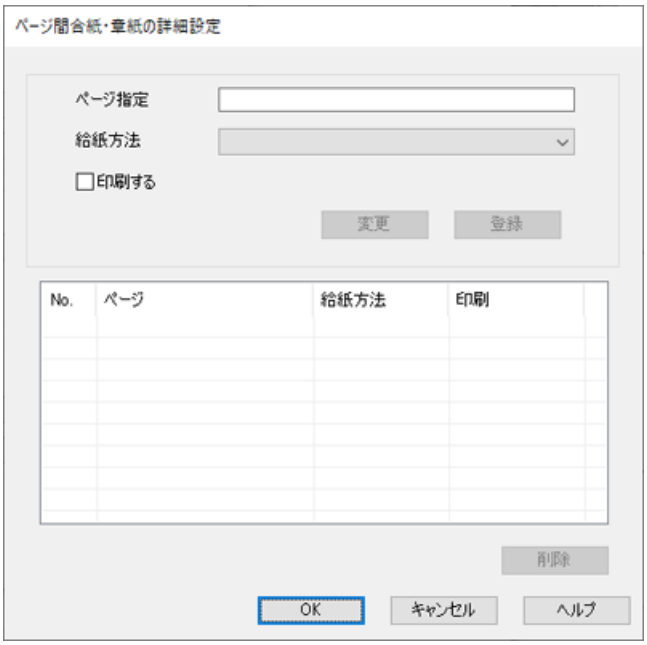
5. 表示された画面で［おもて表紙(1枚目)］、［2枚目以降の用紙］、［うら表紙］を設定します。



- ［おもて表紙(1枚目)］で1ページ目の給紙方法や印刷するかしないかを設定します。この例の場合は［用紙カセット1］、［印刷する］を選択します。
- ［2枚目以降の用紙］で2～9ページ目に主に使用する給紙方法を設定します。この例の場合、2、5、6、8、9ページに白色の用紙（普通紙）を指定するために、［用紙カセット1］または［1枚目に従う］を選択します。3、4、7ページに色の付いた用紙を指定する方法は手順6以降で述べます。

- ［うら表紙］にチェックを入れて、10ページ目の給紙方法や印刷するかしないかを設定します。この例の場合、［用紙カセット1］または［2枚目に従う］、［印刷する］を選択します。

6. 2枚目以降の用紙（2～9ページ目）の詳細設定をします。［ページ間合紙・章紙］にチェックを入れ、［詳細設定］をクリックして詳細設定画面を開きます。



7. 給紙装置を指定して印刷するページを［ページ指定］に入力します。
［ページ指定］：3

8. ページを指定して印刷する用紙をセットした給紙装置を［給紙方法］から選択します。
［給紙方法］：用紙カセット2

9. ［印刷する］にチェックを入れて［登録］をクリックします。

10. 次のページ指定と給紙方法の設定を手順7～9の方法で登録します。
［ページ指定］：4、［給紙方法］：用紙カセット3

［ページ指定］：7、［給紙方法］：用紙カセット4

11. ［OK］をクリックして詳細設定画面を閉じます。続いて［OK］をクリックして表紙・合紙設定画面を閉じます。

12. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

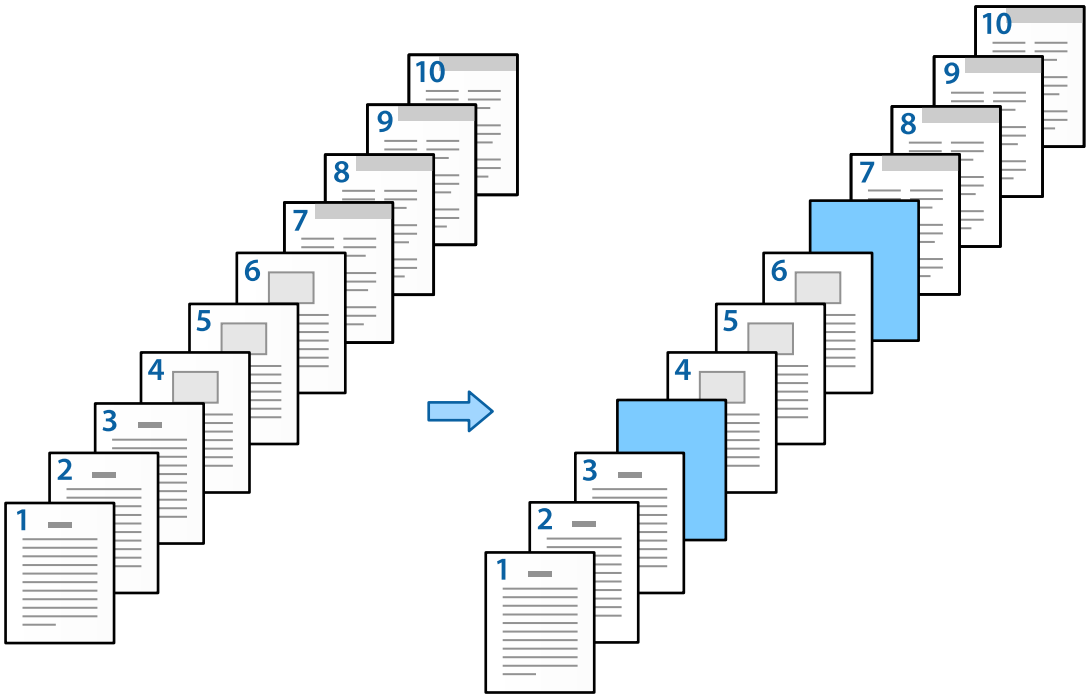
13. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ
➡ 「オプション」24ページ

片面印刷でページと給紙装置を指定して合紙を挿入する

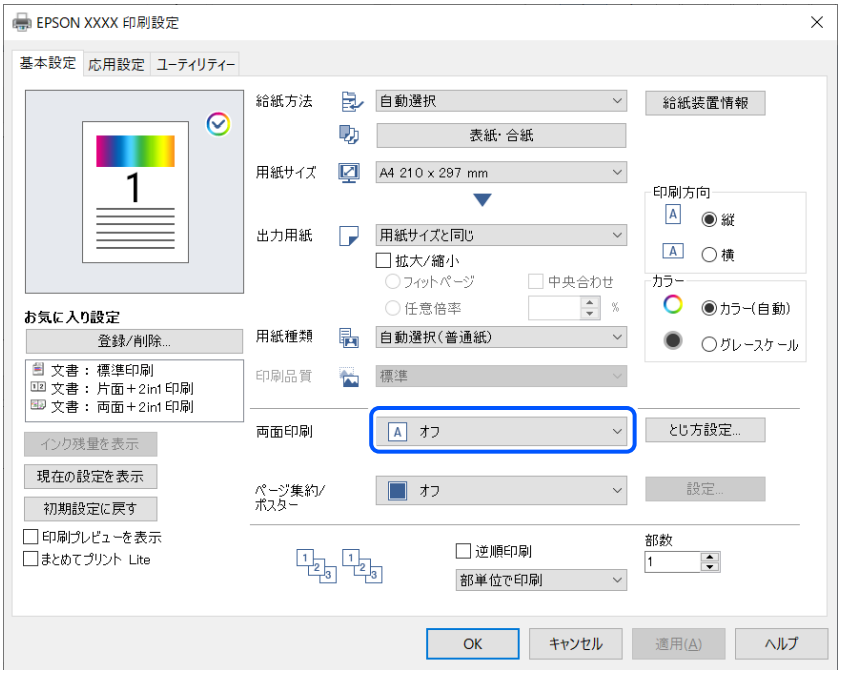
ページと給紙装置を指定して合紙を挿入できます。ここでは例として、図のように4、7ページの前に合紙を挿入する手順を説明します。



1. ページ間に挿入する合紙をプリンターに以下のようにセットします。
   用紙カセット1：白色の用紙（普通紙）、用紙カセット2：水色の用紙（合紙）

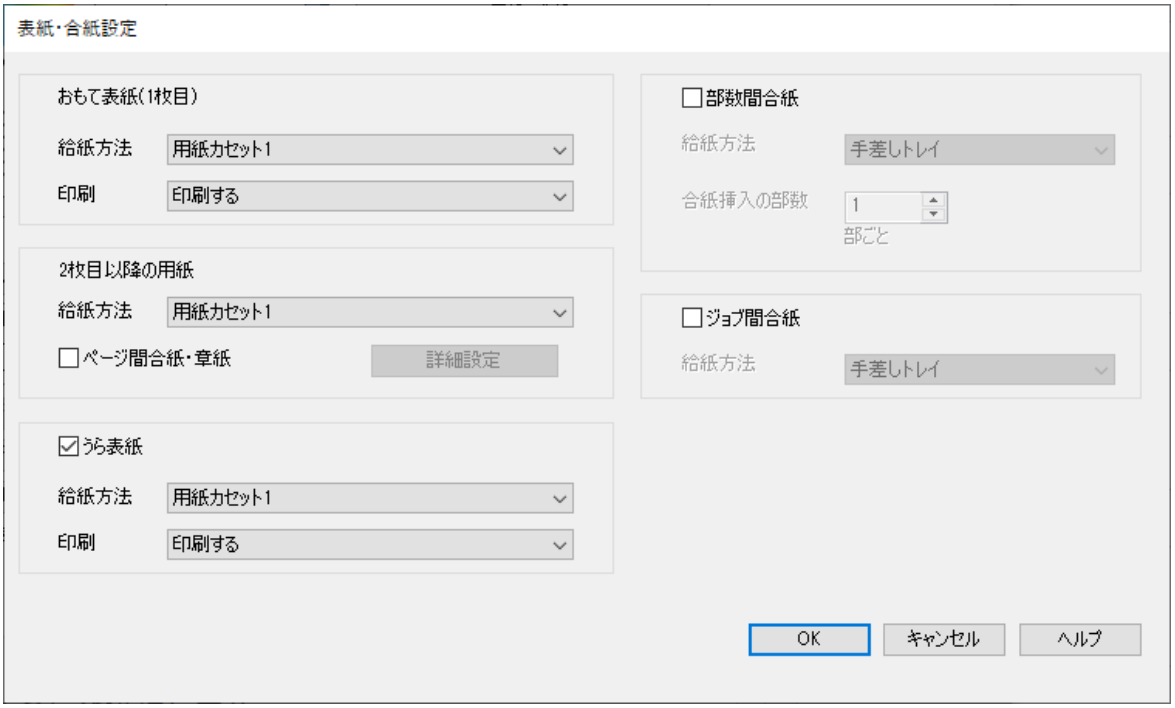
2. コンピューターで印刷するファイルを開きます。

3. プリンタードライバーの画面を表示して、［基本設定］タブの［両面印刷］から［オフ］を選択します。



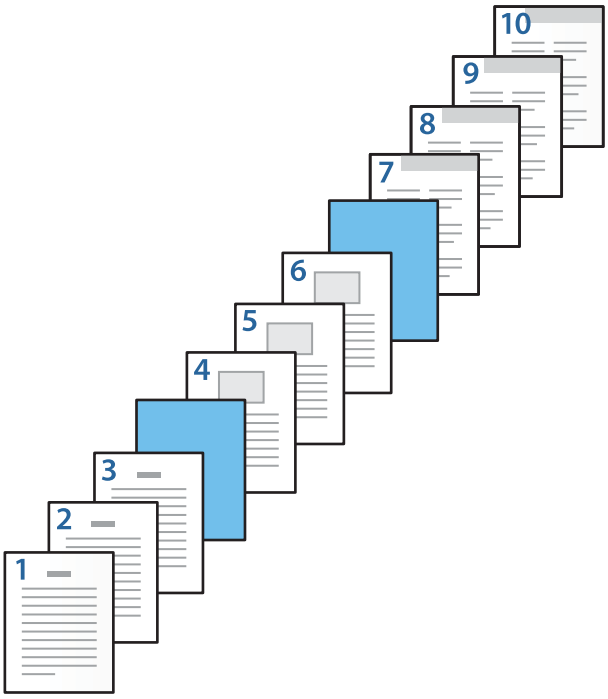
4. ［給紙方法］から［表紙・合紙］を選択します。

5. 表示された画面で［おもて表紙(1枚目)］、［2枚目以降の用紙］、［うら表紙］を設定します。



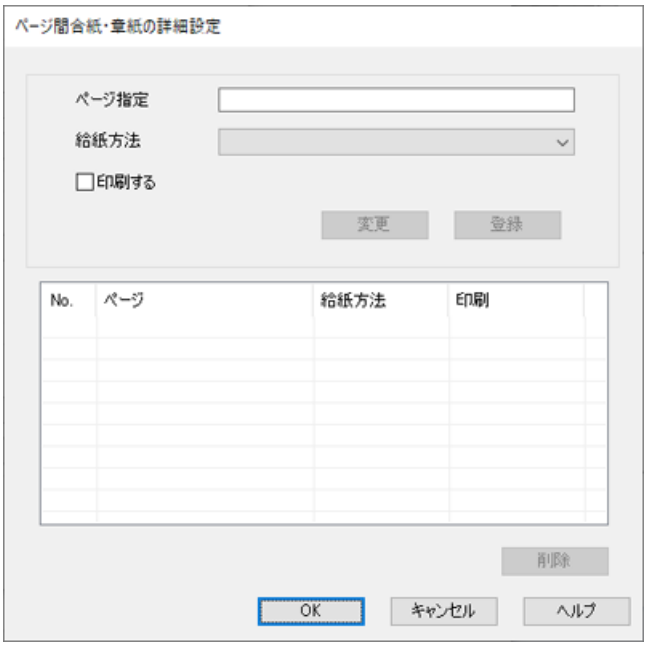
- ［おもて表紙(1枚目)］で1ページ目の給紙方法や印刷するかしないかを設定します。この例の場合は［用紙カセット1］、［印刷する］を選択します。

- ［2枚目以降の用紙］で2～9ページ目に主に使用する給紙方法を設定します。この例の場合、白色の用紙（普通紙）を指定するため、［用紙カセット1］または［1枚目に従う］を選択します。4、7ページの前に合紙を挿入する方法は手順6以降で述べます。



- ［うら表紙］にチェックを入れて、10ページ目の給紙方法や印刷するかしないかを設定します。この例の場合、［用紙カセット1］または［2枚目に従う］、［印刷する］を選択します。

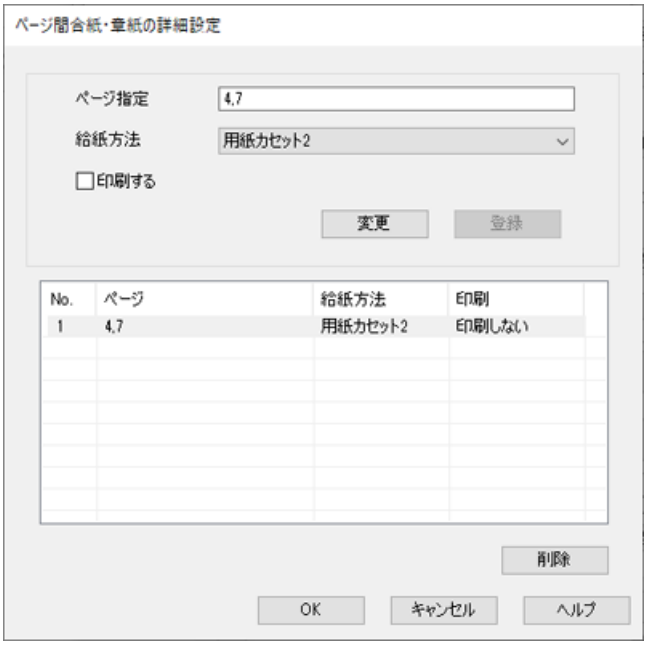
6. 2枚目以降の用紙（2～9ページ目）の詳細設定をします。［ページ間合紙・章紙］にチェックを入れ、［詳細設定］をクリックして詳細設定画面を開きます。



7. 指定したページの前に合紙が挿入されるように［ページ指定］にページを入力します。
［ページ指定］：4,7

8. 合紙をセットした給紙装置を［給紙方法］から選択します。
［給紙方法］：用紙カセット2

9. ［印刷する］にチェックを入れないで［登録］をクリックします。



10. ［OK］をクリックして詳細設定画面を閉じます。続いて［OK］をクリックして表紙・合紙設定画面を閉じます。

11. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

12. ［印刷］をクリックします。

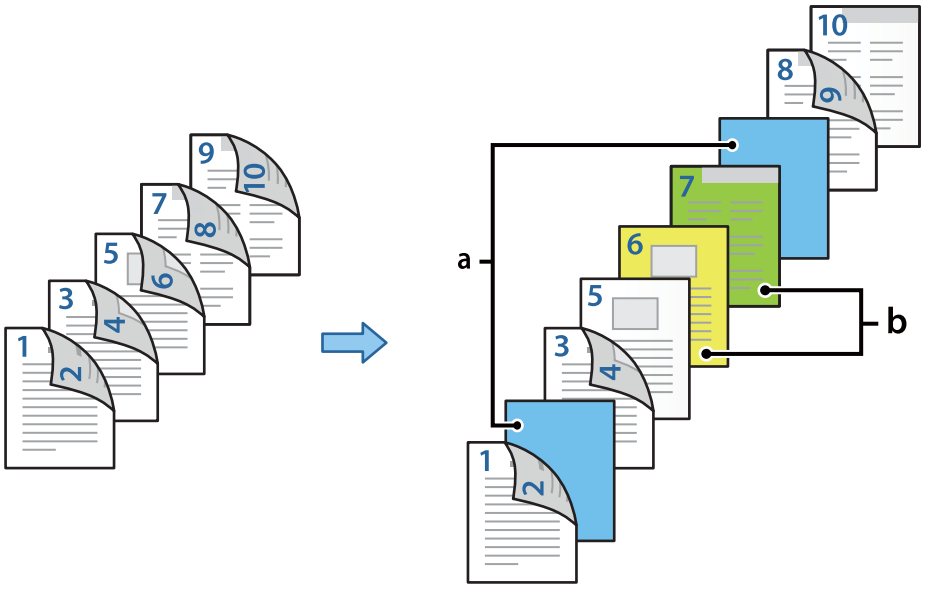
関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ
➡ 「オプション」24ページ

両面印刷の設定でページと給紙装置を指定して合紙の挿入と印刷をする

ページと給紙装置を指定して合紙を挿入したり、印刷したりできます。ここでは例として、図のように 3、8ページの前に合紙を挿入し、6、7ページを異なる色の用紙に印刷する手順を説明します。
なお、合紙と、ページと給紙装置を指定して印刷する用紙を同じページに指定することはできません。また、設定によって片面に印刷されるページがあります。

合紙（下図a）。ページと給紙装置を指定して印刷する用紙（下図b）。

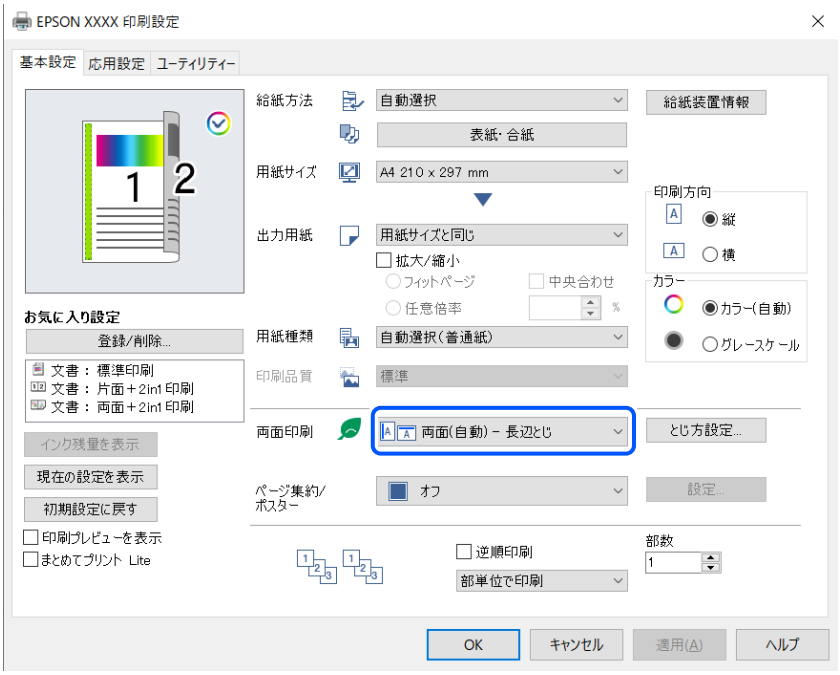


1. ページ間に挿入する合紙と、印刷する用紙をプリンターに以下のようにセットします。

   用紙カセット1：白色の用紙（普通紙）、用紙カセット2：水色の用紙（合紙）、用紙カセット3：黄色の用紙、用紙カセット4：緑色の用紙

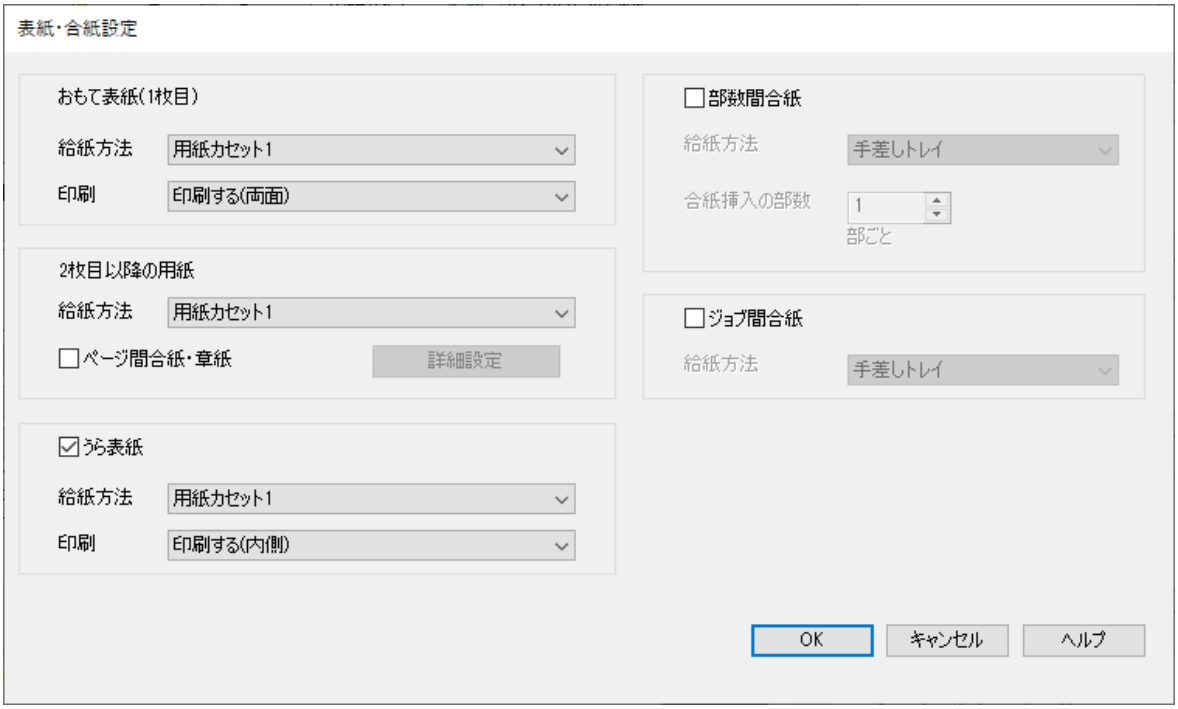
2. コンピューターで印刷するファイルを開きます。

3. プリンタードライバーの画面を表示して、［基本設定］タブの［両面印刷］から［両面(自動) - 長辺とじ］を選択します。



4. ［給紙方法］から［表紙・合紙］を選択します。

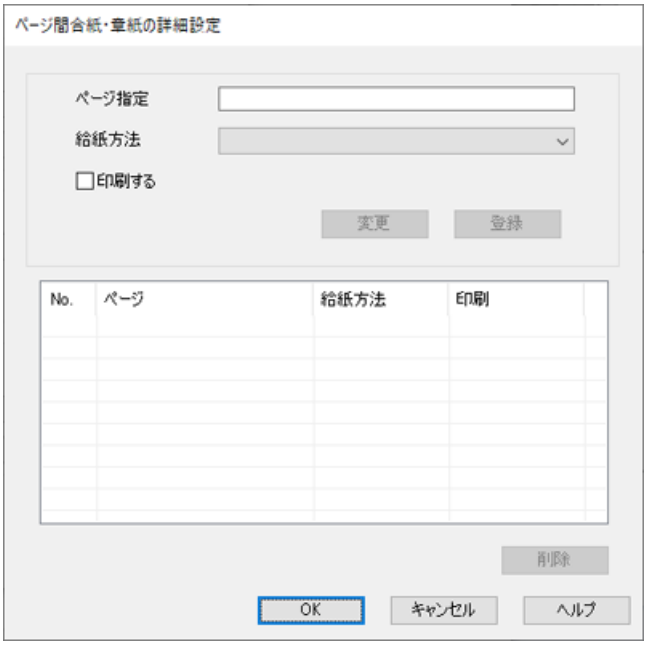
5. 表示された画面で［おもて表紙(1枚目)］、［2枚目以降の用紙］、［うら表紙］を設定します。



- ［おもて表紙(1枚目)］で1～2ページ目の給紙方法や印刷する面を設定します。この例の場合は［用紙カセット1］、［印刷する(両面)］を選択します。
- ［2枚目以降の用紙］で3～9ページ目に主に使用する給紙方法を設定します。この例の場合、3、4、5、8、9ページに白色の用紙（普通紙）を指定するために、［用紙カセット1］または［1枚目に従う］を選択します。3、8ページの前に合紙を挿入する方法と、6、7ページに色の付いた用紙を指定する方法は手順6以降で述べます。

- ［うら表紙］にチェックを入れて、10ページ目の給紙方法や印刷する面を設定します。この例の場合、［用紙カセット1］または［2枚目に従う］、［印刷する(内側)］を選択します。
  ［印刷する(外側)］は用紙の裏側に印刷、［印刷する(内側)］は用紙のおもて側に印刷、［印刷する(両面)］は用紙の両面に印刷します。

6. 2枚目以降の用紙（3~9ページ目）の詳細設定をします。［ページ間合紙・章紙］にチェックを入れ、［詳細設定］をクリックして詳細設定画面を開きます。



7. 指定したページの前に合紙が挿入されるように［ページ指定］にページを入力します。
   ［ページ指定］：3,8

8. 合紙をセットした給紙装置を［給紙方法］から選択します。
   ［給紙方法］：用紙カセット2

9. ［印刷する］にチェックを入れないで［登録］をクリックします。

10. 給紙装置を指定して印刷するページを［ページ指定］に入力します。
    ［ページ指定］：6

11. ページを指定して印刷する用紙をセットした給紙装置を［給紙方法］から選択します。
    ［給紙方法］：用紙カセット3

12. ［印刷する］にチェックを入れて［登録］をクリックします。

13. 次のページ指定と給紙方法の設定を手順10～12の方法で登録します。

［ページ指定］：7、［給紙方法］：用紙カセット4

14. ［OK］をクリックして詳細設定画面を閉じます。続いて［OK］をクリックして表紙・合紙設定画面を閉じます。

15. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。

「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

16. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「用紙をセットする」207ページ
➡ 「簡単な設定で印刷する」222ページ
➡ 「オプション」24ページ

コピー

このプリンターでできるコピー 304

コピー時の基本設定メニュー 315

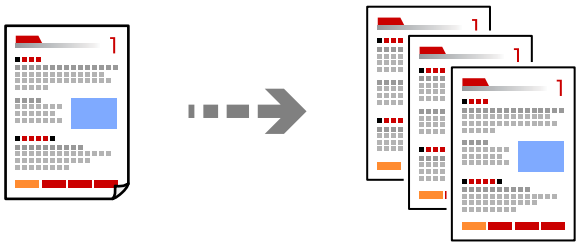
コピー時の応用設定メニュー 317

このプリンターでできるコピー

原稿を原稿台かADFにセットしてから、ホーム画面で［コピー］を選択してコピーします。

コピーする

定形サイズや、不定形サイズの原稿を、カラーまたはモノクロでコピーできます。



1. プリンターに用紙をセットします。
   「用紙をセットする」207ページ
2. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ
3. ホーム画面で［コピー］を選択します。
4. ［基本設定］タブを選択して、［自動］、［カラー］または［モノクロ］を選択します。

参考

- ボックスに原稿を保存する場合は、を選択して、［ボックス保存］を有効にします。
- ［動作設定］で読み取ったデータを印刷するか、保存だけするかを選択します。

5. コピー部数を設定します。
6. ◇をタップします。

両面にコピーする

複数枚の原稿を用紙の両面にコピーします。

1. 読み取る面を上にして、ADFに全ての原稿をセットします。

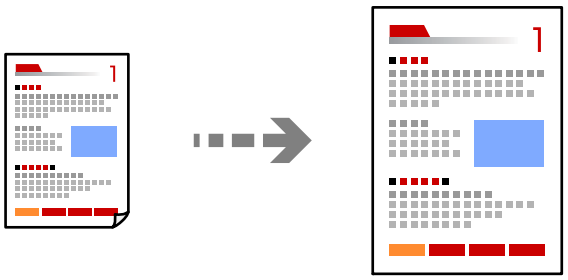
> **重要** ADFに対応していない原稿をコピーしたい場合は、原稿台を使用してください。
> 「ADFにセットできない原稿」217ページ

> **参考** 原稿は原稿台にもセットできます。
> 「原稿のセット」215ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。
3. ［基本設定］タブを選択して、［両面設定］を選択します。実行したい両面メニューを選択してください。
4. 原稿の向きと、原稿や用紙の開き方向などを指定します。
5. ◇をタップします。

拡大または縮小してコピーする

倍率を指定してコピーします。



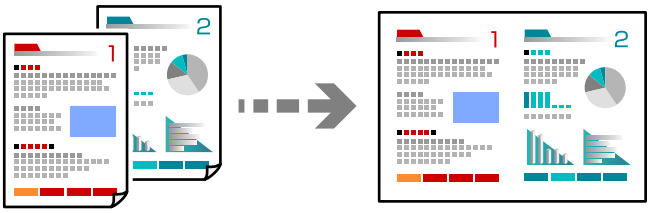
1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ
2. ホーム画面で［コピー］を選択します。
3. ［基本設定］タブを選択して、［倍率］を選択します。

4. 拡大縮小の倍率を指定します。

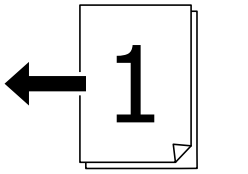
5. ◇をタップします。

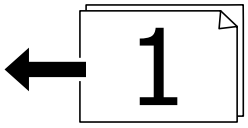
割り付けてコピーする

複数枚の原稿を、1枚の用紙に割り付けてコピーできます。

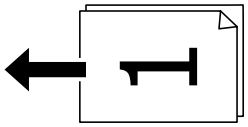


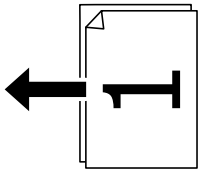
1. 読み取る面を上にして、ADFに全ての原稿をセットします。
   図で示した向きで原稿をセットします。
   - 読める向き





   - 左向き





重要 ADFに対応していない原稿をコピーしたい場合は、原稿台を使用してください。
「ADFにセットできない原稿」217ページ

参考 原稿は原稿台にもセットできます。
「原稿のセット」215ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

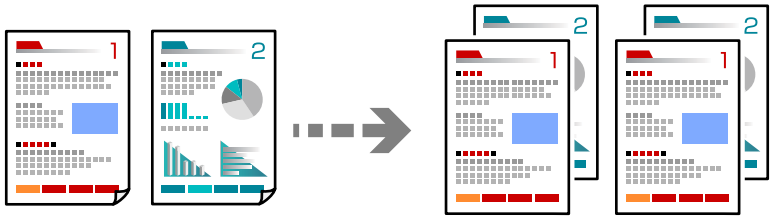
3. ［基本設定］タブを選択し、［ページ集約］を選択して、［2in1］または［4in1］を選択します。

4. 割り付け順や、原稿のセット向きを指定します。

5. ◇をタップします。

ページ順でコピーする

複数ページの原稿を複数部コピーするときに、1部ずつにまとめて排紙できます。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

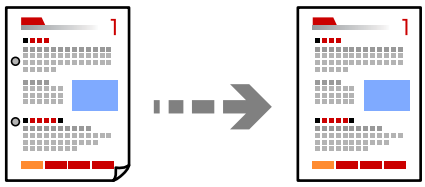
3. ［基本設定］タブを選択して、［仕上げ］-［ソート(1部ごと)］を選択します。

4. コピー部数を設定します。

5. ◇をタップします。

きれいにコピーする

影やパンチ穴を消したり、画質調整をしたりしてきれいにコピーできます。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

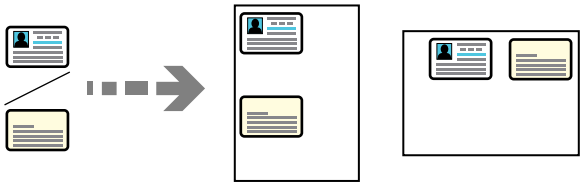
2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

3. ［応用設定］ タブを選択して、［影消し］や［パンチ穴消し］を有効にするか、［詳細画質調整］で画質を調整します。

4. ◇をタップします。

カードをコピーする

IDカードの両面をスキャンし、用紙の片面に並べてコピーします。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

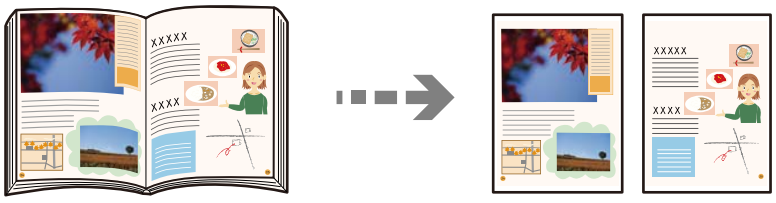
3. ［応用設定］タブを選択し、［IDカードコピー］を選択して、設定を有効にします。

4. ［原稿セット方向］を設定します。

5. ◇をタップします。
画面の指示に従って、原稿の裏面をセットしてください。

冊子をコピーする

冊子など見開きの原稿を1ページずつコピーします。



1. 原稿台に原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

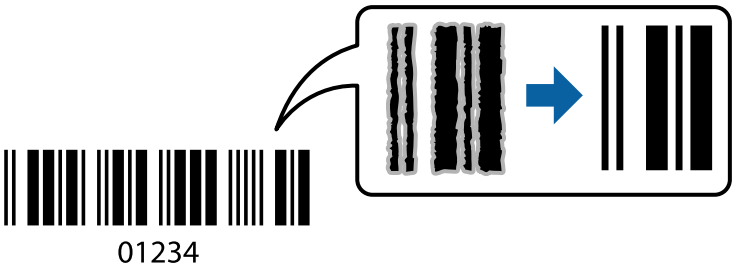
3. ［応用設定］タブを選択し、［見開き→2ページ］を選択して、設定を有効にします。

4. ［読み取り順序］を指定します。

5. ◇をタップします。

バーコードのにじみを抑えてコピーする

インクのにじみを抑えて印刷し、バーコードを読み取りやすくします。コピーしたバーコードがうまく読み取れないときに設定してください。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

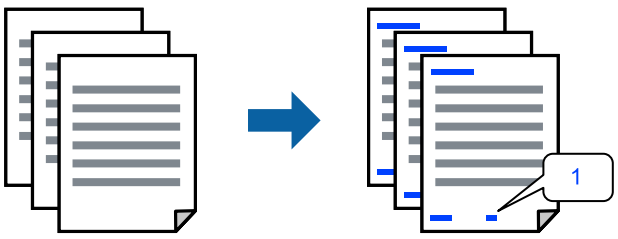
2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

3. ［基本設定］タブを選択して、［原稿種類］-［バーコード］を選択します。

4. ◇をタップします。

ページ番号を付けてコピーする

ページ番号の付いていない原稿でも、ページ番号を付けてコピーできます。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

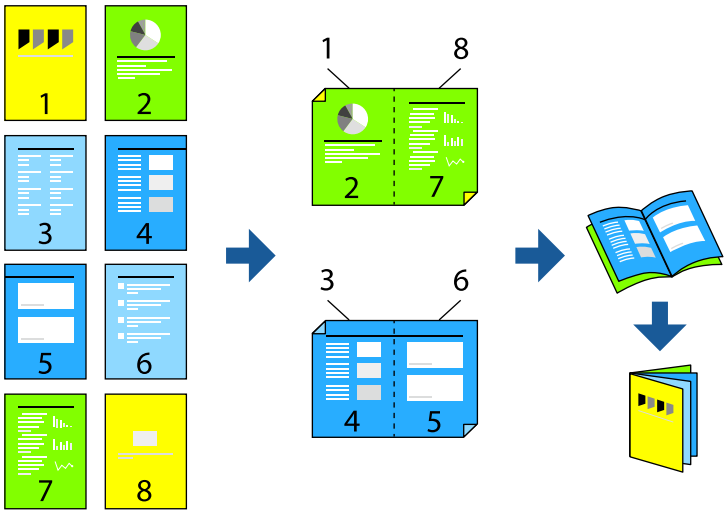
3. ［応用設定］タブを選択して、［ページ印字］を選択します。

4. 設定を有効にして、ページ番号の種類や印字位置などを設定します。

5. ◇をタップします。

製本できるように割り付けてコピーする

原稿をコピーして、製本割り付けして印刷します。おもて表紙やうら表紙を付けることもできます。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

3. ［基本設定］タブを選択します。

4. ［用紙設定］を選択して、用紙をセットした給紙装置を選択し、［OK］を選択します。

5. ［両面設定］を選択し、［両面→両面］または［片面→両面］を選択します。

6. 原稿の向きと、原稿や用紙の開き方向などを必要に応じて設定し、［OK］を選択します。

7. ［倍率］を選択して、拡大縮小の倍率を指定し、［OK］を選択します。

8. ［応用設定］タブを選択し、［製本］ - ［製本割り付け］を選択して、［製本割り付け］を有効にします。

9. とじ位置やとじ幅を設定します。

10. 表紙を付けたいときは、［表紙］を有効にします。
［用紙設定］で表紙用の用紙をセットした給紙装置を選択し、［おもて表紙］や［うら表紙］で表紙の印刷設定をします。

11. ◇をタップします。

コピーした用紙に合紙（仕切り）を挿入する

コピーした用紙に対して、指定した部数やジョブごとに、合紙（仕切り）を挿入できます。
また、ページごとに指定して合紙を挿入したり、指定したページを本文とは違う用紙に印刷したりできます。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ

2. ホーム画面で［コピー］を選択します。

3. ［応用設定］タブを選択して、［表紙・合紙］を選択します。

4. ［合紙］で［ジョブごと］または、［部ごと］を選択して設定を有効にし、必要に応じてその他の設定を変更します。
   ページごとに指定して合紙を挿入したい、指定したページを本文とは違う用紙に印刷したい場合は、［ページごと・章紙］を選択して、挿入ページや用紙設定などの詳細設定をします。
   ［ページごと・章紙］の設定はページごとに保存され、一覧で表示されます。（初期値は［未設定］）
   - 白紙の合紙を挿入する場合
     ［未設定］を選択して合紙を設定します。
     ［合紙・章紙］：
     - ［挿入ページ］：合紙を挿入するページを指定
     - ［印刷］：［オフ］
   - 本文と同じ用紙を合紙に使用する場合
     ［未設定］を選択して合紙を設定します。
     ［合紙・章紙］：
     - ［挿入ページ］：合紙を挿入するページを指定
     - ［挿入紙］：［章紙］
   - 本文と異なる用紙を合紙に使用する場合
     ［合紙の用紙設定］で用紙をセットした給紙装置を選択してから、［未設定］を選択して合紙を設定します。
     ［合紙・章紙］：
     - ［挿入ページ］：合紙を挿入するページを指定
     - ［挿入紙］：［合紙］

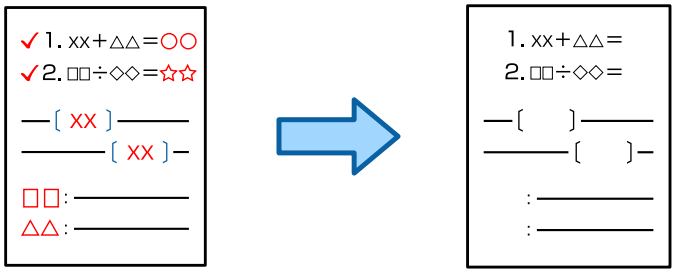
5. コピー部数を設定します。

   参考　［ページごと・章紙］を選択して複数部コピーする場合、［試しコピー］を設定することをお勧めします。先に1部だけコピーし、コピー結果を確認してから、残りの部数をコピーできます。
   「試しコピーをする」314ページ

6. ◇をタップします。

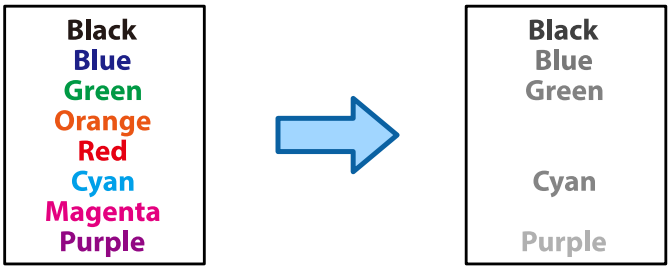
赤色を消去してコピーする

原稿の赤い部分を消してコピーできます。
詳細は以下をご覧ください。
「赤色消去機能の概要」174ページ



重要 この機能は、ライセンスキーを登録すると使用できます。

参考
- カラーモードでカラーを選択した場合、印刷結果はモノクロ調となりますが、カラー印刷としてカウントされます。
- カラーモードで自動を選択した場合、原稿がカラーと判別されたときは、印刷結果がモノクロ調であってもカラー印刷としてカウントされます。
- 原稿によっては赤色消去できないことがあります。また、原稿によっては赤色に近い色（オレンジなど）が消去されたり、薄い黒色に置き換わったりすることがあります。



1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ
2. ホーム画面で［コピー］を選択します。
3. ［応用設定］タブを選択して、［赤色消去］を選択します。

参考 プレビュー画面は赤色消去する前の状態が表示されます。

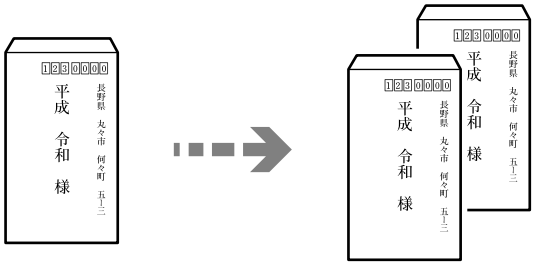
4. ◇をタップします。

関連情報

➡ 「ライセンスキーの登録」167ページ

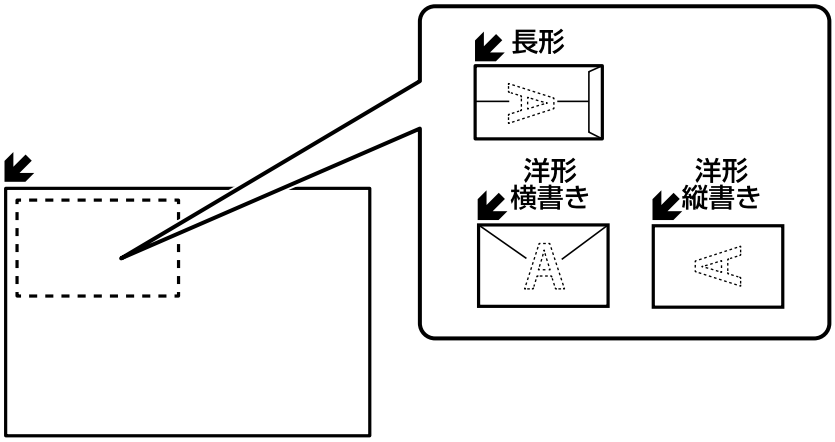
封筒やハガキをコピーする

封筒やハガキをコピーできます。



セット向きに気を付けてください。

- 用紙のセット方法
  以下の関連情報をご覧ください。
  「封筒のセット方法」207ページ
  「ハガキのセット方法」208ページ
- 原稿のセット方法
  原稿台にセットしてください。封筒をセットする場合は図の向きで封筒を置いてください。



登録したグループでコピーする

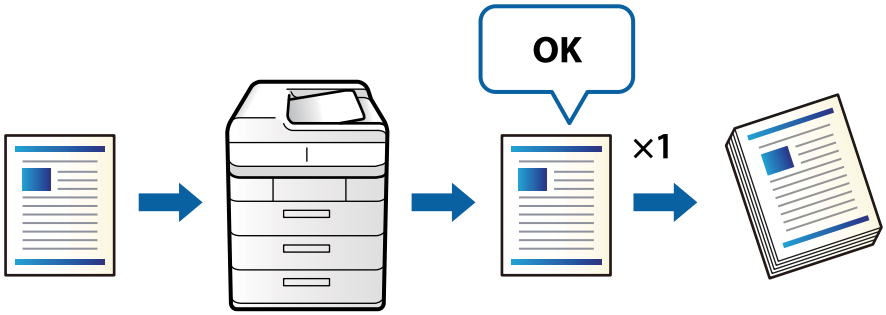
グループ印刷を設定してグループごとにコピーを仕分けできます。詳しくは以下を参照してください。

関連情報

➡ 「登録したグループでコピーする」410ページ

試しコピーをする

複数部コピーするときに、先に1部だけコピーして、コピー結果を確認できます。確認後は、残りの部数を続けてコピーするか、中止するかを選択できるため、大量のミスコピーを未然に防ぐことができます。



1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ
2. ホーム画面で［コピー］を選択します。
3. ［応用設定］タブを選択して、［試しコピー］を選択します。
4. コピー部数を設定します。
5. ◇をタップします。
6. コピー結果を確認して、残りの部数を続けてコピーするか、コピーせずに終了するかを選択します。

割り込みコピーをする

実行中の印刷ジョブを中断して、コピーを割り込んで実行できます。

参考 ただし、コンピューターから新しい印刷データを割り込ませることはできません。

1. 印刷ジョブの実行中に、操作パネルのをタップします。
   印刷が中断され、割り込みモードに移行します。
2. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ
3. ホーム画面で［コピー］を選択します。
4. 必要に応じて［基本設定］と［応用設定］の設定を変更します。
5. ◇をタップします。

中断した印刷ジョブを再開するには、もう一度をタップして割り込みモードを解除します。また、印刷ジョブを中断した後一定時間操作がされないと、割り込みモードは解除されます。

コピー時の基本設定メニュー

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

カラーでコピーするかモノクロでコピーするか選択します。（初期値は［モノクロ］）

- 自動
  原稿をカラーかモノクロか自動で判別してコピーします。
  ただし、原稿によってはモノクロの原稿をカラーと判別したり、カラーの原稿をモノクロと判別したりすることもあります。その場合は、［カラー］または［モノクロ］を選択してコピーするか、判定の度合いを調整することをお勧めします。判定の度合いは、ホーム画面で［設定］ - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［コピーカラー判定］の順に選択すると設定できます。
- カラー
  原稿をカラーでコピーします。
- モノクロ
  原稿をモノクロ（白黒）でコピーします。

濃度：

コピー結果が薄いときは濃度を上げます。こすれが発生するときは濃度を下げます。（初期値は ±0、最大値は±4）

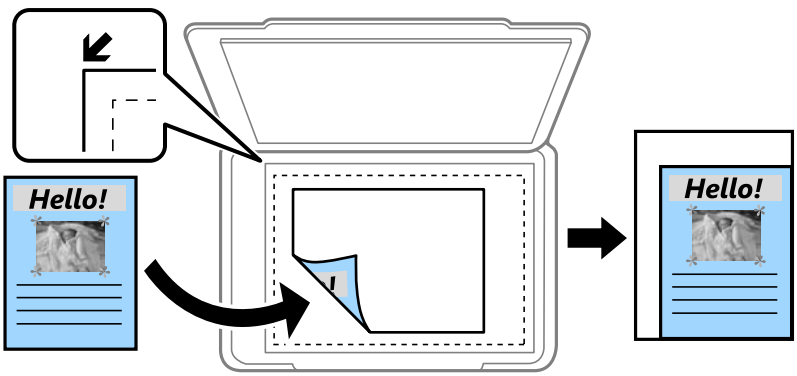
用紙設定：

使用する給紙装置を選択します。［自動］を選択すると、自動で検出された原稿サイズと、設定した倍率から、最適な用紙サイズを自動で給紙します。（初期値は［自動］）

倍率：

拡大または縮小コピーの倍率を設定します。任意の倍率（25～400%）を、数値をタップして指定してください。（初期値は［等倍］）

- 自動
  原稿の読み取り範囲を自動で検出して、用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小します。原稿の周囲に余白がある場合、原点（ ）からの余白部分はスキャン範囲に含まれますが、原点から反対側の余白部分は切り取られることがあります。



- 小さめフィット
  スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。
- たてよこ独立変倍(mm)
  用紙の縦の長さと横の長さを指定して、拡大または縮小します。
- たてよこ独立変倍(%)
  原稿の縦と横とで異なる倍率を指定して、拡大または縮小します。
- 等倍
  100%の倍率でコピーします。
- A4→A5など
  定形サイズの原稿（スキャン範囲）を、定形サイズの用紙に合わせた倍率で拡大または縮小します。

原稿種類：

原稿の種類を選択します。原稿の種類に合わせて最適な品質でコピーします。（初期値は［文字・写真］）

両面設定：

両面コピーのレイアウトを選択します。（初期値は［片面→片面］）

- 片面→片面
  原稿の片面を用紙の片面にコピーします。
- 両面→両面
  両面の原稿を、1枚の用紙の両面にコピーします。原稿の向きと原稿と用紙の開き方向を選択します。
- 片面→両面
  2枚の原稿の片面を、1枚の用紙の両面にコピーします。原稿の向きと用紙の開き方向を選択します。
- 両面→片面
  両面の原稿を、2枚の用紙に片面ずつコピーします。原稿の向きと原稿の開き方向を選択します。

ページ集約：

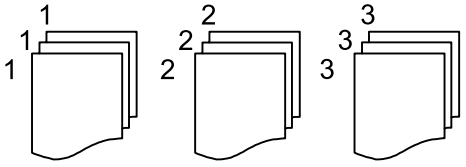
コピーのレイアウトを選択します。（初期値は［しない］）

- しない
  1ページの原稿を、1枚の用紙にコピーします。
- 2in1
  2枚の原稿を、1枚の用紙に2面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿の向きを選択します。
- 4in1
  4ページの原稿を、1枚の用紙に4面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿の向きを選択します。

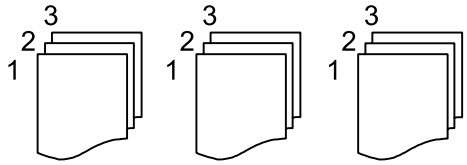
仕上げ：

複数ページの原稿を複数部コピーするときの排紙方法を選択します。（初期値は［グループ(ページごと)］）

- グループ(ページごと)
  ページごとにまとめてコピーします。



- ソート(1部ごと)
  1部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。



コピー時の応用設定メニュー

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

製本：

製本割り付け

コピー結果を製本割り付けして排紙するときの設定をします。

- 製本割り付け
  有効にすると製本割り付けして印刷します。（初期値は［オフ］）
- 開き方向
  用紙の開き方向を設定します。
- 中とじしろ
  中とじしろ量を設定します。0～50mmの中で1mm単位で調整できます。
- 表紙
  有効にすると製本したコピー結果に表紙を付けられます。
- 用紙設定
  表紙用の用紙をセットした給紙装置を選択します。
- おもて表紙
  おもて表紙の印刷設定をします。おもて表紙に印刷したくない場合は、［印刷しない］を選択します。
- うら表紙
  うら表紙の印刷設定をします。うら表紙に印刷したくない場合は、［印刷しない］を選択します。

表紙・合紙：

表紙：

表紙を付けてコピーするときの設定をします。

- おもて表紙
  有効にするとおもて表紙を付けて排紙できます。表紙用の用紙をセットした場合は、［用紙設定］で用紙をセットした給紙装置を選択します。おもて表紙に印刷したくない場合は、［印刷面］で［印刷しない］を選択します。
- うら表紙
  有効にするとうら表紙を付けて排紙できます。表紙用の用紙をセットした場合は、［用紙設定］で用紙をセットした給紙装置を選択します。うら表紙に印刷したくない場合は、［印刷面］で［印刷しない］を選択します。

合紙：

合紙を挿入してコピーするときの設定をします。

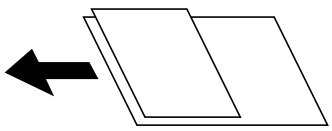
- ジョブごと
  有効にすると、コピーのジョブごとに合紙を挿入して排紙できます。合紙用の用紙をセットした場合は、［用紙設定］で用紙をセットした給紙装置を選択します。（初期値は［オフ］）
- 部ごと
  有効にすると、部単位で合紙を挿入して排紙できます。合紙用の用紙をセットした場合は、［用紙設定］で用紙をセットした給紙装置を選択します。［挿入間隔(部)］で、挿入間隔を設定できます。（初期値は［オフ］）
- ページごと・章紙
  合紙や章紙を挿入するページを設定できます。設定値は保存され一覧で表示されます。一覧から設定を選択すると、設定の詳細が確認できます。また、設定の編集や削除もできます。

原稿サイズ：

原稿のサイズを選択します。［自動検知］を選択すると、原稿サイズが自動で検出されます。不定形サイズの原稿をコピーするときは、［ユーザー定義サイズ］を選択して、原稿サイズを指定してください。（初期値は［自動検知］）

原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A4とA5）原稿は、混在してADFにセットできます。混在しても原稿と同じサイズの用紙に印刷します。セットするときは、図のように用紙の幅をそろえてセットしてください。（初期値は［オフ］）



原稿セット方向

原稿の向きを選択します。（初期値は［左向き］）

見開き→2ページ：

冊子など見開きの原稿を1ページずつコピーします。（初期値は［オフ］）
スキャンする順番を選択します。（初期値は［右ページ→左ページ］）

連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のコピーとして実行できます。

詳細画質調整：

画質の設定を調整します。（初期値は［±0］）

- コントラスト
  明るい部分と暗い部分の差を調整します。
- 鮮やかさ
  色の鮮やかさを調整します。
- 色調補正 レッド、色調補正 グリーン、色調補正 ブルー
  各色の濃さを調整します。

- シャープネス
  画像の輪郭を調整します。
- 色相調整
  肌の色味を調整します。＋をタップすると冷たく（グリーンが増す）、－をタップすると温かく（レッドが増す）なります。
- 背景除去
  背景色の濃さを選択します。+をタップすると明るく（白く）、-をタップすると暗く（黒く）なります。
  ［自動］にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。（初期値は［オン］）

とじしろ：

原稿のとじ位置、とじ幅、原稿の向きを選択します。本製品の仕様により、用紙の端から3mm以内にコピーすることはできません。このため、とじしろを3mm以下に設定しても、実際には3mmの余白が生じます。
とじしろの作り方は以下の3つから選択してください。（初期値は［オフ］）

- とじ幅
  とじ幅設定した分だけ画像をずらしてコピーします。とじしろと反対側の用紙からはみ出た画像は印刷されません。

- 小さめフィット
  スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、とじしろ設定した分だけ画像が縮小されてコピーします。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。

- とじしろ画像消去
  とじしろ部分の画像を消去してとじしろ幅を確保します。

小さめフィット：

スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。（初期値は［オフ］）

影消し：

冊子をコピーしたときに中央部に出る影や、厚い原稿をコピーしたときに周りに出る影を消します。（初期値は［オフ］）

パンチ穴消し：

パンチ穴の影を消してコピーします。（初期値は［オフ］）

IDカードコピー：

IDカードの両面をスキャンし、用紙の片面に並べてコピーします。（初期値は［オフ］）

試しコピー：

複数部コピーするときに、1部だけコピーして結果を確認してから、残りをコピーできます。（初期値は［オフ］）

スタンプ：

- スタンプ
  ［オン］を選択すると、コピー結果にスタンプを印字します。（初期値は［オフ］）
- 種類
  スタンプの種類を選択します。
- 印字位置
  スタンプの印字位置を選択します。
- ページ指定
  スタンプを印字するページを選択します。
- 印字サイズ設定
  スタンプの印字サイズを選択します。
- 印字色
  スタンプの色を選択します。
- 透かし
  スタンプを透かしにするかを選択します。

日付印字：

- 日付印字
  ［オン］を選択すると、コピー結果に日付を印字します。（初期値は［オフ］）
- 日付表示形式
  日付の表示形式を選択します。
- 印字位置
  日付を印字する位置を選択します。
- 印字サイズ設定
  日付の印字サイズを選択します。
- 背景
  日付部分の背景を白にするか、選択します。白以外の原稿に日付を印字する場合、［白］を選択すると日付がはっきりと見えます。

ページ印字：

- ページ印字
  ［オン］を選択すると、コピー結果にページ番号を印字します。（初期値は［オフ］）
- 種類
  ページ番号の種類を選択します。
- 印字位置
  ページ番号を印字する位置を選択します。
- ページ指定
  ページ番号を印字するページを指定できます。［指定ページ～最終ページ］を選択すると、任意のページから最終ページまで、ページ番号を印刷します。［印字開始数字］では、ページ番号の印字開始番号を指定できます。
- 印字サイズ設定
  ページ番号の印字サイズを選択します。
- 背景
  ページ番号部分に白背景を追加できます。［白］を選択すると色の濃い用紙などに印字するときに、ページ番号が見やすくなります。

ボックス保存：

読み取ったデータをボックスに保存できます。（初期値は［オフ］）

- 動作設定：
  読み取ったデータを印刷するのか保存だけするのか選べます。
- 保存先ボックス(必須項目)：
  データを保存するボックスを選択します。
- 文書名：
  文書の名前を設定します。
- 文書パスワード：
  ファイルを選択するためのパスワードを設定します。
- ユーザー名：
  ユーザー名を設定します。

グループ印刷：

グループごとにコピーを仕分けする設定を有効にします。部数や組数、仕上げ方法を設定できます。（初期値は［オフ］）

赤色消去：

原稿の赤い部分を消してコピーします。（初期値は［オフ］）

スキャン

このプリンターでできるスキャン 323

スキャンの設定メニューの説明 332

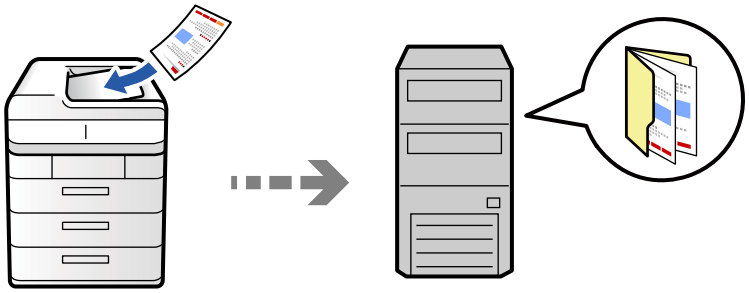
e-文書法および電子帳簿保存法に適合したスキャン 335

このプリンターでできるスキャン

このプリンターでは、以下の方法でスキャンができます。

原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する

スキャンした画像を、事前に設定したネットワーク上のフォルダーに保存できます。



スキャンする前に以下を確認してください。

- 事前にネットワークフォルダーを準備してください。ネットワークに共有フォルダーを作成するときは、以下を参考にしてください。
  「共有フォルダーの作成」69ページ
- 事前にネットワークフォルダーのパスをアドレス帳に登録することをお勧めします。
  「アドレス帳の登録」90ページ

参考 事前にプリンターの［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ
2. 操作パネルで［スキャン］-［To ネットワークフォルダー］の順に選択します。
3. 保存先を指定します。

- 常用登録した宛先を選択する：［常用］タブに登録されている宛先を選択します。
- キーボードで入力する：［直接入力］を選択します。［通信モード］を選択し、［保存先(必須項目)］に保存先を入力します。必要に応じてその他を設定します。
  保存先は、以下の書式で入力します。
  通信モードがSMBの場合（コンピューター上の共有フォルダーを使用）：￥￥ホスト名（コンピューター名）￥フォルダーパス
  通信モードがFTPの場合（FTPサーバーを使用）：ftp://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
  通信モードがFTPSの場合（FTPSサーバーを使用）：ftps://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
  通信モードがWebDAV（HTTPS）の場合：https://ホスト名/フォルダーパス
  通信モードがWebDAV（HTTP）の場合：http://ホスト名/フォルダーパス
- アドレス帳から選択する：［宛先］タブを選択し、登録されている宛先を選択します。

  を選択すると、表示する宛先のカテゴリーを選択して絞り込み表示できます。

  宛先を検索するには、 を選択してください。

参考　［メニュー］をタップすると、フォルダー保存の履歴を印刷できます。

4. **［スキャン設定］を選択して保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。**

「スキャンの設定メニューの説明」332ページ

参考
- を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。
- を選択すると、ユーザー設定値に戻ります。
- スキャンした画像をボックスに保存するには、［ボックス保存］を選択して保存設定をします。画像をボックスのみに保存するかどうか、［動作設定］で設定します。
  ボックスのみに保存するときは、宛先を指定する必要はありません。

5. **◈ をタップします。**

フォルダー保存の宛先設定項目

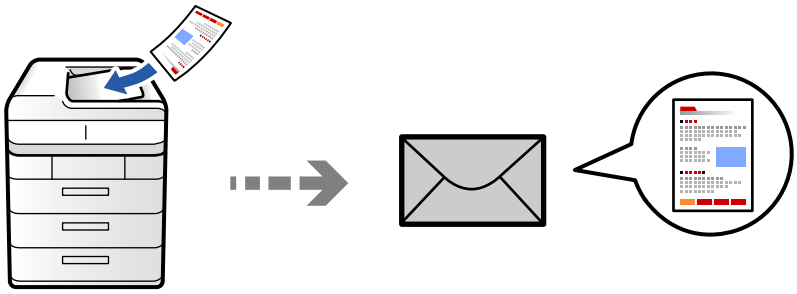
保存先編集：

保存先フォルダーのパスおよびその他の項目を設定します。

- 通信モード：
  フォルダーの通信モードを選択します。
- 保存先(必須項目)：
  スキャンした画像を保存するフォルダーのパスを入力します。
  ［参照］を選択すると、ネットワークに接続されたコンピューター上のフォルダーを検索できます。
  ［参照］は、［通信モード］がSMBに設定されているときのみ使用できます。
  アルファベット、数字、記号を入力するときは、半角文字と全角文字を正しく指定してください。 半角文字と全角文字の設定が間違っていると、共有フォルダーに保存できません。
- ユーザー名：
  指定したフォルダーにログオンするユーザー名を入力します。
- パスワード：
  ユーザー名に対応するパスワードを入力します。
- 接続モード：
  フォルダーの接続モードを選択します。
- ポート番号：
  フォルダーのポート番号を入力します。
- プロキシサーバー使用設定：
  プロキシーサーバーを使うかどうかを選択します。

原稿をスキャンしてメールに添付する

スキャンした画像を、事前に設定したメールサーバーを経由して、プリンターから直接メールで送信できます。



スキャンする前に以下の設定が必要です。

- メールサーバーを設定してください。
  「メールサーバーを設定する」65ページ
- 事前に宛先のメールアドレスをアドレス帳に登録することをお勧めします。アドレス帳から選ぶだけで、宛先を素早く指定できます。
- 事前にプリンターの［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。

1. **原稿をセットします。**
   「原稿のセット」215ページ

2. **操作パネルで［スキャン］-［To メール］の順に選択します。**

3. 宛先を指定します。

- 常用登録した宛先を選択する：［常用］タブに登録されている宛先を選択します。
- キーボードで入力する：［直接入力］を選択して宛先を入力し、［OK］を選択します。
- アドレス帳から選択する：［宛先］タブを選択し、登録されている宛先を選択します。

  を選択すると、表示する宛先のカテゴリーを選択して絞り込み表示できます。

  宛先を検索するには、 を選択してください。
- 履歴から選択：［常用］タブの を選択し、履歴から宛先を選択します。

参考
- 選択した宛先の数が画面の右側に表示されます。メールは最大10件の宛先（アドレスまたはグループ）に送信できます。
  宛先にグループが含まれるときは、グループ内のアドレスも合計して最大200件のアドレスに送信できます。
- 画面上部の宛先欄をタップすると、選択したアドレスの一覧を確認できます。
- ［メニュー］を選択すると、送信履歴を表示または印刷したり、メールサーバーの設定を変更したりできます。

4. ［スキャン設定］を選択して保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。

「スキャンの設定メニューの説明」332ページ

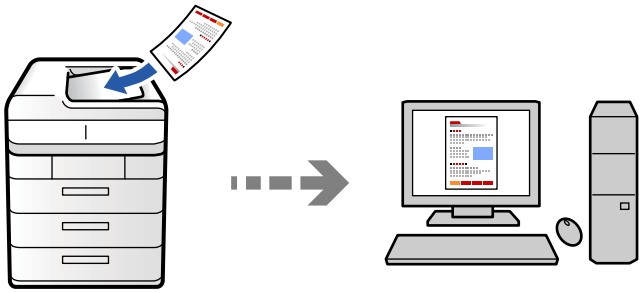
参考

- ★ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。
- ／ を選択すると、ユーザー設定値に戻ります。
- スキャンした画像をボックスに保存するには、［ボックス保存］を選択して保存設定をします。画像をボックスのみに保存するかどうか、［動作設定］で設定します。
  ボックスのみに保存するときは、宛先を指定する必要はありません。

5. ◇ をタップします。

原稿をスキャンしてコンピューターに保存する

スキャンした画像を、接続しているコンピューターに保存できます。



スキャンした画像を、ネットワークで接続しているコンピューターに保存できます。
保存方法（ジョブ）は、コンピューター上のスキャンソフトウェア「Document Capture Pro」に登録されています。スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブがあらかじめ登録されています。Document Capture Proを使って、新しいジョブを登録することもできます。

参考 スキャンする前に以下の設定が必要です。

- お使いのコンピューターに以下のソフトウェアをインストールする。
  - Document Capture Pro
  - Epson Scan 2（スキャナーを動作させるために必要なソフトウェア）

  インストールされているソフトウェアを確認するためには、以下を参照してください。
  Windows 11：スタートボタンをクリックし、［すべてのアプリ］-［Epson Software］フォルダーに［Document Capture Pro］があること、および［EPSON］フォルダーに［Epson Scan 2］があることを確認します。
  Windows 10：スタートボタンをクリックし、［Epson Software］フォルダーに［Document Capture Pro］があること、および［EPSON］フォルダーに［Epson Scan 2］があることを確認します。
  Windows 8.1/Windows 8：検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを確認します。
  Windows 7：スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］を選択します。次に、［Epson Software］フォルダーに［Document Capture Pro］があること、および［EPSON］フォルダーに［Epson Scan 2］があることを確認します。
  Mac OS：［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］の順に選択します。
- お使いのコンピューターをネットワークに接続する。
- Windows ServerでDocument Capture Pro Serverをお使いのときは、Web Configまたはプリンターの操作パネルで［動作モード］を［サーバーモード］に設定してください。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ
2. 操作パネルで［スキャン］-［To コンピューター］の順に選択します。
3. ［コンピューターを選択してください。］を選択して、Document Capture Proがインストールされたコンピューターを選択します。

   参考
   - 操作パネルには、Document Capture Proがインストールされたコンピューターが最大110台表示されます。
   - 動作モードを［サーバーモード］にしているときは、この手順は必要ありません。
4. ジョブを選択します。
5. ジョブ内容が表示されている部分を選択して、ジョブの詳細を確認します。
6. ◈ をタップします。
   コンピューターが自動でDocument Capture Proを起動して、スキャンが始まります。

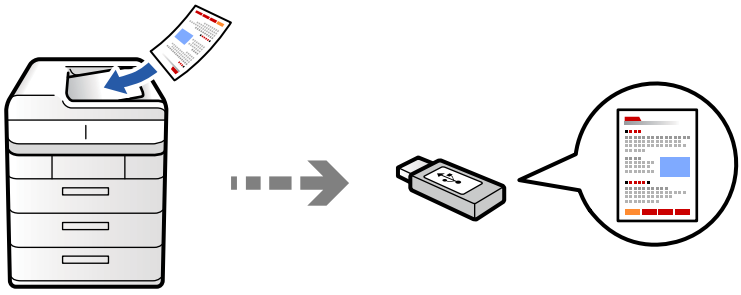
   参考
   - 新規ジョブの作成や登録など、ソフトウェアの詳しい使い方はDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。
   - プリンターの操作パネルからだけでなく、コンピューターからもDocument Capture Proを使ってスキャンできます。詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ 「Document Capture Pro Serverを使う」121ページ

原稿をスキャンして外部メモリーに保存する

プリンターに外部メモリーを接続して、スキャンした画像を、直接外部メモリーに保存できます。



スキャンした画像を外部メモリーに保存できます。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ
2. プリンターに外部メモリーをセットします。
   「USB接続機器をセットする」219ページ

3. 操作パネルで［スキャン］-［To 外部メモリー］の順に選択します。

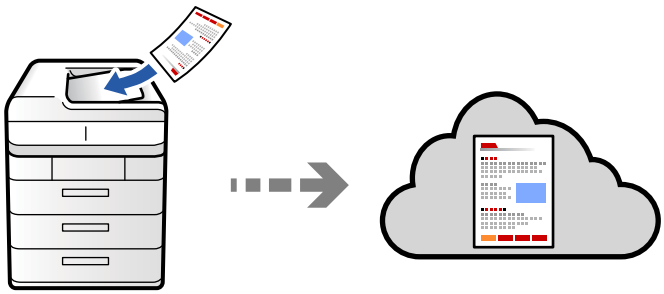
4. スキャン設定をします。
「スキャンの設定メニューの説明」332ページ

- を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。
- を選択すると、ユーザー設定値に戻ります。
- スキャンした画像をボックスに保存するには、［ボックス保存］を選択して保存設定をします。画像をボックスのみに保存するかどうか、［動作設定］で設定します。

5. ◇ をタップします。

原稿をスキャンしてクラウドに転送する

事前に設定したクラウドサービスに、操作パネルを使って、スキャンした画像をそのまま転送できます。



Epson Connectを利用して、スキャンした画像をクラウドサービスにアップロードします。Evernote、Google Drive、Dropboxなどを宛先にできます。
この機能を使う前に、Epson Connectの設定をしておいてください。Epson Connectについて、詳しくは以下のポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

2. 操作パネルで［スキャン］-［To クラウド］の順に選択します。

3. 画面上部の［宛先を選択してください。］を選択して、宛先を選択します。

4. スキャン設定をします。

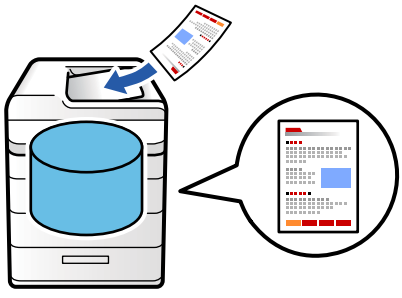
「スキャンの設定メニューの説明」332ページ

- ★ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。
- ⁄⁄ を選択すると、ユーザー設定値に戻ります。
- スキャンした画像をボックスに保存するには、［ボックス保存］を選択して保存設定をします。画像をボックスのみに保存するかどうか、［動作設定］で設定します。
  ボックスのみに保存するときは、宛先を指定する必要はありません。

5. ◈ をタップします。

原稿をスキャンしてボックスに保存する

スキャンした画像を、プリンターのボックスに保存できます。



ボックス機能について、詳しくは以下を参照してください。

「ボックスを利用する」392ページ

1. 原稿をセットします。

「原稿のセット」215ページ

2. 操作パネルで［スキャン］-［To ボックス］の順に選択します。

3. 保存先を指定します。

4. ［スキャン設定］タブをタップして設定を確認し、必要に応じて変更します。
「スキャンの設定メニューの説明」332ページ

参考
- ★ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。
- を選択すると、ユーザー設定値に戻ります。

5. ◈ をタップします。

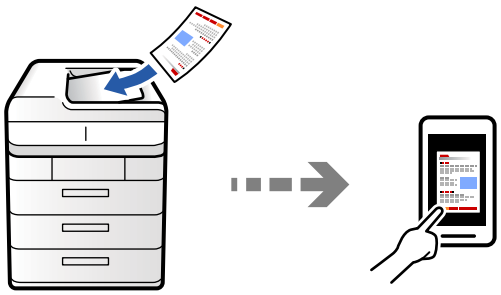
Mopria Scanを使ってスキャンする

Mopria Scanを使うと、多くのMopria認定の複合機やスキャナーから無線でスキャンできます。Androidスマートフォンやタブレットからの無線スキャンは、Google PlayストアのMopria Scanアプリを使用して実行できます。

詳しくはhttps://mopria.orgの使い方のページをご覧ください。

原稿をスキャンしてスマートデバイスに保存する

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスでEpson Smart Panelを使うと、スキャンした画像を直接スマートデバイスに保存できます。



参考 スキャンする前に、Epson Smart Panelでプリンターとスマートデバイスを接続してください。

1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

2. スマートデバイスでEpson Smart Panelを起動します。

3. ホーム画面でスキャンのメニューを選択します。

4. 画面の指示に従い、スキャンした画像を保存します。

スキャンの設定メニューの説明

設定できる項目は、保存先および他の設定により異なります。

カラーモード：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

ファイル形式：

保存形式を選択します。（初期値は［PDF］）

ページ設定：

保存形式にPDF、PDF/A、高圧縮PDF、高圧縮PDF/A、またはTIFFを指定したときは、全ての原稿を1つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択できます。（初期値は［マルチページ］）

圧縮率：

スキャン画像の圧縮率を選択します。（初期値は［標準圧縮］）

PDF設定：

保存形式をPDFにすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。（初期値は［設定しない］）

OCR：

スキャンした画像を検索可能なPDFとして保存できます。これは、検索ができる文字情報が埋め込まれたPDFです。（初期値は［オフ］）
原稿の文字はOCR（光学文字認識）機能を使って認識され、スキャンした画像に埋め込まれます。
この機能は、［To コンピューター］、［To クラウド］、［To ボックス］、および［ボックス to クラウド 機能］では使用できません。

参考 原稿によっては、文字を正しく認識できないことがあります。

- 言語：スキャンする原稿の言語を選択します。
- ページ向き：ページを保存する向きを選択します。［自動正立］を選択すると、認識した文字の向きに合わせて自動的に回転させます。

「OCR オプションの概要」178ページ

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。
- 開き方向(原稿)：
  原稿のとじ位置を選択します。

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。［最大範囲］を選択すると、原稿台の全ての領域をスキャンします。（初期値は［自動検知］）

- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

原稿種類

原稿の種類を選択します。（初期値は［文字］）

原稿セット方向：

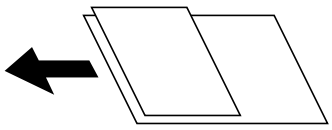
原稿の向きを選択します。（初期値は［左向き］）

原稿サイズ混載：

以下の原稿は、混在させてADFにセットできます。

- A4とA5

混在させても原稿と同じサイズにスキャンします。セットするときは下図のようにセットしてください。（初期値は［オフ］）



濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

背景除去：

背景色の濃さを調整します。＋をタップすると明るく（白く）、－をタップすると暗く（黒く）なります。［自動］にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。（初期値は［自動］）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅：
  スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。［おもてうら個別］を選択すると、原稿の両面をスキャンするとき、裏側の影消し範囲を設定します。
- 中央幅：
  スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置：
  パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向：
  原稿の向きを選択します。

白紙ページスキップ：

原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。（初期値は［オフ］）
思った通りの結果にならない場合は、検知レベルを調整します。

参考 白紙ページとして誤ってスキップされる場合があります。

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は［オフ］）

ボックス保存：

スキャンした画像をボックスに保存します。（初期値は［オフ］）

- 動作設定：
  スキャンした画像を、指定した宛先とボックスの両方に保存するか、ボックスのみに保存するかを選択します。
- 保存先ボックス(必須項目)：
  スキャンした画像を保存するボックスを選択します。
- 文書名：
  スキャンした画像のファイル名を設定します。
- 文書パスワード：
  ファイルを選択するためのパスワードを設定します。
- ユーザー名：
  ユーザー名を設定します。

赤色消去：

スキャンした画像から、赤い部分を消去します。（初期値は［オフ］）
この機能は、［To コンピューター］、［ボックス to 外部メモリー 機能］、［ボックス to メール 機能］、［ボックス to ネットワークフォルダー 機能］、および［ボックス to クラウド 機能］では使用できません。
「赤色消去機能の概要」174ページ
「赤色消去機能を使用する」175ページ

件名：

メールの件名を半角英数字または記号で入力します。

添付最大ファイルサイズ：

メールに添付するファイルの最大サイズを選択します。（初期値は5 MB）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
  画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（初期値は［未入力］）
- 日付を入れる：
  ファイル名に日付を追加します。（初期値は［オン］）
- 時刻を入れる：
  ファイル名に時間を追加します。（初期値は［オン］）

メールの暗号化：

Eメールを暗号化して送信します。（初期値は［オフ］）

デジタル署名：

メールに電子署名を追加します。（初期値は［オフ］）

文書名：

文書名を設定します。

文書パスワード：

文書を選択するためのパスワードを設定します。（初期値は［未入力］）

ユーザー名：

ユーザー名を設定します。（初期値は［未入力］）

e-文書法および電子帳簿保存法に適合したスキャン

本製品では、以下のe-文書法および電子帳簿保存法の要件を満たした設定でスキャンできます。

解像度	200 dpi以上	
階調	重要書類	24 bit （RGB各色8 bit）
	一般書類	24 bit （RGB各色8 bit）または8 bitグレースケール
保存形式	PDF、JPEG、TIFF、BMP	
画質	• 改ざん痕を検出できる階調 • 4ポイントの文字を認識できる	

スキャンの設定方法

操作パネルからスキャンする場合：

［カラーモード］で、［e-文書(カラー)］または［e-文書(モノクロ)］を選択してからスキャンしてください。

コンピューターからスキャンする場合：

Epson Scan 2 の画面の［お気に入り設定］で、［e-文書（カラー）］または［e-文書（グレー）］を選択してからスキャンしてください。

参考 保存形式などを変更するときは、e-文書法または電子帳簿保存法の要件を満たしていることを確認してください。

電子化文書作成時の注意

電子化文書作成時には、以下の点を必ずご確認ください。

- 本製品は、e-文書法および電子帳簿保存法に適合した設定でスキャンできますが、スキャンしただけでは適正な電子化文書として認められません。必ず各法令およびガイドラインに従ってスキャンしたデータを管理、運用してください。
- スキャンした画像を必ず目視で確認してください。
  - 文字や画像などが欠けたりぼやけたりしていないこと
  - ページ抜けがないこと
- スキャンした画像データの加工・修正は行わないでください。
- 国税関係書類を電子化文書として保存して紙原本を廃棄するためには、法令に従い、対応するシステム、業務規程作成、運用管理などの法的要件を満たした上で、事前に所轄税務署の承認を得る必要があります。
- 法令などは予告なく変更される場合があります。必ず事前にご自身で確認してください。

関連情報

➡ 「スキャナーを制御するソフトウェア（Epson Scan 2）」523ページ

ファクス（ファクス対応機のみ）

ファクスを使う前に 338

ファクス機能の紹介 338

プリンターからファクスを送信する 346

プリンターでファクスを受信する 355

ファクスメニューの説明 363

ファクスボックスメニューの説明 369

ファクスのジョブ状態や履歴を確認する 381

コンピューターからファクスを送信する 383

コンピューターでファクスを受信する 388

IPファクス 390

ファクスを使う前に

ファクスを使うには、ファクスプラン契約が必要です。お使いのプリンターがファクス使用可能かどうか、保守サービス実施店にご確認ください。

設定を確認したいときは、［ファクス機能設定リスト］でファクスの設定状態を印刷します。［ファクス］- ☰（メニュー）-［ファクスレポート印刷］-［ファクス機能設定リスト］の順に選択してください。プリンターの管理者がいる場合、プリンターの設定状態や接続状態は管理者にお問い合わせください。

ファクスを使用する前に、以下が完了しているか確認してください。

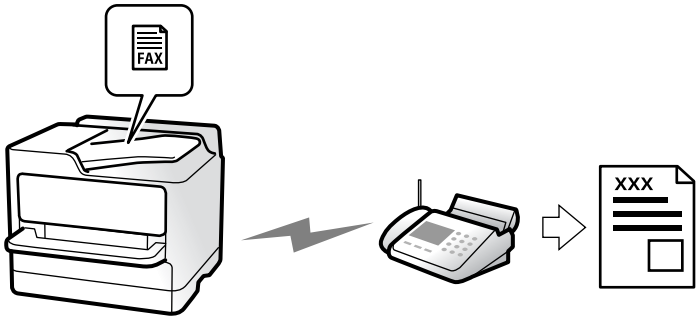
- プリンターと電話回線、外付け電話機（使用する場合）の接続
  「プリンターを電話回線に接続する」124ページ
- ファクスを使用するための基本設定
  「プリンターでファクス送受信できるようにする」128ページ
  「アドレス帳の登録」90ページ
- 使用環境に合わせたファクス設定
  「メールサーバーを設定する」65ページ
  「共有フォルダーを設定する」69ページ
  「用途に応じてファクス機能の設定をする」131ページ
- IPファクスを利用する場合は、以下の情報もご覧ください。
  「IPファクス機能」390ページ

以下も参照してください。

- 困ったときは
  「ファクスの送信も受信もできない」458ページ
  「ファクスをきれいに送信できない」485ページ
  「ファクスをきれいに受信できない」488ページ
  「思い通りに操作できない」503ページ
- ファクス機能の設定メニュー
  「ファクス設定（ファクス対応機のみ）」541ページ

ファクス機能の紹介

機能：ファクス送信



送信方法

- 自動送信

  ◇（送信）をタップして原稿をスキャンすると、自動で宛先にダイヤルしてファクス送信します。
  「プリンターからファクスを送信する」346ページ

- 手動送信

  相手先にダイヤルしてつながったことを確認してから◇（送信）をタップするとファクスを直接送信します。
  「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」349ページ
  「外付け電話機からダイヤルして送信する」350ページ

宛先入力（送信時）

［直接入力］や［アドレス帳］、［宛先履歴］から入力できます。
「宛先」364ページ
「アドレス帳の登録」90ページ

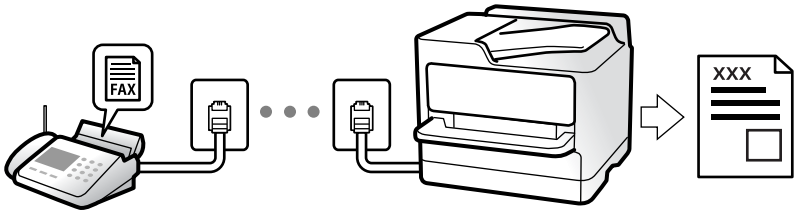
原稿の読み取り設定（送信時）

［画質］や［原稿サイズ(原稿台)］などを指定して送信できます。
「読み取り設定：」365ページ

送信設定（送信時）

［ダイレクト送信］（大量原稿を安定送信）や、［バックアップ送信設定］（送信ファクスのバックアップ）などの［送信設定］ができます。バックアップは、送信失敗時にバックアップと合わせメールで通知するようにあらかじめ設定することもできます。
「送信設定：」366ページ
「バックアップエラーレポート：」542ページ
「メールサーバーを設定する」65ページ

機能：ファクス受信



受信モード

1回線で、相手先から送られてきたファクスを受信する方法（受信モード）は3つあります。

ファクス専用で使用したい（外付け電話機は不要）：

「自動モード」356ページ

ファクスが主だが、通話にも使用する

使い方に合わせた設定ができます。

- 外付け電話機の留守番電話機能を使用したい場合
  「自動モード」356ページ
- 外付け電話機に発信元（相手）番号を表示したい（ナンバー・ディスプレイ回線の契約がある）場合
  「自動モード」356ページ
- 外付け電話で発信元（相手）の番号表示も留守番電話機能も使用しない場合
  「ファクス/電話自動切替モード」357ページ

通話が主だが、ファクスにも使用する

「手動モード」356ページ

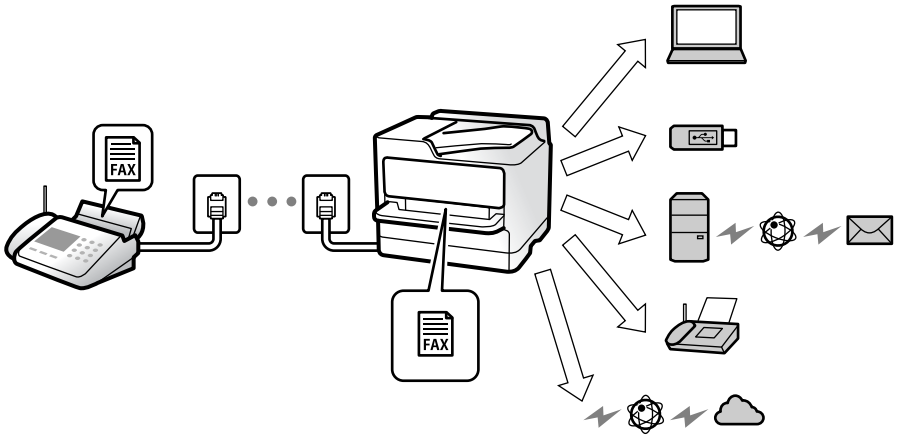
外付け電話機の操作で受信する

外付け電話機で電話を受け、音声電話のときは相手と通話でき、ファクスのときはプリンター操作で受信を開始します。
「リモート受信：」545ページ
「外付け電話機接続時の設定をする」137ページ

受信文書の出力先

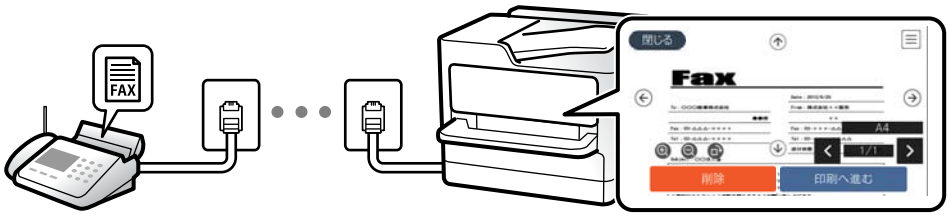
条件なしで出力：

初期設定では、受信文書は自動でプリンターから印刷されます。出力先の設定をすることで、受信ボックスや外部メモリーへの保存、メールやフォルダーへの転送、他のファクスへ転送ができます。



「条件なし保存・転送：」550ページ
「受信ファクスを保存する設定」139ページ
「受信ファクスを転送する設定」140ページ

受信ボックスに保存すると画面で内容を確認できます。
「受信ボックス設定：」557ページ

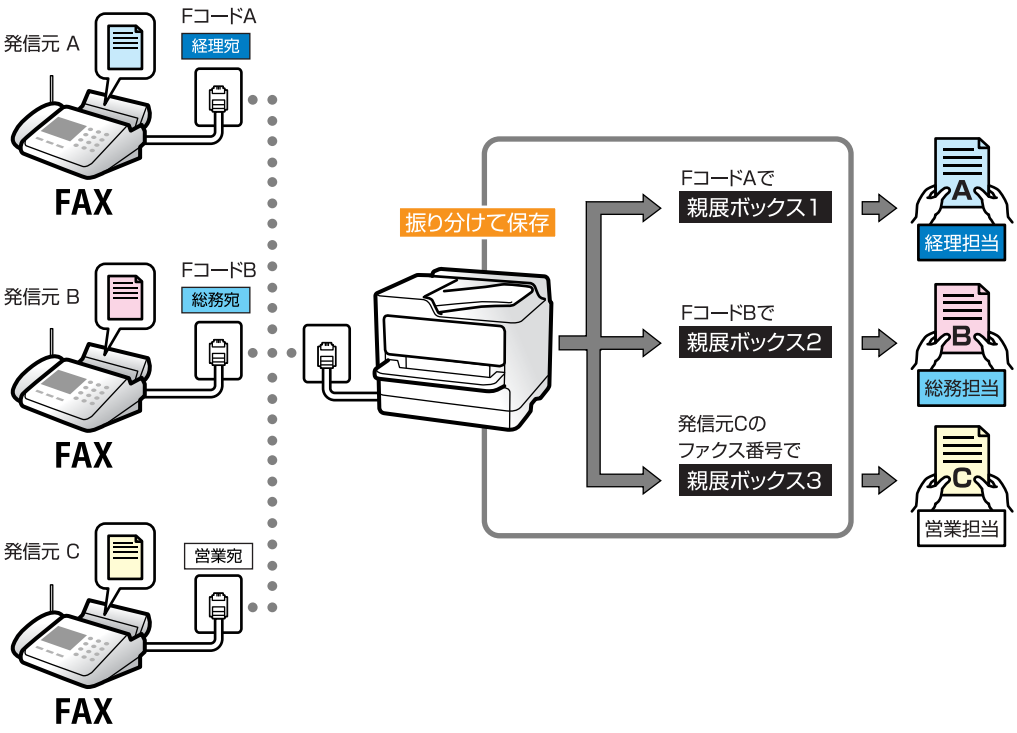


「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」362ページ

条件一致で出力：

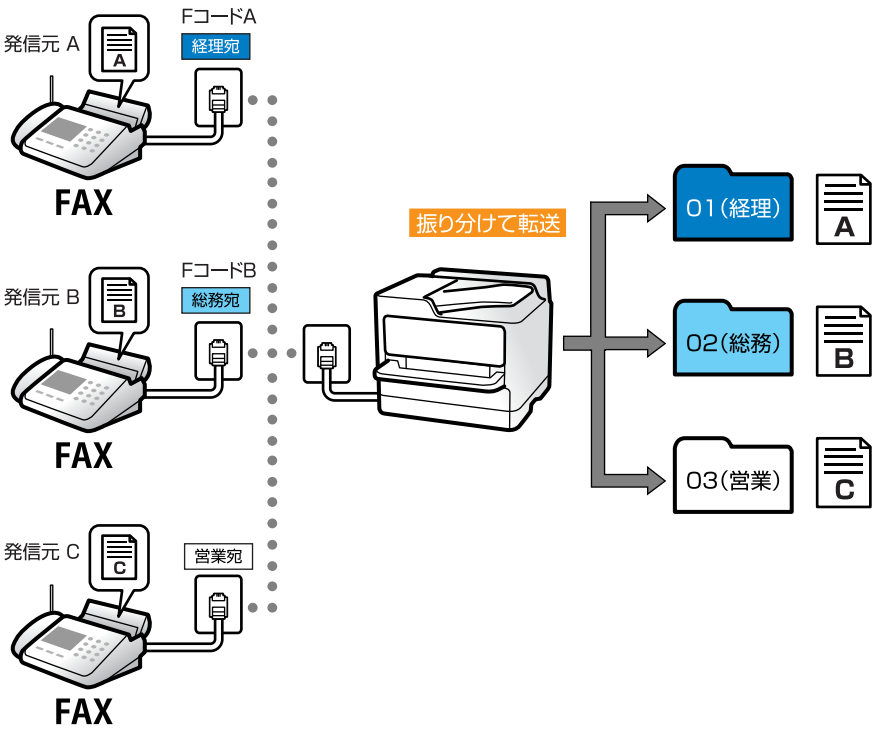
条件一致で、設定しておいた出力先に出力します。出力先には、プリンター内部の受信ボックスや親展ボックス、外部メモリー、メール転送、フォルダー転送、他のファクスへ転送などから選択できます。受信ボックスか親展ボックスに保存すると画面で内容を確認できます。

（例）親展ボックスに保存



「条件保存・転送：」552ページ

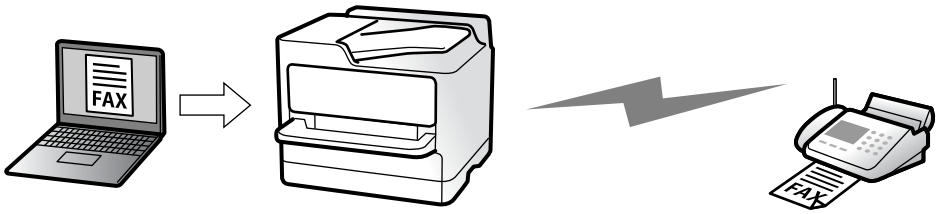
（例）ファクス転送



「条件保存・転送リスト：」368ページ

機能：コンピューターからの送受信（Windows/Mac OS）

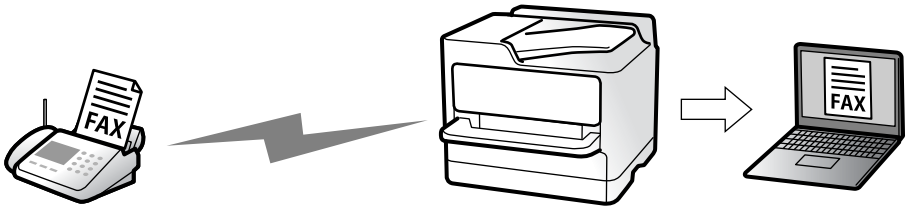
PC-FAX送信



コンピューターからファクスを送信できます。

「コンピューターからファクス送信する設定」148ページ
「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」523ページ
「ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）」524ページ
「コンピューターからファクスを送信する」383ページ

PC-FAX受信

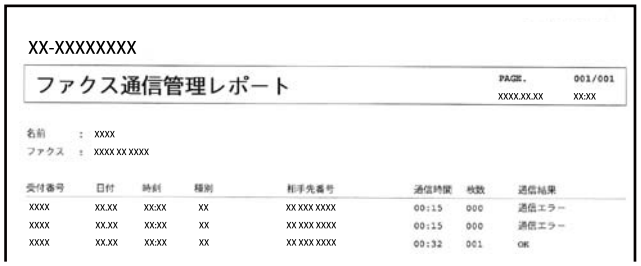


コンピューターでファクスを受信できます。

「コンピューターからのファクス送受信を設定する」148ページ
「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」523ページ
「コンピューターでファクスを受信する」388ページ

機能：いろいろなファクスレポート

ファクスの送受信状況をレポートでチェックできます。


XX-XXXXXXXX

ファクス通信管理レポート

PAGE. 001/001

XXXX.XX.XX XX:XX

名前 : XXXX

ファクス : XXXX XX XXXX

受付番号	日付	時刻	種別	相手先番号	通信時間	枚数	通信結果
XXXX	XX.XX	XX:XX	XX	XX XXX XXXX	00:15	000	通信エラー
XXXX	XX.XX	XX:XX	XX	XX XXX XXXX	00:15	000	通信エラー
XXXX	XX.XX	XX:XX	XX	XX XXX XXXX	00:32	001	OK

「レポート設定」542ページ
「送信設定：」366ページ
「通信履歴表示：」367ページ
「ファクスレポート印刷：」367ページ

機能：ファクスのジョブやログの確認

送受信の状況や履歴を確認できます。

「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」381ページ

機能：ファクスボックス

受信ボックスと親展ボックス

受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存できます。
「受信/親展」369ページ

待機文書送信ボックス

このボックスに保存しておいた文書を使ってファクス送信できます。
「待機文書送信：」372ページ

ポーリング送信/掲示板ボックス

ポーリング送信ボックスや掲示板ボックスに保存した文書は、受信側からの要求で送信されます。
「ポーリング送信/掲示板」375ページ

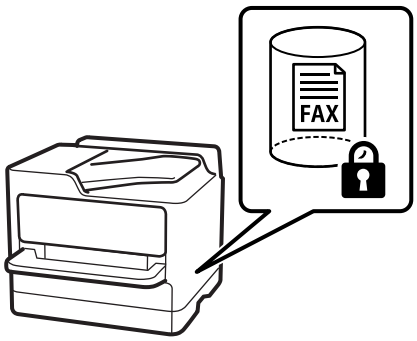
ファクスボックスのセキュリティー

ボックスごとにパスワードを設定できます。
「機能：安全なファクス送受信（セキュリティー）」344ページ

機能：安全なファクス送受信（セキュリティー）

いろいろなセキュリティー機能が使えます。
誤送信防止（［直接ダイヤル制限］など）や漏えい防止（［バックアップデータ自動消去］など）といったセキュリティー機能を備えています。

「セキュリティー設定」548ページ
「ボックス内文書削除設定：」557ページ
「ファクスボックスメニューの説明」369ページ
ボックスにはパスワードが設定できます。



「パスワード設定：」557ページ
「ファクスボックスメニューの説明」369ページ

機能：その他の役に立つファクス機能

迷惑ファクス防止

迷惑ファクスの受信を拒否できます。
「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」147ページ

ダイヤルしてからファクス受信

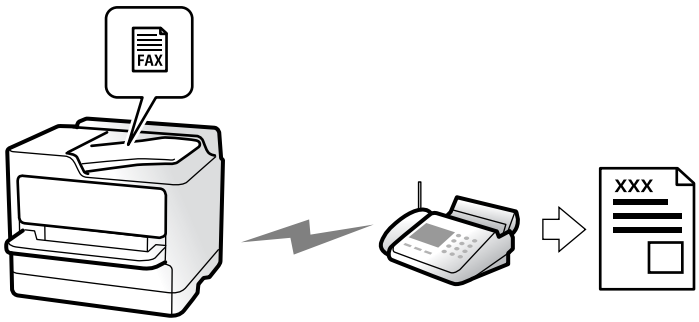
相手先にダイヤルして、相手先のファクス機から文書を受信できます。
「相手先にダイヤルしてファクスを受信する」358ページ
「ポーリング受信：」368ページ

便利な送信機能

［ファクス］メニューで最初に表示されるタブを変更したり、よく使う送信設定項目を［常用］タブで最初に表示したりできます。

「ユーザー設定」542ページ
「クイック操作ボタン：」364ページ

プリンターからファクスを送信する



操作パネルでファクスの宛先を入力して送信できます。

参考
- モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。
- 通話やファクス送受信で電話回線が使用中でも、モノクロ文書を50件まで予約できます。予約文書は［ジョブ/状態］から確認や削除ができます。

1. 原稿をセットします。

   「原稿のセット」215ページ

   一度に送信できる原稿は200ページまでです。ただし、メモリー残量によっては200ページ以下でも送信できない場合があります。

2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

   参考 クイックダイヤルでファクス用の登録番号を入力すると、宛先が設定されたファクス画面が表示されます。この宛先だけに送信するときは手順4に、他の宛先にも送信するときは手順3に進みます。

3. 宛先を指定します。

   「宛先を選択する」347ページ

   IPファクス（拡張機能）が追加されているときは、以下の情報もご覧ください。

   「プリンターからIPファクスを送信する」391ページ

4. ［ファクス設定］タブを選択し、必要に応じて［画質］や［ダイレクト送信］などを設定します。

   「ファクス設定」364ページ

5. ファクスのトップ画面で★（［お気に入り］）をタップすると、宛先を含めた現在の設定をお気に入りに登録できます。登録すると、後の送信時にいつでもこの設定を呼び出せるようになります。

   ただし、宛先の入力方法によっては登録されないことがあります。

6. ◇をタップしてファクスを送信します。

参考
- 相手先が話し中などでファクスが送れなかったときは自動でリダイヤルします。プリンターの管理者は、以下のメニューから設定を変更できます。
  ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［送信設定］-［自動リダイヤル回数］

  ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［送信設定］-［自動リダイヤル間隔］
- 送信を中止するときは、▽をタップします。
- カラー送信は、読み取りながら送信するため時間がかかります。また、カラー送信中は他の機能は使用できません。

関連情報

➡ 「実行中のファクスジョブを確認する」382ページ

宛先を選択する

［宛先］タブまたは［常用］タブで宛先を指定してファクス送信できます。宛先の指定の仕方には以下があります。

ファクス番号を直接入力する

［直接入力］を選択し、ファクス番号を入力して、［OK］をタップします。
ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときは、ハイフン（-）を入力してください。
［接続回線］で外線発信番号を設定したときは、外線発信番号の代わりにファクス番号の先頭に「#」を付けてください。

参考 直接入力できない場合は、［セキュリティー設定］で［直接ダイヤル制限］が［オン］に設定されています。アドレス帳や履歴、クイックダイヤルから宛先を指定してください。

アドレス帳から宛先を選択する

［アドレス帳］を選択して宛先を選択します。以下がアドレス帳です。

宛先は、🔍で検索できます。

送信したい宛先が［アドレス帳］に未登録のときは、 を選択して登録します。

発着信履歴から宛先を選択する

（宛先履歴）を選択して、宛先を選択します。

［常用］タブに表示された一覧から宛先を選択する

Web Configからアドレス帳に登録するときに［常用指定］で登録しておいた宛先を選択します。

参考 入力した宛先を解除するときは、画面のファクス番号または選択件数をタップして宛先リストを表示し、解除したい宛先を選択して［選択を解除］を選択します。

関連情報

- 「アドレス帳の登録」90ページ
- 「アドレスの設定項目（Web Config）」92ページ
- 「宛先」364ページ

便利な送信方法

スキャンした文書を確認してから送信する

モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ
2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。
3. 宛先を指定します。
   「宛先を選択する」347ページ
4. ［ファクス設定］タブを選択し、必要に応じて設定をします。
   「ファクス設定」364ページ

5. をタップしてスキャンした文書のイメージを確認します。

：矢印方向に画面を移動

：縮小、拡大

：前ページへ移動 、次ページへ移動

参考
- ［ダイレクト送信］が設定されているとプレビューできません。
- プレビュー中に無操作の時間が、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［送信設定］-［送信プレビュー無操作タイマー］での設定時間以上続くと、自動で送信を開始します。

6. ［送信開始］を選択します。送信しないときは［中止］を選択します。

参考 相手先のファクス機の仕様に合わせるため、プレビューで確認した画質で送信されないことがあります。

送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）

送信先の状況（ダイヤル中、通信中、通話中）を音や音声としてスピーカーから流して、それを聞きながら送信できます。ファクス情報サービスの音声ガイダンスに従って文書を受信するときにも使えます。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. ［ファクス設定］タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。設定したら、［宛先］タブを選択します。
「ファクス設定」364ページ

3. をタップして、宛先を選択します。

参考 スピーカーの音量を調節できます。

4. ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、画面右上の［送受信切替］を選択して［送信］を選択します。

参考 ファクス情報サービスの音声ガイダンスが流れたら、ガイダンスの指示に従って操作してください。

5. ◇をタップしてファクス送信を開始します。

外付け電話機からダイヤルして送信する

ファクスを送信する前に通話したいときや、自動で切り替わらないファクス機にファクスを送信したいときに、外付け電話機を使って送信できます。

1. 外付け電話機の受話器を上げて相手先のファクス番号をダイヤルします。

   参考 相手が電話に出たら、通話できます。

2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

3. ［ファクス設定］で、必要に応じた設定をします。

   「ファクス設定」364ページ

4. ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、◈をタップして電話を切ります。

   参考 外付け電話機からダイヤルしたときは、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。送信中は他の機能は使用できません。

受信側の操作で送信する（ポーリング送信ボックス）

ポーリング送信ボックスにモノクロ文書をあらかじめ蓄積しておくと、受信側ファクス機からの操作で蓄積文書が送信されます。最大で200ページの文書を蓄積できます。

関連情報

➡ 「ポーリング送信：」375ページ

ポーリング送信ボックスを設定する

ポーリング送信ボックスに蓄積できるのは1文書だけです。必要に応じて以下のオプション設定を有効にします。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択し、［ポーリング送信/掲示板］を選択します。

2. ［ポーリング送信］を選択して［設定変更］を選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。

3. 必要に応じて［送信結果メール通知］などの項目を設定します。

   参考 ［ボックスを開くパスワード］を設定すると、次回以降ボックスを開くたびにパスワード入力が要求されます。

4. ［OK］を選択して設定を保存します。

ポーリング送信ボックスに文書を蓄積する

1. ホーム画面で［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］の順に選択します。

2. ［ポーリング送信］を選択します。
   パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力します。

3. ［文書を登録する］をタップします。

4. 送信画面が表示されたらファクス設定を確認して、◇をタップします。

保存した文書の中身を確認するには、ホーム画面から［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］の順に選択し、確認したい文書の入ったボックスを選択して、［文書を確認する］をタップします。開いた画面では、スキャンした原稿を閲覧、印刷、削除することができます。

受信側の操作で送信する（掲示板ボックス）

掲示板ボックスにモノクロ文書をあらかじめ蓄積しておくと、Fコード通信に対応している受信側ファクス機からの操作で蓄積文書が送信されます。掲示板ボックスは10件あり、ボックスごとに最大で 200 ページの文書を蓄積できます。掲示板ボックスに保存するには、事前登録が必要です。

関連情報

➡ 「未登録の掲示板：」377ページ
➡ 「登録済み掲示板ボックス」378ページ

掲示板ボックスを登録する

掲示板ボックスに保存するには、事前登録が必要です。登録手順は以下です。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択し、［ポーリング送信/掲示板］を選択します。

2. ［未登録の掲示板］と表示されたボックスを選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。

3. 画面に表示された項目の設定をします。
   - ［登録名(必須項目)］に登録名を入力する
   - ［Fコード(SEP)］にFコードを入力する
   - ［パスワード(PWD)］にパスワードを入力する

4. 必要に応じて［送信結果メール通知］などの項目を設定します。

   参考 ［ボックスを開くパスワード］を設定すると、次回以降ボックスを開くたびにパスワード入力が要求されます。

5. ［OK］を選択して設定を保存します。

掲示板ボックスに文書を蓄積する

1. ホーム画面で［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］の順に選択します。

2. 登録済みの掲示板のどれか1つをタップします。
   パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力します。

3. ［文書を登録する］をタップします。

4. 送信画面が表示されたらファクス設定を確認して、◇をタップします。

保存した文書の中身を確認するには、ホーム画面から［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］の順に選択し、確認したい文書の入ったボックスを選択して、［文書を確認する］をタップします。開いた画面では、スキャンした原稿を閲覧、印刷、削除することができます。

大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）

モノクロ送信では、スキャンした文書をメモリーに保存します。そのため、大量の文書を読み込むとメモリーが不足して送信できないことがあります。［ダイレクト送信］を有効にするとこのトラブルを回避できます。原稿をスキャンしながら送信するため時間はかります。ダイレクト送信時に指定できる宛先は1件だけです。

メニューを表示する

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。
［ファクス］-［ファクス設定］-［ダイレクト送信］

優先して送信する（優先送信）

送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。

参考 優先送信に設定しても、以下のプリンター動作中は割り込めないため、優先されません。

- モノクロ文書のダイレクト送信
- カラー文書送信
- 外付け電話機からダイヤルして送信
- コンピューターから送られた文書の送信（メモリー送信を除く）

メニューを表示する

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。
［ファクス］-［ファクス設定］-［優先送信］

関連情報

➡ 「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」381ページ

指定した時刻にモノクロで送信する（時刻指定送信）

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信ができるのはモノクロ送信だけです。

メニューを表示する

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。
［ファクス］-［ファクス設定］-［時刻指定送信］

この項目を有効にして、送信時刻を指定してから送信します。

参考 予約のキャンセルはホーム画面の［ジョブ/状態］からできます。

関連情報

➡ 「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」381ページ

異なるサイズの原稿をADFから送信する（ADF連続読込）

サイズの異なる原稿を、1枚ずつまたはサイズごとに分けてADFにセットすると、A4、A5それぞれの原稿サイズのまま1つの文書としてファクス送信できます。

参考 サイズの異なる原稿を混在してADFにセットしたときは、全ての原稿が一番大きな原稿の幅で、それぞれの原稿の長さ分だけ読み取って送信されます。

1. 最初にスキャンするサイズの原稿をセットします。
2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。
3. 宛先を指定します。
   「宛先を選択する」347ページ
4. ［ファクス設定］タブを選択し、［ADF連続読込］をタップして［オン］にします。
   必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
5. ◇（送信）をタップします。
6. 最初のサイズの原稿スキャンが終わり、操作パネルに次の原稿をセットする旨のメッセージが表示されたら、次のサイズの原稿をセットして［読み取り開始］を選択します。
   サイズごとに手順6を繰り返します。

   参考 次の原稿をセットする案内が表示されてから、［原稿追加待ちタイマー］で設定した時間パネル操作がないと、蓄積を終了して送信を開始します。
7. 最後の原稿スキャンが終わったら［次の原稿なし］ を選択します。
   蓄積が終了して送信が開始されます。

Fコード(SUB)とパスワード(SID)でファクスを送信する

宛先のファクス機に、親展ファクス受信やファクス中継機能がある場合、宛先の親展ボックスや中継ボックスへファクス送信できます。Fコードやパスワードを付けて送信したファクスは、宛先で安全に受信したり、中継ボックスとして特定の相手へ転送したりできます。

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。
3. アドレス帳を選択して、Fコードとパスワードを登録した宛先を選択します。

   参考 以下がアドレス帳です。

   （宛先履歴）から、Fコードやパスワード付きで送信した履歴を選択しても、Fコードやパスワード付きで送信できます。
4. ［ファクス設定］タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
5. ファクスを送信します。

関連情報

➡ 「アドレス帳の登録」90ページ

同じ文書を使って何度もファクス送信する

蓄積文書を使ってファクス送信できます。同じ文書を頻繁に送るときに、送信ごとのスキャン時間が省けます。最大200ページの文書をモノクロで蓄積できます。このボックスに蓄積できる文書数は最大200件です。

参考 保存した文書のファイルサイズなどにより、文書を200件まで保存できないことがあります。

送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）

蓄積文書を使ってファクス送信できます。同じ文書を頻繁に送るときに、送信ごとのスキャン時間が省けます。最大200ページの文書を200件まで、待機文書送信ボックスにモノクロで蓄積できます。

参考 保存した文書のファイルサイズなどにより、文書を200件まで保存できないことがあります。

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。
3. ［待機文書送信］を選択し、☰（ボックスメニュー）をタップして、［待機文書蓄積］を選択します。
4. 表示された画面で、必要に応じて画質などを設定します。
5. ◈をタップして文書を蓄積します。

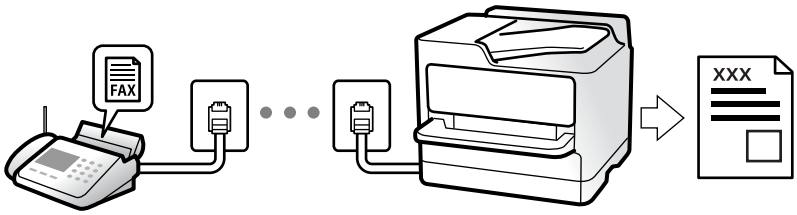
同じ文書を何度も送信する（待機文書送信）

1. ホーム画面で［ファクスボックス］-［待機文書送信］の順に選択します。
2. 送信したい文書を選択し、［送信/保存］-［ファクス送信］の順に選択します。
   ［送信後、この文書を削除しますか？］が表示されたら［はい］か［いいえ］どちらかを選択します。
3. 宛先を指定します。
4. ［ファクス設定］タブを選択して、必要に応じて送信方法などを設定します。
5. ◈をタップしてファクスを送信します。

関連情報

- 「待機文書送信：」372ページ
- 「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」381ページ

プリンターでファクスを受信する



プリンターと電話回線、外付け電話機（使用する場合）が正しく接続されていて、［ファクス設定ウィザード］が完了していれば、ファクス受信ができます。
受信したファクスをプリンターに保存、プリンターの画面で確認、メールなどに転送する設定ができます。
初期設定では、ファクスを受信すると印刷します。

設定を確認したいときは、［ファクス機能設定リスト］でファクスの設定状態を印刷します。［ファクス］- ☰（メニュー）-［ファクスレポート印刷］-［ファクス機能設定リスト］の順に選択してください。

参考
- ファクス受信中に以下はできません。
  - 同一回線で、同時に別のファクスを受信する
  - 同一回線で、受信と同時にファクスを送信する
- ファクス受信中でも、ファクス送信の操作（ジョブ予約まで）は可能です。
  ただし、ジョブ予約できないファクス送信（［オンフック］による送信や［ダイレクト送信］など）の操作は受け付けません。

相手先から送られてきたファクスを受信する

3つの方法（［受信モード］）があります。

関連情報

➡ 「手動モード」356ページ
➡ 「自動モード」356ページ
➡ 「ファクス/電話自動切替モード」357ページ

手動モード

通話を主に、ファクス受信もするときの受信モードです。

受信の仕方

外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。

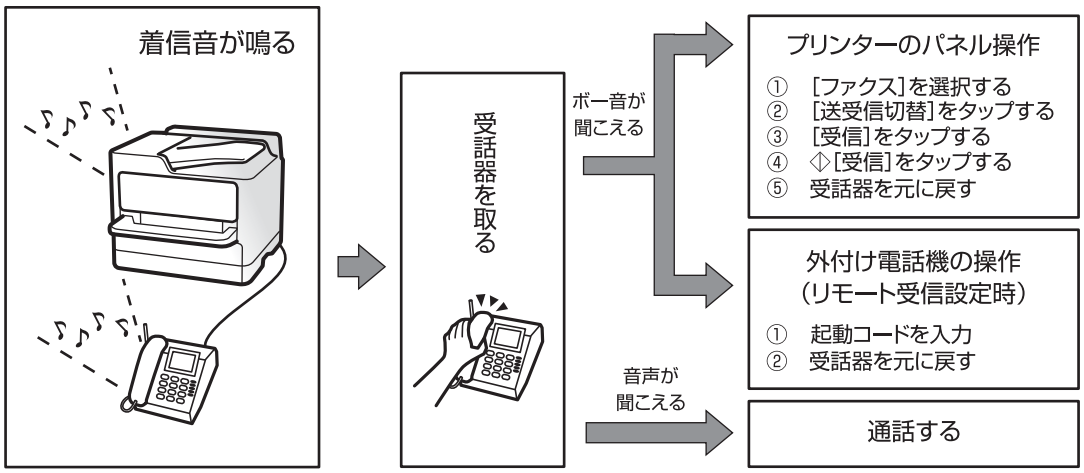
- ファクス信号（ボー音）が聞こえたとき：

  ホーム画面で［ファクス］を選択し、［送受信切替］-［受信］の順に選択して、◈（受信）をタップします。ファクス受信が開始されたら受話器を元に戻します。

- 通話の呼び出しだったとき
  そのまま通話できます。

外付け電話機の操作だけでの受信の仕方

［リモート受信］が設定してある場合、［起動コード］を入力するだけで受信できます。
外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、2桁の［起動コード］をダイヤルして受話器を元に戻します。起動コードは管理者に問い合わせてください。



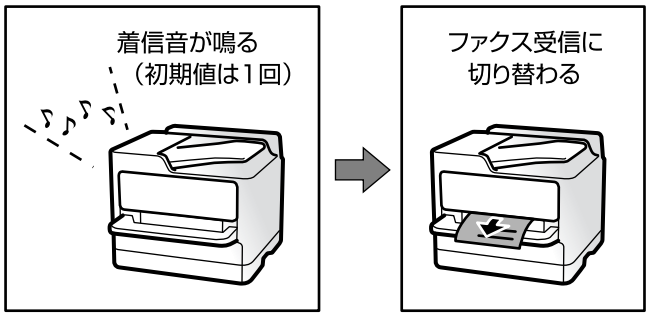
自動モード

回線を以下の用途で使用する受信モードです。

- ファクス専用で使用する（自動受信）
- 電話を主にファクス受信もする（電話優先の自動切り替え）
- ファクスと留守番電話機を兼用で使用する

ファクス専用で回線を使用しているときの受信の仕方

［呼び出し回数］で指定した回数の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信に切り替わります。



留守番電話機を接続しているときの受信の仕方

受信の仕方は以下です。

- ［呼び出し回数］で指定した回数（初期値は1回）の呼び出し中に留守番電話が応答したとき（留守番電話接続時）：
  ・ファクスの呼び出しだった：自動でファクス受信に切り替わります。
  ・通話の呼び出しだった：そのまま録音できます。
- 呼び出し中に受話器を取ったとき
  ・ファクスの呼び出しだった：自動的にファクス受信が始まるまで待って受話器を元に戻します。すぐに受信開始したいときは、［手動］モードと同じ手順で受信を開始します（プリンターのホーム画面で［ファクス］-［送受信切替］の順に選択し、［受信］を選択して、◇をタップします）。受信が開始されたら受話器を元に戻します。
  ・通話の呼び出しだった：そのまま通話できます。
- 呼び出しが終わり自動でファクス受信モードに切り替わったとき
  ・ファクスの呼び出しだった：自動でファクス受信が開始されます。
  ・通話の呼び出しだった：この段階で通話はできません。電話をかけるか、発信元にかけ直しを依頼してください。

参考 留守番電話の呼び出し回数は、プリンターの［呼び出し回数］より少なく設定してください。留守番電話の呼び出し回数の方が多いと、録音や通話ができません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。

発信元（相手）の番号を外付け電話機に表示する動作

発信元の電話番号が外付け電話機に表示されるのは、ナンバー・ディスプレイ回線から、［呼び出し回数］で指定した回数（初期値は1回）の呼び出し中です。

参考
- ナンバー・ディスプレイ回線の契約が必要です。詳細は回線事業者に問い合わせてください。
- 以下の項目が［外付け電話機優先］に設定されているとき、着信すると外付け電話機に発信元(相手先)の番号が表示されます。 プリンターの設定についてはプリンターの管理者に問い合わせてください。
  ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ナンバー・ディスプレイ対応］
- 以下の各設定モードの動作を参照ください。
  「使い方から受信方法を設定する」133ページ

ファクス/電話自動切替モード

ファクスを主に、通話もするときの受信モードです。

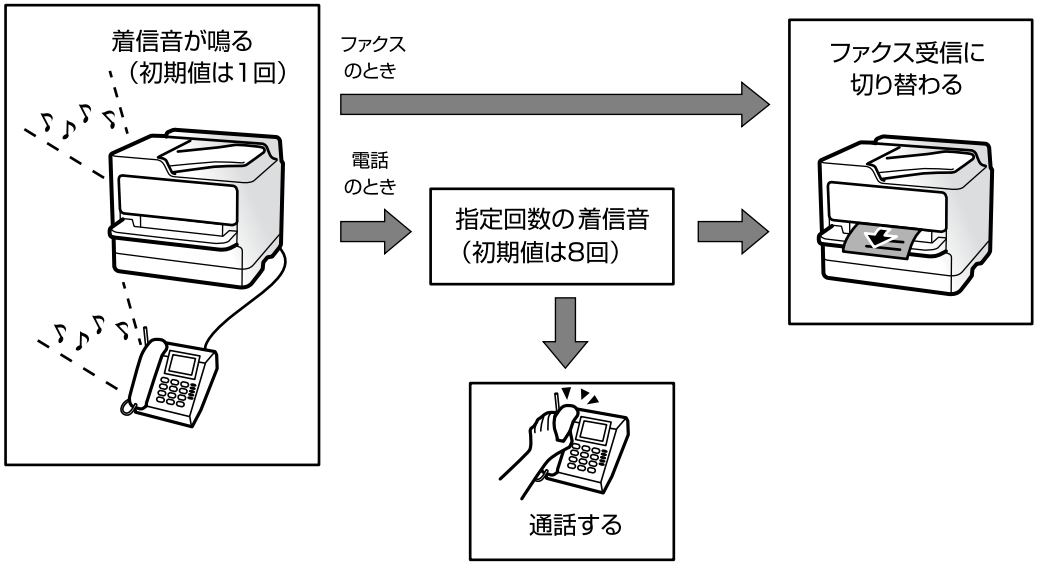
受信の仕方

着信音を指定回数（初期設定は1回）鳴らしてから、ファクスか電話かを自動判別します。

- ファクス信号（ポー音）を検知すると自動的にファクス受信を開始します。
- ファクス信号を検知できずに一定時間が経過すると、プリンターと外付け電話機の着信音を指定回数（初期設定は8回）鳴らします。

!重要

- 音声通話の呼び出し時は、通話しなくても発信者に課金されます。
- 外付け電話機の発信者番号表示（ナンバー・ディスプレイ対応）機能は使えません。
- 外付け電話機の留守番電話機能は使えません。



相手先にダイヤルしてファクスを受信する

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。

関連情報

- 「送信元の状況を確認してから受信する（オンフック）」358ページ
- 「ポーリング受信する（ポーリング受信）」359ページ
- 「掲示板からFコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信する（ポーリング受信）」359ページ

送信元の状況を確認してから受信する（オンフック）

送信元の状況（ダイヤル中、通信中、通話中）を音や音声としてスピーカーから流して、それを聞きながら受信できます。ファクス情報サービスの音声ガイダンスに従って文書を受信するときにも使えます。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. をタップして、送信元を選択します。

   参考 スピーカーの音量を調節できます。

3. 送信元の応答を待ちます。ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、画面右上の［送受信切替］を選択して［受信］を選択します。

   参考 ファクス情報サービスの音声ガイダンスが流れたら、ガイダンスの指示に従って操作してください。

4. ◇をタップしてファクス受信を開始します。

ポーリング受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。ファクス情報サービスなどから情報を受け取るときに使用します。

参考
- 音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。
- 音声ガイダンス付きのファクス情報サービスを利用するときは、［オンフック］でダイヤルするか、外付け電話機からダイヤルし、音声ガイダンスに従って外付け電話機やプリンターを操作します 。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. （メニュー） をタップします。

3. ［拡張ファクス］を選択します。

4. ［ポーリング受信］をタップして［オン］にします。

5. ［閉じる］をタップしてから、［閉じる］をタップします。

6. ファクス番号を入力します。

   参考 直接入力できない場合は、［セキュリティー設定］で［直接ダイヤル制限］が［オン］に設定されています。アドレス帳や履歴、クイックダイヤルから宛先を指定してください。

7. ◇をタップして［ポーリング受信］を開始します。

掲示板からFコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機の掲示板に蓄積された文書を、Fコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信します。アドレス帳にFコード（SEP）とパスワード（PWD）を設定した宛先をあらかじめ登録してください。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. ☰（メニュー）を選択します。

3. ［拡張ファクス］を選択します。

4. ［ポーリング受信］をタップして［オン］にする

5. ［閉じる］をタップしてから、［閉じる］をタップします。

6. アドレス帳を選択して、相手先の掲示板に一致するFコード（SEP）とパスワード（PWD）を登録した宛先を選択します。

   参考 以下がアドレス帳です。

7. ◇をタップして［ポーリング受信］を開始します。

関連情報

➡ 「アドレス帳の登録」90ページ

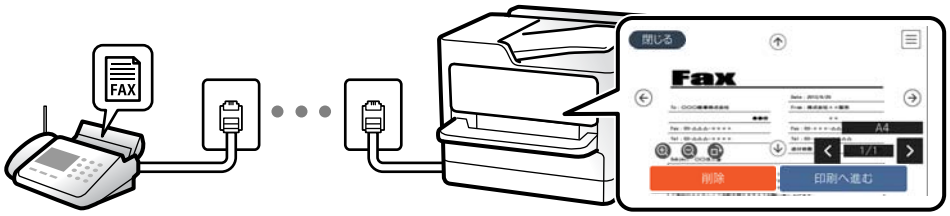
受信ファクスの保存と転送

機能の概要

管理者がいる場合、プリンターの設定状態や接続状態は管理者にお問い合わせください。

プリンターに保存

保存したファクスはプリンターの画面で閲覧できます。必要なファクスだけ印刷し、不要なものは削除できます。

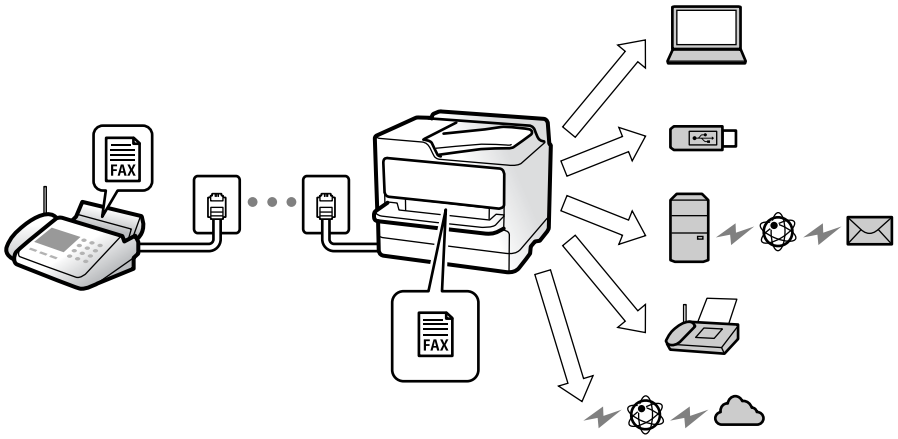


プリンター以外の場所への保存・転送

保存先、転送先に指定できるのは以下です。

- コンピューター（PC-FAX受信機能）
- 外部メモリー
- メールアドレス
- ネットワーク上の共有フォルダー
- クラウドサービス（オンラインストレージ）

- 他のファクス機

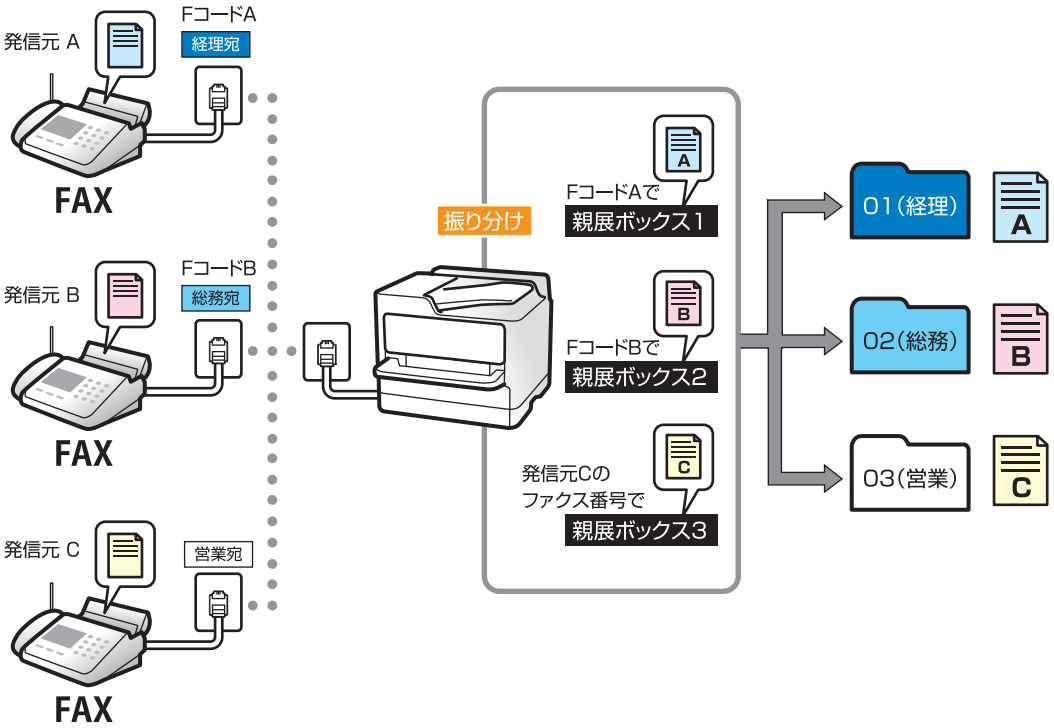


参考
- クラウドサービスと他のファクス機を除き、ファクスデータはPDFかTIFFファイルとして保存されます。
- クラウドサービスで、ファクスデータはPDFファイルとして保存されます。
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。

Fコード通信などの条件を利用した振り分け保存や振り分け転送

プリンターの受信ボックスや親展ボックスにファクスを振り分けて保存できます。プリンター以外の場所にも振り分けて転送できます。

- メールアドレス
- ネットワーク上の共有フォルダー
- クラウドサービス（オンラインストレージ）
- 他のファクス機



参考
- クラウドサービスと他のファクス機を除き、ファクスデータはPDFかTIFFファイルとして保存されます。
- クラウドサービスで、ファクスデータはPDFファイルとして保存されます。
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。
- 現在の設定を印刷できます。ホーム画面で［ファクス］- ☰（メニュー）-［ファクスレポート印刷］-［条件保存・転送リスト］の順に選択してください。

関連情報

➡ 「受信ファクスの保存設定と転送設定」139ページ
➡ 「特定の条件で受信ファクスを保存・転送する設定」142ページ

受信したファクスをプリンターの画面で確認する

受信したファクスをプリンターの画面で見るには設定が必要です。
「受信ファクスを保存する設定」139ページ

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

   参考 未読の受信文書があると、ホーム画面の に未処理件数が表示されます。

2. ［受信/親展］を選択します。

3. 受信ボックスまたは親展ボックスを選択します。

4. 受信ボックスまたは親展ボックスにパスワードを設定しているときは、受信ボックス用のパスワード、親展ボックス用のパスワードまたは管理者パスワードを入力します。

5. 確認したい文書を選択します。
   文書はサムネイルかリストで一覧表示できます。

6. ［プレビュー］を選択します。
   文書の内容が表示されます。

   詳細を確認したいページがあるときは、そのページを選択し、 を選択してページプレビュー画面を開きます。

- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：縮小、拡大
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動
- 操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

7. 確認した文書を印刷するか削除するか選択して、画面の指示に従います。

> **重要** プリンターのメモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除してください。

関連情報

➡ 「受信/親展」369ページ

ファクスメニューの説明

直接入力

これを選択すると表示される画面でファクス番号を入力します。

常用

操作パネルで以下の順に選択します。
［ファクス］-［常用］タブ

事前に登録されているよく使う宛先、または発信履歴からファクスを送信できます。

（クイックダイヤル）：

アドレス帳の登録番号を入力することで宛先を選択します。

（宛先履歴）：

発着信履歴から宛先を選択します。着信の履歴は、ナンバーティスプレイサービスの契約をした回線で［ナンバー・ディスプレイ対応］を有効にしていると表示されます。履歴からアドレス帳に登録することもできます。

よく使う宛先：

［設定］-［アドレス帳管理］-［常用］に登録した宛先を表示します。

クイック操作ボタン：

［通信履歴表示］や［原稿種類］など使用頻度の高い項目を4つまで表示できます。素早く簡単に設定できるようになります。
事前に［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ユーザー設定］-［クイック操作ボタン］で項目を指定する必要があります。
初期設定：［クイック操作ボタン1］は［通信履歴表示］、［クイック操作ボタン2］は［原稿種類］、［クイック操作ボタン3］は［画質］、［クイック操作ボタン4］は［濃度］

宛先

操作パネルで以下の順に選択します。
［ファクス］-［宛先］タブ

アドレス帳

以下がアドレス帳です。

五十音順でアドレス帳を表示します。宛先を選択できます。

宛先は、で検索できます。

（クイックダイヤル）：

アドレス帳の登録番号を入力することで宛先を選択します。

（宛先履歴）：

発着信履歴から宛先を選択します。着信の履歴は、ナンバーティスプレイサービスの契約をした回線で［ナンバー・ディスプレイ対応］を有効にしていると表示されます。履歴からアドレス帳に登録することもできます。

新規登録

新規の宛先またはグループをアドレス帳に登録できます。

ファクス設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［ファクス］-［ファクス設定］タブ

クイック操作ボタン：

［通信履歴表示］や［原稿種類］など使用頻度の高い項目を4つまで表示できます。素早く簡単に設定できるようになります。
事前に［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ユーザー設定］-［クイック操作ボタン］で項目を指定する必要があります。

初期設定：［クイック操作ボタン1］は［通信履歴表示］、［クイック操作ボタン2］は［原稿種類］、［クイック操作ボタン3］は［画質］、［クイック操作ボタン4］は［濃度］

読み取り設定：

原稿サイズ(原稿台)：

原稿台にセットした原稿の、サイズと方向を選択します。
初期設定：［自動検知］

原稿種類：

原稿の種類を選択します。
初期設定：［文字］

カラーモード：

カラーかモノクロのどちらでスキャンするか選択します。
初期設定：［モノクロ］

画質：

送信する文書の画質を選択します。画質を優先するとデータのサイズが大きくなり、送信に時間がかかります。
初期設定：［精細］

濃度：

送信する文書の濃度を設定します。＋にすると濃くなり、－にすると薄くなります。
初期設定：［±0］

背景除去：

背景の明るさを選択します。+にすると背景が明るくなり、-にすると暗くなります。
［自動］にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。
初期設定：［自動］

シャープネス：

画像の輪郭を設定します。＋にすると輪郭が鮮明になり、－にするとぼやけます。
初期設定：［±0］

ADF自動両面：

モノクロ送信時に、ADFにセットした原稿の両面をスキャンします。
初期設定：［オフ］

ADF連続読込：

通常、ADFで複数枚の原稿をスキャンする場合、途中で原稿を追加することはできません。また、サイズが異なる原稿を混在してセットすると、一番大きな原稿サイズで全ての原稿が送信されてしまいます。この設定を有効にすると、セットした原稿のスキャンが終わるたびに追加原稿の有無を確認するメッセージが表示されます。サイズごとに分けて原稿をセットすれば、サイズごとにスキャンされるため、原稿と同じサイズでまとめて一度に送信できます。
初期設定：［オフ］
「異なるサイズの原稿をADFから送信する（ADF連続読込）」353ページ

送信設定：

ダイレクト送信：

モノクロ原稿をスキャンしながら送信します。メモリーを使わないので、大量原稿でもメモリー不足にならず送信できます。ただし、送信時間は長くなります。
以下の場合には使えません。

- ［ADF自動両面］で送信するとき
- 複数の宛先に送信するとき

初期設定：［オフ］
「大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）」352ページ

優先送信：

送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。
初期設定：［オフ］
「優先して送信する（優先送信）」352ページ

時刻指定送信：

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信だけです。
初期設定：［オフ］
「指定した時刻にモノクロで送信する（時刻指定送信）」352ページ

発信元情報の付加：

- 発信元情報の付加
  発信元情報（発信元の名前とファクス番号）を送信文書に入れる位置、または、入れずに送信するかを選択します。
  ・［付加しない］：発信元情報を入れずに送信します。
  ・［原稿外］：スキャンした画像に発信元情報が重ならないように、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形の用紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。
  ・［原稿内］：スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報が重なって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。
  初期設定：［原稿外］
- 発信元名
  宛先に合わせて発信元情報を選択します。あらかじめ発信元情報を複数登録しておく必要があります。
- 追加情報
  追加したい情報を、［発信元番号］と［宛先情報］、［なし］から1つ選択できます。
  初期設定：［発信元番号］

送信結果メール通知：

ファクス送信後に、送信結果を通知します。
初期設定：［オフ］

通信結果レポート印刷：

ファクスを送信すると結果レポートを印刷します。

［エラー時のみ］を選択したときは、ファクス送信時にエラーが発生すると結果レポートを印刷します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］で［レポート内画像添付］が有効に設定されているときは、エラーとなったファクスもレポートと一緒に印刷されます。
初期設定：［エラー時のみ］

バックアップ送信設定：

スキャンしてプリンターのメモリーに保存された送信ファクスのバックアップを保存します。以下いずれかのときに使用できます。

- モノクロ（白黒）で送信する
- ［時刻指定送信］で送信する
- ［バッチ送信］で送信する
- ［待機文書蓄積］で送信する

初期設定：［オフ］

バックアップ先：

バックアップ先を選択します。

文書名：

プリンターの［待機文書送信］ボックス内に保存した文書があるときに表示されます。
［待機文書送信］ボックスに保存する文書名を指定します。

応用

操作パネルで以下の順に選択します。

［ファクス］-［☰ メニュー］

通信履歴表示：

ファクスの送受信履歴を確認できます。
［ジョブ/状態］でも履歴確認ができます。

ファクスレポート印刷：

通信結果レポート：

最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。

通信管理レポート：

送受信結果を印刷します。以下のメニューで、この通信管理レポートを自動印刷する設定ができます。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］-［通信管理レポート］

ファクス送受信でよくエラーが発生する場合でエプソンの問い合わせ窓口に問い合わせをするときは、事前に通信管理レポートを印刷しておくことをお勧めします。以下のメニューでレポート形式を［詳細情報］に変更してから印刷すると、エラー情報が増えて診断に役立ちます。

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］-［レポート形式］

蓄積文書リスト：

プリンターのメモリーに蓄積されているファクス文書（未完了のジョブなど）のリストを印刷します。

ファクス機能設定リスト：

現在のファクス設定を印刷します。

条件保存・転送リスト：

条件保存・転送リストを印刷します。

プロトコルログ：

最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。特定の相手とのファクス送受信でよくエラーが発生する場合でエプソンの問い合わせ窓口に問い合わせをするときは、事前に、通信管理レポートの印刷に加え、エラー直後のプロトコルログも印刷しておくことをお薦めします。

拡張ファクス：

ポーリング受信：

［オン］に設定してからダイヤルすることで、送信元のファクス機に蓄積されているポーリング用文書を受信できます。
「ポーリング受信する（ポーリング受信）」359ページ

ポーリング送信/掲示板：

ポーリング送信ボックスか登録済み掲示板ボックスを選択することで［オン］に設定して、◇をタップすると、選択したボックスに文書を保存できます。
1つのボックスに文書を1件保存できます。
「受信側の操作で送信する（ポーリング送信ボックス）」350ページ
プリンターの掲示板ボックスは10件あるので、合計で10件の文書を保存できます。［ファクスボックス］から事前に登録したボックスが使用できます。
「受信側の操作で送信する（掲示板ボックス）」351ページ

待機文書蓄積：

［オン］を選択して◇をタップすると、［待機文書送信］ボックスに文書を保存できます。このボックスに保存できる文書数は最大で200件です。
保存は、［ファクスボックス］の［待機文書送信］からもできます。
「同じ文書を使って何度もファクス送信する」354ページ

送信後に待機文書送信ボックスへ保存：

［オン］を選択してからファクス送信すると、送信文書は［待機文書送信］ボックスに保存されます。保存された文書は［待機文書送信］から再送信できます。
初期設定：［オフ］

ファクスボックス：

ホーム画面の［ファクスボックス］メニューに移動します。
ファクスボックスには以下があります。

- 受信ボックス
- 親展ボックス
- 待機文書送信ボックス
- ポーリング送信ボックス
- 掲示板ボックス

「ファクスボックスメニューの説明」369ページ

ファクス設定：

［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］に移動します。プリンターの管理者として行ってください。
「ファクス設定（ファクス対応機のみ）」541ページ

ファクスボックスメニューの説明

受信/親展

このメニューは、ホーム画面の［ファクスボックス］内にあります。

受信ボックスと親展ボックス（一覧）

受信ボックスと親展ボックスは、［ファクスボックス］-［受信/親展］内にあります。
受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに合計で200件まで保存できます。
1つの受信ボックスと10件の親展ボックスがあります。登録したボックス名称が各ボックスに表示されます。ボックス名の初期設定は［親展XX］です。

受信ボックスと親展ボックス

受信した文書の一覧を、発信元名や日時、ページ数で表示します。［その他］で［文書名設定/変更］を設定している場合は、発信元名の代わりに文書名を表示します。

プレビュー：

文書プレビュー画面を表示します。

ページプレビュー画面を表示するには を選択します。

（ページプレビュー画面）

- ：縮小、拡大
- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

印刷へ進む：

閲覧中の文書を印刷します。印刷開始前に［部］などを設定できます。

削除：

閲覧中の文書を削除します。

詳細表示：

選択した文書の保存日時や総ページ数などの情報を表示します。

送信/保存：

選択した文書に対し以下の操作ができます。

- ファクス送信
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- 転送(クラウド)
- 外部メモリーに保存

［転送(メール)］か［転送(ネットワークフォルダー)］、［外部メモリーに保存］の場合は、［ファイル形式］からPDFかTIFFを選択できます。PDFを選択したときは、［PDF設定］で以下を設定できます。

- ［文書を開くパスワード］
- ［権限パスワード］（印刷用）

［実行後削除］で［オン］を選択すると、［転送(メール)］や［外部メモリーに保存］などの完了時に、保存した文書を削除できます。

削除：

選択した文書を削除します。

その他：

- ［文書名設定/変更］：選択した文書の名前を設定します。

☰（ボックスメニュー）

全て印刷：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全ファクスを印刷します。印刷の設定ができます。下の［印刷設定］の説明をご覧ください。

全て外部メモリーに保存：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を外部メモリーに保存します。
［ファイル形式］でPDFかTIFFを選択できます。PDFを選択したときは、［PDF設定］で以下を設定できます。

- ［文書を開くパスワード］
- ［権限パスワード］（印刷用）

［実行後削除］で［オン］を選択すると、保存完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

既読文書を一括削除：

ボックス内に文書が存在しているときに表示されます。ボックス内の既読文書を全て削除します。

未読文書を一括削除：

ボックス内に文書が存在しているときに表示されます。ボックス内の未読文書を全て削除します。

全ての文書を削除：

ボックス内にファクス文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を削除します。

設定変更：

以下は、［受信ボックス］-［ボックスメニュー］-［設定変更］の順に選択すると表示される項目です。

- 容量限界時の動作：受信ボックスがいっぱいになった後の新着ファクスの扱い（印刷か受信拒否か）を選択します。
  初期設定：［受信しない］
- パスワード設定：ボックスを開くためのパスワードを設定します。
- 受信文書自動削除：［オン］を選択すると、受信後一定時間が経過したファクスを自動的に削除します。［ファクス設定に従う］を選択すると、以下での設定が適用されます。
  ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［共通設定］-［ボックス内文書削除設定］

以下は、親展ボックスを選択してから［ボックスメニュー］-［設定変更］の順に選択すると表示される項目です。

- 登録名：親展ボックスに名称（適用条件名）を付けます。
- ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。
- 受信文書自動削除：［オン］を選択すると、受信後一定時間が経過したファクスを自動的に削除します。

ボックスを削除：

親展ボックスを選択しているときに、［ボックスメニュー］を選択すると表示される項目です。ボックス内に保存されている文書があれば削除して未登録状態に戻します。

部：

印刷部数をセットします。

印刷ページ指定：

印刷するページを指定します。
初期設定：［全ページ］

印刷設定：

以下の項目を設定できます。

両面設定：

- 両面印刷：
  ボックス内の文書を両面印刷するかしないか設定します。
  初期設定：［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［両面設定］で設定している値
- とじ位置：
  両面印刷するときの、用紙のとじ位置を選択します。
  初期設定：［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［両面設定］で設定している値

仕上げ：

- 仕上げ
  複数ページの文書を部単位で印刷したいときは［ソート(1部ごと)］を選択します。ページ単位でまとめて印刷したいときは［グループ(ページごと)］を選択します。
  初期設定：［ソート(1部ごと)］

印刷後削除：

チェックを付けると、選択した文書は印刷完了時に削除されます。

印刷開始：

選択した文書を印刷します。

関連情報

- 「受信ファクスの保存設定と転送設定」139ページ
- 「特定の条件で受信ファクスを保存・転送する設定」142ページ
- 「ファクス送受信履歴を確認する」383ページ

待機文書送信：

このメニューは、ホーム画面の［ファクスボックス］内にあります。
200件のモノクロ文書（1件あたり最大200ページ）を蓄積できます。1つの文書を頻繁に送るときに、送信のたびのスキャン時間が省けます。

参考 保存した文書のファイルサイズなどにより、文書を200件まで保存できないことがあります。

待機文書送信ボックス

蓄積した文書の一覧を、日時やページ数などで表示します。

プレビュー：

文書プレビュー画面を表示します。

ページプレビュー画面を表示するには を選択します。

（ページプレビュー画面）

- ：縮小、拡大

- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

削除：

閲覧中の文書を削除します。

送信開始：

ファクスを送信する画面を表示します。

詳細表示：

選択した文書の保存日時や総ページ数などの情報を表示します。

送信/保存：

選択した文書に対し以下の操作ができます。

- ファクス送信
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- 転送(クラウド)
- 外部メモリーに保存

［転送(メール)］か［転送(ネットワークフォルダー)］、［外部メモリーに保存］の場合は、［ファイル形式］からPDFかTIFFを選択できます。PDFを選択したときは、［PDF設定］で以下を設定できます。

- ［文書を開くパスワード］
- ［権限パスワード］（印刷用）

［実行後削除］で［オン］を選択すると、［転送(メール)］や［外部メモリーに保存］などの完了時に、保存した文書を削除できます。

削除：

選択した文書を削除します。

その他：

- ［文書名設定/変更］：選択した文書の名前を設定します。

≡（ボックスメニュー）

待機文書蓄積：

［ファクス］メニューの［ファクス設定］タブだけを表示します。◈をタップすると文書をスキャンして待機文書送信ボックスに蓄積します。

全て印刷：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全ファクスを印刷します。印刷の設定ができます。下の［印刷設定］の説明をご覧ください。

全て外部メモリーに保存：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を外部メモリーに保存します。
［ファイル形式］でPDFかTIFFを選択できます。PDFを選択したときは、［PDF設定］で以下を設定できます。

- ［文書を開くパスワード］
- ［権限パスワード］（印刷用）

［実行後削除］で［オン］を選択すると、保存完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

全て削除：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を削除します。

設定変更：

ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。

部：

印刷部数をセットします。

印刷ページ指定：

印刷するページを指定します。
初期設定：［全ページ］

印刷設定：

以下の項目を設定できます。

両面設定：

- 両面印刷：
  ボックス内の文書を両面印刷するかしないか設定します。
  初期設定：［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［両面設定］で設定している値
- とじ位置：
  両面印刷するときの、用紙のとじ位置を選択します。
  初期設定：［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［両面設定］で設定している値

仕上げ：

- 仕上げ
  複数ページの文書を部単位で印刷したいときは［ソート(1部ごと)］を選択します。ページ単位でまとめて印刷したいときは［グループ(ページごと)］を選択します。
  初期設定：［ソート(1部ごと)］

印刷後削除：

チェックを付けると、選択した文書は印刷完了時に削除されます。

印刷開始：

選択した文書を印刷します。

関連情報

- 「同じ文書を使って何度もファクス送信する」354ページ
- 「ファクス送受信履歴を確認する」383ページ

ポーリング送信/掲示板

このメニューは、ホーム画面の［ファクスボックス］内にあります。
1つのポーリング送信ボックスと10件の掲示板ボックスがあります。ボックス1つにつき1文書（最大200ページ）を蓄積できます。

関連情報

- 「受信側の操作で送信する（ポーリング送信ボックス）」350ページ
- 「ファクス送受信履歴を確認する」383ページ

ポーリング送信：

このメニューは、［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］内にあります。

ポーリング送信ボックス：

設定変更：

ボックスを開くパスワード：

ボックスを開くためのパスワードの設定や変更をします。

ポーリング送信後自動削除：

［オン］にすると、受信側からの要求で次のファクス送信（ポーリング送信）をした後、その文書を削除します。
初期設定：［オフ］

送信結果メール通知：

［メール通知設定］を［オン］にすると、受信側からの要求でファクス送信（ポーリング送信）をした後に、［送信先］で設定した宛先に送信結果をメールで通知します。
初期設定：［オフ］

文書を登録する：

［ファクス］メニューの［ファクス設定］タブだけを表示します。◈をタップすると文書をスキャンして保存します。

ボックス内に文書があるときの表示は、［文書を確認する］です。

文書を確認する：

ボックス内に文書があるときは、文書の中身が閲覧できます。閲覧中の文書の印刷や削除ができます。

ページプレビュー画面を表示するには を選択します。

（ページプレビュー画面）

- ：縮小、拡大
- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

削除：

閲覧中の文書を削除します。

印刷へ進む：

閲覧中の文書を印刷します。印刷開始前に［部］などを設定できます。

両面設定：

- 両面印刷：
  ボックス内の文書を両面印刷するかしないか設定します。
  初期設定：［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［両面設定］で設定している値
- とじ位置：
  両面印刷するときの、用紙のとじ位置を選択します。
  初期設定：［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［両面設定］で設定している値

仕上げ：

- 仕上げ
  複数ページの文書を部単位で印刷したいときは［ソート(1部ごと)］を選択します。ページ単位でまとめて印刷したいときは［グループ(ページごと)］を選択します。
  初期設定：［ソート(1部ごと)］

部：

印刷部数をセットします。

印刷ページ指定：

印刷するページを指定します。
初期設定：［全ページ］

印刷後削除：

チェックを付けると、選択した文書は印刷完了時に削除されます。

印刷開始：

選択した文書を印刷します。

☰（メニュー）

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。
文書に対し以下の操作ができます。

- 印刷
- 削除
- ファクス送信
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- 転送(クラウド)
- 外部メモリーに保存

［転送(メール)］か［転送(ネットワークフォルダー)］、［外部メモリーに保存］の場合は、［ファイル形式］からPDFかTIFFを選択できます。PDFを選択したときは、［PDF設定］で以下を設定できます。

- ［文書を開くパスワード］
- ［権限パスワード］（印刷用）

［実行後削除］で［オン］を選択すると、［転送(メール)］や［外部メモリーに保存］などの完了時に、保存した文書を削除できます。

未登録の掲示板：

このメニューは、［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］-［未登録の掲示板］内にあります。［未登録の掲示板］ のいずれかをタップします。ボックス上の［未登録の掲示板］の表示は、登録すると登録名に変わります。
掲示板は10件まで登録できます。

掲示板ボックス設定：

登録名(必須項目)：

掲示板ボックスに名称（適用条件名）を付けます。

Fコード(SEP)：

Fコード(SEP)を設定します。Fコード通信に対応している受信側ファクス機からの操作においてFコードが一致すると、蓄積文書が送信されます。

パスワード(PWD)：

パスワード(PWD)を設定します。Fコード通信のパスワードに対応している受信側ファクス機からの操作においてパスワードが一致すると、蓄積文書が送信されます。

ボックスを開くパスワード：

ボックスを開くためのパスワードの設定や変更をします。

ポーリング送信後自動削除：

［オン］にすると、受信側からの要求で次のファクス送信（ポーリング送信）をした後、その文書を削除します。
初期設定：［オフ］

送信結果メール通知：

［メール通知設定］を［オン］にすると、受信側からの要求でファクス送信（ポーリング送信）をした後に、［送信先］で設定した宛先に送信結果をメールで通知します。
初期設定：［オフ］

関連情報

➡ 「受信側の操作で送信する（掲示板ボックス）」351ページ
➡ 「登録済み掲示板ボックス」378ページ

登録済み掲示板ボックス

このメニューは、［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］内にあります。登録名が表示されているボックスを選択してください。ボックス上に表示される名称は、［未登録の掲示板］登録時に付けた登録名です。
掲示板は10件まで登録できます。

（掲示板ボックスの登録名）

設定変更：

掲示板ボックス設定：

登録名(必須項目)：

掲示板ボックスに名称（適用条件名）を付けます。

Fコード(SEP)：

Fコード(SEP)を設定します。Fコード通信に対応している受信側ファクス機からの操作においてFコードが一致すると、蓄積文書が送信されます。

パスワード(PWD)：

パスワード(PWD)を設定します。Fコード通信のパスワードに対応している受信側ファクス機からの操作においてパスワードが一致すると、蓄積文書が送信されます。

ボックスを開くパスワード：

ボックスを開くためのパスワードの設定や変更をします。

ポーリング送信後自動削除：

［オン］にすると、受信側からの要求で次のファクス送信（ポーリング送信）をした後、その文書を削除します。
初期設定：［オフ］

送信結果メール通知：

［メール通知設定］を［オン］にすると、受信側からの要求でファクス送信（ポーリング送信）をした後に、［送信先］で設定した宛先に送信結果をメールで通知します。
初期設定：［オフ］

ボックスを削除：

ボックス内に保存されている文書があれば削除して未登録状態に戻します。

文書を登録する：

［ファクス］メニューの［ファクス設定］タブだけを表示します。◈をタップすると文書をスキャンして保存します。
ボックス内に文書があるときの表示は、［文書を確認する］です。

文書を確認する：

ボックス内に文書があるときは、文書の中身が閲覧できます。閲覧中の文書の印刷や削除ができます。

ページプレビュー画面を表示するには を選択します。

（ページプレビュー画面）

- ：縮小、拡大
- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

削除：

閲覧中の文書を削除します。

印刷へ進む：

閲覧中の文書を印刷します。印刷開始前に［部］などを設定できます。

両面設定：

- 両面印刷：
  ボックス内の文書を両面印刷するかしないか設定します。
  初期設定：［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［両面設定］で設定している値
- とじ位置：
  両面印刷するときの、用紙のとじ位置を選択します。
  初期設定：［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［両面設定］で設定している値

仕上げ：

- 仕上げ
  複数ページの文書を部単位で印刷したいときは［ソート(1部ごと)］を選択します。ページ単位でまとめて印刷したいときは［グループ(ページごと)］を選択します。
  初期設定：［ソート(1部ごと)］

部：

印刷部数をセットします。

印刷ページ指定：

印刷するページを指定します。
初期設定：［全ページ］

印刷後削除：

チェックを付けると、選択した文書は印刷完了時に削除されます。

印刷開始：

選択した文書を印刷します。

☰（メニュー）

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。
文書に対し以下の操作ができます。

- 印刷
- 削除
- ファクス送信
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- 転送(クラウド)
- 外部メモリーに保存

［転送(メール)］か［転送(ネットワークフォルダー)］、［外部メモリーに保存］の場合は、［ファイル形式］からPDFかTIFFを選択できます。PDFを選択したときは、［PDF設定］で以下を設定できます。

- ［文書を開くパスワード］
- ［権限パスワード］（印刷用）

［実行後削除］で［オン］を選択すると、［転送(メール)］や［外部メモリーに保存］などの完了時に、保存した文書を削除できます。

関連情報

➡ 「受信側の操作で送信する（掲示板ボックス）」351ページ
➡ 「未登録の掲示板：」377ページ
➡ 「ファクス送受信履歴を確認する」383ページ

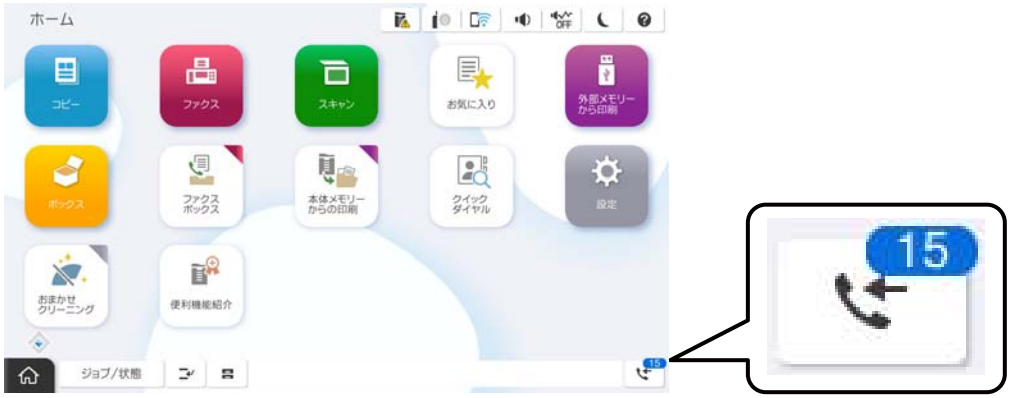
ファクスのジョブ状態や履歴を確認する

受信ファクスが未処理（未読／未印刷／未保存／未転送）の表示

未処理の受信文書があると、下のホーム画面で示す にその件数が表示されます。未処理とは下表で示す状態です。

重要 受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。定期的に受信文書の内容を確認して削除してください。受信ボックスの未読文書を読み未処理件数が減ってもメモリーには残ったままです。

参考
- メモリー使用量は、ホーム画面から［ファクス］を選択すると画面右上に%で表示されます。
- メモリー内に保存されているファクス文書は、蓄積文書リストを印刷すると確認できます。
「蓄積文書リスト：」368ページ



受信文書の処理設定	未処理状態	対処方法
印刷する*1	印刷待ち、または印刷中	• 印刷中や順番待ち中の場合は終わるまで待ってください。 • 紙詰まりエラーの場合は画面の指示に従ってエラーを解除してください。 • 用紙なしエラーの場合は画面の指示に従って用紙をセットしてください。
プリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存する	受信ボックスまたは親展ボックスの受信文書が未読	• 未読ファクスを開封して内容を確認してください。 • 未読ファクスを削除してください（不要な場合）。
外部メモリーに保存する	装着した外部メモリーに受信ファクス保存専用フォルダーが未作成などの理由で保存できない	• 外部メモリーが正しく装着されているか確認してください。 • 外部メモリーの容量不足のときは、不要なファクスを削除してください。 または、空き容量のある外部メモリーと交換して保存専用フォルダーを作成してください（プリンターの管理者）。
コンピューターに保存する	保存先のコンピューターが起動していない などの理由で保存できない	• 保存先のコンピューターが起動しているか確認してください。 • 保存先のコンピューターとプリンターのネットワーク接続を確認してください（プリンターの管理者）。

受信文書の処理設定	未処理状態	対処方法
転送する	転送されていない、または転送に失敗した*2	転送先に応じた対処をします。 • 別のファクスに転送する場合、ファクス番号が正しいか、転送先の回線が使用中でないか確認してください。 または、回線が送受信兼用になっているか確認してください（プリンターの管理者）。 • メール転送の場合、メールアドレスが正しいか、メールサーバーの設定が正しいか、送信先のドメインを制限していないかなどを確認してください（プリンターの管理者）。 • 共有フォルダーの場合、共有フォルダーとプリンターのネットワーク接続を確認してください（プリンターの管理者）。

*1　保存や転送をする設定にしていない、または外部メモリーやコンピューターへの保存と同時に印刷する設定にしているとき。

*2　転送失敗文書を受信ボックスに保存する設定にしているときは未読状態、印刷する設定にしているときは印刷されていない状態

参考　受信文書の処理を複数設定していると、1つの受信文書の未処理件数が2件や3件など複数になることがあります。例えば、受信ボックスとコンピューターの両方に保存する設定の場合、1つの受信文書が両方とも処理されなかったときは未処理件数が2になります。

関連情報

➡ 「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」362ページ
➡ 「実行中のファクスジョブを確認する」382ページ

実行中のファクスジョブを確認する

処理が完了していないファクスのジョブを画面に表示して確認できます。確認画面に表示されるジョブは以下です。この確認画面から、印刷前のファクスの印刷や送信失敗文書の再送信もできます。

- 受信ファクス
  - 印刷前のファクス（印刷する設定の場合）
  - 未保存のファクス（保存先が設定されている場合）
  - 未転送のファクス（転送先が設定されている場合）
- 送信に失敗したファクス文書（［送信失敗文書保存］を有効にしてある場合）

確認画面を表示する手順は以下です。

1. ホーム画面で［ジョブ/状態］をタップします。
2. ［ジョブ状態］タブをタップして、［実行中］をタップします。
3. 確認するファクスジョブを選択して、［詳細表示］を選択します。

関連情報

➡ 「受信ファクスが未処理（未読／未印刷／未保存／未転送）の表示」381ページ

ファクス送受信履歴を確認する

ファクスの送受信履歴（宛先や日時、送受信結果など）が確認できます。

1. ホーム画面で［ジョブ/状態］をタップします。
2. ［ジョブ状態］タブ-［履歴］の順にタップします。
3. 画面右上の › をタップして［送信］または［受信］を選択します。
   確認するジョブ履歴が新しい順に一覧表示されます。確認する履歴をタップすると詳細が表示されます。

履歴印刷もできます。ホーム画面から［ファクス］- ☰（メニュー）-［通信管理レポート］の順に選択してください。

関連情報

➡ 「応用」367ページ

印刷した受信文書を再印刷する

印刷履歴から、印刷した受信文書を再印刷できます。
ただし、プリンターのメモリーがいっぱいになると、印刷した受信文書は古いものから順に削除されます。

1. ホーム画面で［ジョブ/状態］をタップします。
2. ［ジョブ状態］タブ-［履歴］の順にタップします。
3. 画面右上の › をタップして［印刷］をタップします。
   印刷ジョブ履歴の一覧が表示されます。一番上が最新の印刷ジョブです。
4. アイコンのあるジョブをリストから選択します。
   印刷したい文書かどうか、受信日時や送付元で確認します。
5. ［再印刷］をタップして文書を印刷します。

コンピューターからファクスを送信する

コンピューターからのファクス送信は、FAX UtilityとPC-FAXドライバーで行います。
操作方法は、FAX Utilityのオンラインヘルプの「基本の操作」をご覧ください。

参考

- FAX UtilityとPC-FAX ドライバーがインストール済みかをあらかじめ確認しておいてください。
  「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」523ページ
  「ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）」524ページ
- FAX Utilityがインストールされていない場合は、ソフトウェア更新用のソフトウェア　EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェアアップデーター）を使用してインストールしてください。
  「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」528ページ

関連情報

➡ 「コンピューターからファクス送信する設定」148ページ

アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows）

Microsoft WordやExcelなどの［印刷］メニューから、ご使用のファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すれば、作成した文書/図/表などのデータに送付状を付けて直接送信できます。

参考 ここでは、Microsoft Wordを例に説明します。ご使用のアプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
   モノクロデータは200ページまで、カラーデータは100ページまで一度に送信できます。

2. ［ファイル］メニュー内の［印刷］をクリックします。
   アプリケーションソフトの［印刷］ウィンドウが表示されます。

3. プリンターから［XXXXXX（FAX）］（XXXはご使用のプリンター名）を選択して、ファクス送信のための設定を確認します。

［印刷部数］では、［1］を入力してください。［2］以上を入力すると正常に送信できないことがあります。

4. ［プリンターのプロパティ］（または［プロパティ］）をクリックして、［用紙サイズ］、［用紙方向］、［色］、［画質］、［文字の濃さ］を設定します。
   詳細はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。

5. ［印刷］をクリックします。

参考 お使いのコンピューターで初めて送信するとき、発信者（ご自分）の情報を登録する画面が表示されます。必要事項を入力して、［OK］をクリックしてください。

FAX Utilityの［送付先設定］画面が表示されます。

6. 同時に他の文書を送るには、［送信文書を追加する］にチェックを付けます。

手順10で［次へ］をクリックすると、文書を追加する画面が表示されます。

7. 必要に応じて［送付状を付ける］を設定します。

8. 送付先を指定します。

- ［PC-FAX電話帳］から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
  送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、以下をします。
  ❶ ［PC-FAX電話帳］タブをクリックする
  ❷ 一覧から送付先を選択して［追加］をクリックする
- プリンターの電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
  送付先がプリンターの電話帳に登録されているときは、以下をします。
  ❶ ［プリンターのアドレス帳］タブをクリックする
  ❷ 一覧から送付先を選択して［追加］をクリックする（［送付先に追加］画面が開きます）
  ❸ 一覧から送付先を選択して［編集］をクリックする
  ❹ 必要に応じて個人データ（［会社名/団体名］や［敬称］）を追加し、［OK］をクリックする（［送付先に追加］画面に戻ります）
  ❺ 必要に応じて［PC-FAX電話帳に登録する］にチェックを付ける
  ❻ ［OK］をクリックする
- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：
  送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、以下をします。
  ❶ ［直接入力］タブをクリックする
  ❷ 情報を入力する
  ❸ ［追加］をクリックする
  また、［電話帳に登録］をクリックすると、［PC-FAX電話帳］タブの一覧に登録されます。

参考
- プリンターで接続回線設定を［構内交換機(PBX)］にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」をご覧ください。
- FAX Utility（メイン画面）の［オプション設定］（PC-FAXの設定）で［送信時にファクス番号を2回入力する］を有効にしている場合は、［追加］または［次へ］をクリックした後、もう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。

画面上部の［送付先一覧］に追加されます。

9. ［送信オプション］タブをクリックして、送信時の通信設定を設定します。

- ［送信方式］：
  プリンターからの文書の送信方法を選択します。
  ・［メモリー送信］：プリンターの内部メモリーにデータを一時的に保存してからファクスを送信します。複数の送付先に、または複数のコンピューターから同時にファクスを送信する場合に選択します。
  ・［ダイレクト送信］：プリンターの内部メモリーにデータを一時的に保存しないでファクスを送信します。モノクロのページを一度に多数送信するときに選択して、プリンターメモリーの容量不足によるエラーを防ぎます。

- ［時刻指定］：
  指定時間にファクスを送信する場合は、［時刻を指定して送信する］にチェックを付けて、［送信時刻］に時刻を入力します。

10. ［次へ］をクリックします。

- ［送信文書を追加する］にチェックを付けた場合は、［送信文書追加］画面で送信文書を追加します。
  ❶ 追加する文書を開いて、［印刷］で同じプリンター名（FAX）を選択します。文書が［結合する文書一覧］に追加されます。
  ❷ ［プレビュー］をクリックして結合された文書を確認します。
  ❸ ［次へ］をクリックします。

参考 最初の文書で選択していた［画質］と［色］が他の文書にも適用されます。

- ［送付状を付ける］にチェックを付けた場合は、［送付状設定］画面で送付状の内容を設定します。
  ❶ ［送付状］一覧から送付状のデザインを選択します。デザインの追加や作成はできません。
  ❷ ［件名］と［コメント］を入力します。
  ❸ ［次へ］をクリックします。

参考 ［送付状設定］画面で、必要に応じて以下を設定します。

- ［送付状書式設定］をクリックすると、送付状に表示される項目の並び順を変更できます。［用紙サイズ］で送付状のサイズを選択できます。送信する文書と異なる用紙サイズを選択することもできます。
- ［フォント］をクリックして、送付状に表示される文字のフォントを変更します。
- ［発信元設定］をクリックして、発信元情報を変更します。
- ［詳細プレビュー］をクリックして、件名やコメントが反映された送付状のイメージを確認します。

11. 送信内容を確認して［送信］をクリックします。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。［プレビュー］をクリックすると、送付状と送信する文書のイメージを確認できます。
送信が始まると、送信状態を確認できる画面が表示されます。

参考

- 送信を中止するときは、送信データを選択して［中止］をクリックしてください。プリンターのパネル操作で中止することもできます。
- 送信中にエラーになると［通信エラー］画面が表示されます。エラー内容を確認して再送信してください。
- ファクス送信モニター（上記の送信状態を確認できる画面）が表示されないときは、FAX Utilityを起動し、オプション設定で送信時にファクス送信モニターを表示にチェックを付けてください。

関連情報

➡ 「基本設定」543ページ

アプリケーションで作成した文書を送信する（Mac OS）

市販アプリケーションソフトの［印刷］メニューからファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すると、作成した文書や図、表などのデータを直接送信できます。

参考 ここでは、Mac OS添付のテキストエディットを例に説明します。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
   モノクロは100ページまで、カラーは100ページまでの2GB以下のデータを一度に送信できます。

2. ［ファイル］メニュー内の［印刷］をクリックします。
   アプリケーションの［印刷］ウィンドウが表示されます。

3. ［名前］からご使用のプリンター（ファクス名）を選択し、▼をクリックして詳細設定を表示し、［OK］をクリックします。

4. 次の設定をします。
   ［印刷部数］では、［1］を入力してください。［2］以上を入力しても、実際に送信されるのは1部だけです。

   参考 ファクスできる文書のページサイズは、プリンターからファクスできる用紙のサイズと同じです。

5. ポップアップメニューでファクス設定を選択して、各項目を設定します。
   各設定項目の説明はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。

   PC-FAXドライバーのヘルプは、画面左下の をクリックします。

6. ポップアップメニューで送付先設定を選択して、送付状を設定します。
   - 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：

     ［追加］項目に必要事項を入力して をクリックしてください。画面上部の送付先一覧に追加されます。

     PC-FAXのドライバー設定で「送信時にファクス番号を2回入力する」が有効になっている場合は、 をクリックするともう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。
     ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

     参考 プリンターで接続回線設定を［構内交換機(PBX)］にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

   - 電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：

     送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、 をクリックします。一覧から送付先を選択して［追加］をクリックし、［OK］をクリックしてください。
     ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

     参考 プリンターで接続回線設定を［構内交換機(PBX)］にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

7. 宛先設定して、［ファクス］をクリックします。
   送信が始まります。
   送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。

   参考
   - Dock内のプリンターアイコンをクリックすると送信状況確認画面が表示されます。送信を中止するときは、送信データをクリックして［削除］をクリックしてください。
   - 送信中にエラーになると［送信失敗］というメッセージが表示されます。［ファクス送信記録］画面で送信記録を確認してください。
   - 用紙サイズの異なるページが混在するドキュメントは、正常に送信できないことがあります。

関連情報

➡ 「基本設定」543ページ

コンピューターでファクスを受信する

プリンターで受信したファクス文書は、プリンターに接続したコンピューターにPDFかTIFFで保存できます。設定はFAX Utility（アプリケーション）で行います。
操作方法は、FAX Utilityのオンラインヘルプの「基本の操作」をご覧ください。設定中にパスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

参考
- FAX Utilityのインストールと設定が済んでいるかあらかじめ確認しておいてください。
「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」523ページ
- FAX Utilityがインストールされていない場合は、ソフトウェア更新用のソフトウェア　EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェアアップデーター）を使用してインストールしてください。
「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」528ページ

重要
- コンピューターでファクス受信するときは、［受信モード］を［ファクス/電話自動切替］または［自動］に設定してください。操作パネルの［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］で［受信モード］の設定状態の確認や設定ができます。
- 保存先のコンピューターは起動しておいてください。受信ファクスはプリンターのメモリーに一時保存されます。電源を切ったままにしておくと、プリンターのメモリーが不足して送受信できなくなります。
- 一時保存の文書件数はホーム画面の に表示されます。
- 受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

関連情報

➡ 「コンピューターからのファクス送受信を設定する」148ページ

新着ファクスを確認する（Windows）

受信ファクスを保存する設定をしたコンピューターでは、Windowsのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。ファクス受信を通知する設定にすると、デスクトップ画面右下に受信通知ウィンドウが表示され新着ファクスを確認できます。

参考
- コンピューターに受信ファクスデータが保存されると、プリンターの内部メモリーからは削除されます。
- PDFファイルとして保存された受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

タスクバーのファクスアイコンを使う （Windows）

受信ファクスを保存するコンピューターのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。

1. アイコンを確認します。
   - ：待機中
   - ：新着ファクスの有無を確認中
   - ：新着ファクスの取り込みが完了した状態
2. アイコンを右クリックして［受信記録を見る］をクリックします。
   ［ファクス受信記録］画面が表示されます。
3. リストで日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDFかTIFF）を開きます。

参考
- 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
  YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
- 新着ファクスを保存したフォルダーを直接開くこともできます。操作方法は、FAX Utilityの［オプション設定］かそのヘルプをご覧ください。

待機中のときは、［新着ファクスの確認］を選択します。新着ファクスがあるかどうかがすぐに確認できます。

受信通知ウィンドウを使う　（Windows）

新着ファクスをコンピューターに通知する設定にすると、新着ファクスがあるたびに画面右下に受信通知ウィンドウが表示されます。

1. 表示された受信通知ウィンドウを確認します。

参考 何もせずに一定時間が経過すると、受信通知ウィンドウは非表示になります。受信通知ウィンドウの表示時間や通知の有無は設定できます。

2. 受信通知ウィンドウの、 ボタン以外の場所をクリックします。
   ［ファクス受信記録］画面が表示されます。
3. リストで日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDFかTIFF）を開きます。

参考
- 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
  YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
- 新着ファクスを保存したフォルダーを直接開くこともできます。操作方法は、FAX Utilityの［オプション設定］とそのヘルプをご覧ください。

新着ファクスを確認する（Mac OS）

新着ファクスは、以下の方法で確認できます。["ファクス保存" (このコンピューターで保存する)] を設定したコンピューターだけで可能です。

- 保存フォルダー（［受信ファクスの出力設定］で指定）を開く
- ファクス受信モニターを開き、［新着ファクスの確認］をクリックする

- ファクスの新着通知を受け取る
  FAX Utilityの［ファクス受信モニター］-［環境設定］で［ファクス受信をDockで通知する］をチェックするとDockのファクス受信モニターアイコンがジャンプして新着ファクスを知らせます。

ファクス受信モニターから保存フォルダーを開く　（Mac OS）

［"ファクス保存" (このコンピューターで保存する)］を設定したコンピューターでは、ファクス受信モニターから保存フォルダーを開けます。

1. Dockのファクス受信モニターアイコンをクリックして［ファクス受信モニター］を開きます。
2. プリンターを選択して［保存フォルダーを開く］をクリックするか、プリンター名をダブルクリックします。
3. ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。

参考　受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn　（年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
送信元番号は送信元から送られた情報が表示されます。送信元によっては番号がないこともあります。

コンピューターでのファクス受信をやめる

FAX Utilityで、コンピューターでのファクス受信をやめるように設定できます。
設定方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。

参考
- コンピューターに保存されていない受信ファクスがプリンター内にあるときは変更できません。
- 管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。
- この設定変更はプリンターからもできます。管理者に問い合わせてください。

関連情報

➡ 「コンピューターへの受信ファクスの保存をやめる設定」149ページ

IPファクス

IPファクス機能

ファクスを使うには、ファクスプラン契約が必要です。加えてNGN利用を除くIPファクス（以下）を利用するにはライセンスキーの購入が必要です。

- イントラネット（企業内ネットワーク）内で送受信する
- G3ファクス対応機器を使用して送受信する（VoIPゲートウェイ経由）

お使いのプリンターがファクス使用可能かどうか、また、ライセンスキーの入手方法については、保守サービス実施店にご確認ください。

プリンターからIPファクスを送信する

操作パネルからファクスの回線を指定し、宛先を入力して送信できます。

参考 送信の仕方は、標準のファクスと同じです。
「プリンターからファクスを送信する」346ページ

1. 原稿をセットします。
「原稿のセット」215ページ

2. プリンターの操作パネルで［ファクス］を選択します。

3. ［宛先］タブから宛先を指定します。
直接入力するには、［直接入力］を選択して、［回線選択］（初期設定は［G3］）で［IPﾌｧｸｽ(LAN)］または［IPﾌｧｸｽ(NGN)］を選択します。次に、画面のテンキーから宛先を直接入力し、［OK］を選択して入力を完了します。
「IPファクスの宛先」98ページ

参考
- テンキーで入力できない文字を含む宛先は、直接入力できません。あらかじめアドレス帳に登録しておき、アドレス帳から宛先を指定してください。
- ［セキュリティー設定］で［直接ダイヤル制限］が設定されているときは、アドレス帳や履歴、クイックダイヤルで宛先を指定できます。直接入力はできません。
- ［回線別通信設定］で、［送受信兼用］か［送信専用］に設定されている場合に送信できます。受信専用に設定されている回線を選択した場合は送信できません。

直接入力以外で宛先を指定する方法は、以下のリンクをご覧ください。
「宛先を選択する」347ページ

4. ［ファクス設定］タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
「ファクス設定」364ページ

5. ◇をタップしてファクス送信を開始します。

ファクス送信した回線の確認

IPファクス回線から送信したかどうかを確認したいときは以下どちらかのレポートを印刷します。どの回線からファクス送信したかがわかります。

- 通信結果レポートを印刷する
［ファクス］-☰（メニュー）-［ファクスレポート印刷］-［通信結果レポート］
- 通信管理レポートを印刷する
［ファクス］-☰（メニュー）-［ファクスレポート印刷］-［通信管理レポート］

ボックスを利用する

ボックスの概要 393

ボックスを作成する 395

ボックスにデータを保存する 396

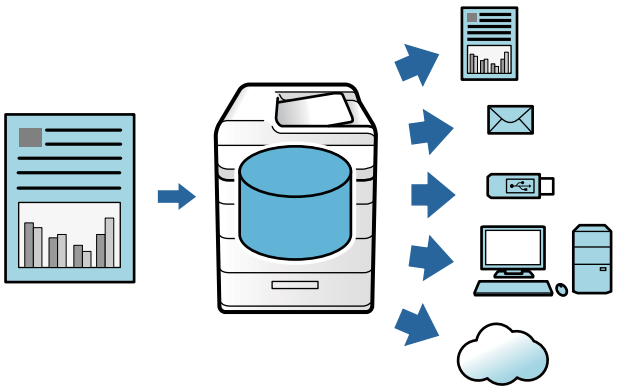
ボックスに保存したデータを利用する 398

ボックスや文書を管理する 406

ボックスの概要

ボックスとは

プリンターに内蔵されたハードディスクに文書を保存して、必要なときに閲覧や印刷、ファイルとして出力などができます。
データを保存するスペースのことを「ボックス」と呼びます。
よく使うデータをボックスに保存しておくと、コンピューターを使わなくても素早く簡単にデータを印刷したり、メールに添付したりできて便利です。



重要 ボックス内のデータは、次のようなときに消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災による被害を受けたとき

上記に限らず、また保証期間内であってもデータ消失・破損の責任は負いかねます。消失・破損したデータの復旧も責任を負いかねます。

関連情報

➡ 「ボックス設定」561ページ
➡ 「ボックスの仕様」594ページ

ボックスの種類

種類		説明
［共有ボックス］	［共有ボックス(固定)］	誰でも文書の保存と利用ができます。ボックス名の変更やパスワードの設定はできません。また、ボックスを削除することもできません。
	［共有ボックス］	複数のボックスを作成して、文書の仕分けができます。ボックスにパスワードを設定すると、文書の保存と利用を一部のユーザーに限定できます。文書にパスワードを設定すると、文書ごとにアクセス制限もできます。
［個人ボックス］		ユーザー認証を導入しているときに、ログオンしたユーザーだけが文書を保存して利用できます。他のユーザーがログオンしたときには表示されません。1人のユーザーが持てる個人ボックスは1つだけです。

画面の見方

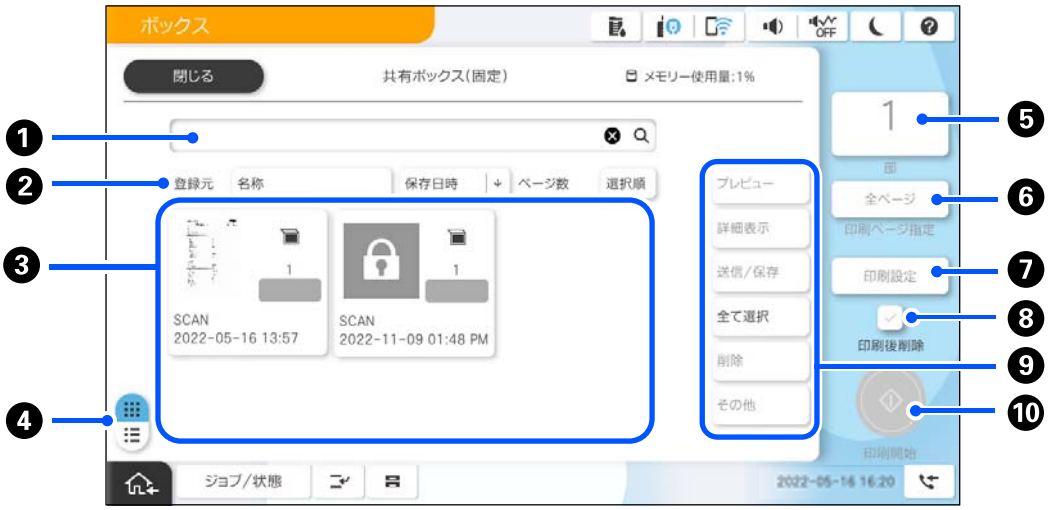
［ボックス一覧］の見方

プリンターの操作パネルで［ボックス］を選択すると［ボックス一覧］が表示されます。

❶	ボックス番号またはボックス名を入力して検索します。
❷	ボックスを項目ごとにソートします。同じ項目を再度押すと、昇順と降順が切り替わります。
❸	ボックスがサムネイル表示されます。
❹	共有ボックスを新規作成します。
❺	ボックスの一覧をサムネイル表示またはリスト表示に切り替えます。
❻	ボックスの保存や設定変更などの操作をします。

文書一覧画面の見方

［ボックス一覧］でボックスを選んで開く を選択すると、文書一覧画面が表示されます。



❶	文書名またはユーザー名を入力して検索します。
❷	文書を項目ごとにソートします。同じ項目を再度押すと、昇順と降順が切り替わります。
❸	文書がサムネイル表示されます。パスワードが設定された文書には鍵マークが表示されます。 は入力元のアイコンを示します。
❹	文書一覧をサムネイル表示またはリスト表示に切り替えます。
❺	印刷部数を設定します。
❻	印刷するページを指定します。
❼	［印刷設定］メニューを表示します。
❽	印刷が終わったら文書を削除するときに選択します。
❾	文書のプレビューやファイルへの出力、削除をするときに選択します。また、文書名やユーザー名、パスワードを変更するときに選択します。
❿	印刷を開始します。

ボックスを作成する

管理者またはユーザーが共有ボックスを作成できます。ただし、ユーザーが作成できるのは ［設定］ - ［本体設定］ - ［ボックス設定］ - ［共有ボックスの利用制限］ - ［共有ボックスの利用許可］が［許可する］で［共有ボックスの操作権限］が［ユーザー許可］になっているときだけです。
［個人ボックス］は作成できません。

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］ を選択します。

2. を選択します。

3. ボックス設定画面で各項目を入力します。
   - ボックス番号：空き番号が自動で割り振られます。
   - ボックス名(必須項目)：30文字以内の任意の名称を入力します。他のボックスと重複した名称も設定できます。
   - ボックスパスワード：ボックスの利用をパスワードで制限するときに設定します。設定すると、ボックスへの文書保存やボックス内文書の閲覧、ボックスの操作などにパスワードの入力が必要になります。
   - 文書の自動削除設定：保存された文書を自動で削除するかどうか設定します。［オン］を選択すると［削除までの期間］を設定できます。文書が最後に利用されてから設定した時間または日数が経過すると、文書が自動的に削除されます。文書が利用されていない場合は、文書を保存してからの経過時間で削除されます。［設定］ - ［本体設定］ - ［ボックス設定］ - ［共有ボックスの利用制限］ - ［共有ボックスの利用許可］が［許可する］で、［文書自動削除の設定権限］が［ユーザー許可］になっているときのみユーザーはこの項目を設定できます。管理者は［文書自動削除の設定権限］の設定値に関わらず設定できます。

ボックスにデータを保存する

コピーする原稿をボックスに保存する

原稿をボックスに保存できます。ボックスへの保存と同時に、原稿をコピーすることもできます。

1. 原稿をセットします。
   「原稿のセット」215ページ

2. プリンターの操作パネルで［コピー］を選択します。

3. ［応用設定］タブを選択して、［ボックス保存］を選択します。

4. ［ボックス保存］設定を有効にします。

5. 各項目を設定します。
   「ボックス保存：」321ページ

6. ◈をタップします。

外部メモリーのデータをボックスに保存する

データをボックスに保存できます。ボックスへの保存と同時に、データを印刷することもできます。

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
   「USB接続機器をセットする」219ページ

2. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］を選択します。
3. 保存するデータの種類を選択して、ファイルを選択します。
4. ［応用設定］タブを選択して、［ボックス保存］を選択します。
5. ［ボックス保存］設定で［オン］を選択します。
6. ボックスを指定して、必要に応じてその他の設定を変更します。
「JPEG印刷時の応用設定メニュー」282ページ
「TIFF印刷時の応用設定メニュー」284ページ
「PDF印刷時の応用設定メニュー」275ページ

参考 ［動作設定］で、ボックスへの保存と同時に、印刷するかを選択します。

7. ◇をタップします。

コンピューターから文書をボックスに保存する（Windows）

プリンタードライバーからボックスを選択して印刷データを保存できます。ボックスに保存するときに文書を印刷することもできます。

1. プリンタードライバーで、［応用設定］タブを開きます。
2. ［印刷方法］から［ボックス保存］を選択します。

参考 印刷データをボックスに保存して文書を印刷する場合は［印刷方法］から［ボックス保存と印刷］を選択します。

3. ［設定］をクリックします。
4. ボックス保存設定画面の［ボックス名］に保存したいボックス名が表示されていない場合は、［ボックス設定］をクリックし、［ボックス一覧 (PC)］にボックス名を追加して［OK］をクリックします。

参考 ［ボックス一覧 (プリンター)］に保存したいボックス名が表示されていない場合は、［ボックス一覧更新］をクリックして更新が完了するまで待ちます。

5. ボックス保存設定画面の［ボックス名］から保存したいボックス名を選択します。

参考 ［パスワード］がわからないときは管理者に問い合わせてください。

6. 必要に応じてその他の項目を設定して［OK］をクリックします。
7. ボックス保存時の印刷データの解像度を変更する場合は、［基本設定］タブ-［印刷品質］-［詳細設定］をクリックし、品質詳細設定画面で印刷品質を設定して［OK］をクリックします。
8. ［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定して［OK］をクリックします。
「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

9. ［印刷］をクリックします。

関連情報

➡ 「コンピューターから文書を印刷する（Windows）」222ページ
➡ 「ボックスに保存したデータを利用する」398ページ

コンピューターから文書をボックスに保存する（Mac OS）

プリンタードライバーからボックスを選択して印刷データを保存できます。ボックスに保存するときに文書を印刷することもできます。

参考 macOS Mojave (10.14)でテキストエディットなどアップル社製アプリケーションソフトをご使用の場合は、プリンタードライバーから印刷データをボックスに保存できません。

1. プリンタードライバーのEpson Printer Utility画面で［ボックス保存設定］をクリックします。
2. 保存先などを設定して［OK］をクリックします。
3. プリンタードライバー画面のポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。
4. ［印刷方法］から［ボックス保存］を選択します。

   参考 印刷データをボックスに保存して文書を印刷する場合は［印刷方法］から［ボックス保存と印刷］を選択します。
5. 必要に応じてその他の項目を設定します。
6. ［プリント］をクリックします。

関連情報

➡ 「コンピューターから文書を印刷する（Mac OS）」255ページ
➡ 「プリンタードライバーのメニュー説明」257ページ
➡ 「ボックスに保存したデータを利用する」398ページ

ボックスに保存したデータを利用する

ボックス内のデータを印刷する

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］を選択します。
2. 印刷したい文書が保存されているボックスを選択して、［開く］を選択します。
3. ファイルを選択します。

4. 印刷部数を設定します。

5. 必要に応じて印刷設定をします。
「印刷設定メニュー」401ページ

6. ◇をタップします。
登録したグループで印刷するときは以下を参照してください。

関連情報

➡ 「登録したグループで印刷する（ボックス）」415ページ

ボックスに保存したデータを外部メモリーに保存する

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］を選択します。

2. 外部メモリーに保存したい文書が保存されているボックスを選択して、［開く］を選択します。

3. ファイルを選択します。

4. ［送信/保存］をチェックします。

5. ［ボックス to 外部メモリー 機能］をチェックします。

6. 必要に応じて保存設定をします。
「送信/保存時の設定項目」404ページ

7. ◇をタップします。

ボックスに保存した文書をメールに添付する

事前にメールサーバーの設定が必要です。
「メールサーバーを設定する」65ページ

1. 操作パネルで［ボックス］を選択します。

2. メールに添付したい文書が保存されているボックスを選択し、［開く］を選択します。

3. 文書を選択します。

4. ［送信/保存］を選択します。

5. ［ボックス to メール 機能］を選択します。

6. 宛先を指定します。

7. 必要に応じて保存設定をします。
「送信/保存時の設定項目」404ページ

8. ◇ をタップします。

ボックスに保存した文書をネットワークフォルダーやクラウドに（バックアップ）保存する

ボックスに保存した文書のバックアップとして、ネットワークフォルダーやクラウドへの保存をお勧めします。
事前にネットワークフォルダーまたはEpson Connectの設定が必要です。
ネットワークに共有フォルダーを作成するときは、以下を参考にしてください。
「共有フォルダーの作成」69ページ
Epson Connectについて、詳しくは以下のポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］ を選択します。

2. ネットワークフォルダーやクラウドに保存したい文書が保存されているボックスを選択し、［開く］を選択します。

3. 文書を1件選択します。

4. ［送信/保存］を選択します。

5. ［ボックス to ネットワークフォルダー 機能］または［ボックス to クラウド 機能］を選択します。

6. 宛先を指定します。

参考 ネットワークフォルダーに保存するときは、保存先を以下の書式で入力します。

- SMBの場合（コンピューター上の共有フォルダーを使用）：￥￥ホスト名（コンピューター名）￥フォルダーパス
- FTPの場合（FTPサーバーを使用）：ftp://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
- FTPSの場合（FTPSサーバーを使用）：ftps://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
- WebDAV（HTTPS）の場合：https://ホスト名/フォルダーパス
- WebDAV（HTTP）の場合：http://ホスト名/フォルダーパス

7. 必要に応じて保存設定をします。
「送信/保存時の設定項目」404ページ

8. ◇をタップします。

印刷または保存時の設定メニュー

印刷設定メニュー

参考
- 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。
- 印刷機能で保存された文書は、［カラーモード］、［用紙設定］、［倍率］以外の設定の初期値は［保存時の設定］となります。

基本設定

カラーモード：

［自動］にしておくと、印刷データを自動で判別して印刷します。モノクロ（白黒）固定で印刷したい場合は、［モノクロ］を選択してください。［保存時の設定］を選択するとボックスに保存したときの設定に従います。（初期値は［保存時の設定］）

用紙設定：

使用する給紙装置を指定します。（初期値は［自動］）

倍率：

拡大または縮小印刷の倍率を設定します。任意の倍率（25～400%）を、数値をタップして指定してください。（初期値は［保存時の設定］）

- 保存時の設定
  ボックスに保存したときの設定が反映されます。
- 自動
  用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小します。
- 小さめフィット
  用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめに印刷します。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。
- たてよこ独立変倍(mm)
  用紙の縦の長さと横の長さを指定して、拡大または縮小します。
- たてよこ独立変倍(%)
  原稿の縦と横とで異なる倍率を指定して、拡大または縮小します。
- 等倍
  100%の倍率で印刷します。
- A4→A5など
  用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小します。

両面設定：

両面印刷のレイアウトを選択します。（初期値は［片面→片面］）

- 両面印刷
  両面印刷をするか選択します。（初期値は［オフ］）
- 開き方向
  両面印刷時の開き方向を選択します。（初期値は［左右開き］）

ページ集約：

印刷のレイアウトを設定します。（初期値は［しない］）

- しない
  1ページの文書を、1枚の用紙に印刷します。
- 2in1
  2ページの文書を、1枚の用紙に2面割り付けで印刷します。割り付け順序を選択します。（初期値は［左→右］、［上→下］）
- 4in1
  4ページの文書を、1枚の用紙に4面割り付けで印刷します。割り付け順序を選択します。（初期値は［左上から横方向］）

仕上げ：

仕上げ：

複数ページの文書を部単位で印刷するには［ソート(1部ごと)］を選択します。ページ単位でまとめて印刷するには［グループ(ページごと)］を選択します。（初期値は［ソート(1部ごと)］）

製本：

製本割り付け：

印刷結果を製本割り付けして排紙するときの設定をします。

- 製本割り付け
  有効にすると製本割り付けができるようになります。（初期値は［オフ］）
- 開き方向
  用紙の開き方向を設定します。
- 中とじしろ
  中とじしろ量を設定します。設定値は0～50mmの中で1mm単位で調整できます。
- 表紙
  有効にすると製本した印刷結果に表紙を付けられます。
- 用紙設定
  表紙用の用紙をセットした給紙装置を選択します。
- おもて表紙
  おもて表紙への印刷設定ができます。おもて表紙に印刷をしたくない場合は、［印刷しない］を選択します。
- うら表紙
  うら表紙への印刷設定ができます。うら表紙に印刷をしたくない場合は、［印刷しない］を選択します。

応用設定

表紙・合紙：

表紙：

表紙を付けて印刷するときの設定をします。

- おもて表紙
  有効にするとおもて表紙を付けて排紙できます。おもて表紙用の用紙をセットした場合は、［用紙設定］で用紙をセットした給紙装置を選択します。おもて表紙に印刷をしたくない場合は、［印刷面］の設定で［印刷しない］を選択します。（初期値は［オフ］）
- うら表紙
  有効にするとうら表紙を付けて排紙できます。おもて表紙用の用紙をセットした場合は、［用紙設定］で用紙をセットした給紙装置を選択します。うら表紙に印刷をしたくない場合は、［印刷面］の設定で［印刷しない］を選択します。（初期値は［オフ］）

合紙：

合紙を挿入して印刷するときの設定をします。

- ジョブごと
  有効にすると、印刷のジョブごとに合紙を挿入して排紙できます。合紙用の用紙をセットした場合は、［用紙設定］で用紙をセットした給紙装置を選択します。（初期値は［オフ］）
- 部ごと
  有効にすると、部単位で合紙を挿入して排紙できます。合紙用の用紙をセットした場合は、［用紙設定］で用紙をセットした給紙装置を選択します。［挿入間隔(部)］で、挿入間隔を設定できます。（初期値は［オフ］）
- ページごと・章紙
  合紙を挿入するページを設定したり、章紙を挿入する場所を設定したりできます。設定値は保存され一覧で表示されます。一覧から設定を選択すると設定の詳細が確認できます。また、設定の編集や削除もできます。

とじしろ：

両面印刷時に用紙のとじ位置ととじ幅を選択します。（初期値は［オフ］）

小さめフィット：

用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめに印刷します。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。（初期値は［オフ］）

スタンプ：

- スタンプ
  ［オン］を選択すると、印刷結果にスタンプを印字します。（初期値は［オフ］）
- 種類
  スタンプの種類を選択します。
- 印字位置
  スタンプを印字する位置を選択します。
- ページ指定
  スタンプを印字するページを指定します。
- 印字サイズ設定
  スタンプの印字サイズを選択します。
- 印字色
  スタンプの色を選択します。
- 透かし
  スタンプを透かしにするかを選択します。

日付印字：

- 日付印字
  ［オン］を選択すると、印刷結果に日付を印字します。（初期値は［オフ］）
- 日付表示形式
  日付の表示形式を選択します。
- 印字位置
  日付を印字する位置を選択します。
- 印字サイズ設定
  日付の印字サイズを選択します。
- 背景
  日付部分の背景を白にするか、選択します。白以外のデータに日付を印字する場合、［白］を選択すると日付がはっきりと見えます。

ページ印字：

- ページ印字
  ［オン］を選択して、印刷結果にページ番号を印字します。（初期値は［オフ］）
- 種類
  ページ印字の種類を選択します。
- 印字位置
  ページ番号を印字したい位置を選択します。
- ページ指定
  どのページにページ番号を印字するか選択します［指定ページ～最終ページ］を選択すると、ページ印字を開始したいページを指定できます。［印字開始数字］は、ページ印字の開始番号を指定できます。
- 印字サイズ設定
  印字サイズを選択します。
- 背景
  ページ番号部分の背景を白にするか、選択します。白以外のデータにページ番号を印字する場合、［白］を選択するとページ番号がはっきりと見えます。

印刷位置ずらし：

用紙の印刷位置を指定できます。用紙の上側と左側の余白を設定します。（初期値は［オフ］）

グループ印刷：

グループごとに分けて印刷する設定をします。部数や組数、仕上げ方法を設定できます。（初期値は［オフ］）

送信/保存時の設定項目

参考
- 項目によっては、文書を保存したときの設定が自動で適用されます。
- 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［保存時の設定］）

ファイル形式：

保存形式を選択します。（初期値は［PDF］）

ページ設定：

保存形式にPDF、PDF/A、高圧縮PDF、高圧縮PDF/A、またはTIFFを指定したときは、全ての原稿を1つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択できます。（初期値は［マルチページ］）

圧縮率：

スキャン画像の圧縮率を選択します。（初期値は［標準圧縮］）

PDF設定：

保存形式をPDFにすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。（初期値は［設定しない］）

OCR：

スキャンした画像を検索可能なPDFとして保存できます。これは、検索ができる文字情報が埋め込まれたPDFです。（初期値は［オフ］）
原稿の文字はOCR（光学文字認識）機能を使って認識され、スキャンした画像に埋め込まれます。
この機能は、［To コンピューター］、［To クラウド］、［To ボックス］、および［ボックス to クラウド 機能］では使用できません。

参考 原稿によっては、文字を正しく認識できないことがあります。

- 言語：スキャンする原稿の言語を選択します。
- ページ向き：ページを保存する向きを選択します。［自動正立］を選択すると、認識した文字の向きに合わせて自動的に回転させます。

「OCR オプションの概要」178ページ

解像度：

解像度を選択します。（初期値は［保存時の設定］）

件名：

メールの件名を半角英数字または記号で入力します。

添付最大ファイルサイズ：

メールに添付するファイルの最大サイズを選択します。（初期値は5 MB）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
  画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（初期値は［未入力］）
- 日付を入れる：
  ファイル名に日付を追加します。（初期値は［オン］）
- 時刻を入れる：
  ファイル名に時間を追加します。（初期値は［オン］）

メールの暗号化：

Eメールを暗号化して送信します。（初期値は［オフ］）

デジタル署名：

メールに電子署名を追加します。（初期値は［オフ］）

Web Configでボックスに保存したデータを利用する

ボックスに保存したデータを、Web Configから印刷したりダウンロードしたりできます。本機能を利用するには管理者によるWeb Configの設定が必要です。設定状態は管理者にお問い合わせください。

1. コンピューターでWeb Configを起動して、［ボックス］タブを選択します。
2. 印刷したい文書が保存されているボックスを選択します。
3. ファイルを選択します。
4. ［印刷］または［ダウンロード］を選択します。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ
➡ 「ボックスの設定をする」610ページ

ボックスや文書を管理する

ボックスや文書を検索する

以下をキーワードにしてボックスや文書を検索できます。

- ボックスを検索するとき：ボックス番号またはボックス名
- 文書を検索するとき：文書名またはユーザー名

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］ を選択します。
2. ボックス一覧画面の検索窓に、キーワードを入力します。

「［ボックス一覧］の見方」394ページ

文書を検索するときは、文書一覧画面で同様に検索してください。

ボックスに保存した文書を削除する

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］ を選択します。

2. 削除する文書が保存されているボックスを選んで、［開く］を選択します。

3. 文書を選んで、［削除］を選択します。
   複数の文書を選んで一度に削除することもできます。

保存期間を変更するまたは無期限に設定する

ボックスに保存された文書は、初期設定では自動で削除されない設定になっています。
管理者またはユーザーは保存期間を変更または無期限に設定できます。ただし、ユーザーが作成できるのは ［設定］-［本体設定］-［ボックス設定］-［共有ボックスの利用制限］-［共有ボックスの利用許可］が［許可する］で［文書自動削除の設定権限］が［ユーザー許可］になっているときだけです。

1. プリンターの操作パネルで［設定］ を選択します。

2. ［本体設定］-［ボックス設定］-［共有ボックスの文書自動削除設定］の順に選択します。

3. ［文書自動削除］を有効にします。

4. ［削除までの期間］を選択し、［時間単位］または［日単位］を選択します。

5. 保存期間を変更します。

ボックスを削除する

管理者またはユーザーは共有ボックスを削除できます。ただし、ユーザーが削除できるのは ［設定］ - ［本体設定］ - ［ボックス設定］ - ［共有ボックスの利用制限］ - ［共有ボックスの利用許可］が［許可する］で［共有ボックスの操作権限］が［ユーザー許可］になっているときだけです。

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］ を選択します。

2. 削除するボックスを選択して、［削除］を選択します。
   - パスワードが設定されたボックスは、パスワードの入力が必要です。ただし、管理者はパスワードを入力せずに削除できます。
   - パスワードが設定されている文書が保存されているボックスは削除できません。ただし、管理者はこの場合でもボックス削除できます。
   - ボックスを削除すると、ボックス内の文書も全て削除されます。

共有ボックスへの操作を制限する

共有ボックスを操作する権限を、管理者のみにするか、他のユーザーにも許可するかを設定します。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ボックス設定］-［共有ボックスの利用制限］-［共有ボックスの操作権限］の順に選択します。

3. ［ユーザー許可］または［管理者のみ］を選択します。

登録した設定で印刷する(グループ印刷)

登録したグループでコピーする 410

登録したグループで印刷する（ボックス） 413

登録したグループで印刷する（コンピューター）（Windowsのみ） 417

登録したグループでコピーする

グループごとに部数を登録しておくと、毎回入力しなくても必要な部数の印刷ができます。配布するグループ（クラスや部署）によって必要な部数が異なる場合に便利です。
詳細は以下をご覧ください。

> **重要** この機能は、ライセンスキーを登録すると使用できます。

関連情報

➡ 「グループ印刷の概要」176ページ

コピーで使うグループを登録する

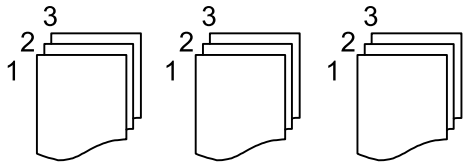
1. プリンターの操作パネルで［コピー］を選択します。
2. ［応用設定］タブを選択して、［グループ印刷］を選択します。
3. 登録リストから［未登録］を選択して、［登録/上書き］を選択します。
4. グループ名を入力します。
5. ［部数設定］タブで部数と組数を設定します。

   例えば、学校で1学年4クラス（1組：30人、2組：31人、3組：32人、4組：30人）向けの配布物を印刷する場合は以下のように設定します。

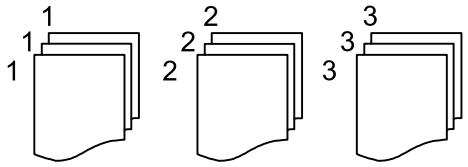
   部数が同じクラスが複数ある場合は、組数（セット数）を変更することでグループをまとめることができます。上の画面の場合、グループ01と04が同じ部数のため、グループ01の組数を2にすることでグループ04の設定が不要になります。

6. ［仕上げ］タブでコピーの並び順を設定します。

［ソート(1部ごと)］を選択すると、1 部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。



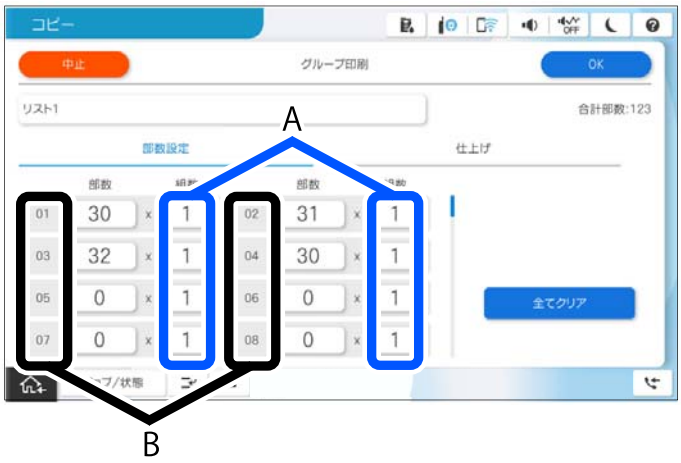
［グループ(ページごと)］を選択すると、ページごとにまとめてコピーします。（初期値は［ソート(1部ごと)］）



7. 合紙を挿入するときは、［仕上げ］タブで設定します。

❶ ［仕上げ］タブで合紙を挿入する区切りを設定します。

［組ごと］にすると［部数設定］タブの（A）で設定した単位で区切って合紙を入れます。［グループごと］にすると［部数設定］タブの（B）で設定した単位で区切って合紙を入れます。



❷ 合紙に使用する用紙をセットした給紙装置を指定します。

8. 必要な設定が全て終わったら、［OK］を選択して登録します。

登録したグループでコピーする

1. 原稿をセットします。
2. プリンターの操作パネルで［コピー］を選択します。
3. ［基本設定］タブを選択して、［自動］、［カラー］または［モノクロ］を選択します。
4. ［応用設定］タブを選択して、［グループ印刷］を選択します。
5. 登録リストから使用したいグループを選択して、［OK］を選択します。
   ［直接編集］を選択すると、グループの設定を一時的に変更できます。
   変更した設定は保存できません。
6. 必要に応じてコピー設定をします。
7. ◈をタップします。

プリンターに登録したコピーのグループを編集する

登録したグループの名称や設定内容を変更します。

参考 ボックスで登録したグループも編集できます。

1. プリンターの操作パネルで［コピー］を選択します。

2. ［応用設定］タブを選択して、［グループ印刷］を選択します。

3. 登録リストから変更するグループを選択して、［登録/上書き］を選択します。

4. 必要に応じて以下の項目を設定します。
   - グループ名
   - 部数と組数
     ［部数設定］タブで部数と組数を設定します。
   - 仕上げ
     ［仕上げ］タブで各項目を設定します。

   「コピーで使うグループを登録する」410ページ

5. ［OK］を選択して、登録します。

プリンターに登録したコピーのグループを削除する

1. プリンターの操作パネルで［コピー］を選択します。

2. ［応用設定］タブを選択して、［グループ印刷］を選択します。

3. 登録リストから削除するグループを選択して、［削除］を選択します。

登録したグループで印刷する（ボックス）

グループごとに部数を登録しておくと、毎回入力しなくても必要な部数の印刷ができます。配布するグループ（クラスや部署）によって必要な部数が異なる場合に便利です。
詳細は以下をご覧ください。

> **重要** この機能は、ライセンスキーを登録すると使用できます。

関連情報

➡ 「グループ印刷の概要」176ページ

ボックスで使うグループを登録する

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］を選択します。

2. 印刷したい文書が保存されているボックスを選択して、［開く］を選択します。

3. ファイルを選択して、［印刷設定］を選択します。

4. ［応用設定］タブを選択して、［グループ印刷］を選択します。

5. 登録リストから［未登録］を選択して、［登録/上書き］を選択します。

6. グループ名を入力します。

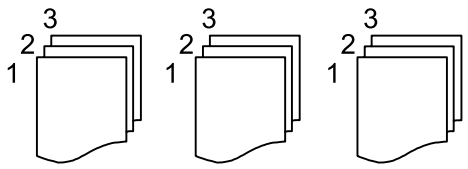
7. ［部数設定］タブで部数と組数を設定します。

例えば、学校で1学年4クラス（1組：30人、2組：31人、3組：32人、4組：30人）向けの配布物を印刷する場合は以下のように設定します。

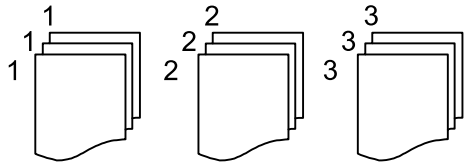
部数が同じクラスが複数ある場合は、組数（セット数）を変更することでグループをまとめることができます。上の画面の場合、グループ01と04が同じ部数のため、グループ01の組数を2にすることでグループ04の設定が不要になります。

8. ［仕上げ］タブでコピーの並び順を設定します。

［ソート(1部ごと)］を選択すると、1部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。

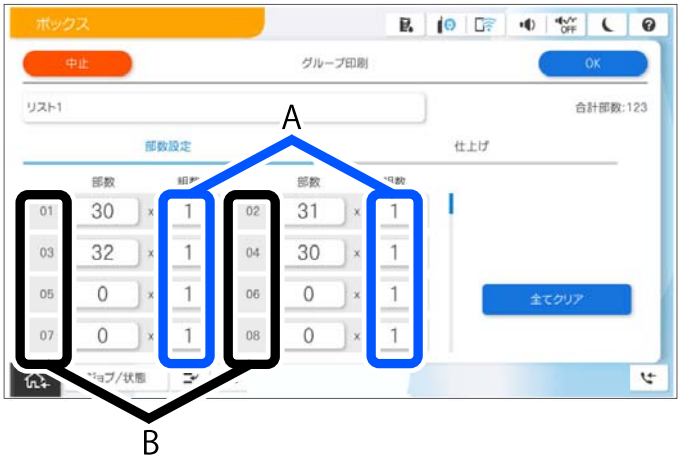


［グループ(ページごと)］を選択すると、ページごとにまとめてコピーします。（初期値は［ソート(1部ごと)］）



9. 合紙を挿入するときは、［仕上げ］タブで設定します。

❶［仕上げ］タブで合紙を挿入する区切りを設定します。
［組ごと］にすると［部数設定］タブの（A）で設定した単位で区切って合紙を入れます。［グループごと］にすると［部数設定］タブの（B）で設定した単位で区切って合紙を入れます。



❷ 合紙に使用する用紙をセットした給紙装置を指定します。

10. 必要な設定が全て終わったら、［OK］を選択して登録します。

登録したグループで印刷する（ボックス）

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］を選択します。

2. 印刷したい文書が保存されているボックスを選択して、［開く］を選択します。

3. ファイルを選択して、［印刷設定］を選択します。

4. ［基本設定］タブを選択して、［自動］、［カラー］または［モノクロ］を選択します。

5. ［応用設定］タブを選択して、［グループ印刷］を選択します。

6. 登録リストから使用したいグループを選択して、［OK］を選択します。
   ［直接編集］を選択すると、グループの設定を一時的に変更できます。
   変更した設定は保存できません。

7. 必要に応じて印刷設定をします。

8. ◈をタップします。

プリンターに登録したボックスのグループを編集する

登録したグループの名称や設定内容を変更します。

参考 コピーで登録したグループも編集できます。

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］を選択します。

2. 編集したいグループが保存されているボックスを選択して、［開く］を選択します。

3. ファイルを選択して、［印刷設定］を選択します。

4. ［応用設定］タブを選択して、［グループ印刷］を選択します。

5. 登録リストから変更するグループを選択して、［登録/上書き］を選択します。

6. 必要に応じて以下の項目を設定します。
   - グループ名
   - 部数と組数
     ［部数設定］タブで部数と組数を設定します。
   - 仕上げ
     ［仕上げ］タブで各項目を設定します。

   「ボックスで使うグループを登録する」413ページ

7. ［OK］を選択して登録します。

プリンターに登録したボックスのグループを削除する

1. プリンターの操作パネルで［ボックス］を選択します。

2. 削除したいグループが保存されているボックスを選択して、［開く］を選択します。

3. ファイルを選択して、［印刷設定］を選択します。

4. ［応用設定］タブを選択して、［グループ印刷］を選択します。

5. 登録リストから削除するグループを選択して、［削除］を選択します。

登録したグループで印刷する（コンピューター）（Windowsのみ）

グループごとに部数を登録しておくと、毎回入力しなくても必要な部数の印刷ができます。配布するグループ（クラスや部署）によって必要な部数が異なる場合に便利です。
詳細は以下をご覧ください。

関連情報

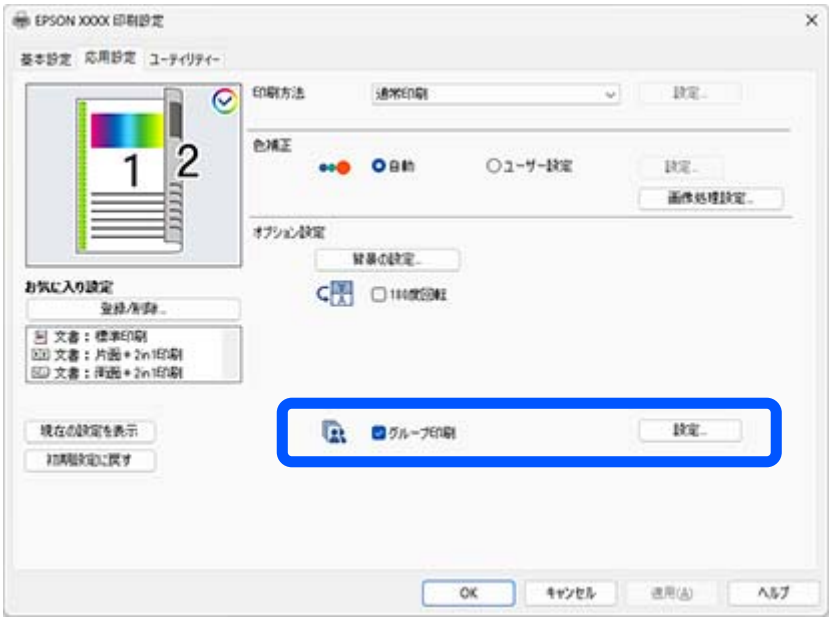
➡ 「グループ印刷の概要」176ページ

コンピューターから印刷するときのグループを登録する

1. アプリケーションソフトの印刷画面を開きます。

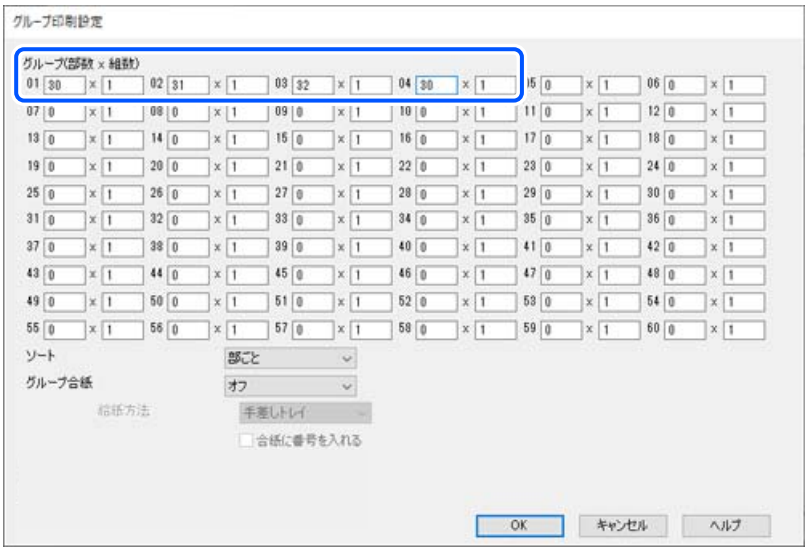
2. プリンターのプロパティ画面の［応用設定］タブを開きます。

3. ［グループ印刷］を選択して［設定］をクリックします。



4. ［グループ（部数×組数）］で部数と組数を設定します。

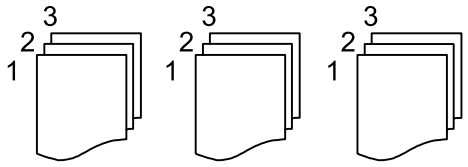
例えば、学校で1学年4クラス（1組：30人、2組：31人、3組：32人、4組：30人）向けの配布物を印刷する場合は以下のように設定します。



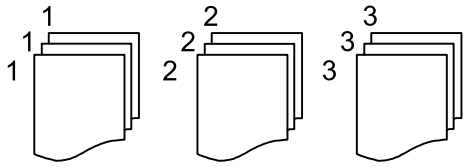
部数が同じクラスが複数ある場合は、組数（セット数）を変更することでグループをまとめることができます。上の画面の場合、グループ01と04が同じ部数のため、グループ01の組数を2にすることでグループ04の設定が不要になります。

5. ［ソート］で印刷の並び順を設定します。

［部ごと］を選択すると、1部ずつ、ページ順にそろえて印刷します。

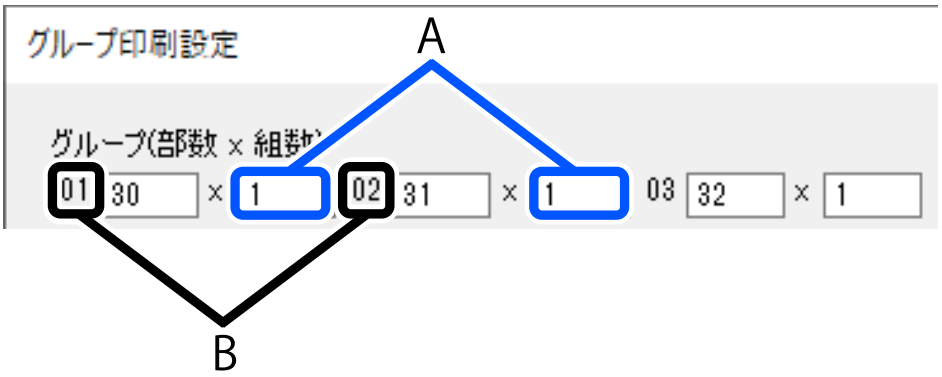


［ページごと］を選択すると、ページごとにまとめて印刷します。



6. ［グループ合紙］で、合紙（仕切り紙）を挿入する設定ができます。

❶ ［組ごと］にすると（A）の単位で区切って合紙を入れます。［グループごと］にすると（B）の単位で区切って合紙を入れます。

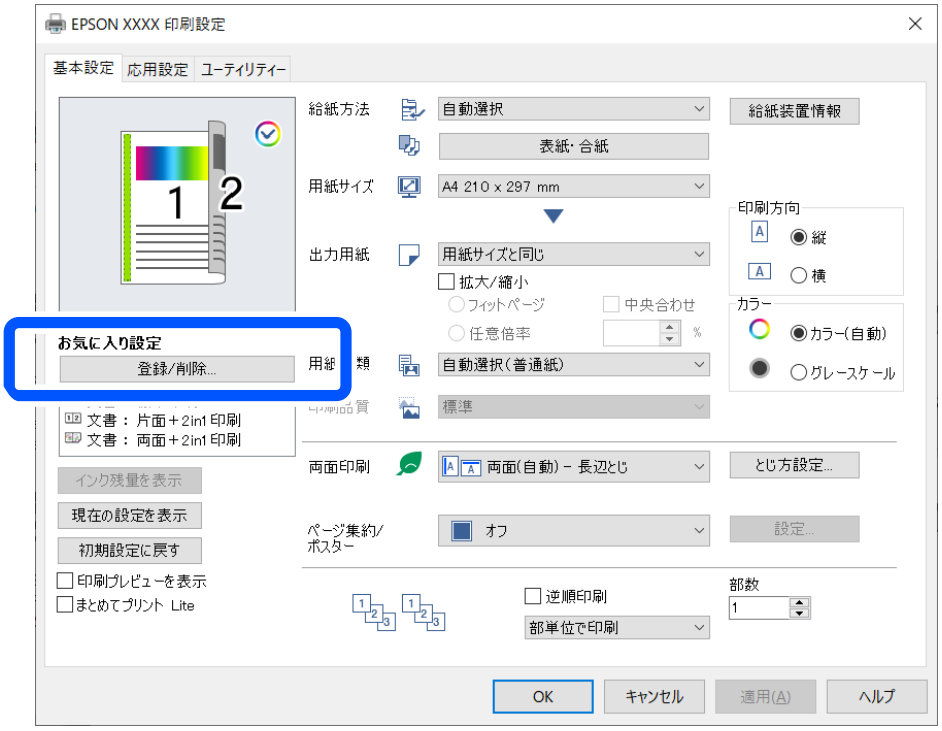


❷ 合紙に使用する用紙をセットした［給紙方法］を指定します。

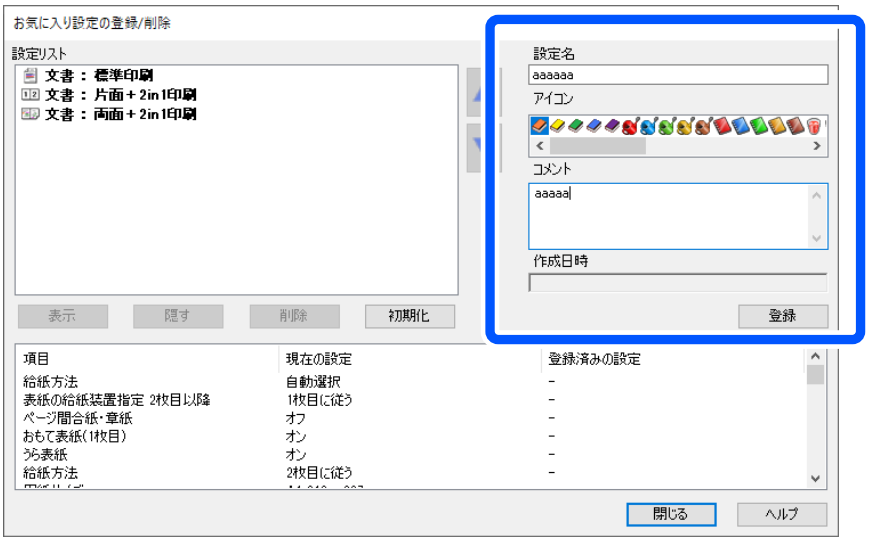
7. 全ての設定が終わったら、［OK］をクリックしてグループ印刷設定画面を閉じます。

8. プリンターのプロパティ画面の［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定します。
「基本設定タブ」224ページ
「応用設定タブ」227ページ

9. ［基本設定］タブまたは［応用設定］タブから［お気に入り設定］の［登録/削除］をクリックします。



10. ［設定名］と必要に応じて［コメント］を入力し、［登録］をクリックします。入力した設定名が、［設定リスト］に追加されます。



11. ［閉じる］をクリックします。

プリンタードライバーに登録したグループで印刷する（コンピューター）

1. アプリケーションソフトの印刷画面を開きます。
2. プリンターのプロパティ画面で、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを開きます。
3. ［お気に入り設定］からグループ印刷設定を登録した設定名を選択します。
4. 必要に応じて設定を変更して［OK］をクリックしてプロパティ画面を閉じます。
5. ［印刷］をクリックします。

プリンタードライバーに登録したグループを編集する

登録したグループの名称や設定内容を変更します。

1. アプリケーションソフトの印刷画面を開きます。
2. プリンターのプロパティ画面で、［応用設定］タブを開きます。
3. ［お気に入り設定］からグループ印刷設定を登録した設定名を選択します。
4. ［グループ印刷］を選択して、［設定］をクリックします。

5. グループ印刷設定画面の各項目を設定して、［OK］をクリックします。

   参考 「コンピューターから印刷するときのグループを登録する」417ページ

6. プリンターのプロパティ画面の［基本設定］タブと［応用設定］タブの各項目を設定します。
   「基本設定タブ」224ページ
   「応用設定タブ」227ページ

7. 設定を更新するために、［お気に入り設定］の［登録/削除］をクリックします。

8. 設定リストから変更した設定名を選択します。

9. ［登録］をクリックします。

10. ［閉じる］をクリックします。

11. プリンターのプロパティ画面の［OK］をクリックして画面を閉じます。

プリンタードライバーに登録したグループを削除する

1. アプリケーションソフトの印刷画面を開きます。

2. プリンターのプロパティ画面で、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを開きます。

3. ［お気に入り設定］の［登録/削除］をクリックします。

4. ［設定リスト］から削除する設定名を選択して、［削除］をクリックします。

5. お気に入り設定の登録/削除画面の［閉じる］をクリックします。

6. プリンターのプロパティ画面の［OK］をクリックして画面を閉じます。

プリンターのお手入れ

消耗品の状態を確認する 423

印刷やコピー、スキャン、ファクスの品質を改善する 423

消耗品の状態を確認する

ホーム画面の をタップして［消耗品・その他］を選択すると、インク残量の目安とメンテナンスボックスの空き容量の目安を表示します。

参考
- プリンタードライバーのステータスモニターからもインク残量の目安とメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。
  - Windows
    ［ユーティリティー］タブの［EPSON プリンターウィンドウ!3］をクリックします。
    ［EPSON プリンターウィンドウ!3］が無効になっているときは、EPSON プリンターウィンドウ!3をインストールしてください。
  - Mac OS
    アップルメニュー -［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）- Epson(XXXX) -［オプションとサプライ］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］-［EPSONプリンターウィンドウ］
- インクが少なくなっても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。必要に応じてインクカートリッジの交換をしてください。

関連情報

- 「インクカートリッジの交換が必要になった」498ページ
- 「メンテナンスボックスの交換が必要になった」500ページ
- 「Windowsプリンタードライバー画面の見方」519ページ
- 「Mac OSプリンタードライバー画面の見方」520ページ

印刷やコピー、スキャン、ファクスの品質を改善する

おまかせクリーニングをする

印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されるときは、ノズルが目詰まりしていることが考えられます。［おまかせクリーニング］は自動でプリントヘッドのノズルチェックとクリーニングを繰り返し、ノズルの目詰まりを解消します。

印刷品質に問題があるときや大量に印刷する前に、プリンターの操作パネルから を選択して、おまかせクリーニングを行うことをお勧めします。

!重要
- おまかせクリーニング中は、電源を切ったり、前面カバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- おまかせクリーニングは、目詰まりが改善されるまでクリーニングを数回繰り返すため、時間がかかったり大量のインクを消費したりする場合があります。

参考
- クリーニングはインクを消費するため、インク残量が少ないと実行できないことがあります。
- 目詰まりの主な原因は乾燥です。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、電源は必ず⏻ボタンで切ってください。電源が入ったまま、直接電源コードを抜かないでください。

ノズルが目詰まりしていないか確認する

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときや大量に印刷する前に、ノズルチェック機能を使用してノズルの状態を確認することをお勧めします。ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。

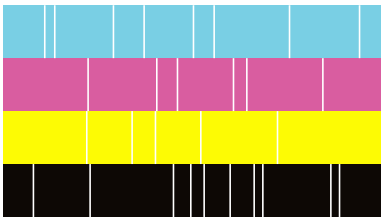
!重要 クリーニング中は、電源を切ったり、前面カバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

参考
- クリーニングはインクを消費するため、インク残量が少ないと実行できないことがあります。
- 目詰まりの主な原因は乾燥です。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、電源は必ず⏻ボタンで切ってください。電源が入ったまま、直接電源コードを抜かないでください。

プリンターの操作パネルからノズルチェックとヘッドクリーニングを実行できます。

1. ホーム画面で［設定］をタップします。
2. ［プリンターのお手入れ］をタップします。
3. ［プリントヘッドのノズルチェック］をタップします。
4. 画面の指示に従って、A4普通紙をセットしている給紙装置を選択します。
5. 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。
6. 印刷したパターンを見て、ノズルに目詰まりがあるか確認します。
   目詰まりがない場合は、［OK］をタップして終了します。
   OK

NG



7. 目詰まりがある場合は、［NG］をタップしてクリーニングに進みます。

8. クリーニングが終わったら、再度ノズルチェックパターンを印刷して、目詰まりが解消されたか確認します。解消されない場合は、クリーニングとノズルチェックを繰り返します。

ノズルの目詰まりを防ぐ

プリンターの電源を切るときは、必ず電源ボタンを使用します。
電源コードを抜くときは、必ず電源ランプが消灯していることを確認してから抜いてください。
インクは乾燥します。油性ペンなどのペン先にキャップをして乾燥を防ぐように、プリンターにもプリントヘッドにキャップをしてインクの乾燥を防ぐ機能があります。
しかし、プリンターの動作中に電源プラグをコンセントから抜いたときや停電になったときは、プリントヘッドが正しくキャップされません。このまま放置すると、プリントヘッドが乾燥してノズル（インクの吐出口）が詰まる原因になります。
このような状況になった場合は、できるだけ速やかに電源を入れてからボタンで切り直してください。これにより、プリントヘッドが正しくキャップされます。

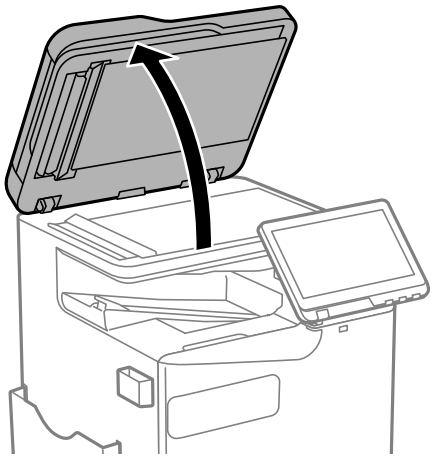
原稿台の汚れを拭き取る

印刷物に汚れがあるときや、スキャンしたデータにムラやシミなどがあるときは、原稿台をクリーニングしてください。

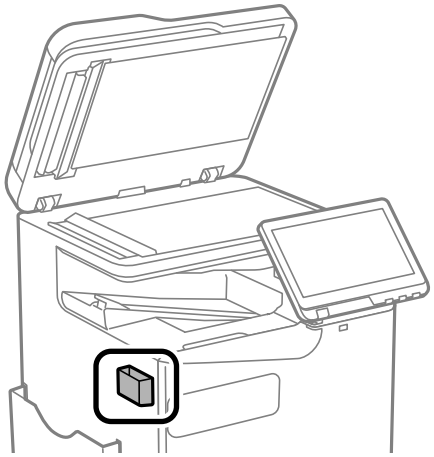
> ⚠注意　原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

> **!重要**　アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

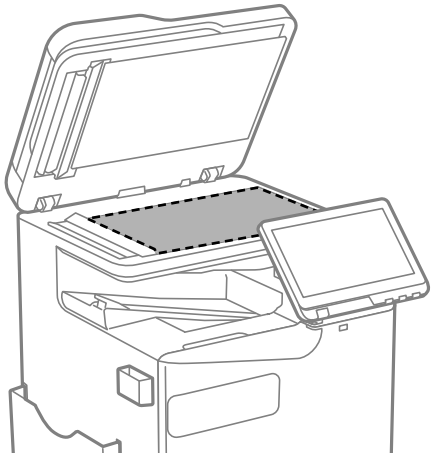
1. 原稿カバーを開けます。



2. クリーニングクロス入れからクリーニングクロスを取り出します。

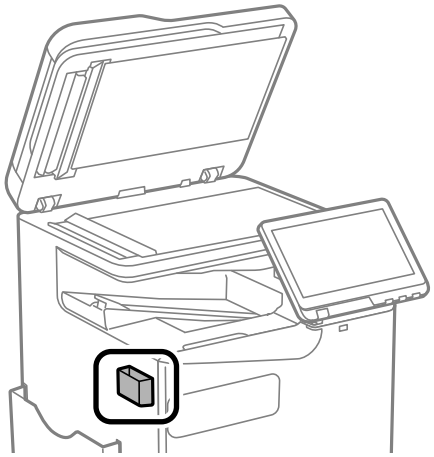


3. 原稿台のガラス面を、クリーニングクロスでから拭きします。



!重要
- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

4. クリーニングクロスをクリーニングクロス入れに戻します。



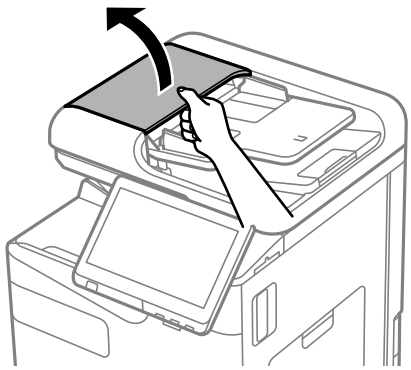
5. 原稿カバーを閉めます。

ADFをクリーニングする

ADFからコピーやスキャンなどをすると汚れが出たり、原稿の給紙不良が発生したりするときは、ADFをクリーニングしてください。

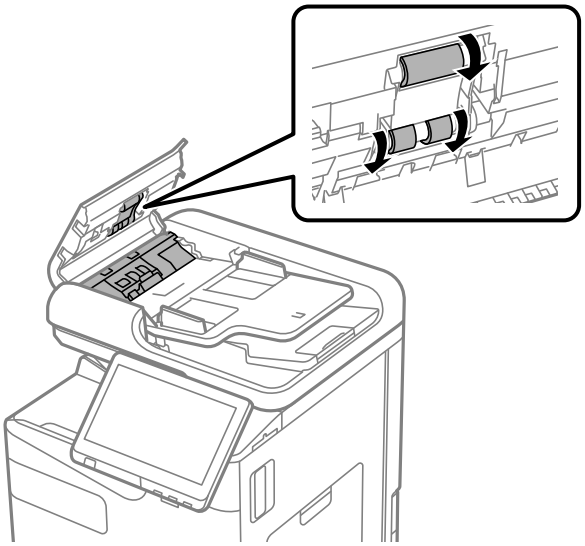
!重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

1. ADFカバーを開けます。



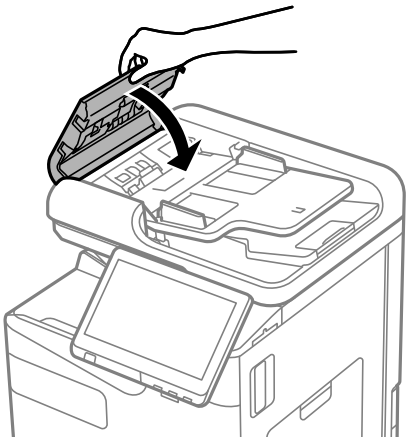
2. 水を含ませた柔らかい布を固く絞って、ローラー部など内部に付着している紙粉やゴミ、ホコリなどを拭きます。

   ローラーを回しながら拭いてください。

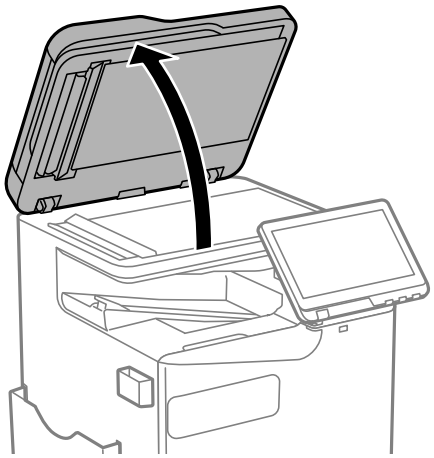


重要
- 乾いた布で拭くと、表面に傷が付くおそれがあります。
- ローラーが乾いてからお使いください。

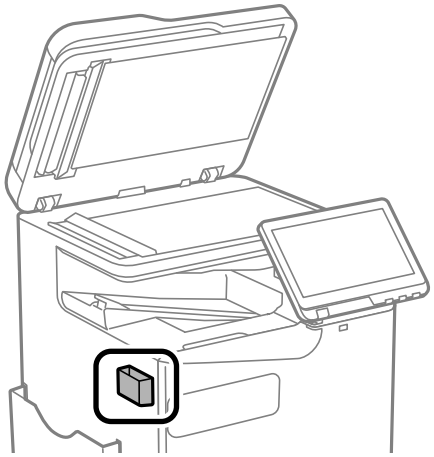
3. ADFカバーを閉めます。



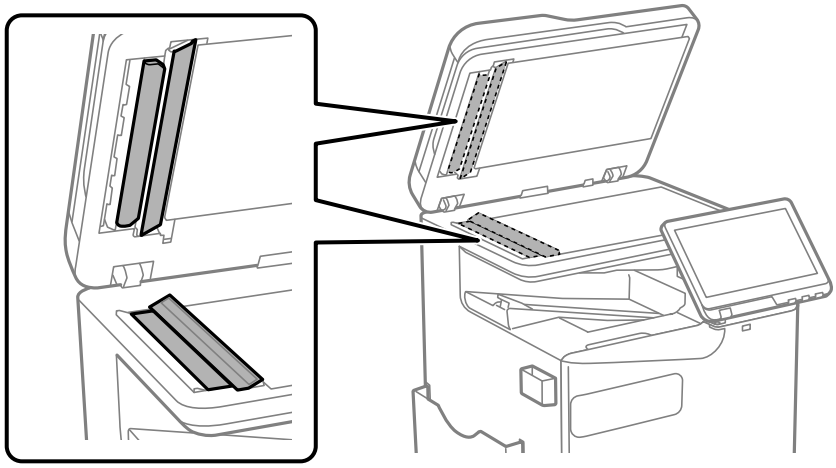
4. 原稿カバーを開けます。



5. クリーニングクロス入れからクリーニングクロスを取り出します。



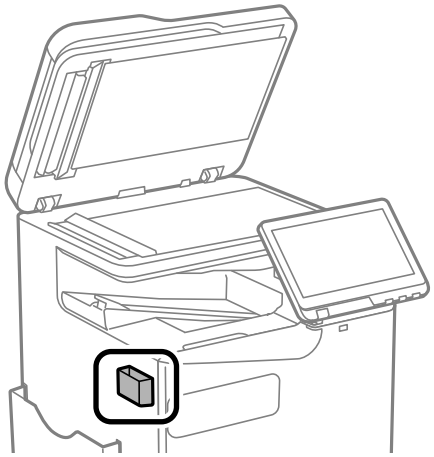
6. イラストで示した部分をクリーニングクロスでから拭きします。



!重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

7. クリーニングクロスをクリーニングクロス入れに戻します。



8. 原稿カバーを閉めます。

こんなときは

コンピューターを買い替えたときは 432

ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする 432

コンピューターとの接続設定をする 438

プリンターのネットワーク接続状態を調べたい（ネットワーク接続診断） 438

スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct） 439

無線LAN（Wi-Fi）からUSBへ接続変更する 446

利用者制限されたプリンターの使い方 446

プリンターの移動と輸送 449

コンピューターを買い替えたときは

以下の操作は、ユーザーによる操作が許可されている場合のみ行ってください。
新しいコンピューターにプリンタードライバーなどのソフトウェアのインストールが必要です。
以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。［セットアップ］に進み、作業を開始します。この後は、画面の指示に従って操作してください。

https://epson.sn

ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする

ネットワークに接続されているコンピューターでWeb上の最新版をインストールします。管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアを個別にインストールする

参考
- 再インストール時は、インストール済みの古いソフトウェアをアンインストールしてください。
- 最新版のソフトウェアはエプソンのウェブサイトからもダウンロードできます。
  www.epson.jp/support/
- Windows Server OSをお使いの場合、Epson Software Updaterではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。

2. EPSON Software Updaterを起動します。
   画面はWindowsでの一例です。

3. Windowsの場合は、お使いのプリンターを選択し、をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。

4. インストールや更新が必要なソフトウェアにチェックを入れて、画面右下のインストールをクリックします。

> **重要** 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

関連情報

- 「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」528ページ
- 「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」436ページ

エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）

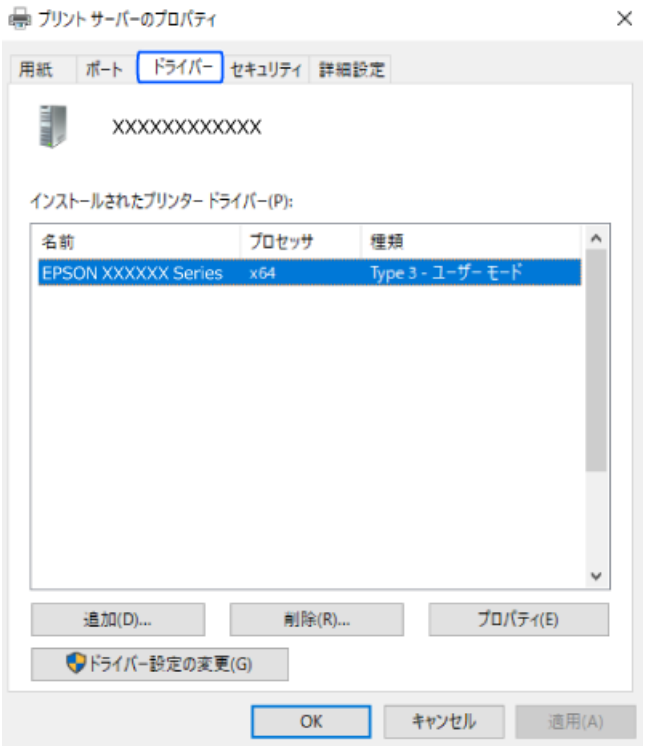
エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。

- Windows 11
  スタートボタンをクリックし、［設定］-［Bluetoothとデバイス］-［プリンターとスキャナー］の順に選択して、［関連設定］の［プリントサーバープロパティ］をクリックします。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2
  ［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［デバイスとプリンターの表示］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）の順に選択し、プリンターアイコンをクリックして、画面上部の［プリントサーバープロパティ］をクリックします。

- Windows Server 2008
  ［プリンタ］フォルダー上で右クリックして、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］の順にクリックします。

［ドライバー］タブをクリックします。お使いのプリンター名が一覧に表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。



関連情報

➡ 「ソフトウェアを個別にインストールする」432ページ

エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）

エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。
アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］をクリックして［オプション］タブと［ユーティリティー］タブが表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。

関連情報

➡ 「ソフトウェアを個別にインストールする」432ページ

PostScriptプリンタードライバーをインストールする

PostScriptプリンタードライバーをインストールする - Windows

1. 以下のいずれかの方法でインストールを開始します。
   - **ウェブサイトからダウンロードする**
     以下からお使いの機種のページにアクセスし、PostScriptプリンタードライバー（またはクライアントPPDファイル）をダウンロードして、実行ファイルを起動してください。
     www.epson.jp/support/
   - **ソフトウェアディスクを使用する（プリンターにソフトウェアディスクが同梱されていて、ソフトウェアディスクを使用できる場合）**
     ソフトウェアディスクをコンピューターにセットし、以下のフォルダーパスにアクセスして、SETUP64.EXE（またはSETUP.EXE）を起動します。
     Driver\PostScript\WINX64 （または WINX86）\SETUP\SETUP64.EXE （ または SETUP.EXE）
2. お使いの機種を選択します。
3. 画面の指示に従って操作します。

4. 接続方法を、ネットワーク接続またはUSB接続から選択します。
   - **ネットワーク接続の場合**
     同じネットワークに接続されているプリンターが表示されます。
     使いたいプリンターを選択してください。
   - **USB接続の場合**
     画面の指示に従ってプリンターとコンピューターを接続してください。

5. 以降は画面の指示に従ってドライバーをインストールします。

PostScriptプリンタードライバーをインストールする - Mac OS

以下のウェブサイトからプリンタードライバーをダウンロードして、インストールします。

www.epson.jp/support/

インストール時にプリンターのIPアドレスが必要です。
ホーム画面でネットワークアイコンから接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

エプソン純正プリンターを追加する（Mac OSのみ）

1. アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択します。

2. ［+］（または［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加］）をクリックして、表示された画面でお使いのプリンターを選択します。

3. 以下の設定をします。
   - macOS Monterey (12.x)以降
     ［ドライバ］から［ソフトウェアを選択］をクリックし、表示された画面でお使いのプリンターを選択して［OK］をクリックします。
   - Mac OS X Mavericks (10.9)～macOS Big Sur (11.x)
     ［ドライバ］からお使いのプリンターを選択します。

4. ［追加］をクリックします。

参考
- プリンター名がリストに表示されないときは、コンピューターとプリンターの接続状態が正しいか、プリンターの電源が入っているかを確認してください。
- USB接続やIP接続、Bonjour接続では、プリンタードライバーの追加後に増設カセットユニットの設定を手動で行ってください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows

1. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

2. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了します。

3. ［コントロールパネル］を表示します。
   - Windows 11
     スタートボタンをクリックして、［すべてのアプリ］-［Windowsツール］-［コントロールパネル］の順に選択します。
   - Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］を選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］の順に選択します。
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］を選択します。

4. ［プログラムのアンインストール］（または［プログラムの追加と削除］）を表示します。
   ［プログラム］の［プログラムのアンインストール］を選択します。

5. 削除するソフトウェアを選択します
   印刷ジョブが残っていると、プリンタードライバーをアンインストールできません。印刷ジョブを削除するか、印刷が終わるのを待ってからアンインストールをしてください。

6. ソフトウェアをアンインストールします。
   ［アンインストールと変更］または［アンインストール］をクリックします。

   参考 ［ユーザーアカウント制御画面］が表示されたら、［続行］をクリックします。

7. 画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Mac OS

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードします。
   一度ダウンロードすれば、アンインストールのたびにダウンロードする必要はありません。

2. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

3. プリンタードライバー、またはPC-FAXドライバーを削除するときは、アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、使用できるプリンターのリストからプリンターを削除します。

4. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了します。

5. ［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Uninstaller］の順に選択します。

6. 削除するソフトウェアをチェックして、［アンインストール］をクリックします。

> **重要** Uninstallerは、コンピューターにインストールされているエプソン製インクジェットプリンターのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製インクジェットプリンターをご使用の方で、一部のプリンタードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのプリンタードライバーを削除した後、使いたいプリンターのドライバーを再インストールしてください。

> **参考** 一覧に表示されないソフトウェアはUninstallerでは削除できません。［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ&ドロップしてください。

関連情報

➡ 「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」528ページ

コンピューターとの接続設定をする

プリンターの接続方法について管理者から指示がある場合は従ってください。
以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。［セットアップ］に進み、作業を開始します。

https://epson.sn

ネットワーク上の共有プリンターを設定するには、ネットワーク上で見つかったプリンターを選択して、設定を開始してください。

プリンターのネットワーク接続状態を調べたい（ネットワーク接続診断）

プリンターと無線LANルーター（アクセスポイント）の接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

1. ホーム画面で をタップします。
2. ［ネットワークにつながらないときは］ - ［接続診断］の順に選択します。
3. ［コネクションテスト］をタップします。

   診断が始まります。
4. 画面の指示に従って、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

   エラーがある場合は管理者に問い合わせてください。

関連情報

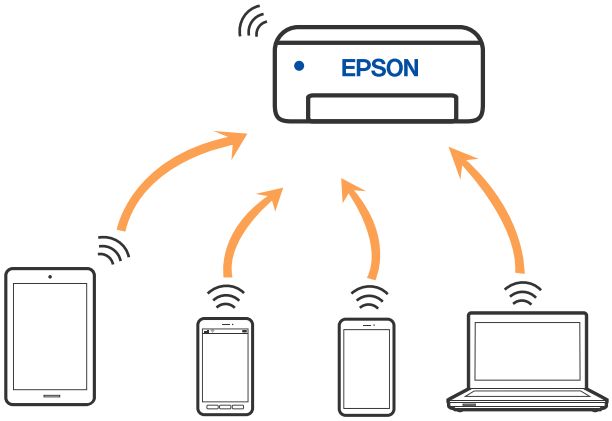
➡ 「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」58ページ

スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を使うと、無線LANルーターを使わずにスマートデバイスとプリンターを直接接続して印刷できます。
この機能を使用するには、オプションの Wireless LAN Interface-P1を装着する必要があります。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）とは

家庭またはオフィスで無線LAN（Wi-Fi）を利用していない、無線LANルーター（アクセスポイント）がない場合や、プリンターとコンピューターやスマートデバイスを直接接続したい場合の接続方法です。この接続方法はプリンターが無線LANルーター（アクセスポイント）として動作し、複数台の機器と接続できます。ただし、プリンターに直接接続された機器の間では、プリンター経由での通信はできません。



プリンターは無線LAN（Wi-Fi）または有線LANと、Wi-Fi Direct（シンプルAP）の同時接続ができます。ただし、無線LAN（Wi-Fi）で接続中にWi-Fi Direct（シンプルAP）設定を開始すると、無線LAN（Wi-Fi）接続は一時切断されます。

iPhone、iPad、iPod touchでWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターとiPhone、iPad、iPod touchを接続する方法です。
この機能を使用するには、オプションの Wireless LAN Interface-P1を装着する必要があります。
この接続をする場合は、以下の条件が必要です。条件に合致しない場合は、［その他スマートデバイスとつなぐ］から接続してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

- iOS11以降
- QRコード読み取り時に標準カメラアプリを使用
- Epson Smart Panelバージョン 4.00以降

スマートデバイスからはEpson Smart Panelを使って印刷します。あらかじめ、スマートデバイスにEpson Smart Panelをインストールしてください。

参考 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

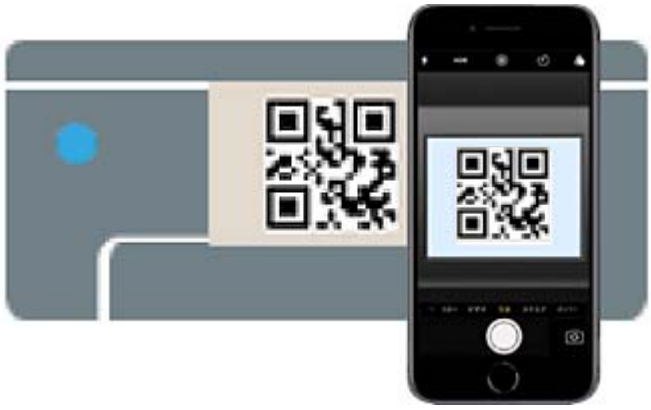
1. プリンターのホーム画面で をタップします。

2. ［Wi-Fi Direct］を選択します。

3. ［設定に進む］を選択します。

4. ［iOSデバイスとつなぐ］を選択します。
   プリンターの画面上にQRコードが表示されます。

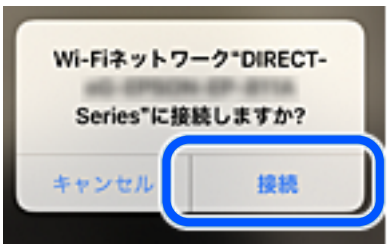
5. iPhone、iPad、iPod touchの標準カメラアプリを開き、プリンターの画面上のQRコードを写真モードで読み取ります。



   iOS11以降の標準カメラアプリを使ってください。iOS10以前の標準カメラアプリでは、プリンターの接続はできません。コード読み取り用のアプリを使っても、プリンターの接続はできません。接続できない場合は、［その他スマートデバイスとつなぐ］を選択してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

6. iPhone、iPad、iPod touchの画面に表示される接続情報をタップします。

7. ［接続］をタップします。



8. プリンターの操作パネルに接続が確立したことを示すメッセージが表示されていることを確認し、［OK］をタップします。

9. ［完了］を選択します。

10. iPhone、iPadまたはiPod touchでEpson Smart Panelを開きます。

    Epson Smart Panelは、スマートデバイスに接続されているプリンターを自動で追加します。この後は、画面の指示に従って操作してください。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi接続画面から、プリンターの接続名を選択して接続してください。

関連情報

➡ 「SSIDとパスワードを入力してWi-Fi Direct接続する」442ページ

AndroidデバイスでWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターとAndroidを接続する方法です。
この機能を使用するには、オプションの Wireless LAN Interface-P1を装着する必要があります。
以下の条件が必要です。

- Android 5.0以上
- Epson Smart Panelバージョン 4.00以降

スマートデバイスからはEpson Smart Panelを使って印刷します。あらかじめ、Epson Smart Panelをインストールしてください。

参考 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

1. ホーム画面で を選択します。

2. ［Wi-Fi Direct］を選択します。

3. ［設定に進む］を選択します。

4. ［Androidデバイスとつなぐ］を選択します。

5. スマートデバイスでEpson Smart Panelを起動します。

   Epson Smart Panelの画面で［+］をタップして、Wi-Fiに接続されている製品の一覧から接続したいプリンターを選択します。

6. プリンターにデバイスの接続許可の画面が表示されたら［接続を許可］を選択します。

7. プリンターの画面で［完了］を選択します。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi画面でSSID（ネットワーク名）を選択して、再度接続してください。

関連情報

➡ 「SSIDとパスワードを入力してWi-Fi Direct接続する」442ページ

SSIDとパスワードを入力してWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターと機器を接続する方法です。
この機能を使用するには、オプションの Wireless LAN Interface-P1を装着する必要があります。

参考 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

1. ホーム画面で を選択します。

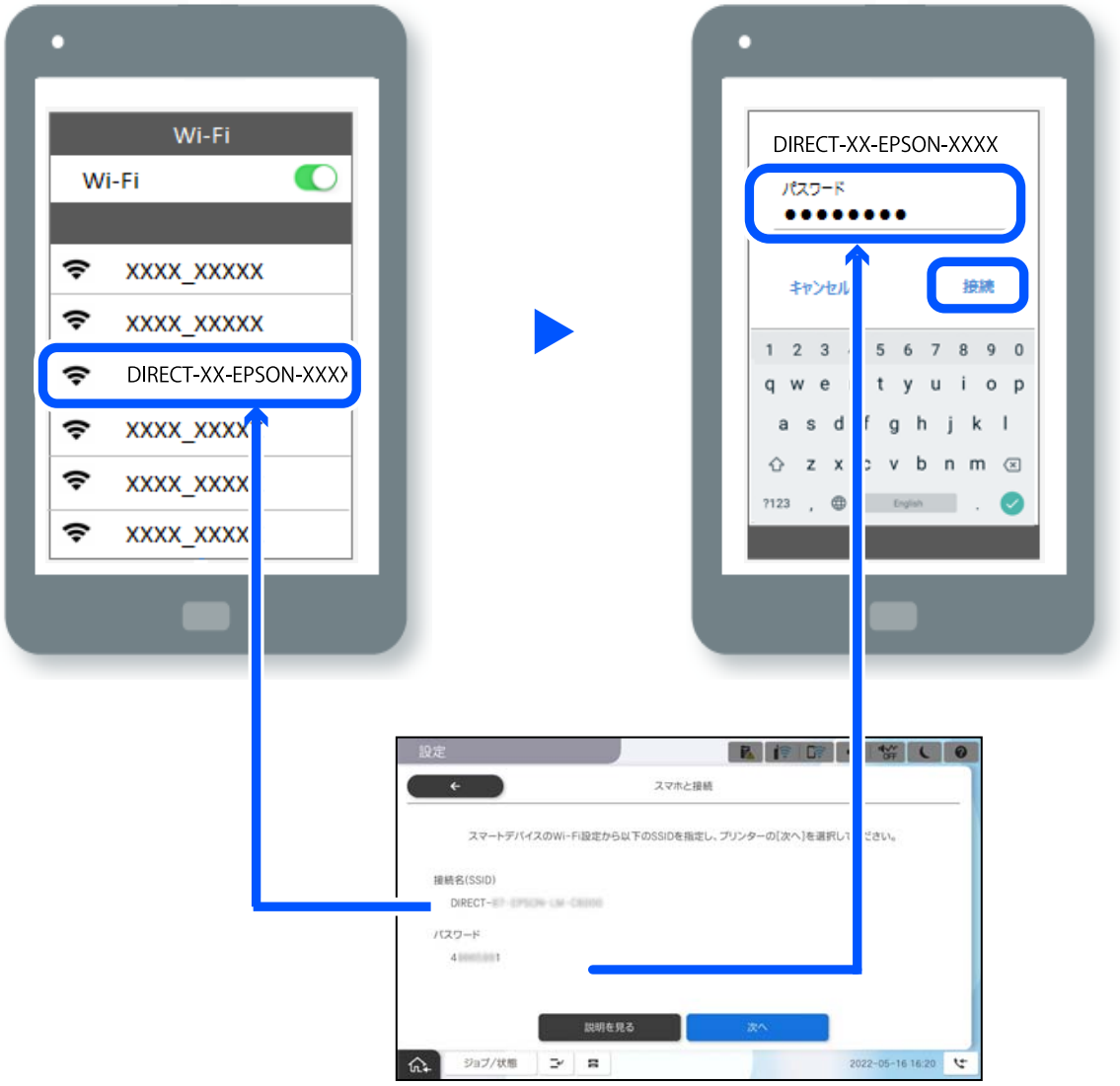
2. ［Wi-Fi Direct］を選択します。

3. ［設定に進む］を選択します。

4. ［その他スマートデバイスとつなぐ］を選択します。

プリンターの画面にはWi-Fi Directの接続名(SSID)とパスワードが表示されます。

5. 機器のWi-Fi接続画面を表示し、プリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択して、パスワードを入力します。



6. プリンターの画面で［次へ］を選択します。

7. スマートデバイスでEpson Smart Panelを起動します。

   Epson Smart Panelは、起動時に自動的にプリンターに接続します。この後は、画面の指示に従って操作してください。

8. プリンターの画面で［完了］を選択します。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi画面でSSID（ネットワーク名）を選択して、再度接続してください。

コンピューターをWi-Fi Direct接続する

この機能を使用するには、オプションの Wireless LAN Interface-P1を装着する必要があります。

プリンターとコンピューターがWi-Fi Directで接続されている間は、コンピューターからインターネットにアクセスできません。プリンターに継続的に接続する必要がある場合は、Wi-Fi接続を使用することをお勧めします。

1. エプソンのウェブサイトにアクセスし、使用するプリンターのプリンタードライバーを接続するコンピューターにダウンロードします。

   https://www.epson.jp

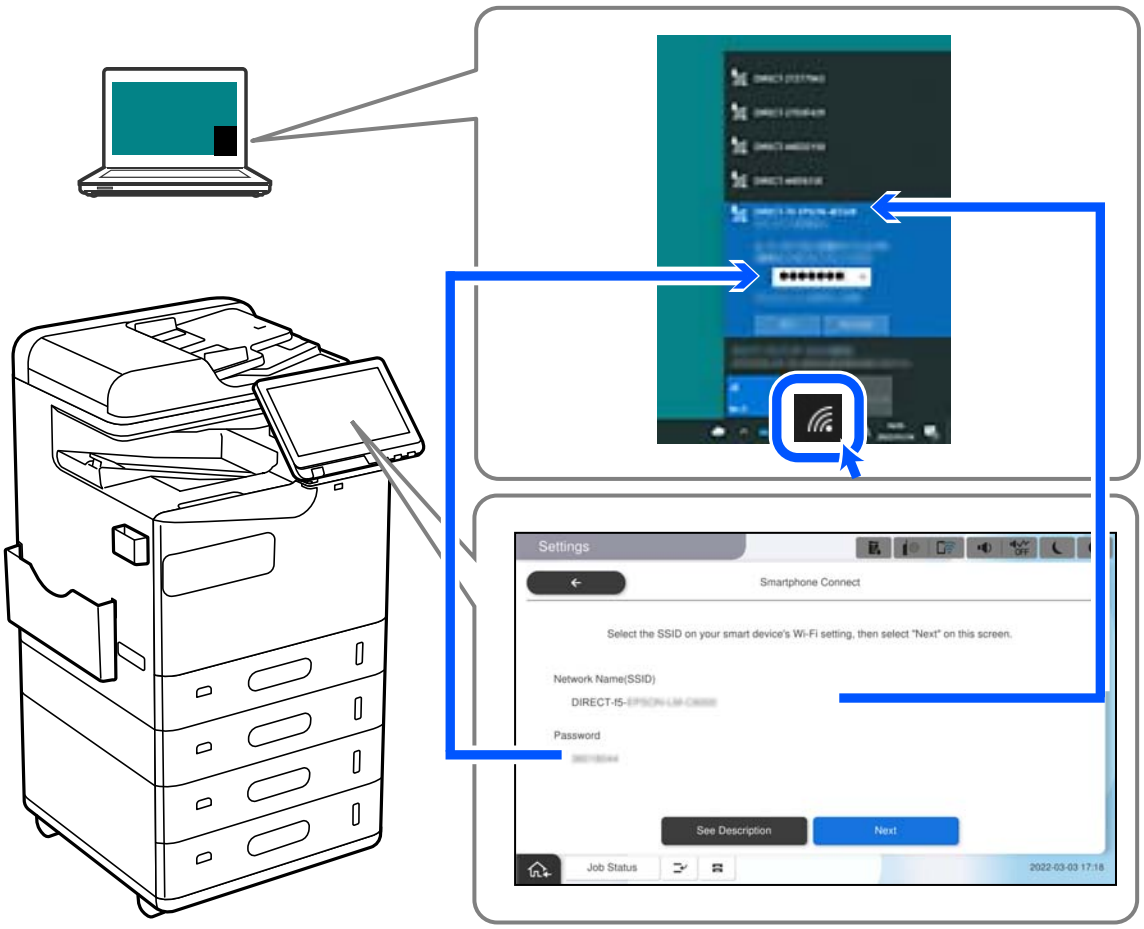
2. をタップして、［スマートデバイスと直接つなぐ］を選択します。

3. ［設定に進む］をタップします。

4. ［その他スマートデバイスとつなぐ］を選択します。

   プリンターの画面にはWi-Fi Directの［接連名(SSID)］と［パスワード］が表示されます。

5. コンピューターのWi-Fi接続画面を表示し、プリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択して、パスワードを入力します。



6. ダウンロードしたプリンタードライバーをダブルクリックしてインストールします。

   この後は、画面の指示に従って操作してください。

7. プリンターの画面で［次へ］を選択し、［完了］を選択します。

無線LAN（Wi-Fi）からUSBへ接続変更する

使用しているWi-Fiが不安定な場合や、より安定したUSB接続に変更したいときは以下のように操作します。

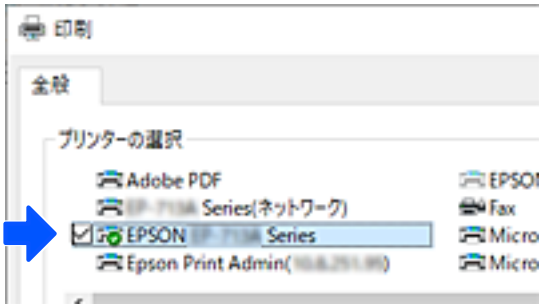
1. プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続します。

2. USB接続で印刷する場合は、（XXXXX）と表示されていないプリンターを選択してください。

   XXXXXに表示されるプリンター名あるいは“ネットワーク”は、オペレーティングシステムのバージョンによって異なります。

   Windows 11の例

   Windows 10の例



USBケーブルでコンピューターに接続している場合にプリンターが認識されないときは、管理者が外部インターフェイスの接続を制限している可能性があります。その場合は、管理者に確認してください。

関連情報

➡ 「背面」23ページ
➡ 「USB接続や外部メモリーの接続を制限する」624ページ

利用者制限されたプリンターの使い方

プリンターの操作パネルに が表示されている場合、管理者によって利用者が制限されています。
この場合、ユーザーはプリンター設定を変更できず、プリンターの一部の機能しか利用できません。利用時にプリンターへのログオンが必要になります。

操作パネルからプリンターにログオンする

以下の説明は、管理者ロックと利用者制限の機能が有効なプリンターに、登録された利用者がログオンする場合の手順を例にしています。表示内容は機種や状況によって異なります。

1. プリンターの操作パネルで を選択します。

2. プリンターにログオンするユーザーを選択します。

3. パスワードを入力して、プリンターにログオンします。

   ユーザーのログオン情報については、管理者にお問い合わせください。管理者パスワードは、あらかじめ設定されています。詳しくは、関連情報をご覧ください。

登録ユーザーは、許可されている機能が使用できます。管理者でログオンすると、操作パネルからの設定ができます。

操作が終了したら、 を選択してログオフします。

関連情報

- 「管理者パスワードに関するご注意」17ページ
- 「ユーザーアカウントを作成する」622ページ

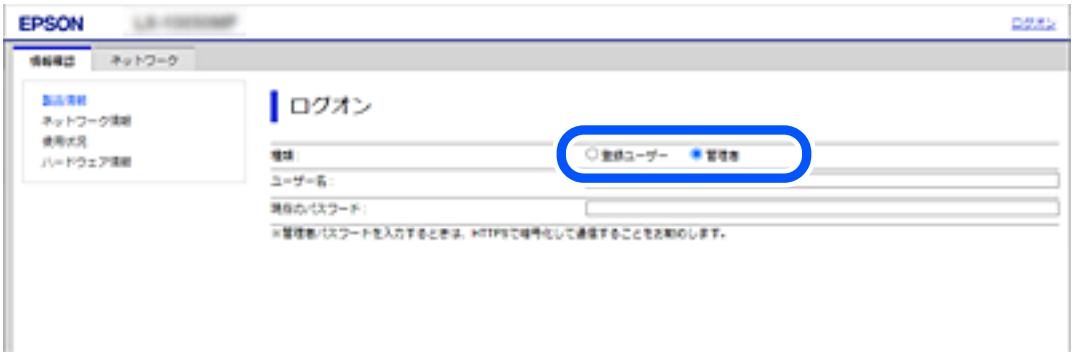
コンピューターからプリンターにログオンする

以下の説明は、管理者ロックと利用者制限の機能が有効なプリンターで、管理者が［登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する］ を選択している場合について説明しています。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. ログオンをクリックします。

3. ユーザーのタイプを選択し、ユーザー名とパスワードを入力して、確認をクリックします。



付与された権限に応じてページにアクセスできます。
操作の実行が終了したら、ログオフを選択します。

関連情報

- 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
- 「管理者パスワードの初期値」17ページ
- 「ユーザーアカウントを作成する」622ページ

プリンタードライバーからユーザーアカウントを登録する（Windows）

プリンターの利用者制限を有効にした場合、認証情報を登録できるドライバーにユーザーアカウント情報を登録すると、登録ユーザーがコンピューターからプリンターを利用できるようになります。
ここでは、エプソンのプリンタードライバーに認証情報を登録する手順を説明します。

1. エプソンのWindows用プリンタードライバーの画面を開きます。

2. 以下の順に選択します。
   ［ユーティリティー］タブ -［プリンター情報］

3. ［情報の登録］を選択して、［設定］をクリックします。

4. ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックします。
   管理者から提供されたユーザーアカウントを入力します。

5. ［OK］を数回クリックして、プリンタードライバー画面を閉じます。

関連情報

➡ 「プリンター情報：」229ページ
➡ 「ユーザーアカウントを作成する」622ページ

利用者制限がかかったプリンターでEpson Scan 2を使用する

利用者制限されているプリンターでは、Epson Scan 2でのスキャン時にユーザー名とパスワードが要求されます。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

1. Epson Scan 2を起動します。

2. Epson Scan 2で、［スキャナー］に選択されているプリンターが正しいことを確認してください。

3. ［スキャナー］で［設定］を選択し、［スキャナーの設定］画面を開きます。

4. ［利用者制限］をクリックします。

5. ［利用者制限］画面で、スキャンの権限を持つ［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

6. ［OK］をクリックします。

関連情報

➡ 「ユーザーアカウントを作成する」622ページ

プリンターの移動と輸送

プリンターを移動または輸送する際には、保守サービス実施店までお問い合わせください。

関連情報

➡ 「お問い合わせ先」674ページ

困ったときは

トラブルの自己診断 451

印刷、コピー、スキャン、ファクスができない 453

きれいに印刷、コピー、スキャン、ファクスできない 469

プリンター画面にメッセージやエラーコードが表示された 488

用紙が詰まった 497

消耗品や定期交換部品の交換が必要になった 498

思い通りに操作できない 503

どうしても解決できないときは 508

トラブルの自己診断

トラブルが発生したときは、以下を順番に確認して原因を特定してください。

プリンターのエラー状態を確認

プリンター本体に問題があるか確認をします。

チェックポイント	対処
プリンターにエラーが出ていませんか？	プリンターの画面にメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って対処してください。機能制限などでユーザーが対処できない場合は、管理者に問い合わせてください。
	用紙が詰まっている場合は、プリンターの画面で異常箇所を確認して、案内に従って取り除いてください。注意事項は、本書の該当する記載をご覧ください。
	消耗品交換に関するメッセージが表示されている場合は、画面の案内に従って交換してください。取り扱い上の注意事項は、本書の該当する記載をご覧ください。
ケーブル類や外観上の異常はありませんか？	カバー類がきちんと閉まっていない場合は、閉めてください。ケーブル類が外れかかっている場合は、しっかりと差し込んでください。
電源が切れていませんか？	電源が切れている場合は、⏻ボタンを押して電源を入れてください。

関連情報

- 「プリンター画面にメッセージが表示された」488ページ
- 「用紙が詰まった」497ページ
- 「消耗品や定期交換部品の交換が必要になった」498ページ

プリンターの接続を確認

プリンターの接続に問題がないか確認してください。

チェックポイント	対処
プリンターは正常にネットワーク接続されていますか？	ネットワーク接続診断をしてネットワーク接続を確認します。 プリンターの画面で- [ネットワークにつながらないときは] を選択します。ネットワーク接続診断レポートを印刷して、接続に問題があれば管理者に対処を依頼してください。
コンピューターにプリンタードライバーをインストールしましたか？	プリンタードライバーがインストールされているかは、コンピューターの［設定］-［デバイス］-［プリンター］で確認できます。詳細な手順は関連情報をご覧ください。

チェックポイント	対処
コンピューターからプリンターの情報が表示されますか？	EPSONプリンターウィンドウ！3を使うと、コンピューターとプリンターの接続状態を確認できます。詳細な手順は関連情報をご覧ください。
	プリンターの状態を確認できないときは正しいポートが選択されていないことがあります。ネットワーク上のプリンターと接続する場合は、［EpsonNet Print Port］を選択することをお勧めします。［EpsonNetPrint Port］がない場合は、プリンタードライバーを再インストールしてください。
コンピューターでUSB3.0デバイスを利用中に無線LAN（Wi-Fi）接続が途切れたり、接続できなかったりしますか？	コンピューターのUSB 3.0ポートに機器を接続して使用していると、無線周波数干渉が起こることがあります。以下をお試しください。 • USB 3.0ポートに接続している機器をコンピューターから離す。 • 使っていないUSB 3.0機器の電源を切る、または必要なときだけ接続する。 • プリンターを5GHzのSSIDに接続する。
お使いのコンピューターやスマートデバイスは、ネットワーク接続できますか？	お使いのコンピューターやスマートデバイス（データ通信をオフの状態）でウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない状態であればネットワークに問題があります。管理者に対処を依頼してください。

関連情報

- 「プリンターのネットワーク接続状態を調べたい（ネットワーク接続診断）」438ページ
- 「プリンターの状態に問題があります。」454ページ
- 「USB接続できない」457ページ
- 「ソフトウェアを個別にインストールする」432ページ

プリンターの設定を確認

プリンターの設定を確認します。管理者によって管理されているプリンターは、本体設定を自由に変更されないように制限されている場合があります。ユーザーが操作できないときは、管理者に問い合わせてください。

チェックポイント	対処
印刷が始まらない	プリンターにデータが溜まっている場合があります。プリンターのキューを開いて印刷ジョブの状態を確認してください。エラーになって止まっている場合は、エラーを解除して再開するか、エラーのジョブを削除すると、残りのデータの印刷が始まります。
	Windowsコンピューターのプリンターの設定で、通常使うプリンターがオフラインや一時停止になっている場合は、オンラインにしてください。
	出力先のプリンターやポートを正しく選択してください。
使いたいメニューが表示されない	管理者によって利用者制限が設定されている場合があります。利用するために必要な情報を管理者に問い合わせてください。
	ご利用になるには別契約が必要な機能があります。お使いのプリンターが利用可能な状態にあるか、管理者にご確認ください。
ファクスできない	設定に関する困りごとは、ファクス関連のトラブル対処方法をご覧ください。

チェックポイント	対処
コピーやスキャンができない	設定に関する困りごとは、コピーやスキャン関連のトラブル対処方法 をご覧ください。

関連情報

- 「印刷待ちのジョブが残っています。」454ページ
- 「プリンターが一時停止やオフラインになっています。」453ページ
- 「プリンターが使用するポート」575ページ
- 「コピーできない」458ページ
- 「接続できているのにスキャンできない」457ページ
- 「ファクスの送信も受信もできない」458ページ

印刷、コピー、スキャン、ファクスができない

アプリやプリンタードライバーが正常に動作しない

接続できているのに印刷できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

プリンターが一時停止やオフラインになっています。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。
［プリンター］メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。

ソフトウェアやデータに問題があります。

対処方法

- エプソン純正プリンタードライバー（EPSON XXXXX）がインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとすると、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。
- 全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。
- ソフトウェアを最新のバージョンに更新すると、問題が解決することがあります。ソフトウェアの状態を確認するには、ソフトウェア更新ツールを使用してください。

➡「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」433ページ
➡「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）」435ページ
➡「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」432ページ

プリンターの状態に問題があります。

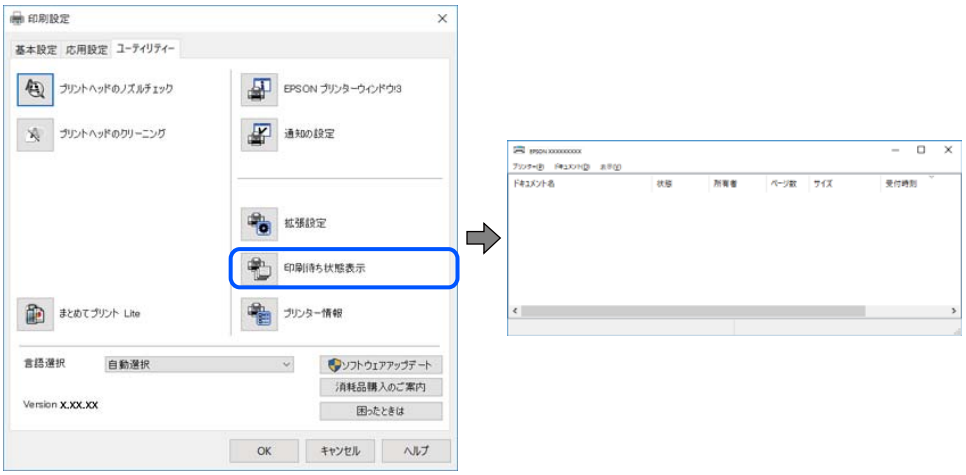
対処方法

プリンタードライバーで［ユーティリティー］タブの［EPSON プリンターウィンドウ!3］をクリックしてプリンターの状態を確認してください。この機能を有効にするには［EPSON プリンターウィンドウ!3］をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

印刷待ちのジョブが残っています。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。不要な印刷データが残っている場合は、［プリンター］メニューで［すべてのドキュメントの取り消し］を選択してください。



通常使うプリンターに設定されていません。

対処方法

［コントロールパネル］-［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）でお使いになるプリンターアイコンを右クリックして［通常使うプリンターに設定］をクリックします。

参考 複数プリンターアイコンがある場合は、以下を参考にして選んでください。

例）
USB ケーブルで接続：EPSON XXXX Series
ネットワークで接続：EPSON XXXX Series（ネットワーク）
何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。「EPSON XXXX Series（コピー1）」などのコピーができてしまっている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、［デバイスの削除］をクリックしてください。

正しいポートが選択されていません。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。
［プリンター］メニューの［プロパティ］-［ポート］で、以下の正しいポートを選択してください。
USB ケーブルで接続：［USBXXX］、ネットワーク接続：［EpsonNet Print Port］
ポートを変更できないときは、［プリンター］メニューの［管理者として実行］を選択してください。［管理者として実行］が表示されないときは、システム管理者に問い合わせてください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

印刷言語の設定変更が必要です。

対処方法

操作パネルで［印刷言語］を［Auto］または［PS］に設定してください。

大量のジョブを送信しました。

対処方法

Windowsの場合、大量のジョブを送信すると印刷できないことがあります。プリンターのプロパティの［詳細設定］タブで、［プリンターに直接印刷データを送る］を選択してください。

接続できているのに印刷できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

ソフトウェアやデータに問題があります。

対処方法

- エプソン純正プリンタードライバー（EPSON XXXXX）がインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとすると、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。
- 全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。
- ソフトウェアを最新のバージョンに更新すると、問題が解決することがあります。ソフトウェアの状態を確認するには、ソフトウェア更新ツールを使用してください。

➡「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」433ページ
➡「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）」435ページ
➡「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」432ページ

プリンターの状態に問題があります。

対処方法

プリンターのステータスが［一時停止］になっていないか確認してください。
アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターをダブルクリックします。［一時停止］になっているときは、［再開］をクリックしてください。

プリンターの利用者制限が有効になっています。

対処方法

利用者制限されたプリンターでは印刷できないことがあります。プリンターの管理者に問い合わせてください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない（Mac OS）

印刷言語の設定変更が必要です。

対処方法

操作パネルで［印刷言語］を［Auto］または［PS］に設定してください。

接続できているのに印刷できない（iOS）

以下の原因が考えられます。

設定画面自動表示が無効になっています。

対処方法

操作パネルの以下のメニューで［設定画面自動表示］を有効にしてください。
［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］-［設定画面自動表示］

AirPrintの設定が無効になっています。

対処方法

Web ConfigでAirPrintの設定を有効にしてください。

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」525ページ

接続できているのにスキャンできない

ネットワーク接続で、高解像度のスキャンをしようとしています。

対処方法

解像度を下げてスキャンしてください。

USB接続できない

以下の原因が考えられます。

USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。

USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

USBケーブルか差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

対処方法

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB 3.0ケーブルを使用する（対応機種のみ）
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

➡ 「インターフェイスの仕様」577ページ

コピーできない

▌利用者制限されたプリンターでは、ユーザー名とパスワードが要求されます。

対処方法

パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

▌プリンターエラーが発生しています。

対処方法

紙詰まりなどでプリンターにエラーが発生しているとコピーできません。プリンターの操作パネルを確認し、メッセージに従いエラーを取り除いてください。

ファクスの送信も受信もできない

ファクスの送信も受信もできない

ファクスの送信も受信もできない場合は、プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「ファクスの送信も受信もできない」149ページ

ファクスを送信できない

以下の原因が考えられます。

▌構内交換機が設置された環境で、外線発信番号を付けずに発信しています。

対処方法

外線発信番号が必要な環境では外線発信番号をプリンターに登録して、電話番号の先頭に＃を付けて送信してみてください。

▌送信先のファクス番号が間違っています。

対処方法

アドレス帳に登録したファクス番号や、直接入力したファクス番号が正しいか確認してください。または、ファクス番号が正しいか、送信先に確認してください。

▌ご契約の回線でファクス送信時に必要な番号「0009」を付けないまま発信しています。

対処方法

ご契約の回線によっては、ファクス番号の前に「0009」が必要です。詳しくはご契約の回線事業者へ問い合わせてください。

お使いの電話番号が非通知に設定されています。

対処方法

ファクス番号の先頭に186を付けてダイヤルしてみてください。送信先によっては非通知で送られた ファクスを受け付けないことがあります。送信先によっては電話番号を通知することで受信できる ことがあります。

プリンターで受信専用に設定した回線ポートからファクス送信しようとしています。

対処方法

［回線別通信設定］で［送受信兼用］か［送信専用］に設定した回線からファクス送信してください。
プリンターの設定状態を確認するには、［ファクス機能設定リスト］を印刷します。プリンターの操作パネルから以下の順に操作してください。

［ファクス］-☰（メニュー）-［ファクスレポート印刷］-［ファクス機能設定リスト］

送信データのサイズが大きすぎます。

対処方法

以下の方法でデータサイズを小さくして送信できます。

- モノクロファクス送信の場合は、［ファクス］-［ファクス設定］の［送信設定］から［ダイレクト送信］を有効にして送信する
「大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）」352ページ
- 外付け電話機からダイヤルして送信する
「外付け電話機からダイヤルして送信する」350ページ
- プリンターのオンフック機能を使って送信する
「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」349ページ
- 原稿を小分けにして送信する

プリンターのメモリーが不足しています。

対処方法

受信文書がいっぱいだったり、未処理のファクス文書が溜まっていたりしていてプリンターのメモリーが不足すると、ファクスを送信できなくなります。未処理文書の処理、受信ボックスや親展ボックスに溜まっているファクス文書を削除するなどして、プリンターのメモリーを空けてください。

送信先のファクス機がファクスを受信できない状態です。

対処方法

送信先に確認してください。

意図せずにFコードを使ってファクスを送信しています。

対処方法

Fコード（Fコードやパスワード）送信になっていないか確認してください。アドレス帳から、Fコードやパスワード付きで登録した宛先を選択すると、Fコード送信になります。

送信先のファクス機がFコード受信に対応していません。

対処方法

Fコードを使った送信の場合、送信先のファクスがFコード受信に対応しているかを確認してください。

Fコードおよびパスワードが間違っています。

対処方法

Fコードを使った送信の場合、登録されたFコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが送信先のファクス機に登録されたものと一致しているか、送信先に確認してください。

以上の対処をしてもファクスを送信できないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「ファクスを送信できない」150ページ

ファクスを受信できない

以下の原因が考えられます。
また、プリンターが現在ファクス受信中かなどのプリンターの状態を［ジョブ/状態］から確認することをお勧めします。

プリンターの操作パネルで ⏻（電源ボタン）を押したため電源がオフになってます。

対処方法

電源がオンのときにファクス受信できます。操作パネルのicon（電源ボタン）を押して電源をオンにしてください。省電力モードに切り替えたい（画面を非表示にしたい）ときは、⏻（電源ボタン）でなく、画面の🌙で操作してください。

省電力設定で設定した自動電源オフ時間中のため電源がオフになっています。

対処方法

操作パネルの⏻（電源ボタン）を押して電源をオンにしてください。

プリンターで送信専用に設定した回線の番号に、送信元からファクス送信しようとしています。

対処方法

こちらで［回線別通信設定］で［送受信兼用］か［受信専用］に設定した回線の番号にファクス送信するように、送信元に依頼してください。
プリンターの設定状態を確認するには、［ファクス機能設定リスト］を印刷します。プリンターの操作パネルから以下の順に操作してください。

［ファクス］-☰（メニュー）-［ファクスレポート印刷］-［ファクス機能設定リスト］

受信ボックスと親展ボックスのメモリーが不足しています。

対処方法

受信ボックスと親展ボックスの受信文書の合計が200件（最大値）に達しています。不要になった文書を削除してください。

送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されていません。

対処方法

設定を有効にしていると、アドレス帳に載っていない番号からのファクスは受信拒否されます。送信元のファクス番号をアドレス帳に登録してください。

発信元情報のないファクスが送信されてきています。

対処方法

発信元情報のないファクスを受信拒否するように設定されています。送信元に、発信元情報を付けてファクスを送信してもらってください。

受信ファクスの保存先のコンピューターが起動していません。

対処方法

受信ファクスをコンピューターに保存する設定にしているときは、保存する設定にしているコンピューターを起動しておいてください。受信文書はコンピューターに保存されるとプリンターのメモリーから削除されます。

Fコードおよびパスワードが間違っています。

対処方法

Fコードを使って受信する場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが送信元のファクス機に登録されたものと一致しているか、送信元に確認してください。

以上の対処をしてもファクスを受信できないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「ファクスを受信できない」151ページ

特定の送信先にファクスを送信できない

以下の原因が考えられます。

送信先の応答に時間がかかっています。

対処方法

ダイヤル終了後、送信先の応答に50秒以上かかるとエラーになります。 （［オンフック］）機能を使うか、外付け電話機を使ってダイヤルし、ファクス信号（ボー音）が聞こえるまでの時間を確認してください。

50秒以上かかる場合は、ファクス番号の後ろに続けてポーズを入力して送信してください。ポーズは をタップして入れます。タップするとポーズマークとしてハイフンが入力されます。1ポーズは約3秒です。ポーズの数で調整してください。

アドレス帳の通信モード設定が間違っています。

対処方法

アドレス帳から送信先を選択して、［編集］で［通信モード］を［9.6kbps(G3)］にして再送信してみてください。

指定の時間にファクスを送信できない

日付と時刻が正しく設定されていません。プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。
「指定の時間にファクスを送信できない」153ページ

原稿サイズと違うサイズで送信された

以下の原因が考えられます。

原稿が原稿台の適切な位置にセットできていません。

対処方法

- 原点マークに合わせて原稿をセットしてください。
- スキャン結果の端が欠けたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。原稿台の隅から約1.5 mmの範囲はスキャンできません。

➡ 「原稿のセット」215ページ

原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

操作パネルから、スキャン範囲の自動切り取り設定でスキャンするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。
「原稿台の汚れを拭き取る」425ページ

外部メモリーに受信文書を保存できない

以下の原因が考えられます。

外部メモリーがプリンターに挿入されていません。

対処方法

保存フォルダーを作成した外部メモリーをプリンターに挿入してください。受信ファクスが外部メモリーに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。

外部メモリーの空き容量が不足しています。

対処方法

不要なデータを削除し、空き容量を増やしてください。または、空き容量に余裕のある外部メモリーをセットしてください。

外部メモリーが書き込み禁止になっています。

対処方法

書き込み禁止を解除してください。

受信ファクスを外部メモリーに保存する設定が無効になっています。

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「外部メモリーに受信文書を保存できない」154ページ

受信ファクスが印刷されない

以下の原因が考えられます。

紙詰まりなどのエラーが発生しています。

対処方法

プリンターのエラーを解除してから送信元に再送信を依頼してください。

➡ 「プリンター画面にメッセージやエラーコードが表示された」488ページ
➡ 「用紙が詰まった」497ページ

以上の対処をしても受信ファクスを印刷できないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「受信ファクスが印刷されない」154ページ

接続できているのにファクスを送受信できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

ソフトウェアがインストールされていません。

対処方法

PC-FAXドライバーがインストールされているか確認してください。PC-FAXドライバーはFAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。確認方法は以下です。
［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）で、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認してください。プリンター（ファクス）は「EPSON XXXXX (FAX)」と表示されます。表示されないときは、FAX Utilityをアンインストールして、再インストールしてください。［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）フォルダーを表示する手順は以下です。

- Windows 11
  スタートボタンをクリックし、［設定］-［Bluetoothとデバイス］-［プリンターとスキャナー］の順に選択します。
- Windows 10
  スタートボタンをクリックし、［Windowsシステムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
- Windows 7
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。

Windows UpdateによってWindowsのセキュリティー設定が変更されています。

対処方法

Windows 7以降、ネットワーク接続に対する共有の設定やファイヤーウォールが構成された、「ネットワークの場所」が設定されています。PC-FAX受信をする設定にしているのに、プリンター側にデータが溜まりコンピューターで受信できなくなってしまった場合、「ネットワークの場所」が変更されていることが原因のことがあります。ホーム／社内ネットワークに接続するときの「ネットワークの場所」が、公共の場所で公衆無線LAN（Wi-Fi）を使って接続するときの ［パブリック ネットワーク］に変更されているときは、［プライベートネットワーク］に切り替えてみてください。

コンピューターからの送信時に、ユーザー認証に失敗しました。

対処方法

プリンタードライバーで、ユーザー名とパスワードを設定してください。プリンターの利用者制限が設定されているときにコンピューターからファクスを送信すると、プリンタードライバーで設定してあるユーザー名とパスワードで認証が行われます。

プリンター本体のファクス接続、または設定に問題があります。

対処方法

プリンター本体のファクス接続や、設定のトラブル解決をお試しください。

接続できているのにファクスを送受信できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

ソフトウェアがインストールされていません。

対処方法

PC-FAXドライバーがインストールされているか確認してください。PC-FAXドライバーはFAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。確認方法は以下です。
アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認します。プリンター（ファクス）は「FAX XXXX (USB)」または「FAX XXXX (IP)」と表示されます。表示されていないときは、［+］をクリックして、お使いのプリンター（ファクス）を登録してください。

PC-FAXドライバーが一時停止の状態になっています。

対処方法

アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）をダブルクリックします。一時停止になっているときは、［再開］をクリックしてください。

プリンター本体のファクス接続、または設定に問題があります。

対処方法

プリンター本体のファクス接続や、設定のトラブル解決をお試しください。

給紙や排紙が正しくできない

はじめに確認すること

以下の項目を確認してから、現象に応じた対処方法をお試しください。

プリンターの設置場所に問題があります。

対処方法

プリンターを水平な場所に設置して、適切な環境で使用してください。

➡ 「動作時と保管時の環境仕様」582ページ

印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
➡ 「使用できない用紙」516ページ

用紙の取り扱いに問題があります。

対処方法

用紙取り扱い上のご注意に従ってください。

➡ 「用紙取り扱い上のご注意」203ページ

用紙のセット枚数が多すぎます。

対処方法

セット可能枚数を超えてセットしないでください。普通紙は用紙ガイドの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ

プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

➡ 「用紙サイズと種類の登録」204ページ

プリンタードライバーに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンタードライバーの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

封筒、ハガキ、厚紙が正しく給紙できない

対処方法

- 用紙力セットを使用時
  手差しトレイに用紙をセットしてください。
- 手差しトレイを使用時
  操作パネルの以下のメニューで［給紙アシスト］を［オン］にしてください。
  ［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙アシスト］

斜めに給紙される

以下の原因が考えられます。

用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ 「用紙をセットする」207ページ

環境によっては、普通紙が少し斜めに給紙されることがあります。

対処方法

印刷結果が斜めになるときは、操作パネルの以下のメニューで［給紙アシスト］を［オン］にしてください。
［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙アシスト］

重なって給紙される

以下の原因が考えられます。

用紙が湿っています。

対処方法

新しい用紙をセットしてください。

静電気で用紙がくっついています。

対処方法

印刷用紙をさばいてからセットしてください。それでも重なって給紙される場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。

用紙なしのエラーが発生する

用紙が手差しトレイの中央にセットされていません。

対処方法

手差しトレイに用紙をセットしているのに用紙なしのエラーが発生するときは、用紙を手差しトレイの中央にセットし直してください。

正しく排紙ができない

印刷後の用紙が波打ったり、丸まったりしています。

対処方法

以下のいずれかまたは組み合わせで解決することがあります。

- 操作パネルのメニューで以下を選択します。ご使用の環境によっては印刷速度が遅くなることがあります。
  ［印刷速度優先］を無効にします。
  ［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［印刷速度優先］-［オフ］
- 印刷濃度を下げる。
- 用紙の種類を変える。
- 用紙のセット方向（縦横）を変える。ただし、印刷時間が変わります。
- 用紙の裏表を変える。

ADFから給紙できない

以下の原因が考えられます。

ADFに対応していない原稿です。

対処方法

ADFに対応している原稿を使用してください。

➡ 「ADFの仕様」574ページ

原稿が正しくセットされていません。

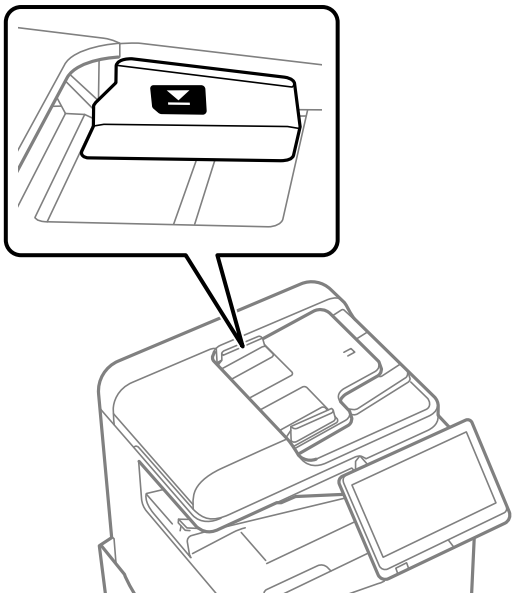
対処方法

原稿を正しい方向でセットして、原稿の側面にADF原稿ガイドを合わせてください。

原稿のセット枚数が多すぎます。

対処方法

ADFの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。



ローラーに紙粉が付いて、原稿が滑って給紙できません。

対処方法

ADFの内部をクリーニングしてください。

➡ 「ADFをクリーニングする」427ページ

原稿が検知されていません。

対処方法

コピー、スキャン、またはファクス画面で、ADFアイコンが点灯しているか確認してください。点灯していないときは、原稿をセットし直してください。

増設力セットユニットから給紙できない

プリンタードライバーでオプションの設定がされていません。

対処方法

プリンタードライバーでオプションの設定をしてください。

➡ 「オプションの給紙装置を使えるようにする」63ページ

きれいに印刷、コピー、スキャン、ファクスできない

きれいに印刷できない

色合いがおかしい、出ない色がある、スジ（線）が入る、かすれる

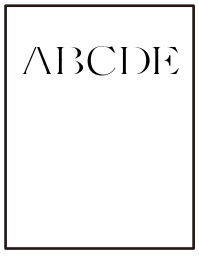
プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

ノズルチェックをすると目詰まりしているかどうかわかります。ノズルチェックをして、目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。長期間使用していない場合、プリントヘッドのノズルが目詰まりしてインクが出ないことがあります。

➡ 「ノズルが目詰まりしていないか確認する」424ページ

細線がかすれる、印刷の色が薄いなど、通常印刷時と印刷結果が異なる（コンピューターからボックスに保存したデータを印刷したとき）

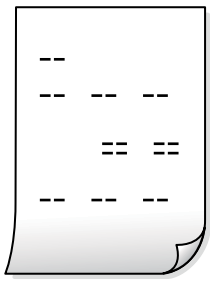


ボックス保存時に印刷品質が低い設定になっています。

対処方法

Windowsプリンタードライバーで印刷品質を高くしてください。
［基本設定］タブの［印刷品質］で［詳細設定］を選択して、［品質優先］を選択します。

印刷のかすれがひどい



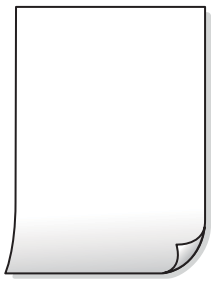
プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

おまかせクリーニングを実行してください。

➡ 「おまかせクリーニングをする」423ページ

白紙のまま出てくる



用紙が重なって給紙されています。

対処方法

重なって給紙されるのを防ぐには以下をご確認ください。

➡ 「重なって給紙される」466ページ

用紙が汚れる、こすれる

以下の原因が考えられます。

印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
➡ 「使用できない用紙」516ページ

用紙が正しくセットされていません。

対処方法

印刷方向に対して垂直に（横方向に）スジが入ったり、用紙の上下が汚れたりするときは、用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ 「用紙をセットする」207ページ

用紙のセット枚数が多すぎます。

対処方法

セット可能枚数を超えてセットしないでください。普通紙は用紙ガイドの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。

➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ

用紙が反っています。

対処方法

平らな場所に用紙を置いて、反りがあれば平らにしてください。

用紙が湿っています。

対処方法

用紙の状態を確認してください。用紙は吸湿すると波打ったり丸まったりして、トラブルの原因になります。

古い用紙を使用しています。

対処方法

頻繁に汚れやこすれが発生する場合は、新しく開封した用紙を使用してみてください。

用紙が密封されていません。

対処方法

一度開封した用紙は、ポリ袋に入れて密封して保管してください。

プリントヘッドが用紙の表面をこすっています。

対処方法

厚手の用紙に印刷すると、プリントヘッドが印刷面と近くなり、用紙表面をこすって汚れが発生することがあります。その場合は、こすれ軽減機能を有効にしてください。ただし、印刷品質や印刷速度が低下することがあります。

操作パネル

［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］の順に選択して、［こすれ軽減］を有効にします。設定値の種類は、本体画面をご覧ください。

印刷濃度が高い設定になっています。

対処方法

［こすれ軽減］を有効にしてもこすれが軽減できないときは、印刷濃度を薄くしてください。

印刷した面が十分に乾く前に裏面に印刷しました。

対処方法

手動で両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。

ハガキの通信面から先に印刷しました。

対処方法

ハガキの両面に印刷するときは、宛名面を先に印刷してください。

自動両面印刷時に印刷濃度が濃く、乾燥待ち時間が短く設定されています。

対処方法

画像やグラフなど高密度のデータを自動両面印刷するときは、印刷濃度を薄く、乾燥待ち時間を長く設定してください。

➡ 「両面に印刷する」231ページ
➡ 「両面に印刷する」264ページ

画像や写真が意図しない色合いになる

以下の原因が考えられます。

プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

ノズルチェックをすると目詰まりしているかどうかわかります。ノズルチェックをして、目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。長期間使用していない場合、プリントヘッドのノズルが目詰まりしてインクが出ないことがあります。

➡ 「ノズルが目詰まりしていないか確認する」424ページ

色補正がされています。

対処方法

操作パネルの購入時の設定、またはWindowsプリンタードライバーの初期設定では、用紙種類によってはエプソンの自動画質補正が有効になっています。設定を変更してみてください。

- 操作パネル
  ［自動画質補正］で［オートフォトファイン!EX(自動)］以外を選択します。効果がない場合は、［自動画質補正］で［自動補正なし］を選択してください。
- Windowsプリンタードライバー
  ［応用設定］タブの［色補正］で［ユーザー設定］を選択して［設定］をクリックします。［補正モード］で［標準（自動）］以外を選択します。効果がない場合は、［カラー調整］で［オートフォトファイン!EX］以外の補正方法を選択してください。

➡ 「JPEG印刷時の応用設定メニュー」282ページ
➡ 「色補正をして印刷する」247ページ

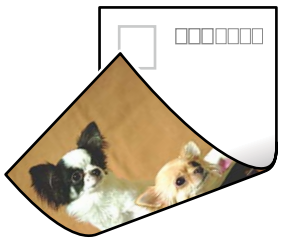
グレーの網掛け部分や、モノクロ写真が黒インクとカラーインクで印刷されています。

対処方法

Windowsプリンタードライバーで、［ユーティリティー］タブ-［拡張設定］の順に選択して、［グレースケールを黒インクのみで印刷する］設定を有効にします。

- オン（写真を除く）：写真以外のグレースケール部分を、黒インクのみで印刷します。写真部分は、モノクロ写真も含めて全て黒インクとカラーインクの両方を使って印刷します。
- オン（全面）：写真を含む全てのグレースケール部分を、黒インクのみで印刷します。ただし、カラー写真の部分の色味が変わってしまう場合があります。その場合は［オン（写真を除く）］を選択してください。

ハガキに縦長の写真を印刷すると宛名面と上下が逆になる



縦長写真のデータは撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって上下（天地）が異なります。

対処方法

ハガキを上下逆にセットしてください。

印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない

以下の原因が考えられます。

用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡「用紙をセットする」207ページ

用紙のサイズが正しく設定されていません。

対処方法

用紙のサイズを正しく設定してください。

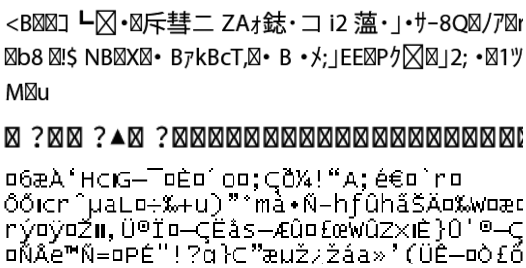
アプリケーションソフトの余白設定が印刷領域内になっていません。

対処方法

アプリケーションソフトの余白設定を印刷領域内にしてください。

➡「印刷可能領域」572ページ

文字が正しく印刷されない、文字化けする



以下の原因が考えられます。

USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。

待機中のジョブが残っています。

対処方法

待機中のジョブがあるときに印刷すると、文字化けすることがあります。

印刷中に、コンピューターを手動で［休止状態］または［スリープ］にしました。

対処方法

印刷中はコンピューターを手動で［休止状態］または［スリープ］にしないでください。次回コンピューター起動時に、文字化けしたデータが印刷されることがあります。

違う製品のプリンタードライバーを使っています。

対処方法

お使いのプリンタードライバーがこのプリンター用のものか確認してください。プリンタードライバー画面上部のプリンター名を確認してください。

モザイクがかかったように印刷される

解像度の低い画像や写真のデータが印刷されました。

対処方法

画像や写真は、解像度の高いデータを印刷してください。ウェブページの画像は解像度の低いことが多く、ディスプレイ上できれいに見えても、印刷すると期待した印刷品質が得られないことがあります。

片面印刷したいのに両面印刷になる

両面印刷の設定が有効になっています。

対処方法

プリンタードライバーの両面印刷の設定を無効にしてください。

- Windows
  プリンタードライバーの［基本設定］タブで［両面印刷］を［オフ］にします。
- Mac OS
  プリント画面の［自動両面印刷設定］メニューで［自動両面印刷］を［オフ］にします。

PostScriptプリンタードライバー使用時に正しく印刷できない

以下の原因が考えられます。

データに問題があります。

対処方法

- Adobe Photoshopなどのデータ形式を変更できるアプリケーションソフトでデータを作成したときは、プリンタードライバーの設定を作成したデータ形式と合わせてください。
- バイナリー形式で作成したEPSファイルは正常に印刷できないことがあります。アプリケーションソフトでEPSファイルを作成するときはASCII形式にしてください。
- Windowsの場合、USB接続時にはバイナリー形式のデータが印刷できません。プリンターのプロパティの［デバイスの設定］タブで、［出力プロトコル］を［ASCII］または［TBCP］に設定してください。
- Windowsの場合、プリンターのプロパティの［デバイスの設定］タブで、適切な代替フォントを選択してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷品質が悪い

カラーの設定がされていません。

対処方法

プリンタードライバーの［用紙/品質］タブでは色の設定ができません。［詳細設定］をクリックして、［カラーモード］を設定してください。

きれいにコピーできない

コピー結果の色合いがおかしい、出ない色がある、スジ（線）が入る、かすれる

プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

ノズルチェックをすると目詰まりしているかどうかわかります。ノズルチェックをして、目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。長期間使用していない場合、プリントヘッドのノズルが目詰まりしてインクが出ないことがあります。

➡ 「ノズルが目詰まりしていないか確認する」424ページ

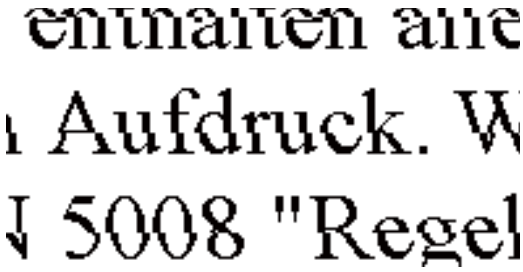
ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

対処方法

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

➡ 「ADFをクリーニングする」427ページ

コピー結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる



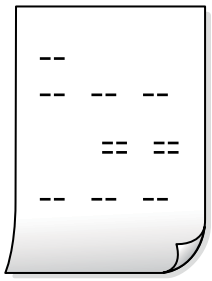
以下の原因が考えられます。

原稿に折り目やしわが付いています。

対処方法

- ADF使用時
  ADFにはセットせずに、原稿台にセットしてください。
- 原稿台使用時
  原稿の折り跡やしわを伸ばしてください。原稿をセットするときは、原稿からはみ出さないように台紙などを載せて、原稿台に密着するようにセットしてください。

印刷のかすれがひどい



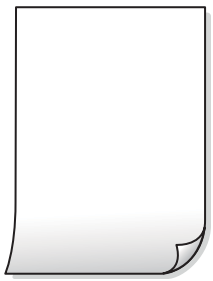
プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

おまかせクリーニングを実行してください。

➡ 「おまかせクリーニングをする」423ページ

白紙のまま出てくる



用紙が重なって給紙されています。

対処方法

重なって給紙されるのを防ぐには以下をご確認ください。

➡ 「重なって給紙される」466ページ

コピーすると細線が消える

背景除去の設定が変更されていません。

対処方法

操作パネルの以下のメニューで［背景除去］を［-2］に設定すると、細線を太くできます。
［コピー］-［応用設定］-［詳細画質調整］-［背景除去］

用紙が汚れる、こすれる

以下の原因が考えられます。

用紙が正しくセットされていません。

対処方法

印刷方向に対して垂直に（横方向に）スジが入ったり、用紙の上下が汚れたりするときは、用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ 「用紙をセットする」207ページ

用紙が反っています。

対処方法

平らな場所に用紙を置いて、反りがあれば平らにしてください。

プリントヘッドが用紙の表面をこすっています。

対処方法

厚手の用紙にコピーすると、プリントヘッドが印刷面と近くなり、用紙表面をこすって汚れが発生することがあります。その場合は、こすれ軽減機能を有効にしてください。
操作パネルで、［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］の順に選択し、［こすれ軽減］を有効にします。ただし、コピー品質や速度が低下することがあります。

コピー位置、サイズ、余白が思い通りにならない

以下の原因が考えられます。

用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ 「用紙をセットする」207ページ

原稿が原稿台の適切な位置にセットできていません。

対処方法

- 原点マークに合わせて原稿をセットしてください。
- スキャン結果の端が欠けたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。原稿台の隅から約1.5 mmの範囲はスキャンできません。

➡ 「原稿のセット」215ページ

原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿台に原稿をセットするときは、原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。ゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。

用紙のサイズが正しく設定されていません。

対処方法

用紙のサイズを正しく設定してください。

コピー設定の原稿サイズが間違っています。

対処方法

コピー設定の［原稿サイズ］を正しく設定してください。

ムラやシミ、斑点、線がコピー結果に現れる

以下の原因が考えられます。

原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。

➡ 「原稿台の汚れを拭き取る」425ページ

ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

対処方法

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

➡ 「ADFをクリーニングする」427ページ

原稿を強く押さえつけています。

対処方法

原稿を強く押さえつけると、ムラ、シミ、斑点が出ることがあります。
原稿や原稿カバーを強く押さえつけないでください。

➡ 「原稿のセット」215ページ

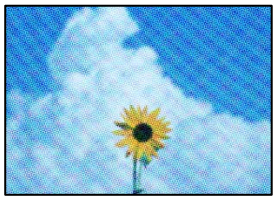
コピー濃度が高く設定されています。

対処方法

コピー濃度を低く設定してください。

➡ 「コピー時の基本設定メニュー」315ページ

モアレ（網目状の陰影）がコピー結果に現れる



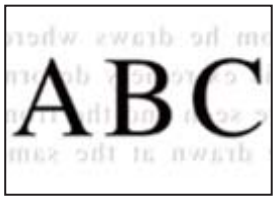
原稿が印刷物（雑誌、カタログなど）の場合、網点パターンが干渉してモアレが現れます。

対処方法

拡大縮小の設定を変えてください。それでもモアレが現れる場合は、原稿の角度を少し変えてセットしてください。

➡ 「コピー時の基本設定メニュー」315ページ

コピーすると裏写りする



以下の原因が考えられます。

薄い原稿の場合、スキャン時に裏面の画像が読み取られます。

対処方法

原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて、原稿台にセットしてください。

➡ 「原稿のセット」215ページ

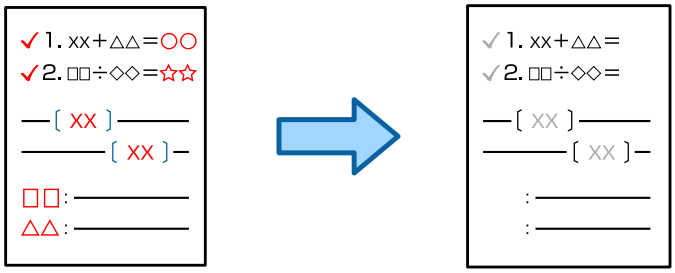
コピー濃度が高く設定されています。

対処方法

コピー濃度を低く設定してください。

➡ 「コピー時の基本設定メニュー」315ページ

赤色消去機能を使用しても、赤色が完全に消えずにコピーされる



原稿によっては赤色を完全に消去できないことがあります。

対処方法

操作パネルの以下のメニューで［背景除去］を［+3］または［+4］に設定すると、赤色を消去できることがあります。
［コピー］-［応用設定］-［詳細画質調整］-［背景除去］

きれいにスキャンできない

原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが画像に現れる

原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。

➡ 「原稿台の汚れを拭き取る」425ページ

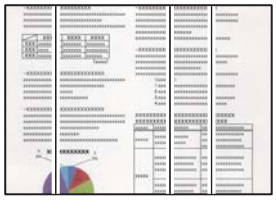
原稿を強く押さえつけています。

対処方法

原稿を強く押さえつけると、ムラ、シミ、斑点が出ることがあります。
原稿や原稿カバーを強く押さえつけないでください。

➡ 「原稿のセット」215ページ

スキャンした画像に直線が現れる



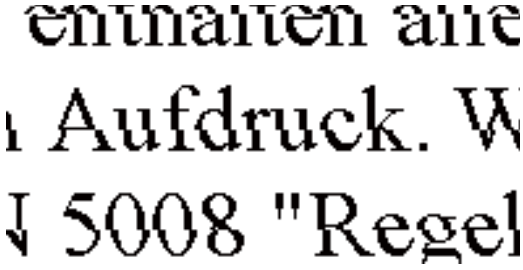
ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

対処方法

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

➡ 「ADFをクリーニングする」427ページ

スキャン結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる



原稿に折り目やしわが付いています。

対処方法

- ADF使用時
  ADFにはセットせずに、原稿台にセットしてください。
- 原稿台使用時
  原稿の折り跡やしわを伸ばしてください。原稿をセットするときは、原稿からはみ出さないように台紙などを載せて、原稿台に密着するようにセットしてください。

原稿の裏面がスキャンした画像に写る

薄い原稿の場合、スキャン時に裏面の画像が読み取られます。

対処方法

原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて、原稿台にセットしてください。

➡ 「原稿のセット」215ページ

原稿台からスキャンするとき、正しい範囲でスキャンできない

原稿が原稿台の適切な位置にセットできていません。

対処方法

- 原点マークに合わせて原稿をセットしてください。
- スキャン結果の端が欠けたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。原稿台の隅から約1.5 mmの範囲はスキャンできません。

➡ 「原稿のセット」215ページ

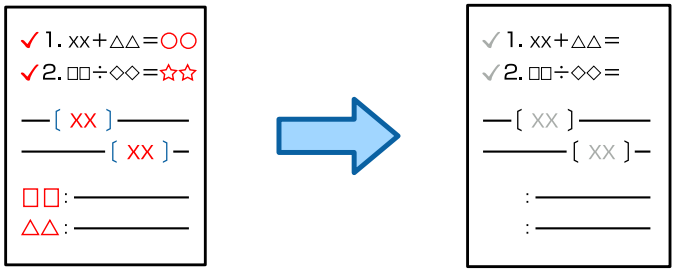
原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。

➡ 「原稿台の汚れを拭き取る」425ページ

赤色消去機能を使用しても、赤色が完全に消えずにスキャンされる



原稿によっては赤色を完全に消去できないことがあります。

対処方法

操作パネルのスキャン設定メニューで［背景除去］を［+3］または［+4］に設定すると、赤色を消去できることがあります。

スキャン品質のトラブルが解決しない

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、以下を確認してください。

スキャンソフトウェアの設定に問題があります。

対処方法

スキャンソフトウェアの設定を、Epson Scan 2ユーティリティーを使って初期化します。

参考 Epson Scan 2ユーティリティーは、スキャンソフトウェアに付属してインストールされるソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティーを起動します。
   - Windows 11
     スタートボタンをクリックして、［すべてのアプリ］-［EPSON］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
   - Windows 10
     スタートボタンをクリックして、［EPSON］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8
     検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
   - Windows 7
     スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］または［プログラム］-［EPSON］-［Epson Scan 2］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
   - Mac OS
     ［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
2. ［その他］タブを選択します。
3. ［初期化］をクリックします。

設定を初期化してもトラブルを解決できないときは、スキャンソフトウェアをアンインストールして、再インストールしてください。

➡ 「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」432ページ

ファクスをきれいに送信できない

ファクスをきれいに送信できない

以下の原因が考えられます。

原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。

➡ 「原稿台の汚れを拭き取る」425ページ

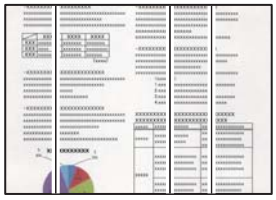
原稿を強く押さえつけています。

対処方法

原稿を強く押さえつけると、ムラ、シミ、斑点が出ることがあります。
原稿や原稿カバーを強く押さえつけないでください。

➡ 「原稿のセット」215ページ

ADFからファクス送信すると直線が現れる



ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

対処方法

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

➡ 「ADFをクリーニングする」427ページ

送信したファクスの画質が粗い

以下の原因が考えられます。

原稿種類の設定が間違っています。

対処方法

操作パネルで、［ファクス］-［ファクス設定］- 読み取り設定 -［原稿種類］を選択し、原稿の種類に合わせて設定を変更してください。文字と写真が混在した原稿は［写真］の設定で送信してください。

解像度が低く設定されています。

対処方法

相手機の性能がわからないときは、以下どちらも設定してファクスを送信してください。

- ［ファクス］-［ファクス設定］の［画質］で最高品質の設定を選択する
- ［ファクス］-［ファクス設定］で［ダイレクト送信］を有効にする。
  ［画質］を［高精細］か［超高精細］にしても、［ダイレクト送信］を無効にしてモノクロ送信すると、低い解像度に変更されて送信されることがあります。

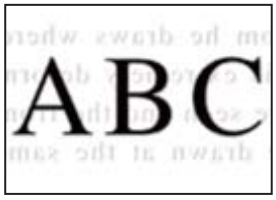
以上の対処をしても送信したファクスの画質が粗いときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「ファクスをきれいに送受信できない」154ページ

送信したファクスに原稿の裏面が写る



以下の原因が考えられます。

薄い原稿の場合、スキャン時に裏面の画像が読み取られます。

対処方法

原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて、原稿台にセットしてください。

➡ 「原稿のセット」215ページ

ファクス送信時に、濃度が高く設定されています。

対処方法

操作パネルで、［ファクス］-［ファクス設定］-［読み取り設定］-［濃度］を選択し、濃度を低く設定してください。

ファクスをきれいに受信できない

受信したファクスの画質が粗い

以下の原因が考えられます。

送信元で画質が低く設定されています。

対処方法

送信元に、より高い画質で送信できないか確認してください。

以上の対処をしても受信したファクスの画質が粗いときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「ファクスをきれいに送受信できない」154ページ

プリンター画面にメッセージやエラーコードが表示された

プリンター画面にメッセージが表示された

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない場合にメッセージが表示されたときは、以下の関連情報をご覧ください。

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	プリンターやオプションの内部に紙片が残っていたら取り除いてください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示されるときは、エラーコードを控えてから保守サービス実施店にご連絡ください。
プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。	プリンターが故障している可能性があります。保守サービス実施店に修理を依頼してください。ただし、スキャンなど、印刷以外の機能は使用できることがあります。

メッセージ	対処方法
XXが故障したため、印刷できません。別のカセットからは印刷できます。	電源を入れ直して、用紙カセットをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、保守サービス実施店に修理を依頼してください。
HDDが故障しました。電源を入れ直してください。それでも解決しないときは保守サービス実施店へご相談ください。	HDDが故障しています。保守サービス実施店に、HDD交換を依頼してください。 HDDが故障すると、ファクスの受信ができなくなります。また、以下の印刷やコピーができない可能性があります。 • 画像が含まれる原稿は印刷できない可能性があります。 • A4の原稿で文字・写真で50ページ以上のコピーは失敗する可能性があります。
ファクス電源回路が故障しています。 xxxxxxxxにご相談ください。	印刷やコピーには通常通り使用できます。ファクスは送受信できますが、一部の機能が使えないため早めに修理を依頼してください。
xxxxxxxが交換時期に達しました。	交換時期に達するとプリンターが使用できなくなります。保守サービス実施店に交換を依頼してください。
xxxxxxxが交換時期に達しました。	保守サービス実施店へ連絡してください。
xxxxxxxが交換時期です。交換してください。	保守サービス実施店へ連絡してください。
フェイスダウン排紙トレイがいっぱいです。印刷済みの用紙を取り除いてください。	フェイスダウン排紙トレイ（G）の排紙口付近で用紙が検知されたため、印刷が停止しています。 排紙トレイの用紙を全て取り除いてください。 印刷が再開されずに同じメッセージが表示されるときは、保守サービス実施店に連絡してください。
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。手順を確認し、交換してください。	プリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジに交換してください。
ダイヤルトーンが検出できません。	［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［接続回線］の順に選択して、［構内交換機(PBX)］を選択すると問題が解決することがあります。外線発信番号が必要な環境では、［構内交換機(PBX)］を選択した後に、外線発信番号を登録してください。登録後に外線の宛先にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに＃（シャープ）を入力します。これにより通信がより確実になります。 それでも同じメッセージが表示されるときは、［ダイヤルトーン検出］を無効にしてください。ただし、ファクス番号の最初の番号が抜けるなど、間違った番号にダイヤルしてしまう可能性があります。
ファクスデータ量が上限に達したため、ファクス受信できませんでした。ホーム画面下部の[ジョブ/状態]を押して確認してください。	印刷や保存していない受信文書があります。 • 印刷していない場合 プリンターが何らかのエラーで印刷できません。エラーの内容を確認しエラーを解除してください。 • コンピューターまたは外部メモリーに保存していない場合 保存先のコンピューターを起動する、または外部メモリーをプリンターに接続してください。
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

メッセージ	対処方法
このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。	Web Configを起動してルート証明書を更新してください。
コンピューターでプリンターのポート設定(IPアドレスなど)やドライバーの状態が正しいか確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。 コンピューターで、印刷ポートの設定や、ドライバーの状態などを確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで、［印刷待ち状態表示］をクリックします。［プリンター］メニューの［プロパティ］-［ポート］で、以下の正しいポートが選択されていることを確認してください。 USB ケーブルで接続：［USBXXX］ ネットワーク接続：［EpsonNet Print Port］
EPSON DEVICE Recovery Mode Update Firmware	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1.コンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続します。 **!重要** • リカバリーモード中はネットワーク接続できません。USB接続のみ可能です。 • USBケーブルは、USB2.0タイプA-Bを使用します。USB3.0を使用できる機種もあります。 2.エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

関連情報

➡ 「ネットワークフォルダーへのスキャン時に操作パネルにメッセージが表示される」88ページ

ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された

実行したジョブに何らかのエラーが発生すると、ジョブ履歴にエラーコードが表示されます。［ジョブ/状態］-［ジョブ状態］を選択すると確認できます。エラーの状況と対処方法は以下の表をご覧ください。

コード	状況	対処方法
001	停電でプリンターの電源が切れたため、ジョブがキャンセルされました。	-
101	プリンターのメモリー不足で印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

コード	状況	対処方法
102	プリンターのメモリー不足で1部しか印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。サイズを小さくしたくないときは、1部ずつ印刷してください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
103	プリンターのメモリー不足で印刷品質を下げて印刷しました。	印刷品質を下げずに印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
104	プリンターのメモリー不足で逆順印刷できなかったため、正順で印刷しました。	逆順で印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
106	コンピューターからの印刷が制限されているため、印刷できません。	プリンターの管理者に問い合わせてください。
107	ユーザー認証に失敗したため、ジョブがキャンセルされました。	• ユーザー名とパスワードが正しいか確認してください。 • ［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］-［利用者制限］の順にタップします。利用者制限を有効にして、認証情報がないジョブを許可してください。 • プリンタードライバーにユーザーアカウントを登録してください。 「プリンタードライバーからユーザーアカウントを登録する（Windows）」448ページ
108	プリンターの電源が切られたため、パスワード印刷データが破棄されました。	-
109	受信文書が削除されたため、再印刷できません。	-
110	両面印刷に対応していない用紙が設定されたため、片面で印刷しました。	両面で印刷したいときは、両面印刷対応の用紙をセットしてください。
111	プリンターのメモリー不足で、途中で排紙しました。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

コード	状況	対処方法
120	OpenPlatformで接続するサーバーと正常に通信できません。	サーバーとネットワークに問題がないか確認してください。
130	プリンターのメモリー不足で1部しか印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。サイズを小さくしたくないときは、1部ずつ印刷してください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
131	プリンターのメモリー不足で逆順印刷できなかったため、正順で印刷しました。	逆順で印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
132	プリンターのメモリー不足で印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷サイズを小さくする • 印刷データ内の画像や、フォントの種類を減らすなどして、印刷データを簡略化する
133	プリンターのメモリー不足で両面印刷できません。片面で印刷します。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷サイズを小さくする • 印刷データ内の画像や、フォントの種類を減らすなどして、印刷データを簡略化する
141	プリンターのHDD故障により、ジョブがキャンセルされました。	保守サービス実施店に、HDD交換を依頼してください。
151	ログオン中のユーザー名とパスワード印刷のユーザー名が一致しなかったため印刷できませんでした。	パスワード印刷のユーザー名と一致するユーザー名でログオンしてから印刷を行ってください。
161	Epson Print Admin Serverlessでページ数管理されています。残ページ数が不足しているため印刷できませんでした。	システム管理者にお問い合わせください。
201	文書を送信または受信中にプリンターのメモリーがいっぱいになりました。	• ［ジョブ/状態］の［ジョブ状態］で、印刷されていない受信文書を印刷してください。 • ［ジョブ/状態］の［ジョブ状態］で、受信ボックスに保存されているデータを削除してください。 • 1件の宛先にモノクロで送信する場合は、ダイレクト送信を利用すると送信できます。 • 複数枚の原稿は分割して送信してください。
202	文書を送信または受信中に、相手のファクス機によって通信が切断されました。	しばらくしてから再送信してください。

コード	状況	対処方法
203	ダイヤルトーンが検出できません。	• モジュラーケーブルが正しく接続され、回線が正しく動作することを確認してください。 「プリンターを電話回線に接続する」124ページ • プリンターを構内交換機（PBX）またはターミナルアダプターに接続しているときは、［接続回線］設定を［構内交換機(PBX)］に変更してください。 • ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ダイヤルトーン検出］の順にタップして、ダイヤルトーン検出を無効にしてください。
204	相手のファクス機が話し中です。	• しばらくしてから再送信してください。 • 送信先のファクス番号を確認してください。 それでも送信できない場合は、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ダイヤル種別］を選択して、ダイヤル種別を変更してください。
205	相手のファクス機が応答しません。	しばらくしてから再送信してください。
206	モジュラーケーブルがLINEポートとEXT.ポートに正しく接続されていません。	プリンターのLINEポートとEXT.ポートの接続を確認してください。
207	プリンターが電話回線に接続されていません。	モジュラーケーブルを電話回線に接続してください。
208	複数の宛先の内、いくつかの宛先に文書を送信できませんでした。	ファクスモードの［ファクスレポート印刷］で［通信管理レポート］か、直前のジョブの場合は［通信結果レポート］を印刷して送信できなかった宛先を確認してください。［送信失敗文書保存］設定を有効にしていると、［ジョブ/状態］の［ジョブ状態］から再送信できます。
301	外部メモリーの容量が不足しています。	• 外部メモリーの容量を増やしてください。 • 原稿の枚数を減らしてください。 • スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
302	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
303	スキャンした画像を保存するために必要なフォルダーが外部メモリーに作成できません。	他の外部メモリーを挿入してください。
304	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
305	スキャンした画像の保存中に何らかのエラーが発生しました。	コンピューターから外部メモリーにアクセスしているときは、しばらく待ってから再度実行してください。
306	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
307	スキャンした画像のサイズが、作成できるファイルのサイズを超えています。（スキャンtoメモリー）	スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。

コード	状況	対処方法
311	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順にタップして、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
312	認証エラーが発生しました。	［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順にタップして、サーバー設定を確認してください。
313	受信文書を転送中にエラーが発生しました。	• プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 • ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 • 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。［オフ］を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。
314	スキャンした画像のサイズが、メールに添付できるサイズを超えています。	• スキャン設定の［添付最大ファイルサイズ］を大きくしてください。 • スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
315	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了してから再度実行してください。
316	メール暗号化エラーが発生しました。	• 暗号化用証明書が正しく設定されているか確認してください。 • プリンターの時間が正確か確認してください。
317	メール署名エラーが発生しました。	• 署名用証明書が正しく設定されているか確認してください。 • プリンターの時間が正確か確認してください。
318	ドメイン制限エラーが発生しました。	メールの宛先のドメインが制限されていないか、管理者に確認してください。
321	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順にタップして、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
322	認証エラーが発生しました。	［保存先］の設定を確認してください。
323	通信エラーが発生しました。	• ［保存先］の設定を確認してください。 • プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。

コード	状況	対処方法
324	保存先フォルダーに同じ名前のファイルが存在しています。	• 保存先フォルダーにある同じ名前のファイルを削除してください。 • ［ファイル設定］でファイルヘッダーを別の文字に変更してください。
325 326	保存先フォルダーの容量が不足しています。	• 保存先フォルダーの容量を増やしてください。 • 原稿の枚数を減らしてください。 • スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
327	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
328	転送先フォルダーが見つかりません。	［保存先］の設定を確認してください。
329	スキャンした画像のサイズが、作成できるファイルのサイズを超えています。（スキャンtoフォルダー）	スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
330	FTPS/HTTPSセキュア接続エラーが発生しました。	• 宛先設定の保存先が正しいか確認してください。 • Web Configを起動してルート証明書を更新してください。 • WebConfigを起動してCA証明書をインポートまたは更新してください。 それでも解決しない場合は、宛先設定の証明書の検証をオフにしてください。
331	通信エラーが発生しました。	プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
332	スキャンした画像のサイズが、サーバーに送信できるサイズを超えています。	原稿の枚数を減らしてください。
333	選択した宛先の情報がサーバー上で変更されたため、宛先が見つかりません。	宛先を選択し直してください。
334	スキャンした画像の送信中に何らかのエラーが発生しました。	-
341	通信エラーが発生しました。	• プリンターとコンピューターの接続を確認してください。ネットワークで接続しているときは、プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 • Document Capture Proがインストールされているか確認してください。
342	スキャンした原稿が全て白紙と判定されました。	• 原稿の表裏が合っているか確認してください。 • 誤って白紙と判定される場合は、［白紙ページスキップ］-［白紙検知レベル］で白紙検知レベルを下げてみてください。
343	OCRデバイスが故障しています。	保守サービス実施店へ連絡してください。

コード	状況	対処方法
350	FTPS/HTTPS証明書エラーが発生しました。	• 日時と時差の設定が正しいか確認してください。 • Web Configを起動してルート証明書を更新してください。 • WebConfigを起動してCA証明書をインポートまたは更新してください。 それでも解決しない場合は、宛先設定の証明書の検証をオフにしてください。
401	外部メモリーの容量が不足しています。	外部メモリーの容量を増やしてください。
402	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
404	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
405	受信文書保存中に書き込みエラーが発生しました。	• 外部メモリーを再度挿入してください。 • ［保存専用フォルダーの作成］でフォルダーを作成した、別の外部メモリーを挿入してください。
411	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順にタップして、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
412	認証エラーが発生しました。	［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順にタップして、サーバー設定を確認してください。
413	受信文書を転送中にエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 • 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。［オフ］を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。 • プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
421	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順にタップして、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
422	認証エラーが発生しました。	［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順にタップして、［転送先］で指定されているフォルダーの設定を確認してください。

コード	状況	対処方法
423	通信エラーが発生しました。	• プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 • ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順にタップして、［保存・転送設定］で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
425	転送先フォルダーの容量が不足しています。	転送先フォルダーの容量を増やしてください。
428	転送先フォルダーが見つかりません。	［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順にタップして、［保存・転送設定］で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
501	ボックス機能を利用できません。	Web Configで利用者権限設定を確認してください。
502	ボックス領域がいっぱいになりました。	不要な保存ジョブを操作パネルまたはWeb Configから削除してください。
504	ファイル数が上限に達しました。	不要な保存ジョブを操作パネルまたはWeb Configから削除してください。
505	ボックスの読み取り/書き込みエラーが発生しました。	保守サービス実施店にご相談ください。
506	ボックスからファイル出力時に、1ジョブのページ数の上限に達しました。	上限の2000ページ以内に収めて、ジョブを実行してください。

用紙が詰まった

操作パネルのエラー表示を確認し、用紙が詰まっている（ちぎれた紙片が残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。プリンターの画面に、詰まった用紙を取り除く方法の動画が表示されます。［OK］を選択してエラーを解除してください。装着したオプションによっては、イラストがお使いのプリンターと異なることがあります。
長い用紙が詰まった場合にカバー（D1）が開かないときは、はさみなどで用紙の後端を切ってから、カバー（D1）を開けて用紙を取り除いてください。
プリンター内部の清掃を案内するメッセージが、プリンターの画面に表示されたときは、画面の指示に従って清掃してください。

> ⚠注意　内部に手を入れるときは、操作パネルのボタンには触らないでください。プリンターが動作してけがをするおそれがあります。また、突起などでけがをしないように注意してください。

> **重要**　用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張るとプリンターが故障することがあります。

紙詰まりを防ぐには

紙詰まりが頻繁に起こる場合は、以下を確認してください。

- プリンターを水平な場所に設置して、適切な環境で使用してください。
「動作時と保管時の環境仕様」582ページ

- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
- 用紙取り扱い上のご注意に従ってください。
「用紙取り扱い上のご注意」203ページ
- 用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
「用紙をセットする」207ページ
- 用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。
- 複数枚セットして用紙が詰まるときは、1枚ずつセットしてください。
- プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。
「用紙種類の設定値」205ページ
- 用紙の状態を確認してください。用紙は吸湿すると波打ったり丸まったりして、トラブルの原因になります。
- 頻繁に詰まる場合は、新しく開封した用紙を使用してみてください。
- ［印刷速度優先］を無効にしてお試しください。ホーム画面で［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［印刷速度優先］の順にタップして設定してください。

消耗品や定期交換部品の交換が必要になった

インクカートリッジの交換が必要になった

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

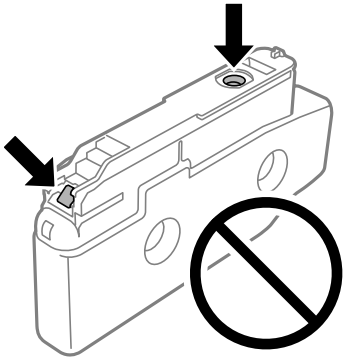
インクカートリッジを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

インクカートリッジ保管時のご注意

- 直射日光を避けて保管してください。
- 高温や凍結するような環境で保管しないでください。
- 良好な印刷品質を得るために、インクカートリッジは個装箱に印刷されている推奨使用期限または装着後1年以内のいずれか早い期限までに使い切ることをお勧めします。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。

インクカートリッジ交換時のご注意

- イラストで示した部分には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。開封後、長時間使用しないと、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジは全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態でプリンターを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、プリンターと同じ環境で、インク供給孔部を横にして保管してください。ただし、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- インクカートリッジの外観や仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを必要時以外に抜き差ししないでください。抜き差しを繰り返すとインクが周囲に付着する可能性があります。
- 真空パックのためカートリッジが潰れていることがありますが、品質に影響はありません。使用時まで開封しないでください。

インクの消費

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、ヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。 また、電源投入時にも消費されることがあります。
- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

インクカートリッジを交換する

インクカートリッジ交換のメッセージが表示されたら、［案内を見る］を選択して操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。
操作パネルに表示されているインク残量は、インクカートリッジとサブタンクのインク残量の合計です。サブタンクはプリンター内部にあり、プリントヘッドへインクを送る前に一時的にインクを溜めておきます。プリンターに装着されているインクカートリッジを抜いて他のプリンターに装着した場合、インク残量が正しく表示されない場合があります。

関連情報

- 「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」498ページ
- 「インクカートリッジ型番」516ページ
- 「使用済みインクカートリッジの回収」500ページ

使用済みインクカートリッジの回収

資源の有効活用と地球環境保全のため、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。
エプソンのスマートチャージで使用した消耗品（インクカートリッジやメンテナンスボックス）は、「引取回収サービス」 をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/recycle/

使用済みインクカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

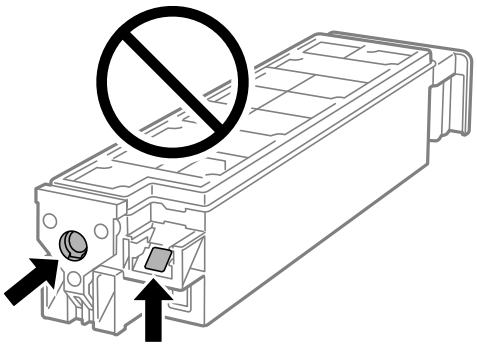
メンテナンスボックスの交換が必要になった

メンテナンスボックス取り扱い上のご注意

メンテナンスボックスを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

- メンテナンスボックスを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

- イラストで示した部分には触らないでください。プリンターが正常に動作しなくなったり、インクが付着したりするおそれがあります。



- メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。
- 直射日光を避けて保管してください。
- 高温や凍結するような環境で保管しないでください。
- 取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクを吸収できません。

メンテナンスボックスを交換する

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。
メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、画面の指示に従って交換してください。

参考
- インクあふれ防止のため、いっぱいになるとボックスを交換するまで印刷やクリーニングはできませんが、スキャンなどのインクを使わない操作はできます。

関連情報

- 「メンテナンスボックス取り扱い上のご注意」500ページ
- 「メンテナンスボックスの型番」517ページ
- 「使用済みメンテナンスボックスの回収」502ページ

使用済みメンテナンスボックスの回収

資源の有効活用と地球環境保全のため、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。
エプソンのスマートチャージで使用した消耗品（インクカートリッジやメンテナンスボックス）は、「引取回収サービス」 をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/recycle/

使用済みメンテナンスボックスの廃棄

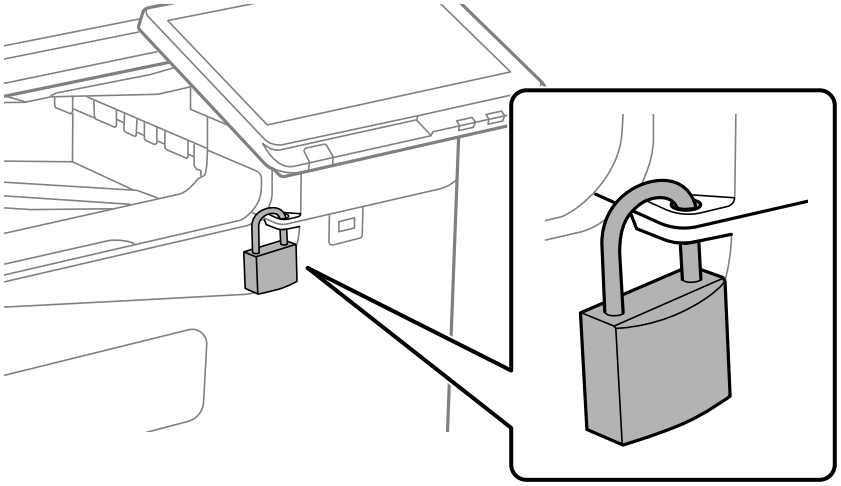
一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

前面カバーをロックする

前面カバーをロックできます。管理者がインクカートリッジやメンテナンスボックスを管理したい場合に便利です。

参考 前面カバーのロックには、南京錠を準備してください。

南京錠を前面カバーの穴に通します。



鍵はなくさないように保管してください。

思い通りに操作できない

電源が入らない、切れない

電源が入らない

以下の原因が考えられます。

▌電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていません。

対処方法

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

▌⏻ボタンを押している時間が不十分です。

対処方法

⏻ボタンを少し長めに押してください。

電源が切れない

▌⏻ボタンを押している時間が不十分です。

対処方法

⏻ボタンを少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、その後に電源を入れ直して、⏻ボタンで切ってください。

使用中に電源が切れてしまう

▌過電流保護機能が働いています。

対処方法

電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでから電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、保守サービス実施店にご連絡ください。

動作が遅い

印刷速度が遅い

以下の原因が考えられます。

不要なアプリケーションソフトを起動しています。

対処方法

コンピューターやスマートデバイスで、不要なアプリケーションソフトを終了してください。

印刷品質が高い設定になっています。

対処方法

プリンタードライバーの印刷品質を下げて印刷してください。一部の機種では、印刷品質を下げる設定を選択できない場合があります。

印刷速度優先が無効になっています。

対処方法

ホーム画面で［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［印刷速度優先］の順に選択して、［オン］を選択してください。

動作音低減モードが有効になっています。

対処方法

［動作音低減モード］を無効にしてください。動作音低減動作中は印刷速度が遅くなります。

ホーム画面で を選択して［オフ］にします。

両面印刷は乾燥に時間がかかります。

対処方法

両面印刷では、用紙の片面を印刷して乾燥した後でもう片面を印刷します。乾燥時間は温度や湿度などの環境により変わるため、印刷速度が遅くなることがあります。

印刷データやプリンターの使用環境によっては、印刷処理に時間がかかったり、印刷品質を保つために印刷速度を遅くしたりすることがあります。

スキャン速度が遅い

高解像度でスキャンしています。

対処方法

解像度を下げてスキャンしてください。

プリンターの画面が暗くなった

スリープモードになっています。

対処方法

画面をタップすると元の明るさに戻ります。

操作パネルから操作できない

利用者制限されたプリンターでは、ユーザー名とパスワードが要求されます。

対処方法

パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

画面に「×」が表示されて写真を選択できない

対応していない画像ファイルです。

対処方法

本製品に対応していない画像ファイルは「×」で表示されます。対応しているファイルを使用してください。

➡ 「印刷できるファイルの仕様」580ページ

ファイル名が長いためプリンターで認識できません。

対処方法

外部メモリー内の画像ファイルを、コンピューターやスマートデバイスに保存すると、写真を印刷できます。スマートデバイスの場合はEpson Smart Panelで印刷できます。

印刷が中断される

カバー類を開けたままになっています。

対処方法

印刷中にカバー類を開けたらすぐに閉めてください。

外部メモリーが認識されない

外部メモリーが無効に設定されています。

対処方法

操作パネルの［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［外部メモリー］で外部メモリーを有効にしてください。

外部メモリーにデータを保存できない

以下の原因が考えられます。

外部メモリーに保存する設定がされていません。

対処方法

ホーム画面で［設定］ - ［本体設定］ - ［ファクス設定］ - ［受信設定］ - ［保存・転送設定］の順に選択します。設定を変更する項目を選び、［外部メモリーに保存］の［保存専用フォルダーの作成］を実行してください。この設定をしない外部メモリーは使用できません。

外部メモリーが書き込み禁止になっています。

対処方法

書き込み禁止を解除してください。

外部メモリーの空き容量が少なくなっています。

対処方法

不要なデータを削除するか、別の外部メモリーを使用してください。

動作音が大きい

動作音低減モードが無効になっています。

対処方法

動作音が大きいときは［動作音低減モード］を有効にしてください。ただし、動作速度が遅くなります。
ファクス以外：［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［動作音低減モード］
ファクス：［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［動作音低減モード］
動作音が気になる場合は、違う場所に設置することをお勧めします。

日付や時刻がずれている

電源供給に異常が発生しました。

対処方法

落雷などで停電したり、電源を切ったまま長時間放置したりすると、プリンターの設定時刻がずれることがあります。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］で日付と時刻を正しく設定してください。

ルート証明書の更新が必要になった

ルート証明書の有効期限が切れています。

対処方法

Web Configを起動し、［ネットワークセキュリティー］タブ-［ルート証明書更新］を選択して、ルート証明書を更新してください。

印刷設定メニューが表示されない（Mac OS）

エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。

対処方法

macOS Catalina（10.15）以降、macOS High Sierra（10.13）、macOS Sierra（10.12）、OS X El Capitan（10.11）、OS X Yosemite（10.10）、OS X Mavericks（10.9）で［印刷設定］メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。以下の方法で設定してください。

アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。

macOS Mojave（10.14）はテキストエディットなどアップル社製アプリケーションソフトで［印刷設定］ができません。

プリンターに触れたときに電気を感じる

多数の周辺機器をコンピューターに接続しています。

対処方法

多数の周辺機器をコンピューターに接続していると、プリンターに触れたとき電気を感じることがあります。プリンターを接続しているコンピューターからアース（接地）を取ってください。

発信者番号表示機能（ナンバー・ディスプレイ対応）が働かない

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のリンクのトラブルシューティングを確認してください。

「発信者番号表示機能（ナンバー・ディスプレイ対応）が働かない」154ページ

ナンバー・ディスプレイサービスが契約されていません。

対処方法

発信元のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示するには、ナンバー・ディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

以上の対処をしても発信者番号表示機能（ ナンバー・ディスプレイ対応）が働かないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「発信者番号表示機能（ナンバー・ディスプレイ対応）が働かない」154ページ

送信元のファクス番号が表示されない

送信元のファクス機に送信元のファクス番号が設定されていません。

対処方法

送信元でファクス番号を設定していない可能性があります。送信元に連絡してください。

受信ファクスに表示された送信元のファクス番号が間違っている

送信元のファクス機に登録された送信元のファクス番号が違っています。

対処方法

送信元で登録したファクス番号が間違っている可能性があります。送信元に連絡してください。

外付け電話機から電話ができない

外付け電話機とプリンターの接続と設定の状態について、プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「外付け電話機から電話ができない」155ページ

留守番電話が応答しない

留守番電話の呼び出し回数が、プリンターの呼び出し回数以上に設定されています。

対処方法

留守番電話の呼び出し回数を、プリンターの［呼び出し回数］より少なくなるように設定してください。
プリンターの設定状態を確認するには、［ファクス機能設定リスト］を印刷します。プリンターの操作パネルから以下の順に操作してください。

［ファクス］-☰（メニュー）-［ファクスレポート印刷］-［ファクス機能設定リスト］

以上の対処をしても留守番電話が応答しないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「留守番電話が応答しない」155ページ

迷惑ファクスがよく届く

プリンターの管理者に問い合わせて設定を確認してください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

「迷惑ファクスがよく届く」156ページ

どうしても解決できないときは

印刷やコピーの問題が解決できないときは、以下の関連情報もご確認ください。
全ての対処方法を試しても問題が解決できないときは、エプソンのウェブサイトで「よくあるご質問（FAQ）」をご覧ください。

www.epson.jp/support/faq/

それでも解決できないときは、保守サービス実施店にお問い合わせください。

関連情報

➡ 「印刷やコピーの問題が解決できない」509ページ

印刷やコピーの問題が解決できない

問題が解決できるまで、以下の項目を上から順番に実行してください。

- プリンターにセットした用紙の用紙種類と、プリンターに登録した用紙種類、プリンタードライバーで設定した用紙種類を全て同じに設定します。
  「用紙サイズと種類の登録」204ページ
- プリンタードライバーで、印刷品質を［きれい］に設定します。一部の機種では、「きれい」の設定を選択できない場合があります。
- ノズルチェックを実行して、プリントヘッドのノズルが目詰まりしているか確認します。
  目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。
  ただし、ヘッドクリーニングをするとインクを消費します。
  「ノズルが目詰まりしていないか確認する」424ページ
- エプソン純正インクカートリッジを使用しているか確認します。
  本製品は純正インクカートリッジを前提に色調整されているため、純正品以外を使用すると印刷品質が低下することがあります。
  「インクカートリッジ型番」516ページ
- プリンター内部にちぎれて残っている紙片がないか確認します。
- 用紙が反っていないか、用紙の表裏を間違えてセットしていないかなどを確認します。
  「用紙取り扱い上のご注意」203ページ
  「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
  「使用できない用紙」516ページ
- 古いインクカートリッジを使用していないか確認します。
  良好な印刷品質を得るために、インクカートリッジは個装箱に印刷されている推奨使用期限または装着後1年以内のいずれか早い期限までに使い切ることをお勧めします。
- プリンターにセットしているインクカートリッジを装着し直します。
  インクカートリッジを装着し直すと、プリントヘッドのノズルの目詰まりが解消されてインクが出るようになることがあります。
  ただし、インクカートリッジを装着し直すとインクが消費されるため、インク残量によってはインクカートリッジ交換のメッセージが表示されることがあります。
  「インクカートリッジの交換が必要になった」498ページ

全て確認しても問題が解決しない場合は、修理が必要な可能性があります。保守サービス実施店にご相談ください。

関連情報

➡ 「保守サービスの種類」673ページ
➡ 「お問い合わせ先」674ページ

製品情報

用紙情報 511

消耗品情報 516

オプション品情報 517

ソフトウェア情報 518

設定メニュー一覧 529

製品仕様 572

オプションの仕様 595

規格と規制 596

用紙情報

印刷できる用紙とセット枚数

以下は本製品で印刷できる用紙です。これ以外の用紙を使うと、紙詰まりや故障の原因になります。
用紙は環境によって変質しやすいため、事前にお使いの環境下で十分確認を行ってから、用紙を購入することをお勧めします。再生紙や封筒など、品質のばらつきが大きい用紙は、必ず試し印刷をしてからお使いください。
以下は2026年7月現在の情報です。

エプソン製専用紙(純正品)

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙(純正品)のご使用をお勧めします。

参考
- 両面印刷に対応している用紙は以下をご覧ください。
「両面印刷できる用紙」516ページ
- エプソン製専用紙（純正品）をユーザー定義サイズで印刷するときは、印刷品質は［標準］のみとなります。ただし、一部のドライバーでは高品質の印刷設定を選択できますが、その場合も［標準］の品質で印刷されます。

文書の印刷に適した用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	
		手差しトレイ	用紙カセット1～4
両面上質普通紙＜再生紙＞	A4	80	400
ビジネス普通紙IJ	A4	100	500
インクジェット普通紙	A5	100	500

文書と写真の印刷に適した用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	
		手差しトレイ	用紙カセット1～4
フォトマット紙	A4	20	-
スーパーファイン紙	A4	80	-
両面スーパーファイン紙	A4	50	-

年賀状や挨拶状の印刷に適した用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	
		手差しトレイ	用紙カセット1～4
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	30	-

ラベル、名刺などの印刷に適した用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	
		手差しトレイ	用紙カセット1～4
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	1	-
両面マット名刺用紙*	A4	1	-

*： 両面マット名刺用紙のレイアウトに対応したアプリケーションソフトが必要です。

市販の印刷用紙

参考 両面印刷に対応している用紙は以下をご覧ください。
「両面印刷できる用紙」516ページ

普通紙（60～90 g/m²）、薄紙（52～59 g/m²）

普通紙はコピー用紙、プレプリント（帳票など、あらかじめ定型書式が印刷された用紙）、レターヘッド、色つき用紙、再生紙を含みます。

対応サイズ	セット可能枚数	
	手差しトレイ	用紙カセット1～4
A4、A5、A6、B5、B6、Half letter、Executive、Letter、Legal*2	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（または100枚） ただし、ユーザー定義サイズで長さが356.1 mm以上の長い用紙は、1枚*3	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（64g/m²の場合は550枚、80g/m²の場合は500枚）
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：85～215.9、長さ：140～297） （幅：85～215.9、長さ：140～355.6*2）		
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：55～215.9、長さ：140～1200）		-

*1： 外部メモリーからの印刷には使えません。

*2： 用紙カセット1は非対応

*3： 長い用紙を手で支えるときは、用紙の端で手を切らないよう注意してください。

参考 ユーザー定義サイズで356.1 mm以上の長い用紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

厚紙（91～105 g/m²）

対応サイズ	セット可能枚数	
	手差しトレイ	用紙カセット1～4
A4、A5、A6、B5、B6、Half letter、Executive、Letter、Legal*2	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（または80枚） ただし、ユーザー定義サイズで長さが356.1 mm以上の長い用紙は、1枚*3	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（または400枚）
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：85～215.9、長さ：140～297） （幅：85～215.9、長さ：140～355.6*2）		
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：55～215.9、長さ：140～1200）		-

*1： 外部メモリーからの印刷には使えません。

*2： 用紙カセット1は非対応

*3： 長い用紙を手で支えるときは、用紙の端で手を切らないよう注意してください。

参考 ユーザー定義サイズで356.1 mm以上の長い用紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

厚紙（106～135 g/m²）

対応サイズ	セット可能枚数	
	手差しトレイ	用紙カセット1～4
A4、A5、A6、B5、B6、Half letter、Executive、Letter、Legal*2	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（または50枚） ただし、ユーザー定義サイズで長さが356.1 mm以上の長い用紙は、1枚*3	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（または350枚）
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：85～215.9、長さ：140～297） （幅：85～215.9、長さ：140～355.6*2）		
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：55～215.9、長さ：140～1200）		-

*1： 外部メモリーからの印刷には使えません。

*2： 用紙カセット1は非対応

*3： 長い用紙を手で支えるときは、用紙の端で手を切らないよう注意してください。

参考 ユーザー定義サイズで356.1 mm以上の長い用紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

厚紙（136～160 g/m²）

対応サイズ	セット可能枚数	
	手差しトレイ	用紙カセット1～4
A4、A5、A6、B5、B6、Half letter、Executive、Letter、Legal*2	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（または50枚） ただし、ユーザー定義サイズで長さが356.1 mm以上の長い用紙は、1枚*3	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（または250枚）
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：85～215.9、長さ：140～297） （幅：85～215.9、長さ：140～355.6*2）		
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：55～215.9、長さ：140～1200）		-

*1： 外部メモリーからの印刷には使えません。

*2： 用紙カセット1は非対応

*3： 長い用紙を手で支えるときは、用紙の端で手を切らないよう注意してください。

参考 ユーザー定義サイズで356.1 mm以上の長い用紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

厚紙（161～250 g/m²）

対応サイズ	セット可能枚数	
	手差しトレイ	用紙カセット2～4*2
A4、A5、A6、B5、B6、Half letter、Executive、Letter、Legal	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（または30枚） ただし、ユーザー定義サイズで長さが356.1 mm以上の長い用紙は、1枚*3	用紙ガイドの三角マークが示す線まで（または125枚）
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：85～215.9、長さ：140～355.6）		
ユーザー定義サイズ*1（mm） （幅：55～215.9、長さ：140～1200）		-

*1： 外部メモリーからの印刷には使えません。

*2： 用紙カセット1は非対応

*3： 長い用紙を手で支えるときは、用紙の端で手を切らないよう注意してください。

参考 ユーザー定義サイズで356.1 mm以上の長い用紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

ハガキ用紙（日本郵便株式会社製）

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	
		手差しトレイ	用紙カセット1～4
郵便ハガキ	ハガキ	30	150
郵便ハガキ（インクジェット紙）*1	ハガキ	30	150

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	
		手差しトレイ	用紙カセット1～4
往復ハガキ*2	往復ハガキ	30	150
四面連刷ハガキ*2	四面連刷ハガキ	30	150

*1： 郵便ハガキ（インクジェット写真用）は対応していません。

*2： 用紙カセット1は非対応

封筒

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	
		手差しトレイ	用紙カセット1～4
長形封筒	3号、4号	10	30
洋形封筒*	0号（8号）、1号、2号、3号、4号、6号	10	30
角形封筒	20号	1	-
Envelope #10, Envelope DL*	Envelope #10, Envelope DL	10	30

*： 宛名面のみ対応

印刷可能な用紙の厚さ

印刷可能な用紙の厚さ（坪量：1 m²当たりの紙の重量をグラムで表示したもの）は以下です。ただし、用紙の厚さを満たしていても紙質（目の方向や硬さなど）によって印刷品質の低下や紙詰まりが起こることがあります。

用紙種類	紙厚（坪量）
普通紙 コピー用紙 薄紙 厚紙	52～250 g/m²
レターヘッド 再生紙 色つき用紙 プレプリント	60～90 g/m²
封筒	長形：75～100 g/m²

両面印刷できる用紙

エプソン製専用紙（純正品）

- 両面上質普通紙＜再生紙＞
- ビジネス普通紙IJ
- インクジェット普通紙
- 両面スーパーファイン紙

市販の印刷用紙

普通紙、コピー用紙、プレプリント、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、厚紙

参考
- A6、B6サイズの用紙は自動両面印刷には対応していません。
- ユーザー定義サイズ（139.7～215.9×210～355.6 mm）の用紙は自動両面印刷に対応しています。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れ、プリンターの故障の原因になります。
以下に該当する用紙であっても、エプソンが通紙を確認した用紙は、ウェブサイトに掲載することがあります。

- 吸湿して波打っている、湿っている用紙
- 片面に印刷後、乾燥していない用紙
- 反っている、丸まっている用紙
- 折りがある、破れている、切れている用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 他のインクジェットプリンター、熱転写プリンター、ページプリンターなどのプリンターや、複写機で印刷した用紙
- ミシン目のある用紙
- シールなどが貼ってある用紙
- のり、ステープル（ホチキス）、クリップが付いた用紙
- のり付けや接着の処理が施された封筒、二重封筒、ふたが円弧や三角形状の長形封筒や角形封筒
- ふたを一度折った長形封筒や一度折った往復ハガキ
- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ

消耗品情報

インクカートリッジ型番

純正品の型番は以下の通りです。

BK: ブラック	C: シアン	M: マゼンタ	Y: イエロー
LM4BK40	LM4C40	LM4M40	LM4Y40

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

参考
- インクカートリッジに再生材を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジの外観や仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

メンテナンスボックスの型番

エプソン純正品のメンテナンスボックスを使用することをお勧めします。
純正品の型番は以下の通りです。
LM4MB1

オプション品情報

オプションの型番

ご契約のプランによっては、基本構成に含まれているオプション品があります。ご契約時に内容をご確認ください。

増設ボード

オプション品	型番
G3ファクスボード	PR3FB0

その他

オプション品	型番
認証デバイス台・P1	PR3ADT2
認証デバイス台・P2	PR3AT1
増設1段カセットユニット・P1	LM4SC1
増設2段カセットユニット・P2	LM4DC1
カセットロック・P1	LM3CL1
無線LANユニット・P1	PR3WF1

オプション品	型番
プリンター台（専用プリンター台・P1）	PR4PS1

ソフトウェア情報

プリンターが対応しているソフトウェアの一部を紹介します。対応しているソフトウェアの一覧は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。最新版をダウンロードできます。

https://www.epson.jp/support/

関連情報

➡ 「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」528ページ

コンピューターから印刷するためのソフトウェア（Windowsプリンタードライバー）

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

参考 プリンタードライバーの言語は変更できます。［ユーティリティー］タブの［言語選択］から言語を選択してください。

アプリケーションソフトからの表示方法

使用中のアプリケーションソフトだけに設定を反映したいときは、アプリケーションソフトから表示します。
［ファイル］メニューの［印刷］または［印刷設定］を選択します。お使いのプリンターを選択して［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

コントロールパネルからの表示方法

全てのアプリケーションソフトに設定を反映したいときは、コントロールパネルから表示します。

- Windows 11
  スタートボタンをクリックします。［すべてのアプリ］-［Windowsツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］-［Bluetoothとデバイス］-［プリンターとスキャナー］の順に選択し、お使いのプリンターをクリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。

- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。
プリンターアイコンをクリックして、［プリンターのプロパティ］を選択すると、コントロールパネルから表示したときと同様の印刷設定画面が表示します。ダブルクリックすると、プリンターの状態を確認する画面が表示します。

参考 タスクバーにプリンターアイコンが表示しないときは、プリンタードライバーの画面を表示して［ユーティリティー］タブの［通知の設定］をクリックして、［呼び出しアイコンをタスクバーに登録する］をチェックしてください。

ユーティリティーの起動方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブをクリックします。

関連情報

➡ 「プリンタードライバーのメニュー説明」224ページ

Windowsプリンタードライバー画面の見方

EPSON プリンターウィンドウ!3

プリンターの状態を監視してエラーメッセージなどを表示できます。消耗品の状態、印刷の進行状況も確認できます。使用するには本ソフトウェアのインストールが必要です。

関連情報

➡ 「ソフトウェアを個別にインストールする」432ページ

コンピューターから印刷するためのソフトウェア（Mac OSプリンタードライバー）

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

アプリケーションソフトからの表示方法

［ファイル］メニューの［ページ設定］または［プリント］をクリックします。必要に応じて［詳細を表示］（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。

参考 アプリケーションソフトによっては［ファイル］メニューに［ページ設定］がなかったり、印刷画面を開く手順が異なったりすることがあります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

ユーティリティーの起動方法

アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

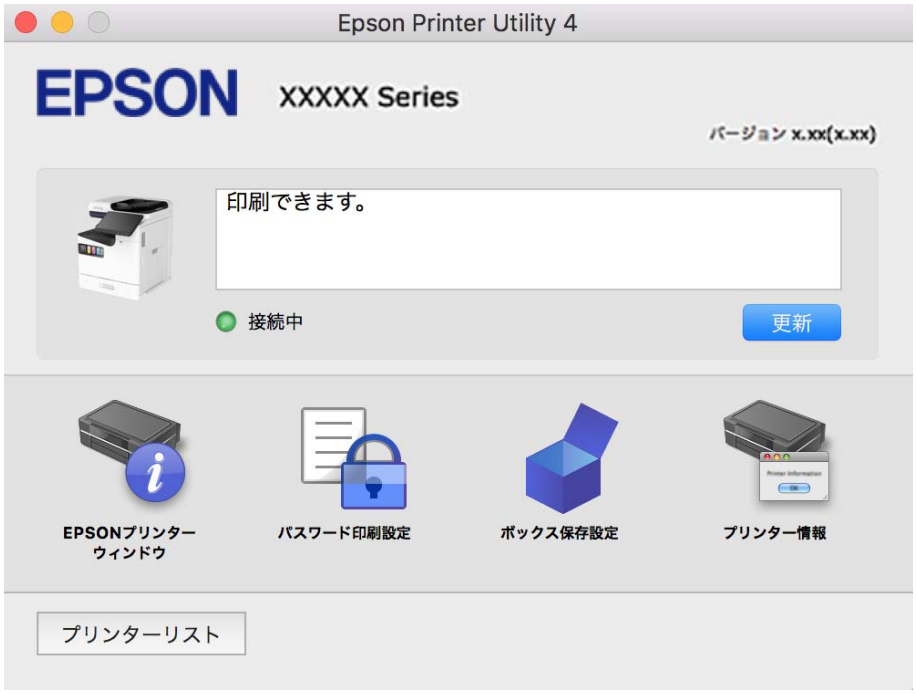
関連情報

➡ 「プリンタードライバーのメニュー説明」257ページ

Mac OSプリンタードライバー画面の見方

Epson Printer Utility

［EPSONプリンターウィンドウ］を起動してプリンターの状態やエラーを確認したりできます。



PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア（Windows PostScriptプリンタードライバー）

PostScriptプリンタードライバーを使用すると、コンピューターから送られるページ記述言語による印刷指示をプリンターは解釈して適切に印刷できます。DTPに使用するPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。

アプリケーションソフトからの表示方法

使用中のアプリケーションソフトだけに設定を反映したいときは、アプリケーションソフトから表示します。
［ファイル］メニューの［印刷］または［印刷設定］を選択します。お使いのプリンターを選択して［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

コントロールパネルからの表示方法

全てのアプリケーションソフトに設定を反映したいときは、コントロールパネルから表示します。

- Windows 11
  スタートボタンをクリックします。［すべてのアプリ］-［Windowsツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］-［Bluetoothとデバイス］-［プリンターとスキャナー］の順に選択し、お使いのプリンターをクリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。
プリンターアイコンをクリックして、［プリンターのプロパティ］を選択すると、コントロールパネルから表示したときと同様の印刷設定画面が表示します。ダブルクリックすると、プリンターの状態を確認する画面が表示します。

関連情報

➡ 「PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明」250ページ

PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア（Mac OS PostScriptプリンタードライバー）

PostScriptプリンタードライバーを使用すると、コンピューターから送られるページ記述言語による印刷指示をプリンターは解釈して適切に印刷できます。DTPに使用するPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。

アプリケーションソフトからの表示方法

［ファイル］メニューの［ページ設定］または［プリント］をクリックします。必要に応じて［詳細を表示］（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。

参考 アプリケーションソフトによっては［ファイル］メニューに［ページ設定］がなかったり、印刷画面を開く手順が異なったりすることがあります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

ユーティリティーの起動方法

アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

関連情報

➡ 「PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明」268ページ

書類をスキャンするソフトウェア（Document Capture Pro）

Document Capture Pro*は、書類や帳票などの原稿を目的に合わせて簡単に効率よく電子化できるソフトウェアです。
保存方法は、このソフトウェアに『ジョブ』として登録されています。事前に、よく使う一連の動作をジョブとして登録しておくことで、ジョブを選ぶだけで一連の動作を実行できます。スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブがあらかじめ登録されています。
詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。

参考 ジョブはコンピューターからだけでなく、コンピューターとネットワークで接続しているプリンターの操作パネルからも実行できます。

*Windowsでの名称です。Mac OSでの名称は「Document Capture」です。

Windowsでの起動方法

- Windows 11
  スタートボタンをクリックして、［すべてのアプリ］-［Epson Software］-［Document Capture Pro］の順に選択します。
- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［Epson Software］-［Document Capture Pro］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
  検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］-［Epson Software］-［Document Capture Pro］の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Document Capture］の順に選択します。

DCP Enhanced OCR

Document Capture Proの一部機能を利用するためのオプションです。ライセンスを購入すると、スキャン機能が搭載された複合機で、以下の機能を使用できます。
詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。

参考 DCP Enhanced OCRは、Windows ServerおよびMac OSには対応していません。

- 保存形式の選択肢追加：
  Microsoft® Word、Microsoft®Excel®、Microsoft® PowerPoint®の保存形式を使用できます。
- 高品質な変換機能を使用可能：
  検索可能PDFで、さらに高品質な変換機能をお使いいただけます。
- ユーザー定義インデックスの追加：
  ジョブを作成するとき、ユーザー定義インデックスを作成できます。バーコードやOCRを元にユーザー定義インデックスを設定し、インデックスデータとして出力することができます。
- インデックス項目の出力設定の選択肢追加：
  ジョブを作成するとき、インデックス項目で以下の設定が利用できるようになります。
  - 保存単位：［ドキュメント］
    インデックスを出力する画像ファイル単位で保存できます。
  - ファイル名：［ファイル名］
    スキャン画像のファイル名をインデックスファイルにも付けることができます。

スキャナーを制御するソフトウェア（Epson Scan 2）

Epson Scan 2は、スキャナーを制御するソフトウェア（スキャナードライバー）です。画像のサイズや解像度の設定、画質などを調整してスキャンできます。TWAIN対応のアプリケーションソフトから起動することもできます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

参考 Windows Server OSをお使いの場合、［デスクトップエクスペリエンス］がインストールされていることを確認してください。

- Windows 11
  スタートボタンをクリックして、［すべてのアプリ］-［EPSON］-［Epson Scan 2］の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
  スタートボタンをクリックして、［EPSON］-［Epson Scan 2］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON］-［Epson Scan 2］の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Scan 2］の順に選択します。

ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）

FAX Utility（ファクス ユーティリティー）は、コンピューターを使ってファクスの送受信をするための設定をするソフトウェアです。送信時に使うアドレス帳の作成や管理、プリンターが受信した文書をPDFにしてコンピューターに保存する設定などができます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考
- Windows Server OSは非対応です。
- FAX Utilityをインストールする前に、プリンタードライバー（PostScriptプリンタードライバーを除く）がインストールされている必要があります。
- お使いのコンピューターにFAX Utilityがインストールされているか確認してください。確認の仕方は、下の「Windowsでの起動方法」か「Mac OSでの起動方法」をご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 11
  スタートボタンをクリックして、［すべてのアプリ］-［Epson Software］-［FAX Utility］の順に選択します。
- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［Epson Software］-［FAX Utility］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または ［プログラム］）-［Epson Software］-［FAX Utility］の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

関連情報

➡ 「コンピューターからファクスを送信する」383ページ
➡ 「コンピューターでファクスを受信する」388ページ

ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）

PC-FAXドライバーはアプリケーションソフトで作成した文書を、コンピューターからそのままファクス送信するソフトウェアです。FAX Utilityをインストールすると、一緒にインストールされます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考
- Windows Server OSは非対応です。
- PC-FAXドライバーがインストールされているか確認してください。下の「Windowsでの表示方法」か「Mac OSでの表示方法」をご覧ください。
- アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの表示方法

アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューの［印刷］（または［印刷設定］など）を選択します。お使いのプリンター（FAX）を選択して［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリックします。

Mac OSでの表示方法

アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択します。［プリンタ］でお使いのプリンター（FAX）を選択して、ポップアップメニューから［ファクス設定］または［送付先設定］を選択します。

関連情報

➡ 「コンピューターからファクスを送信する」383ページ

アドレス帳変換ツール（Windowsのみ）

アドレス帳変換ツールは、お客様のテキストアドレス帳ファイル（.csvや.txt）を、エプソン製プリンターで読み込み（インポート）できるアドレス帳ファイルに変換するツールです。 宛先に関する以下の基本情報に対応しています。

- 各宛先共通の登録名/検索名
- ファクス宛先のファクス番号
- スキャンtoメール機能の宛先のメールアドレス
- フォルダー（SMB）宛先のネットワークパス/ユーザー名/パスワード
- フォルダー（FTP）宛先のサーバーURL/ユーザー名/パスワード/接続モード/ポート番号

詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

アドレス帳変換ツールの起動方法

参考
- Windows Server OSは非対応です。
- Mac OSは非対応です。

- Windows 11
  スタートボタンをクリックして、［全てのプログラム］-［EPSON］-［アドレス帳変換ツール］の順に選択します。
- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［EPSON］-［アドレス帳変換ツール］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
  スタートボタンをクリックして、［全てのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON］-［アドレス帳変換ツール］の順に選択します。

ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）

Web Config（ウェブ コンフィグ）は、コンピューターやスマートデバイスなどの機器からMicrosoft EdgeやSafariなどのWebブラウザー上で起動できるソフトウェアです。プリンターの状態の確認やネットワークサービスの設定、プリンターの設定変更などができます。Web Configを使うには、プリンターと機器を同じネットワークに接続してください。

以下のブラウザーに対応しています。最新バージョンでお使いください。
Microsoft Edge、Internet Explorer、Firefox、Chrome、Safari

参考 本製品を使用中に管理者パスワードの入力を求められることがあります。管理者パスワードについて、詳しくは以下を参照してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

WebブラウザーからWeb Configを起動する

1. プリンターのIPアドレスを確認します。
   ホーム画面のネットワークアイコンから接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

   参考 IPアドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。

2. コンピューターやスマートデバイスでWebブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。
   書式：
   IPv4： http://プリンターのIPアドレス/
   IPv6： http://[プリンターのIPアドレス]/
   例：
   IPv4：http://192.168.100.201/
   IPv6： http://[2001:db8::1000:1]/

   参考 スマートデバイスでは、Epson Smart Panelの製品情報画面からもWeb Configを起動できます。

   HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されますが、問題ありません。

関連情報

➡ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」53ページ
➡ 「Epson Smart Panelで印刷する」276ページ
➡ 「自己署名証明書をインポートする（Windows）」526ページ
➡ 「自己署名証明書をインポートする（Mac OS）」527ページ

自己署名証明書をインポートする（Windows）

自己署名証明書をインポートすると、Web Configを起動するときにブラウザーに警告が表示されなくなります。自己署名証明書の詳細やセキュリティーについては管理者にお問い合わせください。

参考
- 自己署名証明書のインポート方法はお使いの環境によって異なります。
- OSのバージョンによって操作方法が異なる場合があります。

1. プリンターのIPアドレスをブラウザーに入力して、Web Configにアクセスします。

2. ［ネットワークセキュリティー］タブを選択します。

3. ［ダウンロード］をクリックします。
   自己署名証明書がダウンロードされます。
4. ダウンロードした証明書を右クリックして［証明書のインストール］を選択します。
5. 表示された［証明書のインポートウィザードの開始］画面で［ローカルコンピューター］を選択します。
6. ［次へ］をクリックして、表示された画面で［はい］をクリックします。
7. ［証明書ストア］画面で［証明書をすべて次のストアに配置する］を選択します。
8. ［参照］をクリックし、表示された画面で［信頼されたルート証明機関］を選択して［OK］をクリックします。
9. ［証明書ストア］画面で［次へ］をクリックします。
10. ［証明書のインポートウィザードの完了］画面で、設定した内容を確認して［完了］をクリックします。
11. 続いて表示された画面で［OK］をクリックして完了します。
    ブラウザーを再起動するとインポートした自己署名証明書が反映されます。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「使用できる電子証明書」636ページ

自己署名証明書をインポートする（Mac OS）

自己署名証明書をインポートすると、Web Configを起動するときにブラウザーに警告が表示されなくなります。自己署名証明書の詳細やセキュリティーについては管理者にお問い合わせください。

参考
- 自己署名証明書のインポート方法はお使いの環境によって異なります。
- OSのバージョンによって操作方法が異なる場合があります。

1. プリンターのIPアドレスをブラウザーに入力して、Web Configにアクセスします。
2. ［ネットワークセキュリティー］タブを選択します。
3. ［ダウンロード］をクリックします。
   自己署名証明書がダウンロードされます。
4. ダウンロードした証明書をダブルクリックします。
   自己署名証明書がインポートされてキーチェーンアクセスが起動します。
5. キーチェーンアクセス画面で［証明書］をクリックして、インポートした証明書をダブルクリックします。
6. 表示された画面で以下の順に選択します。
   ［信頼］-［この証明書を使用するとき］-［常に信頼］

7. 画面を閉じて完了します。
   ブラウザーを再起動するとインポートした自己署名証明書が反映されます。

関連情報

➡ 「WebブラウザーからWeb Configを起動する」526ページ
➡ 「使用できる電子証明書」636ページ

ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）

Epson Software Updaterはインターネット上にある新しいソフトウェアのインストールやファームウェアを更新するソフトウェアです。定期的に更新情報を確認したい場合は、Epson Software Updaterの確認の間隔設定で更新を確認する間隔を設定できます。

参考 Windows Server OSは非対応です。

Windowsでの起動方法

- Windows 11
  スタートボタンをクリックして、［すべてのアプリ］-［EPSON Software］-［Epson Software Updater］の順に選択します。
- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［EPSON Software］-［Epson Software Updater］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON Software］-［Epson Software Updater］の順に選択します。

参考 EPSON Software Updaterはデスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、［ソフトウェアアップデート］を選択しても起動できます。

Mac OSでの起動方法

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［EPSON Software Updater］の順に選択します。

関連情報

➡ 「ソフトウェアを個別にインストールする」432ページ

ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスの管理を行う多機能なアプリケーションソフトです。
以下のような機能があります。

- セグメントを越えて1台から2000台のプリンターやスキャナーの監視、管理

- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- ファームアップデート機能
- デバイスのネットワークへの導入
- 複数デバイスへの同じ設定値の適用

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプをご覧ください。

エプソン　認証印刷システム（Epson Print Admin）

Epson Print Adminは、Epsonデバイスを管理し、コスト削減と運用効率をサポートしてセキュリティーを確保できる認証システムです。以下のような機能や制限があります。詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。
詳細は販売店にお問い合わせください。

- デバイスで認証した後に印刷します。
- ユーザーがアクセスできるデバイス、機能、および期間を制限します。
- 全てのユーザーとデバイスの記録を保存します。
- 事前にスキャン設定を登録することで、より少ないステップでスキャンを実行できます。
- Active DirectoryまたはLDAPサーバーのユーザー情報を使用してユーザーを登録します。

EPA Advanced Workflows

Epson Print Adminの機能を拡張するためのオプションです。EPA Advanced Workflowsを利用すると、定型スキャンで以下の機能が使用できるようになります。
詳しくは販売店に問い合わせください。

- 保存ファイル名のカスタマイズ
- テキスト検索可能なPDFの作成
- スキャン保存ファイルの仕分け
- スキャン時の情報を出力

設定メニュー一覧

操作パネルのホーム画面で［設定］を選択すると、プリンターのいろいろな設定ができます。
ファームウェアのバージョンによって機能名称や設定メニューの項目が変更になることがあります。

本体設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［基本設定］

画面の明るさ設定：

画面の明るさを調整します。（初期値は［9］）

音の設定：

ミュート：

有効にすると、［操作音］などの音を消音します。

通常時：

操作音などの音の設定をします。

着信音：

ファクス受信時の音量を設定します。

受信完了音：

ファクスの受信が完了したときの音量を設定します。

受信印刷完了音：

受信したファクスの印刷が完了したときの音量を設定します。

ダイヤル中スピーカー音：

ファクス送信時のダイヤル音の音量を設定します。

送信完了音：

ファクスの送信が完了したときの音量を設定します。

操作音：

操作パネルの画面で項目をタップしたときの音量を設定します。

ADFセット音：

原稿をADFにセットしたときの音量を設定します。

正常終了音：

正常に動作が完了したときの音量を設定します。

エラー音：

エラー発生時の音量を設定します。

エラー音の繰り返し：

エラー音を繰り返し鳴らすかを設定します。

音の種類：

音の種類を設定します。

動作音低減モード時：

［動作音低減モード時］の音の設定をします。

着信音：

ファクス受信時の音量を設定します。

受信完了音：

ファクスの受信が完了したときの音量を設定します。

受信印刷完了音：

受信したファクスの印刷が完了したときの音量を設定します。

ダイヤル中スピーカー音：

ファクス送信時のダイヤル音の音量を設定します。

送信完了音：

ファクスの送信が完了したときの音量を設定します。

操作音：

操作パネルの画面で項目をタップしたときの音量を設定します。

ADFセット音：

原稿をADFにセットしたときの音量を設定します。

正常終了音：

正常に動作が完了したときの音量を設定します。

エラー音：

エラー発生時の音量を設定します。

エラー音の繰り返し：

エラー音を繰り返し鳴らすかを設定します。

音の種類：

音の種類を設定します。

スリープ移行時間設定：

プリンターが動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。（初期値は［1分］）

自動電源オフ：

プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切ります。切るまでの時間を設定します。（初期値は［設定しない］）

日付/時刻設定：

日付/時刻：

日付と時間を設定します。

時差：

協定世界時（UTC）との時差を設定します。

言語選択/Language：

画面に表示する言語を選択します。（初期値は［日本語］）

初期モード：

プリンターの電源を入れたときや［無操作タイマー設定］を有効にしたときに、初期画面として表示するモードを指定します。（初期値は［ホーム］）

ホーム画面編集：

操作パネルの画面で表示するアイコンの配置を変更します。アイコンの追加、消去、移動ができます。（レイアウトの初期値は［1行］）

レイアウト：

ホーム画面のレイアウトを選択します。

アイコンの追加：

アイコンをホーム画面に追加します。

アイコンの消去：

ホーム画面からアイコンを削除します。

アイコンの移動：

ホーム画面のアイコンを移動します。

クイックアクション設定：

ホーム画面のお気に入りとして設定を登録します。

アイコン表示を初期状態に戻す：

ホーム画面のアイコン表示を初期状態に戻します。

ホーム背景設定：

操作パネルの画面の背景色を変更します。（初期値は［アニメーション］）
外部メモリーにある任意の画像にすることもできます。設定できる画像データはJPEG形式です。

テーマ色：

各機能のトップ画面の背景色を変更します。（初期値は［標準］）

コピー画面編集：

操作パネルのコピー画面で表示する項目の配置を変更します。変更した後に項目の配置を初期状態に戻すこともできます。

無操作タイマー設定：

［オン］にすると、無操作状態が設定時間続いた場合にメッセージを表示して初期画面に戻ります。利用者制限の利用者として操作しているときは、メッセージが表示されて自動的にログオフされて初期画面に戻ります。状態確認画面や中止またはストップボタンから印刷一時停止をして無操作状態が設定時間続いた場合、印刷が自動再開します。この機能を［オフ］にすると印刷一時停止をしても自動再開はされません。（初期値は［オン］）

キーリピート間隔：

キーリピートは、キーを押したままにしたときに同じ文字を繰り返し入力する入力方法です。キーリピート間隔が長いほど、文字入力の速度は速くなります。［設定しない］に設定されているときは、キーを押したままにしても文字は繰り返し入力されません。

ジョブ/状態の初期画面：

［ジョブ/状態］をタップしたときに表示する情報を選択します。（初期値は［プリンター状態］）

画面切替効果：

［オン］を選択すると、画面切り替え時のアニメーションの動作が有効になります。［オフ］を選択すると画面の切り替えが早くなります。（初期値は［オン］）

プリンター設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］

給紙装置設定：

用紙設定：

セットした印刷用紙のサイズと種類を設定します。［用紙サイズの自動検知］を有効にすると、プリンターが自動的に、給紙装置にセットされた用紙サイズを判別します。（初期値は各給紙装置ともに用紙サイズ［A4］、用紙種類［普通紙］、用紙サイズの自動検知［オン］）

手差しトレイ優先：

［オン］を選択すると、手差しトレイからの給紙を優先します。（初期値は［オフ］）

A4/Letter自動切替：

有効にすると、A4サイズがないときにLetterサイズの給紙装置から給紙します。また、逆にLetterサイズがないときにA4サイズの給紙装置から給紙します。（初期値は［オフ］）

給紙口自動選択：

［用紙設定］ - ［自動］を有効にしていると、用紙がなくなったときに、印刷ジョブの用紙設定と同じ設定になっている給紙装置から自動で給紙します。このメニューでは、コピー、ファクス、その他（印刷全般）の機能ごとに、各給紙装置に対して自動選択の対象にするか設定できます。全てをオフには設定できません。（初期値は各給紙装置ともに［オン］）
印刷ジョブの用紙設定で特定の給紙装置を選択したときは、この設定が無効になります。プリンタードライバーの［基本設定］タブにある用紙種類の設定によっては、自動で給紙されない場合があります。

用紙なし時の給紙口自動切換：コピー・ボックス印刷：

有効にすると、指定した給紙装置の用紙がなくなったときに、用紙がある他の給紙装置から自動で給紙されます。コピー、またはボックスからの印刷時に適用されます。（初期値は ［オフ］）［給紙口自動選択］で選択されていない給紙装置や、指定した給紙装置と異なる用紙設定（用紙種類、用紙サイズ）の給紙装置からは自動で給紙されません。
以下の場合は本機能が適用されません。

- ［給紙口自動選択］で選択されていない給紙装置を、コピー時の給紙装置に設定していたとき
- コンピューターからボックスに保存したデータを、［印刷設定］メニューの設定値を変更せずに印刷するとき

エラー通知：

用紙サイズエラー：

［オン］にすると、印刷設定で指定したサイズと給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示させます。（初期値は［オン］）

用紙種類エラー：

［オン］にすると、印刷設定で指定した用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示させます。（初期値は［オン］）

設定画面自動表示：

有効にすると、給紙装置に用紙をセットするときに［用紙設定］を表示します。（初期値は［オン］）
この設定を無効にすると、iPhone、iPad、iPod touchからAirPrintを使った印刷ができません。

ユーザー定義サイズリスト：

ユーザー定義サイズの設定を変更できます。頻繁に使用する不定形の用紙サイズを設定しておくと便利です。

印刷言語：

USBからの印刷：

USB接続時の印刷言語を選択します。（初期値は［Auto］）

ネットワーク：

ネットワーク接続時の印刷言語を選択します。（初期値は［Auto］）

外部機器(PC)印刷設定：

外部機器からプリンタードライバーを経由せずに印刷したときの設定をします。*の付いた項目は、プリンターの操作パネルまたはプリンタードライバーのどちらの設定を使用するか、プリンタードライバーで設定されています。プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［拡張設定］をクリックして、［パネル設定］を確認してください。プリンタードライバーの設定を使用するときは、*の付いた項目はプリンタードライバーからの印刷でも有効になります。

上印刷位置調整*：

用紙の上側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

左印刷位置調整*：

用紙の左側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

裏面上印刷位置調整*：

両面印刷するときの用紙裏側の上側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

裏面左印刷位置調整*：

両面印刷するときの用紙裏側の左側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

白紙節約モード*：

印刷データ内の白紙ページを無視して印刷します。（初期値は［オフ］）

ユーザー間合紙設定：

有効にすると、コンピューターから印刷する場合に複数のジョブが続いたとき、送信元ごとに仕切りの紙を挿入します。仕切りの紙は指定した給紙装置から挿入されます。（初期値は［オフ］）

本体色補正：

本体色補正：

明るさやコントラストなどの設定をして、外部機器から印刷するときに色補正をします。有効の場合はプリンタードライバーで設定した色補正よりも優先されます。（初期値は［オフ］）

明るさ調整：

画像の明るさを調整します。（初期値は［0］）

コントラスト：

画像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。（初期値は［0］）

鮮やかさ調整：

画像の鮮やかさを調整します。（初期値は［0］）

色調補正 レッド：

赤色の色調を調整します。この値を大きくすると、色調は赤色へ補正されます。小さくすると、赤色の補色であるシアンへ補正されます。（初期値は［0］）

色調補正 グリーン：

緑色の色調を調整します。この値を大きくすると、色調は緑色へ補正されます。小さくすると、緑色の補色であるマゼンタへ補正されます。（初期値は［0］）

色調補正 ブルー：

青色の色調を調整します。この値を大きくすると、色調は青色へ補正されます。小さくすると、青色の補色である黄色へ補正されます。（初期値は［0］）

PDL印刷設定：

共通設定：

用紙サイズ：

印刷時の用紙サイズを選択します。（初期値は［A4］）

用紙種類：

印刷時の用紙種類を選択します。（初期値は［普通紙］）

用紙方向：

印刷時の印刷方向を選択します。（初期値は［縦］）

印刷品質：

印刷品質を選択します。（初期値は［標準］）

インクセーブモード：

［オン］を選択すると、印刷濃度を薄くしてインクを節約します。（初期値は［オフ］）

印刷順序：

最初のページから印刷するか、最後のページから印刷するかを選択します。（初期値は［正順印刷］）

正順印刷：

1ページ目から印刷します。

逆順印刷：

最終ページから印刷します。

コピー枚数設定：

コピー枚数を選択します。（初期値は［1］）

とじ位置：

用紙のとじ位置を選択します。（初期値は［左右開き］）

自動排紙設定：

［オン］を選択すると、途中で印刷が停止したページを自動で排紙します。（初期値は［オフ］）

両面印刷：

［オン］を選択すると、用紙の表裏に印刷します。（初期値は［オフ］）

PS設定：

PS印刷の設定をします。

PSエラーシート：

［オン］を選択すると、PostScript印刷またはPDF印刷時にエラーが発生したときに、エラー状態を記載したシートを印刷します。（初期値は［オフ］）

Coloration：

PostScript印刷のカラーモードを選択します。（初期値は［カラー］）

Binary：

バイナリー形式の画像が含まれるデータの印刷時に［オン］を選択します。ドライバーの設定がASCIIになっていてもアプリケーションがバイナリーデータを送ってしまうことがありますが、この設定を有効にすると印刷できます。（初期値は［オフ］）

PDF印刷 用紙サイズ：

PDFファイルを印刷するときの用紙サイズを選択します。

自動エラー解除：

両面印刷やメモリー不足のエラーが発生したときの動作を選択します。（初期値は［オフ］）

- オン
  両面印刷でエラーが発生したときは、一定時間メッセージを表示してから自動で片面を印刷します。印刷中にプリンターのメモリー不足になったときは、メッセージを表示してからプリンターで処理できたところだけを印刷します。
- オフ
  エラーメッセージを表示して印刷を中止します。

外部メモリー：

有効にすると、プリンターに挿入した外部メモリーに接続できるようになります。無効にすると、プリンターに挿入した外部メモリーのデータの読み込み、印刷、および外部メモリーへのデータ保存を禁止します。機密文書の不正スキャンによるデータの持ち出しを未然に防ぎます。（初期値は［有効］）

こすれ軽減：

- オフ
  印刷時のこすれ軽減を無効にします。
- モード1/モード2/モード3
  印刷時のこすれを軽減しますモード1、モード2、モード3の順で軽減効果が上がります。ただし、印刷に時間がかかります。

給紙アシスト：

有効にすると、厚紙/ハガキ/封筒の給紙不良と、普通紙で斜めに印刷される現象を低減します。（初期値は［オフ］）
ただし印刷に時間がかかります。

動作音低減モード：

有効にすると、印刷時の動作音が低減されます。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。用紙種類や印刷品質の設定によっては、動作音が変わらないことがあります。（初期値は［オフ］）

印刷速度優先：

［オフ］にすると、用紙種類や印刷データの条件に合わせ、印刷速度を下げて印刷します。速度を下げて印刷することで、排紙の乱れや紙詰まりを軽減（改善）できる可能性があります。（初期値は［オン］）

余白量設定：

画像を切り取って印刷するときの余白量を設定します。

コンピューターのUSB接続：

［有効］にすると、USB接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。［無効］にすると、ネットワークを経由しない印刷やスキャンなどを禁止できます。（初期値は［有効］）

USB I/Fタイムアウト時間設定：

USB接続したコンピューターからPostScriptプリンタードライバーを経由した印刷で、ジョブを受信してからUSB接続を切断するまでの時間を指定します。PostScriptプリンタードライバーを経由したジョブは、データの終わりが不明瞭のため、送信が終了してもUSB接続が切断されないことがあります。そのため、指定した時間が経過した後に自動で通信を遮断してジョブを終了します。（初期値は［60秒］）

関連情報

- 「用紙をセットする」207ページ
- 「簡単な設定で印刷する」222ページ
- 「外部メモリー内のJPEGデータを印刷する」281ページ
- 「外部メモリー内のTIFFデータを印刷する」283ページ

ネットワーク設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］

無線LAN接続設定：

無線LAN（Wi-Fi）の接続設定、または設定変更をします。接続方法を以下から選択して、画面の指示に従って設定してください。
この項目はオプションの無線LANインターフェイスが装着されていると表示されます。

ルーター：

アクセスポイントを検索：

SSIDとパスワードを入力して無線LANの設定をします。

プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)：

プッシュボタンでAOSS/WPSを設定して、無線LANの設定をします。

詳細設定：

ネットワークの詳細設定メニューを表示します。

その他：

- PINコード自動設定(WPS)
  PINコード自動設定(WPS)で無線LANの設定をします。
- カンタン自動設定
  コンピューターやスマートデバイスの無線LAN情報を使って無線LAN接続をします。
- 無線LANを無効にする
  無線LANを無効にします。インフラストラクチャー接続が切断されます。

Wi-Fi Direct：

iOSデバイスとつなぐ：

Wi-Fi Direct接続用のQRコードを表示します。

Androidデバイスとつなぐ：

Android端末のWi-Fi Direct接続に関する情報を表示します。

その他スマートデバイスとつなぐ：

Wi-Fi Directに接続するためのSSIDとパスワードを表示します。

設定を変更する：

- 接続名を変更する
  Wi-Fi DirectのSSID（接続名）を変更します。
- パスワードを変更する
  Wi-Fi Direct接続のパスワードを変更します。
- 周波数帯を変更する
  Wi-Fi Direct接続の周波数帯を選択します。周波数帯を変更するとデバイスとの接続は切断されます。
  屋内外における、5GHz帯のチャンネルの使用可否は、地域によって異なります。
  https://support.epson.net/wifi5ghz/
- Wi-Fi Directを無効にする
  Wi-Fi Directを無効にします。
- 初期設定に戻す
  Wi-Fi Directの設定を初期設定に戻します。

有線LAN接続設定：

LANケーブルでプリンターとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

ネットワーク情報：

有線・無線接続状態：

プリンターのネットワークの情報を表示します。

オプションの無線LANインターフェイスが装着されていないときは、有線LANの情報のみ表示します。

Wi-Fi Direct接続状態：

Wi-Fi Direct設定の内容を表示します。

メールサーバー設定確認：

メールサーバー設定情報を表示します。

ステータスシート印刷：

ネットワークステータスシートを印刷します。
有線LAN、無線LAN、Wi-Fi Directなどの情報が2ページ以上にわたって印刷されます。

接続診断：

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

詳細設定：

デバイス名：

デバイス名を2～53文字で変更します。

TCP/IP：

固定IPアドレスの場合は、IPの設定をします。
自動で割り当てる場合は、DHCP機能によって割り当てられたIPアドレスを使用します。
手動で設定する場合は、「手動」に変更して割り当てたいIPアドレスを入力します。
（初期値は［自動設定］）

プロキシサーバー：

お使いのネットワーク環境でプロキシサーバーを使用していてプリンターにも設定したい場合にこの設定をします。

メールサーバー：

メール転送機能を使用する場合のメールサーバー情報の設定と接続確認をします。

IPv6アドレス：

IPv6アドレスを有効にするかどうかを設定します。
（初期値は［有効］）

MS Network共有：

ファイル共有機能を使用したい場合に設定します。
（初期値は［有効］）

Link Speed & Duplex：

適切な有線LANの速度とduplexの設定を選択します。自動以外を選択した場合、ご使用のハブに合った設定になっているかを確認してください。
（初期値は［自動］）

HTTPをHTTPSにリダイレクト：

HTTPからHTTPSへのリダイレクトを有効にするか無効にするかを設定します。
（初期値は［有効］）

IPsec/IPフィルタリングの無効化：

IPsec/IPフィルタリングの設定を無効にします。
（初期値は［無効］）

IEEE802.1Xの無効化：

IEEE802.1Xの設定を無効にします。
（初期値は［無効］）

Webサービス設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［Webサービス設定］

Epson Connect設定：

Epson Connectサービスへの登録状態を表示します。
［登録する］を選択すると表示される画面の指示に従って登録します。
Epson Connect サービス利用の詳細は、以下のポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/
登録すると以下の設定ができます。

サービスの一時停止/再開：

Epson Connectサービスの利用を一時停止するか、または停止していたサービスを再開するかを設定します。

登録削除：

Epson Connectサービスからプリンターの登録を解除します。

ファクス設定（ファクス対応機のみ）

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］の順に選択すると表示されます。

参考
- Web Configからもアクセスできます。Web Config画面の［ファクス］タブをクリックしてください。
- Web Configでのメニュー名や表示場所は、プリンターの操作パネルのファクス設定と異なることがあります。

関連情報

- 「ユーザー設定」542ページ
- 「レポート設定」542ページ
- 「基本設定」543ページ
- 「セキュリティー設定」548ページ

➡ 「送信設定」548ページ
➡ 「ファクス診断」550ページ
➡ 「受信設定」550ページ
➡ 「ファクス設定ウィザード」560ページ

ユーザー設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ユーザー設定］

初期表示

ファクスメニューのトップ画面で最初に表示したいタブを選択します。
初期設定：［常用］

クイック操作ボタン：

［ファクス］-［常用］と［ファクス］-［ファクス設定］に表示するアイテムを4つまで登録できます。使用頻度の高い設定項目を登録しておくと便利です。
初期設定：［クイック操作ボタン1］は［通信履歴表示］、［クイック操作ボタン2］は［原稿種類］、［クイック操作ボタン3］は［画質］、［クイック操作ボタン4］は［濃度］

レポート設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは［ファクス］タブ- ［レポート設定］の順にクリックすると表示されます。

転送結果レポート：

受信ファクスが転送されたときのレポートを印刷します。［オン］を選択すると、転送のたびにレポートを印刷します。
初期設定：［エラー時のみ］

バックアップエラーレポート：

［バックアップ先］が有効のとき、送信した文書をバックアップできなかったときにレポートを印刷します。バックアップ先は、送信ごとに［ファクス］-［ファクス設定］タブ -［バックアップ送信設定］で指定できます。以下のときに使用できます。

- モノクロ（白黒）で送信する
- ［時刻指定送信］で送信する
- ［バッチ送信］で送信する
- ［待機文書蓄積］で送信する

初期設定：［オン］

通信管理レポート：

通信管理レポートを自動で印刷します。［オン(100件毎)］を選択すると、通信履歴が100件に達したときに印刷されます。［オン(指定時刻)］を選択すると、指定の時刻に印刷されます。ただし、通信履歴が100件に達すると指定時刻の前でも印刷されます。
初期設定：［オフ］

受信結果レポート：

ファクス受信すると受信結果レポートを印刷します。
［エラー時のみ］を選択したときは、ファクス受信時にエラーが発生すると受信結果レポートを印刷します。
初期設定：［オフ］

レポート内画像添付：

［通信結果レポート印刷］に、送信文書の1ページ目のイメージ画像を入れて印刷します。［添付する(画像大)］を選択すると、ページの一部（冒頭部分）を縮小せずに印刷します。［添付する(画像小)］を選択すると、ページ全体を縮小して印刷します。
初期設定：［添付しない］

通信管理レポートレイアウト：

［送受信混在］を選択すると、送信結果と受信結果が混在した状態の通信管理レポートが印刷されます。
［送受信別］を選択すると、送信結果と受信結果が分けられた状態の通信管理レポートが印刷されます。
初期設定：［送受信混在］

レポート形式：

［ファクス］-☰（［メニュー］）-［ファクスレポート印刷］から印刷できる、［プロトコルログ］以外のファクスレポートの表示形式を選択します。［詳細情報］にするとエラーコードも印刷されます。
初期設定：［簡易情報］

通信管理レポート出力先：

通信管理レポート出力先：

［外部メモリーに保存］などから出力先を選択します。［転送］を選択したときは、アドレス帳から［転送先］を選択してください。
初期設定：［印刷］

転送先：

レポートの転送先を指定します。

保存専用フォルダーの作成：

画面の指示に従って、外部メモリーにフォルダーを作成してファクスを保存します。

基本設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは［ファクス］タブ- ［基本設定］の順にクリックすると表示されます。

通信モード：

通信速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるときや海外と通信するとき、またはIP電話環境で通信するときは［9.6kbps(G3)］をお勧めします。
初期設定：［33.6kbps(スーパーG3)］

エラー訂正(ECM)：

回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復します（ECM機能）。無効にすると、カラー文書の送受信はできません。
初期設定：［オン］

ダイヤルトーン検出：

ダイヤルする前にダイヤルトーンを検出します。PBX（構内交換機）やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。その場合は［接続回線］を［構内交換機(PBX)］にしてください。それでも接続できないときは本機能を無効にしてください。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。
初期設定：［オン］

ダイヤル種別：

接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。ダイヤルしたとき受話器から「ピッポッパ」と音がするときは、プッシュ回線です。「ジージージ」または「カタカタカタ」と音がするときは、ダイヤル回線です。回線の種類がわからないときは、［ファクス］画面の（オンフック）をタップしてダイヤルトーンが聞こえたら117（時報）や自分の携帯電話などにダイヤルし、［プッシュ］→［ダイヤル(20PPS)］→［ダイヤル(10PPS)］の順に設定を変えて、つながるかどうか試してください。
初期設定：［プッシュ］

ナンバー・ディスプレイ対応：

ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしている回線の使用時に、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示します。詳しくは下の関連情報をご覧ください。
「発信元の電話番号を表示する設定にする」137ページ
初期設定：［オフ］

接続回線：

プリンターを接続した回線の種類を選択します。
初期設定：［一般回線（PSTN）］

一般回線(PSTN)：

プリンターを公衆交換電話網（PSTN）に接続したときに［一般回線(PSTN)］を選択します。

構内交換機(PBX)：

内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では、［構内交換機(PBX)］を選択して外線発信番号を登録します。ターミナルアダプターなどを使用している環境でも［構内交換機(PBX)］に設定することをお勧めします。

外線発信番号：

［使用する］を選択して、「0」や「9」などの外線発信番号を登録します。登録後に外線番号にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#を入力します。［アドレス帳］に登録するときも、［0］や［9］などの代わりに#を付けて宛先を登録します。

「構内交換機（PBX）の設定」131ページ
初期設定：［使用しない］

発信元設定：

発信元名と発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。

発信元番号：

0～9 * #または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。Web Configでは、30文字以内で入力できます。

発信元名：

40文字以内で21件まで入力できます。Web Configでは、Unicode （UTF-8）で表せる文字で入力します。

受信モード：

受信モードを選択します。
初期設定：［自動］
「相手先から送られてきたファクスを受信する」355ページ

呼び出し回数：

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます（無鳴動着信）。
初期設定：［1］回

電話呼び出し回数：

［受信モード］が［ファクス/電話自動切替］になっている場合、電話がかかってきたときに外付け電話機を何回呼び出すかを選択します。
初期設定：［8］回

リモート受信：

リモート受信：

外付け電話機で応答した相手がファクスの場合は、電話機で開始コードを入力するだけでファクス受信を開始します。
初期設定：［オフ］

起動コード：

［リモート受信］の開始コードです。0～9 * #を使用し、2文字で入力します。
初期設定：［**］

着信・ファクス受信拒否：

着信拒否：

迷惑ファクスの着信拒否を設定します。G3回線で着信拒否をする場合は回線とは別にナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

拒否番号リスト：

拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。
初期設定：［オフ］

非通知：

送信元情報が設定されていないファクスの着信を拒否します。
初期設定：［オフ］

拒否SIP URIリスト：

拒否SIP URIリストに載っているSIP URIの着信を拒否します。
初期設定：［オフ］

ファクス受信拒否：

迷惑ファクス拒否の設定をします。

拒否番号リスト：

拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。
初期設定：［オフ］

非通知：

送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。
初期設定：［オフ］

アドレス帳未登録：

アドレス帳に登録されていない番号の受信を拒否します。
初期設定：［オフ］

拒否番号リスト編集：

拒否番号リストに登録できるのは30件までです。0～9 * #または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。

拒否SIP URIリスト編集：

拒否SIP URIリストに登録できるのは30件までです。A～Z a～z 0～9 ! # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; = ? _ ~ @ [ ]を使用し、127文字以内で入力します。

保存・転送時のファイル形式：

保存・転送時のファイル形式：

保存・転送するファクスのファイル形式を、［PDF］と［TIFF］から選択します。
なお、クラウド宛先へ転送したファクスは、ここでの設定に関わらずPDFで保存されます。
初期設定：［PDF］

PDF設定：

この設定は［保存・転送時のファイル形式］で［PDF］を選択しているときに有効です。

文書を開くパスワード：

- パスワード設定：
  文書を開くためのパスワードを有効にします。
  初期設定：［設定しない］
- パスワード：
  文書を開くパスワードを設定します。

権限パスワード：

- パスワード設定
  PDFファイルの印刷や編集を許可するためのパスワード設定を有効にします。
  初期設定：［設定しない］
- パスワード
  権限パスワードを設定します。
- 印刷許可
  PDFファイルの印刷を許可します。
  初期設定：［許可する］
- 編集許可
  PDFファイルの編集を許可します。
  初期設定：［許可する］

クラウド宛先リスト：

Epson Connectを利用している場合、Epson Connectの管理するクラウドサービスの宛先の中から5件までをリストに登録できます。リストに登録した宛先をファクス転送先に指定すると、受信ファクスをファイル化してアップロードできます。
国や地域によってはオンラインサービスを利用できない場合があります。

増設回線設定：

IPファクス：

各項目の機能は、標準のファクスと同じです。

- 通信モード
- エラー訂正(ECM)
- 発信元番号(LAN)
- 発信元番号(NGN)
- 発信元番号(VoIPゲートウェイ)
- 認定番号

回線別通信設定：

G3:

G3回線の用途（送信専用、受信専用、送受信兼用）を選択します。
初期設定：［送受信兼用］

IPファクス：

IPファクス回線の用途（送信専用、受信専用、送受信兼用）を選択します。

初期設定：［送受信兼用］

関連情報

➡ 「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」147ページ

セキュリティー設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［セキュリティー設定］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは［ファクス］タブ-［セキュリティー設定］の順にクリックすると表示されます。

直接ダイヤル制限：

［オン］にすると、ファクス番号を直接入力できません。アドレス帳かクイックダイヤル、または履歴から宛先を選択できます。
［2回入力］にすると、ファクス番号を直接入力したときに確認のための再入力が必要です。誤送信のリスクが軽減します。
［オフ］にすると、ファクス番号を直接入力できます。
初期設定：［オフ］

複数宛先送信制限：

［オン］を選択すると、宛先に指定できるファクス番号を1件のみに制限します。
初期設定：［オフ］

宛先一覧確認：

［オン］にすると、送信開始前に宛先確認の画面を表示します。
初期設定：［オン］
宛先確認画面を表示する条件を、［全て］または［複数宛先送信時のみ］から選択できます。
初期設定：［複数宛先送信時のみ］

バックアップデータ自動消去：

停電や誤操作による電源オフに備え、送受信文書のデータはメモリー内に一時保存しています。
［オン］にすると、送受信文書の処理が完了してバックアップが不要になると自動的に消去します。
初期設定：［オフ］

バックアップデータを消去：

メモリー内に一時保存されたバックアップデータを全て消去します。プリンターを譲渡または廃棄するときに実行してください。
Web Config画面からは設定できません。

送信設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［送信設定］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは［ファクス］タブ-［送信設定］の順にクリックすると表示されます。

クイックメモリー送信：

クイックメモリー送信は1ページ目の原稿のスキャンが完了した時点で、ファクスの送信を開始します。この設定を無効にすると、全てのページをスキャンしてメモリーに保存した後にファクス送信します。この設定を有効にすると、スキャンとファクス送信を並行して行うので、スキャン開始から送信完了までの時間を短縮できます。
初期設定：［オン］

バッチ送信：

宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計200ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。
初期設定：［オフ］

自動リダイヤル回数：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤル回数を選択します。
初期設定：［3］回

自動リダイヤル間隔：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤルする間隔を選択します。
初期設定：［3］分

送信失敗文書保存：

送信失敗文書保存：

［オン］にすると、送信に失敗した文書をプリンターのメモリーに保存します。［ジョブ/状態］から再送信できます。
初期設定：［オフ］

文書保存期間の設定：

［オン］にすると、送信失敗文書を保存期間後に削除します。
初期設定：［オフ］

保存期間：

送信失敗文書を保存しておく期間を設定します。
初期設定：［7日］

原稿追加待ちタイマー：

原稿追加待ちタイマー：

①をタップして原稿を読み取った後、次の原稿をセットしないまま一定時間が経過すると、ファクス送信が開始されます。
初期設定：［オン］

時間：

セットした原稿のスキャン後に次の原稿をセットするまでの待ち時間を設定します。
初期設定：［60］秒

送信プレビュー無操作タイマー：

送信プレビュー無操作タイマー：

読み取った原稿のイメージを画面に表示してから、パネルの操作がないまま一定時間が経過すると、ファクス送信が開始されます。
初期設定：［オン］

時間：

読み取った原稿イメージを送信するまでの、画面で確認できる時間を設定します。
初期設定：［60］秒

送信毎のバックアップ送信設定：

［許可する］を選択しておくと、［ファクス］メニューの［ファクス設定］でバックアップ送信設定ができます。
初期設定：［許可する］

ファクス診断

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス診断］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは実行できません。

プリンターが電話回線に接続されていて送受信ができる状態かどうかを診断します。診断後、A4サイズの普通紙に結果レポートを印刷できます。

関連情報

➡ 「ファクス機能診断レポートの見方」130ページ

受信設定

関連情報

➡ 「保存・転送設定」550ページ
➡ 「印刷設定」558ページ

保存・転送設定

条件なし保存・転送：

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは、［ファクス］タブ-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順にクリックすると表示されます。

受信ファクスを、受信ボックスや外部メモリー、コンピューターに保存したり、メールや共有フォルダー、他のファクス機に転送したりする設定をします。これらは全て同時に使用できます。プリンターの操作パネル上で全ての設定が無効のときは、受信ファクスは印刷されます。

受信ボックスに保存：

受信ファクスをプリンターの受信ボックスに保存します。最大で200件の文書を保存できます。保存したファクスのファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。
この設定をオンにすると、受信ファクスは自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。ただし、［条件なし保存・転送］の他の項目（［PC-FAXで受信］など）で［オン(印刷もする)］が選択されている場合は、自動で印刷されます。
初期設定：［オフ］

PC-FAXで受信：

受信したファクスをPDFかTIFFに変換してプリンターに接続されているコンピューターに保存します。この設定はFAX Utility（アプリケーション）を使って有効にできます。プリンターの操作パネルからは有効にできません。事前にコンピューターにFAX Utilityをインストールしてください。［オン(印刷もする)］は、FAX Utilityから［オン］に設定後に変更できます。
初期設定：［オフ］

外部メモリーに保存：

受信したファクスをPDFかTIFFファイルに変換してプリンターにセットされている外部メモリーに保存します。［オン(印刷もする)］を選択すると、外部メモリーに保存と同時に印刷もします。
初期設定：［オフ］
受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

保存専用フォルダーの作成：

画面の指示に従って、外部メモリーにフォルダーを作成してファクスを保存します。

転送：

以下の宛先に受信ファクスを転送します。

- 他のファクス機へ転送
- PDFまたはTIFFで、ネットワーク上の共有フォルダーまたはメールアドレスへ転送
- PDFで、クラウドのアカウントへ転送

転送されたファクスデータはプリンターから削除されます。［オン(印刷もする)］を選択すると、転送と同時に印刷もします。
転送先をメールアドレスまたはネットワーク上の共有フォルダーにするときは、事前にアドレス帳の登録が必要です。また、転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーを設定してください。
転送先をクラウドのアカウントにするときは、事前に**Epson Connect**で［Fax to Cloud］を選択して、［ファクス宛先リスト］にユーザー、プリンター、クラウドの宛先を登録します。また、プリンターの操作パネルで［クラウド宛先リスト］に転送先を追加します。
初期設定：［オフ］

転送先：

転送先をアドレス帳またはクラウド宛先リストから選択します。

ネットワーク上のフォルダーやメールアドレス、クラウドのアカウントを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかテストすることをお勧めします。
プリンターの操作パネルから［スキャン］-［メール］、［スキャン］-［ネットワークフォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。
クラウドのアカウントを選択した場合は、ボックスに保存した文書を宛先に転送することでもテストできます。プリンターの操作パネルで［ファクスボックス］を選択します。☰ (プレビューメニュー)を選択して、スキャンされた文書が保存されているボックスの［転送(クラウド)］を選択し、宛先を選択して転送を開始します。

転送失敗時の動作：

転送に失敗したファクスを印刷するか受信ボックスに保存するか選択します。
受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。速やかに文書を確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の に表示されます。
初期設定：［印刷する］

メール通知設定：

指定した処理が終わるとメールで通知します。以下の処理を指定できます。これらは全て同時に使用できます。

送信先：

プロセスが終了したときのメールの送付先です。

受信終了通知：

ファクス受信が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

印刷終了通知：

受信ファクスの印刷が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

外部メモリー保存終了通知：

受信ファクスが外部メモリーに保存されるとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

転送終了通知：

ファクスの転送が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

関連情報

➡ 「受信ファクスを保存する設定をする」139ページ
➡ 「受信ファクスを転送するように設定する」141ページ

条件保存・転送：

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件保存・転送］

参考 Web Config画面からは、以下の順に選択すると表示されます。
［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［条件保存・転送］

受信ファクスを、受信ボックスや親展ボックス、外部メモリーに保存したり、メールや共有フォルダー、他のファクス機に転送したりする設定をします。
複数の条件（条件保存・転送）を設定した場合、項目（1～100）順に参照され、最初に一致した［条件保存・転送］が実行されます。

設定した条件を有効または無効にするには、その項目の > 以外の場所をタップします。初期設定は［無効］です。
「特定の条件で受信ファクスを保存する設定」142ページ
「特定の条件で受信ファクスを転送する設定」144ページ

名称(必須項目)：

条件名を入力します。

条件：

条件を選択して設定します。

相手先ID一致：

相手先ID一致：

ファクス番号など、相手先のIDが一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

ID：

ファクス番号やSIP URIなど、相手先のIDを指定します。

Fコード(SUB)完全一致：

Fコード(SUB)完全一致：

Fコードが完全に一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

Fコード(SUB)：

相手先のFコード（SUB）を入力します。

パスワード(SID)完全一致：

パスワード(SID)完全一致：

パスワードが完全に一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

パスワード(SID)：

相手先のパスワード（SID）を入力します。

受信回線一致：

回線が一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

受信時間の設定：

受信時間の設定：

指定した時間帯に受信ファクスを保存・転送します。
初期設定：［オフ］

適用開始時刻：

受信ファクスの保存・転送を開始する時刻を指定します。

適用終了時刻：

受信ファクスの保存・転送を終了する時刻を指定します。

保存・転送先（必須項目）：

条件に一致した受信ファクスを保存・転送するための保存先を選択します。これらは全て同時に使用できます。

ボックスに保存：

ボックスに保存：

受信したファクス文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存します。
受信したファクス文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに最大で200件保存できます。保存したファクスのファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。
初期設定：［オフ］

受信ボックス：

受信ファクスをプリンターの受信ボックスに保存します。

親展XX：

受信した文書をプリンターの親展ボックスに保存します。

外部メモリーに保存：

外部メモリーに保存：

受信したファクスをPDFかTIFFファイルに変換してプリンターにセットされている外部メモリーに保存します。
初期設定：［オフ］
受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

保存専用フォルダーの作成：

画面の指示に従って、外部メモリーにフォルダーを作成してファクスを保存します。

転送：

転送：

以下の宛先の1つに受信ファクスを転送します。

- 他のファクス機へ転送
- PDFまたはTIFFで、ネットワーク上の共有フォルダーまたはメールアドレスへ転送
- PDFで、クラウドのアカウントへ転送

転送されたファクスデータはプリンターから削除されます。［オン(印刷もする)］を選択すると、転送と同時に印刷もします。
転送先をメールアドレスまたはネットワーク上の共有フォルダーにするときは、事前にアドレス帳の登録が必要です。また、転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーを設定してください。
転送先をクラウドのアカウントにするときは、事前に**Epson Connect**で［Fax to Cloud］を選択して、［ファクス宛先リスト］にユーザー、プリンター、クラウドの宛先を登録します。また、プリンターの操作パネルで［クラウド宛先リスト］に転送先を追加します。
初期設定：［オフ］

転送先：

転送先をアドレス帳またはクラウド宛先リストから選択します。
ネットワーク上のフォルダーやメールアドレス、クラウドのアカウントを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかテストすることをお勧めします。
プリンターの操作パネルから［スキャン］-［メール］、［スキャン］-［ネットワークフォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。
クラウドのアカウントを選択した場合は、ボックスに保存した文書を宛先に転送することでもテストできます。プリンターの操作パネルで［ファクスボックス］を選択します。☰ (プレビューメニュー)を選択して、スキャンされた文書が保存されているボックスの［転送(クラウド)］を選択し、宛先を選択して転送を開始します。

転送失敗時の動作：

転送に失敗したファクスを印刷するか受信ボックスに保存するか選択します。
初期設定：［印刷する］

印刷：

ファクスを受信したら印刷します。
初期設定：［オフ］

保存・転送時のファイル形式：

ファクスを保存したり転送したりするときのファイル形式を設定できます。
なお、クラウド宛先へ転送したファクスは、ここでの設定に関わらずPDFで保存されます。
初期設定：［ファクス設定に従う］

PDF設定：

この設定は［保存・転送時のファイル形式］で［PDF］を選択しているときに有効です。

文書を開くパスワード：

- パスワード設定：
  文書を開くためのパスワードを有効にします。
  初期設定：［設定しない］
- パスワード：
  文書を開くパスワードを設定します。

権限パスワード：

- パスワード設定
  PDFファイルの印刷や編集を許可するためのパスワード設定を有効にします。
  初期設定：［設定しない］
- パスワード
  権限パスワードを設定します。
- 印刷許可
  PDFファイルの印刷を許可します。
  初期設定：［許可する］
- 編集許可
  PDFファイルの編集を許可します。
  初期設定：［許可する］

メール通知設定：

指定した処理が終わるとメールで通知します。以下の処理を指定できます。これらは全て同時に使用できます。

送信先：

プロセスが終了したときのメールの送付先です。

受信終了通知：

ファクス受信が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

印刷終了通知：

受信ファクスの印刷が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

外部メモリー保存終了通知：

受信ファクスが外部メモリーに保存されるとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

転送終了通知：

ファクスの転送が完了するとメールで通知します。
初期設定：［オフ］

結果レポート印刷：

受信ファクスの保存や転送時に、結果レポートを印刷します。
［エラー時のみ］を選択すると、受信ファクスの保存や転送をしたときにエラーが起こると、結果レポートを印刷します。
初期設定：［エラー時のみ］

関連情報

➡ 「特定の条件で受信ファクスを保存するように設定する」143ページ
➡ 「特定の条件で受信ファクスを転送するように設定する」145ページ

共通設定：

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［共通設定］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは、以下の順に選択すると表示されます。

- ［ファクス］タブ -［ファクスボックス］-［受信ボックス］
- ［ファクス］タブ -［保存・転送設定］-［共通設定］

受信ボックス設定：

容量限界時の動作：

受信ボックスがいっぱいのときに受信したファクスを印刷するか受信拒否するか選択します。
初期設定：［受信しない］

パスワード設定：

誰でも簡単に受信ボックスを開いて見ることができないように受信ボックスにパスワードを設定します。設定したパスワードを変更するときは［変更］を、パスワード設定を解除するときは［設定クリア］を選択します。変更や初期化をするときも現在設定されているパスワードの入力が必要です。
［容量限界時の動作］で［受信して印刷する］を選んだときは、パスワードは設定できません。

Eメール転送時の件名：

転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名を指定できます。

ボックス内文書削除設定：

受信文書自動削除：

［オン］を選択すると、受信後一定時間が経過したファクスを自動的に削除します。
初期設定：［オフ］

削除までの期間：

受信ボックスに文書が保存されてから削除するまでの期間を設定します。
初期設定：［7日］

削除対象：

削除対象とする文書を［既読文書のみ］、［未読文書のみ］、［全ての文書］から選択します。
初期設定：［既読文書のみ］

メニュー：

メニュー（☰）は、プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-☰の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは印刷できません。

条件保存・転送リスト印刷：

条件保存・転送リストを印刷します。

印刷設定

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは［ファクス］タブ -［印刷設定］の順にクリックすると表示されます。

自動縮小印刷：

受信ファクスの文書サイズがプリンターにセットされている用紙のサイズより大きいときに、用紙のサイズに合わせて縮小印刷します。データによっては縮小できないことがあります。無効にすると縮小されず、複数ページに印刷されたり、2枚目が白紙になったりすることがあります。
初期設定：［オン］

ページ分割設定：

受信ファクスの文書サイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページの分割方法を設定します。用紙長からはみ出す量が［分割後の印刷破棄］-［しきい値］以下のときは、はみ出し分を削除して印刷します。用紙からはみ出す量が［しきい値］を超えるときは、はみ出し分を別のページに印刷します。

分割後の印刷破棄：

分割後の印刷破棄：

はみ出し分が［しきい値］以下のときに破棄するデータの領域を指定します。
初期設定：［下を破棄］

しきい値：

はみ出し量がこの値以下のとき、はみ出し分のデータは破棄され印刷されません。
初期設定：［15］mm

分割時の重ねあわせ：

分割時の重ねあわせ：

用紙長からはみ出す長さが ［分割後の印刷破棄］-［しきい値］を超えるためデータを分割して印刷するときに、 ［重ね幅］で指定した長さだけデータを重複して印刷します。
初期設定：［オン］

重ね幅：

この値の分だけ重ねてはみ出し分のデータを印刷します。
初期設定：［10］mm

代行印刷：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときの印刷方法を設定します。
［オン（分割して印刷）］を選択すると受信文書を長辺方向に分割して印刷します。［オン（縮小して印刷）］ を選択すると最小で50%まで縮小して印刷します。
初期設定：［オフ］

自動回転印刷：

A5サイズの横長の文書を受信したときに、自動で回転してA5サイズの用紙に印刷します。ファクスで使用する給紙装置いずれかの用紙サイズ設定がA5のときに適用されます。
［オフ］を選択した場合、A5横長の文書を受信すると、同じ横幅のA4サイズの文書を受信したとみなして印刷します。
初期設定：［オン］
ファクス印刷に使用できる給紙装置と、その給紙装置の用紙サイズ設定は、［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］から以下を表示すると確認できます。

- ［給紙口自動選択］
- ［用紙設定］-［用紙サイズ］

受信情報の付加：

送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号、受付ID（#001など）やページ番号（P1など）が含まれます。受付IDで、通信管理レポートの通信履歴やファクスジョブ履歴と照合することができます。［ページ分割設定］を有効にしているときは、分割ページ番号も含まれます。
初期設定：［オフ］

両面印刷：

両面印刷：

複数ページの受信ファクスを両面印刷します。
初期設定：［オフ］

とじ位置：

とじ位置を選択します。
初期設定：［長辺］

印刷開始設定：

受信したファクス文書の印刷を開始するタイミングを設定します。

- 全ページ受信後：全ページを受信後に印刷を開始します。印刷を最初のページからするか最後のページからするかは、［正順印刷］の設定に従います。［正順印刷］の説明をご覧ください。
- 最初のページ受信後：1ページ目を受信したところで印刷を開始します。他のジョブを印刷中などで印刷を開始できないときは、印刷可能になったところでまとめて印刷を開始します。

初期設定：［全ページ受信後］

正順印刷：

受信したファクス文書を、最後のページから印刷します。1ページ目が最後に印刷されて、文書はページ順に並びます。メモリーの空き容量が少ないときはこの設定が適用されないことがあります。
初期設定：［オン］

印刷停止時間の設定：

印刷停止時間の設定：

指定の時間帯に受信したファクス文書を印刷せずにメモリーに保存します。夜間の騒音防止や不在時の機密漏えい防止などに活用できます。メモリーに十分な空き容量があることを確認してからお使いください。再開時刻前でも、［ジョブ/状態］から確認して個別に印刷できます。

初期設定：［オフ］

停止する時刻：

指定時刻になると印刷を中止します。

再開する時刻：

指定時刻になると自動的に印刷を再開します。

動作音低減モード：

ファクス印刷時の動作音が静かになります。ただし、印刷速度は遅くなることがあります。
初期設定：［オフ］

ファクス設定ウィザード

プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス設定ウィザード］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは実行できません。

ファクス送受信に必要な基本設定を、画面に従って設定します。

関連情報

➡ 「基本設定」543ページ
➡ 「プリンターでファクス送受信できるようにする」128ページ

スキャン設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［スキャン設定］

初期表示：

スキャンするときに最初に表示するタブを選択します。（初期値は［常用］）

クイック操作ボタン(フォルダー)：

操作パネルで［To ネットワークフォルダー］メニューを使ってスキャンするとき、［常用］画面に表示する設定項目を4つまで設定できます。

クイック操作ボタン(メール)：

操作パネルで［To メール］メニューを使ってスキャンするとき、［常用］画面に表示する設定項目を4つまで設定できます。

読み取り前宛先確認：

スキャンする前に宛先を確認します。（初期値は［オフ］）

Document Capture Pro設定：

操作パネルで［To コンピューター］メニューを使ってスキャンするときは、Document Capture Proのインストールされたコンピューターに合わせ、動作モードおよびその他の設定をします。

動作モード：

動作モードを設定します。（初期値は［クライアントモード］）
WindowsまたはMac OSにDocument Capture Proがインストールされているときは、［クライアントモード］を選択します。
Windows ServerにDocument Capture Proがインストールされているときは、［サーバーモード］を選択します。

サーバーアドレス：

［サーバーモード］を選択したとき、サーバーアドレスを入力します。

グループ設定：

プリンターのグループ設定を有効にします。Document Capture Proでグループ設定を有効にしたときに設定します。（初期値は［オフ］）
有効にしたときは、［グループ］にグループ番号を入力します。

メールサーバー：

［メール］を選択してスキャンするときの、メールサーバーの設定をします。
プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定するには、［サーバー設定］を選択します。
「メールサーバー設定項目」66ページ
［コネクションテスト］を選択すると、メールサーバーとの接続確認ができます。

実行後自動リセット：

それぞれのスキャン終了後に宛先とスキャン設定を初期値に戻します。（初期値は［オン］）

Eメールの分割：

スキャンした画像を指定のファイルサイズに分けて、複数のメールで送信できます。スキャンメニューの［To メール］またはボックスメニューの［ボックス to メール 機能］が使用されている場合に適用されます。（初期値は［分割しない］）

ボックス設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ボックス設定］

共有ボックスの利用制限：

共有ボックスの利用許可：

共有ボックスの使用を許可するかを選択します。（初期値は［許可する］）

共有ボックスの操作権限：

ボックスを作成、変更、削除する権限を、管理者のみに与えるか、ユーザーにも与えるかを選択します。（初期値は［ユーザー許可］）

文書自動削除の設定権限：

文書の自動削除を設定する権限を、管理者のみに与えるか、ユーザーにも与えるかを設定します。（初期値は［ユーザー許可］）

共有ボックスの文書自動削除設定：

文書自動削除：

保存された文書を自動で削除するか選択します。（初期値は［オフ］）

削除までの期間：

文書を自動で削除するまでの時間を設定します。文書が保存または直近で使用されたときから時間が計測されます。共有ボックスが新規作成された場合は、この設定は新規ボックスに適用されます。後で各フォルダーの設定を変更することもできます。（初期値は［日単位］）

全ての共有ボックスに反映：

［文書自動削除］と［削除までの期間］の設定を全ての共有ボックスに適用します。

個人ボックスの文書自動削除設定：

以下の設定はすべての個人ボックスに適用されます。それぞれのボックスに設定することはできません。

文書自動削除：

保存された文書を自動で削除するか選択します。（初期値は［オフ］）

削除までの期間：

文書を自動で削除するまでの時間を設定します。文書が保存または直近で使用されたときから時間が計測されます。（初期値は［日単位］）

文書の出力後削除設定：

出力後削除：

印刷後または保存後に文書を削除するかを選択します。（初期値は［オフ］）

出力後削除設定の変更許可：

［許可する］が選択されている場合、文書一覧画面にチェックボックスが表示され、印刷後または保存後に文書を削除するかを選択できます。（初期値は［許可する］）

ボックス/文書一覧の表示方法：

ボックス一覧画面と文書一覧画面の表示方法を選択します。（初期値は［サムネイル表示］）

ボックス/文書検索設定：

前方一致：

検索で使用したキーワードで始まる名称のボックスと文書を表示します。

後方一致：

検索で使用したキーワードで終わる名称のボックスと文書を表示します。

含む：

検索で使用したキーワードを含む名称のボックスと文書を表示します。（初期値は［含む］）

管理者用設定

システム管理者としてプリンターを管理するときに使用します。オフィスなどでプリンターを共有する際に、個人が使用できる機能を制限できます。
操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］

アドレス帳管理：

アドレス帳登録・変更：

ファクス、スキャン to メール 機能、スキャン to ネットワークフォルダー 機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷：

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。（初期値は［タイトル表示］）

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。（初期値は［前方一致］）

カテゴリー名編集：

カテゴリー名を変更します。

カラーカウント：

自動判別：

カラーかモノクロのどちらでページ数をカウントするかを自動で判別してカウントします。

カラー固定：

必ずカラーで送信されたデータとしてカウントします。

プリントヘッドのクリーニング設定：

プリントヘッドのクリーニングについて、以下の設定ができます。

自動クリーニング：

印刷前または印刷後にプリントヘッドのノズルの目詰まりを確認します。
確認の結果、プリントヘッドのクリーニングが必要と判断された場合、自動でクリーニングをします。

定期クリーニング：

［オン］を選択すると、一定のページ数を印刷したらプリントヘッドのクリーニングをします。

コピーカラー判定：

［自動］でコピーしたとき、原稿がモノクロかカラーかを判定する度合いを設定します。
［モノクロより］から［カラーより］の5段階で設定できます。
［モノクロより］に近づけるほどモノクロの原稿と認識しやすくなり、［カラーより］に近づけるほどカラーの原稿と認識しやすくなります。

スキャナー清掃通知：

設定を無効にすると、スキャナー読み取り部の清掃時期を通知する案内は表示されません。（初期値は［オン］）

本体情報の送信設定：

プリンター情報をDSサーバーに送信する時間帯を設定します。

消費電力表示：

［オン］にすると、推定消費電力量を画面に表示します。（初期値は［オン］）

内部メモリーデータ削除：

PDLのフォントとマクロと作業領域：

ダウンロードしたフォント、マクロ、および内蔵メモリー内のすべての印刷ジョブを消去します。

本体メモリー内のジョブの全削除：

本体メモリー内のジョブを全て削除します。

HDD消去設定：

内蔵ハードディスクに保存されているデータの処理を設定します。
本機は認証印刷や大量のコピー、スキャン、印刷などのデータを扱うために、一時的にハードディスクにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

メモリー自動消去設定：

有効にすると、印刷やスキャンが終了した場合など、対象のデータが不要になったときに逐次消去されます。消去される対象のデータはこの機能が有効な間に書き込まれたデータです。
ハードディスクへのアクセスが必要なので省電力モードに入る時間が遅くなります。

メモリー全消去：

ハードディスク内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

高速：

専用の消去コマンドによって全データを消去します。

上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。

3回上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

セキュリティー設定：

機能制限：

パネルロックを有効にしたときに、表示や設定変更を個別に制御できます。
「個別に制御できる項目」609ページ

利用者制限：

利用者制限：

有効にすると、使用できる機能をユーザーごとに制限します。利用者制限された機能は、ユーザー名とパスワードが要求され、操作パネルで入力してから使用します。

利用者情報がないジョブの許可設定：

認証情報のないジョブの実行を許可するかどうかを設定します。（初期値は［オフ］）

目前で開始する印刷のみ許可する：

目前で開始する印刷のみを許可するかを選択します。

実行中ジョブへのアクセス制限：

実行中のジョブへのアクセスを制限するかを選択します。

管理者設定：

管理者パスワード：

管理者パスワードの設定や変更、初期化をします。

管理者ロック：

操作パネルの設定を変更できないように［管理者パスワード］でロックします。（初期値は［オフ］）

パスワードポリシー：

［オン］を選択するとパスワードポリシーを設定します。（初期値は［オフ］）

パスワード暗号化：

有効にするとパスワードを暗号化します。USBデバイスを接続して暗号鍵をバックアップすることもできます。再起動中に電源を切るとパスワードのデータが破損してプリンターの設定が初期化されるおそれがあります。その場合はパスワード情報を再設定してください。

監査ログ：

有効にすると監査ログを保存します。（初期値は［オフ］）

お客様利用情報：

利用情報の提供：

お客様の利用情報の提供を許可しているかどうかを表示します。

初期状態に戻す：

ネットワーク設定：

ネットワークに関する設定を初期状態に戻します。

コピー設定：

コピーに関する設定を初期状態に戻します。

スキャン設定：

スキャンに関する設定を初期状態に戻します。

ファクス設定：

ファクスに関する設定を初期状態に戻します。

メモリー全消去

ハードディスク内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

高速：

専用の消去コマンドによって全データを消去します。

上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。

3回上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

全メモリー/設定の初期化：

プリンターの設定を初期値に戻して、ハードディスク内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

高速：

専用の消去コマンドによって全データを消去します。

上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。

3回上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

ファームウェアのアップデート：

プリンターのファームウェア情報を確認できます。

自動ファームウェアアップデート：

自動ファームウェアアップデート：

有効にすると、ファームウェアを自動でアップデートし、アップデートする曜日/開始時間を設定します。（初期値は［オフ］）

曜日選択：

ファームウェアをアップデートする曜日を選択します。

時間：

ファームウェアのアップデート開始時間を設定します。

通知設定：

［オン］にすると、ファームウェアアップデートアイコンをホーム画面に表示します。（初期値は［オン］）

メンテナンス・サービス機能：

無効にすると、メンテナンス・サービスモードが無効になります。（初期値は［オン］）

拡張機能：

赤色消去：

この機能の名称、状態、ライセンス情報を表示します。

グループ印刷：

この機能の名称、状態、ライセンス情報を表示します。

OCR：

この機能の名称、状態、ライセンス情報を表示します。

IPファクス：

この機能の名称、状態、ライセンス情報を表示します。

関連情報

➡ 「プリンターのファームウェアを自動で更新する」616ページ

印刷ページ数の確認

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］ - ［印刷ページ数の確認］

プリンター初回使用時からのステータスシートなどを含む総印刷ページ数、モノクロ印刷ページ数、カラー印刷ページ数を表示します。［シートを印刷］を選択すると使用履歴シートが印刷されます。
使用履歴シートで、その他の機能または外部メモリーからの印刷ページ数を確認することもできます。

消耗品情報

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［消耗品情報］

インク残量やメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。

マークは、インクの交換時期またはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示します。 マークは、インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。

関連情報

➡ 「インクカートリッジの交換が必要になった」498ページ

プリンターのお手入れ

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［プリンターのお手入れ］

プリントヘッドのノズルチェック：

プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認するために、チェックパターンを印刷します。

プリントヘッドのクリーニング：

おまかせクリーニング：

自動でノズルチェックとプリントヘッドのクリーニングを繰り返し、ノズルの目詰まりを改善します。

参考 おまかせクリーニングは、目詰まりが改善されるまでクリーニングを数回繰り返すため、時間がかかったり大量のインクを消費したりする場合があります。

通常クリーニング：

プリントヘッドのノズルをクリーニングします。

給紙ローラー情報：

各用紙カセットの給紙ローラーの交換時期を確認できます。給紙ローラーのカウンターをリセットすることもできます。

関連情報

➡ 「ノズルが目詰まりしていないか確認する」424ページ

言語選択/Language

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［言語選択/Language］

画面に表示する言語を選択します。（初期値は［日本語］）

情報確認/印刷

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［情報確認/印刷］

本体ステータスシートの印刷：

プリンター情報シート：

プリンターの状態や設定を印刷します。

消耗品情報シート：

消耗品の情報を印刷します。

使用履歴シート：

プリンターの使用履歴を印刷します。

PSフォントリスト：

PostScript印刷で使えるフォントリストを印刷します。

ネットワーク：

現在のネットワーク設定の内容を表示します。またステータスシートを印刷することもできます。

ファクス：

通信結果レポート：

最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。

通信管理レポート：

送受信結果を印刷します。以下のメニューで、この通信管理レポートを自動印刷する設定ができます。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］-［通信管理レポート］

ファクス送受信でよくエラーが発生する場合でエプソンの問い合わせ窓口に問い合わせをするときは、事前に通信管理レポートを印刷しておくことをお勧めします。以下のメニューでレポート形式を［詳細情報］に変更してから印刷すると、エラー情報が増えて診断に役立ちます。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］-［レポート形式］

蓄積文書リスト：

プリンターのメモリーに蓄積されているファクス文書（未完了のジョブなど）のリストを印刷します。

ファクス機能設定リスト：

現在のファクス設定を印刷します。

条件保存・転送リスト：

条件保存・転送リストを印刷します。

プロトコルログ：

最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。特定の相手とのファクス送受信でよくエラーが発生する場合でエプソンの問い合わせ窓口に問い合わせをするときは、事前に、通信管理レポートの印刷に加え、エラー直後のプロトコルログも印刷しておくことをお薦めします。

アドレス帳管理

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［アドレス帳管理］

アドレス帳登録・変更：

ファクス、スキャン to メール 機能、スキャン to ネットワークフォルダー 機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷：

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。

カテゴリー名編集：

カテゴリー名を変更します。

ユーザー設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［ユーザー設定］

スキャン to ネットワークフォルダー 機能：

スキャン to ネットワークフォルダー 機能のメニュー項目の初期値を変更できます。
「スキャンの設定メニューの説明」332ページ

スキャン to メール 機能：

スキャン to メール 機能のメニュー項目の初期値を変更できます。
「スキャンの設定メニューの説明」332ページ

スキャン to 外部メモリー 機能：

スキャン to 外部メモリー 機能のメニュー項目の初期値を変更できます。
「スキャンの設定メニューの説明」332ページ

スキャン to クラウド 機能：

スキャン to クラウド 機能のメニュー項目の初期値を変更できます。
「スキャンの設定メニューの説明」332ページ

スキャン to ボックス 機能：

スキャン to ボックス 機能のメニュー項目の初期値を変更できます。

コピー設定：

コピーのメニュー項目の初期値を変更できます。
「コピー時の基本設定メニュー」315ページ
「コピー時の応用設定メニュー」317ページ

ファクス：

ファクスのメニュー項目の初期値を変更できます。
「ファクス設定」364ページ

認証システム

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［認証システム］

認証装置の状態や、Epson Open Platformの情報を確認できます。

認証装置ステータス

認証装置の状態を表示します。（初期値は［非接続］）

Epson Open Platform情報：

Epson Open Platformの情報を表示します。

製品仕様

以下は2026年7月現在の情報です。

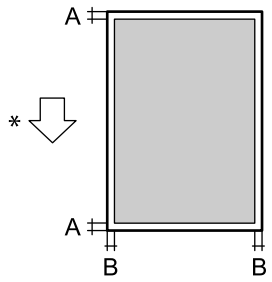
プリンター部の仕様

ノズル配列		黒インク： 5784ノズル カラーインク：各色5784ノズル
排紙枚数		300枚
用紙厚*	薄紙	52～59 g/m^2
	普通紙	60～90 g/m^2
	厚紙	91～250 g/m^2
	封筒	75～100 g/m^2

*： 範囲内の厚みの用紙であっても、紙の特性や品質などによって給紙できないことがあります。また、印刷結果に影響が出ることもあります。

印刷可能領域

定形紙の印刷領域

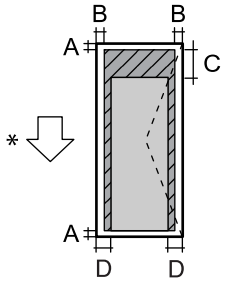


A	3.0mm
B	3.0mm

*：用紙の搬送方向

封筒（洋形0、1、2、3、4、6号）の印刷可能領域

プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。



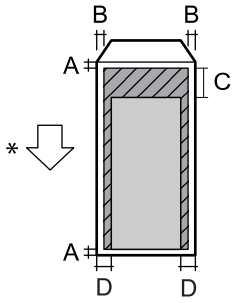
A	3.0mm
B	3.0mm
C	17.0mm
D	5.0mm

*：　用紙の搬送方向

封筒（長形3、4号、角形20号）の印刷領域

プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

宛名面、裏面



A	3.0mm
B	4.0mm
C	17.0mm
D	5.0mm

*：　用紙の搬送方向

省資源機能

両面や割り付け、縮小などの印刷で、用紙の使用枚数が節約できます。

スキャナー部の仕様

スキャナータイプ	フラットベッド
センサー	CIS

有効画素数	5100×8400ピクセル（600 dpi）
最大原稿サイズ	215.9×355.6mm Legal
スキャン解像度	600dpi（主走査） 600dpi（副走査）
出力解像度	50～9600 dpi（1 dpiで設定可能）
階調	カラー • 30bit入力（RGB各色10bit入力） • 24bit出力（RGB各色8bit出力） グレースケール • 10bit入力 • 8bit出力
光源	LED

ADFの仕様

タイプ	自動両面読取対応
対応用紙サイズ	Legal、Letter、A4、Executive、B5、A5、Half Letter、A6 （最大215.9×355.6 mm）
用紙種類	普通紙、上質紙、再生紙
紙厚（坪量）	52～128 g/m^2
セット可能枚数	100枚（64　g/m^2）、または10.0 mm

ADFにセットできる原稿であっても、紙の特性や品質などによって通紙できないことがあります。また、読み取り品質に影響を及ぼすこともあります。

ファクス部の仕様（ファクス対応機のみ）

ファクス型式	送受信兼用デスクトップ（スーパーG3、カラーファクス）
対応回線	一般加入電話回線（PSTN）、構内交換機（PBX）

解像度	モノクロ	• 普通：8 pel/mm×3.85 line/mm • 精細：8 pel/mm×7.7 line/mm • 高精細：8 pel/mm×15.4 line/mm • 超高精細：16 pel/mm×15.4 line/mm
	カラー	200×200 dpi
通信速度		最大33.6kbps
圧縮方式	モノクロ	JBIG/MH/MR/MMR
	カラー	JPEG
通信規格		スーパーG3、G3
送信原稿サイズ		Half Letter、A5、Letter、A4、Legal
記録用紙サイズ		Half Letter、A5、Letter、A4、Legal
電送速度*1		約3秒（ITU-T標準原稿、モノクロ標準モード、SUPER G3送信時）
受信ファクス最大保存ページ数*2		約550ページ（ITU-T標準原稿をモノクロ標準モードで受信した場合）
アドレス帳機能	アドレス帳	最大2,000件
	グループダイヤル	最大200件
再ダイヤル回数		0～15回(0～15分間隔)
コネクター形状		回線ライン（RJ-11）、外部電話機接続ライン（RJ-11）

*1　：実際の電送時間は原稿の内容、相手の機種、回線状況により異なります。

*2　：停電時も保持

プリンターが使用するポート

プリンターは以下のポートを使用します。必要に応じてあらかじめ管理者にポート使用を許可してもらいます。

送信元（クライアント）がプリンターの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
ファイル送信（プリンター本体のスキャン to ネットワークフォルダー機能利用時）	FTP/FTPSサーバー	FTP/FTPS (TCP)	20
			21
	ファイルサーバー	SMB (TCP)	445
		NetBIOS (UDP)	137
			138
		NetBIOS (TCP)	139
	WebDAVサーバー	Protocol HTTP (TCP)	80
		Protocol HTTPS (TCP)	443
メール送信（プリンター本体のスキャン to メール機能利用時）	SMTPサーバー	SMTP (TCP)	25
		SMTP SSL/TLS (TCP)	465
		SMTP STARTTLS (TCP)	587
POP before SMTP接続（プリンター本体のスキャン to メール機能利用時）	POPサーバー	POP3 (TCP)	110
Epson Connect機能	Epson Connectサーバー	HTTPS	443
		XMPP	5222
スマートチャージ機能	スマートチャージサーバー	Protocol HTTPS (TCP)	443
		Protocol MQTT (TCP)	443
ユーザー情報取得（プリンター本体のアドレス帳利用時）	LDAPサーバー	LDAP (TCP)	389
		LDAP SSL/TLS (TCP)	636
		LDAP STARTTLS (TCP)	389
ユーザー認証機能	KDCサーバー	Kerberos	88
WSDの制御	クライアントコンピューター	WSD (TCP)	5357
Document Capture Proからのプッシュスキャン時のコンピューター探索	クライアントコンピューター	Network Push Scan Discovery	2968

送信元（クライアント）がクライアントコンピューターの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
ファイル送信（プリンター本体のFTP印刷利用時）	プリンター	FTP (TCP)	20
			21

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索	プリンター	ENPC (UDP)	3289
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定	プリンター	SNMP (UDP)	161
LPRデータの転送	プリンター	LPR (TCP)	515
RAWデータの転送	プリンター	RAW (Port9100) (TCP)	9100
AirPrint（IPP/IPPS印刷）のデータの転送	プリンター	IPP/IPPS (TCP)	631
WSDのプリンター探索	プリンター	WS-Discovery (UDP)	3702
Document Capture Proからのスキャンデータの転送	プリンター	Network Scan (TCP)	1865
Document Capture Proからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得	プリンター	Network Push Scan	2968
Web Config	プリンター	HTTP (TCP)	80
		HTTPS (TCP)	443
ファクスデータの転送	プリンター	IPP FaxOut (TCP)	631
PC-FAX	プリンター	HTTP (TCP)	80
		HTTPS (TCP)	443

インターフェイスの仕様

コンピューター接続用	SuperSpeed USB
外部機器接続用	Hi-Speed USB

ネットワークの仕様

有線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.3i（10BASE-T）*1 IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3ab（1000BASE-T） IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet）*2

通信モード	Auto、10 Mbps Full duplex、10 Mbps Half duplex、100 Mbps Full duplex、100 Mbps Half duplex
コネクター	RJ-45

*1： 社団法人 VCCI協会の技術基準への適合および電磁障害のリスク低減のため、カテゴリー 5e 以上のSTP（シールドツイストペア）ケーブルを使用すること

*2： IEEE802.3azに対応した接続機器が必要

ネットワーク機能とIPv4/IPv6対応

機能			対応	備考
ネットワーク印刷機能	EpsonNet Print（Windows）	IPv4	○	-
	Standard TCP/IP（Windows）	IPv4、IPv6	○	-
	WSD印刷（Windows）	IPv4、IPv6	○	Windows Vista以降
	Bonjour印刷（Mac OS）	IPv4、IPv6	○	-
	IPP印刷（Windows、Mac OS）	IPv4、IPv6	○	-
	FTP印刷	IPv4、IPv6	○	-
	Epson Connect（メールプリント、リモートプリント）	IPv4	○	-
	AirPrint（iOS、Mac OS）	IPv4、IPv6	○	iOS 5以降、OS X Mavericks (10.9.5)以降*
ネットワークスキャン機能	Epson Scan 2	IPv4、IPv6	○	-
	Document Capture Pro（Windows） Document Capture（Mac OS）	IPv4	○	-
	Document Capture Pro Server（Windows）	IPv4、IPv6	○	-
	Epson Connect（スキャン to クラウド機能/スキャンしてクラウドへ）	IPv4	○	-
	AirPrint（スキャン機能）	IPv4、IPv6	○	OS X Mavericks（10.9.5）以降*

機能			対応	備考
ファクス機能	PC送信	IPv4	○	-
	PC受信	IPv4	○	-
	AirPrint（ファクス機能）	IPv4、IPv6	○	OS X Mavericks（10.9.5）以降*

*： 最新のiOSまたはMac OSを使用することをお勧めします。

セキュリティーのプロトコル

IEEE802.1X*1	
IPsec/IPフィルタリング	
SSL/TLS	HTTPS（サーバー/クライアント）
	IPPS
TLSバージョン	1.3、1.2、1.1*2、1.0*2
SMTPS（STARTTLS、SSL/TLS）	
SNMPv3	

*1： IEEE802.1Xに対応した接続機器が必要

*2： 初期設定では無効

PostScript Level 3との互換性

このプリンターのPostScriptはPostScript Level 3の互換です。

対応している他社サービス

サービス		対応	備考
AirPrint	印刷	○	iOS 5以降、OS X Mavericks (10.9.5)以降*
	スキャン	○	OS X Mavericks (10.9.5)以降*
	ファクス機能	○	OS X Mavericks (10.9.5)以降*
ユニバーサル プリント		○	Windows 10 2004 (20H1)以降

*： 最新のiOSまたはMac OSを使用することをお勧めします。

対応外部メモリーの仕様

外部メモリーの種類	サポートする最大容量
USBフラッシュメモリー	2TB（FAT、FAT32、またはexFATフォーマット済みのもの）

以下の外部メモリーは使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの
- セキュリティー（パスワード、暗号化）機能付きのもの

全ての動作を保証するものではありません。

印刷できるファイルの仕様

ファイルフォーマット	DCF*1 Version 1.0または2.0*2規格準拠のデジタルカメラで撮影した、JPEG形式（Exif Version 2.31準拠）の画像データ（*.jpg） TIFF6.0準拠の以下の画像 • RGBフルカラー（非圧縮） • 2値（非圧縮もしくは2値CCITT2値エンコーディング） PDF1.7 準拠のデータファイル
有効画像サイズ	横：80～10200ピクセル 縦：80～10200ピクセル
有効ファイルサイズ	2GB未満
最大ファイル数	JPEG：9990個*3 TIFF： 999 PDF： 999

*1： 社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称

*2： デジタルカメラの内蔵メモリーに保存されている画像には非対応

*3： 一度に表示できるファイル数は999 個まで（999 個を越えるとグループ単位で表示）

参考 プリンターで認識できない画像ファイルは、プリンターの画面上に「×」と表示されます。複数面レイアウト（自動配置）では、空白（印刷されない）になります。

外形寸法と質量の仕様

外形寸法*1	保管時 • 幅：465 mm • 奥行き：517 mm • 高さ：570 mm 印刷時 • 幅：766 mm • 奥行き：577 mm • 高さ：580 mm 操作時 • 幅：884 mm • 奥行き：944 mm • 高さ：857 mm
質量*1*2	約56.3 kg

*1　用紙カセット1セット時

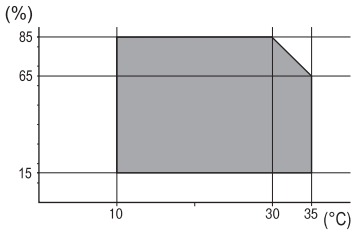
*2：　インクカートリッジ、電源コードは含まず

電気的仕様

定格電圧	AC 100-240 V
定格周波数	50/60 Hz
定格電流	3.0-1.5 A
消費電力（有線LAN接続時）*	コピー時：約84.0 W（ISO/IEC24712印刷パターン） レディー時：約39.0 W スリープモード時：約0.8 W 電源オフ時：約0.1 W 最大消費電力：約160.0 W

*　用紙カセット1セット時

動作時と保管時の環境仕様

動作時	グラフで示した範囲の温度（℃）と湿度（%）、および結露がない環境で使用してください。 
保管時	温度：-14～40°C* 湿度：5～85%（非結露）

*　　：40℃では1カ月間保管可能

設置場所と設置スペース

以下の条件を満たす場所に設置してお使いください。

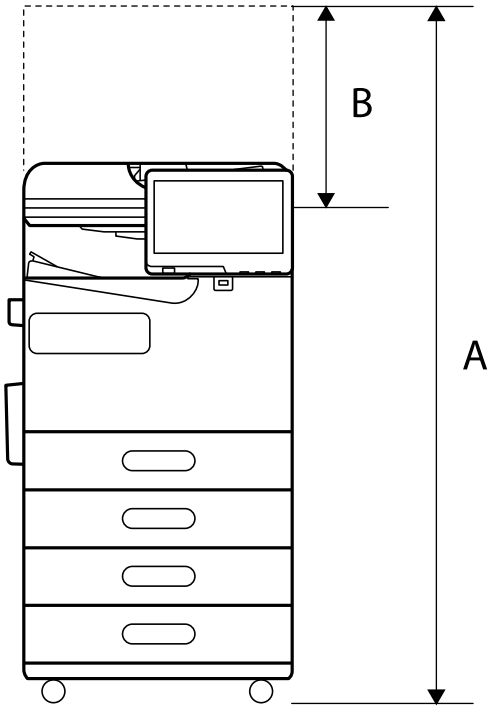
- 本製品の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 本製品の通気口を塞がない場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- 本書『動作時と保管時の環境仕様』を満たす場所

!重要　以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因になります。

- 直射日光の当たる場所
- 温湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 揮発性物質のある場所
- 振動の多い場所
- テレビ・ラジオに近い場所
- ホコリや塵の多い場所
- 水に濡れやすい場所
- 冷暖房器具に近い場所
- 加湿器に近い場所

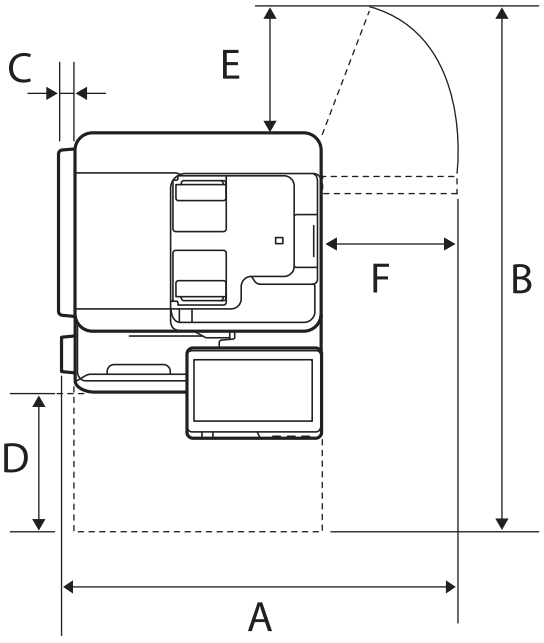
静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。
本製品をお使いいただくために必要なスペースを確保してください。

正面



A	1225 mm
B	367 mm

上面



A	884 mm
B	944 mm

C	32 mm
D	332 mm
E	122 mm
F	387 mm

対応OS

最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。
www.epson.jp/support/taiou/os/

- Windows
  Windows 7～
  Windows Server 2008 ～
- Mac OS
  Mac OS X 10.9.5～、macOS 10.12～
- Chrome OS
  Chrome OS 89～

参考 OS標準の機能でのみ動作します。

フォントの仕様

次のフォントがウェブで配布されています。

- Epsonバーコードフォント

対応フォント（PostScript 3対応）

フォント名	ファミリー	HP互換
NimbusMono	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Courier
LetterGothic	Medium, Bold, Italic	Letter Gothic
NimbusMonoPS	Regular, Bold, Oblique, Bold Oblique	CourierPS
NimbusRomanNo4	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	CG Times
URWClassico	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	CG Omega
URWCoronet	-	Coronet
URWClarendon-Condensed	-	Clarendon Condensed
URWClassicSans	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Univers

フォント名	ファミリー	HP互換
URWClassicSans-Condensed	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Univers Condensed
AntiqueOlive	Medium, Bold, Italic	Antique Olive
Garamond	Antiqua, Halbfett, Kursiv, Kursiv Halbfett	Garamond
Mauritius	-	Marigold
Algiers	Medium, Extra Bold	Albertus
NimbusSansNo2	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Arial
NimbusRomanNo9	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Times New Roman
NimbusSans	Medium, Bold, Oblique, Bold Oblique	Helvetica
NimbusSans-Narrow	Medium, Bold, Oblique, Bold Oblique	Helvetica Narrow
Palladio	Roman, Bold, Italic, Bold Italic	Palatino
URWGothic	Book, Demi, Book Oblique, Demi Oblique	ITC Avant Garde
URWBookman	Light, Demi, Light Italic, Demi Italic	ITC Bookman
URWCenturySchoolbook	Roman, Bold, Italic, Bold Italic	New Century Schoolbook
NimbusRoman	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Times
URWChancery-MediumItalic	-	ITC Zapf Chancery Italic
Symbol	-	Symbol
URWDingbats	-	Wingdings
Dingbats	-	ITC Zapf Dingbats
StandardSymbol	-	SymbolPS

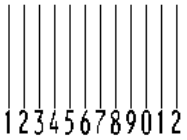
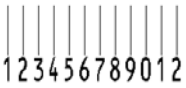
和文フォント

- 明朝体
- ゴシック体

Epsonバーコードフォント

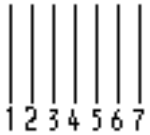
データキャラクター（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクター以外のコードやマージン、OCR-Bフォント（バーコード下部の文字）などの入力が不要です。
各バーコードの規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

JAN（標準バージョン）

フォント名		EPSON JAN-13	EPSON JAN-13 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクター種類		数字（0～9）	
桁数		12	
入力可能サイズ		60～96 pt	36～90 pt
読み取り保証サイズ		60 pt、75 pt（標準）	36 pt、45 pt（標準）、67.5 pt、90 pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト/ ライトマージン • レフト/ ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	123456789012	
	画面表示		
	印刷		
備考		JIS X 0501	・JAN-13 のバーの高さを低くしたもの ・日本国内でのみ使用可能

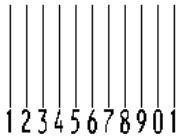
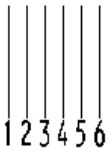
JAN（短縮バージョン）

フォント名	EPSON JAN-8	EPSON JAN-8 Short
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字（0～9）	
桁数	7	
入力可能サイズ	52～96 pt	36～90 pt
読み取り保証サイズ	52 pt、65 pt（標準）	36 pt、45 pt（標準）、67.5 pt、90 pt

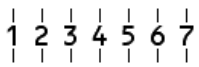
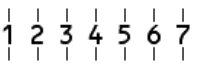
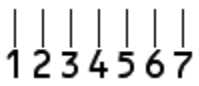
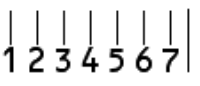
自動設定される情報（入力不要）		• レフト/ ライトマージン • レフト/ ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	1234567	
	画面表示		
	印刷		
備考		−	・JAN-8 のバー高さを低くしたもの ・日本国内でのみ使用可能

UPC

フォント名	EPSON UPC-A	EPSON UPC-E
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字（0～9）	
桁数	11	6
入力可能サイズ	60～96 pt	
入力可能サイズ	60 pt、75 pt（標準）	
自動設定される情報（入力不要）	・レフト/ ライトマージン ・レフト/ ライトガードバー ・チェックデジット ・OCR-B ・センターバー	・レフト/ ライトマージン ・レフト/ ライトガードバー ・チェックデジット ・OCR-B ・ナンバーシステムの「0」

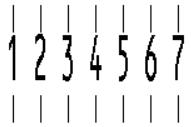
例	入力	12345678901	123456
	画面表示		
	印刷		
備考		Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。	Zero Suppression タイプ（余分な0 を削除）

Code39

フォント名		EPSON Code39	EPSON Code39 CD	EPSON Code39 Num	EPSON Code39 CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクター種類		英数字（A～Z、0～9）、記号（－　.　スペース　$　/　+　%）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26～96 pt		36～90 pt	
読み取り保証サイズ		26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	
自動設定される情報（入力不要）		・左/　右クワイエットゾーン ・スタート/　ストップキャラクター ・チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示				
	印刷				
備考		・JIS X 0503 ・スペースを表すバーコードを入力したいときは、「_」（アンダーライン）を入力してください。			

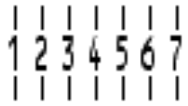
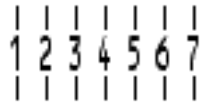
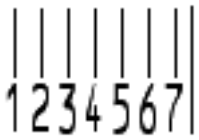
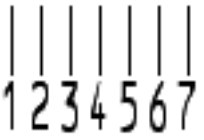
Code128

フォント名	EPSON Code128

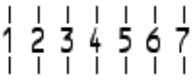
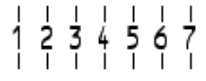
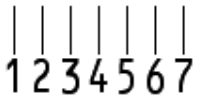
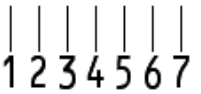
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクター種類		全てのASCII 文字（95文字）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		26～96 pt
読み取り保証サイズ		26 pt、52 pt、78 pt
自動設定される情報（入力不要）		・左/ 右クワイエットゾーン ・スタート/ ストップキャラクター ・コードセットの変更キャラクター ・チェックデジット
例	入力	1234567
	画面表示	
	印刷	
備考		・JIS X 0504 ・コードセットA、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。

Interleaved 2 of 5

フォント名	EPSON ITF	EPSON ITF CD	EPSON ITF Num	EPSON ITF CD Num
OCR-B	なし		あり	
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクター種類	数字（0～9）			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26～96 pt		36～96 pt	
読み取り保証サイズ	26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	
自動設定される情報（入力不要）	・左/ 右クワイエットゾーン ・スタート/ ストップキャラクター ・チェックデジット ・文字列先頭の「0」（合計文字数が偶数でない場合のみ）			

例	入力	1234567			
	画面表示				
	印刷				
備考		キャラクターを2個一組で扱います。キャラクターの合計数が奇数個の場合、Epson バーコードフォントは自動的にキャラクターの先頭に0を追加して偶数個になるようにします。			

NW-7

フォント名		EPSON NW-7	EPSON NW-7 CD	EPSON NW-7 Num	EPSON NW-7 CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクター種類		数字（0～9）、記号（－　$　：　/　.　+）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26～96 pt		36～96 pt	
読み取り保証サイズ		26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	
自動設定される情報（入力不要）		・左/ 右クワイエットゾーン ・スタート/ ストップキャラクター（入力しない場合） ・チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示				
	印刷				
備考		・JIS X 0503 ・スタート/ ストップキャラクターのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート/ ストップキャラクターを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。			

郵便番号（カスタマーバーコード）

フォント名	EPSON J-Postal Code

OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクター種類		数字（0～9）、英文字（A～Z）、記号（－）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		8～11.5 pt
読み取り保証サイズ		8 pt、9 pt、10 pt、11.5 pt
自動設定される情報（入力不要）		・バーコードの上下左右2 mm の空白 ・入力時の－（ハイフン）の削除 ・スタート/ ストップコード ・住所表示番号の13桁調整 ・チェックデジット
例	入力	123-4567
	画面表示	1 2 3 – 4 5 6 7
	印刷	
備考		・郵便番号（3桁）－郵便番号（4桁）－住所表示番号（バーコードに変換後13桁まで）を入力します。住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後13桁を超える部分は省略されます。また、住所表示番号が13桁に満たないときは、13桁になるように末尾にコードが挿入されます。 ・印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。

GS1-128（EAN-128）

フォント名	EPSON EAN128
OCR-B	あり
チェックデジット	あり
キャラクター種類	数字（0～9）、英文字（A～Z） 括弧( ) は、アプリケーション識別子(AI) を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートしますが、入力は小文字で行います。
桁数	アプリケーション識別子(AI) により桁数が異なります。 01：GTIN（グローバルトレードアイテムナンバー） 4桁「（01）」＋ 13桁（数字） 17：パッチ/ ロットナンパー 4桁「（17）」＋6桁（数字） 10：保証期限日 4桁「（10）」＋最大20 桁（英数字） 30：数量 4桁「(30)」＋最大8桁（数字）
入力可能サイズ	36 pt 以上
読み取り保証サイズ	36 pt、72 pt

自動設定される情報（入力不要）		・左／右クワイエットゾーン ・スタート／ストップキャラクター ・FNC1 キャラクター （Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため） ・コードセットの変更キャラクター ・チェックデジット
例	入力	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc
	画面表示	
	印刷	
備考		コードセットA、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。

標準料金代理収納

フォント名		EPSON EAN128_AI91
OCR-B		あり
チェックデジット		あり
キャラクター種類		数字（0～9）、記号（－） 括弧(　) は、アプリケーション識別子(AI) を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレーターとして使用します。
桁数		4桁「(91)」＋ 46桁（数字間の「-」を含む）
入力可能サイズ		48 pt 以上
読み取り保証サイズ		48 pt
自動設定される情報（入力不要）		・左/ 右クワイエットゾーン ・スタート/ ストップキャラクター ・FNC1 キャラクター（Code128 との識別のために挿入します。） ・チェックデジット
例	入力	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	画面表示	
	印刷	
備考		コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル

バーコード作成時と印刷時のご注意

作成時は以下に注意してください。

- 文字の装飾（ボールド/ イタリック/ アンダーラインなど）、網掛けはしないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転は、90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大/縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。

例）文字間隔の自動調整
　行末に存在するスペース削除
　連続する複数個のスペースをタブなどに変換
　記号の変換

- 入力した文字をバーコードに変換するときに、バーコードとして必要なキャラクターを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなることがあります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- 一行に2つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。
- 入力したキャラクターの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。（Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/GS1-128、標準料金代理収納）
- アプリケーションソフトで、改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

印刷時は以下に注意してください。

- インクの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。
- Epson バーコードフォントは、本機に付属しているプリンタードライバーでのみ印刷できます。
- プリンタードライバーの設定は［グレースケール］、［印刷品質］を［標準］、［きれい］に設定してください。

バーコードの作成と印刷の手順

ここではWindows 10のワードパッドを例にEpsonバーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

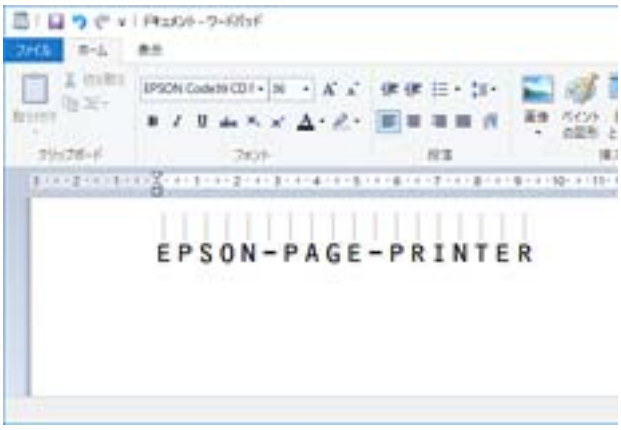
1. ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を全て半角（1Byte）で入力します。

2. 入力した文字を選択します。
   選択した範囲が反転表示になります。

3. ［ホーム］タブの［フォント］グループで、印刷したいEpson バーコードフォントを選択します。

4. フォントサイズを変更します。

   推奨または使用できるフォント（キャラクター）サイズは、バーコードフォントの種類とOS のバージョンによって異なります。入力した文字が設定したように表示されます。



5. 印刷を実行します。

   入力したデータがバーコードとして印刷されます。

   参考 入力したデータが不適当な場合などプリンタードライバーがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

ボックスの仕様

ボックス容量		54GB
ボックス数	共有ボックス(固定)	1
	共有ボックス	0～199
	個人ボックス	上限なし
最大保存文書数		3,000文書
最大保存ページ数		9,000ページ
予約ジョブ数*		印刷時：100 メール添付、フォルダー・クラウド保存：10

*：先に実行したジョブが終わる前に実行できるジョブの数

参考 メモリー使用率が100%に達すると、新しい文書が保存できなくなります。また、100%未満の場合でも、保存文書数、保存ページ数のいずれか1つが上限に達すると、新しい文書が保存できなくなります。不要な文書はできるだけ削除してください。

オプションの仕様

以下は 2026年7月現在の情報です。

G3ファクスボードの仕様

最大増設数	1

その他の仕様については、以下の関連情報を参照してください。

関連情報

➡ 「ファクス部の仕様（ファクス対応機のみ）」574ページ

増設カセットユニット(1段)-P1の仕様

対応用紙	「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
セット可能枚数	最大550枚（64 g/m²）
定格電圧	DC24V
最大消費電力	15 W
外形寸法と質量の仕様	• 幅：465.0 mm • 奥行き：490.0 mm • 高さ：126.0 mm
質量	約9.9 kg

増設カセットユニット(2段)-P2の仕様

対応用紙	「印刷できる用紙とセット枚数」511ページ
セット可能枚数	各カセット最大550枚（64 g/m²）
定格電圧	DC24V
最大消費電力	17 W
外形寸法と質量の仕様	• 幅：465.0 mm • 奥行き：490.0 mm • 高さ：297.0 mm
質量	約20.4 kg

専用プリンター台の仕様

外形寸法*	• 幅：512 mm • 奥行き：518 mm • 高さ：95 mm
質量	約4.8 kg

*： ピンや固定金具の突起高さを含まない

無線LANユニットの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n*1/ac		
周波数帯	IEEE802.11b/g/n：2.4 GHz、IEEE802.11a/n/ac：5 GHz		
チャンネル	Wi-Fi	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52（36/40/44/48）*2、W53（52/56/60/64）*2 、W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140）
	Wi-Fi Direct	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52（36/40/44/48）*2
接続モード	インフラストラクチャー、 Wi-Fi Direct（シンプル AP）*3*4		
無線セキュリティー*5	WEP（64/128bit）、WPA2-PSK（AES）*6、WPA3-SAE（AES）、WPA2/WPA3-Enterprise		

*1： IEEE802.11n（2.4GHz）はHT20のみ対応
*2： 屋外使用不可
*3： IEEE802.11bは非対応
*4： シンプルAPモードは、無線LAN（インフラストラクチャー）または有線LANとの併用可能
*5： Wi-Fi DirectはWPA2-PSK（AES）のみ対応
*6： WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電波障害自主規制

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

IPファクスの認可番号

本製品の IP ファクスは、電気通信事業法に基づく、 NTT 東日本・西日本の技術的条件に適合しています。
認定番号は、本製品の操作パネルから、以下の順に操作すると確認できます。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［増設回線設定］-［IPファクス］-［認定番号］

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

揮発性物質の放散

本製品はエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

管理者向け情報

プリンターの管理 600

本体のセキュリティー設定 621

ネットワークセキュリティー設定 631

Epson Open Platformを利用する 670

プリンターの管理

遠隔地にあるプリンターの情報を確認する

Web Configの［情報確認］から、以下の情報を確認できます。

- 製品情報
  ステータス、クラウドサービス、製造番号、MACアドレスなどが確認できます。
  ［デバイス管理］タブの［管理者名/連絡先］に情報を登録している場合は、ステータスタブに管理者情報が表示されます。
- ネットワーク情報
  ネットワーク接続状態、IPアドレス、DNSなどネットワークに関する情報が確認できます。
- 本体情報を送信
  スマートチャージサーバーにプリンター情報を（個人情報は除く）送信できます。保守サービス実施店の指示に従ってください。
- 使用状況
  初回印刷日、印刷面数、言語別印刷数、スキャン回数などを確認できます。
- ハードウェア情報
  プリンターの各機能のステータスを確認できます。
- ジョブ履歴
  印刷ジョブ、送信ジョブなどの履歴を確認できます。
- パネルのスナップショット
  デバイスの操作パネルに表示されている画面イメージのスナップショットを表示します。

ネットワーク接続を管理する

ネットワーク設定の確認や変更ができます。

基本的なネットワークの確認や設定をする

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワーク］タブ -［基本］

4. 各項目を設定します。

5. ［次へ］をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. ［設定］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

ネットワークの設定項目

項目	設定値と説明
デバイス名	デバイス名を表示します。デバイス名を変更するときは、新しいデバイス名をテキストボックスに入力します。
ロケーション	デバイスのロケーションを入力します。
TCP/IP設定	IPアドレスの設定方法を自動または手動から選択します。手動設定を選択したときは、IPアドレス、サブネットマスクなどの入力が必要です。
BOOTPによる設定	BOOTPによる設定機能の有効・無効が指定できます。
プライベートIP自動指定 (APIPA) による設定	プライベートIP自動指定 (APIPA) による設定による設定機能の有効·無効が指定できます。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。 IPアドレスがネットワーク上の他の機器と競合していないか確認します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。
DNSサーバー設定	DNSサーバー設定の方式を自動設定または手動設定から選択します。手動設定はTCP/IP設定で手動設定を選択したときに選択できます。
プライマリーDNSサーバー	プライマリーDNSサーバーを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。
セカンダリーDNSサーバー	セカンダリーDNSサーバーを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。
DNSホスト名の取得方法	DNSホスト名の取得方法を自動または手動から選択します。
DNSホスト名	現在のDNSホスト名を表示します。
DNSドメイン名の取得方法	DNSドメイン名を自動または手動から選択します。

項目	設定値と説明
DNSドメイン名	［DNSドメイン名］を以下の規則に従って入力します。 • 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて2～249文字以内で入力します。 • 数字、ハイフン、ピリオド（.）は先頭文字にできません。 • ハイフン、ピリオド（.）は末尾文字にできません。 • ドメイン名の各ラベルは、1～63文字で、ピリオドで区切る必要があります。 ホスト名とドメイン名の合計文字数は251文字を超えてはなりません。
ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する	ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する機能の有効・無効が指定できます。ダイナミックDNSをサポートするDHCPサーバーを介して、ホスト名とドメイン名をDNSサーバーに登録するときに有効にします。 ［有効にする］を選択した場合は、ホスト名とドメイン名を設定する必要があります。
プロキシサーバー設定	プロキシサーバー設定を使用するかを設定できます。これを選択したときは、後のプロキシサーバー設定を構成する必要があります。
プロキシサーバー	プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。
プロキシサーバーポート番号	1～65535までの範囲で、半角数字で入力します。
プロキシサーバー認証ユーザー名	プロキシサーバー名をASCII (0x20-0x7E)で表せる255文字以内で入力します。
プロキシサーバー認証パスワード	プロキシサーバーのパスワードをASCII (0x20-0x7E)で表せる255文字以内で入力します。
IPv6設定	IPv6設定機能の有効・無効が指定できます。
IPv6匿名アドレス	IPv6匿名アドレス機能の有効・無効が指定できます。
IPv6DHCPサーバー設定	IPv6DHCPサーバー設定機能の有効・無効が指定できます。
IPv6アドレス	［IPv6アドレス］を使用するときは、以下の形式で入力します。 • xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx / プレフィックス • xxxxには1～4桁の16進数で、プレフィックスは1～128の10進数です。 • xxxxが全て0である連続したブロックがある場合は、::として省略できます（1か所のみ）。
IPv6デフォルトゲートウェイ	［IPv6デフォルトゲートウェイ］を割り当てるときは、以下の形式で入力します。 • xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx • xxxxには1～4桁の16進数です。 • xxxxが全て0である連続したブロックがある場合は、::として省略できます（1か所のみ）。
IPv6リンクローカルアドレス	有効なIPv6リンクローカルアドレスを表示します。
IPv6ステートフルアドレス	有効なIPv6ステートフルアドレスを表示します。
IPv6ステートレスアドレス1	有効なIPv6ステートレスアドレス1を表示します。
IPv6ステートレスアドレス2	有効なIPv6ステートレスアドレス2を表示します。
IPv6ステートレスアドレス3	有効なIPv6ステートレスアドレス3を表示します。

項目	設定値と説明
IPv6プライマリーDNSサーバー	IPv6プライマリーDNSサーバーを次の形式で入力します。 • xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx • xxxxには1～4桁の16進数です。 • xxxxが全て0である連続したブロックがある場合は、::として省略できます（1か所のみ）。
IPv6セカンダリーDNSサーバー	IPv6セカンダリーDNSサーバーを割り当てるときは、以下の形式で入力します。 • xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx • xxxxには1～4桁の16進数です。 • xxxxが全て0である連続したブロックがある場合は、::として省略できます（1か所のみ）。
IEEE802.11k/v	IEEE802.11k/v機能の有効・無効が指定できます。 無線LAN機能が有効の場合に表示されます。
IEEE802.11r	IEEE802.11r機能の有効・無効が指定できます。 無線LAN機能が有効の場合に表示されます。

無線LAN

無線LAN（Wi-Fi）またはWi-Fi Directの接続状況が確認できます。
Wi-Fi Directの状態を表示するには、［Wi-Fi Direct］タブをクリックします。

参考 無線LAN（Wi-Fi）対応機種で、無線LANインターフェイスが認識されると表示されます。

- 設定ボタン
  設定をクリックすると、プリンターに接続できる接続名（SSID）の一覧が表示されます。接続名（SSID）、パスワードを指定して接続します。
- 無効にするボタン
  無効にするをクリックすると、Wi-Fi（インフラストラクチャーモード）機能が無効になります。
  無線LAN（Wi-Fi）接続から接続方法を変更して、Wi-Fiを利用しなくなった場合にはWi-Fiを無効にすることができます。また、プリンターの待機電力使用量の負荷を軽減することもできます。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［無線LAN接続設定］

関連情報

➡ 「無線LAN接続設定：」538ページ

有線LANの設定をする

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［ネットワーク］タブ -［有線LAN］

4. 各項目を設定します。
- Link Speed & Duplex
一覧から通信モードを選択します。
- IEEE 802.3az
IEEE 802.3az機能の有効・無効が指定できます。

5. ［次へ］をクリックします。
確認画面が表示されます。

6. ［設定］をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Directの設定の確認や変更ができます。

参考 無線LAN（Wi-Fi）対応機種で、無線LANインターフェイスが認識されると表示されます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
［設定］ -［本体設定］ -［ネットワーク設定］ -［ネットワーク情報］ -［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［ネットワーク］タブ -［Wi-Fi Direct］

4. 各項目の設定
- Wi-Fi Direct
Wi-Fi Direct機能の有効・無効が設定できます。
- ネットワーク(SSID)
SSID（ネットワーク名）を有効にするかどうかを変更できます。
- パスワード
Wi-Fi Directのパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力してください。
- 周波数帯
Wi-Fi Directで使用する周波数帯を選択します。

- IPアドレス
  IPアドレスの設定方法を自動または手動から選択します。

5. ［次へ］をクリックします。

   確認画面が表示されます。

   参考 Wi-Fi Direct設定をリセットするには、［購入時の設定に戻す］ボタンをクリックします。

6. ［設定］をクリックします。

   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

イベント発生時にメール通知を受け取る

印刷停止やプリンターエラーなどのイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールが送信されるようにメール通知を設定できます。宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。
この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。電子メールの送信で利用するネットワーク回線に電子メールサーバーを設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

   ［デバイス管理］タブ -［メール通知］

4. メール通知の件名を設定します。

   2つのプルダウンメニューで件名に表示する内容を選択します。

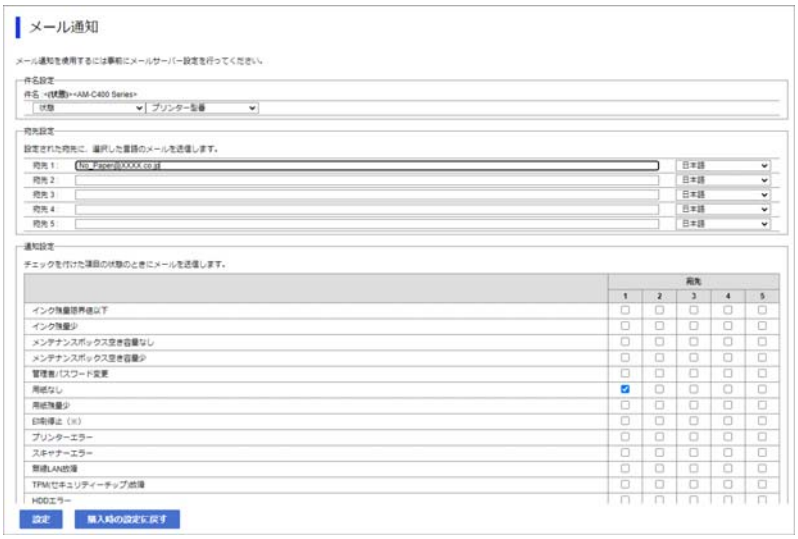
   - 選択された内容が［件名］の横に表示されます。
   - 左右に同じ内容は設定できません。
   - ［ロケーション］の文字数が多い場合は、32バイト以降の文字が省略されます。

5. 通知メールを送信するメールアドレスを入力します。

   A-Z a-z 0-9 ! # $ % & ' * + - ./= ? ^ _ { | } ~ @,を使用し、1～255文字以内で入力します。

6. メール通知の言語を選択します。

7. 通知を受け取りたいイベントの行で、通知する宛先番号と重なるチェックボックスにチェックを付けます。
［通知設定］の番号は［宛先設定］の宛先の番号に対応しています。



用紙がなくなった場合の通知を［宛先設定］の1に設定したアドレスに送信したいときは、［用紙なし］の行にある［1］の列のチェックボックスにチェックを付けます。

8. ［設定］をクリックします。
何らかのイベントを作って、メール通知が送信されることを確認してください。
例）用紙をセットしていない 給紙方法 を指定して印刷

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

メール通知の設定項目

項目	設定値と説明
インク残量限界値以下	インク残量が限界値以下になった場合に通知します。
インク残量少	インク残量が限界値に近づいた場合に通知します。
メンテナンスボックス空き容量なし	メンテナンスボックスがいっぱいになった場合に通知します。
メンテナンスボックス空き容量少	メンテナンスボックスがいっぱいになる手前で通知します。
管理者パスワード変更	管理者パスワードが変更された場合に通知します。
用紙なし	印刷指定の給紙装置で用紙なしエラーが発生した場合に通知します。
用紙残量少	印刷指定の給紙装置で用紙がなくなる手前で通知します。
印刷停止	紙詰まり、用紙カセットがセットされていない場合など、印刷が停止したときに通知します。
プリンターエラー	プリンターエラーが発生した場合に通知します。

項目	設定値と説明
スキャナーエラー	スキャナーエラーが発生した場合に通知します。
ファクスエラー	ファクスエラーが発生した場合に通知します。
無線LAN故障	無線LANインターフェイスにエラーが発生した場合に通知します。 この項目は無線LANインターフェイスを装着しているときに表示されます。
TPM(セキュリティーチップ)故障	TPMチップにエラーが発生した場合に通知します。
HDDエラー	内蔵ハードディスクにエラーが発生した場合に通知します。

操作パネルの動作を設定する

プリンターの操作パネルに関する設定をします。以下の設定ができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［デバイス管理］タブ-［パネル］

4. 必要に応じて以下の項目を設定します。
   - 表示言語
     操作パネルの表示言語を選択します。
   - パネルロック
     ［オン］にすると、操作パネルで管理者権限が必要な項目は選択できなくなります。選択するにはプリンターに管理者としてログオンします。
   - 無操作タイマー設定
     ［オン］にすると、システム管理者としてログオンしている場合、設定した時間内に操作パネルの操作がなかったときに、自動でログオフして初期画面に移行します。
     10秒～240分まで1秒単位で設定できます。
   - テーマ色
     リストから液晶画面のテーマカラーを選択します。
   - 印刷中の表示
     印刷時に液相画面に表示する項目を選択します。
   - カスタム(メッセージ)
     印刷中の表示でカスタム(メッセージ)を選択した場合は、表示する文字列を指定します。最大400文字まで入力できます。
   - カスタム(画像)(最大 856x502px, 200KByte, PNG)
     印刷中の表示でカスタム(画像)を選択した場合は、表示したい画像を登録してください。削除もできます。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 表示言語 ： ［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［言語選択/Language］
- 無操作タイマー設定： ［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［無操作タイマー設定］（オン/オフのみ設定できます。）
- テーマ色 ： ［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［テーマ色］

5. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

パネル操作を制限する

管理者パスワードを設定してパネルの管理者ロックを有効にすると、プリンターのシステム設定に関する項目をユーザーが変更できないようにロックできます。

管理者ロックの対象項目

［設定］メニュー内のロック項目

以下の関連情報を参照してください。 「製品情報」-「設定メニュー一覧」

ロックされるメニュー項目には マークが付いています。下層のメニューもロックされます。

［設定］メニュー以外のロック項目

［設定］メニュー以外でも、［お気に入り］メニューの以下の項目がロック設定可能になります。

- 新規登録
- （削除）
- 並び順変更
- ショートカットをホーム画面に登録

関連情報

➡ 「設定メニュー一覧」529ページ

表示や機能を個別に制御する

管理者ロックの対象項目の一部は、個別に有効、無効が設定できます。
アドレス帳の登録や変更、ジョブ履歴の表示など、必要に応じてユーザーが情報を操作することができるようになります。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］-［機能制限］の順に選択します。

3. 設定を変更したい機能の項目を選択し、［オン］または［オフ］にします。

関連情報

➡ 「個別に制御できる項目」609ページ

個別に制御できる項目

以下の項目は、個別に管理者が表示や設定変更を許可できます。

- ジョブ履歴表示：［ジョブ/状態］-［履歴］
  ステータスモニターのジョブ履歴の表示を制御します。［オン］にするとジョブ履歴表示を許可します。
- アドレス帳の登録・変更許可：［設定］-［アドレス帳管理］-［アドレス帳登録・変更］
  アドレス帳の登録、変更を制御します。［オン］にすると登録や変更ができるようになります。
- ファクスの宛先履歴表示：［ファクス］-［常用］または［宛先］-（宛先履歴）
  ファクスの発信、着信の宛先の表示を制御します。［オン］にすると宛先を表示します。
- ファクスの通信履歴表示：［ファクス］-［メニュー］-［通信履歴表示］
  ファクスの通信履歴の表示を制御します。［オン］にすると通信履歴を表示します。
- ファクスのレポート印刷許可：［ファクス］-［メニュー］-［ファクスレポート印刷］
  ファクスのレポートの印刷を制限します。［オン］にすると印刷が許可されます。
- スキャン to ネットワークフォルダー機能 保存履歴の印刷許可：［スキャン］-［To ネットワークフォルダー］-［メニュー］-［保存履歴の印刷］
  スキャン to フォルダー機能の保存履歴の印刷を制限します。［オン］にすると履歴の印刷が許可されます。
- スキャン to メール機能 宛先履歴表示：［スキャン］-［To メール］-［宛先］
  スキャン to メール機能の履歴の表示を制御します。［オン］にすると履歴を表示します。
- スキャン to メール機能 送信履歴表示 ：［スキャン］ - ［To メール］ - ［メニュー］ - ［送信履歴の表示］
  スキャン to メール機能のメール送信履歴の表示を制御します。［オン］にすると送信履歴を表示します。
- スキャン to メール機能 送信履歴の印刷許可：［スキャン］-［To メール］-［メニュー］-［送信履歴の印刷］
  スキャン to メール機能のメール送信履歴の印刷を制限します。［オン］にすると履歴の印刷が許可されます。
- 言語選択の変更許可：［設定］-［言語選択/Language］
  操作パネルの表示言語の変更を制御します。［オン］にすると言語変更できるようになります。
- こすれ軽減の変更許可：［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［こすれ軽減］
  こすれ軽減の設定変更を制御します。設定を変更する場合は［オン］を選択します。
- 動作音低減モードの変更許可：［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［動作音低減モード］
  動作音低減モードの設定変更を制御します。設定を変更する場合は［オン］を選択します。
- 印刷速度優先の変更許可：［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［印刷速度優先］
  印刷速度優先の設定変更を制御します。設定を変更する場合は［オン］を選択します。
- 宛先情報の保護：
  フォルダーパスで指定されている宛先情報の表示を制御します。［オン］にすると宛先が伏字（***）で表示されます。
- 電源オフの許可：
  プリンターの電源オフの許可を制御します。電源オフを制限する場合は［オン］を選択します。

ボックスの設定をする

共有ボックス、個人ボックスの使用や削除に関する設定や、ボックス利用者への動作設定ができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［ボックス］タブ-［ボックス設定］

4. 各項目を設定します。

5. ［OK］をクリックします。
   プリンターがアップデートされます。

ボックスの設定項目

項目	設定値と説明
共有ボックスの利用制限	
共有ボックスの利用許可	利用者に共有ボックスの使用を許可するかを選択します。 許可しないを選択すると、プリンターの画面には共有ボックスが表示されなくなります。
共有ボックスの操作権限	共有ボックスの利用を許可している場合、ボックスを作成、変更、削除する権限を管理者のみに与えるか、ユーザーにも与えるかを選択します。 ［ユーザー許可］を選択すると、共有ボックスに関する操作を利用者が行えます。 ［管理者のみ］を選択すると、プリンターの画面には共有ボックスに関する操作メニューが表示されず、管理者でログオンすると、メニューが表示されます。
文書自動削除の設定権限	共有ボックスの利用を許可している場合、保存ファイルの自動削除の権限を管理者のみに与えるか、ユーザーにも与えるかを選択します。 共有ボックスの操作権限が管理者のみになっていると、この項目も［管理者のみ］が選択されます。
共有ボックスの文書自動削除設定	
全ての共有ボックスに反映	以下で設定する共有ボックスの文書自動削除設定の内容を全ての共有ボックスに反映させる場合は、この項目をチェックします。 この項目は保存されないので、プリンターに設定値を送信するとチェックが外れます。
文書自動削除	共有ボックスに保存された文書を自動で削除するかを選択します。
単位	［文書自動削除］をオンにした場合、削除するタイミングを時間にするか日にするか選択します。

項目	設定値と説明
削除までの期間	［文書自動削除］をオンにした場合、設定された単位に応じて削除する日、または時間を指定します。
個人ボックスの文書自動削除設定	
文書自動削除	個人ボックスに保存された文書を自動で削除するかを選択します。
単位	［文書自動削除］をオンにした場合、削除するタイミングを時間にするか日にするか選択します。
削除までの期間	［文書自動削除］をオンにした場合、設定された単位に応じて削除する日、または時間を指定します。
文書の出力後削除設定	
出力後削除	印刷後または保存後に文書を削除するかを選択します。
出力後削除設定の変更許可	出力後のファイル削除の設定変更を許可するかどうかを指定します。 許可するを選択すると、文書一覧画面に選択ボックスが表示され、印刷後または保存後に文書を削除するかを選択できます。
Web Configからの利用設定	利用者にコンピューターからWeb Configを使ってボックスの操作をできるようにするか設定します。 許可するを選択すると、ボックスの利用者はWeb Configの画面からボックスのページにアクセスできるようになり、利用できるようになります。 ［ログオン時のみ許可］を選択すると、Web Configでログオンの操作をしたときに［ボックス］ページにアクセスできるようになります。あらかじめ共有ボックスに利用できるユーザーとパスワードが設定されていなくてはいけません。 ［許可しない］を選択すると、利用者はプリンターでのみボックスの操作を行うことになります。

共有ボックスへの操作を制限する

共有ボックスを操作する権限を、管理者のみにするか、他のユーザーにも許可するかを設定します。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ボックス設定］-［共有ボックスの利用制限］-［共有ボックスの操作権限］の順に選択します。
3. ［ユーザー許可］または［管理者のみ］を選択します。

無操作時の省電力設定をする

プリンターの操作パネルが一定時間操作されなかった場合に、節電モードへ移行する時間と自動で電源を切る時間を設定できます。使用する環境に合わせて時間を設定してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［デバイス管理］タブ-［省電力］

4. 必要に応じて以下の項目を設定します。
- スリープ移行時間設定
操作パネル上の操作がないときに節電モードへ移行する時間を設定します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［スリープ移行時間設定］

- 自動電源オフ時間
プリンターが特定の時間に非アクティブになった後、自動的に電源を切る時間を選択します。ファックス機能を使用している場合は、［なし］を選択します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［自動電源オフ］

5. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「基本設定」530ページ

音の設定をする

パネル操作やプリンター、ファクスの動作時の音に関する設定をします。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［音の設定］

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［デバイス管理］タブ -［音の設定］

4. 必要に応じて以下の項目を設定します。

- 通常時
  ［通常時］の音を設定します。
- 動作音低減モード時
  ［動作音低減モード］の音を設定します。
  以下のいずれかがオンになっている場合に有効です。

  - プリンターの操作パネル：
    ［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［動作音低減モード］
    ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］-［動作音低減モード］
  - Web Config：
    ［ファクス］タブ -［印刷設定］-［動作音低減モード］

5. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

内蔵ハードディスクのデータ消去方法を設定する

内蔵ハードディスクに保存されているデータの処理を設定します。
本機は認証印刷や大量のコピー、スキャン、印刷などのデータを扱うために、一時的にハードディスクにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

HDD逐次消去

有効にすると、印刷やスキャンが終了した場合など、対象のデータが不要になったときに逐次消去されます。削除対象は、本機能有効中に書き込まれたデータです。
ハードディスクへのアクセスが必要なので省電力モードに入る時間が遅くなります。

メモリー全消去

ハードディスク上の全てのデータを消去します。フォーマット中は、他の操作や電源を切ることはできません。

- 高速：専用の消去コマンドによって全データを消去します。
- 上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。
- 3回上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

ハードディスクの逐次消去を設定する

参考 デバイスの操作パネルからも設定できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［デバイス管理］タブ - ［保存データの処理］

4. ［HDD逐次消去］を［オン］にします。

5. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

内蔵ハードディスクをフォーマットする

1. プリンターの操作パネルのホーム画面から［設定］を選択します。

2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［HDD消去設定］の順に選択します。

3. ［メモリー全消去］を選択します。

4. 目的に応じて［高速］、［上書き］、［3回上書き］を選択します。

5. 確認画面で［はい］を選択します。

プリンター設定をバックアップやインポートする

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。Web Configを使ってプリンターにエクスポートしたファイルをインポートできます。アドレス帳や設定値のバックアップ、プリンターの置き換え時などに利用できます。
バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

設定をエクスポートする

プリンターの設定値をエクスポートします。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［デバイス管理］タブ -［設定のエクスポート/インポート］-［エクスポート］

4. エクスポートしたい設定を選択します。

   チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリーを選択すると、子のカテゴリーが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。

5. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。

   ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。

6. ［エクスポート］をクリックします。

> **重要** デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは［本体ごとの個別設定を選択可能にする］にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

> **重要** プリンター名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

   ［デバイス管理］タブ - ［設定のエクスポート/インポート］ - ［インポート］

4. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。

5. ［次へ］をクリックします。

6. インポートする設定を選択して［次へ］をクリックします。

7. ［設定］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

ファームウェアをアップデートする

操作パネルを使ってプリンターのファームウェアをアップデートする

プリンターがインターネットに接続できると、操作パネルでプリンターのファームウェアをアップデートできます。ファームウェアがあるかどうかを定期的に確認して、ある場合には通知するようにも設定できます。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［管理者用設定］-［ファームウェアのアップデート］の順に選択します。

   参考 新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、［通知設定］-［オン］の順に選択します。

3. 画面に表示されるメッセージを確認し、利用可能なアップデートの検索を開始します。
4. 新しいファームウェアが見つかったというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

重要
- 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。
- ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、プリンターが動かなくなります。コンピューターでファームウェアの更新をし直してください。

  1.コンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続します。
  - リカバリーモード中はネットワーク接続できません。USB接続のみ可能です。
  - USBケーブルはUSB2.0または3.0の、タイプA-BまたはC-Bを使用します。

  2.エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。詳しくはダウンロードページの「ファームウェアのアップデート方法」をご覧ください。

プリンターのファームウェアを自動で更新する

プリンターがインターネットに接続されているときは、ファームウェアが自動でアップデートされるように設定できます。
パネルロックが有効な場合は、管理者パスワードがないと実行できません。プリンターの管理者にお問い合わせてください。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［管理者用設定］-［ファームウェアのアップデート］の順に選択します。
3. ［自動ファームウェアアップデート］を選択して、設定画面を表示します。
4. ［自動ファームウェアアップデート］を選択して、機能を有効にします。

   確認画面で［同意する］を選択すると、設定画面に戻ります。

5. 更新する日時を設定して、［OK］を選択します。

参考 複数の曜日を選択できますが、各曜日の時刻を指定することはできません。

サーバーとの接続が確認できたら設定完了です。

重要
- アップデート中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示されて、プリンターを操作できなくなることがあります。
- 「Recovery Mode」と表示されたときは、以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。
  1.コンピューターはUSBケーブルでプリンターに接続します。（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません。）
  2.エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

参考 Web Configからもファームウェアが自動でアップデートされるように設定できます。［デバイス管理］タブ -［自動ファームウェアアップデート］の順に選択し、設定を有効にしてから曜日と時間を設定してください。

Web Configでファームウェアを更新する

プリンターがインターネットに接続できると、Web Configからファームウェアをアップデートできます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ -［本体設定］ -［ネットワーク設定］ -［ネットワーク情報］ -［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［デバイス管理］タブ -［ファームウェアアップデート］

4. ［確認開始］をクリックし、画面の案内に従って操作します。
   ファームウェアの確認が始まり、アップデートされたファームウェアがあるとファームウェアの情報が表示されます。

参考 Epson Device Adminを使ってもファームウェアをアップデートできます。デバイス一覧でファームウェアの情報が確認ができます。この方法は、複数のデバイスのファームウェアをアップデートするのに便利です。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

プリンターをインターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする

コンピューターでエプソンのウェブサイトから機種用のファームウェアをダウンロードし、USBケーブルで接続してアップデートすることもできます。ネットワーク経由でアップアップデートができない場合に、この方法をお使いください。

1. エプソンのウェブサイトにアクセスして、ファームウェアをダウンロードします。

   www.epson.jp/support/

2. ファームウェアをダウンロードしたコンピューターと、プリンターをUSBケーブルで接続します。

3. ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックします。

   Epson Firmware Updaterが起動します。

4. この後は、画面の指示に従って操作します。

タイムサーバーと日付/時刻を同期する

タイムサーバー（NTPサーバー）と連携すると、プリンターとネットワーク上のコンピューターとの時刻を同期できます。タイムサーバーは、組織内で運用している場合やインターネット上に公開している場合があります。
CA証明書やKerberos認証を使っている場合、連携すると時間に関するトラブルを防ぐことができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

   ［デバイス管理］タブ - ［日付/時刻］ - ［タイムサーバー］

4. ［タイムサーバーを使用する］を［使用する］にします。

5. ［タイムサーバーアドレス］にタイムサーバーのアドレスを入力します。

   IPv4、IPv6アドレスまたはFQDNが使用できます。252文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

6. ［更新間隔（分）］を入力します。

   1分単位で10,080分まで設定できます。

7. ［設定］をクリックします。

   参考 ［タイムサーバーステータス］でサーバーとの接続状態を確認できます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

内蔵メモリーのデータを消去する

プリンターの内蔵メモリーにダウンロードした印刷用フォントやマクロの印刷ジョブ、パスワード印刷のジョブを削除します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［内部メモリーデータ削除］-［PDLのフォントとマクロと作業領域］

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順番で操作してください。
   ［デバイス管理］タブ -［内部メモリーデータ削除］
4. ［PDLのフォントとマクロと作業領域］の［削除］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

アドレス帳を管理する

アドレス帳の表示や検索方法の設定ができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［デバイス管理］タブ - ［アドレス帳管理］
4. ［アドレス帳表示方法設定］を選択します。
5. ［アドレス帳検索設定］を選択します。

6. 必要に応じてカテゴリー名を編集します。
   1～20文字以内で入力します。半角文字だけでなく、全角文字も使用できます。
7. ［設定］をクリックします。
8. この後は、画面の指示に従って操作してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

Web Configを使ってプリンターの電源を管理する

コンピューターがプリンターから離れた場所にある場合でも、Web Configを使用して、コンピューターの電源をオフにしたり、コンピューターから再起動したりできます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［デバイス管理］タブ -［電源］
4. ［電源オフ］または［電源再起動］を選択します。
5. ［実行］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

初期設定に戻す

プリンターに保存されているネットワーク設定またはその他の設定を選択して、これらの設定を初期状態に戻すことができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［デバイス管理］タブ -［購入時の設定に戻す］

4. リストから設定項目を選択します。

5. ［実行］をクリックします。
   この後は、画面の指示に従って操作してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

ホーム画面のレイアウトを編集する

ホーム画面のメニューのレイアウトを編集できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ -［本体設定］ -［ネットワーク設定］ -［ネットワーク情報］ -［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［デバイス管理］タブ -［ホーム画面編集］

4. レイアウトを選択し、アイコンとそのレイアウトを選択します。
   ホーム画面のページネーションは、レイアウトによって異なります。
   プリセットを登録している場合は、プリセットを選択してホーム画面に表示できます。

5. ［確認］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

本体のセキュリティー設定

利用できる機能を制限する

プリンターにユーザーアカウントを登録して機能と紐付け、ユーザーが利用できる機能を制御できます。
利用制限を有効にした場合、ユーザーは操作パネルからパスワードを入力してログオンするとコピーやファクスなどプリンター上の機能が利用できるようになります。
ユーザーが利用できない機能は選択できなくなります。

コンピューターからは、プリンタードライバーやスキャナードライバーに認証情報を登録すると印刷やスキャンができるようになります。ドライバーの設定方法はドライバーのヘルプやマニュアルをご覧ください。

ユーザーアカウントを作成する

利用者制限のアカウントを作成します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［ユーザー設定］

4. 登録する番号の［登録］をクリックします。

   重要 エプソン製や他社製の認証システムでプリンターを利用する場合、利用者制限設定のユーザー名は2番～10番に登録してください。
   1番は認証システムなどアプリケーションソフトが使用するので、プリンターのパネルにユーザー名が表示されません。

5. 各項目を設定します。
   - ユーザー名 :
     ユーザー名一覧への表示名を1～14文字以内の半角英数字を使って入力します。
   - パスワード :
     ASCII (0x20-0x7E)の20文字以内で入力します。パスワードを初期化する場合は空白にします。
   - 以下の機能の使用を許可する。 :
     使用を許可する機能にチェックを付けます。

   参考 パスワードポリシーが設定されているときは、パスワードポリシーの要件を満たすパスワードを入力します。
   ［本体セキュリティー］タブ - ［パスワードポリシー］を選択して、パスワード ポリシーの設定を行うことができます。

6. ［適用］をクリックします。
   一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。
   ［ユーザー名］に登録したユーザー名が表示されていて、［登録］が［編集］に変わったことを確認してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

ユーザーアカウントを編集する

登録した利用者制限のアカウントを編集します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ -［利用者制限設定］-［ユーザー設定］
4. 編集する番号の［編集］をクリックします。
5. 内容を変更します。
6. ［適用］をクリックします。
   一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

ユーザーアカウントを削除する

登録した利用者制限のアカウントを削除します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ -［利用者制限設定］-［ユーザー設定］
4. 削除する番号の［編集］をクリックします。
5. ［削除］をクリックします。

   重要 ［削除］をクリックすると、確認メッセージなしでユーザーアカウントが削除されます。削除は慎重に作業してください。

   一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

利用者制限を有効にする

利用者制限を有効にすると設定したユーザーアカウント以外でプリンターを使用できなくなります。

参考 利用者制限設定を有効にしたときは、ユーザーにアカウント情報を通知する必要があります。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［基本］

4. ［利用者制限を有効にする］を選択します。
   - 利用者制限を有効にして、認証情報のないスマートデバイスなどから印刷またはスキャンする場合は、［コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する］を選択します。
   - 登録ユーザーに Web Config へのログオンを許可する場合は、［登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する］を選択します。

5. ［設定］をクリックします。
   一定時間経過すると設定終了のメッセージが表示されます。
   プリンターの操作パネルでコピーやスキャンなどのアイコンが選択できない状態になっていることを確認してください。

関連情報

- 「管理者パスワードの初期値」17ページ
- 「利用者制限されたプリンターの使い方」446ページ

USB接続や外部メモリーの接続を制限する

プリンターにデバイスを接続するインターフェイスを無効にできます。ネットワーク経由以外の印刷やスキャンを制限する場合に設定します。

- USBポート制御：機密文書の不正スキャンによるデータの持ち出しの可能性を低減します。
- コンピューターのUSB接続：ネットワークを経由せずに印刷やスキャンを禁止することで、デバイスの不正使用を防ぎます。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 外部メモリー：［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［外部メモリー］
- コンピューターのUSB接続：［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［コンピューターのUSB接続］

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［本体セキュリティー］タブ - ［外部インターフェイス］

4. 設定したい機能で［無効］を選択します。
［有効］を選択すると制限を解除します。
- 外部メモリー
外部機器接続用USBポート経由での外部メモリーへのデータ保存を禁止します。
- コンピューターのUSB接続
コンピューターからの USB 接続の使用を制限できます。制限する場合は、［無効］を選択します。

5. ［設定］をクリックします。

6. 無効にしたポートが使用できなくなっているか確認します。
- 外部メモリー
USBメモリーなどストレージを外部機器接続用USBポートに接続し、反応がないことを確認します。
- コンピューターのUSB接続
確認するコンピューターにドライバーがインストールされている場合
プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続し、印刷やスキャンができないことを確認します。
確認するコンピューターにドライバーがインストールされていない場合
Windows：
デバイスマネージャーを表示したままプリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、デバイスマネージャーの表示内容が変化しないことを確認します。
Mac OS：
プリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、［プリンターとスキャナー］からプリンターを追加しようとしてもプリンターがリストに表示されないことを確認します。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

パスワード暗号化の設定

パスワードの暗号化を設定すると、プリンターに記録されている機密情報（全てのパスワード、証明書の秘密鍵、ハードディスク認証鍵）を暗号化できます。暗号化した機密情報を復号するための暗号鍵がTPM（Trusted Platform Module）チップに保管されます。TPMチップにはプリンター外部からアクセスできないので、暗号鍵が漏えいすることがなく暗号化した機密情報を守ることができます。

!重要 TPMチップが故障して暗号鍵が使用できなくなると、プリンター内の機密情報を復元できず、プリンターが使用できなくなります。そのため、必ず暗号鍵をUSBメモリーにバックアップしてください。

パスワードを暗号化する

パスワードを暗号化する場合は、暗号鍵をバックアップする必要があります。あらかじめバックアップ用のUSBメモリーを用意してください。USBメモリーの空き容量は1MB以上必要です。

!重要 暗号鍵をバックアップしたUSBメモリーは、TPMチップを交換するときに必要になります。大切に保管してください。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［セキュリティー設定］ - ［パスワード暗号化］の順に選択します。
3. ［パスワード暗号化］を［オン］にします。
   メッセージが表示されたら確認して［OK］をタップします。
4. ［バックアップに進む］を選択します。
   暗号鍵のバックアップ画面が表示されます。
5. プリンターの外部機器接続用USBポートに、USBメモリーを挿入します。
6. ［バックアップを開始する］をタップします。
   USBメモリーへの書き込みを開始します。USBメモリーに暗号鍵がすでに保存されている場合は上書きされます。
7. バックアップ完了のメッセージが表示されたら［閉じる］をタップします。
8. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
9. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を入れ直します。
   パスワードが暗号化されます。
   通常よりもプリンターの起動に時間がかかる場合があります。

パスワード暗号鍵をリストアする

TPMチップが故障した場合、暗号鍵のバックアップを使用して、交換したTPMチップに暗号鍵をリストアできます。パスワードを暗号化した状態でTPMチップを交換したときは、以下の手順で操作します。

1. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を入れます。
   プリンターの操作パネルに、TPMが交換されましたというメッセージが表示されます。
2. ［バックアップから更新］を選択します。
   管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して［OK］をタップします。
3. プリンターの外部機器接続用USBポートに、暗号鍵をバックアップしたUSBメモリーを挿入します。

4. ［バックアップから更新］をタップします。
   暗号鍵がTPMチップにリストアされます。

5. メッセージを確認して［OK］をタップします。
   プリンターが再起動します。

監査ログ機能を利用する

監査ログ機能の有効化や、ログデータをエクスポートできます。
監査ログを定期的にチェックすると、不適切な使用法を早期に特定し、考えられるセキュリティー問題を追跡するのに役立ちます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ -［監査ログ］

4. 必要に応じて設定を変更します。
   - ［監査ログの記録］
     ［オン］を選択して、［設定］をクリックします。

     参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
     ［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］-［監査ログ］

   - ［記録されている監査ログをcsv形式で出力します。］
     ［エクスポート］をクリックするとCSVファイルとしてログがエクスポートされます。
   - ［記録されている全ての監査ログを消去します。］
     ［消去］をクリックすると全てのログが削除されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

パスワードポリシーを設定する

パスワードの文字の種類と文字数を制限することで、パスワードの強度を高めることができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ -［パスワードポリシー］

4. 必要に応じて設定を変更します。
   - ［パスワードポリシー］
     ［オン］を選択して［パスワードポリシー］を有効にします。有効の場合、以下の項目が設定できます。
   - ［パスワード最少文字数］
     パスワードの最小文字数を設定します。
   - ［英大文字を含める］
     有効にすると、パスワードには、1つ以上の大文字が含まれている必要があります。
   - ［英小文字を含める］
     有効にすると、パスワードには、1つ以上の小文字が含まれている必要があります。
   - ［数字を含める］
     有効にすると、パスワードには、1つ以上の数字が含まれている必要があります。
   - ［記号を含める］
     有効にすると、パスワードには、1つ以上の記号が含まれている必要があります。

5. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

アプリケーションのアクセスを制限する

プリンターにアクセスできるアプリケーションを制限します。制限ができるアプリケーションはプリンターのモデルによって違います。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ -［本体設定］ -［ネットワーク設定］ -［ネットワーク情報］ -［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ -［ソフトウェア］

4. 制限をかけたいアプリケーションのチェックボックスのチェックを外します。

5. ［設定］をクリックします。

制限を解除するには、解除するアプリケーションのチェックボックスにチェックを入れます。

PDLによるファイル操作を制限する

この機能は、不正なPDL操作からファイルを保護します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ - ［PDLによるファイル操作］
4. ［PDLによるファイル操作］を許可するかどうかを設定します。
5. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

Web Configから管理者パスワードを変更する

Web Configを使って管理者パスワードを設定します。
パスワードを変更することで、ID、パスワード、ネットワーク設定、連絡先など、デバイスに保存されている情報の不正な読み取りや変更が防止されます。また、ネットワーク環境での情報漏えいやセキュリティーポリシーなど、さまざまなセキュリティーリスクが軽減されます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ - ［管理者パスワード変更］
4. ［現在のパスワード］に現在のパスワードを入力します。
5. ［新しいパスワード］と［新しいパスワードの確認］に新しいパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。
6. ［設定］をクリックします。

参考 管理者パスワードを初期パスワードに戻すには、［管理者パスワード変更］画面で［購入時の設定に戻す］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

起動時のプログラム検証

プリンターの起動時にファームウェアが改ざんされていないかを確認します。プログラム検証（セキュアブート）機能は常に有効です。
不正なファームウェアに書き換えられていることを検知した場合は、起動を停止してファームウェアのアップデートを促します。
［改ざんを検知したときは起動しない］を有効にした場合は、プリンターはエラーを表示して起動を停止します。通常は、初期設定の［改ざんを検知したときは起動しない］のチェックをしない状態でお使いください。

宛先ドメイン制限を設定する

ドメイン名に制限ルールを適用することで、誤送信による情報漏えいのリスクを軽減できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［本体セキュリティー］タブ - ［宛先ドメイン制限］

4. 必要に応じて設定を変更します。
   - ［制限方法］
     電子メール送信の制限方法を選択します。
   - ［ドメイン名］
     制限するドメイン名を追加または削除します。

5. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

ネットワークセキュリティー設定

利用するプロトコルを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。
また、複合機であればネットワークスキャンやPC-FAXが不特定多数のコンピューターから利用可能になります。
使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスや印刷などのセキュリティーリスクを軽減できます。
以下の手順に従って、プロトコルを設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［プロトコル］
4. 各項目を設定します。
5. ［次へ］をクリックします。
6. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「有効・無効が設定可能なプロトコル」631ページ
➡ 「プロトコルの設定項目」632ページ

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	説明
Bonjour設定	Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索や印刷などに使われます。
SLP設定	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンプリンターではプッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	WSD機能の有効・無効が設定できます。WSDデバイスの追加やWSDポートからの印刷ができるようになります。ネットワーク上でデバイスを探索するときに表示されます。
LLTD設定	LLTDの有効･無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。

プロトコル	説明
LLMNR設定	LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR設定	LPR印刷を許可するかを指定できます。有効にするとLPRポートからの印刷ができるようになります。
RAW（Port9100）設定	RAWポート（Port9100）からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート（Port9100）からの印刷ができるようになります。
RAW(任意ポート)設定	RAWポート（任意ポート）からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート（任意ポート）からの印刷ができるようになります。
IPP設定	IPPからの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとインターネット経由の印刷ができるようになります。ネットワーク上でデバイスを探索するときに表示されます。
FTP設定	FTP印刷を許可するかを指定できます。有効にするとFTPサーバーからの印刷ができるようになります。
SNMPv1/v2c設定	SNMPv1/v2cの有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは機器の設定や監視などに使われます。
SNMPv3設定	SNMPv3の有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは暗号化した機器の設定や監視などの通信で使われます。

関連情報

- 「利用するプロトコルを制御する」631ページ
- 「プロトコルの設定項目」632ページ

プロトコルの設定項目

Bonjour設定

項目	設定値と説明
Bonjourを使用する	チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。
Bonjour名	Bonjour名が表示されます。
Bonjourサービス名	Bonjourサービス名が表示されます。
ロケーション	Bonjourのロケーションが表示されます。
最優先プロトコル	Bonjour印刷の最優先プロトコルを選択します。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。

SLP設定

項目	設定値と説明
SLP機能を有効にする	チェックを入れるとSLP機能が有効になります。 EpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。

WSD設定

項目	設定値と説明
WSDを有効にする	チェックを入れるとWSDによるデバイス追加が有効になります。逆にWSDによるデバイス検索を無効にしたい場合はこの項目を無効と、併せて［IPPを有効にする］の項目も無効にしてください。
印刷タイムアウト (秒)	WSD印刷の通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
スキャンタイムアウト (秒)	WSDスキャンの通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
デバイス名	WSDのデバイス名が表示されます。
ロケーション	WSDのロケーションが表示されます。

LLTD設定

項目	設定値と説明
LLTDを有効にする	チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
デバイス名	LLTDのデバイス名が表示されます。

LLMNR設定

項目	設定値と説明
LLMNRを有効にする	チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。

LPR設定

項目	設定値と説明
LPRポートからの印刷を許可する	チェックを入れるとLPRポートからの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	LPR印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

RAW（Port9100）設定

項目	設定値と説明
RAWポート(Port9100)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート（Port9100）からの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW（Port9100）印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

RAW(任意ポート)設定

項目	設定値と説明
RAW(任意ポート)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート（任意ポート）からの印刷を許可します。
ポート番号	RAW印刷のポート番号を1024～65535以内の数字（9100、1865、2968を除く）で入力します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW（任意ポート）印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

IPP設定

項目	設定値と説明
IPPを有効にする	チェックを入れるとIPP通信が有効になります。ネットワーク上でデバイスを探索するときに表示されます。IPPをサポートしているプリンターのみ表示されます。
非セキュア通信を許可する	［許可する］を選択すると非セキュア（IPP）で通信します。
通信タイムアウト（秒）	IPP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。
IPP印刷時にPINコードを必須とする	IPP印刷時にPINコードの設定を必須にするかどうか設定します。［はい］を選択すると、PINコードが設定されていないIPP印刷ジョブはプリンターに保存されません。
URL（ネットワーク）	ネットワークに接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
URL（Wi-Fi Direct）	Wi-Fi Directで接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
プリンター名	IPPのプリンター名が表示されます。
ロケーション	IPPのロケーションが表示されます。

FTP設定

項目	設定値と説明
FTPサーバーを有効にする	チェックを入れるとFTP通信が有効になります。FTP印刷をサポートしているプリンターのみ表示されます。

項目	設定値と説明
通信タイムアウト（秒）	FTP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

SNMPv1/v2c設定

項目	設定値と説明
SNMPv1を有効にする	チェックを入れるとSNMPv1を有効にします。
SNMPv2cを有効にする	チェックを入れるとSNMPv2cを有効にします。
アクセス権限	SNMPv1/SNMPv2cを有効にした場合にアクセス権限を設定します。［読み込み専用］または［読み書き可能］を選択します。
コミュニティ名 (読み込み専用)	ASCII（0x20～0x7E）で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
コミュニティ名 (読み書き可能)	ASCII（0x20～0x7E）で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

SNMPv3設定

項目		設定値と説明
SNMPv3を有効にする		チェックを入れるとSNMPv3が有効になります。
ユーザー名		1バイト文字を使って1～32文字以内で入力します。
認証設定		
	アルゴリズム	SNMPv3の認証用のアルゴリズムを選択します。
	パスワード	SNMPv3の認証パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定		
	アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを選択します。
	パスワード	暗号化パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
コンテキスト名		Unicode（UTF-8）で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。言語によって扱える文字数は異なります。

関連情報

➡ 「利用するプロトコルを制御する」631ページ
➡ 「有効・無効が設定可能なプロトコル」631ページ

電子証明書を使う

使用できる電子証明書

- CA署名証明書
  認証機関（CA局）によって署名された証明書です。CA局に申請して取得します。この証明書はプリンターの実在性を証明し、SSL/TLS通信に使用されるため、データ通信の安全が確保できます。
  SSL/TLS通信に使用する場合は、サーバー証明書として利用されます。
  IPsec/IPフィルタリング、IEEE802.1X、S/MIMEに設定する場合は、クライアント証明書として利用されます。
- CA証明書
  CA署名証明書のチェーン内の証明書で、中間CA証明書とも呼ばれます。相手サーバーまたはWeb Configにアクセスするブラウザーが、プリンターの証明書パスを検証するために使用されます。
  相手サーバー検証用のCA証明書は、プリンターからアクセスするサーバーの証明書パスを検証する場合に設定します。プリンターでは、SSL/TLS通信用のCA署名証明書の証明書パスを証明するために設定します。
  プリンターのCA証明書は、CA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
  また、相手サーバー検証に使用するCA署名証明書は、相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
- 自己署名証明書
  プリンター自らが署名し、発行した証明書です。ルート証明書とも呼ばれます。発行者が自分自身を証明しているので、証明書として信頼性がなく、なりすましは防げません。

  - SSL/TLS通信に使用する場合
    セキュリティー設定をする際にCA署名証明書なしで簡易的にSSL/TLS通信を行う場合に使用してください。
    ブラウザーに証明書の登録がないために、SSL/TLS通信でプリンターにアクセスするとセキュリティー警告が出ることがあります。
  - S/MIMEに設定する場合
    CA署名証明書の代わりに自己署名証明書も利用できます。企業内ネットワークのように外部接続（インターネット接続）しないネットワーク環境などで、CA署名証明書取得のコストをかけずにS/MIMEの機能を使用できます。ただし、安全性が低いため、外部接続する場合はCA署名証明書の利用をお勧めします。

関連情報

➡ 「自己署名証明書を更新する」641ページ
➡ 「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」642ページ

CA署名証明書を設定する

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはWeb Configかコンピューターで生成してください。
ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

   ［ネットワークセキュリティー］ タブ。

4. 以下のいずれかを選択します。

   - ［SSL/TLS］ - ［証明書］
   - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［クライアント証明書］
   - ［IEEE802.1X］ - ［クライアント証明書］
   - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］

   どれを選択しても同じ証明書が取得でき、共通で使用できます。

5. ［CSR］の［生成］をクリックします。

   CSR生成画面が開きます。

6. 各項目を設定します。

   参考 対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

7. ［設定］をクリックします。

   生成されると完了メッセージが表示されます。

8. ［ネットワークセキュリティー］タブを選択します。

9. 以下のいずれかを選択します。

   - ［SSL/TLS］ - ［証明書］
   - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［クライアント証明書］
   - ［IEEE802.1X］ - ［クライアント証明書］
   - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］

10. CA局規定のファイル形式に従い［CSR］のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。

> **重要** 再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

11. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

12. 入手したCA署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。

指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

CSRの設定項目

項目	設定値と説明
公開鍵長	CSRに使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1～128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「,」カンマで区切って1～5個入力できます。 先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。 記入例： プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンター名：EPSONA1B2C3 コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123
組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～64文字以内で入力できます。識別名（CN）はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。
送信元アドレス	メールサーバー設定の送信元アドレスを入力できます。［ネットワーク］タブ - ［メールサーバー］ - ［基本］の［送信元アドレス］と同じメールアドレスを入力してください。 ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］でCSRを生成する場合は、メールサーバー設定の送信元アドレスが自動設定されるので入力不要です。事前にメールサーバー設定で送信元アドレスを設定しておいてください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書を取得する」637ページ

CA署名証明書をインポートする

取得したCA署名証明書をプリンターにインポートします。

!重要

- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。証明書が無効になる場合があります。
- Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。
- ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］でCA署名証明書をインポートすると、［ネットワーク］タブ - ［メールサーバー］ - ［基本］の［送信元アドレス］が変更できなくなります。［送信元アドレス］を変更したい場合は、［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［基本］の署名設定を全て［署名しない］に変更してから、インポートしたCA署名証明書を削除してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

   ［ネットワークセキュリティー］ タブ。

4. 以下のいずれかを選択します。

   - ［SSL/TLS］ - ［証明書］
   - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［クライアント証明書］
   - ［IEEE802.1X］ - ［クライアント証明書］
   - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］

5. ［インポート］をクリックします。

   証明書インポート設定画面が開きます。

6. 各項目を設定します。［CA証明書1］、［CA証明書2］はプリンターにアクセスするブラウザーで証明書のパスを検証する場合に設定してください。

   インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

   - Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
     - ［秘密鍵］：プリンターで保持しているため設定しない
     - ［パスワード］：設定しない
     - ［CA証明書1］/［CA証明書2］：任意
   - コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
     - ［秘密鍵］：設定する
     - ［パスワード］：設定しない
     - ［CA証明書1］/［CA証明書2］：任意
   - コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
     - ［秘密鍵］：設定しない
     - ［パスワード］：任意
     - ［CA証明書1］/［CA証明書2］：設定しない

7. ［設定］をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

参考 ［表示］をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

- 「管理者パスワードの初期値」17ページ
- 「CA署名証明書を削除する」640ページ
- 「S/MIMEの基本設定をする」661ページ

CA署名証明書のインポート設定項目

項目	設定値と説明
サーバー証明書　または　クライアント証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。 SSL/TLSの場合、サーバー証明書になります。 IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1X、S/MIMEの場合はクライアント証明書になります。
秘密鍵	コンピューターで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	ファイル形式が［秘密鍵付き証明書（PKCS#12）］の場合、証明書取得時に設定した秘密鍵暗号化のパスワードを入力します。
CA証明書1	ファイル形式が［証明書（PEM/DER）］の場合、サーバー証明書として使うCA署名証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が［証明書（PEM/DER）］の場合、CA証明書1を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

関連情報

- 「CA署名証明書をインポートする」638ページ

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

!重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワークセキュリティー］タブ

4. 次のいずれかを選択します。
   - ［SSL/TLS］-［証明書］
   - ［IPsec/IPフィルタリング］-［クライアント証明書］
   - ［IEEE802.1X］-［クライアント証明書］
   - ［S/MIME］-［クライアント証明書］

5. ［CA署名証明書］または［クライアント証明書］の［削除］をクリックします。

6. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

自己署名証明書を設定する

自己署名証明書を更新する

自己署名証明書はプリンターが発行しているので、有効期限が切れた場合や記載している内容に変更があった場合などに更新できます。
SSL/TLSの自己署名証明書とS/MIMEの自己署名証明書は別々に発行されています。必要に応じてそれぞれの自己署名証明書を更新してください。

!重要 ［ネットワークセキュリティー］タブ -［S/MIME］ -［クライアント証明書］で自己署名証明書を更新すると、［ネットワーク］タブ -［メールサーバー］ -［基本］の［送信元アドレス］が変更できなくなります。［送信元アドレス］を変更したい場合は、［ネットワークセキュリティー］タブ -［S/MIME］ -［基本］の署名設定を全て［署名しない］に変更してから、S/MIMEの自己署名証明書を削除してください。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブを選択し、［SSL/TLS］ -［証明書］または［S/MIME］ -［クライアント証明書］を選択します。

2. ［更新］をクリックします。

3. ［コモンネーム］を入力します。
   IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「,」カンマで区切って5個まで、1～128文字以内で入力できます。先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。
   記入例：
   プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンター名：EPSONA1B2C3
   コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123

4. 証明書の有効期間を選択します。

5. ［次へ］をクリックします。

   確認画面が表示されます。

6. ［設定］をクリックします。

   設定がプリンターに反映されます。

参考 ［ネットワークセキュリティー］タブを選択し、［SSL/TLS］ - ［証明書］ - ［自己署名証明書］または［S/MIME］ - ［クライアント証明書］ - ［自己署名証明書］にある［表示］をクリックすると証明書の情報が確認できます。

関連情報

- 「管理者パスワードの初期値」17ページ
- 「S/MIMEの自己署名証明書を削除する」642ページ
- 「S/MIMEの基本設定をする」661ページ

S/MIMEの自己署名証明書を削除する

S/MIMEの署名機能を使用していないとき、S/MIMEの自己署名証明書は削除できます。
S/MIMEの自己署名証明書を削除しても、SSL/TLSの自己署名証明書は削除されません。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］を選択します。

2. ［自己署名証明書］の［削除］をクリックします。

3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

- 「管理者パスワードの初期値」17ページ

相手サーバー検証用CA証明書を設定する

相手サーバー検証用CA証明書を設定すると、プリンターがアクセスするサーバーのCA証明書のパスを検証できます。これによってなりすましを防止できます。
相手サーバー検証用CA証明書は相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

相手サーバー検証用CA証明書をインポートする

以下のようなときは相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートしてください。

- IEEE802.1X (無線LAN)を利用する
- IEEE802.1X (有線LAN)で証明書の検証をする
- IPsec/IPフィルタリングを証明書で認証する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下のメニューを選択します。
［ネットワークセキュリティー］タブ-［相手サーバー検証用CA証明書］

4. ［インポート］をクリックします。

5. インポートする相手サーバー検証用CA証明書ファイルを指定します。

6. ［設定］をクリックします。

インポートされると［相手サーバー検証用CA証明書］に戻り、インポートされた相手サーバー検証用CA証明書の情報が表示されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「プリンターのサーバー証明書を設定する」645ページ
➡ 「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」657ページ

相手サーバー検証用CA証明書を削除する

インポート済みの相手サーバー検証用CA証明書を削除します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［ネットワークセキュリティー］タブ -［相手サーバー検証用CA証明書］

4. 削除したい相手サーバー検証用CA証明書の［削除］をクリックします。

5. 確認のメッセージを確認して、削除します。

6. ［ネットワーク再起動］をクリックし、更新された画面で削除したCA証明書が一覧にないことを確認してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

プリンターとのSSL/TLS通信

SSL/TLS（Secure Sockets Layer/Transport Layer Security）通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

SSL/TLS通信の基本設定をする

HTTPSサーバーに対応しているプリンターはSSL/TLSで通信できます。Web Configを使ったプリンターの設定や管理のための通信を安全に行えます。
基本設定では暗号強度とリダイレクト機能を設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［SSL/TLS］ - ［基本］

4. 各項目を設定します。
   - 暗号強度
     暗号の強度を選択できます。
   - HTTPをHTTPSにリダイレクト
     有効または無効を選択します。初期値は「有効」。
   - TLS 1.0
     有効または無効を選択します。初期値は「無効」。
   - TLS.1.1
     有効または無効を選択します。初期値は「無効」。
   - TLS.1.2
     有効または無効を選択します。初期値は「有効」。

5. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。

6. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

プリンターのサーバー証明書を設定する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［SSL/TLS］ - ［証明書］

4. ［使用するサーバー証明書］に使用する電子証明書を選択します。
   - 自己署名証明書
     プリンターに内蔵されている自己署名証明書です。CA署名証明書を取得していない場合は選択してください。
   - CA署名証明書
     プリンターにCA署名証明書をインポートすると選択できます。

5. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。

6. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「CA署名証明書を設定する」637ページ
➡ 「自己署名証明書を更新する」641ページ

IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する

IPsec/IPフィルタリングの概要

IPsec/IPフィルタリング機能を使用すると、IPアドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsecと組み合わせることによってさらに強固なセキュリティー通信ができます。

参考 Windows Vista以降またはWindows Server 2008以降のWindowsは、IPsecに対応しています。

基本ポリシーを設定する

フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはプリンターにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［基本］
4. 各項目を設定します。
5. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。
6. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

基本ポリシーの設定項目

［基本ポリシー］

項目	設定値と説明
IPsec/IPフィルタリング	IPsec/IPフィルタリング機能を有効または無効にします。

- ［通信処理］
  IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

- ［IKEバージョン］
  ［IKEバージョン］で［IKEv1］または［IKEv2］を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。
  - IKEv1
    ［IKEバージョン］で［IKEv1］を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	CA署名証明書をインポートすると［証明書］が選択できるようになります。
事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

  - IKEv2
    ［IKEバージョン］で［IKEv2］を選択すると表示されます。

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると［証明書］が選択できるようになります。
	IDの種類	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 ［識別名］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 ［IPアドレス］：IPv4またはIPv6形式で入力します。 ［FQDN］：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 ［メールアドレス］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 ［任意の文字列］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

項目		設定値と説明
リモート認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると［証明書］が選択できるようになります。
	IDの種類	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 ［識別名］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 ［IPアドレス］：IPv4またはIPv6形式で入力します。 ［FQDN］：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 ［メールアドレス］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 ［任意の文字列］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- ［カプセル化］
  ［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 ［リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)］：［カプセル化］で［トンネルモード］を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

- ［セキュリティープロトコル］
  ［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

- ［アルゴリズム設定］
  全ての設定で［任意］を選択するか、全て個別に選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を［任意］にして一部を選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［ESP］のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［ESP］のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［AH］のときに選択できます。

関連情報

➡ 「基本ポリシーを設定する」646ページ

個別ポリシーを設定する

個別ポリシーは、プリンターへの各アクセスに適用されるルールです。IPパケットを受け取ったプリンターはポリシーを参照し、IPパケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー1、個別ポリシー2と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

1. **ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。**
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. **管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。**

3. **以下の順に選択します。**
   ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［基本］

4. **設定したい番号のタブをクリックします。**

5. **各項目を設定します。**

6. **［次へ］をクリックします。**
   確認画面が表示されます。

7. ［設定］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

個別ポリシーの設定項目

項目	設定値と説明
この個別ポリシーを有効にする	選択している個別ポリシーを有効または無効にします。

［通信処理］
IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

［ローカルアドレス（プリンター）］
お使いの環境に合ったIPv4アドレスまたはIPv6アドレスを選択します。IPアドレスの取得方法が自動の場合は、［自動取得したIPv4アドレスを使用する］が選択できます。

参考 IPv6アドレスが自動取得の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPv6アドレスを設定してください。

［リモートアドレス（ホスト）］
通信を制御する機器のIPアドレスを入力します。IPアドレスは43文字以内で入力してください。何も入力しないと、全てのIPアドレスが制御の対象になります。

参考 IPアドレスがDHCPや自動取得（IPv6）の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPアドレスを設定してください。

［ポート指定方法］
ポートの指定方法を設定します。

- サービス名
  ［ポート指定方法］で［サービス名］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

- トランスポートプロトコル
  ［ポート指定方法］で［ポート番号］を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
全てのプロトコル	全てのプロトコルタイプを制御したい場合に選択します。
TCP	ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
UDP	ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
ICMPv4	pingコマンドを制御したい場合などに選択します。

- ローカルポート番号
  ［ポート指定方法］で［ポート番号］を選択し、かつ［トランスポートプロトコル］で［TCP］または［UDP］を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
  記入例：20,80,119,5220
  何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。
- リモートポート番号
  ［ポート指定方法］で［ポート番号］を選択し、かつ［トランスポートプロトコル］で［TCP］または［UDP］を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
  記入例：25,80,143,5220
  何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。

［IKEバージョン］
［IKEバージョン］で［IKEv1］または［IKEv2］を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。

- IKEv1
  ［IKEバージョン］で［IKEv1］を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2
  ［IKEバージョン］で［IKEv2］を選択すると表示されます。

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 ［識別名］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 ［IPアドレス］：IPv4またはIPv6形式で入力します。 ［FQDN］：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 ［メールアドレス］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 ［任意の文字列］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。
リモート認証	認証方式	［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 ［識別名］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 ［IPアドレス］：IPv4またはIPv6形式で入力します。 ［FQDN］：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 ［メールアドレス］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 ［任意の文字列］：ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	［認証方式］で［事前共有キー］を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

［カプセル化］
［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 ［リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)］：［カプセル化］で［トンネルモード］を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

［セキュリティープロトコル］
［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

［アルゴリズム設定］
全ての設定で［任意］を選択するか、全て個別に選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を［任意］にして一部を選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［ESP］のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［ESP］のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 ［セキュリティープロトコル］が［AH］のときに選択できます。

関連情報

➡ 「個別ポリシーを設定する」649ページ
➡ 「ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせ」654ページ
➡ 「個別ポリシーのサービス名一覧」654ページ

ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせ

		ローカルアドレス（プリンター）の設定値		
		IPv4	IPv6*2	使用可能な全てのアドレス*3
リモートアドレス（ホスト）の設定値	IPv4*1	○	×	○
	IPv6*1*2	×	○	○
	空白	○	○	○

*1 ：［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合、範囲指定はできません。

*2 ：［通信処理］で［IPsecの使用］を選択した場合リンクローカルアドレス（fe80::）は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

*3 ：IPv6リンクローカルアドレスは除きます。

個別ポリシーのサービス名一覧

参考 非対応のサービスは表示されますが、選択できません。

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
全て	-	-	-	全てのサービス
ENPC	UDP	3289	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索
SNMP	UDP	161	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定
LPR	TCP	515	任意	LPRデータの転送
RAW (Port9100)	TCP	9100	任意	RAWデータの転送
IPP/IPPS	TCP	631	任意	IPP/IPPS印刷のデータ転送
WSD	TCP	任意	5357	WSDの制御
WS-Discovery	UDP	3702	任意	WSDのプリンター探索
Network Scan	TCP	1865	任意	スキャンソフトウェアからのスキャンデータの転送
Network Push Scan	TCP	任意	2968	スキャンソフトウェアからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
Network Push Scan Discovery	UDP	2968	任意	スキャンソフトウェアからのプッシュスキャン時のコンピューター探索
FTP データ (ローカル)	TCP	20	任意	FTPサーバー（FTP印刷のデータ転送）
FTP 制御 (ローカル)	TCP	21	任意	FTPサーバー（FTP印刷の制御）
FTP データ (リモート)	TCP	任意	20	FTPクライアント（スキャンデータまたは受信ファクスのFTP転送） ただし、制御できるのは20番のリモートポート番号を使用するFTPサーバーのみ
FTP 制御 (リモート)	TCP	任意	21	FTPクライアント（スキャンデータや受信ファクスのFTP転送の制御）
CIFS (ローカル)	TCP	445	任意	CIFSサーバー（ネットワークフォルダー共有）
CIFS (リモート)	TCP	任意	445	CIFSクライアント（スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送）
NetBIOS Name Service (ローカル)	UDP	137	任意	CIFSサーバー（ネットワークフォルダー共有）
NetBIOS Datagram Service (ローカル)	UDP	138	任意	
NetBIOS Session Service (ローカル)	TCP	139	任意	
NetBIOS Name Service (リモート)	UDP	任意	137	CIFSクライアント（スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送）
NetBIOS Datagram Service (リモート)	UDP	任意	138	
NetBIOS Session Service (リモート)	TCP	任意	139	
HTTP (ローカル)	TCP	80	任意	HTTP(S)サーバー（Web ConfigやWSDのデータ転送）
HTTPS (ローカル)	TCP	443	任意	

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
HTTP (リモート)	TCP	任意	80	HTTP(S)クライアント（Epson Connectの通信、ファームウェアアップデートやルート証明書の更新）
HTTPS (リモート)	TCP	任意	443	

IPsec/IPフィルタリングの設定例

IPsecで保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーのみ使われます。

［基本ポリシー］：

- ［IPsec/IPフィルタリング］：［有効］
- ［通信処理］：［IPsecの使用］
- ［認証方式］：［事前共有キー］
- ［事前共有キー］：1～127文字以内の任意文字

［個別ポリシー］：設定しない

印刷データとプリンター設定を受け付ける

指定したサービスからの印刷データとプリンター設定の通信を受け付ける場合の例です。

［基本ポリシー］：

- ［IPsec/IPフィルタリング］：［有効］
- ［通信処理］：［通信を遮断］

［個別ポリシー］：

- ［この個別ポリシーを有効にする］：チェックを入れる
- ［通信処理］：［通信を通過］
- ［リモートアドレス（ホスト）］：印刷クライアントのIPアドレス
- ［ポート指定方法］：［サービス名］
- ［サービス名］：［ENPC］、［SNMP］、［HTTP（ローカル)］、［HTTPS（ローカル)］、［RAW (Port9100)］にチェックを入れる

参考 HTTP (ローカル)、HTTPS (ローカル)を受け付けないためには、［個別ポリシー］でチェックを外します。その場合、プリンター設定を変更するには、プリンターの操作パネルで一時的にIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。

特定のIPアドレスからの通信のみ受け付ける

管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

［基本ポリシー］：

- ［IPsec/IPフィルタリング］：［有効］
- ［通信処理］：［通信を遮断］

［個別ポリシー］：

- ［この個別ポリシーを有効にする］：チェックを入れる
- ［通信処理］：［通信を通過］
- ［リモートアドレス（ホスト）］：管理者用クライアントのIPアドレス

参考 ポリシーの設定に関わらず、プリンターの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する

IPsec/IPフィルタリングで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IPsec/IPフィルタリングの認証方式で証明書を使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、［相手サーバー検証用CA証明書］で行います。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワークセキュリティー］タブ -［IPsec/IPフィルタリング］-［クライアント証明書］

4. ［クライアント証明書］画面で証明書をインポートします。
   CA局が発行した証明書をインポートしている場合は証明書をコピーしてIPsec/IPフィルタリングで使用できます。コピーする場合は、［コピー元］からどの証明書を使うか選択して［コピー］をクリックしてください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「CA署名証明書を設定する」637ページ
➡ 「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」642ページ

IEEE802.1X環境にプリンターを接続する

IEEE802.1Xを設定する

プリンターにIEEE802.1Xを設定すると、RADIUSサーバーと認証機能を持ったLANスイッチやアクセスポイントに接続されたネットワークで使用できます。
TLSバージョン1.3はこの機能をサポートしていません。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
［ネットワークセキュリティー］タブ -［IEEE802.1X］-［基本］

4. 各項目を設定します。
無線LANで使う場合は［無線LAN設定］をクリックしてSSIDを選択するか、入力してください。

参考 ここでの設定値は有線LANと無線LANで共通に使えます。

5. ［次へ］をクリックします。
確認画面が表示されます。

6. ［設定］をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

IEEE802.1Xの設定項目

項目	設定値と説明	
IEEE802.1X (有線LAN)	［IEEE802.1X］-［基本］画面で設定した値をIEEE802.1X（有線LAN）に対して有効または無効にするかを選択します。	
IEEE802.1X (無線LAN)	IEEE802.1X（無線LAN）の接続状態が表示されます。	
接続方法	現在のネットワーク接続方法が表示されます。	
認証方式	プリンターとRADIUSサーバーとの認証方式を設定します。	
	EAP-TLS	CA署名証明書を取得してインポートする必要があります。
	PEAP-TLS	
	EAP-TTLS	パスワードを設定する必要があります。
	PEAP/MSCHAPv2	
ユーザーID	RADIUSサーバーの認証に使うIDを設定します。 ASCII（1x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	
パスワード	プリンターを認証するためのパスワードを設定します。 ASCII（1x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。Windowsサーバーを RADIUSサーバーとして使用する場合は、最大127文字になります。	
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。	

項目	設定値と説明	
サーバーID	特定のRADIUSサーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列が、RADIUSサーバーから送信されるサーバー証明書のsubjectフィールドまたはsubjectAltNameフィールドに含まれているかを検証します。 ASCII（1x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	
証明書の検証(有線LAN)	［IEEE802.1X (有線LAN)］を使用して［証明書の検証］を実行する場合は、［有効］を選択します。有効にした場合は関連情報を参照して［相手サーバー検証用CA証明書］をインポートしてください。 なお、IEEE802.1X (無線LAN)では証明書の検証は常に有効です。必ず相手サーバー検証用CA証明書をインポートしてください。	
Anonymous名	［認証方式］が［PEAP-TLS］、［EAP-TTLS］、［PEAP/MSCHAPv2］の場合、PEAP認証のフェーズ1において、ユーザーIDの代わりに匿名を使用したいときに設定します。 ASCII（1x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	
暗号強度	以下のいずれかを選択します。	
	高い	AES256/3DES
	標準	AES256/3DES/AES128/RC4

関連情報

- 「IEEE802.1Xを設定する」657ページ
- 「相手サーバー検証用CA証明書をインポートする」642ページ

IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する

IEEE802.1Xで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IEEE802.1Xの認証方式で［EAP-TLS］と［PEAP-TLS］が使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、［相手サーバー検証用CA証明書］で行います。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

   ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IEEE802.1X］ - ［クライアント証明書］

4. ［クライアント証明書］に使用する電子証明書を設定します。

   CA局が発行した証明書をインポートしている場合は証明書をコピーしてIEEE802.1Xで使用できます。コピーする場合は、［コピー元］からどの証明書を使うか選択して［コピー］をクリックしてください。

関連情報

- 「管理者パスワードの初期値」17ページ
- 「CA署名証明書を設定する」637ページ

➡ 「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」642ページ

プリンターのIEEE802.1X状態表示

IEEE802.1Xの動作状態はネットワークステータスシートを印刷し、「IEEE802.1X」の項目で確認できます。

ステータス表示	IEEE802.1Xの動作状態
Disable	IEEE802.1X機能が無効になっています。
EAP Success	IEEE802.1X認証が成功し、ネットワークに接続されています。
Authenticating	IEEE802.1Xの認証中です。
Config Error	ユーザーIDが設定されていないため、認証に失敗しました。
Client Certificate Error	クライアント証明書の有効期限が切れているため、認証に失敗しました。
Timeout Error	RADIUSサーバーや認証ハブからの応答がないため、認証に失敗しました。
User ID Error	プリンターのユーザーIDまたは認証プロトコルに不備があるため、認証に失敗しました。
Server ID Error	サーバーの証明書に記載されているサーバーIDと通信しているサーバーIDが一致しないため、認証に失敗しました。
Server Certificate Error	サーバーの証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 • 証明書の有効期限切れ • 証明書のチェーンの異常
CA Certificate Error	CA証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 • CA証明書の指定が間違っている • 正しいCA証明書がインポートされていない • CA証明書の有効期限切れ
EAP Failure	プリンターの設定に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 • クライアント証明書に何らかの不備がある（［認証方式］が［EAP-TLS］または［PEAP-TLS］の場合） • ユーザーIDまたはパスワードの間違い（［認証方式］が［EAP-TTLS］または［PEAP/MSCHAPv2］の場合）

関連情報

➡ 「ステータスシート印刷：」540ページ

S/MIMEの設定

S/MIMEの基本設定をする

使用する機能ごとに、メールの暗号化とメールへのデジタル署名添付を設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［基本］
4. 各項目を設定します。
5. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。
6. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

S/MIMEの設定項目

メールの暗号化

- メールの暗号化を使用するには、アドレス帳に登録されている宛先ごとに暗号化証明書のインポートが必要です。
  「メール宛先に暗号化証明書をインポートする」663ページ
- 暗号化証明書がインポートされていない宛先には、暗号化しない平文メールを送信します。

項目		設定値と説明
スキャン to メール機能	スキャン to メール機能を使用するときのメールの暗号化を設定します。 ［実行時に選択する］を選択すると、メールを送信するときに暗号化の選択ができます。	
	実行時の初期値	メールを送信するときの暗号化の初期値を選択します。 ［スキャン to メール 機能］が［実行時に選択する］のときに選択できます。

項目		設定値と説明
ボックス to メール 機能	ボックス to メール機能を使用するときのメールの暗号化を設定します。 ［実行時に選択する］を選択すると、メールを送信するときに暗号化の選択ができます。	
	実行時の初期値	メールを送信するときの暗号化の初期値を選択します。 ［ボックス to メール 機能］が［実行時に選択する］のときに選択できます。
ファクス to メール 機能		ファクス to メール機能を使用するときのメールの暗号化を設定します。
アルゴリズム		メールの暗号化アルゴリズムを選択します。

デジタル署名

S/MIMEの署名機能を使用するには、［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］で［使用するクライアント証明書］を設定する必要があります。

「S/MIMEで使用する証明書を設定する」662ページ

項目		設定値と説明
スキャン to メール 機能	スキャン to メール機能を使用するときのメールへのデジタル署名添付を設定します。 ［実行時に選択する］を選択すると、メールを送信するときにデジタル署名添付の選択ができます。	
	実行時の初期値	メールを送信するときのデジタル署名添付の初期値を選択します。 ［スキャン to メール 機能］が［実行時に選択する］のときに選択できます。
ボックス to メール 機能	ボックス to メール機能を使用するときのメールへのデジタル署名添付を設定します。 ［実行時に選択する］を選択すると、メールを送信するときにデジタル署名添付の選択ができます。	
	実行時の初期値	メールを送信するときのデジタル署名添付の初期値を選択します。 ［ボックス to メール 機能］が［実行時に選択する］のときに選択できます。
ファクス to メール 機能		ファクス to メール機能を使用するときのメールへのデジタル署名添付を設定します。
アルゴリズム		デジタル署名のアルゴリズムを選択します。

関連情報

➡ 「S/MIMEの基本設定をする」661ページ

S/MIMEで使用する証明書を設定する

S/MIMEの署名機能を使用するために、クライアント証明書を設定します。

1. **ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。**

   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. **管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。**

3. 以下の順に選択します。
   ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［S/MIME］ - ［クライアント証明書］

4. ［使用するクライアント証明書］で使用する電子証明書を選択します。
   - 自己署名証明書
     プリンターで自己署名証明書を生成すると選択できます。
   - CA署名証明書
     プリンターにCA署名証明書をインポートすると選択できます。

5. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。

6. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「CA署名証明書を設定する」637ページ
➡ 「自己署名証明書を更新する」641ページ

メール宛先に暗号化証明書をインポートする

メールの暗号化を使用するには、アドレス帳に登録されている宛先ごとに暗号化証明書のインポートが必要です。
ここではすでにアドレス帳に登録されているメール宛先に、宛先の暗号化証明書をインポートする手順を説明します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
   ［スキャン/コピー］、または［ファクス］タブ - ［アドレス帳］

4. 暗号化証明書をインポートしたい宛先の番号を選択して［編集］をクリックします。

5. ［暗号化証明書］または［暗号化証明書の変更］で、宛先の暗号化証明書をインポートします。

6. ［適用］をクリックします。
   暗号化証明書がインポートされると、宛先に鍵アイコンが表示されます。

参考 暗号化証明書をインポートした宛先の番号を選択して［編集］をクリックすると、［暗号化証明書の状態］で証明書の情報が確認できます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

ネットワークセキュリティーのトラブルを解決する

セキュリティー設定の初期化

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなど高度なセキュア環境を構築している場合、設定ミスや機器、サーバーのトラブルなどでデバイスと通信できなくなる可能性があります。この場合、セキュリティー機能を初期化してデバイスの設定をやり直したり、一時的に使用できるようにしたりします。

操作パネルからセキュリティー機能を無効にする

操作パネルを使ってIPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xを無効に設定します。

1. ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］の順に選択します。
2. ［詳細設定］を選択します。
3. 無効にしたい機能を選択します。
   - ［IPsec/IPフィルタリングの無効化］
   - ［IEEE802.1Xの無効化］
4. 確認画面で［設定を開始する］を選択します。

セキュア環境への接続時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

事前共有キーを再設定する

Web Configの［ネットワークセキュリティー］タブ - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［基本］ - ［基本ポリシー］または［個別ポリシー］の画面でキーを変更します。
事前共有キーを変更したら、相手先コンピューターの事前共有キーの設定もやり直してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」645ページ

IPsec通信ができない

プリンターまたはコンピューターがサポートしていないアルゴリズムを指定している

プリンターがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。コンピューターの設定を確認してください。

セキュリティーメソッド	アルゴリズム
IKE暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128*、AES-GCM-192*、AES-GCM-256*、3DES
IKE認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
IKE鍵交換アルゴリズム	DH Group1、DH Group2、DH Group5、DH Group14、DH Group15、DH Group16、DH Group17、DH Group18、DH Group19、DH Group20、DH Group21、DH Group22、DH Group23、DH Group24、DH Group25、DH Group26、DH Group27*、DH Group28*、DH Group29*、DH Group30*
ESP暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128、AES-GCM-192、AES-GCM-256、3DES
ESP認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
AH認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5

*：IKEv2のみ対応

関連情報

➡ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」645ページ

突然通信ができなくなった

プリンターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのローカルアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。
Web Configの［ネットワークセキュリティー］タブ－［IPsec/IPフィルタリング］－［基本］－［個別ポリシー］－［ローカルアドレス（プリンター）］に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。
IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

コンピューターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのリモートアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。
プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。
Web Configの［ネットワークセキュリティー］タブ－［IPsec/IPフィルタリング］－［基本］－［個別ポリシー］－［リモートアドレス（ホスト）］に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。
IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」645ページ

セキュアIPP印刷のポートが作成できない

SSL/TLS通信のサーバー証明書に正しい証明書が指定されていない

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗する場合があります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターにCA証明書がインポートされていない

コンピューターにCA証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗する場合があります。CA証明書がインポートされているか確認してください。

関連情報

➡ 「プリンターのサーバー証明書を設定する」645ページ

IPsec/IPフィルタリング設定したのにつながらない

IPsec/IPフィルタリングの設定が間違っている

プリンターの操作パネルからIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IPsec/IPフィルタリングの設定をやり直してください。

関連情報

➡ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」645ページ

IEEE802.1Xを設定したのにつながらない

IEEE802.1Xの設定が間違っている

プリンターの操作パネルから無線LANとIEEE802.1Xを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IEEE802.1Xの設定をやり直してください。

関連情報

➡ 「IEEE802.1Xを設定する」657ページ

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA署名証明書と作成したCSRの情報が一致していない

CA署名証明書とCSRは、同一の情報である必要があります。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしたか情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA局にCSRを送付した後、プリンターに保存されているCSRを再生成したか再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えている

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードが正しくない

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。CA署名証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書をインポートする」638ページ

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが入力されていない

［コモンネーム］は必ず入力してください。

コモンネームに不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

［コモンネーム］にカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると［コモンネーム］はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ 「自己署名証明書を更新する」641ページ

CSRが作成できない

コモンネームが入力されていない

［コモンネーム］は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると［コモンネーム］はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ 「CA署名証明書を取得する」637ページ

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	**原因：** インポートするファイルが指定されていません。 **対処：** ファイルを選択してから［インポート］をクリックしてください。
CA証明書1の参照先を入力してください。	**原因：** CA証明書1が未入力で、CA証明書2が入力されています。 **対処：** 先にCA証明書1をインポートしてください。
以下の入力値が正しくありません。	**原因：** ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。 **対処：** 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。
日付/時刻が設定されていません。	**原因：** プリンターに日付や時刻が設定されていません。 **対処：** Web ConfigやEpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。
パスワードが正しくありません。	**原因：** CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 **対処：** 正しいパスワードを入力してください。

メッセージ	原因と対処
不正なファイルです。	**原因：** インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。 **対処：** 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBです。 **対処：** ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。 **対処：** 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	**原因：** PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。 **対処：** PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。	**原因：** 証明書の有効期限が切れています。 **対処：** • 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 • 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	**原因：** 証明書と対になった秘密鍵がありません。 **対処：** • コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 • コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとしました。 **対処：** Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。
設定に失敗しました。	**原因：** プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。 **対処：** 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。

関連情報

➡ 「使用できる電子証明書」636ページ

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがない

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。
Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書をインポートする」638ページ
➡ 「CA署名証明書を削除する」640ページ

Epson Open Platformを利用する

Epson Open Platformの概要

認証システムのサーバーが提供する機能を、エプソン製プリンターで利用するためのプラットフォームです。
サーバーと連携してデバイスや利用者別の履歴の取得、利用者や所属ごとに使用できるデバイス、機能の制限を設定できます。Epson Print Admin（エプソン製認証システム）や他社製の認証システムで利用できます。
認証装置を接続するとIDカードを利用したユーザー認証もできます。

関連情報

➡ 「エプソン　認証印刷システム（Epson Print Admin）」529ページ

Epson Open Platformを設定する

Epson Open Platformを有効にして認証システムからデバイスを使用できるようにします。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
   プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
   IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
   ［設定］ - ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］ - ［有線・無線接続状態］
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
   ［Epson Open Platform］タブ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］

4. 各項目を設定します。
   - 製造番号
     デバイスの製造番号が表示されます。
   - Epson Open Platformバージョン
     Epson Open Platformのバージョンを選択します。認証システムによって対応するバージョンが異なります。
   - プロダクトキー/ライセンスキー
     専用のウェブサイトから取得したプロダクトキーを入力します。プロダクトキーの取得方法などの詳細はEpson Open Platformのマニュアルをご覧ください。
5. ［次へ］をクリックします。
   確認画面が表示されます。
6. ［設定］をクリックします。
   設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ

Epson Open Platformの有効確認

以下のいずれかでEpson Open Platformの有効を確認できます。

- Web Config
  ［Epson Open Platform］タブ - ［プロダクトキー/ライセンスキー］の［プロダクトキー/ライセンスキー］にプロダクトキーが入力されていて、左側のメニューツリーに［Epson Open Platform］タブ - ［認証システム］が表示されている。
- プリンターの操作パネル
  ホーム画面 - ［設定］ - ［認証システム］ - ［Epson Open Platform情報］にプロダクトキーが表示されている。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」17ページ
➡ 「認証システム」571ページ

サービスとサポートのご案内

サービスとサポートのご案内 673

保守サービスのご案内 673

保守サービスの種類 673

お問い合わせ先 674

サービスとサポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、関連情報をご覧ください。

関連情報

➡ 「お問い合わせ先」674ページ

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

関連情報

➡ 「困ったときは」450ページ

保守サービスの提供について

本製品で故障が発生した場合は、スマートチャージ契約に基づき修理いたします。
修理のお申し込みは、製品本体に記載された保守サービス実施店にて承ります。
保守サービス実施店が不明な場合は、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後10年間です。
予告なく外観や仕様、補修用性能部品および消耗品の保有期間などを変更することがあります。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めいただいた販売店までお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 （出張料＋技術料＋部品代） 修理完了後、その都度お支払いください

*： 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●保守サービス実施店

サービス担当者　連絡先
販売店 電話番号 担当部門 担当者

●エプソンのウェブサイト

epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。
本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト（epson.jp）にてご確認ください。

エプソン販売株式会社
〒160-8801　東京都新宿区新宿四丁目1番6号　JR新宿ミライナタワー

セイコーエプソン株式会社
〒392-8502　長野県諏訪市大和三丁目3番5号

スマートチャージ 2023.12